
第4章

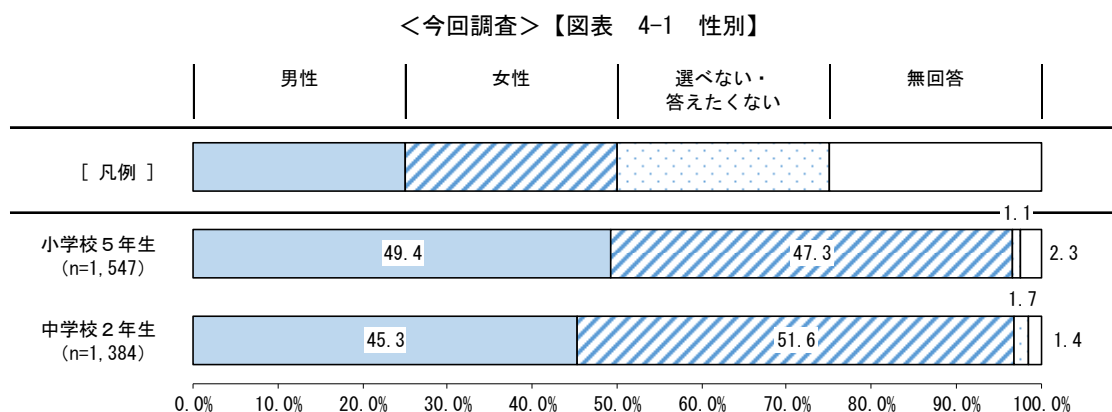
小学生・中学生に関する調査結果

第1節 子どもの属性

(1) 子どもの属性

ア 性別【問1】(SA)

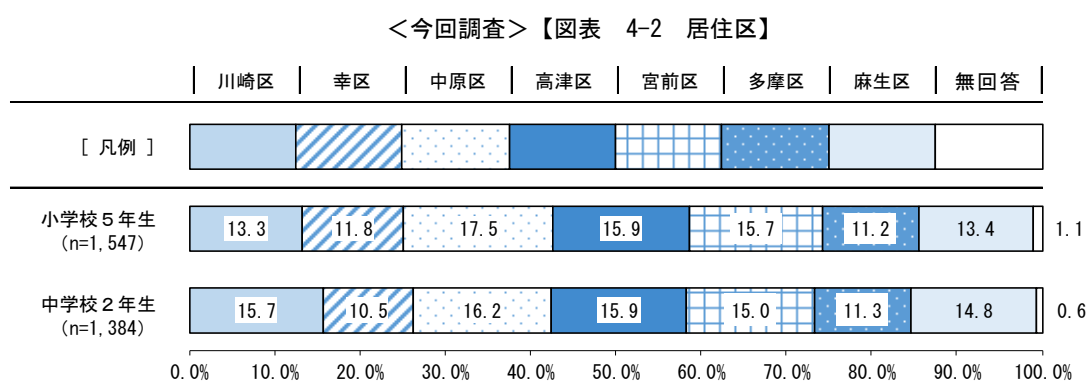
性別を聞いたところ、次のとおりとなった。



イ 居住区

① 居住区【問1】(SA)

居住区を聞いたところ、次のとおりとなった。



第2節 子どもの日常生活

(1) 基本的生活習慣

ア 食事状況

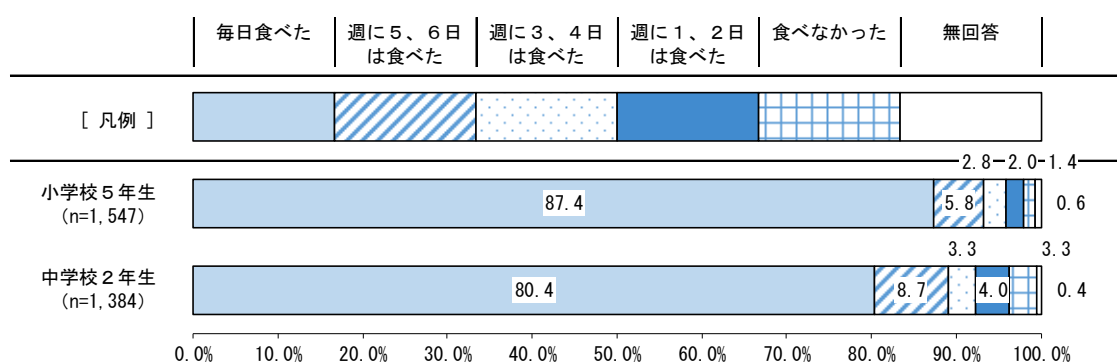
① 食事の頻度【問9】(SA)

『朝ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、小学校5年生では「毎日食べた」が87.4%と最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」が5.8%、「週に3、4日は食べた」が2.8%となっている。

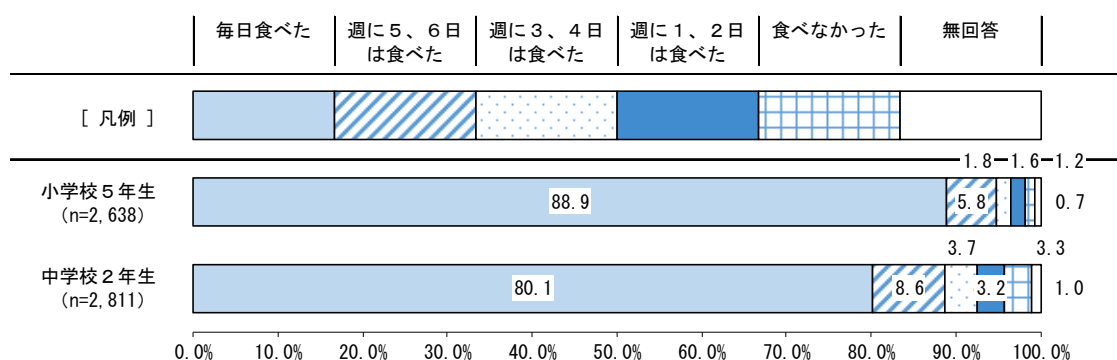
中学校2年生では「毎日食べた」が80.4%と最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」が8.7%、「週に1、2日は食べた」が4.0%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-3 食事の頻度（朝ごはん）】



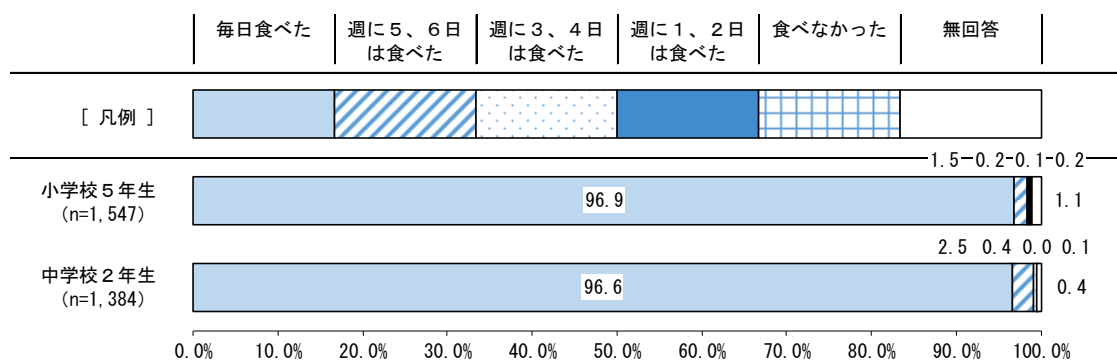
＜前回調査＞【図表 4-4 食事の頻度（朝ごはん）】



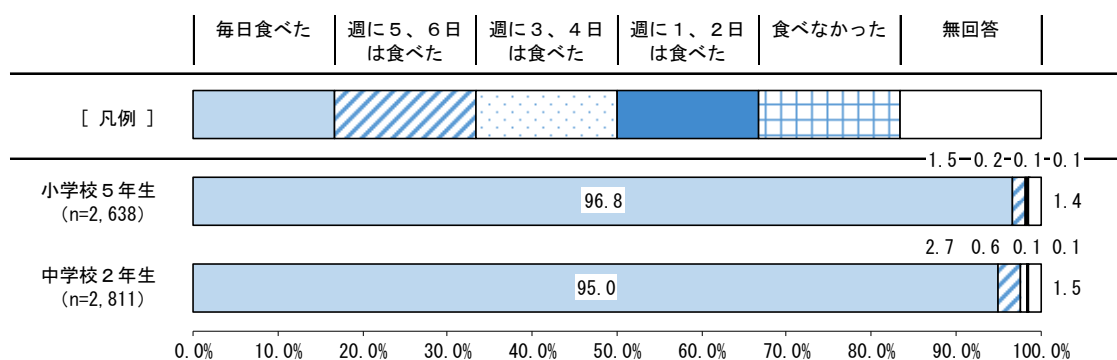
『夕ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、「毎日食べた」（小学校5年生：96.9%、中学校2年生：96.6%）が最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」（小学校5年生：1.5%、中学校2年生：2.5%）、「週に3、4日は食べた」（小学校5年生：0.2%、中学校2年生：0.4%）となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-5 食事の頻度（夕ごはん）】



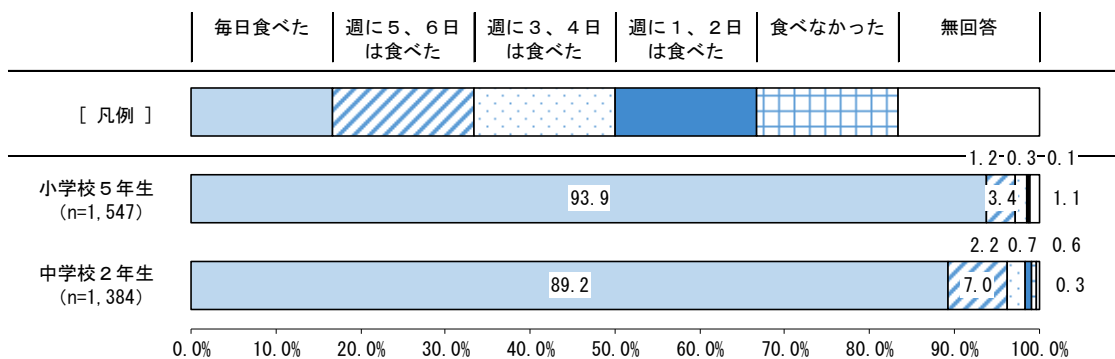
＜前回調査＞【図表 4-6 食事の頻度（夕ごはん）】



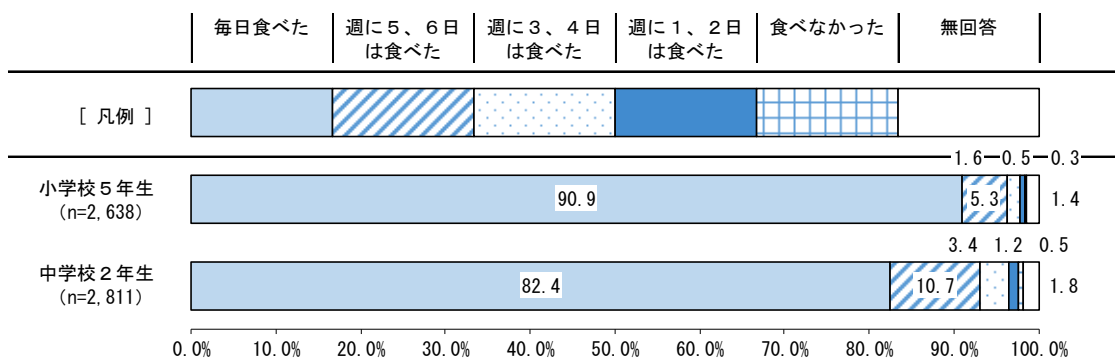
『夏休みのお昼ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、「毎日食べた」（小学校5年生：93.9%、中学校2年生：89.2%）が最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」（小学校5年生：3.4%、中学校2年生：7.0%）、「週に3、4日食べた」（小学校5年生：1.2%、中学校2年生：2.2%）となっている。

経年でみると、中学校2年生では「毎日食べた」が前回調査に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-7 食事の頻度（夏休みのお昼ごはん）】

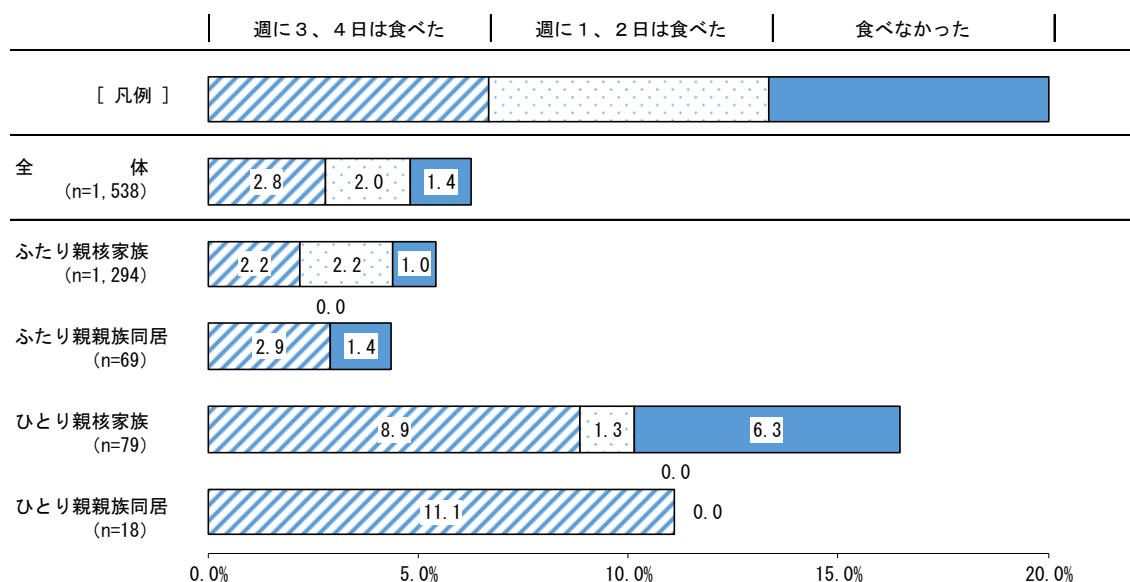


＜前回調査＞【図表 4-8 食事の頻度（夏休みのお昼ごはん）】



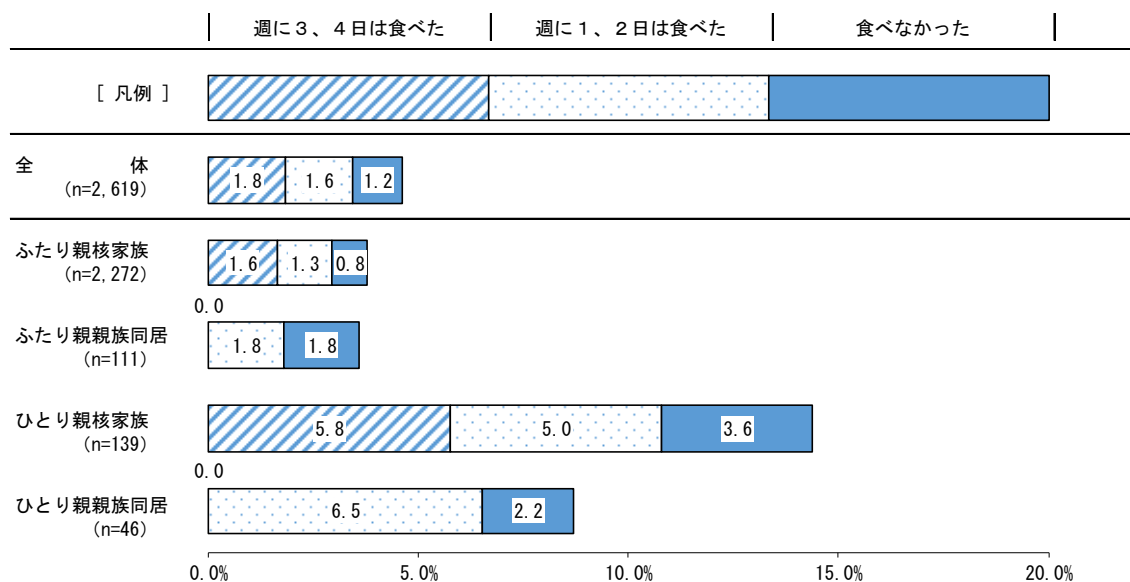
小学校5年生の「朝ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「週に3、4日は食べた」が8.9%、「食べなかった」が6.3%と全体に比べて高くなっている。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-9 朝ごはんの食事頻度】(小学校5年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

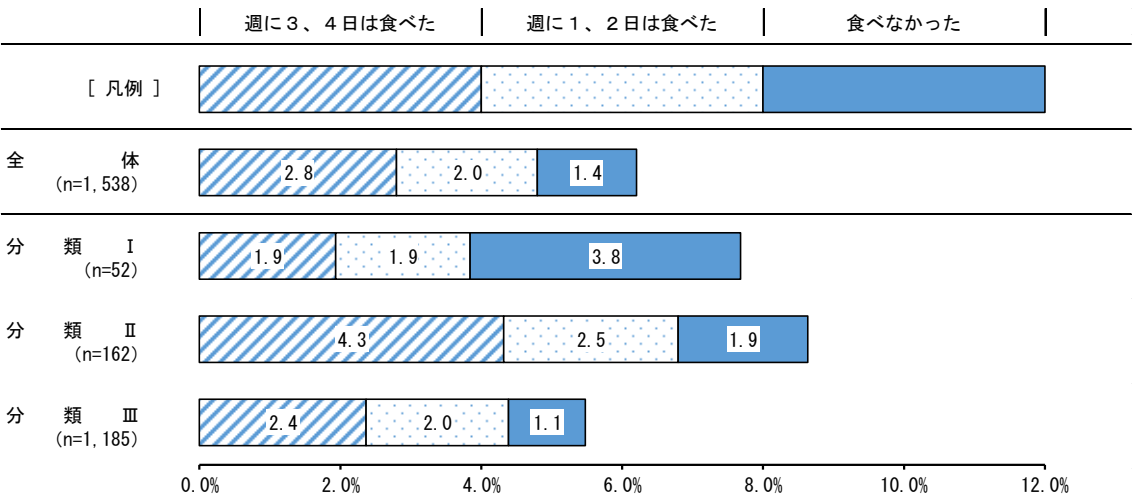
<前回調査>【図表 4-10 朝ごはんの食事頻度】(小学校5年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

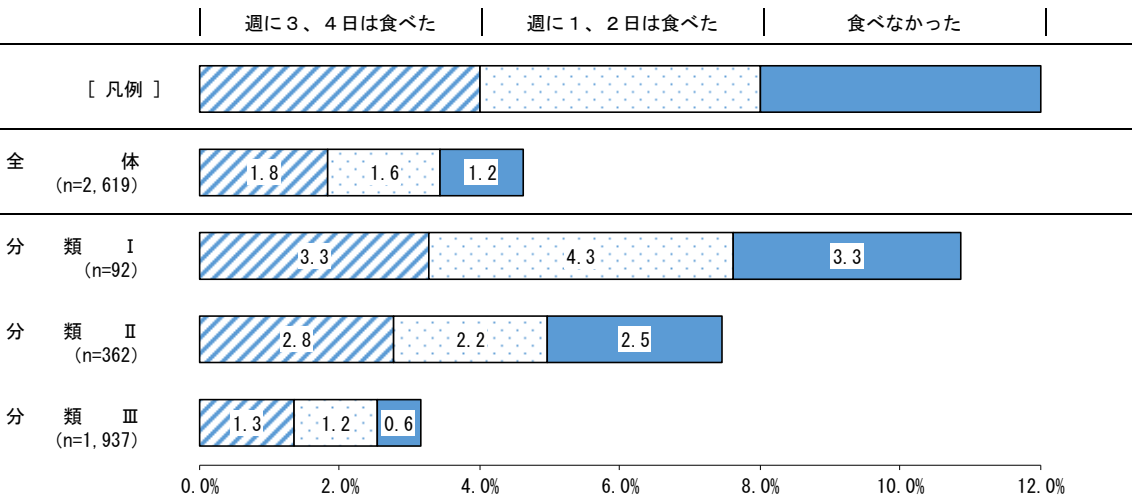
小学校5年生の「朝ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-11 朝ごはんの食事頻度】（小学校5年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

＜前回調査＞【図表 4-12 朝ごはんの食事頻度】（小学校5年生・所得分類別）



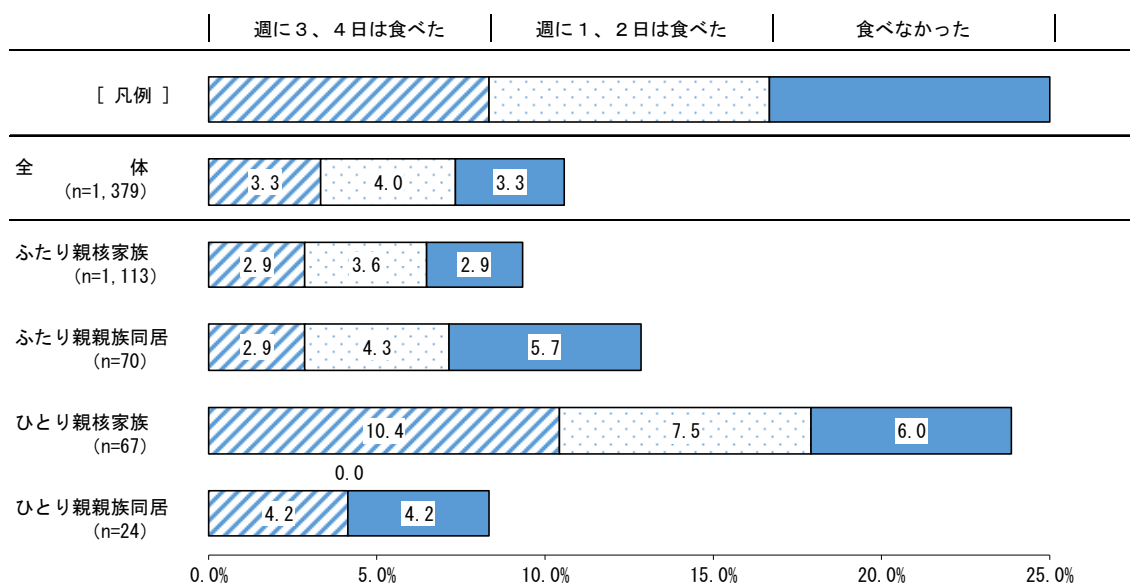
※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

中学校2年生の「朝ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「週に3、4日は食べた」が10.4%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「週に3、4日は食べた」は、『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高くなっている。

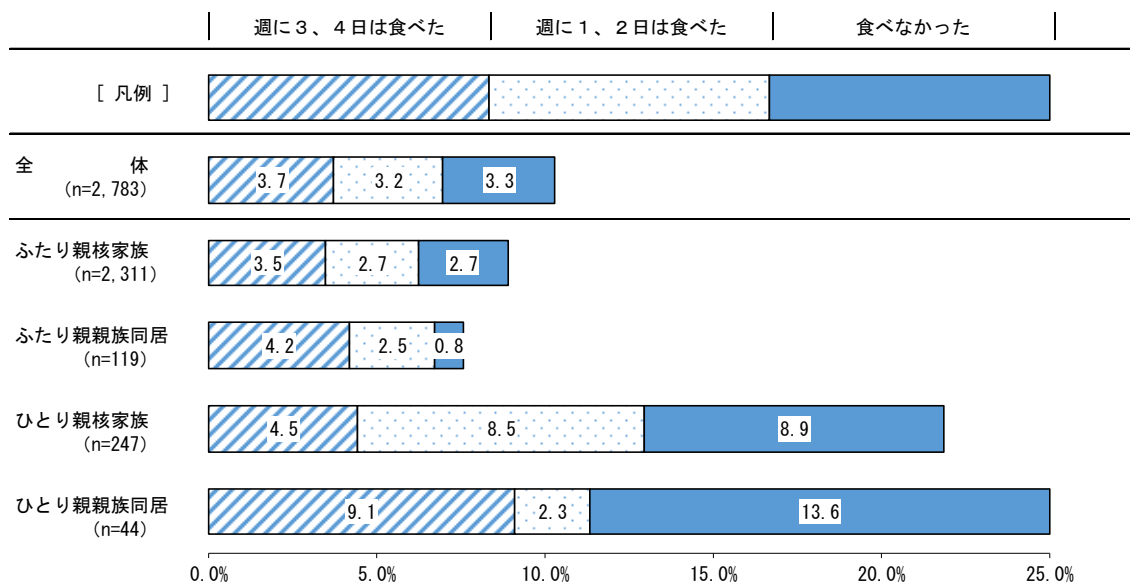
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-13 朝ごはんの食事頻度】(中学校2年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

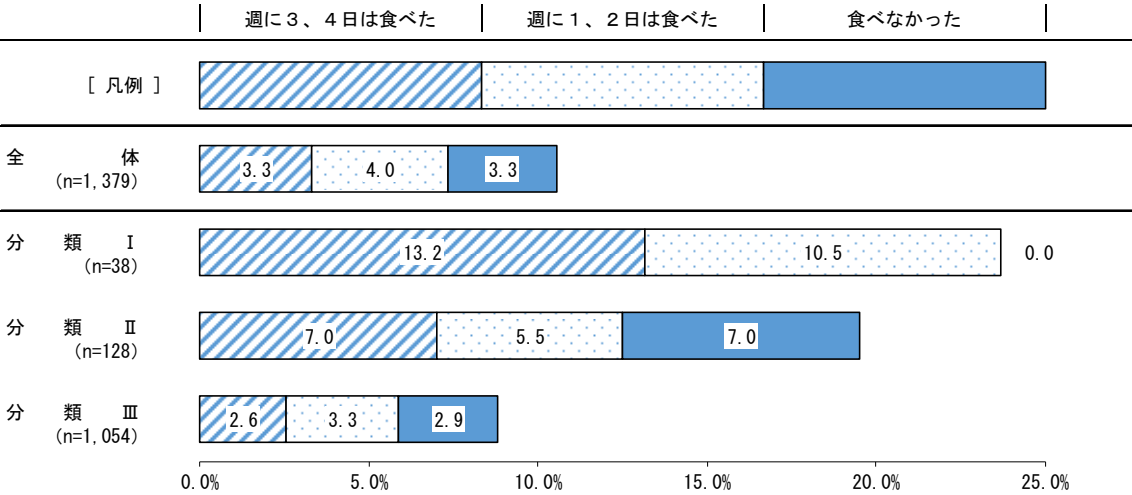
<前回調査>【図表 4-14 朝ごはんの食事頻度】(中学校2年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

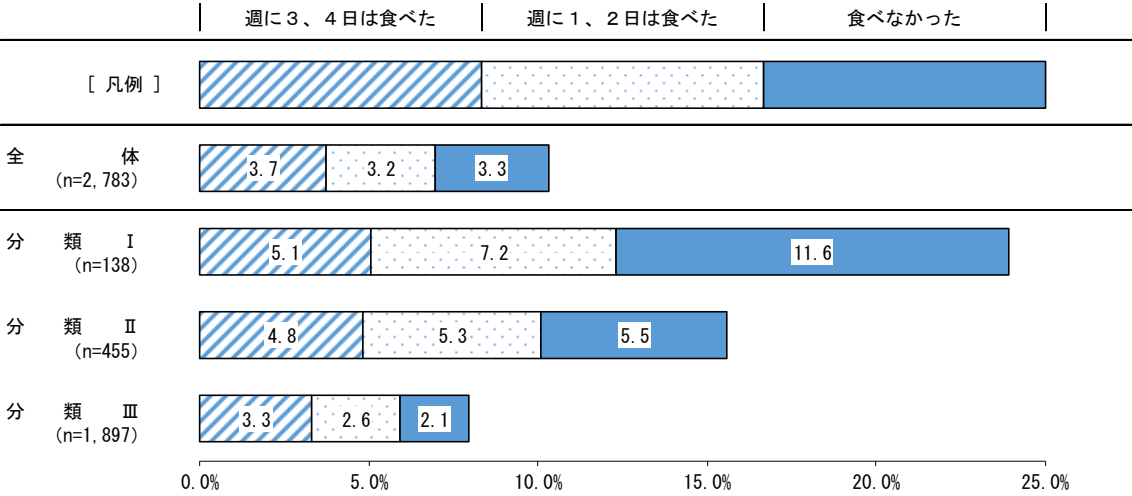
中学校2年生の「朝ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-15 朝ごはんの食事頻度】（中学校2年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

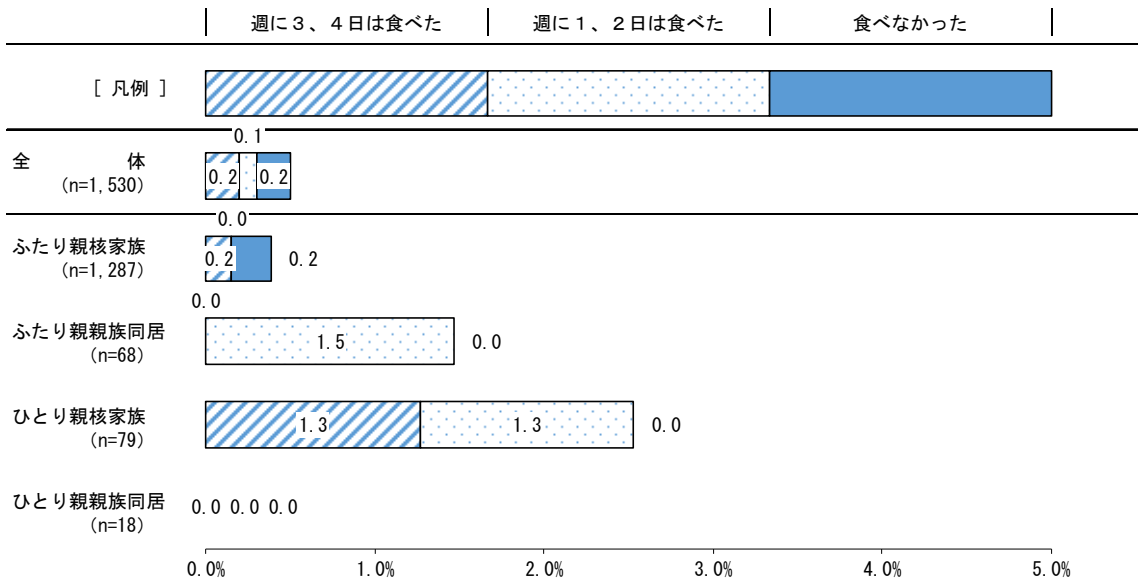
<前回調査>【図表 4-16 朝ごはんの食事頻度】（中学校2年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

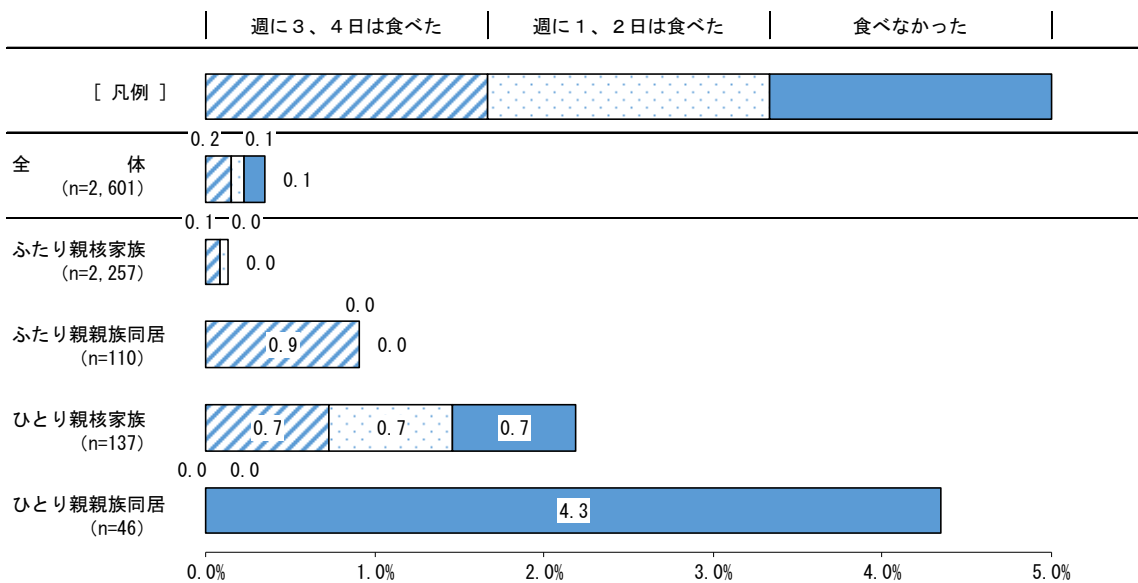
小学校5年生の「夕ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-17 夕ごはんの食事頻度】（小学校5年生・世帯構成別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

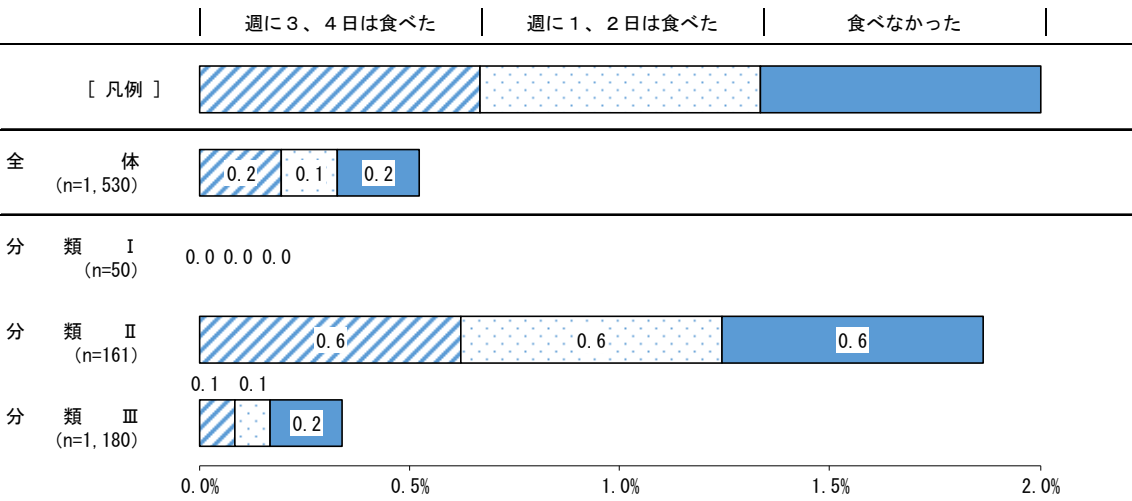
<前回調査>【図表 4-18 夕ごはんの食事頻度】（小学校5年生・世帯構成別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

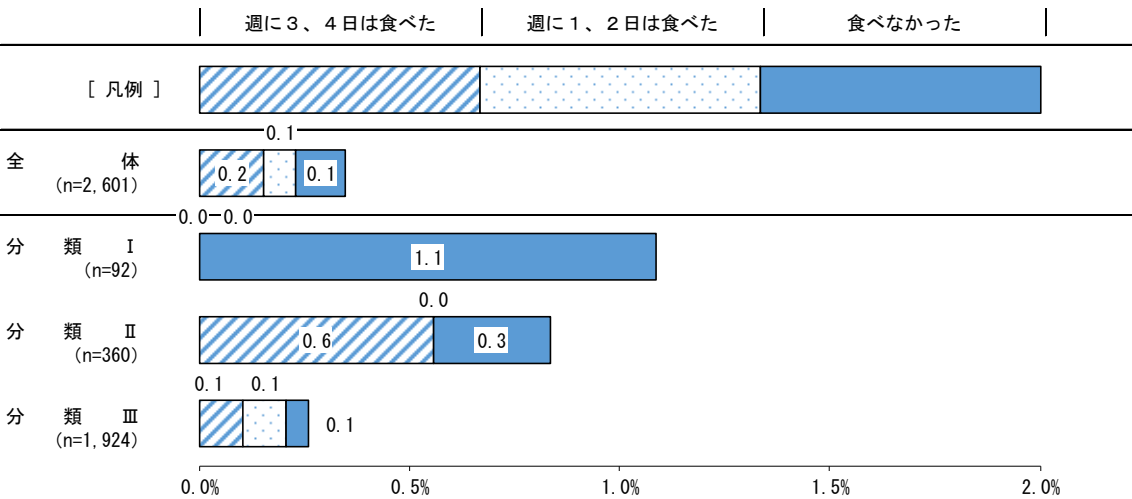
小学校5年生の「夕ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-19 夕ごはんの食事頻度】（小学校5年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

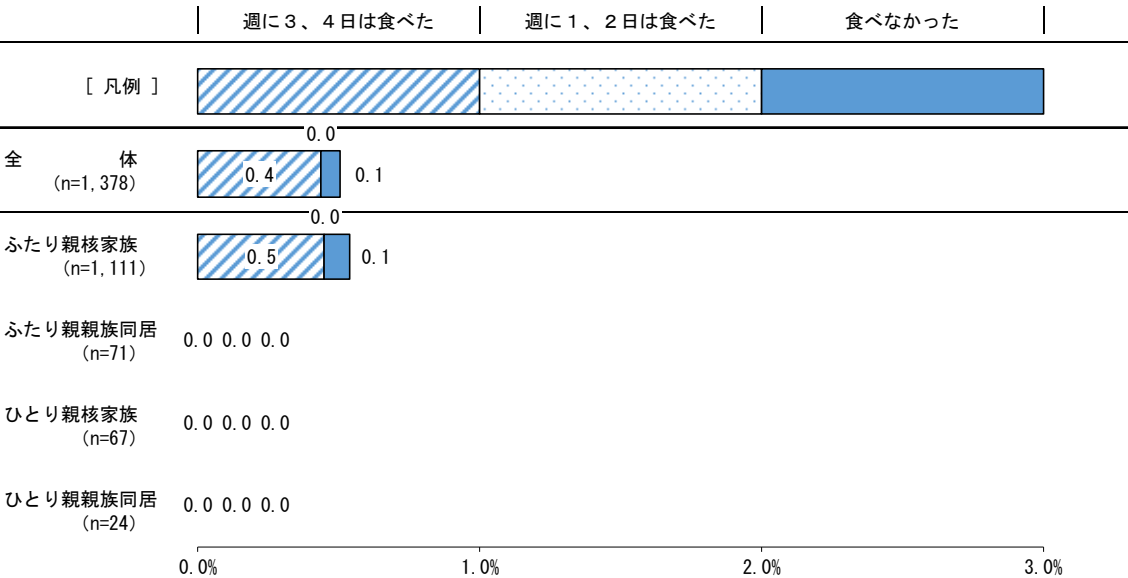
＜前回調査＞【図表 4-20 夕ごはんの食事頻度】（小学校5年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

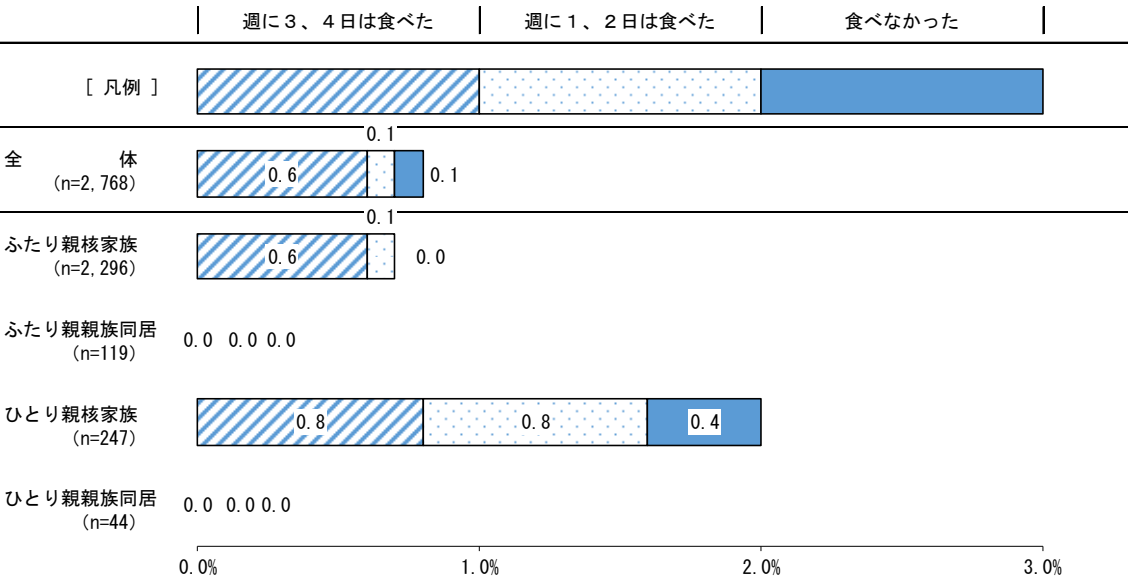
中学校2年生の「夕ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
経年でみると、大きな差はみられない。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-21 夕ごはんの食事頻度】（中学校2年生・世帯構成別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

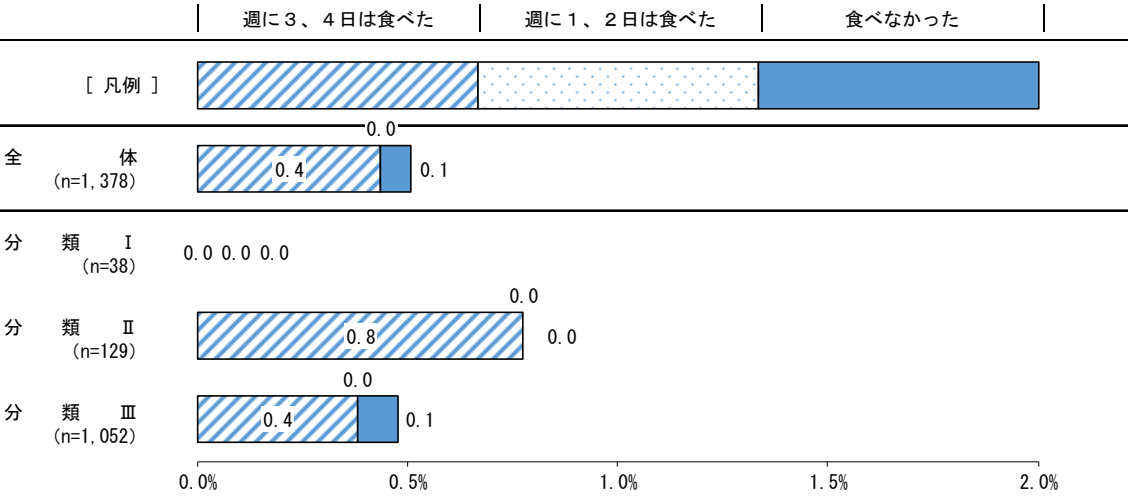
＜前回調査＞【図表 4-22 夕ごはんの食事頻度】（中学校2年生・世帯構成別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

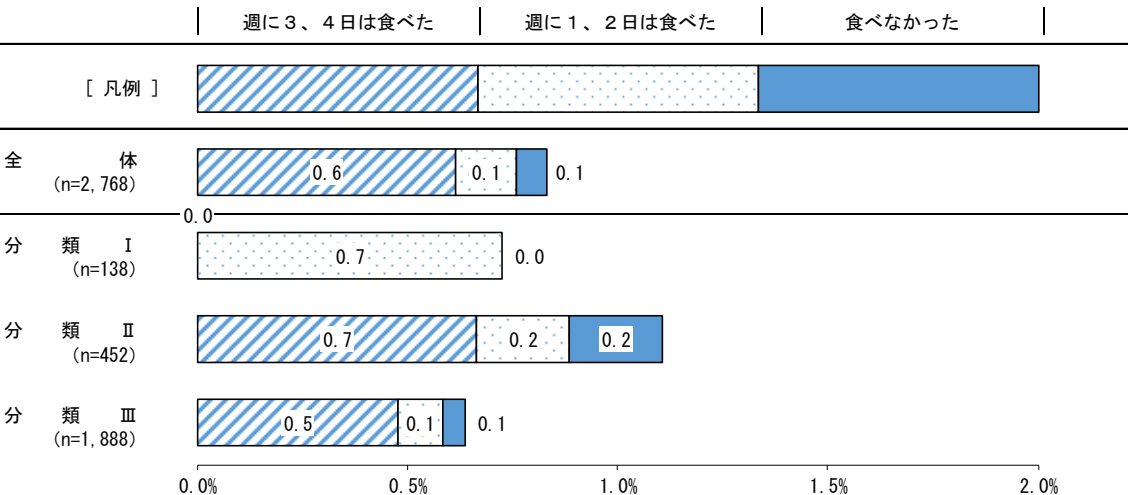
中学校2年生の「夕ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-23 夕ごはんの食事頻度】（中学校2年生・所得分類別）



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

<前回調査>【図表 4-24 夕ごはんの食事頻度】（中学校2年生・所得分類別）



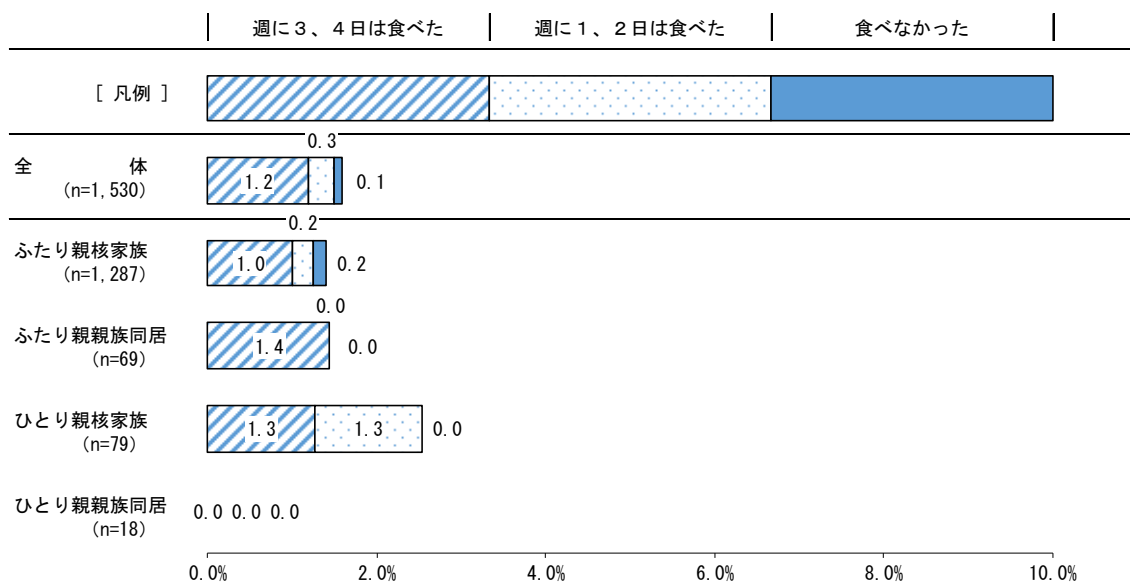
※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

小学校5年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、大きな差はみられない。

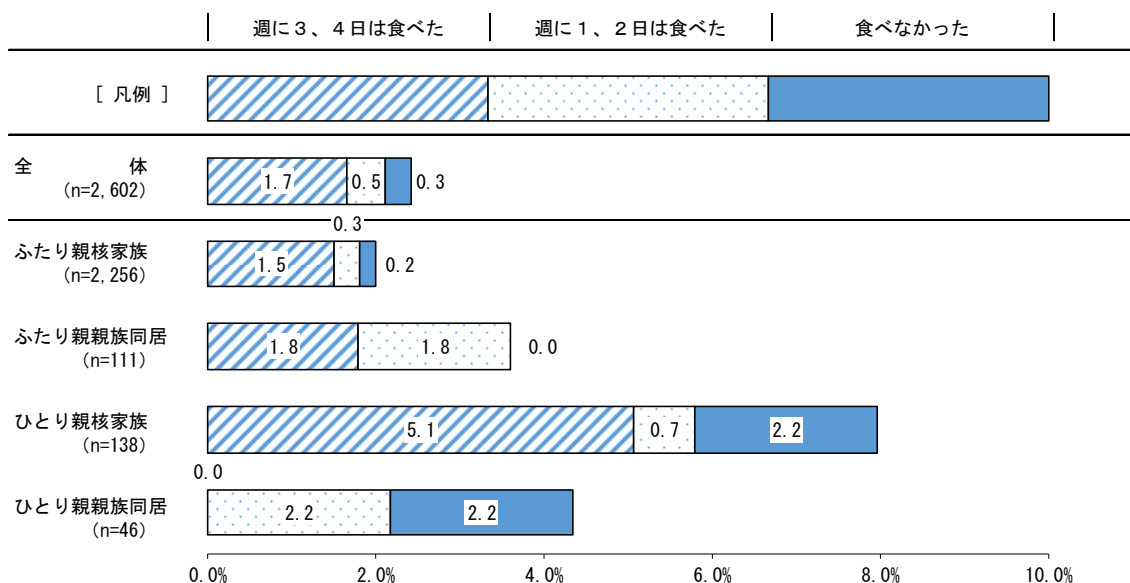
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-25 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(小学校5年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

<前回調査>【図表 4-26 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(小学校5年生・世帯構成別)

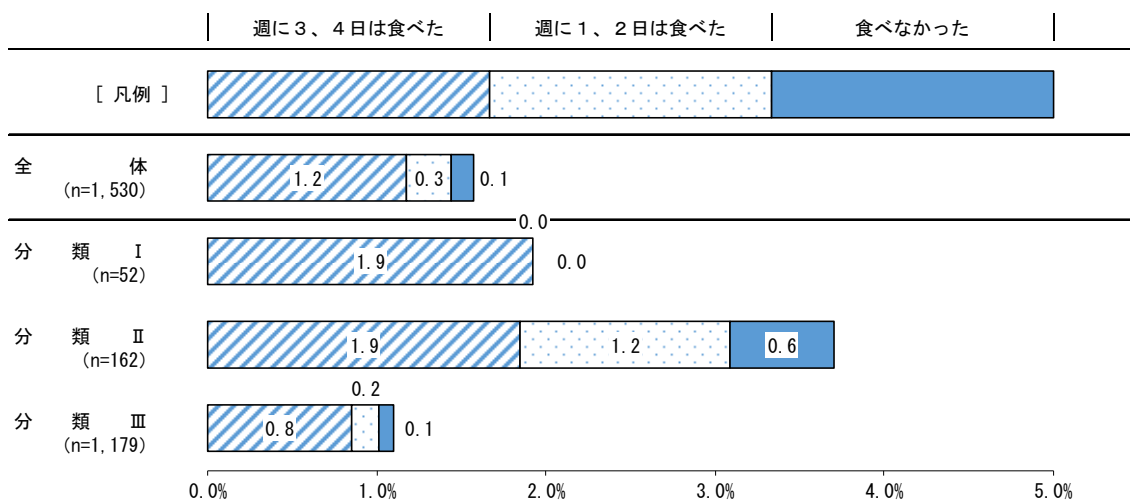


※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

小学校5年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

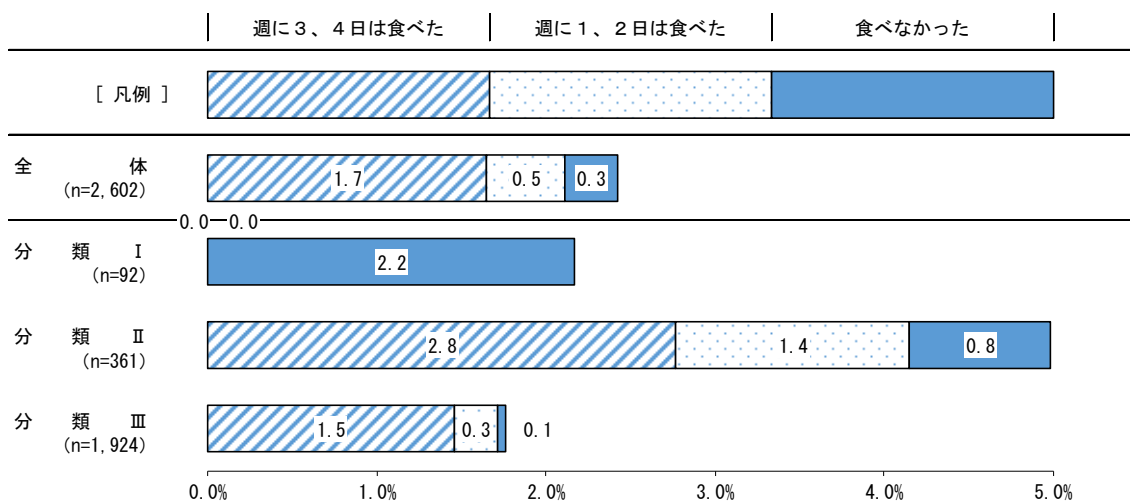
経年でみると、大きな差はみられない。

<今回調査>【図表 4-27 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(小学校5年生・所得分類別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

<前回調査>【図表 4-28 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(小学校5年生・所得分類別)



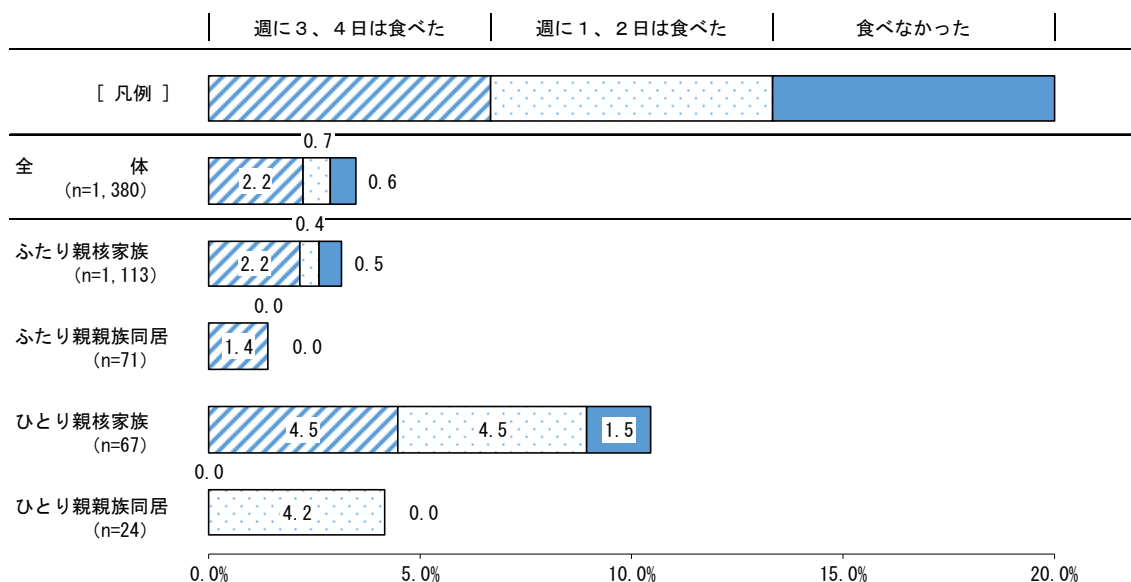
※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

中学校2年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、大きな差はみられない。

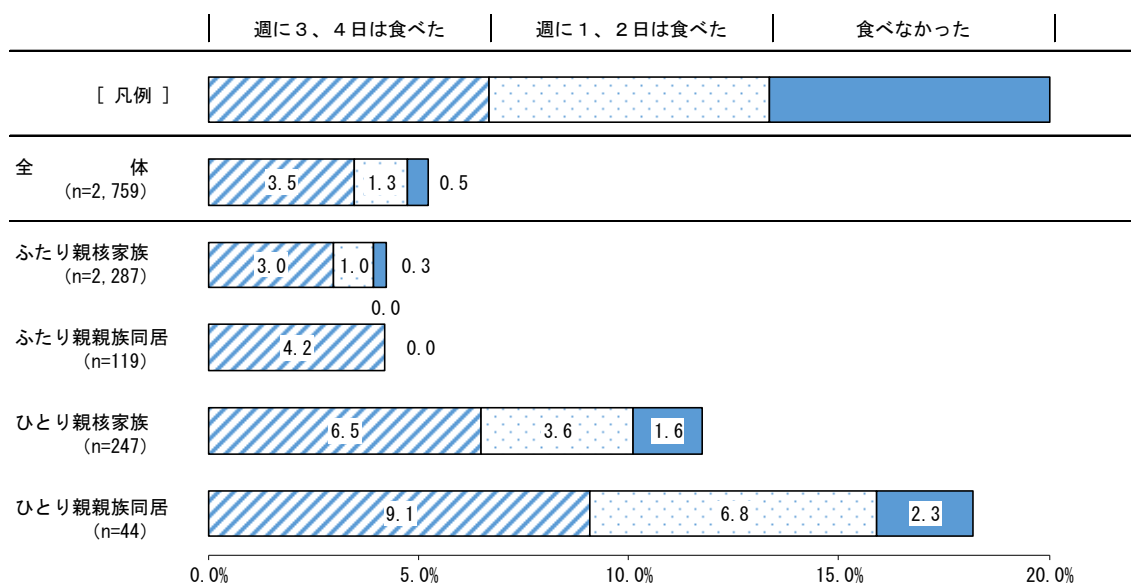
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-29 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(中学校2年生・世帯構成別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

<前回調査>【図表 4-30 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(中学校2年生・世帯構成別)



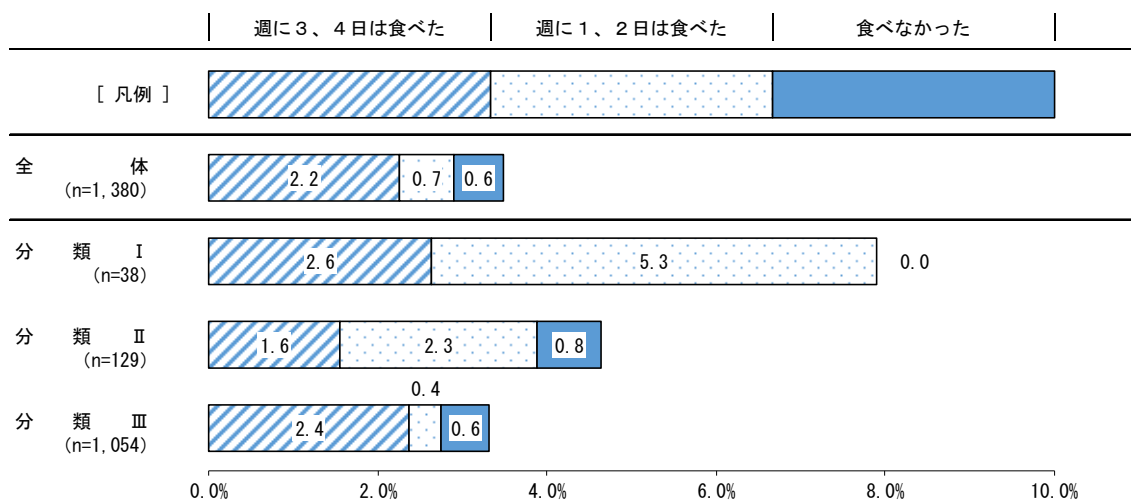
※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

中学校2年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、大きな差はみられない。

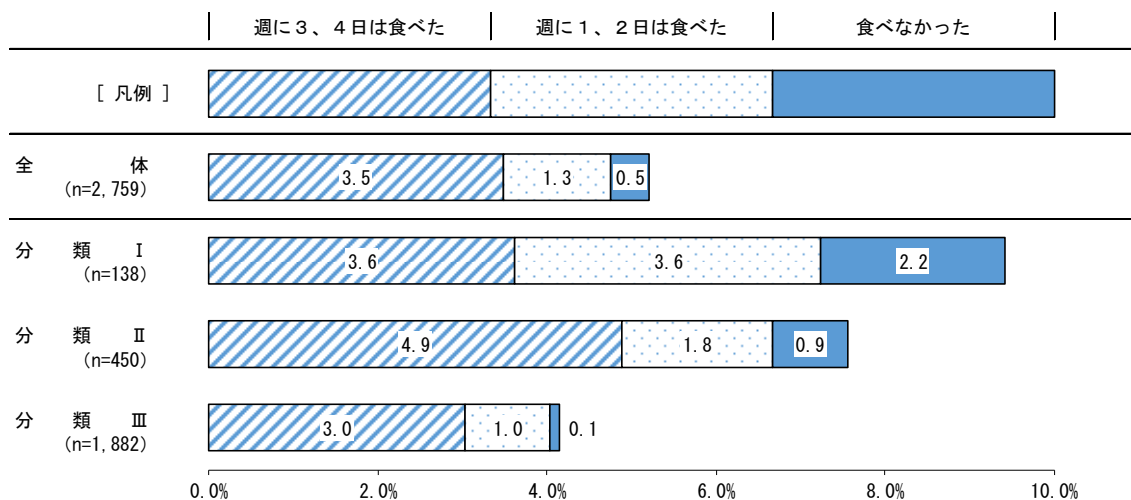
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-31 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(中学校2年生・所得分類別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

<前回調査>【図表 4-32 夏休みのお昼ごはんの食事頻度】(中学校2年生・所得分類別)



※「毎日食べた」「週に5、6日は食べた」を除く

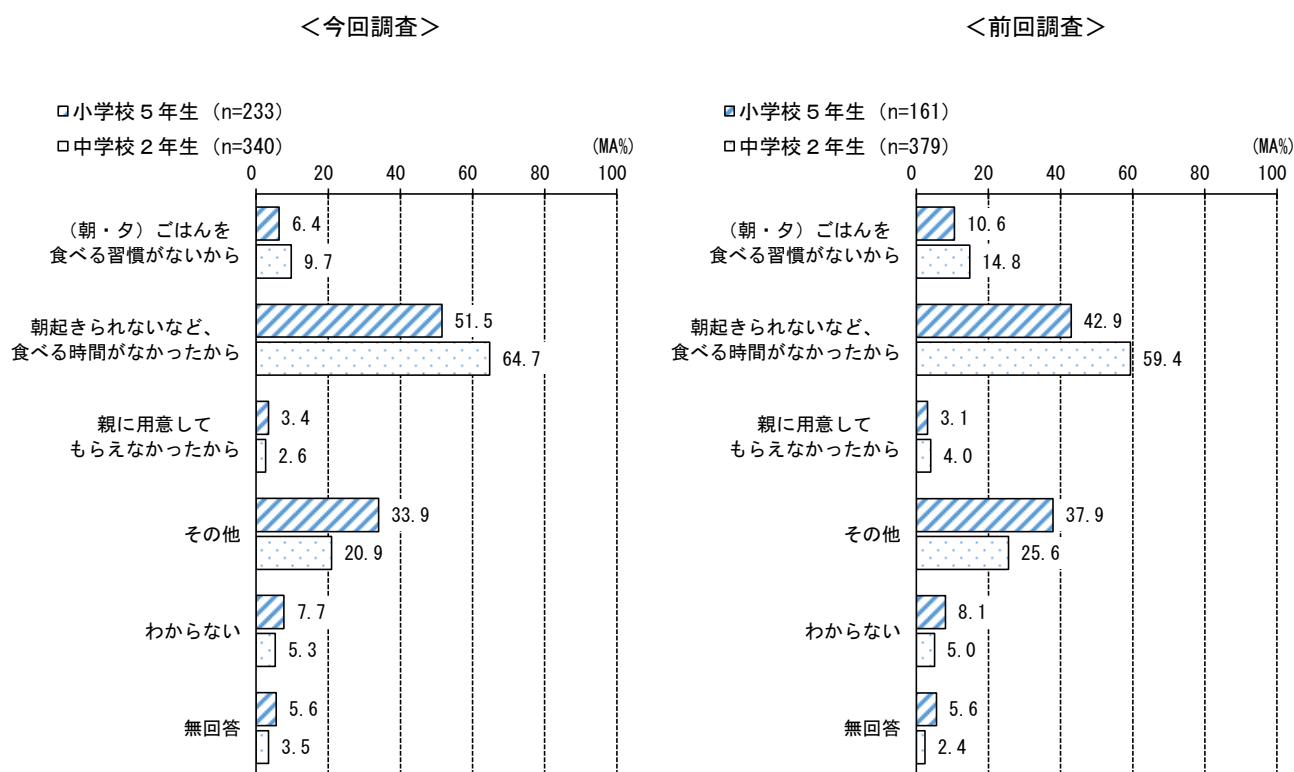
② 食事をとっていない理由【問9-1】(MA)

朝食、夕食、夏休みの昼食を一つでも「週に5、6日は食べた」、「週に3、4日は食べた」、「週に1、2日は食べた」、「食べなかった」と回答した方に、食事をとっていない理由を複数回答で聞いたところ、「朝起きられないなど、食べる時間がなかったから」(小学校5年生：51.5%、中学校2年生：64.7%)が最も高く、次いで「(朝・夕)ごはんを食べる習慣がないから」(小学校5年生：6.4%、中学校2年生：9.7%)、「親に用意してもらえなかったから」(小学校5年生：3.4%、中学校2年生：2.6%)となっている。

経年でみると、「(朝・夕)ごはんを食べる習慣がないから」は前回調査に比べて中学校2年生で低くなっている一方で、「朝起きられないなど、食べる時間がなかったから」は小学校5年生、中学校2年生ともに高くなっている。

なお、前回調査は設問内容(分岐条件)が異なるため、参考値とする。

【図表 4-33 食事をとっていない理由(複数回答)】



(2) 子どもの居場所

ア 自宅や学校以外の居場所の利用状況

① 利用状況と利用希望【問 10】(SA)

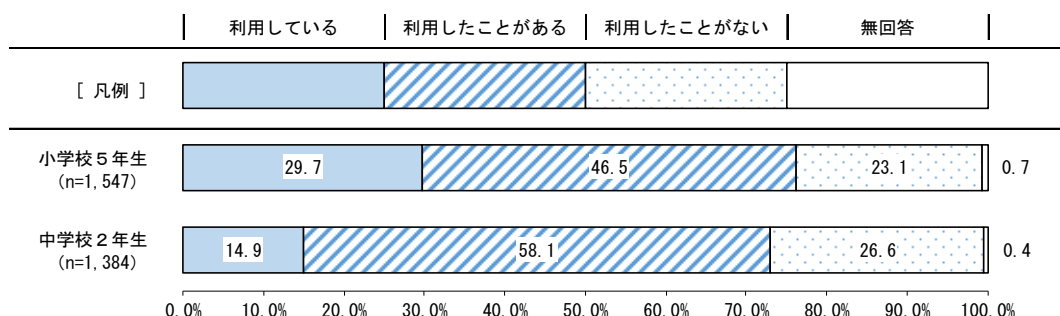
自宅や学校以外の居場所の利用状況を聞いたところ、『自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）』では「利用している」は小学校5年生が29.7%、中学校2年生が14.9%、「利用したことがある」は小学校5年生が46.5%、中学校2年生が58.1%となっている。

利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が53.2%、中学校2年生が46.6%、「利用したくない」は小学校5年生が31.9%、中学校2年生が44.4%となっている。

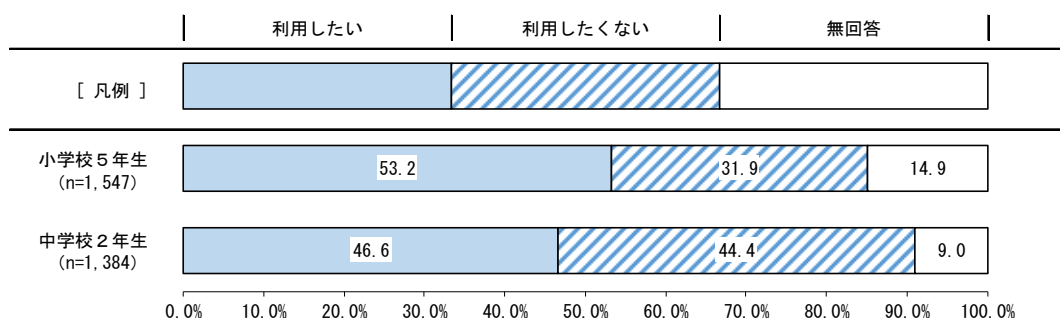
なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

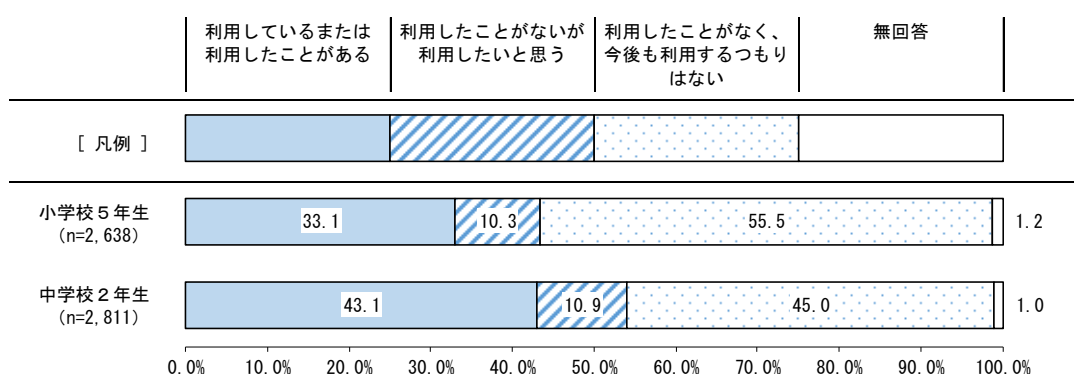
＜今回調査＞【図表 4-34 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】



＜今回調査＞【図表 4-35 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】



＜前回調査＞【図表 4-36 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】

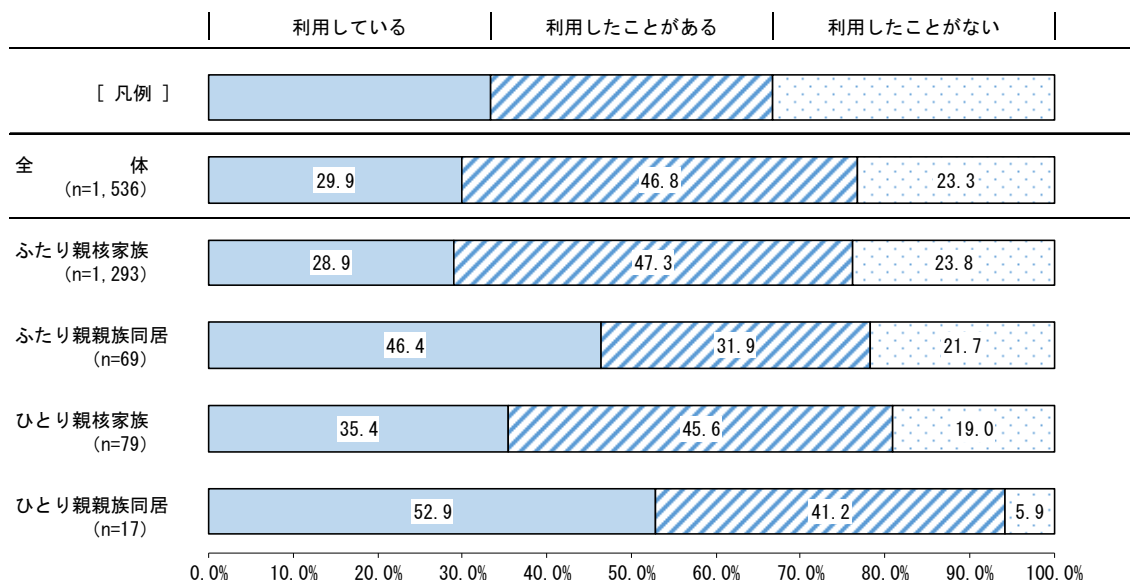


小学校5年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用している」が46.4%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-37 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）

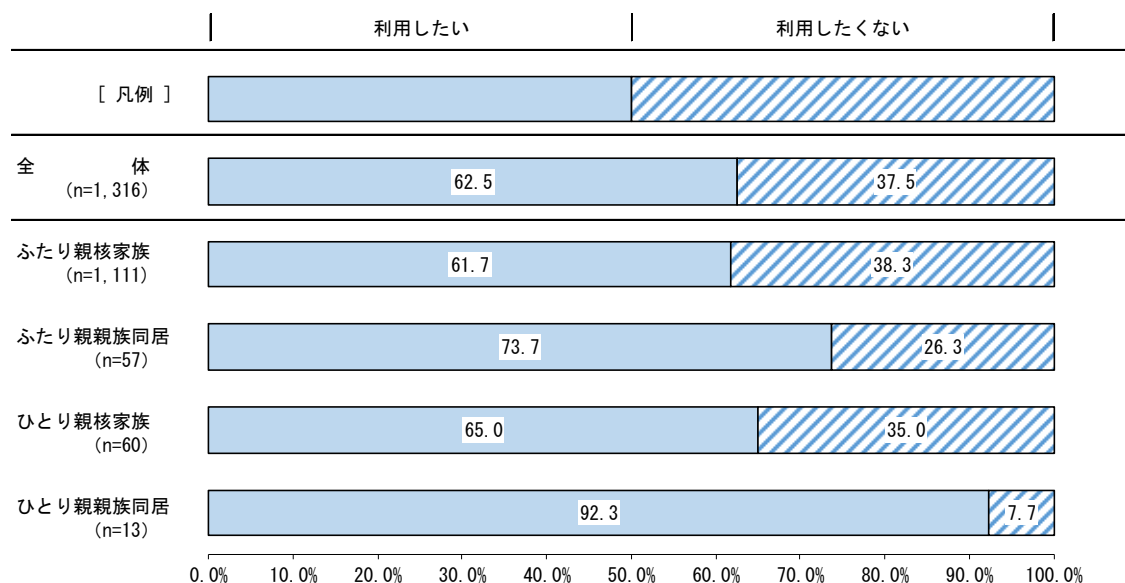


小学校5年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用したい」が73.7%と、全体に比べて高くなっている。

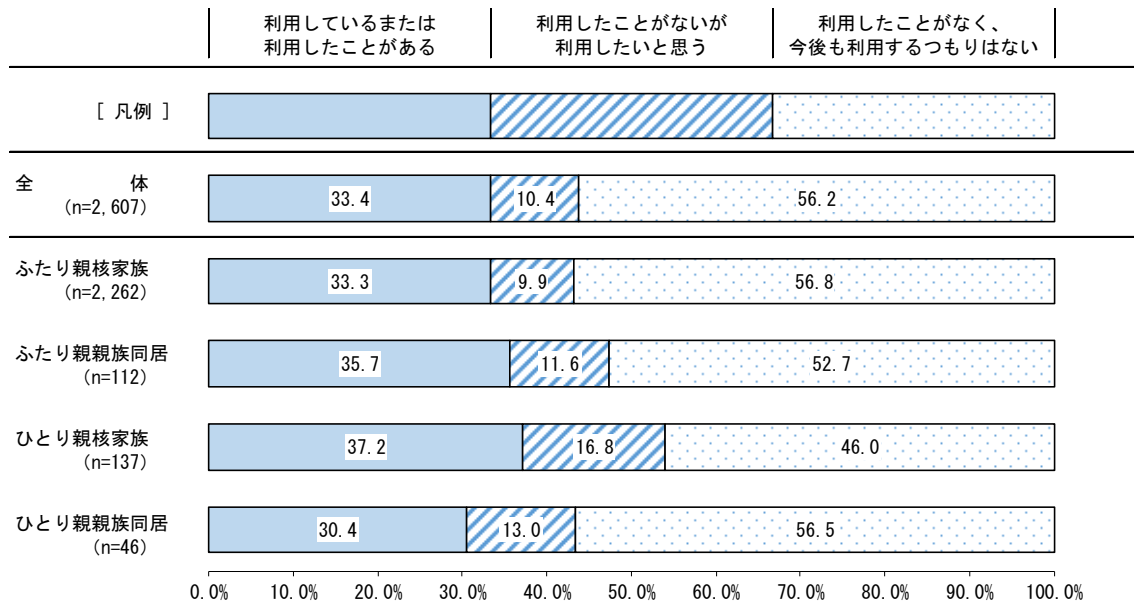
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-38 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】（小学校5年生・世帯構成別）

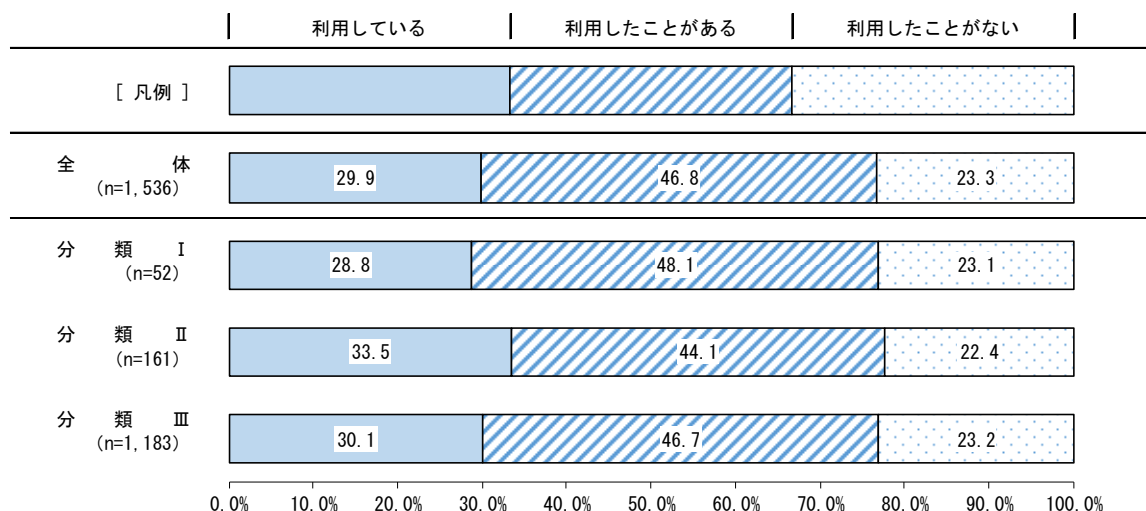


＜前回調査＞【図表 4-39 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所
（こども文化センターなど）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）



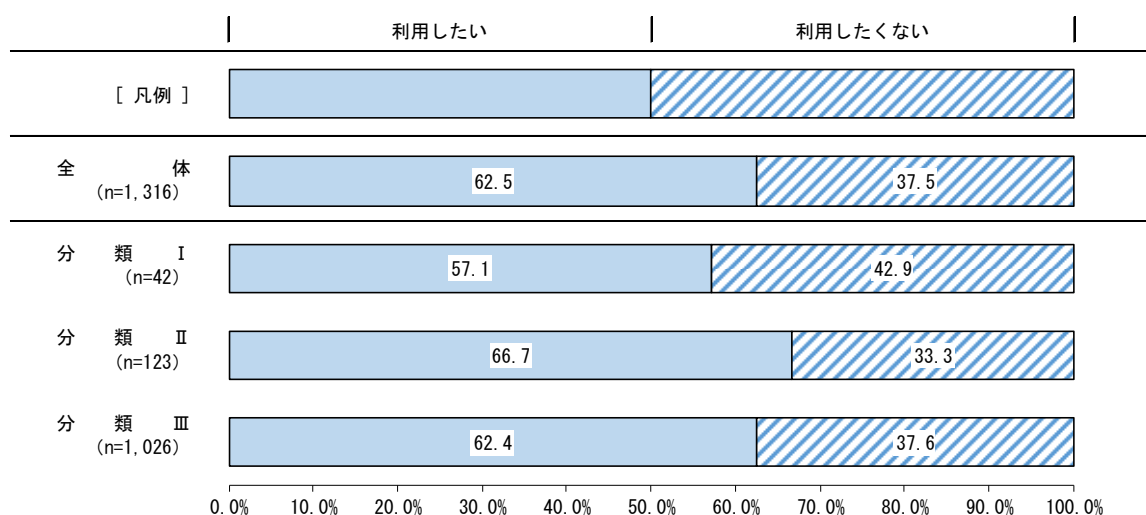
小学校5年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-40 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所
 （こども文化センターなど）の利用状況】（小学校5年生・所得分類別）

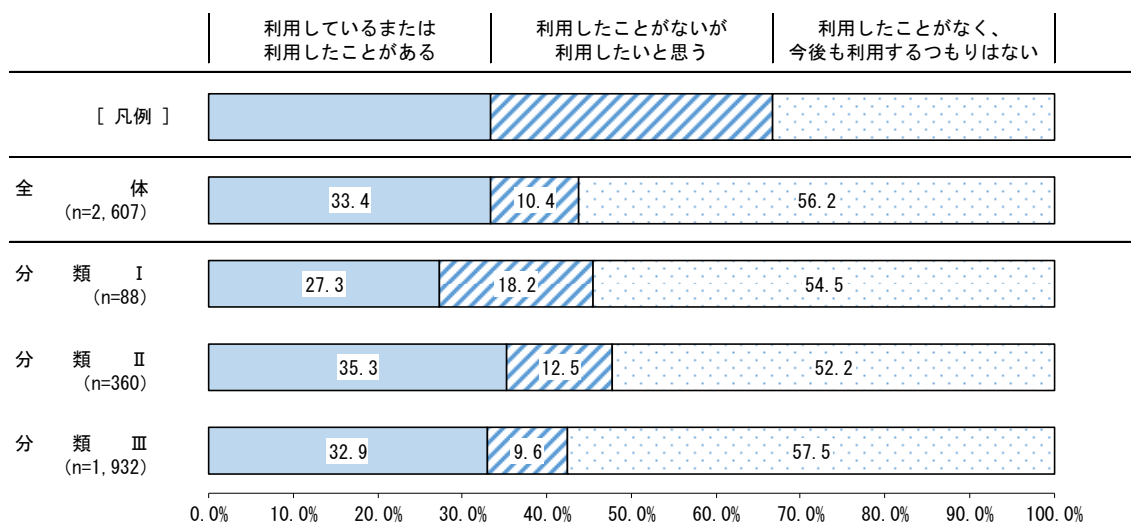


小学校5年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。
 前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-41 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所
 （こども文化センターなど）の利用希望】（小学校5年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-42 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所
（こども文化センターなど）の利用状況】（小学校5年生・所得分類別）

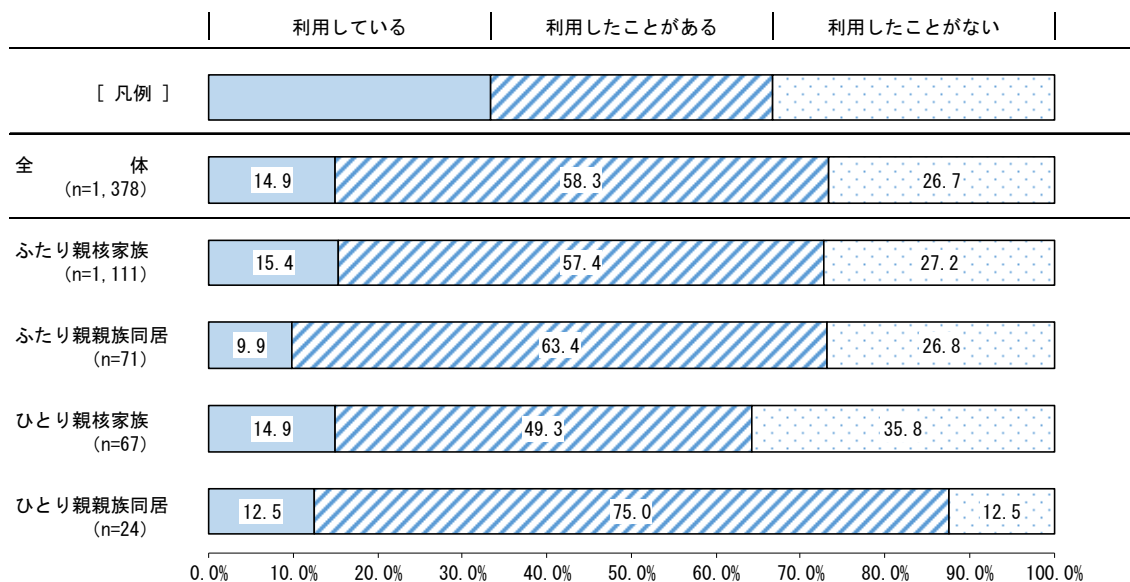


中学校2年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「利用したことがない」が35.8%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-43 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

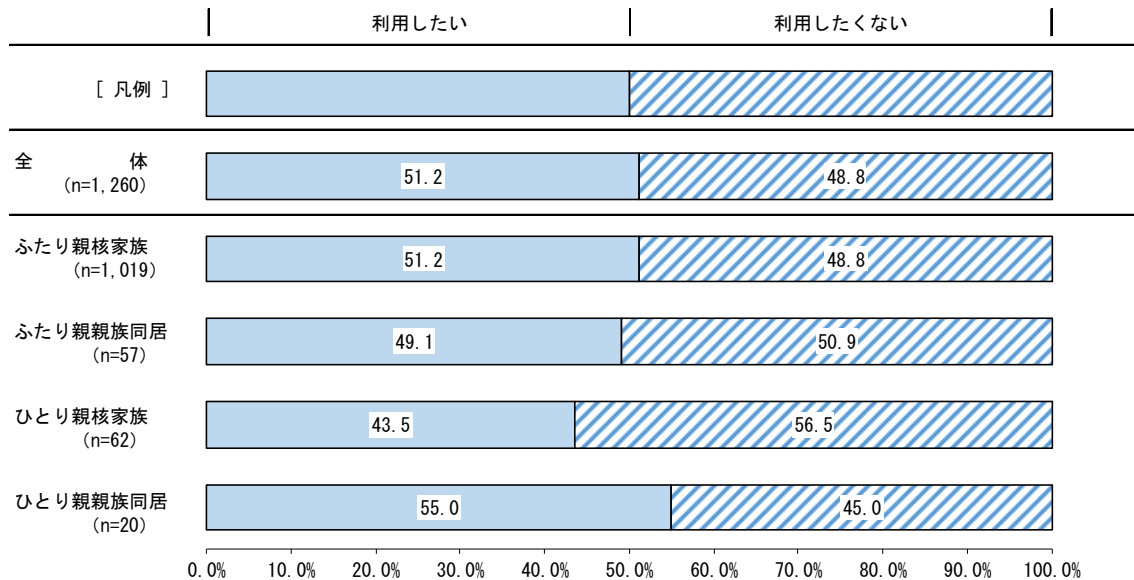


中学校2年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

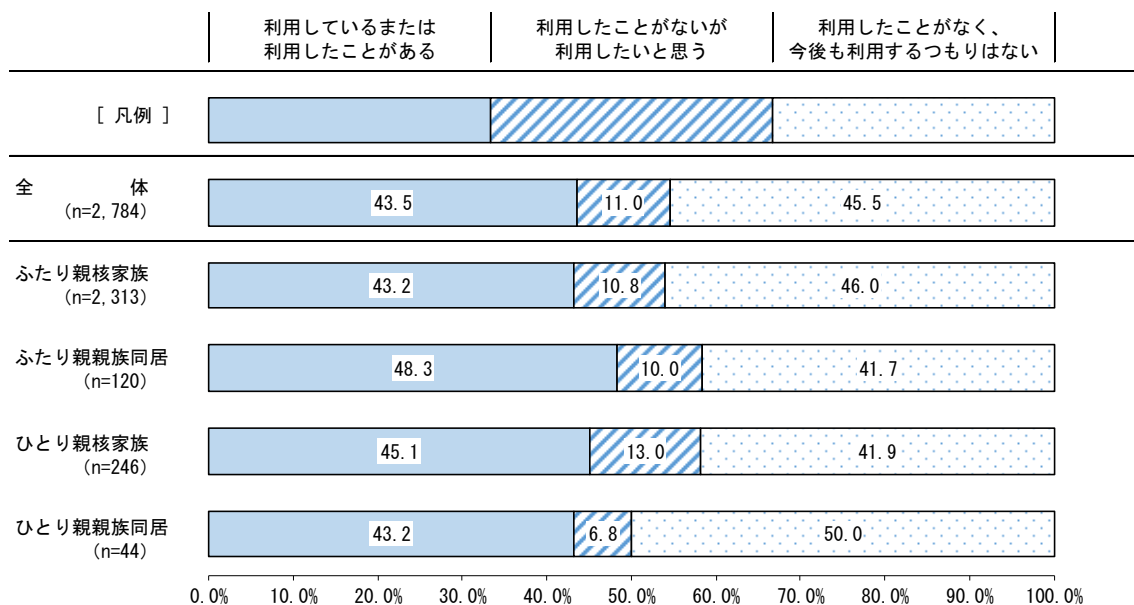
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-44 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】（中学校2年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-45 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

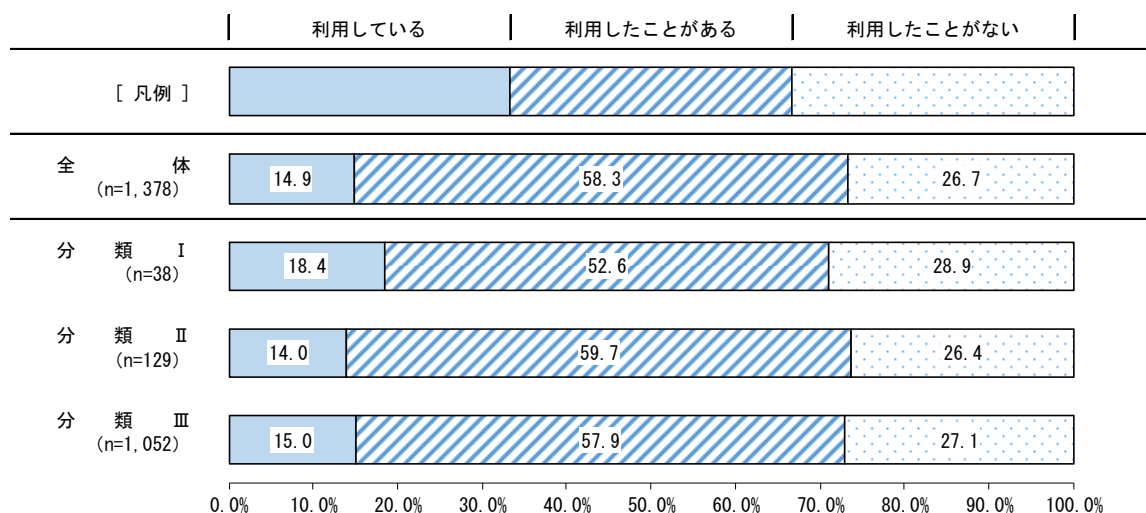


中学校2年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-46 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）

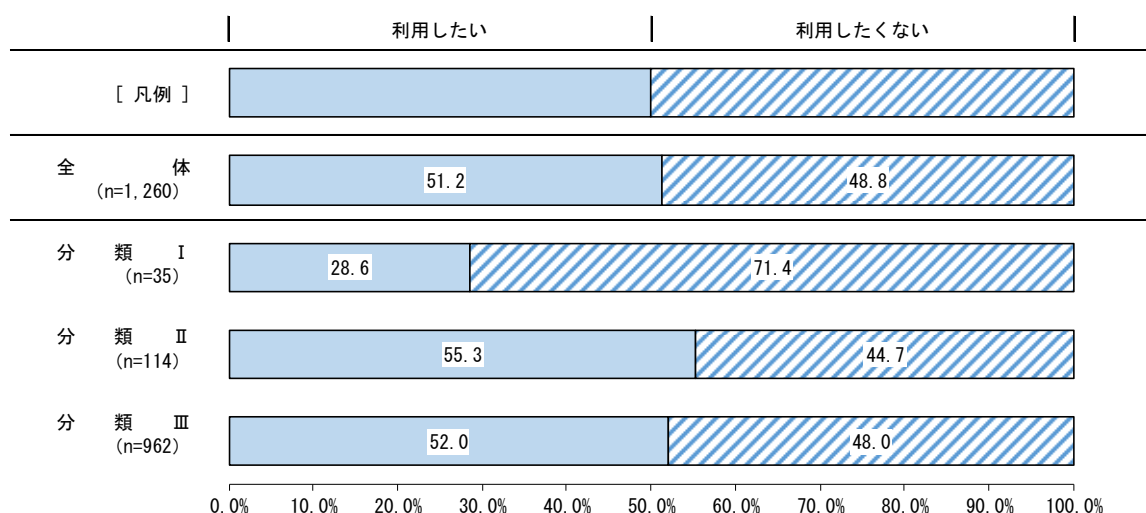


中学校2年生の自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

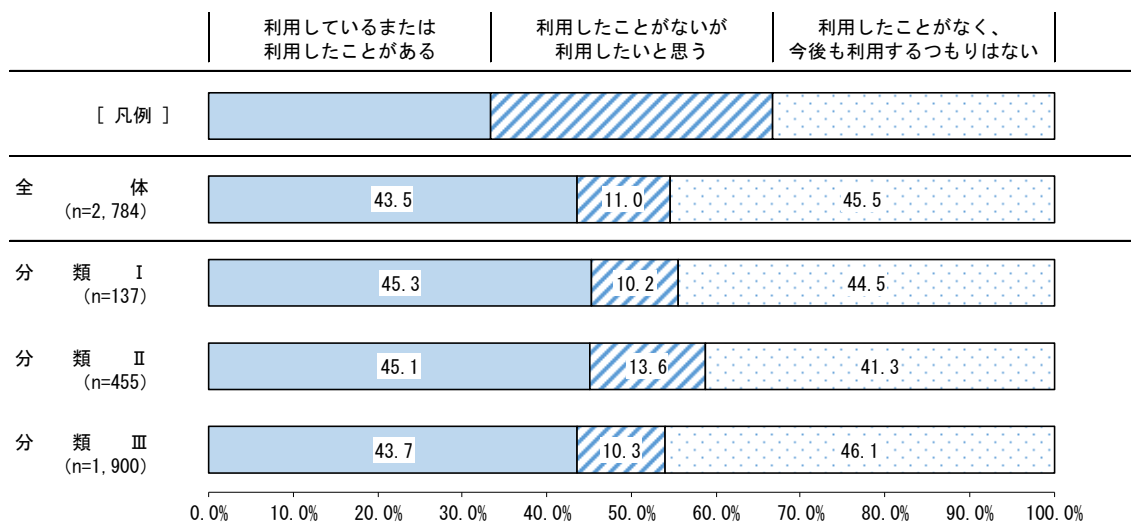
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-47 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】（中学校2年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-48 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所
（こども文化センターなど）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）

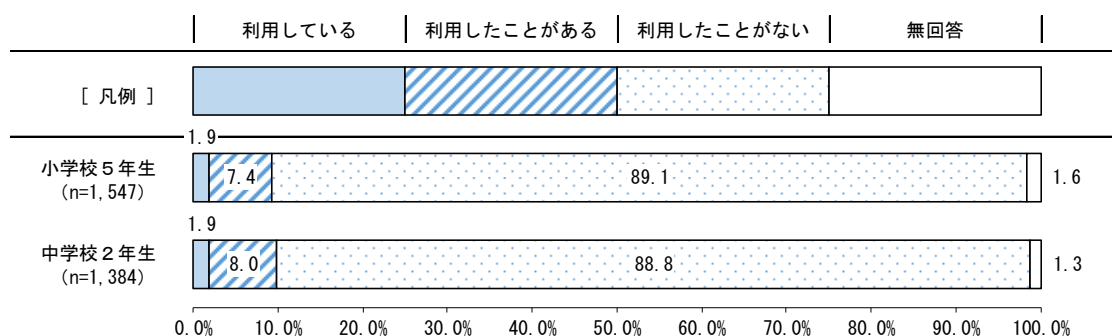


『自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）』では「利用している」は小学校5年生が1.9%、中学校2年生が1.9%、「利用したことがある」は小学校5年生が7.4%、中学校2年生が8.0%となっている。

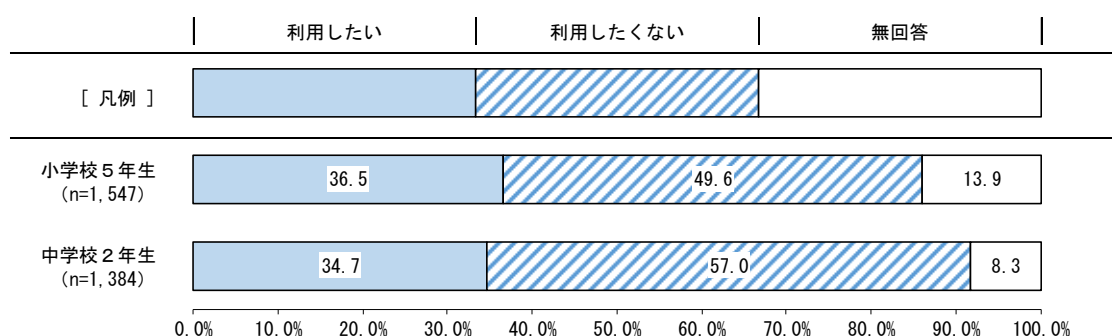
利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が36.5%、中学校2年生が34.7%、「利用したくない」は小学校5年生が49.6%、中学校2年生が57.0%となっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

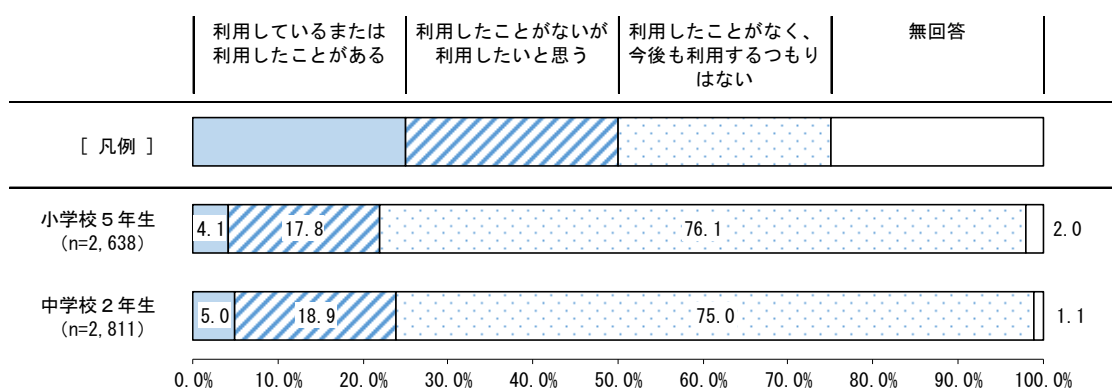
<今回調査>【図表 4-49 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】



<今回調査>【図表 4-50 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】



<前回調査>【図表 4-51 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】

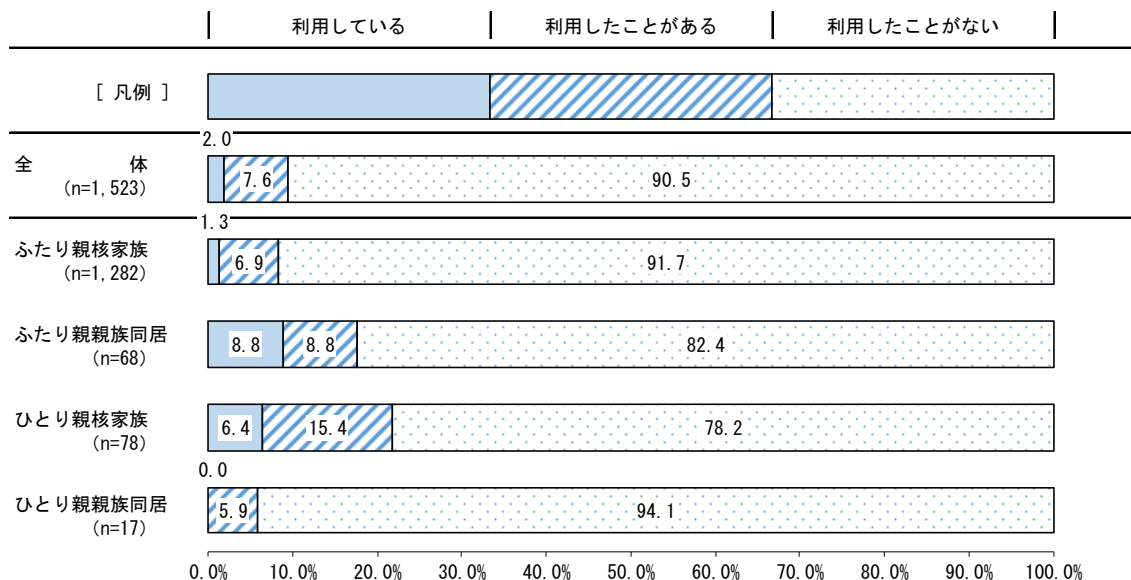


小学校5年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用している」が8.8%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-52 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）

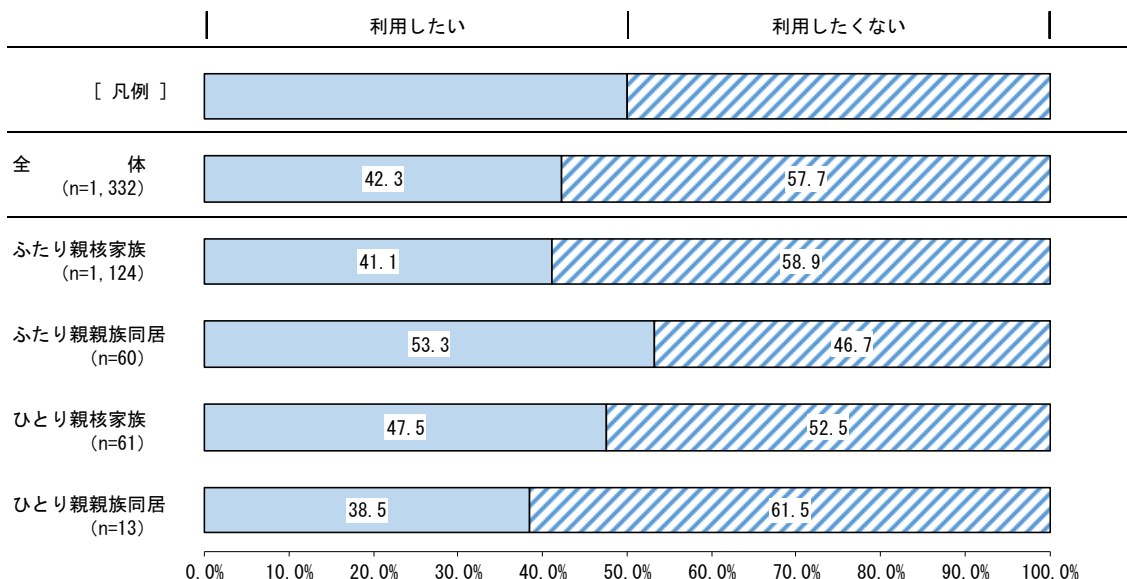


小学校5年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「利用したい」が47.5%と、全体に比べて高くなっている。

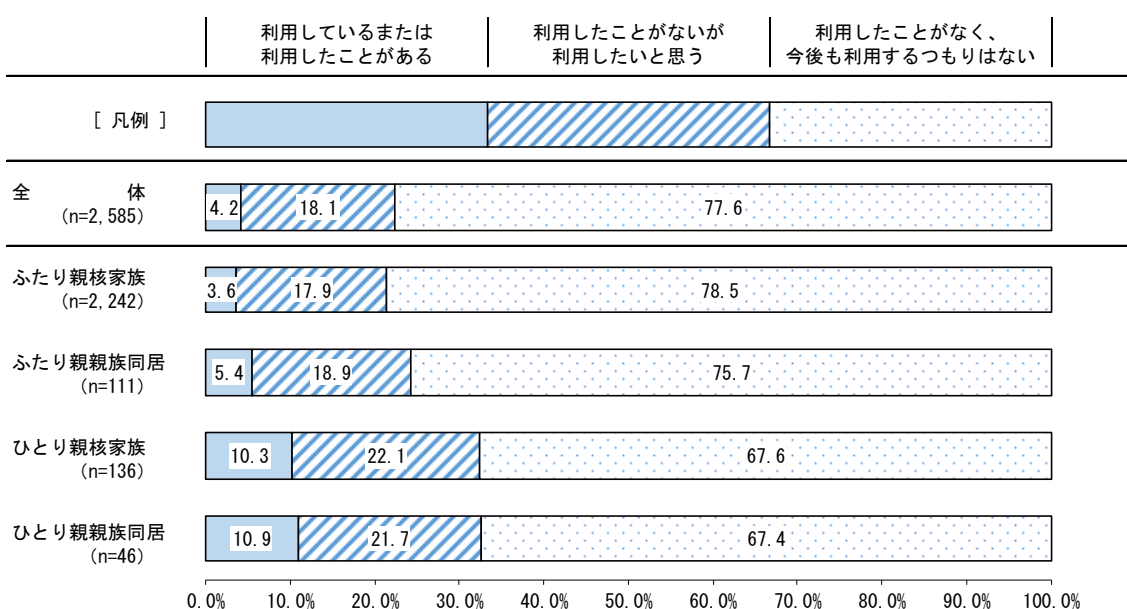
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-53 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】（小学校5年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-54 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）

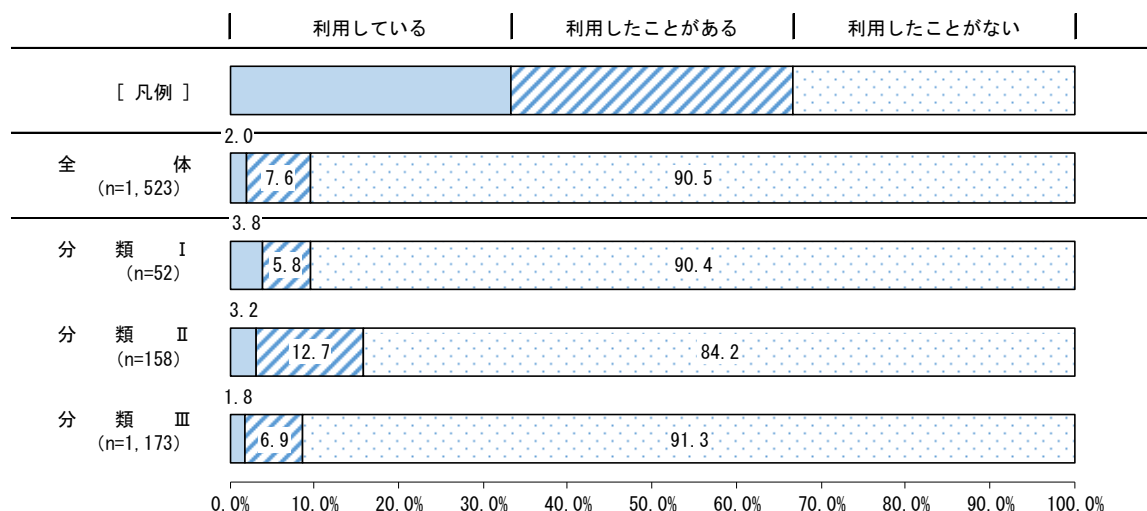


※ページ調整のため余白

小学校5年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況を所得分類別にみると、「利用したことがある」は『分類Ⅱ』が12.7%と全体に比べて高く、「利用したことがない」は『分類Ⅱ』が84.2%と全体に比べて低くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

<今回調査>【図表 4-55 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】（小学校5年生・所得分類別）

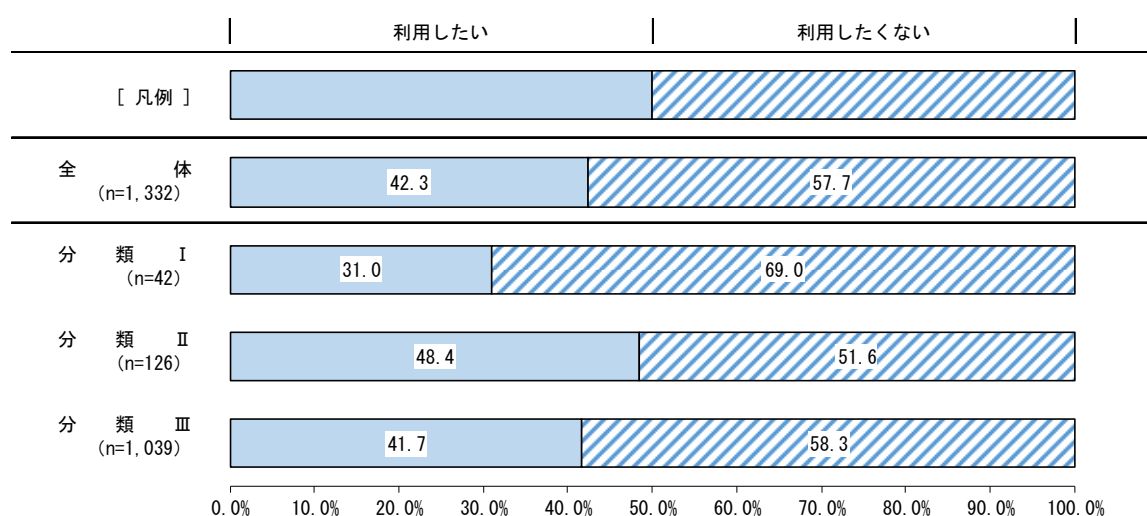


小学校5年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望を所得分類別にみると、「利用したい」は『分類Ⅱ』が48.4%と全体に比べて高くなっている。

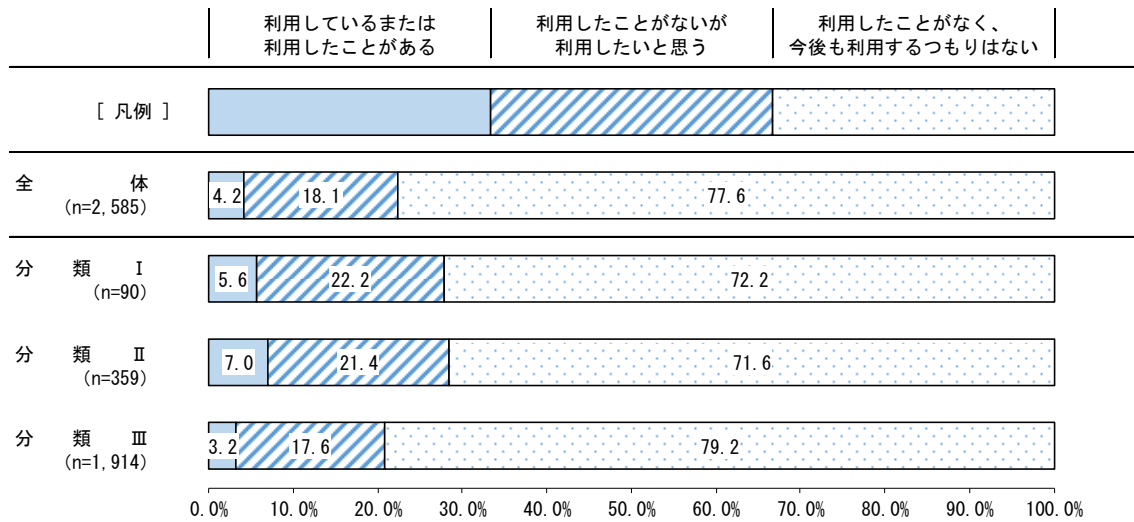
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

<今回調査>【図表 4-56 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】（小学校5年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-57 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所
（子ども食堂など）の利用状況】（小学校5年生・所得分類別）

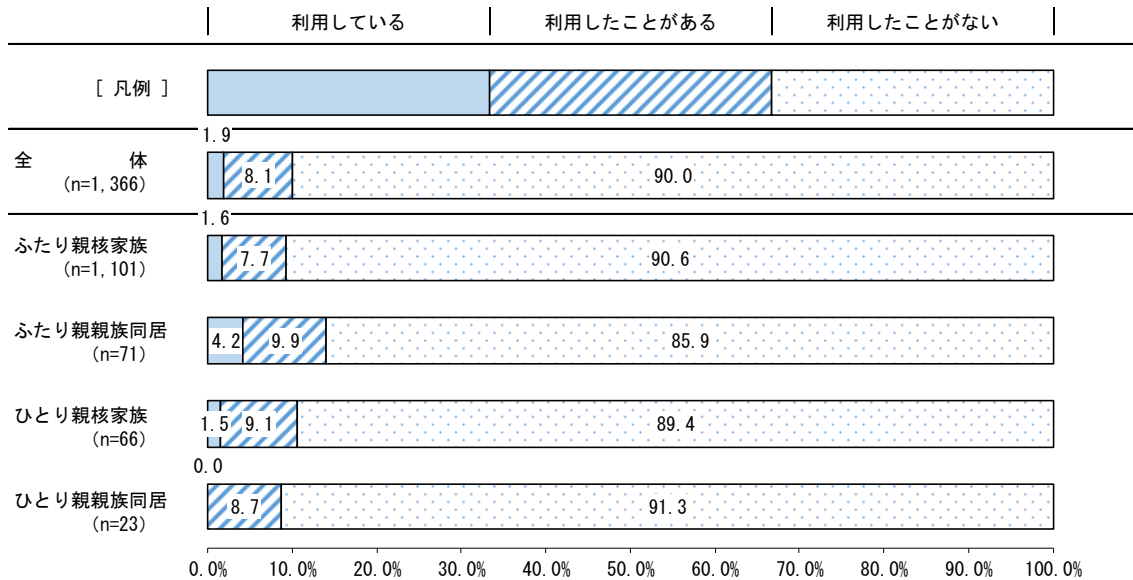


中学校2年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-58 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

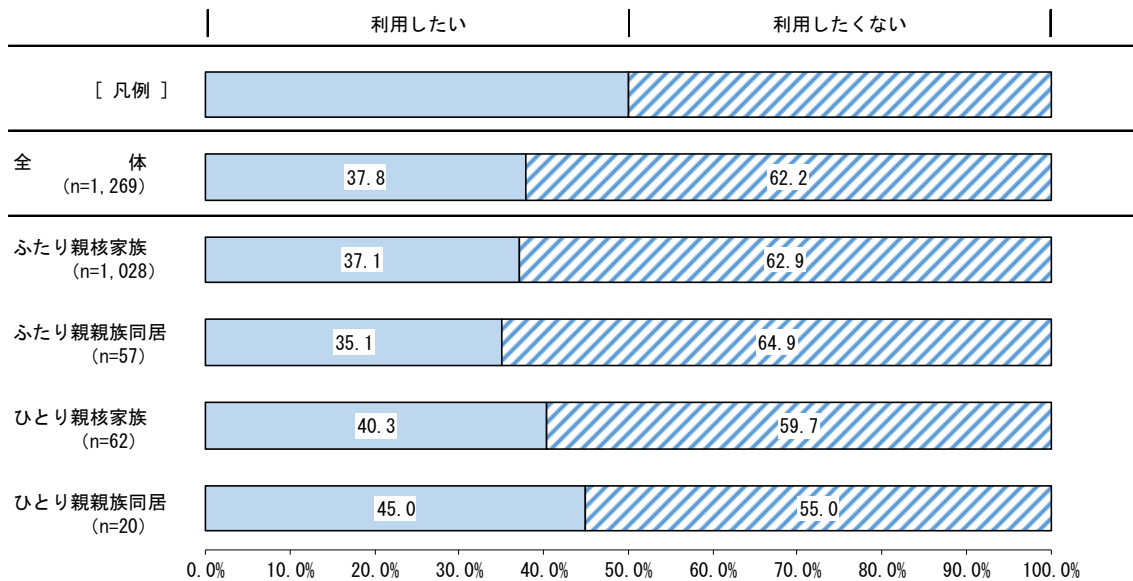


中学校2年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

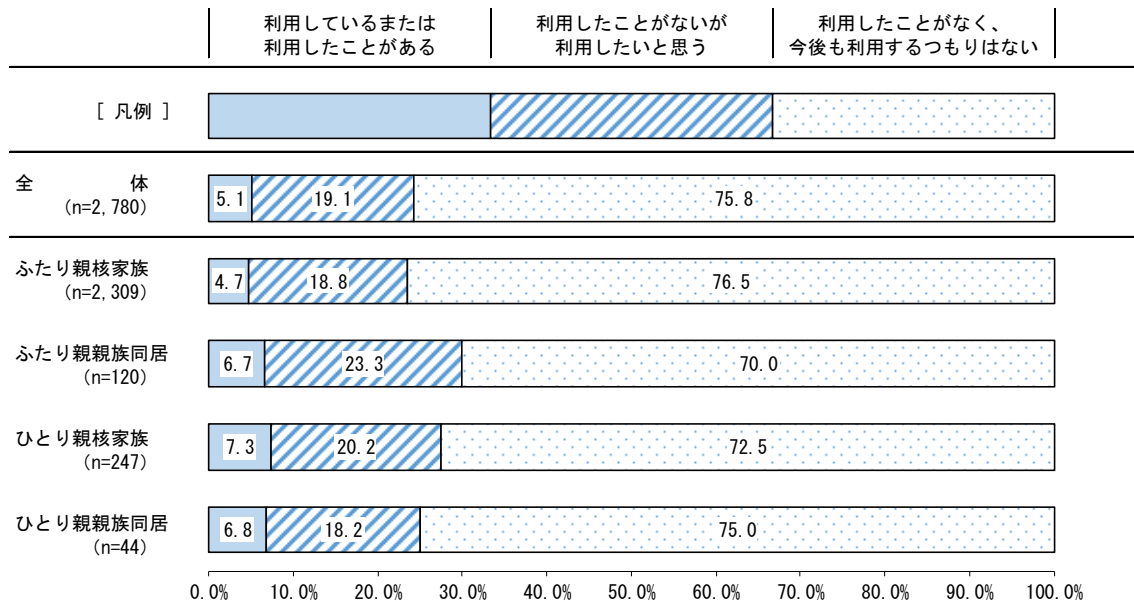
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-59 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】（中学校2年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-60 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所
（子ども食堂など）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

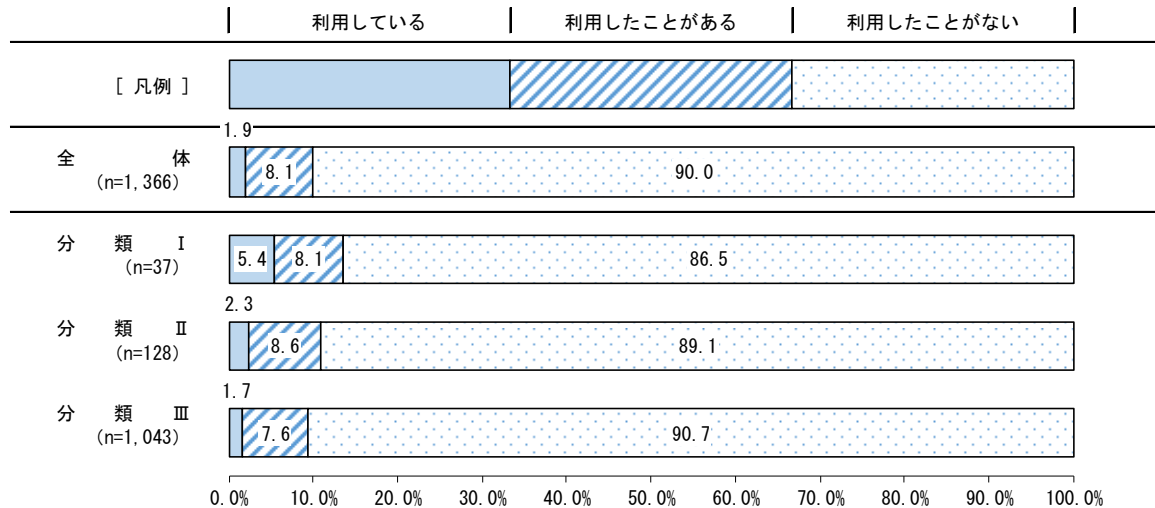


中学校2年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-61 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）

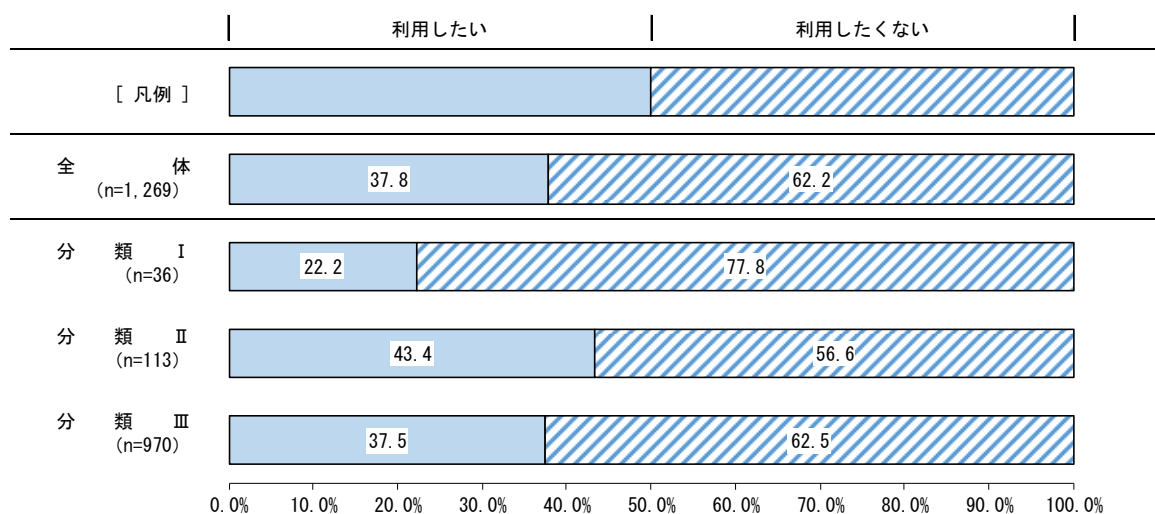


中学校2年生の自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望を所得分類別にみると、「利用したい」は『分類Ⅱ』が43.4%と全体に比べて高くなっている。

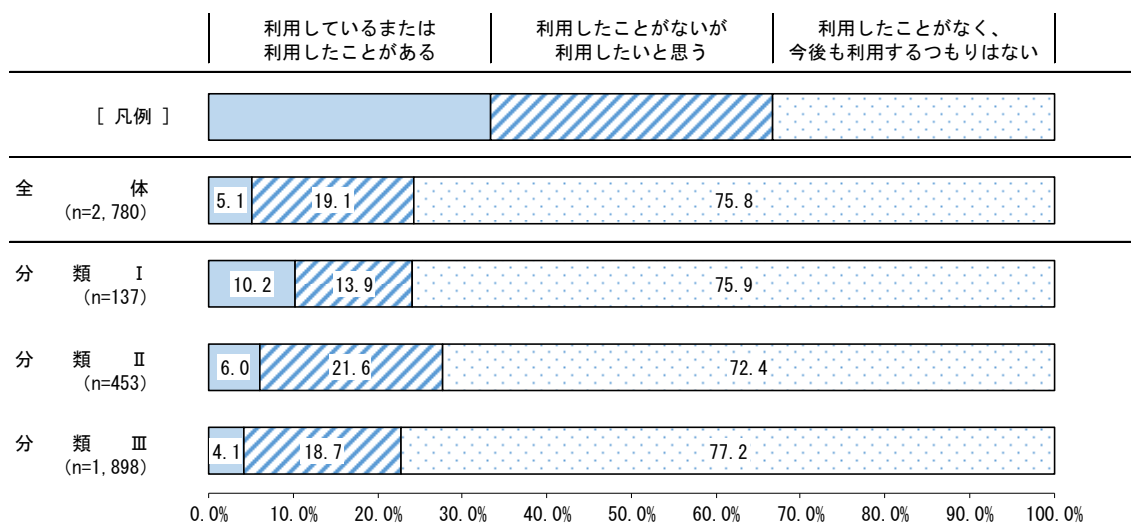
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-62 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】（中学校2年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-63 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所
（子ども食堂など）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）

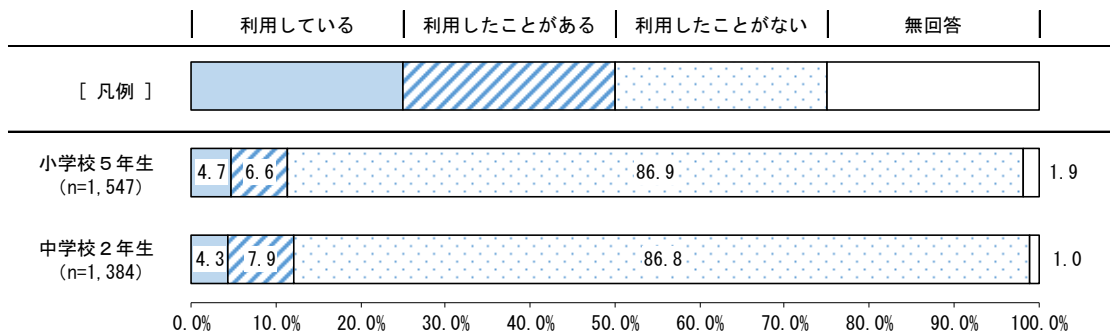


『学校以外で、勉強を無料でみてる場所』では「利用している」は小学校5年生が4.7%、中学校2年生が4.3%、「利用したことがある」は小学校5年生が6.6%、中学校2年生が7.9%となっている。

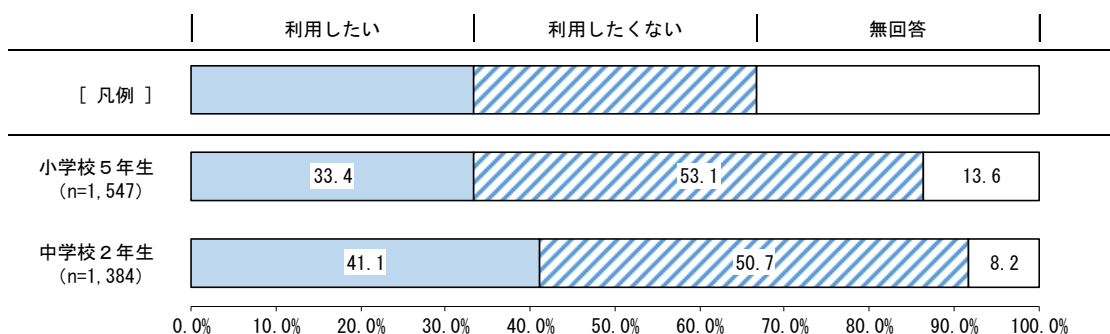
利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が33.4%、中学校2年生が41.1%、「利用したくない」は小学校5年生が53.1%、中学校2年生が50.7%となっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

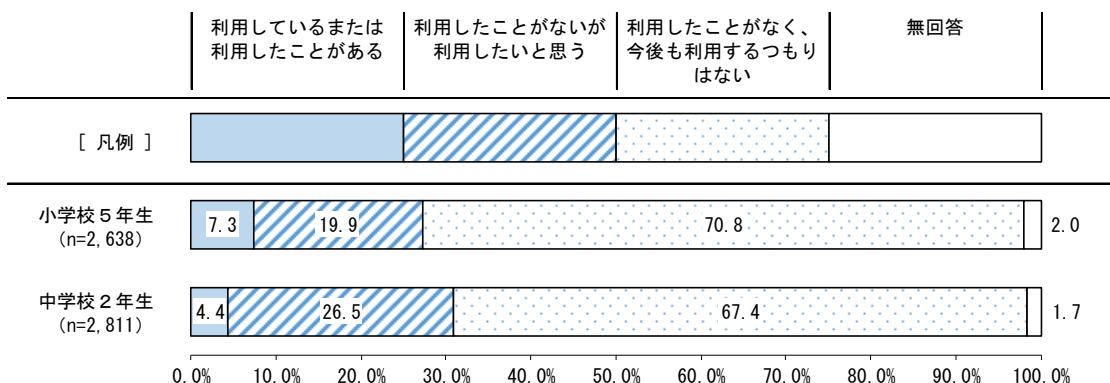
<今回調査>【図表 4-64 学校以外で、勉強を無料でみてる場所の利用状況】



<今回調査>【図表 4-65 学校以外で、勉強を無料でみてる場所の利用希望】



<前回調査>【図表 4-66 学校以外で、勉強を無料でみてる場所の利用状況】



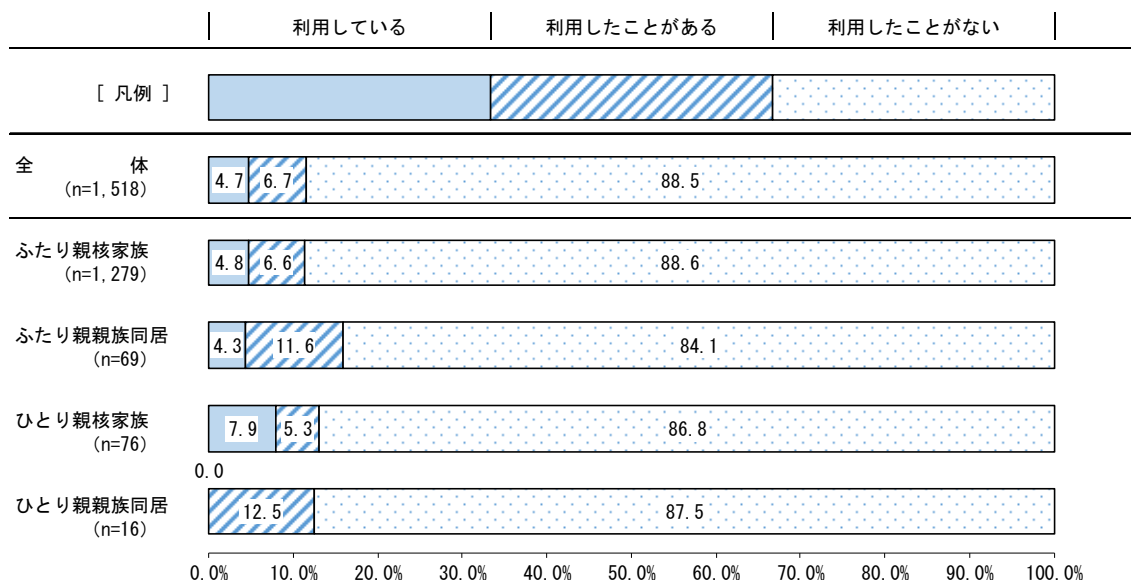
※ページ調整のため余白

小学校5年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-67 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】
(小学校5年生・世帯構成別)

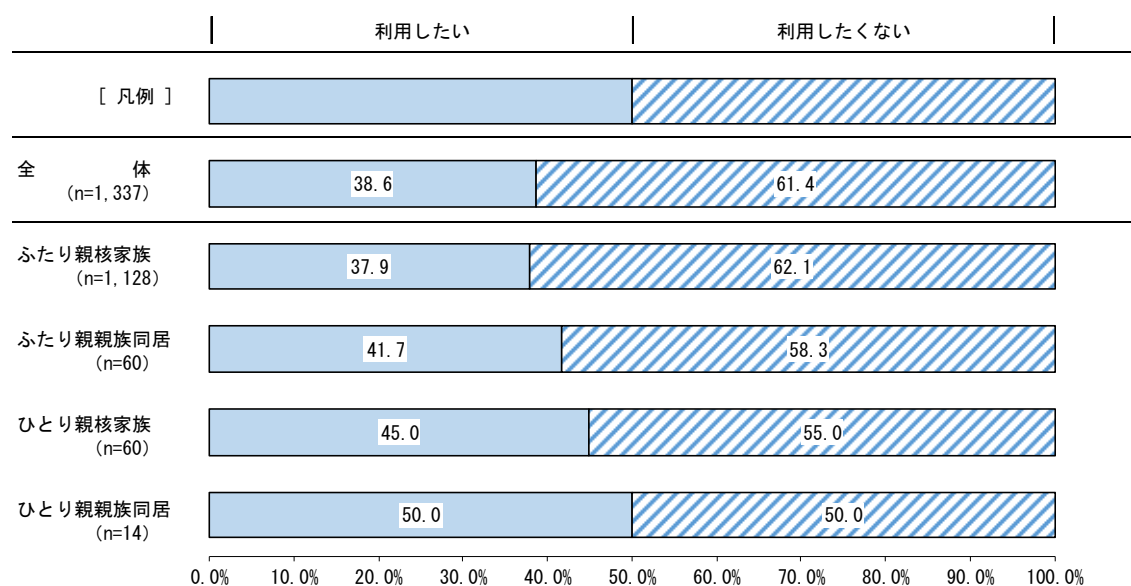


小学校5年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「利用したい」が45.0%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

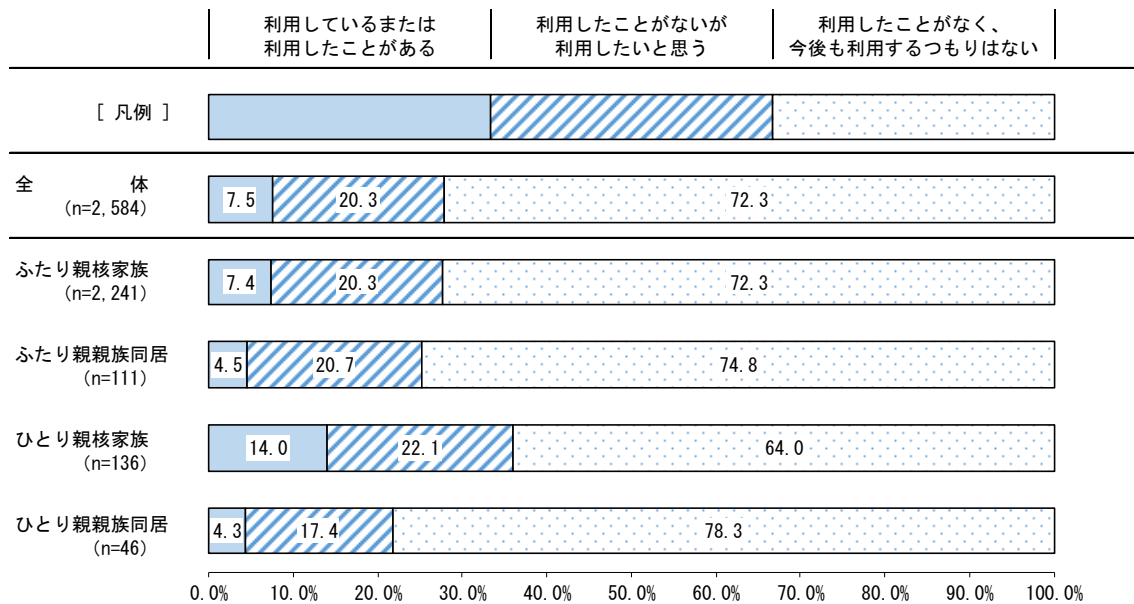
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-68 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】
(小学校5年生・世帯構成別)



＜前回調査＞【図表 4-69 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(小学校5年生・世帯構成別)

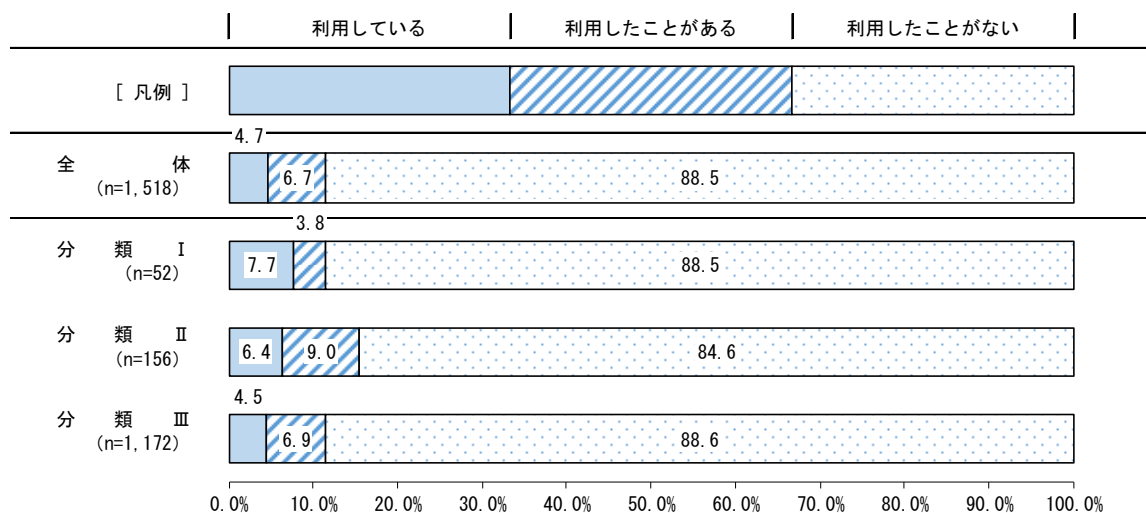


小学校5年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-70 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(小学校5年生・所得分類別)



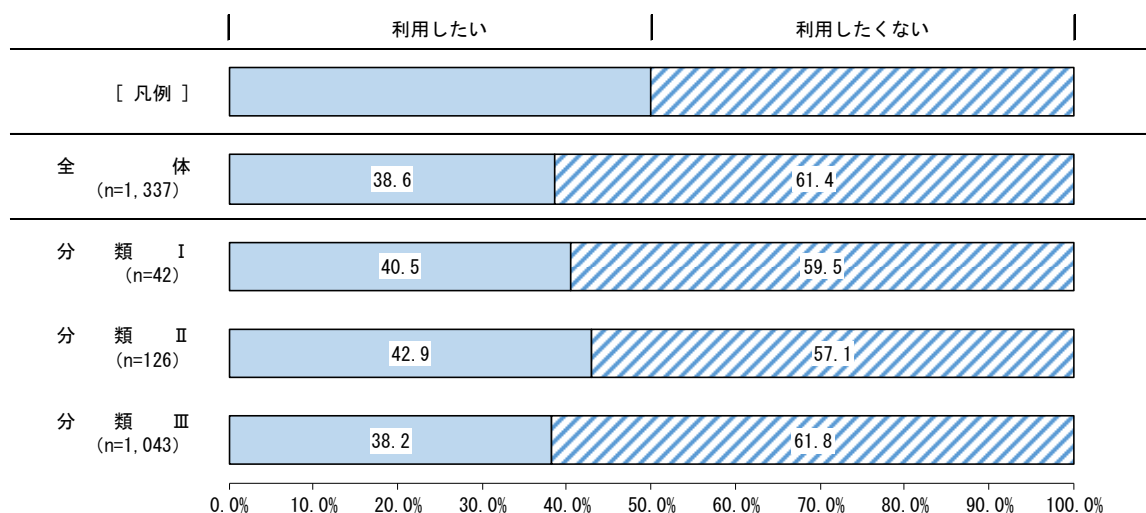
小学校5年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

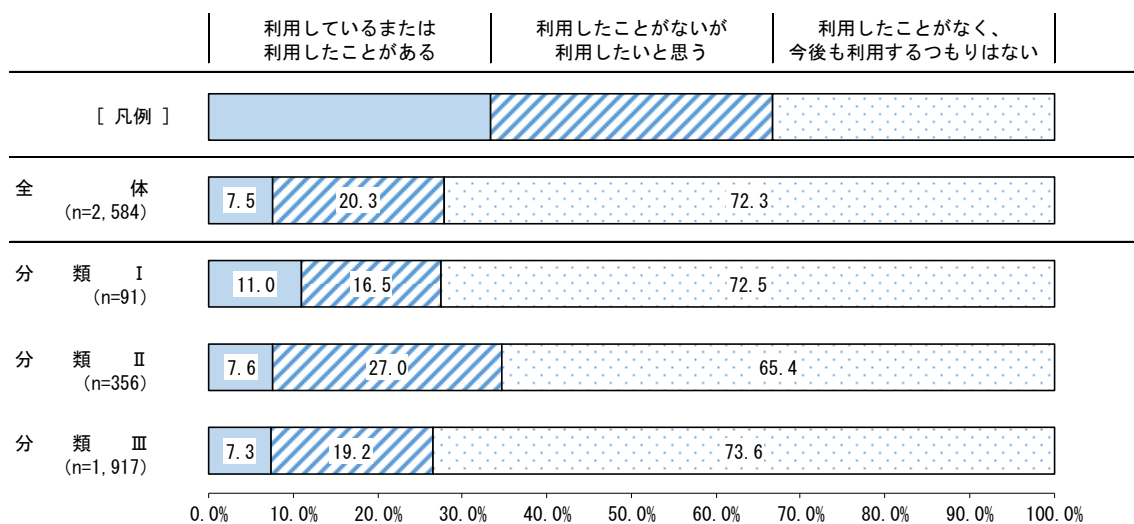
＜今回調査＞【図表 4-71 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】

(小学校5年生・所得分類別)



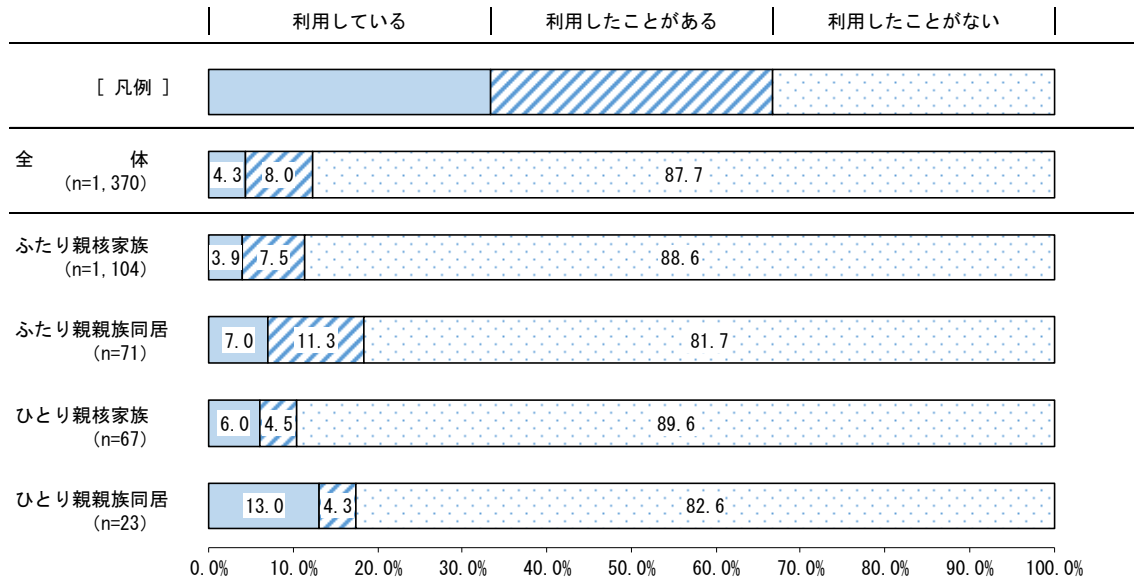
<前回調査>【図表 4-72 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(小学校5年生・所得分類別)



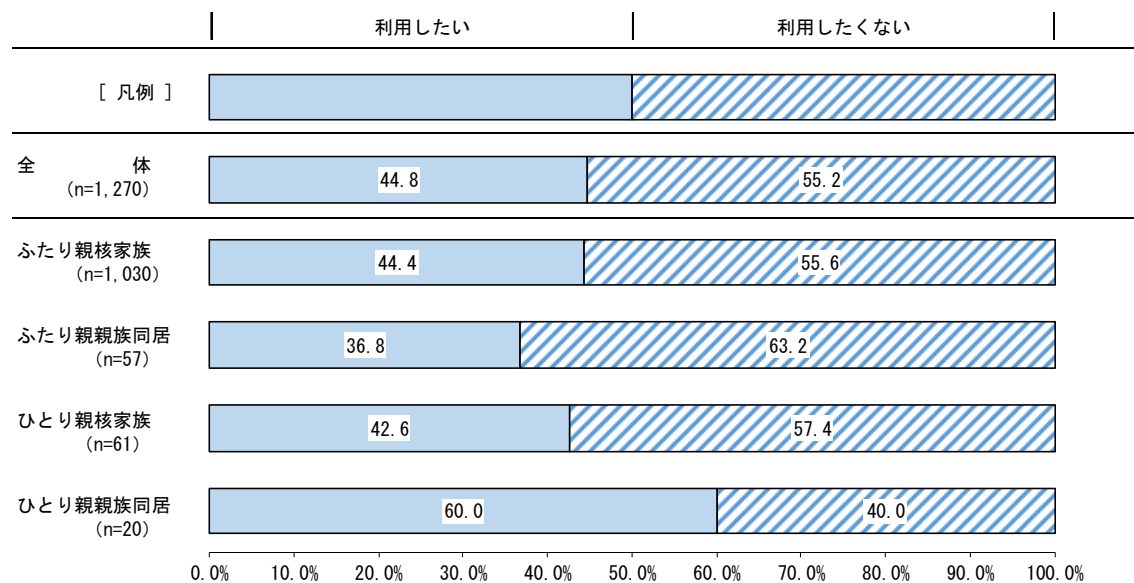
中学校2年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用したことがない」が81.7%と、全体に比べて低くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。
 前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-73 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】
 （中学校2年生・世帯構成別）



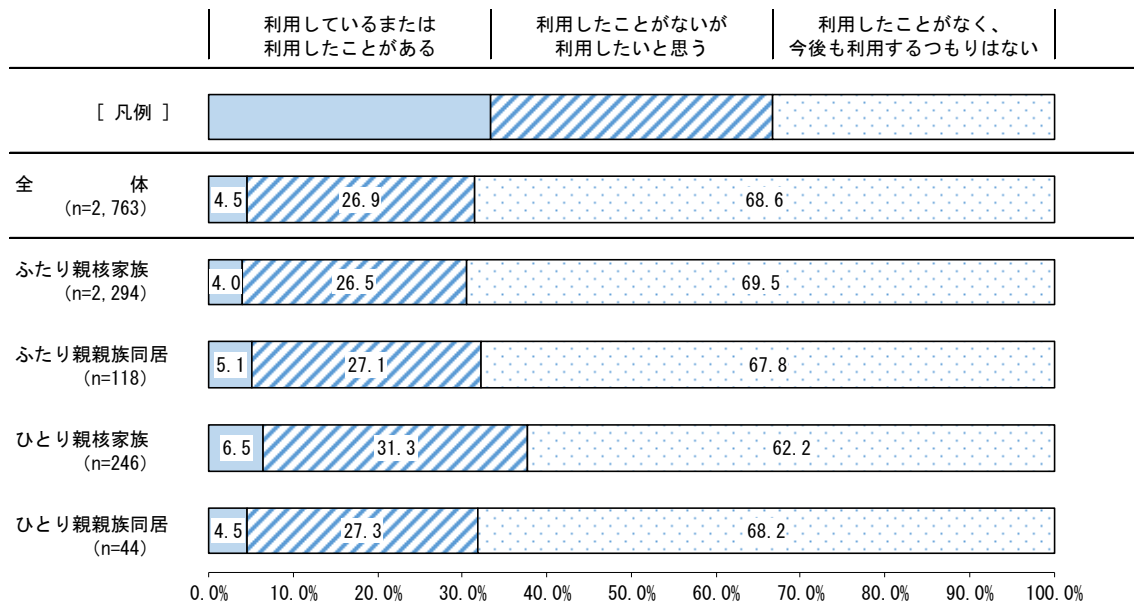
中学校2年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用したい」が36.8%と、全体に比べて低くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。
 前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-74 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】
 （中学校2年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-75 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(中学校2年生・世帯構成別)



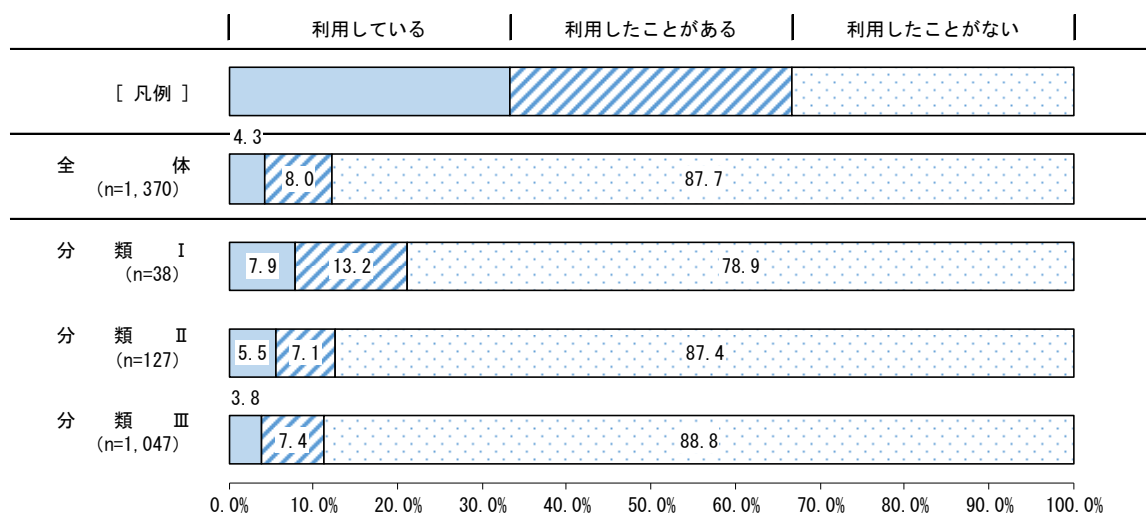
中学校2年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

<今回調査>【図表 4-76 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(中学校2年生・所得分類別)



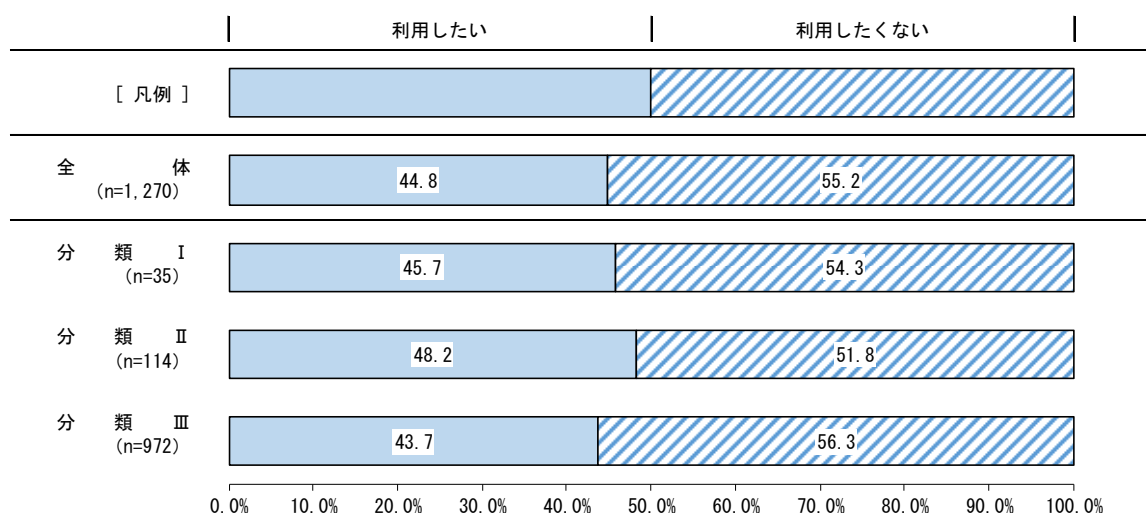
中学校2年生の学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

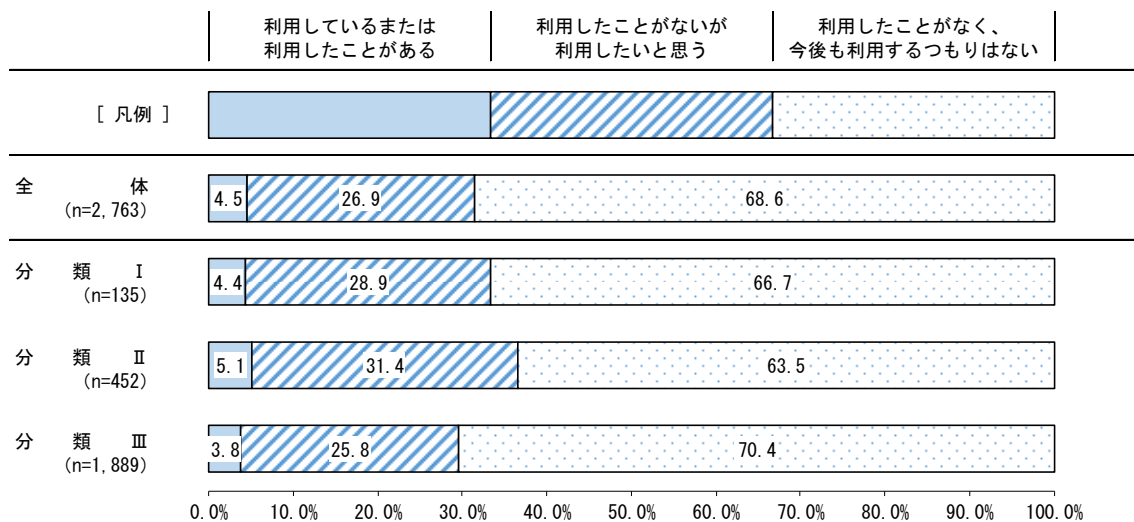
<今回調査>【図表 4-77 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】

(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-78 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】

(中学校2年生・所得分類別)

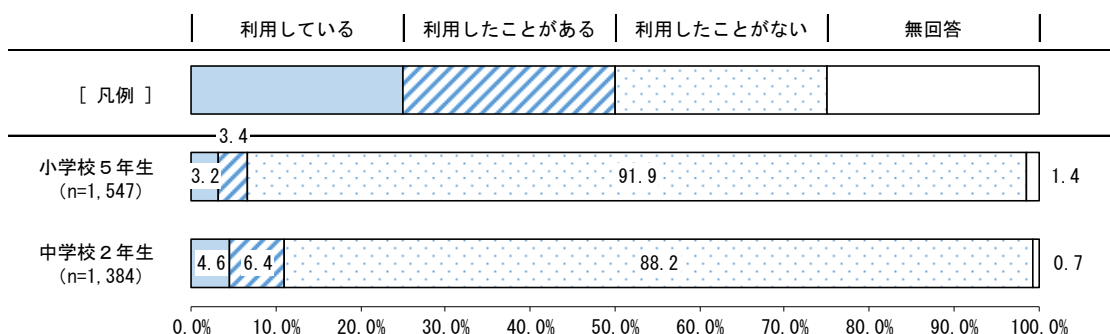


『自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）』では「利用している」は小学校5年生が3.2%、中学校2年生が4.6%、「利用したことがある」は小学校5年生が3.4%、中学校2年生が6.4%となっている。

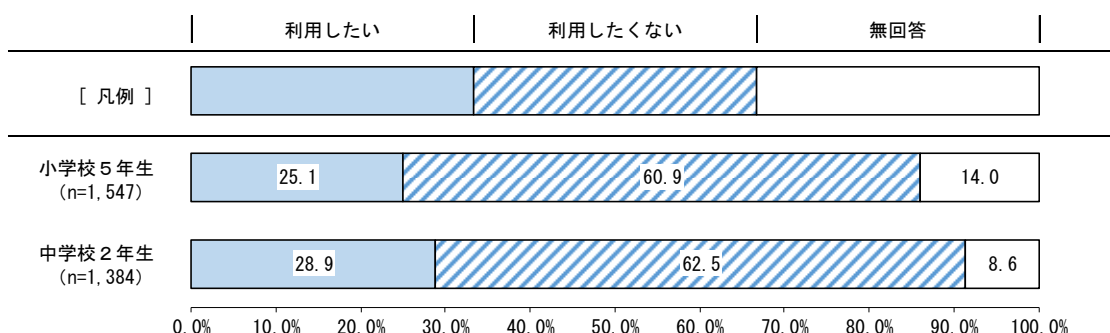
利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が25.1%、中学校2年生が28.9%、「利用したくない」は小学校5年生が60.9%、中学校2年生が62.5%となっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

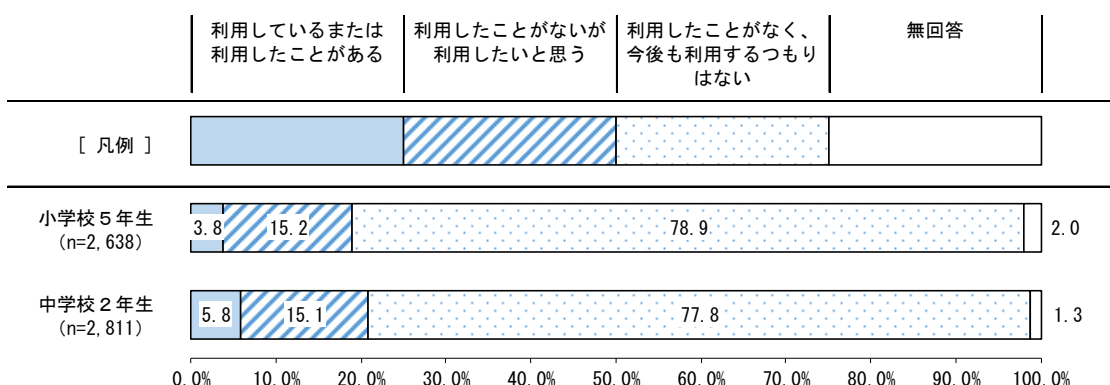
＜今回調査＞【図表 4-79 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】



＜今回調査＞【図表 4-80 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】



＜前回調査＞【図表 4-81 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】



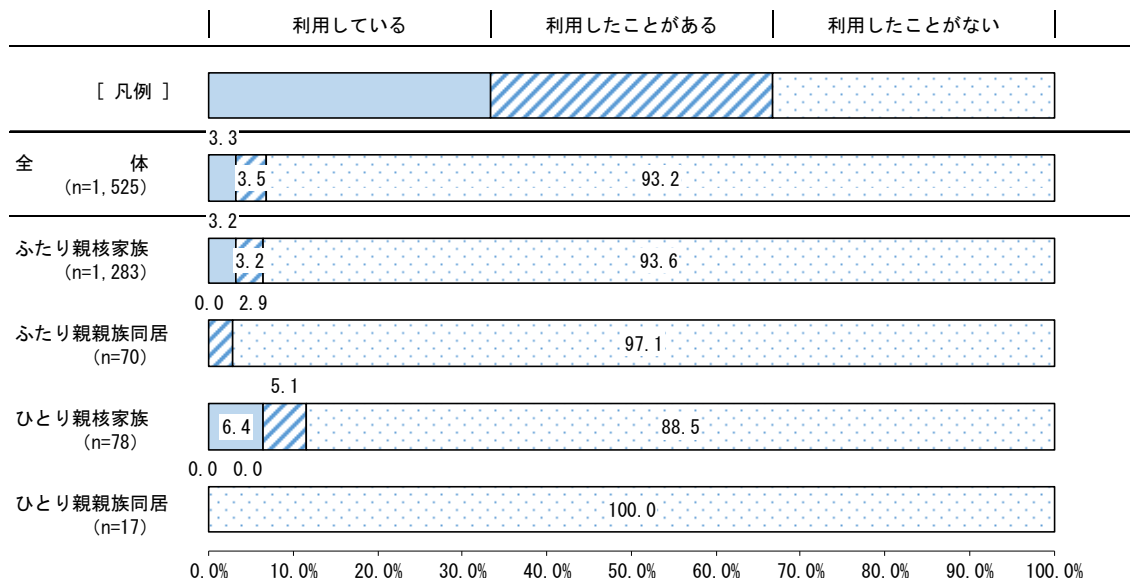
※ページ調整のため余白

小学校5年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-82 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）

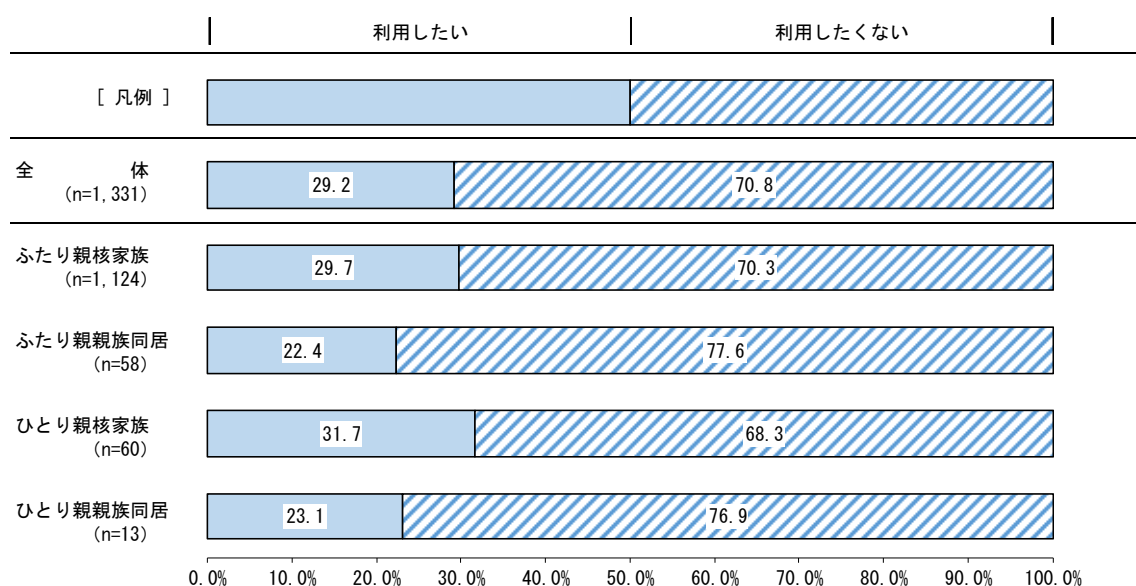


小学校5年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「利用したい」が22.4%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

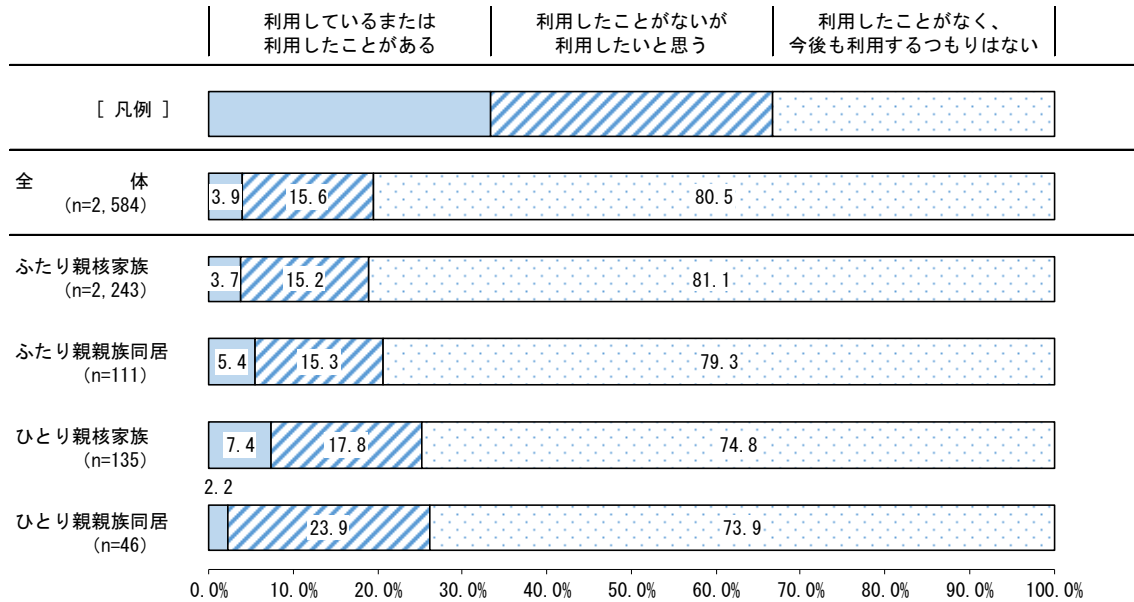
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-83 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】（小学校5年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-84 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所

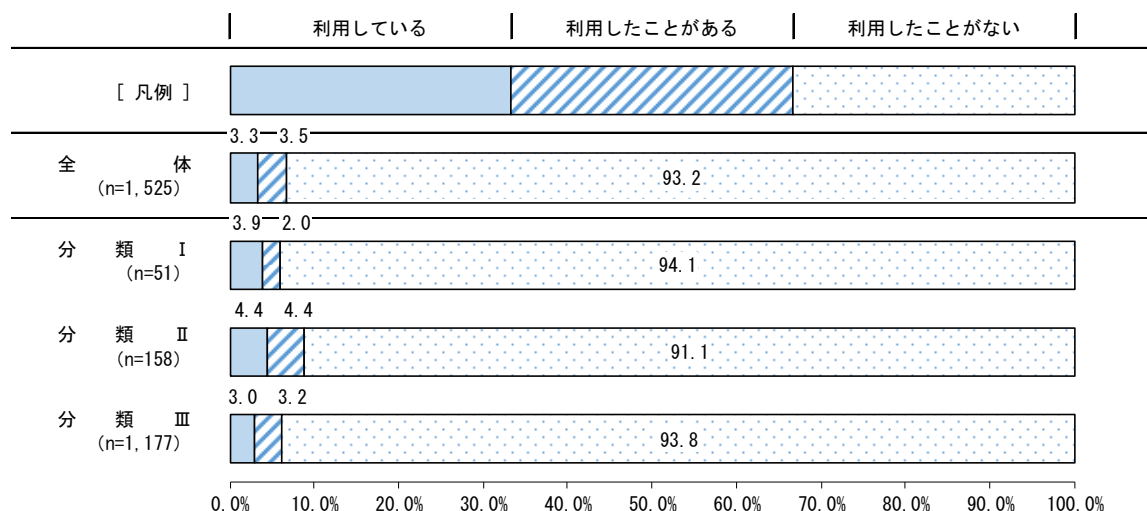
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（小学校5年生・世帯構成別）



小学校5年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-85 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（小学校5年生・所得分類別）

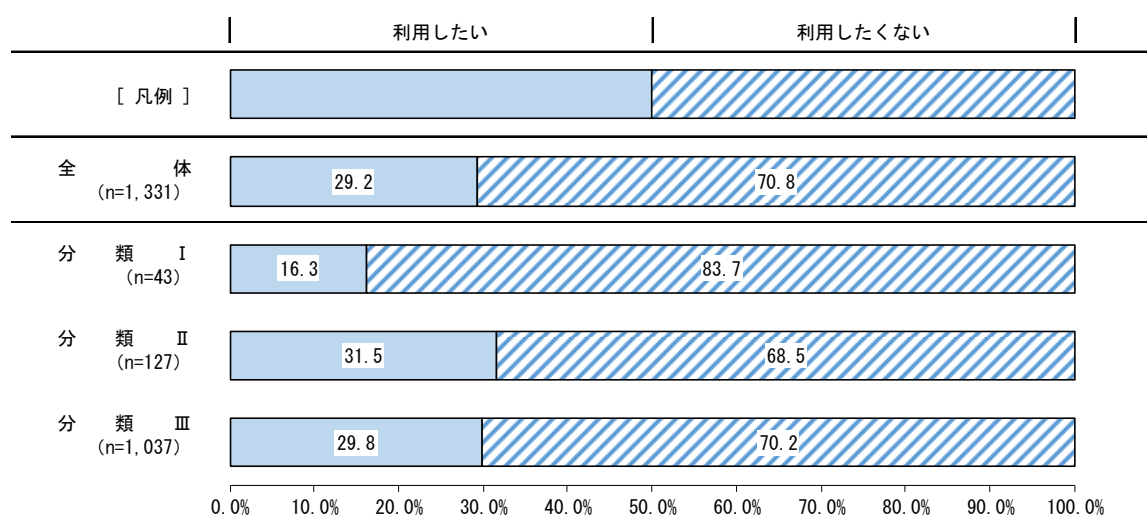


小学校5年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

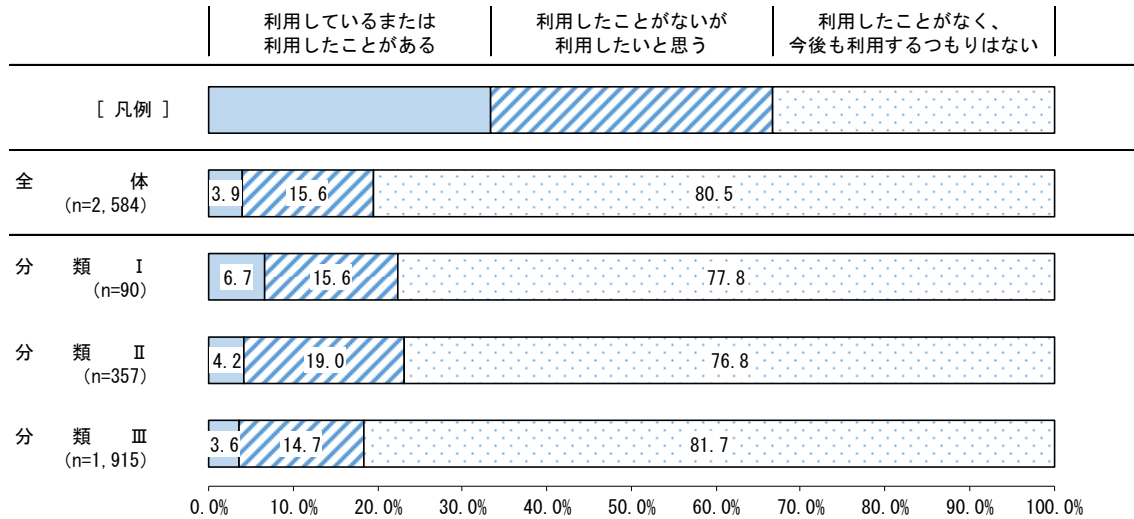
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-86 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】（小学校5年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-87 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所

(電話やネット、SNS相談を含む)の利用状況】(小学校5年生・所得分類別)

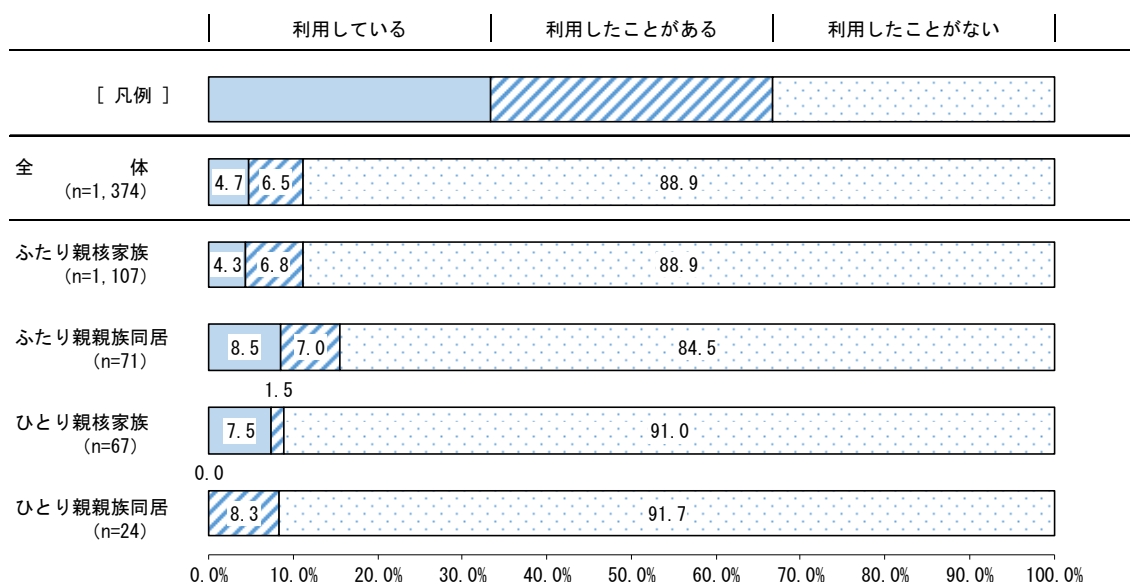


中学校2年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況を世帯構成別にみると、「利用したことがある」は『ひとり親核家族』が1.5%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-88 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

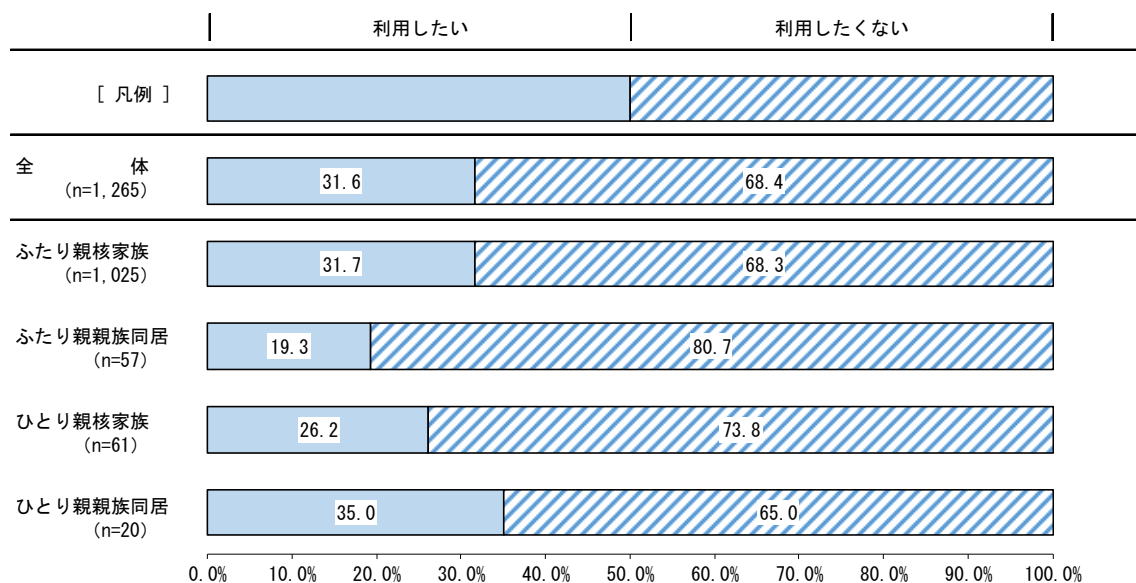


中学校2年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』と『ひとり親核家族』で「利用したい」が、全体に比べて低くなっている。

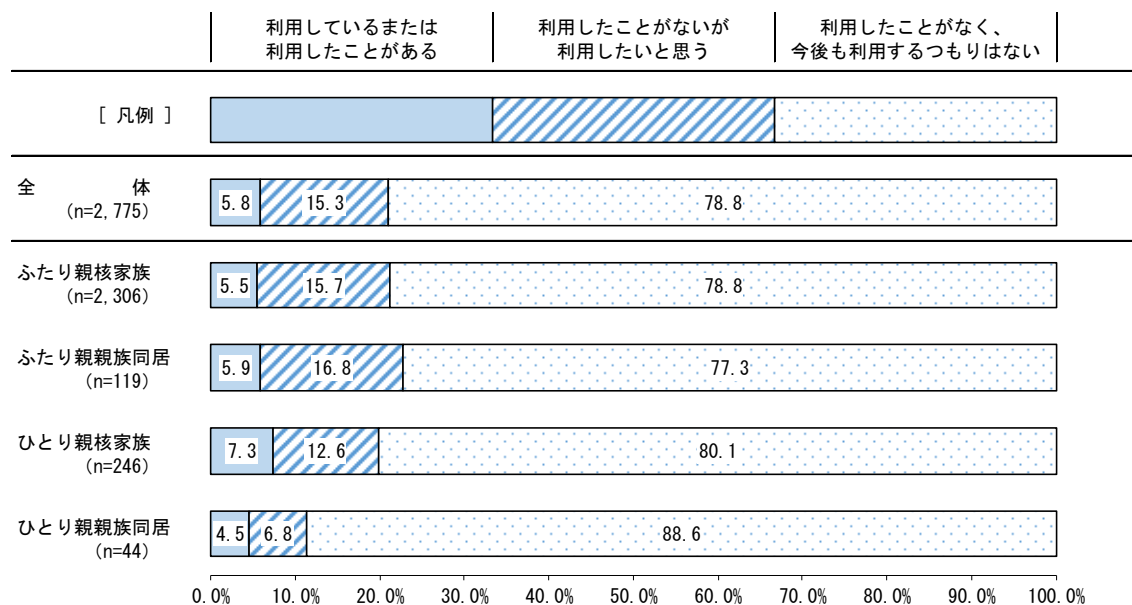
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-89 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】（中学校2年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-90 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（中学校2年生・世帯構成別）

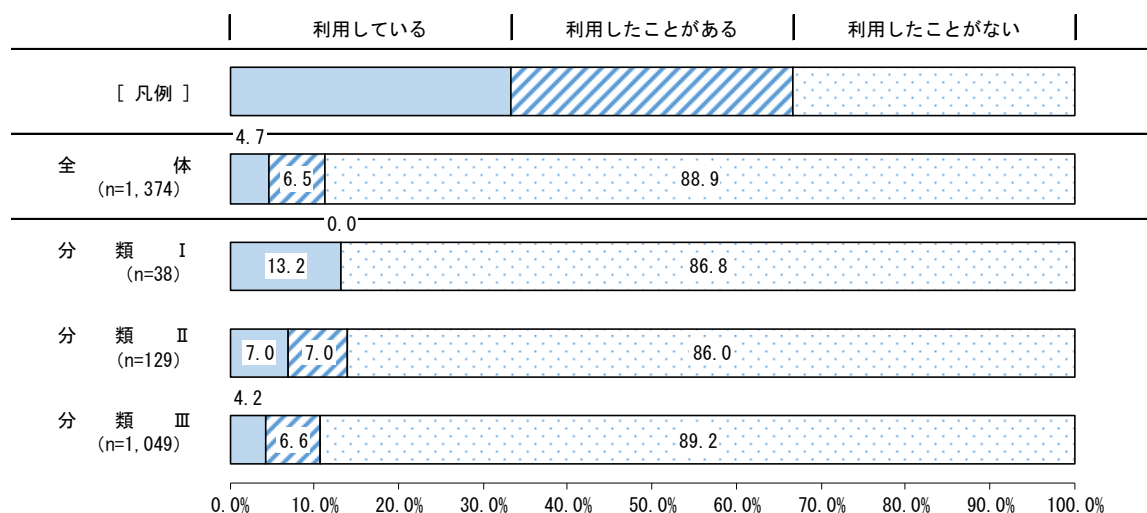


中学校2年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-91 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）

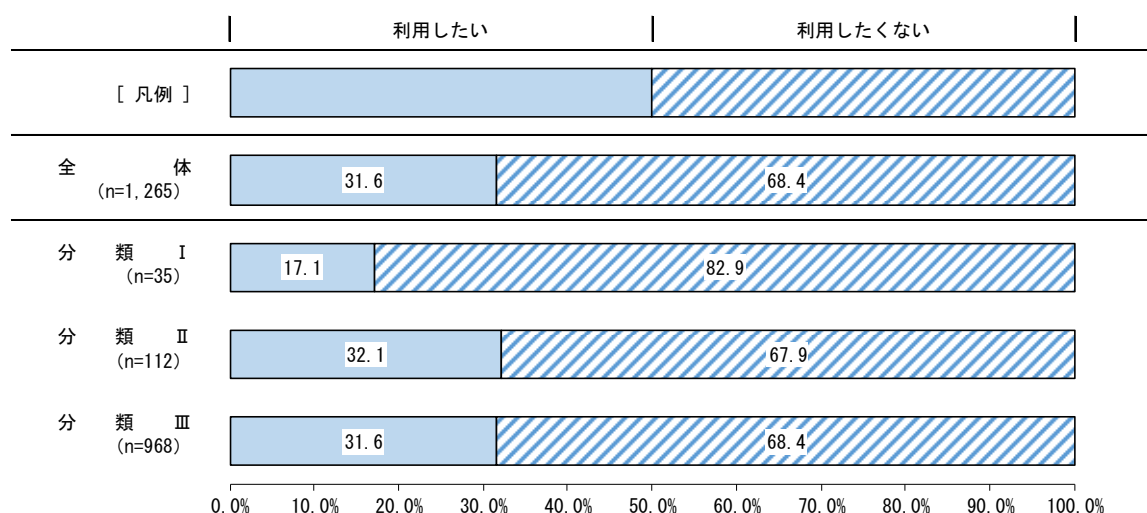


中学校2年生の自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

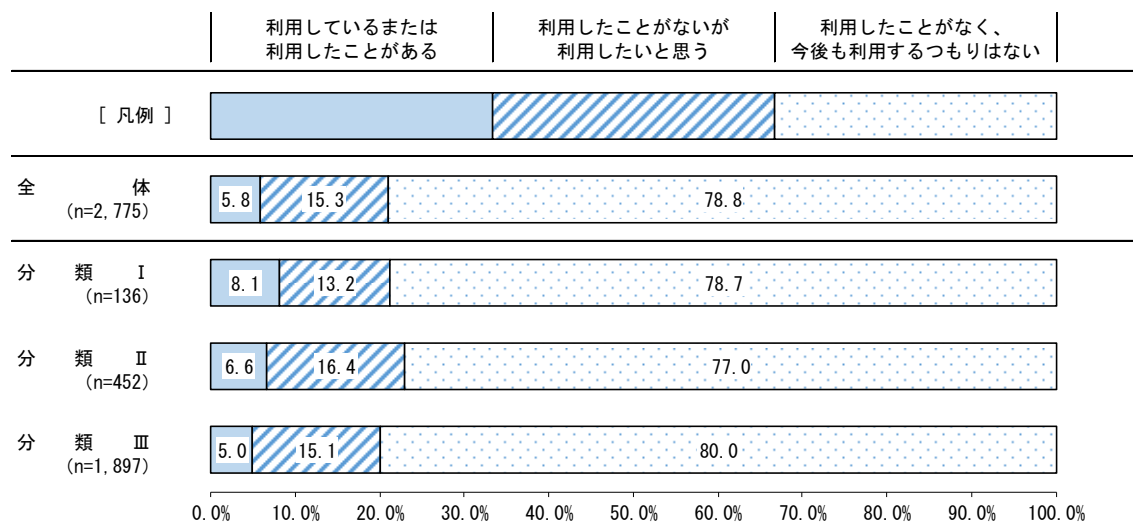
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回調査＞【図表 4-92 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】（中学校2年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-93 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】（中学校2年生・所得分類別）



② 利用後の変化【問 11】(MA)

「自宅や学校以外の居場所」を利用したことでの変化を複数回答で聞いたところ、「友達が増えた」(小学校5年生:26.7%、中学校2年生:14.5%)が最も高く、次いで「生活の中で楽しみが増えた」(小学校5年生:26.4%、中学校2年生:12.6%)、「ほっとできる時間が増えた」(小学校5年生:14.9%、中学校2年生:8.2%)となっている。

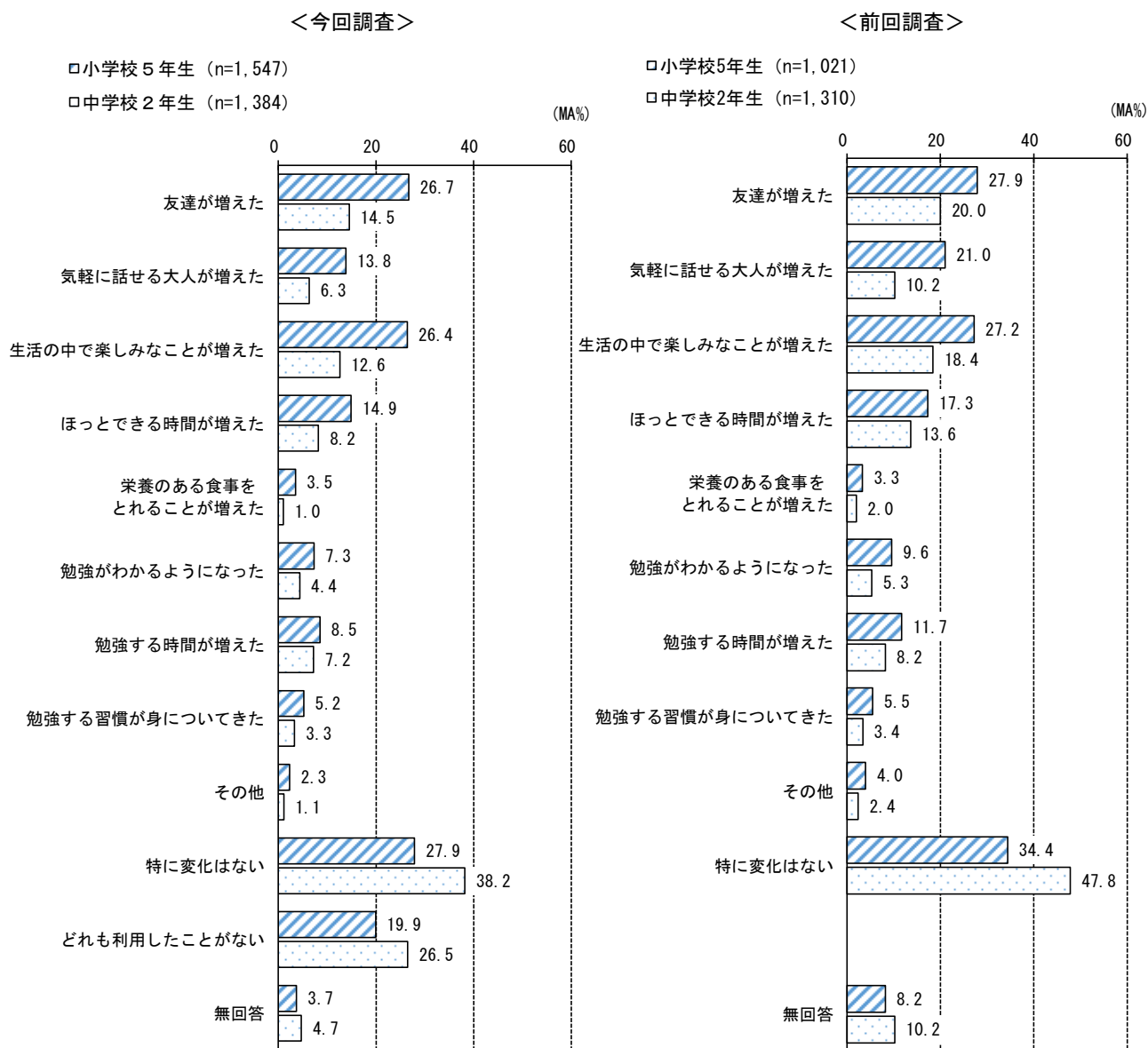
一方、「特に変化はない」は、小学校5年生が27.9%、中学校2年生が38.2%となっている。

また、「どれも利用したことがない」は、小学校5年生が19.9%、中学校2年生が26.5%となっている。

経年でみると、「友達が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」では中学校2年生で、「気軽に話せる大人が増えた」は小学校5年生で、それぞれ前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 4-94 利用後の変化(複数回答)】



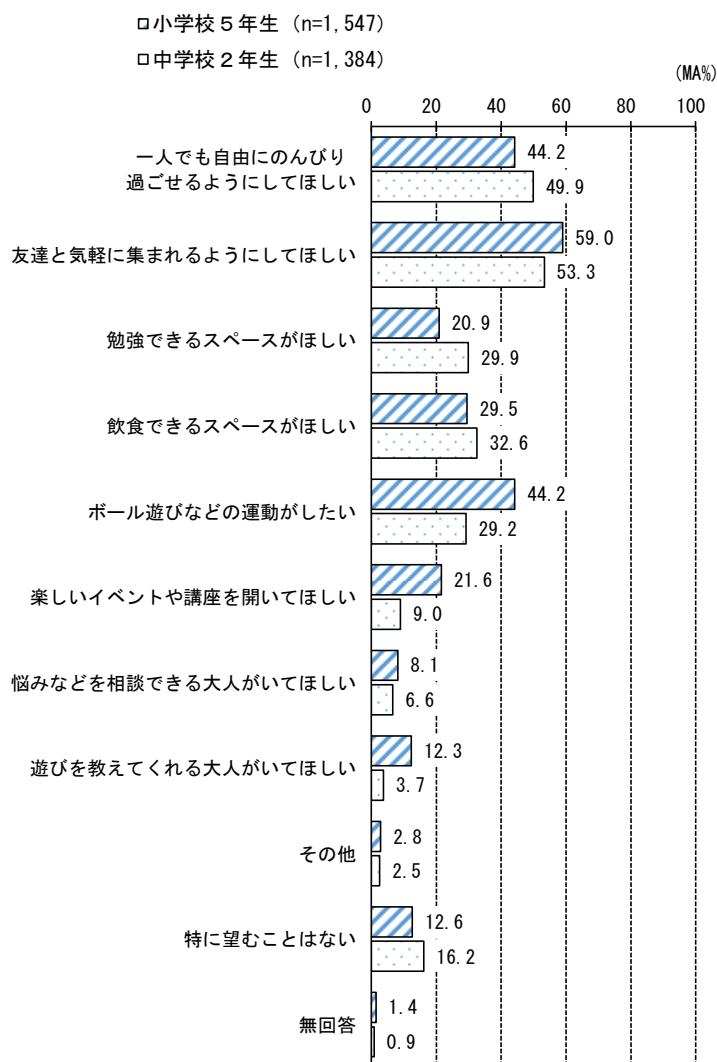
イ 放課後過ごす場所に希望すること【問12】（MA）

放課後過ごす場所に希望することを複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」が 59.0%と最も高く、次いで「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」「ボール遊びなどの運動がしたい」が 44.2%となっている。

中学校2年生では「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」が 53.3%と最も高く、次いで「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」が 49.9%、「飲食できるスペースがほしい」が 32.6%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-95 放課後過ごす場所に希望すること（複数回答）】



小学校5年生の放課後過ごす場所に希望することを世帯構成別にみると、「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」は『ひとり親核家族』がそれぞれ 55.4%、67.6%と、全体に比べて高くなっている。「勉強できるスペースがほしい」「飲食できるスペースがほしい」は『ふたり親親族同居』がそれぞれ 27.1%、37.1%と、全体に比べて高くなっている。「ボール遊びなどの運動がしたい」は『ふたり親親族同居』が 51.4%、『ひとり親核家族』が 52.7%と、全体に比べて高くなっている。「楽しいイベントや講座を開いてほしい」は『ひとり親核家族』が 31.1%と、全体に比べて高くなっている。「悩みなどを相談できる大人がいてほしい」は『ふたり親親族同居』が 14.3%、『ひとり親核家族』が 13.5%と、全体に比べて高くなっている。「遊びをしてくれる大人がいてほしい」は『ひとり親核家族』が 21.6%と、全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」は『分類Ⅰ』が 52.9%と全体に比べて低くなっている。「飲食できるスペースがほしい」は『分類Ⅰ』が 35.3%、『分類Ⅱ』が 35.0%と全体に比べて高く、「悩みなどを相談できる大人がほしい」、「遊びをしてくれる大人がほしい」は『分類Ⅰ』がそれぞれ 13.7%、25.5%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-96 放課後過ごす場所に希望すること（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％												
		母数 (n)	一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい	友達と気軽に集まれるようにしてほしい	勉強できるスペースがほしい	飲食できるスペースがほしい	ボール遊びなどの運動がしたい	楽しいイベントや講座を開いてほしい	悩みなどを相談できる大人がいてほしい	遊びを教えてくれる大人がいてほしい	その他	特に望むことはない
全体		1,525	44.9	59.9	21.2	30.0	44.9	21.9	8.3	12.5	2.9	12.8
世帯構成	ふたり親核家族	1,285	44.4	59.6	20.9	29.7	44.1	20.9	7.4	11.8	2.6	13.2
	ふたり親親族同居	70	44.3	60.0	△ 27.1	△ 37.1	△ 51.4	25.7	△ 14.3	12.9	4.3	8.6
	ひとり親核家族	74	△ 55.4	△ 67.6	20.3	33.8	△ 52.7	△ 31.1	△ 13.5	△ 21.6	1.4	9.5
	ひとり親親族同居	18	▼ 33.3	55.6	▼ 5.6	33.3	44.4	▼ 16.7	5.6	△ 22.2	5.6	△ 22.2
所得分類	分類Ⅰ	51	41.2	▼ 52.9	23.5	△ 35.3	49.0	25.5	△ 13.7	△ 25.5	2.0	17.6
	分類Ⅱ	160	47.5	62.5	17.5	△ 35.0	46.9	25.0	11.3	11.9	1.3	12.5
	分類Ⅲ	1,173	45.4	60.2	21.8	30.2	44.4	20.9	7.5	12.3	3.0	12.4

中学校2年生の放課後過ごす場所に希望することを世帯構成別にみると、「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」は『ふたり親親族同居』が57.7%と全体に比べて高くなっている。『ひとり親核家族』では「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」が41.8%、「飲食できるスペースがほしい」が22.4%、「ボール遊びなどの運動がしたい」が17.9%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「楽しいイベントや講座を開いてほしい」は『分類Ⅱ』が15.5%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 4-97 放課後過ごす場所に希望すること（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい	友達と気軽に集まれるようにしてほしい	勉強できるスペースがほしい	飲食できるスペースがほしい	ボール遊びなどの運動がしたい	楽しいイベントや講座を開いてほしい	悩みなどを相談できる大人がいてほしい	遊びを教えてくださいたい大人がいてほしい	その他	特に望むことはない
全体		1,371	50.4	53.8	30.2	32.9	29.5	9.0	6.6	3.7	2.5	16.3
世帯構成	ふたり親核家族	1,105	50.3	54.5	30.9	33.8	30.6	9.1	6.9	3.6	2.5	16.2
	ふたり親親族同居	71	△ 57.7	52.1	25.4	28.2	26.8	9.9	2.8	5.6	2.8	12.7
	ひとり親核家族	67	46.3	▼ 41.8	26.9	▼ 22.4	▼ 17.9	10.4	9.0	4.5	4.5	△ 22.4
	ひとり親親族同居	24	△ 66.7	50.0	33.3	△ 45.8	25.0	8.3	4.2	8.3	－	▼ 8.3
所得分類	分類Ⅰ	38	▼ 44.7	▼ 42.1	▼ 23.7	28.9	28.9	10.5	△ 15.8	2.6	△ 7.9	△ 31.6
	分類Ⅱ	129	54.3	49.6	31.8	28.7	28.7	△ 15.5	7.0	6.2	3.9	17.1
	分類Ⅲ	1,046	51.1	55.1	30.1	34.3	30.7	8.6	6.6	3.6	2.1	14.9

ウ 平日放課後の過ごし方

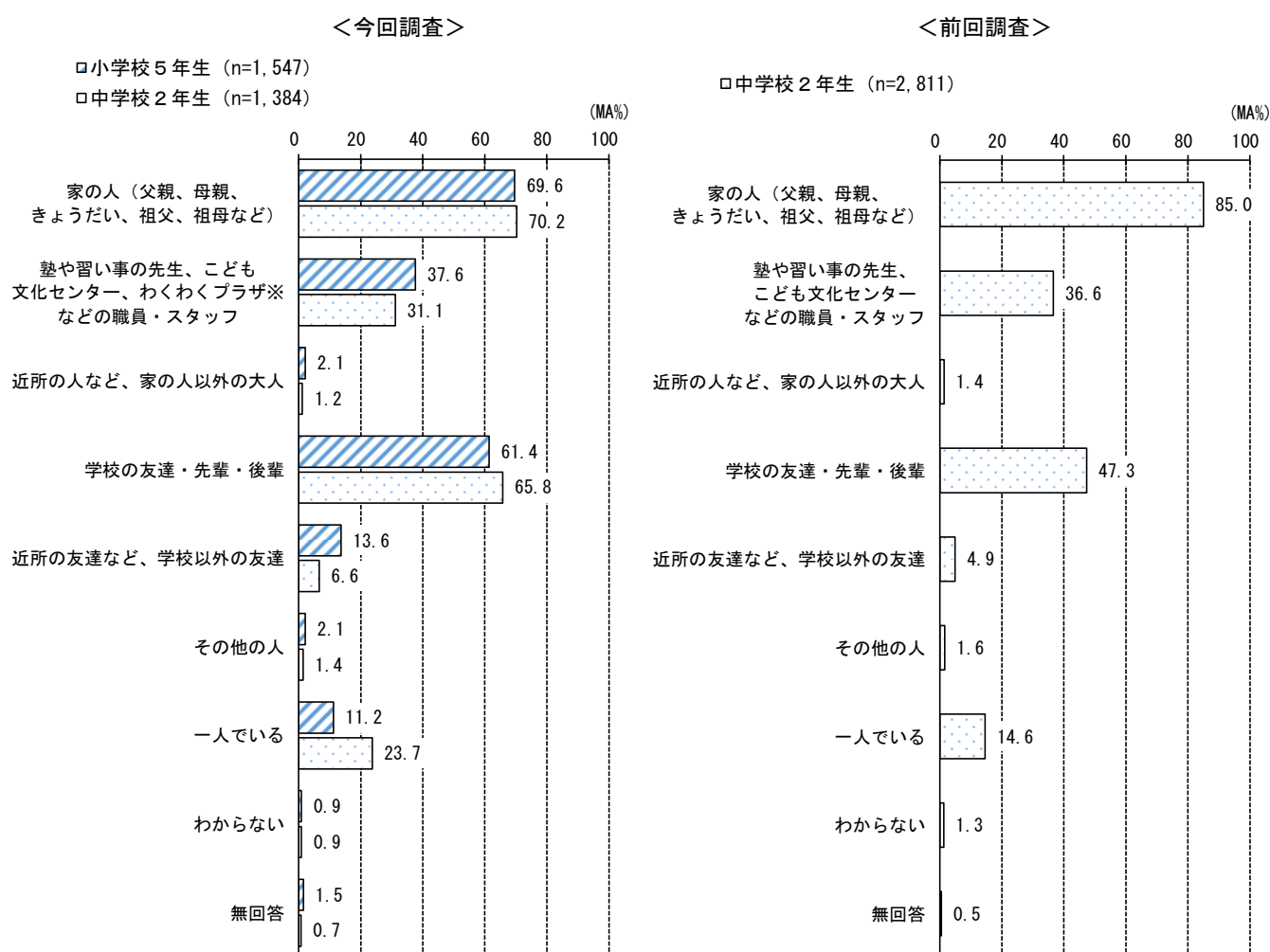
① 放課後一緒に過ごす人【問 13 a】(MA)

放課後一緒に過ごす人を複数回答で聞いたところ、「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」（小学校 5 年生：69.6%、中学校 2 年生：70.2%）が最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」（小学校 5 年生：61.4%、中学校 2 年生：65.8%）、「塾や習い事の先生、こども文化センター、わくわくプラザなどの職員・スタッフ」（小学校 5 年生：37.6%、中学校 2 年生：31.1%）となっている。

経年でみると、中学校 2 年生では「学校の友達・先輩・後輩」「一人でのいる」が前回調査に比べて高くなっている一方、「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査には、小学校 5 年生ではこの設問は含まれていない。

【図表 4-98 放課後一緒に過ごす人（複数回答）】



※「わくわくプラザ」は中学校 2 年生の選択肢にはない

小学校5年生の放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」は『ひとり親核家族』が62.7%と全体に比べて低く、「塾や習い事の先生、こども文化センター、わくわくプラザなどの職員・スタッフ」は『ふたり親親族同居』が32.9%、『ひとり親核家族』が26.7%と、全体に比べて低くなっている。「近所の人など、家の人以外の大人」は『ふたり親親族同居』が7.1%と全体に比べて高く、「学校の友達・先輩・後輩」は『ひとり親核家族』が68.0%と、全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「塾や習い事の先生、こども文化センター、わくわくプラザなどの職員・スタッフ」は『分類Ⅰ』が25.5%、『分類Ⅱ』が26.7%と全体に比べて低く、「学校の友達・先輩・後輩」は『分類Ⅰ』が54.9%と全体に比べて低く、「近所の友達など、学校以外の友達」は『分類Ⅰ』が19.6%と全体に比べて高くなっている。また、「一人でのいる」は『分類Ⅰ』が5.9%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-99 放課後一緒に過ごす人（複数回答）】（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％										
		母数 (n)	家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）	塾や習い事の先生、こども文化センター、わくわくプラザなどの職員・スタッフ	近所の人など、家の人以外の大人	学校の友達・先輩・後輩	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人でいる	わからない
全体		1,524	70.6	38.2	2.1	62.3	13.8	2.2	11.4	0.9
世帯構成	ふたり親核家族	1,283	71.7	39.4	1.7	62.0	13.6	2.1	11.4	1.0
	ふたり親親族同居	70	72.9	▼ 32.9	△ 7.1	61.4	14.3	2.9	8.6	－
	ひとり親核家族	75	▼ 62.7	▼ 26.7	2.7	△ 68.0	16.0	2.7	13.3	－
	ひとり親親族同居	18	▼ 50.0	38.9	5.6	△ 77.8	16.7	5.6	11.1	－
所得分類	分類Ⅰ	51	74.5	▼ 25.5	－	▼ 54.9	△ 19.6	－	▼ 5.9	－
	分類Ⅱ	161	68.9	▼ 26.7	5.0	66.5	9.9	3.7	11.2	－
	分類Ⅲ	1,171	71.1	40.6	1.9	62.3	14.2	2.1	11.4	1.1

中学校2年生の放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」は『ふたり親親族同居』が80.3%と、全体に比べて高くなっている。「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」は『ふたり親親族同居』が25.4%、『ひとり親核家族』が17.9%と全体に比べて低く、「学校の友達・先輩・後輩」は『ふたり親親族同居』が59.2%、『ひとり親核家族』が55.2%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」は『分類Ⅱ』が25.6%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、世帯構成別では「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」は、『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低く、「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。一方、「学校の友達・先輩・後輩」「一人でのいる」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では「家の人（父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など）」はいずれの所得分類でも前回調査に比べて低く、「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」は『分類Ⅲ』が低くなっている。一方、「学校の友達・先輩・後輩」「一人でのいる」はいずれの所得分類でも前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回・前回調査>【図表 4-100 放課後一緒に過ごす人（複数回答）】（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％											
			母数 (n)	家の人（父親、 祖父、祖母など）	塾や習い事の先生、こども文化 センターなどの職員・スタッフ	近所の人など、家の人以外の 大人	学校の友達・先輩・後輩	近所の友達など、学校以外の 友達	その他の人	一人 でいる	わ か ら な い
今 回 調 査	全体		1,375	70.7	31.3	1.2	66.3	6.6	1.5	23.9	0.9
	世 帯 構 成	ふたり親核家族	1,109	71.7	33.2	1.3	68.5	6.5	1.2	22.5	0.8
		ふたり親親族同居	71	△ 80.3	▼ 25.4	－	▼ 59.2	9.9	－	21.1	1.4
		ひとり親核家族	67	67.2	▼ 17.9	－	▼ 55.2	6.0	3.0	△ 35.8	1.5
		ひとり親親族同居	24	75.0	29.2	4.2	▼ 50.0	8.3	4.2	△ 33.3	－
	所 得 分 類	分類Ⅰ	38	△ 78.9	▼ 21.1	－	68.4	10.5	5.3	26.3	－
		分類Ⅱ	129	69.8	▼ 25.6	3.1	65.9	6.2	2.3	27.1	2.3
		分類Ⅲ	1,050	71.9	33.1	1.0	67.2	6.9	1.0	22.9	0.8
前 回 調 査	全体		2,796	85.4	36.8	1.4	47.6	5.0	1.6	14.7	1.3
	世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,320	86.2	38.4	1.4	47.7	5.1	1.7	14.2	1.3
		ふたり親親族同居	121	▼ 80.2	38.8	1.7	48.8	5.8	1.7	14.9	1.7
		ひとり親核家族	248	▼ 79.8	▼ 25.0	2.0	46.8	5.2	2.0	19.0	1.6
		ひとり親親族同居	44	88.6	▼ 25.0	－	47.7	2.3	－	13.6	－
	所 得 分 類	分類Ⅰ	138	84.1	▼ 22.5	2.9	47.1	5.8	0.7	13.8	1.4
		分類Ⅱ	459	86.9	▼ 24.6	0.7	47.7	5.7	2.4	17.4	2.0
		分類Ⅲ	1,903	85.2	41.3	1.6	47.4	4.9	1.7	14.2	1.2

② 放課後過ごす場所【問 13b】(MA)

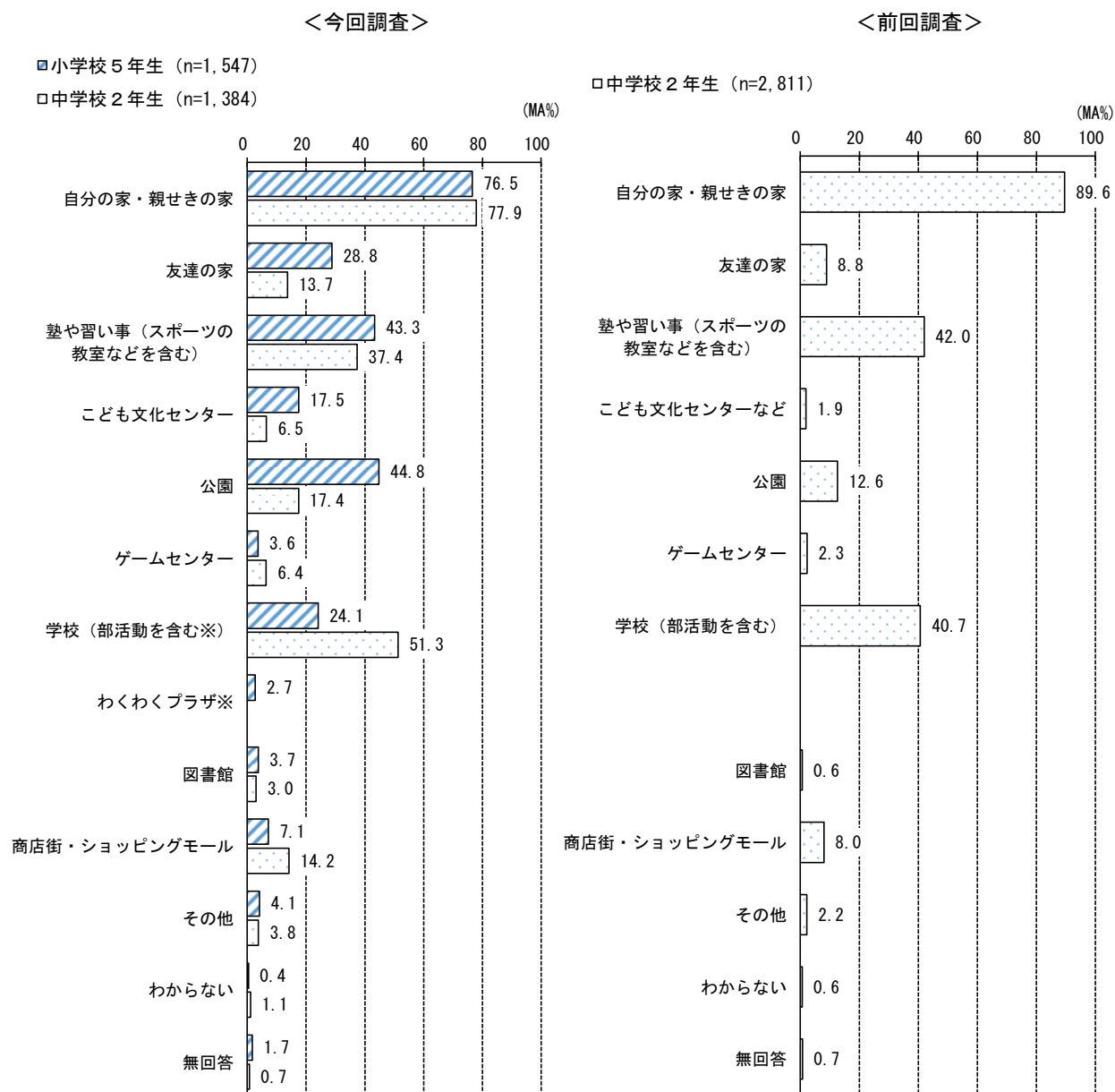
放課後過ごす場所を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「自分の家・親せきの家」が76.5%と最も高く、次いで「公園」が44.8%、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が43.3%となっている。

中学校2年生では「自分の家・親せきの家」が77.9%と最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」が51.3%、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が37.4%となっている。

経年でみると、中学校2年生では「学校（部活動を含む）」「商店街・ショッピングモール」が前回調査に比べて高く、「自分の家・親せきの家」は低くなっている。

前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

【図表 4-101 放課後過ごす場所（複数回答）】



小学校5年生の放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、「自分の家・親せきの家」は『ひとり親核家族』が68.0%と全体に比べて低くなっている。「友達の家」は『ふたり親親族同居』が37.7%と全体に比べて高くなっている。「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『ふたり親親族同居』が34.8%、『ひとり親核家族』が33.3%と全体に比べて低く、「こども文化センター」は『ひとり親核家族』が26.7%と全体に比べて高く、「公園」は『ふたり親親族同居』が50.7%、『ひとり親核家族』が60.0%と全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「友達の家」は『分類Ⅰ』が36.0%、『分類Ⅱ』が38.8%と全体に比べて高く、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『分類Ⅰ』が26.0%、『分類Ⅱ』が27.5%と全体に比べて低くなっている。「こども文化センター」は『分類Ⅰ』が30.0%と全体に比べて高く、「学校」は『分類Ⅰ』が12.0%と全体に比べて低く、「わくわくプラザ」は『分類Ⅰ』が8.0%と前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-102 放課後過ごす場所（複数回答）】（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％														
		母数 (n)	自分の家・親せきの家	友達の家	塾や習い事 （スポーツの教室などを含む）	こども文化センター	公園	ゲームセンター	学校	わくわくプラザ	図書館	商店街・ショッピングモール	その他	わからない
全体		1,521	77.8	29.3	44.0	17.8	45.6	3.6	24.5	2.7	3.7	7.2	4.1	0.4
世帯構成	ふたり親核家族	1,281	78.9	28.8	45.7	17.6	44.0	3.7	25.1	2.0	3.5	7.2	4.2	0.4
	ふたり親親族同居	69	79.7	△ 37.7	▼ 34.8	17.4	△ 50.7	4.3	24.6	5.8	4.3	11.6	4.3	1.4
	ひとり親核家族	75	▼ 68.0	29.3	▼ 33.3	△ 26.7	△ 60.0	－	20.0	6.7	4.0	4.0	2.7	－
	ひとり親親族同居	18	77.8	△ 50.0	▼ 27.8	22.2	△ 61.1	5.6	22.2	5.6	－	5.6	5.6	－
所得分類	分類Ⅰ	50	76.0	△ 36.0	▼ 26.0	△ 30.0	50.0	4.0	▼ 12.0	△ 8.0	8.0	6.0	2.0	－
	分類Ⅱ	160	76.9	△ 38.8	▼ 27.5	17.5	49.4	6.3	21.3	1.9	2.5	6.3	5.6	－
	分類Ⅲ	1,171	78.7	27.7	47.2	17.4	44.9	3.2	25.8	2.5	3.4	7.4	4.3	0.5

中学校2年生の放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、「自分の家・親せきの家」は『ふたり親親族同居』が85.9%と、全体に比べて高くなっている。「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『ひとり親核家族』が20.9%と全体に比べて低く、「学校（部活動を含む）」は『ひとり親核家族』が35.8%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「友達の家」は『分類Ⅱ』が20.2%と全体に比べて高くなっている。「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『分類Ⅱ』が26.4%と全体に比べて低くなっている。「ゲームセンター」は『分類Ⅱ』が12.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、世帯構成別では「自分の家・親せきの家」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低く、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「友達の家」は『ふたり親核家族』が前回調査に比べて高く、「こども文化センターなど」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「公園」は『ふたり親核家族』が前回調査に比べて高く、『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「学校（部活動を含む）」「商店街・ショッピングモール」は『ふたり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では「自分の家・親せきの家」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低くなっている。「友達の家」は『分類Ⅱ』、「公園」は『分類Ⅲ』、「ゲームセンター」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、「学校（部活動を含む）」「商店街・ショッピングモール」は、いずれの所得分類でも前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 4-103 放課後過ごす場所（複数回答）】（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％														
			母数 (n)	自分の家・親せきの家	友達の家	塾や習い事（スポーツの教室などを含む）	こども文化センターなど	公園	ゲームセンター	学校（部活動を含む）	図書館	商店街・ショッピングモール	その他	わからない
今回調査	全体		1,374	78.5	13.8	37.7	6.6	17.5	6.5	51.7	3.0	14.3	3.9	1.1
	世帯構成	ふたり親核家族	1,109	78.8	14.4	39.5	6.8	17.7	6.2	53.8	3.1	14.1	4.0	1.3
		ふたり親親族同居	71	△ 85.9	11.3	35.2	7.0	15.5	8.5	47.9	4.2	15.5	2.8	－
		ひとり親核家族	67	80.6	11.9	▼ 20.9	4.5	13.4	4.5	▼ 35.8	1.5	14.9	3.0	1.5
		ひとり親親族同居	23	82.6	▼ 8.7	34.8	4.3	13.0	△ 21.7	▼ 39.1	－	17.4	4.3	－
	所得分類	分類Ⅰ	38	△ 84.2	10.5	▼ 28.9	7.9	13.2	5.3	△ 57.9	2.6	△ 21.1	7.9	－
		分類Ⅱ	129	79.1	△ 20.2	▼ 26.4	5.4	18.6	△ 12.4	53.5	3.1	17.1	3.1	2.3
		分類Ⅲ	1,050	79.1	13.6	40.1	6.7	17.8	6.0	52.7	3.0	13.9	3.7	1.1
前回調査	全体		2,792	90.3	8.8	42.3	1.9	12.7	2.4	40.9	0.6	8.1	2.2	0.6
	世帯構成	ふたり親核家族	2,317	90.6	8.6	43.6	1.9	12.0	2.2	41.5	0.6	7.4	2.2	0.6
		ふたり親親族同居	121	89.3	8.3	46.3	0.8	14.9	4.1	44.6	0.8	10.7	2.5	－
		ひとり親核家族	247	85.8	11.3	▼ 32.4	2.4	△ 20.6	4.0	▼ 33.6	0.4	△ 13.8	2.8	0.8
		ひとり親親族同居	44	93.2	11.4	▼ 31.8	2.3	▼ 4.5	2.3	38.6	－	6.8	4.5	－
	所得分類	分類Ⅰ	138	86.2	10.1	▼ 27.5	2.2	△ 19.6	3.6	37.7	1.4	13.0	1.4	2.2
		分類Ⅱ	457	91.0	9.6	▼ 28.7	2.6	15.5	4.2	40.9	0.7	10.5	1.1	0.9
		分類Ⅲ	1,903	90.2	8.7	46.8	1.9	11.6	2.0	41.7	0.6	7.4	2.5	0.4

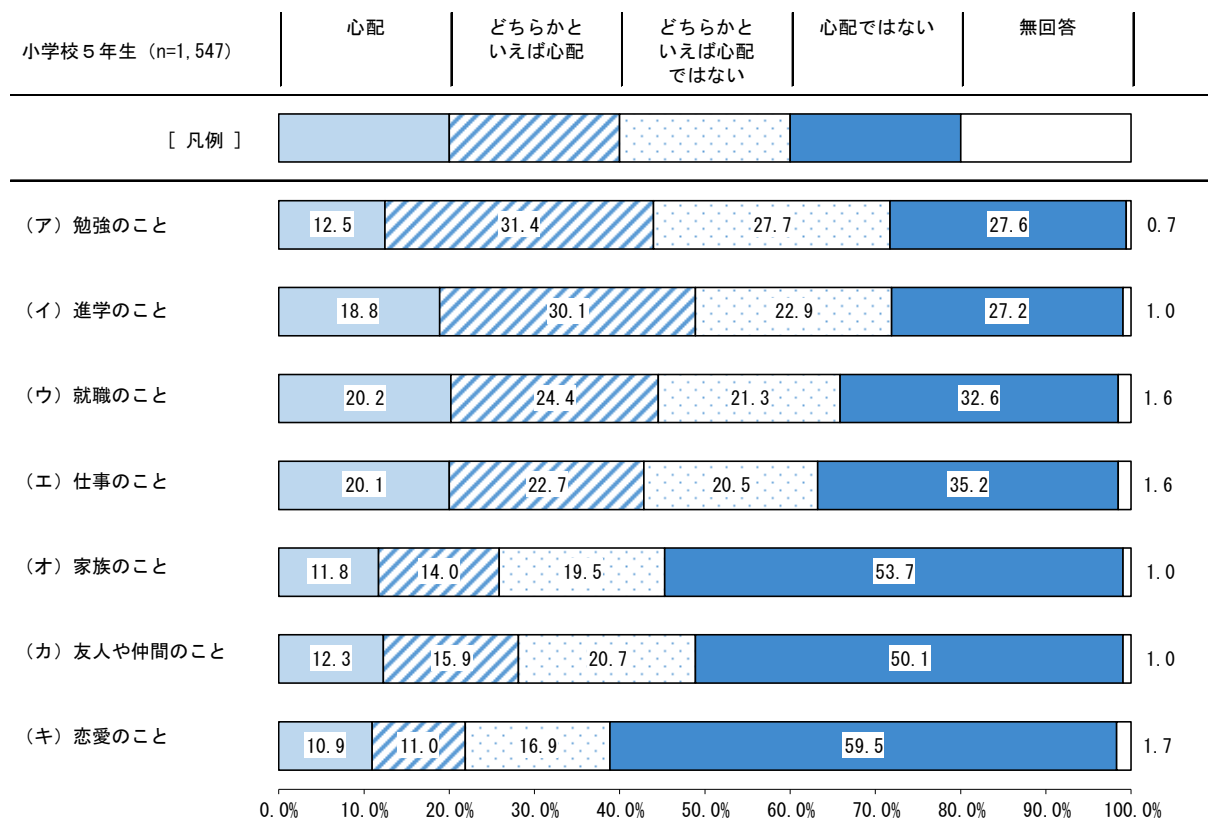
(3) 悩みや心配ごと、相談相手の有無

① 現在の悩みや心配ごと【問 16】(SA)

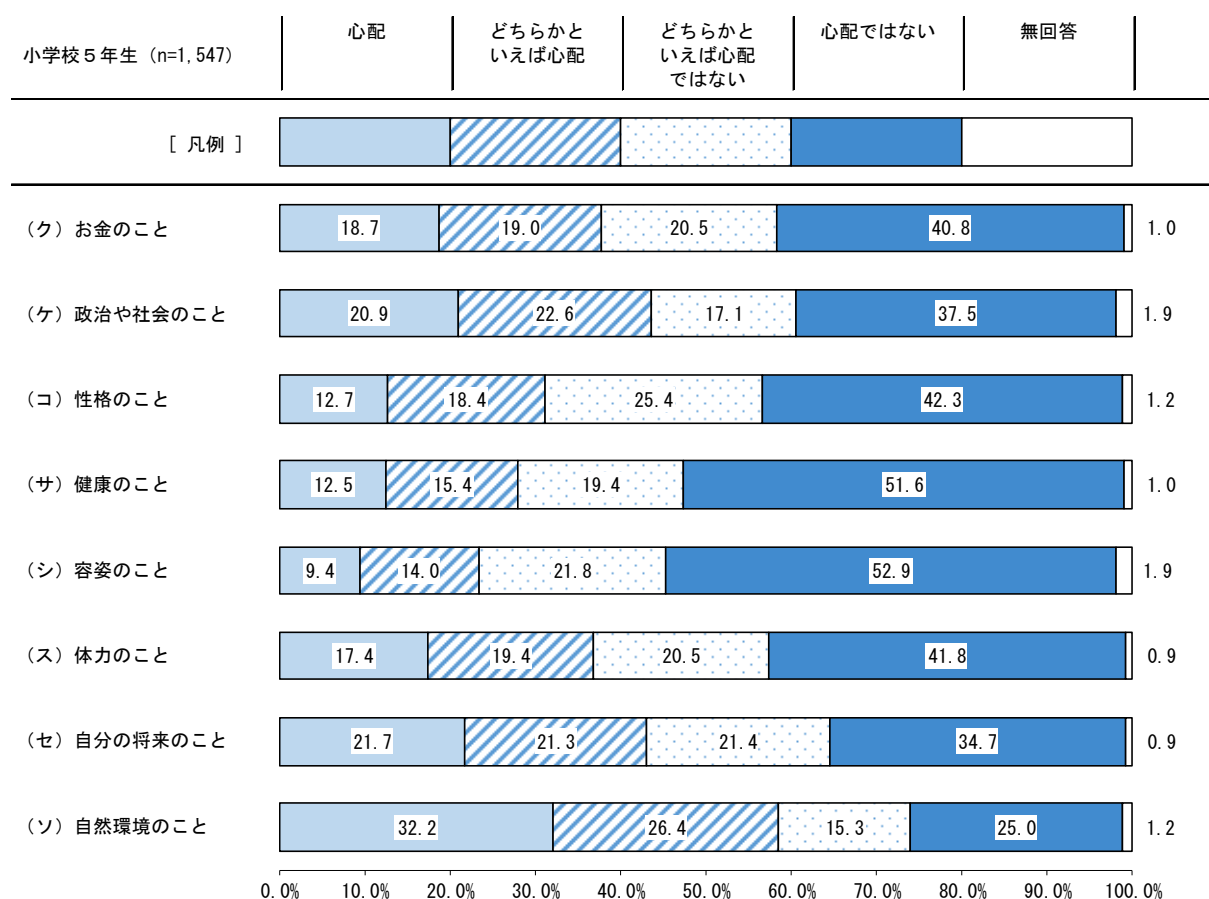
小学校5年生に現在の悩みや心配ごとを聞いたところ、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『自然環境のこと』が 58.6%と最も高く、次いで『進学のこと』が 48.9%となっている。「心配ではない」と「どちらかといえば心配ではない」を足し合わせた割合は、『恋愛のこと』が 76.4%と最も高く、次いで『容姿のこと』が 74.7%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-104 悩みや心配ごと-1】(小学校5年生)



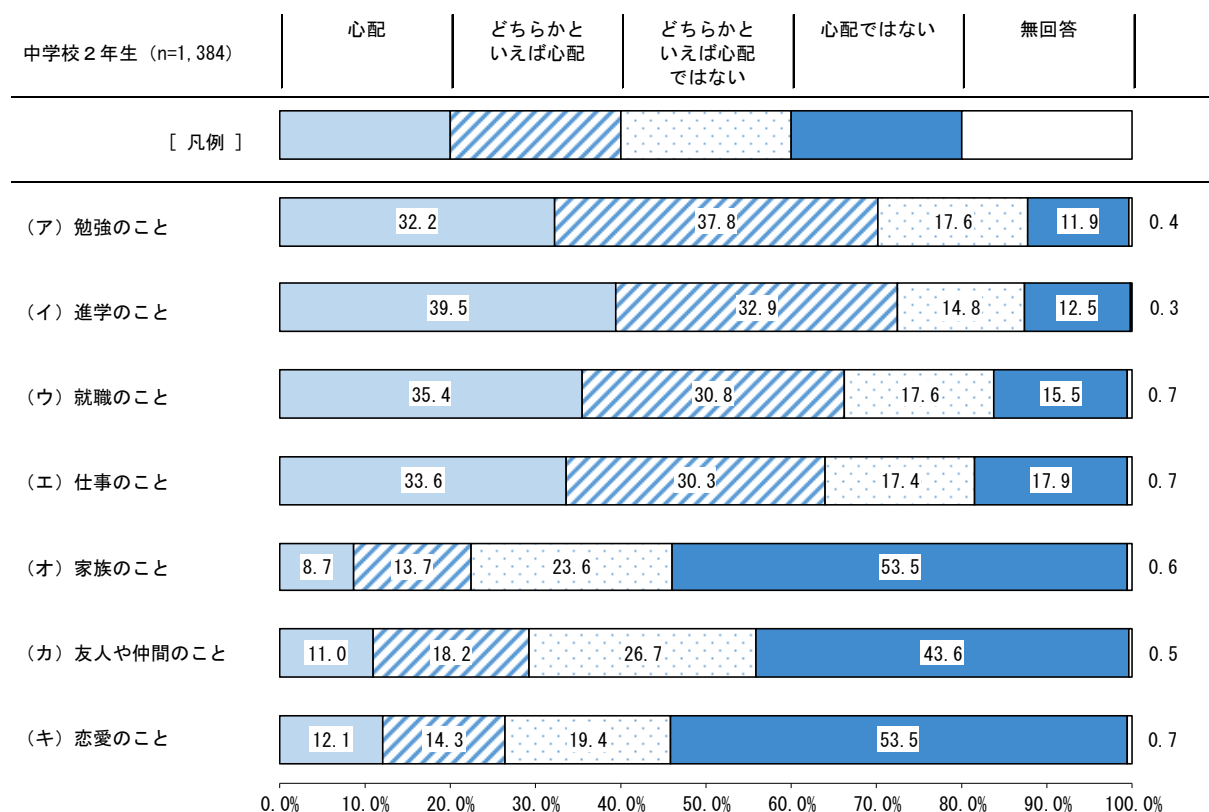
<今回調査>【図表 4-105 悩みや心配ごと-2】(小学校5年生)



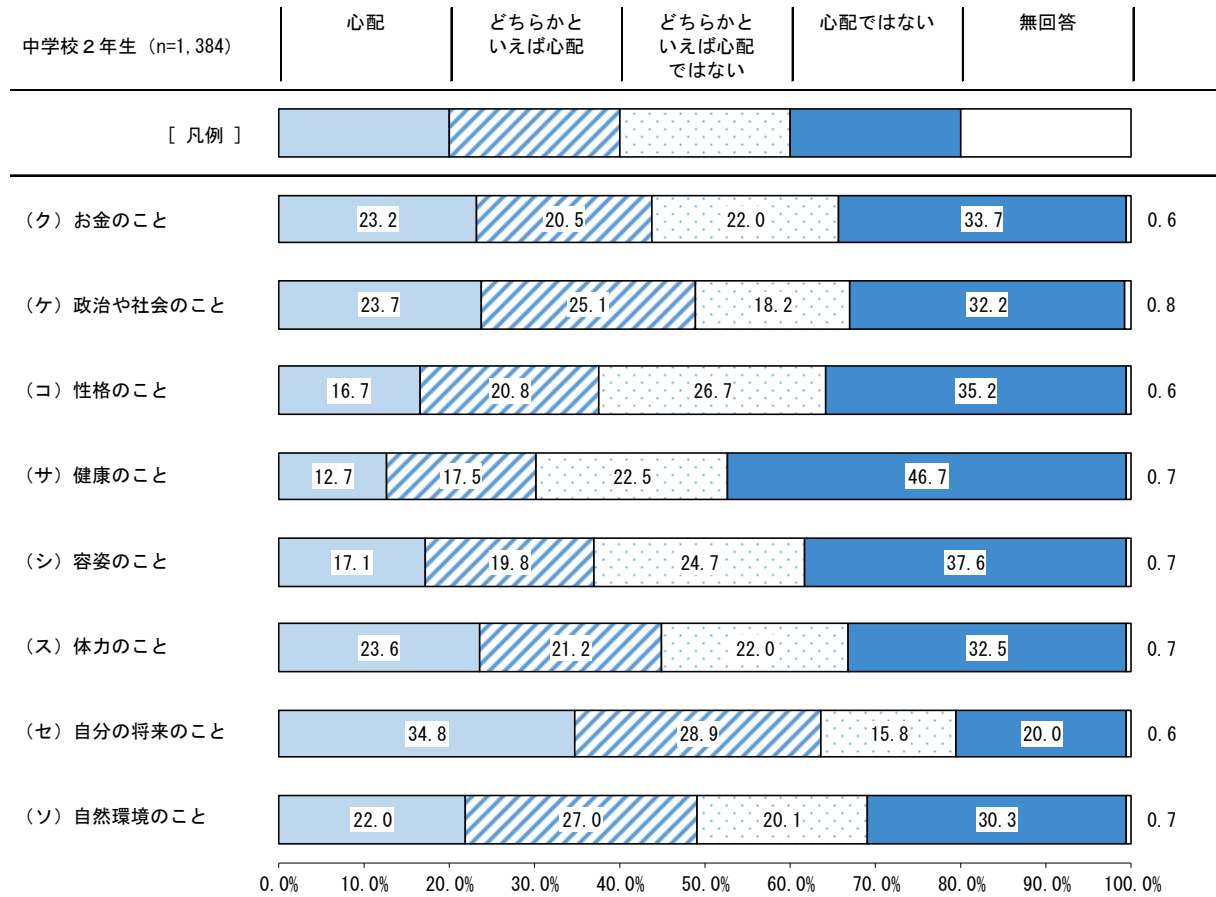
中学校2年生に現在の悩みや心配ごとを聞いたところ、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『進学のこと』が72.4%と最も高く、次いで『勉強のこと』が70.0%となっている。「心配ではない」と「どちらかといえば心配ではない」を足し合わせた割合は、『家族のこと』が77.1%と最も高く、次いで『恋愛のこと』が72.9%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-106 悩みや心配ごと-1】(中学校2年生)



<今回調査>【図表 4-107 悩みや心配ごと-2】(中学校2年生)



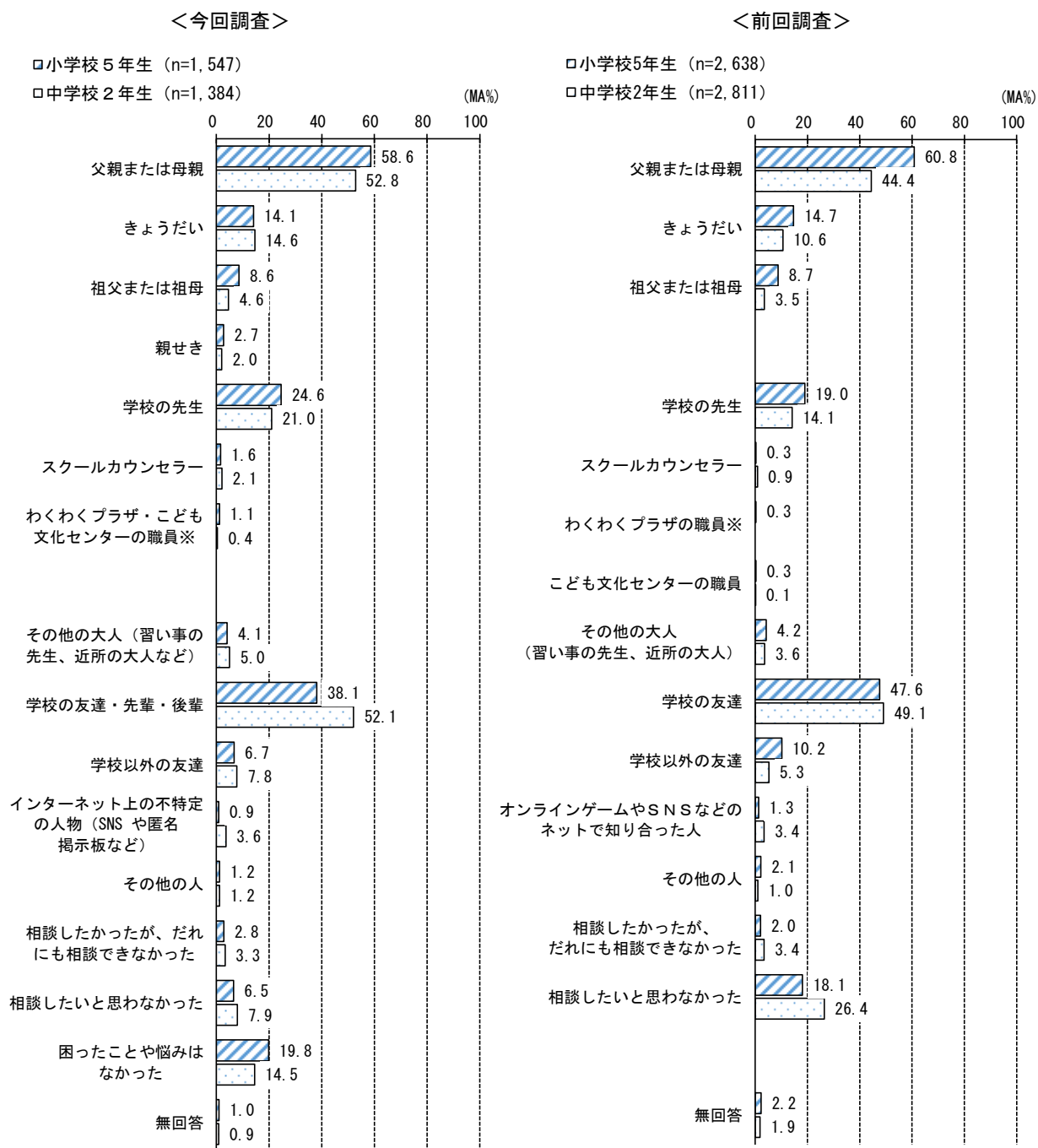
② 相談相手の有無【問 17】(MA)

この1年間で困りごとや悩みの相談相手を複数回答で聞いたところ、「父親または母親」(小学校5年生:58.6%、中学校2年生:52.8%)が最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」(小学校5年生:38.1%、中学校2年生:52.1%)、「学校の先生」(小学校5年生:24.6%、中学校2年生:21.0%)となっている。

経年でみると、「父親または母親」は中学校2年生で前回調査に比べて高く、「学校の先生」は小学校5年生、中学校2年生ともに高く、「学校の友達・先輩・後輩」は小学校5年生で低くなっている。

なお、前回調査は設問内容、選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 4-108 相談相手の有無(複数回答)】



※「わくわくプラザの職員」は小学校5年生のみ

※ページ調整のため余白

小学校5年生の相談相手の有無を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「お父さんまたはお母さん」が70.4%、「おじいちゃんまたはおばあちゃん」が28.2%、「学校の先生」が33.8%、「学校の友達・先輩・後輩」が49.3%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「お父さんまたはお母さん」は『分類Ⅰ』が66.7%、『分類Ⅱ』が64.2%と全体に比べて高くなっている。「学校の友達・先輩・後輩」は『分類Ⅰ』が25.5%と全体に比べて低くなっている。また、「困ったことや悩みはなかった」は『分類Ⅰ』が11.8%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、世帯構成別では「学校の先生」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「学校の友達・先輩・後輩」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。所得分類別では「お父さんまたはお母さん」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、「おじいちゃんまたはおばあちゃん」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低くなっている。「学校の先生」は『分類Ⅰ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高く、「スクールカウンセラー」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高くなっている。「学校の友達・先輩・後輩」は、いずれの所得分類でも前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容、選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-109 相談相手の有無（複数回答）】（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：%

		母数 (n)	お父さん またはお母さん	きょうだい	おじいちゃん またはおばあちゃん	親せき	学校の先生	スクール カウンセラー	文化センター の職員・子ども	
全体		1,531	59.2	14.2	8.7	2.7	24.9	1.6	1.1	
世帯構成	ふたり親核家族	1,288	58.9	14.0	7.5	2.7	25.6	1.6	1.0	
	ふたり親親族同居	71	△ 70.4	15.5	△ 28.2	-	△ 33.8	2.8	1.4	
	ひとり親核家族	78	56.4	17.9	10.3	2.6	▼ 16.7	2.6	2.6	
	ひとり親親族同居	17	▼ 52.9	▼ 5.9	△ 23.5	5.9	▼ 17.6	-	-	
所得分類	分類Ⅰ	51	△ 66.7	17.6	3.9	5.9	27.5	5.9	2.0	
	分類Ⅱ	159	△ 64.2	11.3	11.3	2.5	23.3	0.6	-	
	分類Ⅲ	1,181	58.3	14.2	8.8	2.5	25.4	1.7	1.3	

単位：%

		母数 (n)	先生、他の 近所の大人（習い 事など）	学校の友達・ 先輩・後輩	学校以外の 友達	掲示物（ネット 上の匿名特 定人物など）	その他の人	にも相談 できなかった が、たれ	相談した かかったと	困った ことや 悩みは
全体		1,531	4.1	38.5	6.7	0.9	1.2	2.8	6.5	20.1
世帯構成	ふたり親核家族	1,288	3.9	39.1	6.8	1.1	1.2	2.8	6.5	20.5
	ふたり親親族同居	71	7.0	△ 49.3	7.0	-	2.8	2.8	2.8	▼ 14.1
	ひとり親核家族	78	2.6	35.9	6.4	-	1.3	2.6	7.7	17.9
	ひとり親親族同居	17	△ 11.8	41.2	△ 11.8	-	-	-	-	23.5
所得分類	分類Ⅰ	51	3.9	▼ 25.5	5.9	3.9	2.0	2.0	5.9	▼ 11.8
	分類Ⅱ	159	3.8	37.1	5.7	1.3	1.3	1.3	4.4	17.0
	分類Ⅲ	1,181	4.2	40.2	7.1	0.8	1.3	3.1	6.8	20.3

<前回調査>【図表 4-110 (この1か月の)相談相手の有無(複数回答)】

(小学校5年生・世帯構成別、所得分類)

単位：%

		母数 (n)	お父さん またはお母さん	きょうだい	おじいちゃん または おばあちゃん		学校の先生	スクール カウンセラー	わくわくプラザの職員	こども文化センターの職員
全体		2,579	62.2	15.0	8.9		19.5	0.3	0.3	0.3
世帯構成	ふたり親核家族	2,237	62.9	14.8	7.4		19.5	0.3	0.4	0.3
	ふたり親親族同居	111	65.8	14.4	△ 24.3		△ 27.9	-	-	-
	ひとり親核家族	137	59.9	18.2	11.7		16.1	-	-	0.7
	ひとり親親族同居	45	▼ 40.0	17.8	△ 26.7		▼ 13.3	-	-	-
所得分類	分類Ⅰ	92	66.3	△ 20.7	△ 14.1		21.7	-	-	-
	分類Ⅱ	356	58.7	15.7	11.5		21.3	-	1.1	0.6
	分類Ⅲ	1,908	62.9	14.8	8.1		19.4	0.3	0.1	0.3

単位：%

		母数 (n)	生、その他 の近所の大人 (習い事の先生)	学校の友達	学校以外の友達	人などの オンライン ゲームや SNSで知り 合った人	その他の人	も相談 したか つたが、 だれに	相談 したい と思わ なかつた	
全体		2,579	4.3	48.7	10.5	1.3	2.2	2.1	18.5	
世帯構成	ふたり親核家族	2,237	4.3	49.0	10.5	1.3	2.0	2.1	18.6	
	ふたり親親族同居	111	4.5	△ 54.1	9.0	1.8	1.8	0.9	17.1	
	ひとり親核家族	137	5.8	44.5	9.5	0.7	3.6	2.2	16.8	
	ひとり親親族同居	45	2.2	▼ 35.6	13.3	-	4.4	4.4	15.6	
所得分類	分類Ⅰ	92	6.5	46.7	7.6	1.1	1.1	1.1	▼ 13.0	
	分類Ⅱ	356	3.1	△ 54.5	9.6	2.5	3.7	2.8	15.2	
	分類Ⅲ	1,908	4.5	48.1	11.0	1.2	1.8	1.9	19.3	

中学校2年生の相談相手の有無を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「祖父または祖母」が12.7%、「学校以外の友達」が14.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、世帯構成別では「父親または母親」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』、「きょうだい」は『ふたり親核家族』、「学校の先生」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』、「学校以外の友達」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が、それぞれ前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では「父親または母親」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高く、「きょうだい」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、「学校の先生」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容、選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-111 相談相手の有無（複数回答）】（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：%										
		母数 (n)	父 親 ま た は 母 親	き ょ う だ い	祖 父 ま た は 祖 母	親 せ き	学 校 の 先 生	ス ク ー ル カ ウ ン セ ー ラ	こ ど も 文 化 セ ン タ ー の 職 員	そ の 他 の 大 人 （ 習 い 事 の 先 生 、 近 所 の 大 人 な ど ）
全体		1,372	53.3	14.7	4.6	2.0	21.2	2.1	0.4	5.0
世帯 構 成	ふたり親核家族	1,109	54.2	15.7	4.1	1.9	22.3	2.1	0.3	5.2
	ふたり親親族同居	71	57.7	16.9	△ 12.7	2.8	23.9	－	1.4	4.2
	ひとり親核家族	66	51.5	▼ 9.1	3.0	3.0	19.7	3.0	3.0	6.1
	ひとり親親族同居	23	52.2	－	8.7	－	▼ 8.7	4.3	－	4.3
所得 分 類	分類Ⅰ	37	▼ 43.2	13.5	2.7	5.4	24.3	－	2.7	△ 10.8
	分類Ⅱ	129	56.6	16.3	6.2	3.1	21.7	3.9	1.6	2.3
	分類Ⅲ	1,050	54.3	15.0	4.6	1.8	22.3	1.9	0.3	5.5

単位：%									
		母数 (n)	学校の友達・先輩・後輩	学校以外の友達	インターネット上の不特定人物（SNSや匿名掲示板など）	その他の人	も相談できなかったが、だれに相談したかったが、だれに相談できなかった	相談したいと思わなかった	困ったことや悩みはなかった
全体		1,372	52.6	7.9	3.6	1.2	3.3	7.9	14.7
世帯構成	ふたり親核家族	1,109	53.7	7.1	3.4	1.1	3.2	7.7	14.7
	ふたり親親族同居	71	53.5	△ 14.1	4.2	2.8	－	8.5	12.7
	ひとり親核家族	66	▼ 43.9	△ 13.6	7.6	3.0	3.0	12.1	10.6
	ひとり親親族同居	23	47.8	－	－	－	4.3	4.3	△ 21.7
所得分類	分類Ⅰ	37	48.6	△ 13.5	5.4	△ 10.8	－	△ 13.5	16.2
	分類Ⅱ	129	53.5	9.3	3.9	1.6	4.7	3.9	12.4
	分類Ⅲ	1,050	53.7	7.5	3.2	1.0	3.0	8.3	14.2

<前回調査>【図表 4-112 (この1か月の)相談相手の有無(複数回答)】

(中学校2年生・世帯構成別、所得分類別)

単位：％

		母数 (n)	父親 または 母親	き ょう だ い	祖 父 ま た は 祖 母		学 校 の 先 生	ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	こ ど も 文 化 セ ン タ ー の 職 員	そ の 他 の 大 人 (習 い 事 の 先 生 、 近 所 の 大 人)
全体		2,758	45.3	10.8	3.5		14.4	0.9	0.1	3.6
世帯 構 成	ふたり親核家族	2,290	45.7	10.5	2.5		14.1	1.0	0.1	3.6
	ふたり親親族同居	120	△ 55.0	13.3	△ 10.0		16.7	—	—	8.3
	ひとり親核家族	243	▼ 36.6	10.7	5.8		15.6	0.8	0.4	2.9
	ひとり親親族同居	44	45.5	9.1	△ 15.9		15.9	2.3	—	2.3
所得 分 類	分類Ⅰ	135	41.5	11.1	5.9		17.0	0.7	—	0.7
	分類Ⅱ	454	40.5	10.1	4.6		17.6	1.5	—	4.8
	分類Ⅲ	1,883	47.1	10.7	2.7		13.9	0.8	0.2	3.7

単位：％

		母数 (n)	学 校 の 友 達 ・ 先 輩 ・ 後 輩	学 校 以 外 の 友 達	人 な ど の ネ ッ ト ゲ ー ム や 知 り 合 っ た 人	そ の 他 の 人	も 相 談 し た か つ た が 、 だ れ に	相 談 し た い と 思 わ な か つ た	
全体		2,758	50.0	5.4	3.5	1.0	3.4	26.9	
世帯 構 成	ふたり親核家族	2,290	50.2	5.5	3.2	1.0	3.4	26.9	
	ふたり親親族同居	120	52.5	3.3	2.5	0.8	3.3	▼ 20.0	
	ひとり親核家族	243	48.1	7.0	5.3	0.8	3.7	30.9	
	ひとり親親族同居	44	47.7	2.3	2.3	2.3	6.8	27.3	
所得 分 類	分類Ⅰ	135	54.8	5.9	3.7	—	3.0	25.9	
	分類Ⅱ	454	50.4	8.4	4.6	1.1	3.7	28.0	
	分類Ⅲ	1,883	50.6	4.8	2.9	1.1	3.6	26.2	

第3節 子どもの学校生活

(1) 学習状況

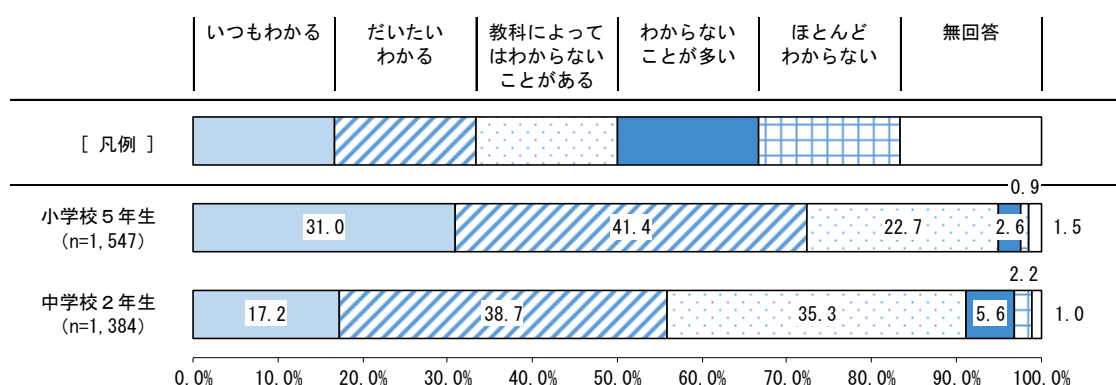
ア 授業の理解度

① 授業の理解度【問2】(SA)

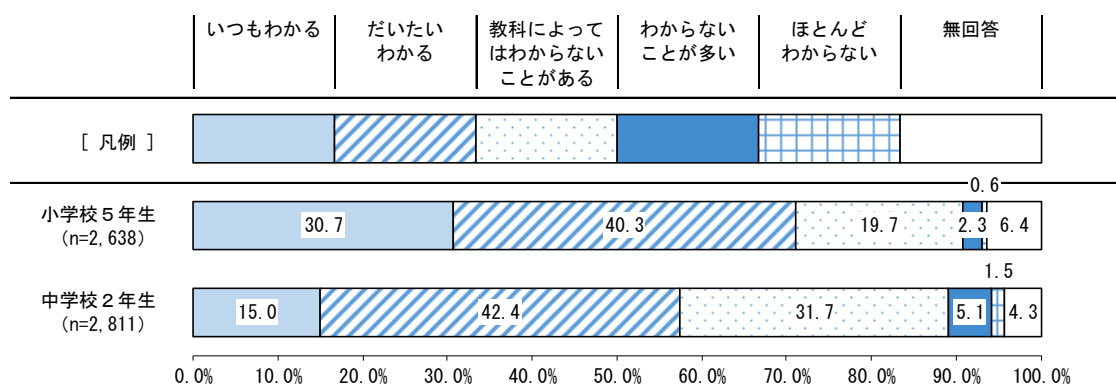
授業の理解度を聞いたところ、小学校5年生では「だいたいわかる」が41.4%で最も高く、次いで「いつもわかる」が31.0%、「教科によってはわからないことがある」が22.7%となっている。中学校2年生では「だいたいわかる」が38.7%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が35.3%、「いつもわかる」が17.2%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-113 授業の理解度】



＜前回調査＞【図表 4-114 授業の理解度】

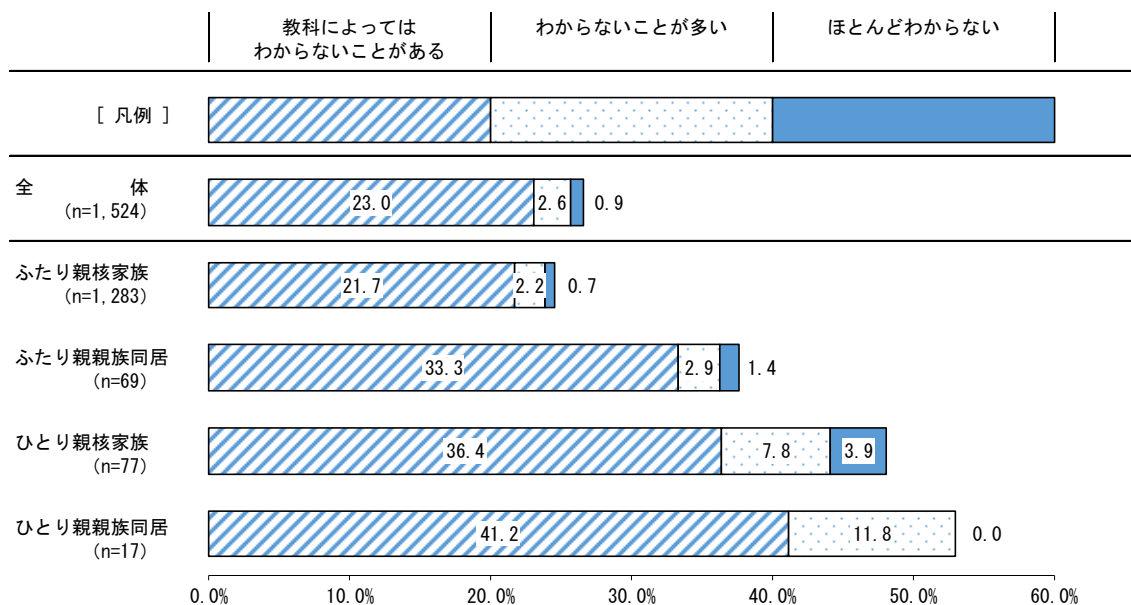


小学校5年生の授業の理解度を世帯構成別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『ひとり親核家族』が36.4%、『ふたり親親族同居』が33.3%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

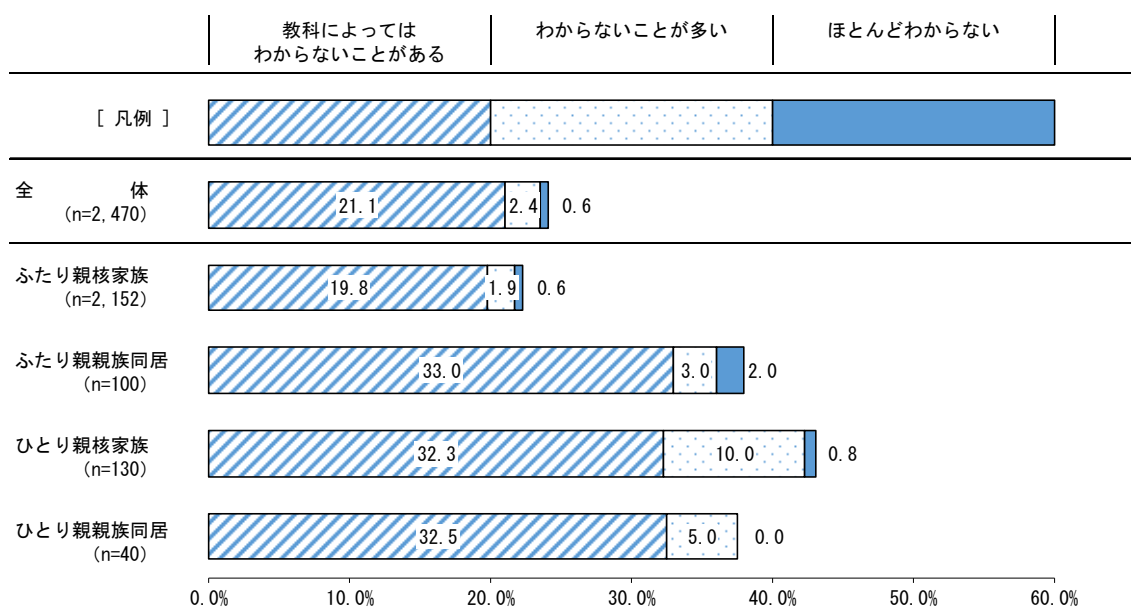
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-115 授業の理解度】(小学校5年生・世帯構成別)



※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

<前回調査>【図表 4-116 授業の理解度】(小学校5年生・世帯構成別)

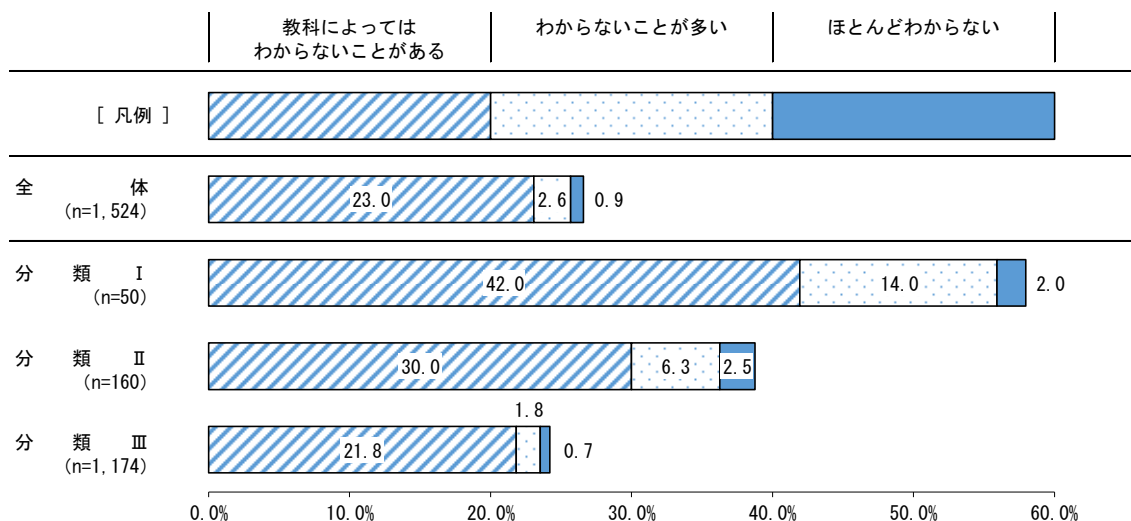


※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

小学校5年生の授業の理解度を所得分類別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『分類Ⅰ』が42.0%、『分類Ⅱ』が30.0%と全体に比べて高く、「わからないことが多い」は『分類Ⅰ』が14.0%と全体に比べて高くなっている。

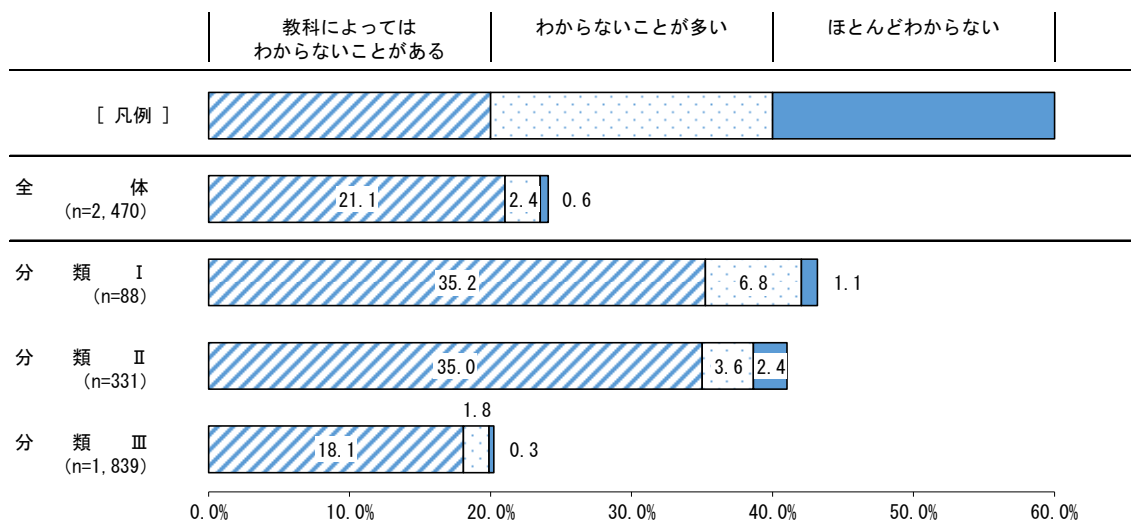
経年でみると、「教科によってはわからないことがある」は、『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高く、『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。「わからないことが多い」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-117 授業の理解度】（小学校5年生・所得分類別）



※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

<前回調査>【図表 4-118 授業の理解度】（小学校5年生・所得分類別）



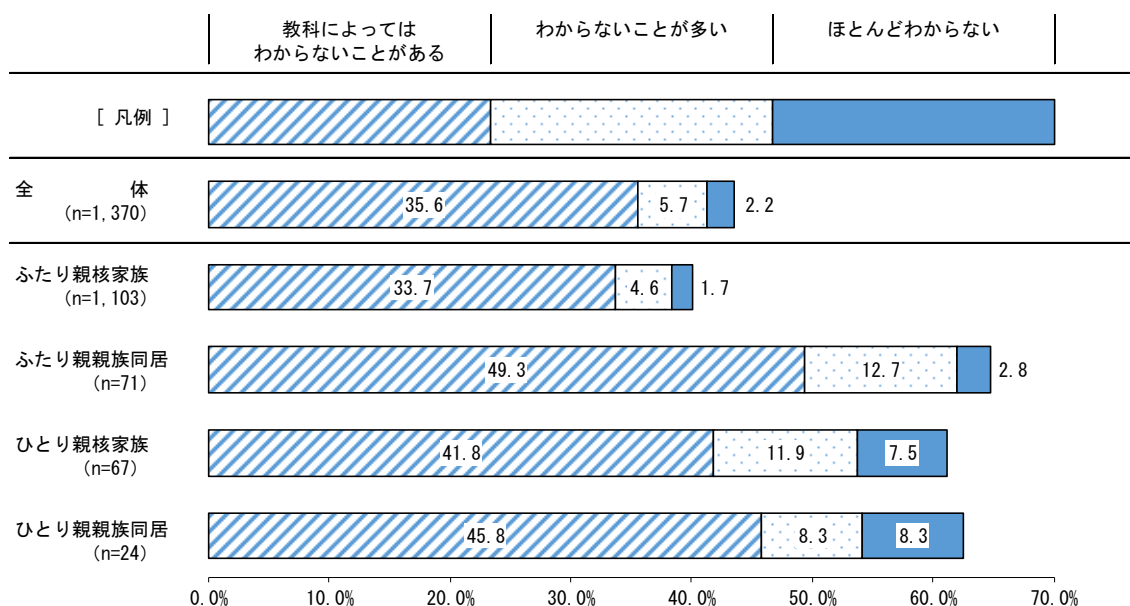
※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

中学校2年生の授業の理解度を世帯構成別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『ふたり親親族同居』が49.3%、『ひとり親核家族』が41.8%、「わからないことが多い」は『ふたり親親族同居』が12.7%、『ひとり親核家族』が11.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」は、『ふたり親親族同居』で前回調査に比べて高くなっている。

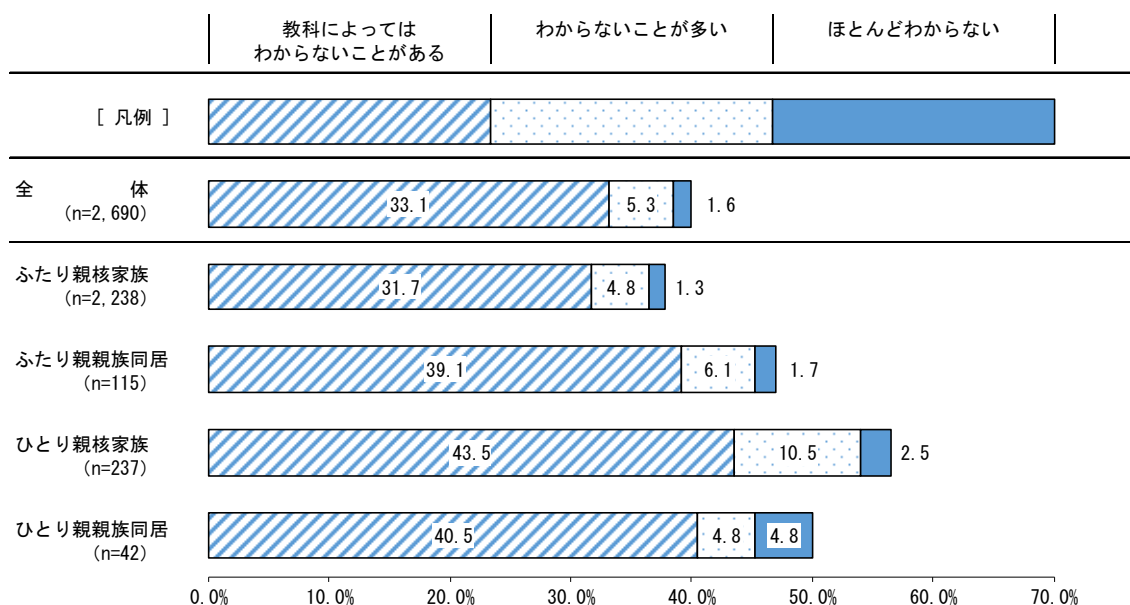
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-119 授業の理解度】(中学校2年生・世帯構成別)



※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

<前回調査>【図表 4-120 授業の理解度】(中学校2年生・世帯構成別)



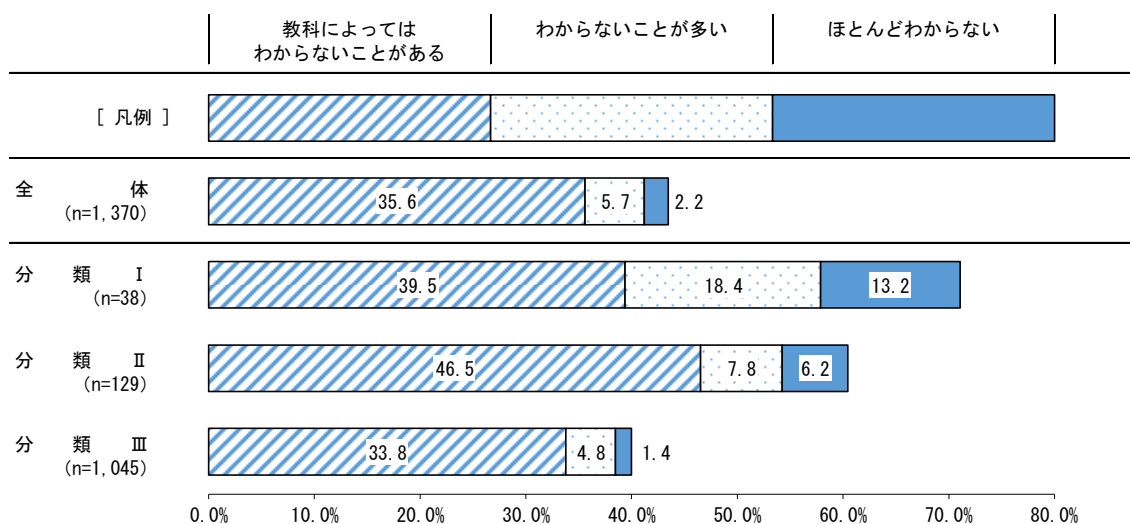
※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

中学校2年生の授業の理解度を所得分類別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『分類Ⅱ』が46.5%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「教科によってはわからないことがある」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

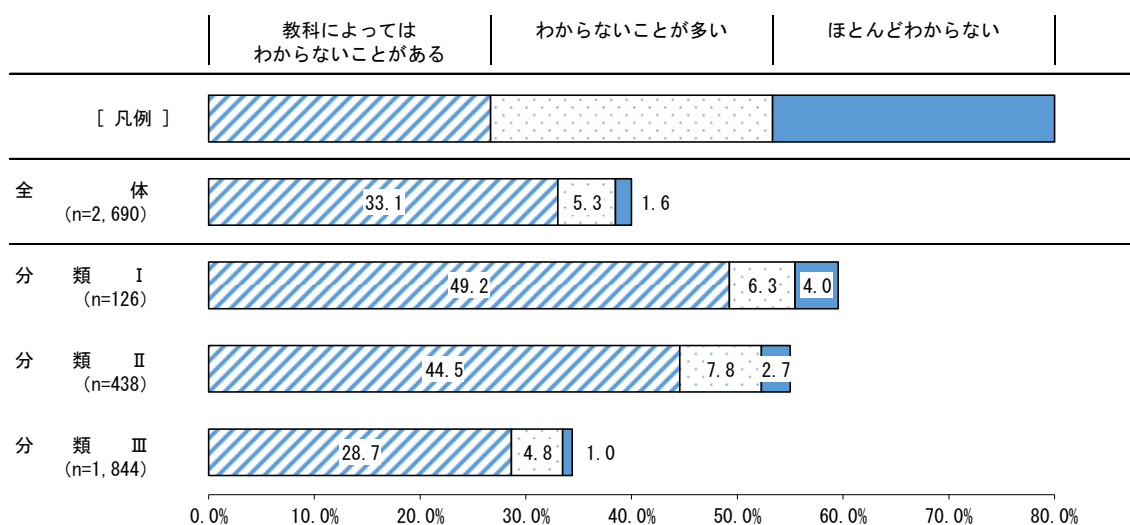
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-121 授業の理解度】(中学校2年生・所得分類別)



※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

<前回調査>【図表 4-122 授業の理解度】(中学校2年生・所得分類別)



※「いつもわかる」「だいたいわかる」を除く

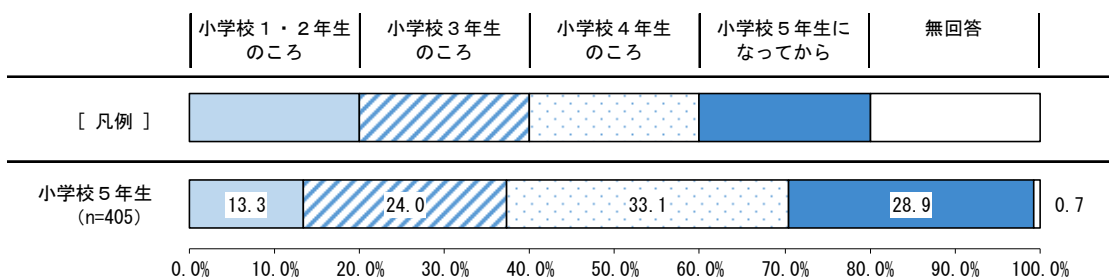
② 授業がわからなくなった学年【問3】(SA)

「教科によってはわからないことがある」「ほとんどわからないことが多い」「ほとんどわからない」のいずれかを回答した方に、授業がわからなくなった学年を聞いたところ、小学校5年生では「小学校4年生のころ」が33.1%で最も高く、次いで「小学校5年生になってから」が28.9%、「小学校3年生のころ」が24.0%となっている。

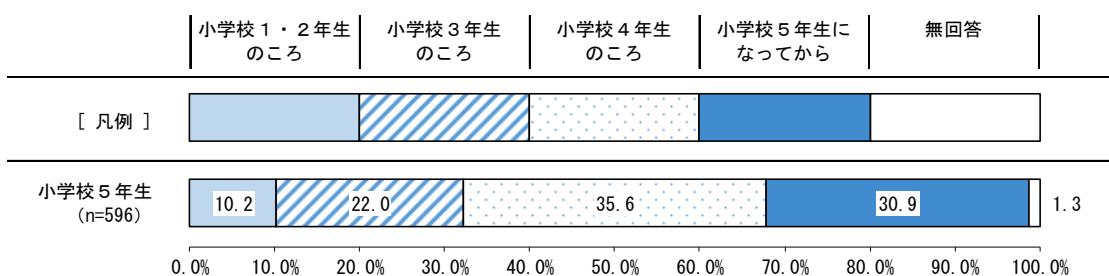
中学校2年生では「中学校1年生のころ」が47.3%で最も高く、次いで「中学校2年生になってから」が24.5%、「小学校5・6年生のころ」が15.9%となっている。

経年でみると、小学校5年生では大きな差はみられない。中学校2年生では「中学校2年生になってから」が前回調査に比べて高くなっている。

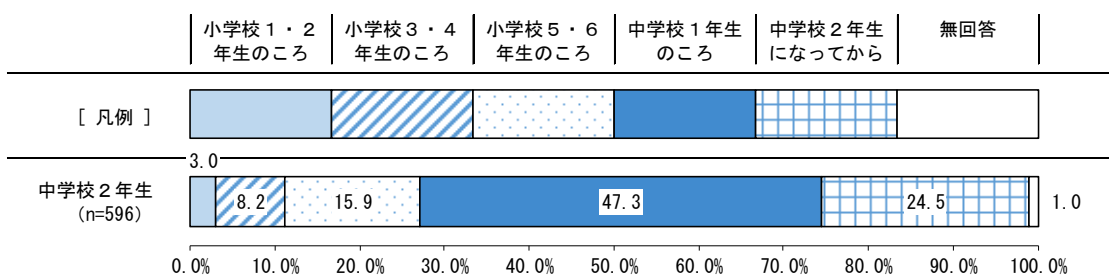
＜今回調査＞【図表 4-123 授業がわからなくなった学年】(小学校5年生)



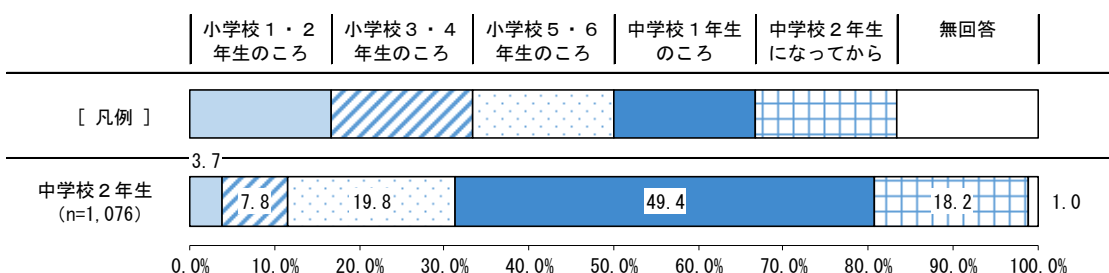
＜前回調査＞【図表 4-124 授業がわからなくなった学年】(小学校5年生)



＜今回調査＞【図表 4-125 授業がわからなくなった学年】(中学校2年生)

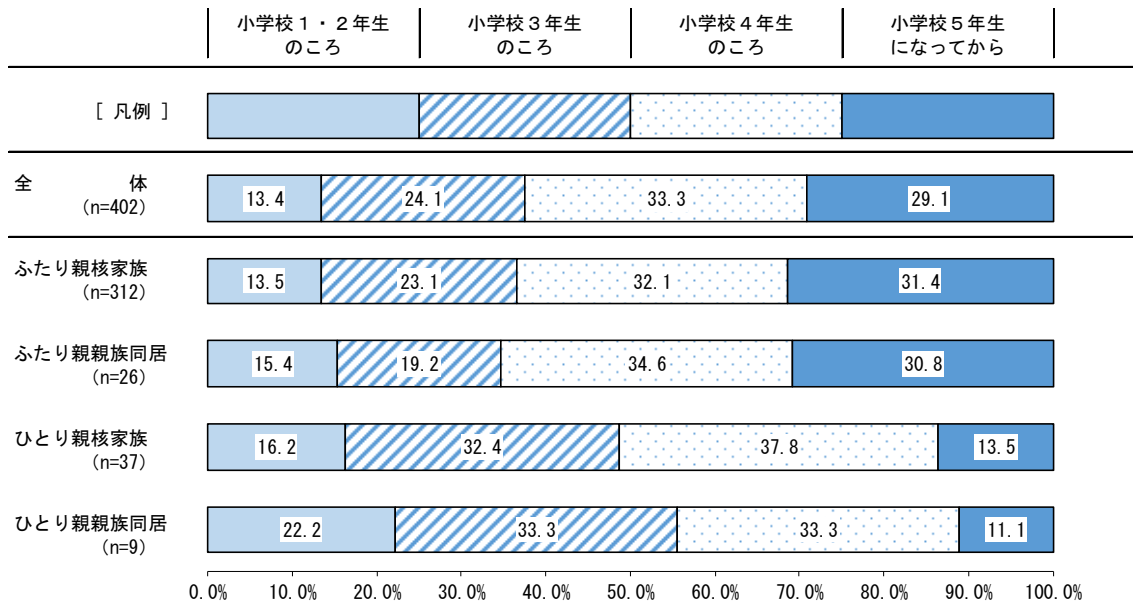


＜前回調査＞【図表 4-126 授業がわからなくなった学年】(中学校2年生)

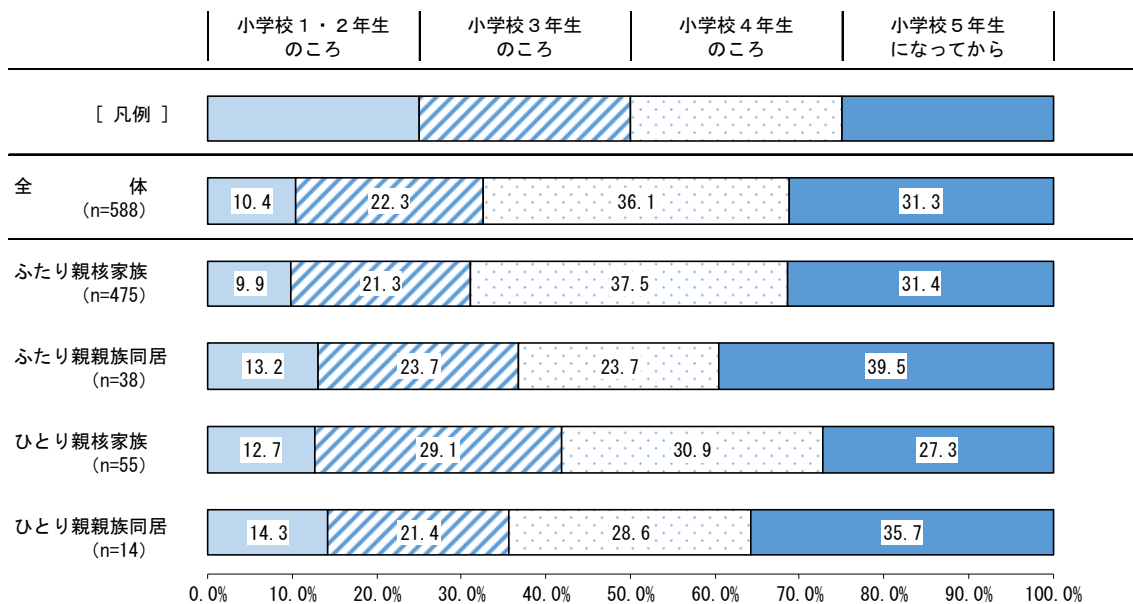


小学校5年生の授業がわからなくなった学年を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-127 授業がわからなくなった学年】（小学校5年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-128 授業がわからなくなった学年】（小学校5年生・世帯構成別）

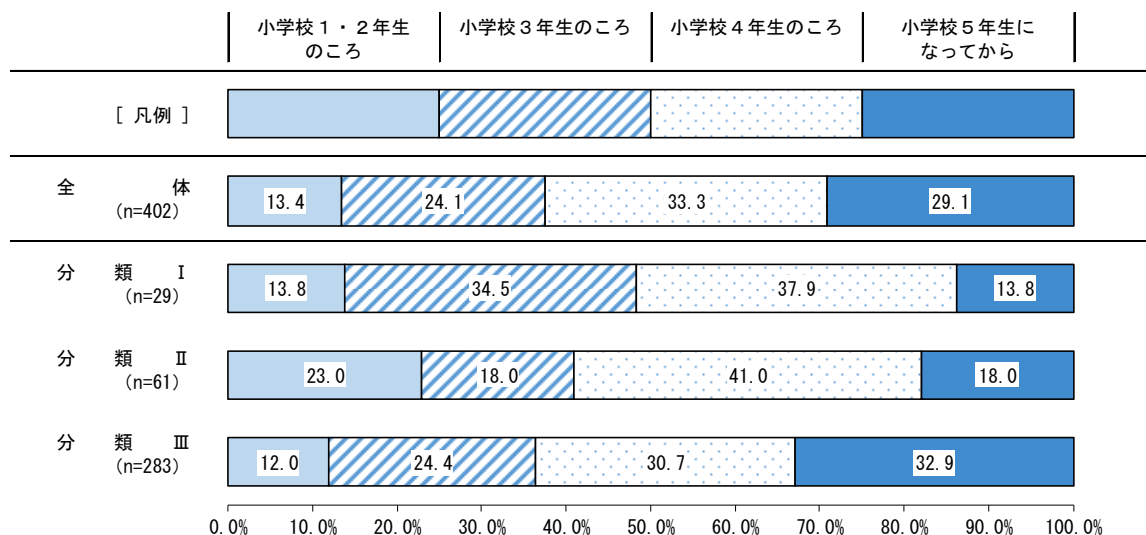


所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「小学校1・2年生のころ」が23.0%、「小学校4年生のころ」が41.0%と全体に比べて高く、「小学校3年生のころ」が18.0%、「小学校5年生になってから」が18.0%と全体に比べて低くなっている。

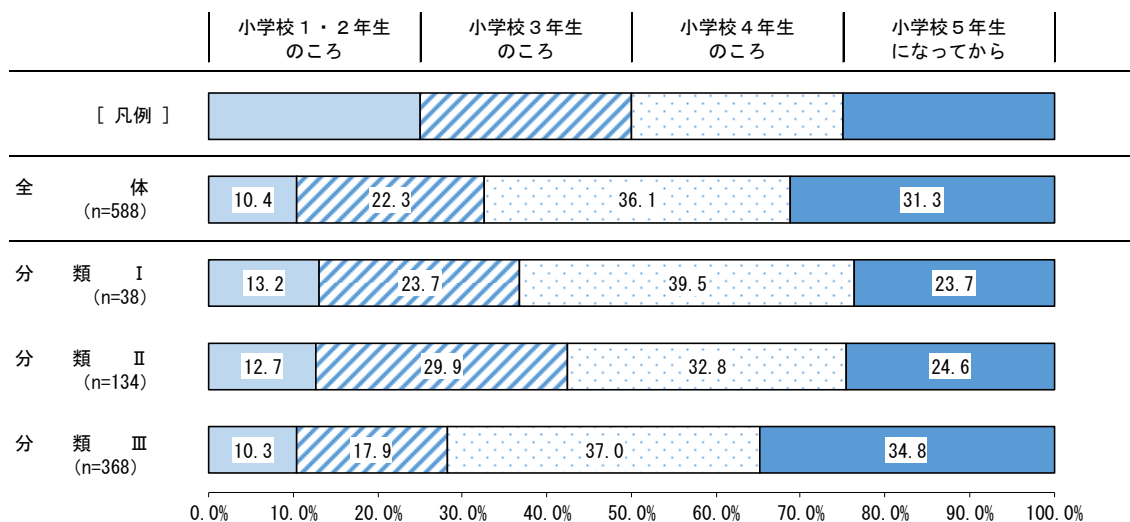
経年でみると、「小学校1・2年生のころ」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、「小学校3年生のころ」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低く、『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高く、「小学校4年生のころ」は、『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「小学校5年生になってから」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-129 授業がわからなくなった学年】（小学校5年生・所得分類別）



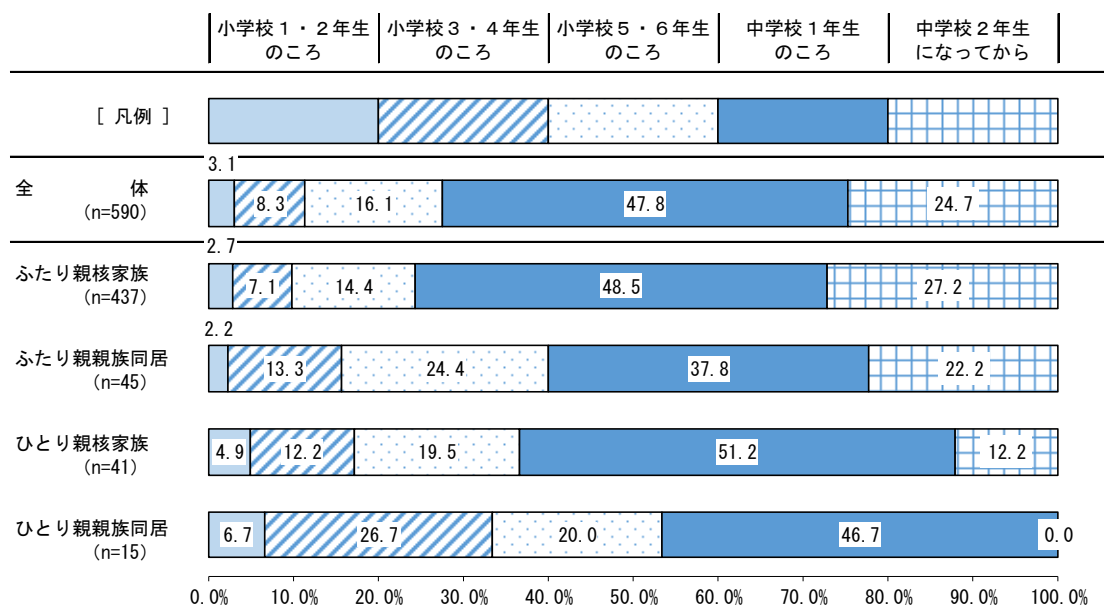
＜前回調査＞【図表 4-130 授業がわからなくなった学年】（小学校5年生・所得分類別）



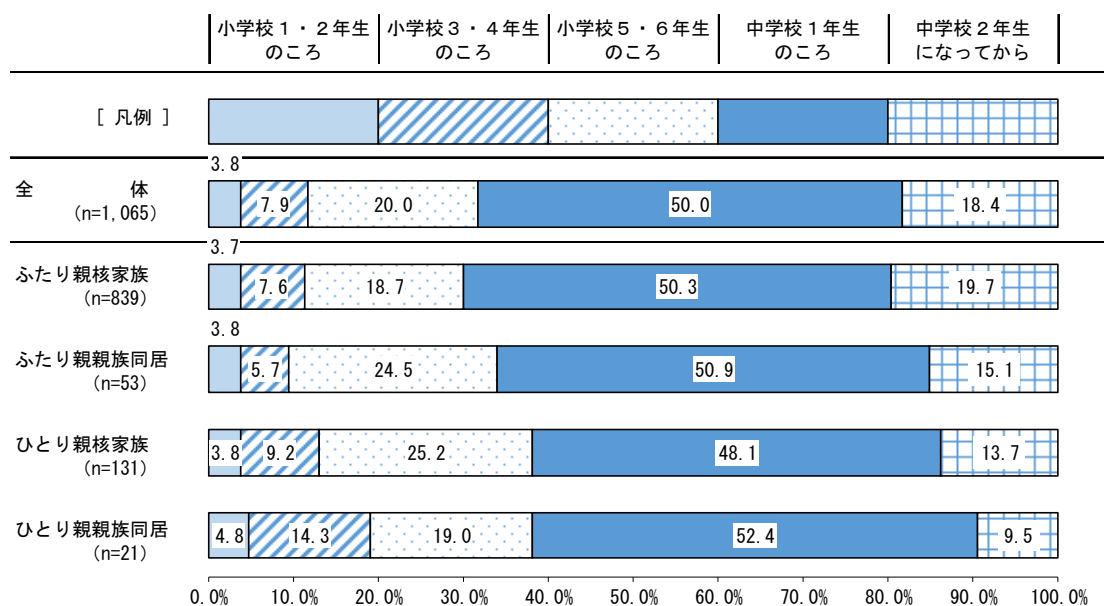
中学校2年生の授業がわからなくなった学年を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。経年でみると、「中学校2年生になってから」は、『ふたり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-131 授業がわからなくなった学年】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-132 授業がわからなくなった学年】(中学校2年生・世帯構成別)

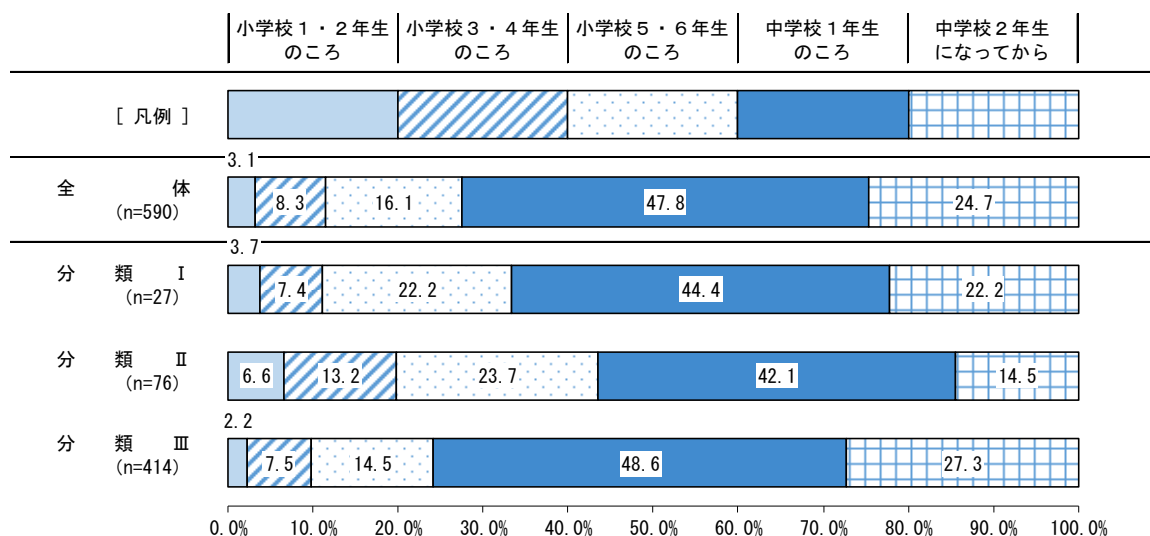


所得分類別にみると、「小学校5・6年生のころ」は『分類Ⅱ』が23.7%と全体に比べて高く、「中学校1年生のころ」は『分類Ⅱ』が42.1%と全体に比べて低く、「中学校2年生になってから」は『分類Ⅱ』が14.5%と全体に比べて低くなっている。

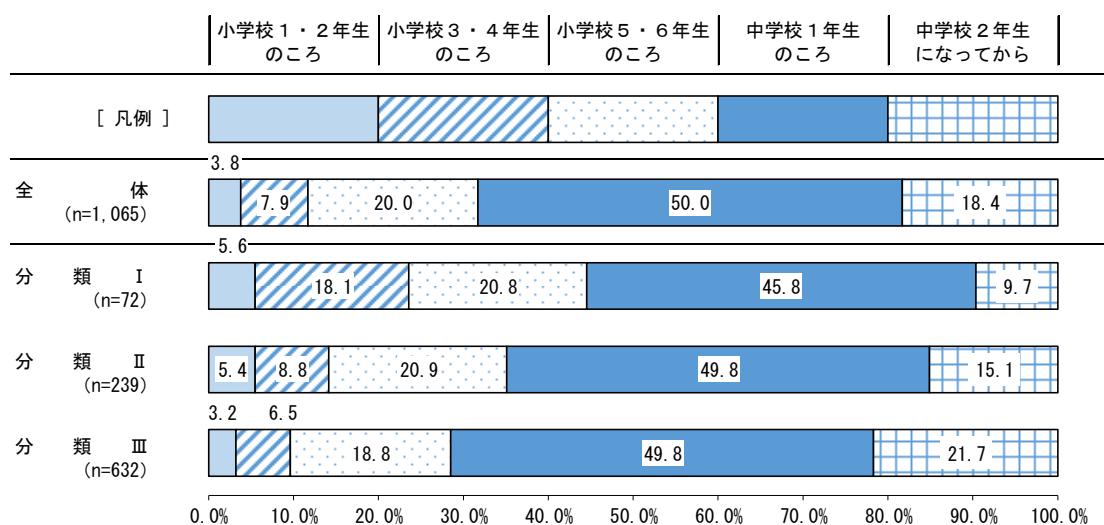
経年でみると、「中学校1年生のころ」は『分類Ⅱ』で前回調査に比べて低くなっている。「中学校2年生になってから」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-133 授業がわからなくなった学年】（中学校2年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-134 授業がわからなくなった学年】（中学校2年生・所得分類別）



イ 学校の授業以外の学習環境【問4】(MA)

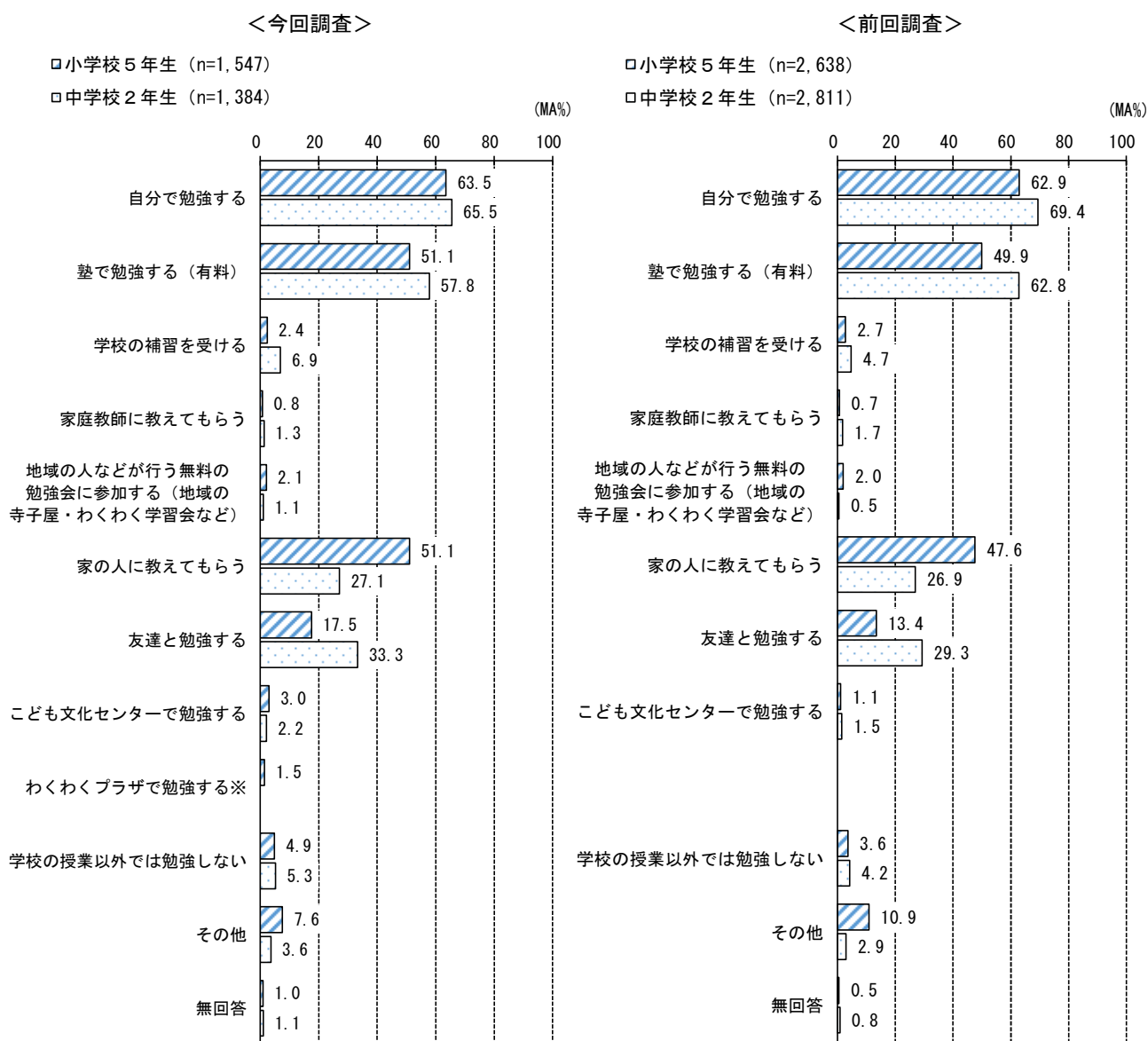
学校の授業以外での学習環境を聞いたところ、小学校5年生では「自分で勉強する」が63.5%と最も高く、次いで「塾で勉強する（有料）」「家の人に教えてもらう」が51.1%となっている。

中学校2年生では「自分で勉強する」が65.5%と最も高く、次いで「塾で勉強する（有料）」が57.8%、「友達と勉強する」が33.3%となっている。

経年でみると、中学校2年生では「塾で勉強する（有料）」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は設問内容、選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 4-135 学校の授業以外での学習環境（複数回答）】



※「わくわくプラザで勉強する」は小学校5年生のみ

※ページ調整のため余白

小学校5年生の学校の授業外での学習環境を世帯構成別にみると、「自分で勉強する」は『ひとり親核家族』が56.4%、「塾で勉強する（有料）」は『ふたり親親族同居』が42.9%、『ひとり親核家族』が43.6%、「家の人に教えてもらう」は『ひとり親核家族』が41.0%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。「友達と勉強する」は『ふたり親親族同居』が22.9%と全体に比べて高く、「学校の授業以外では勉強しない」は『ひとり親核家族』が10.3%と全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「自分で勉強する」は『分類Ⅰ』が52.9%、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅰ』が25.5%、『分類Ⅱ』が34.2%と全体に比べて低くなっている。「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する（地域の寺子屋・わくわく学習会など）」は『分類Ⅰ』が7.8%、「学校の授業以外では勉強しない」は『分類Ⅰ』が21.6%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、世帯構成別では「自分で勉強する」「友達と勉強する」は、『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「塾で勉強する（有料）」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では「自分で勉強する」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高く、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低くなっている。「友達と勉強する」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低く、『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。「学校の授業以外では勉強しない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容、選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-136 学校の授業以外での学習環境（複数回答）】（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：%													
		母数 (n)	自分で勉強する	塾で勉強する（有料）	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する（地域の寺子屋・わくわく学習会など）	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	こども文化センターで勉強する	わくわくプラザで勉強する	学校の授業以外では勉強しない	その他
全体		1,532	64.2	51.6	2.4	0.8	2.2	51.6	17.6	3.1	1.5	5.0	7.7
世帯構成	ふたり親核家族	1,288	65.1	52.9	2.6	0.9	2.0	51.8	17.5	3.3	1.6	4.4	7.6
	ふたり親親族同居	70	61.4	▼ 42.9	2.9	1.4	2.9	52.9	△ 22.9	2.9	1.4	7.1	11.4
	ひとり親核家族	78	▼ 56.4	▼ 43.6	1.3	1.3	5.1	▼ 41.0	17.9	2.6	1.3	△ 10.3	9.0
	ひとり親親族同居	18	▼ 44.4	▼ 38.9	－	－	－	△ 61.1	△ 33.3	5.6	－	△ 11.1	－
所得分類	分類Ⅰ	51	▼ 52.9	▼ 25.5	2.0	2.0	△ 7.8	▼ 45.1	13.7	2.0	2.0	△ 21.6	3.9
	分類Ⅱ	161	60.2	▼ 34.2	3.7	1.9	3.7	▼ 42.2	16.1	3.1	1.9	9.3	7.5
	分類Ⅲ	1,180	65.5	55.3	2.1	0.7	1.7	52.4	18.2	3.4	1.5	3.7	8.0

単位：％

＜前回調査＞【図表 4-137 学校の授業以外での学習環境（複数回答）】（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：%													
		母数 (n)	自分で勉強する	塾で勉強する（有料）	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人が行う無料の勉強会・地域の寺子屋など	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	こども文化センターで勉強する		学校の授業以外では勉強しない	その他
全体		2,625	63.2	50.1	2.7	0.7	2.1	47.8	13.5	1.1		3.6	11.0
世帯構成	ふたり親核家族	2,277	64.4	51.6	2.4	0.6	2.0	48.1	13.4	1.1		3.1	10.8
	ふたり親親族同居	113	▼ 54.9	▼ 44.2	4.4	－	3.5	49.6	15.0	－		8.0	8.8
	ひとり親核家族	139	▼ 56.1	▼ 33.8	5.0	1.4	3.6	▼ 42.4	15.1	1.4		7.2	12.2
	ひとり親親族同居	45	▼ 53.3	46.7	4.4	2.2	－	▼ 40.0	▼ 6.7	－		△ 8.9	8.9
所得分類	分類Ⅰ	91	▼ 46.2	▼ 30.8	6.6	2.2	3.3	48.4	△ 22.0	1.1		6.6	6.6
	分類Ⅱ	361	58.4	▼ 30.7	4.7	0.3	2.8	43.8	13.3	1.4		7.2	11.6
	分類Ⅲ	1,943	65.5	54.8	2.2	0.6	2.0	48.6	13.0	0.9		2.8	10.9

単位：％

中学校2年生の学校の授業外での学習環境を世帯構成別にみると、「自分で勉強する」「塾で勉強する（有料）」「学校の補習を受ける」「家の人に教えてもらう」「友達と勉強する」は『ひとり親核家族』が、それぞれ全体に比べて低く、「学校の授業以外では勉強しない」は『ひとり親核家族』が全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅱ』が41.1%と全体に比べて低く、「家の人に教えてもらう」は『分類Ⅱ』が21.7%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、世帯構成別では、「自分で勉強する」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低く、「塾で勉強する（有料）」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「家の人に教えてもらう」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低く、「友達と勉強する」は『ふたり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。「学校の授業以外では勉強しない」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「家の人に教えてもらう」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。「友達と勉強する」は『分類Ⅱ』が高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 4-138 学校の授業以外での学習環境（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

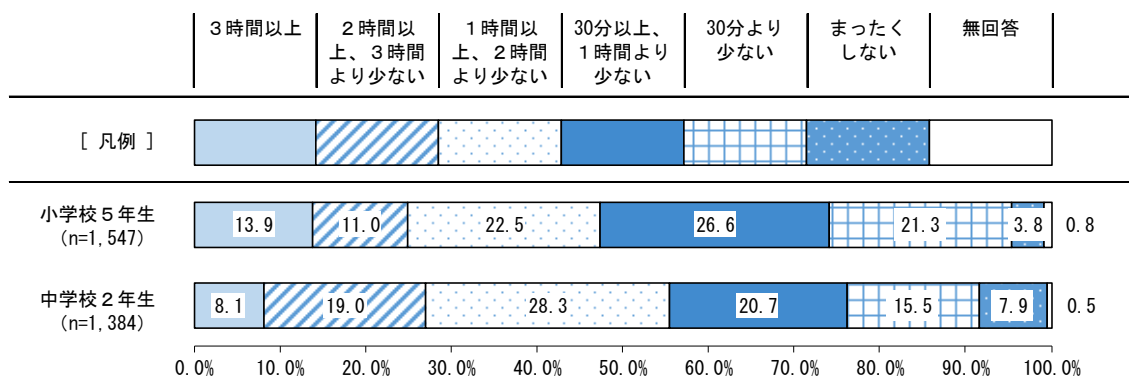
単位：％													
			母数 (n)	自分で勉強する	塾で勉強する（有料）	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する（地域の寺子屋・わくわく学習会など）	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	こども文化センターで勉強する	学校の授業以外では勉強しない	その他
今回調査	全体		1,369	66.2	58.4	7.0	1.3	1.1	27.4	33.7	2.2	5.3	3.7
	世帯構成	ふたり親核家族	1,105	68.7	59.8	7.5	1.3	0.9	29.0	34.8	2.3	3.8	3.8
		ふたり親親族同居	71	63.4	63.4	7.0	1.4	1.4	23.9	32.4	1.4	8.5	4.2
		ひとり親核家族	64	▼ 43.8	▼ 37.5	▼ 1.6	1.6	3.1	▼ 17.2	▼ 28.1	4.7	△ 15.6	4.7
		ひとり親親族同居	24	66.7	58.3	4.2	－	4.2	△ 33.3	37.5	－	8.3	－
	所得分類	分類Ⅰ	38	▼ 39.5	▼ 42.1	2.6	－	5.3	▼ 18.4	31.6	△ 7.9	△ 18.4	△ 10.5
		分類Ⅱ	129	65.1	▼ 41.1	7.8	－	1.6	▼ 21.7	36.4	2.3	8.5	3.9
		分類Ⅲ	1,045	68.0	61.6	7.2	1.4	1.0	29.0	34.2	2.0	3.7	3.6
前回調査	全体		2,788	69.9	63.3	4.8	1.8	0.5	27.1	29.6	1.5	4.3	2.9
	世帯構成	ふたり親核家族	2,315	70.8	65.9	4.9	1.9	0.3	28.3	29.2	1.4	3.7	2.9
		ふたり親親族同居	120	72.5	▼ 56.7	2.5	1.7	0.8	30.8	33.3	0.8	6.7	2.5
		ひとり親核家族	247	▼ 62.3	▼ 50.6	5.7	－	2.4	▼ 19.4	30.4	3.2	6.1	2.8
		ひとり親親族同居	43	69.8	▼ 44.2	4.7	2.3	－	▼ 4.7	△ 34.9	－	△ 14.0	2.3
	所得分類	分類Ⅰ	137	▼ 59.1	▼ 42.3	5.8	－	0.7	▼ 17.5	27.7	2.2	△ 10.9	5.1
		分類Ⅱ	452	69.5	▼ 45.6	6.2	2.0	0.4	27.0	30.3	1.8	6.9	3.3
		分類Ⅲ	1,903	71.4	△ 69.6	4.1	1.7	0.4	28.6	29.2	1.3	3.1	2.5

ウ 学校の授業以外の学習時間【問5】(SA)

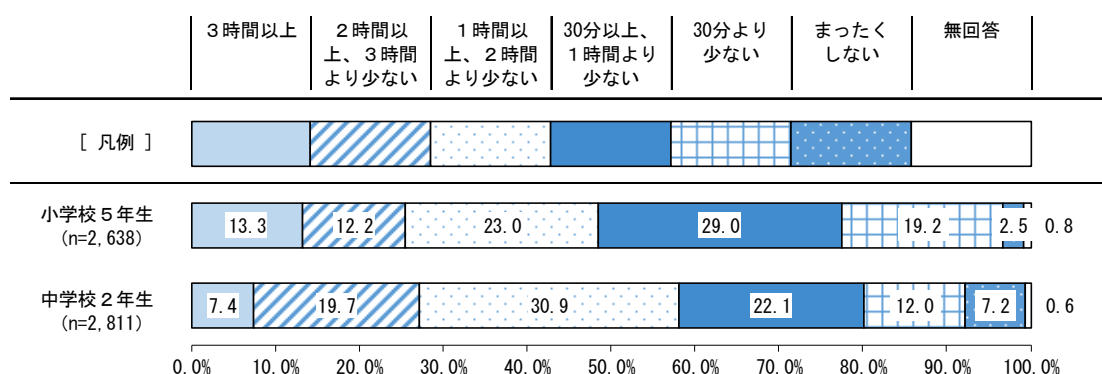
学校がある日（月～金）の学校の授業以外の学習時間を聞いたところ、小学校5年生では「30分以上、1時間より少ない」が26.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.5%、「30分より少ない」が21.3%となっている。

中学校2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が28.3%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.7%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.0%となっている。経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-139 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】



＜前回調査＞【図表 4-140 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

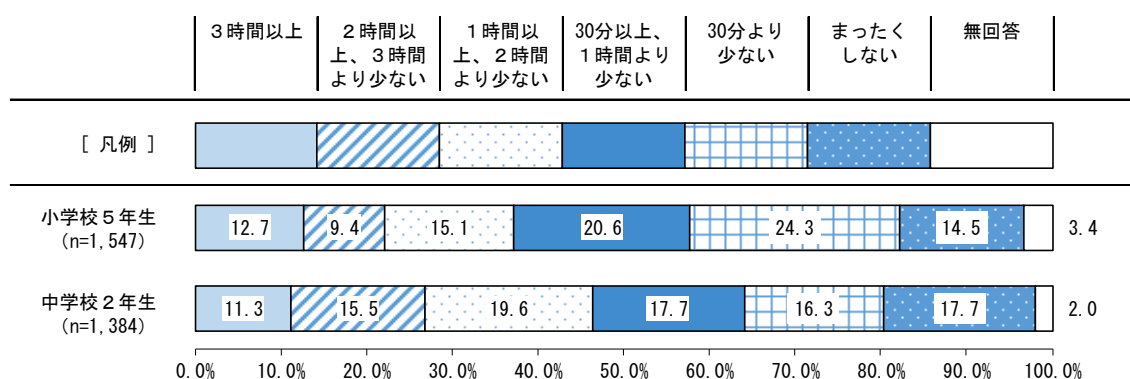


学校がない日（土・日・祝日）の学校の授業以外の学習時間を聞いたところ、小学校5年生では「30分より少ない」が24.3%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.6%、「1時間以上、2時間より少ない」が15.1%となっている。

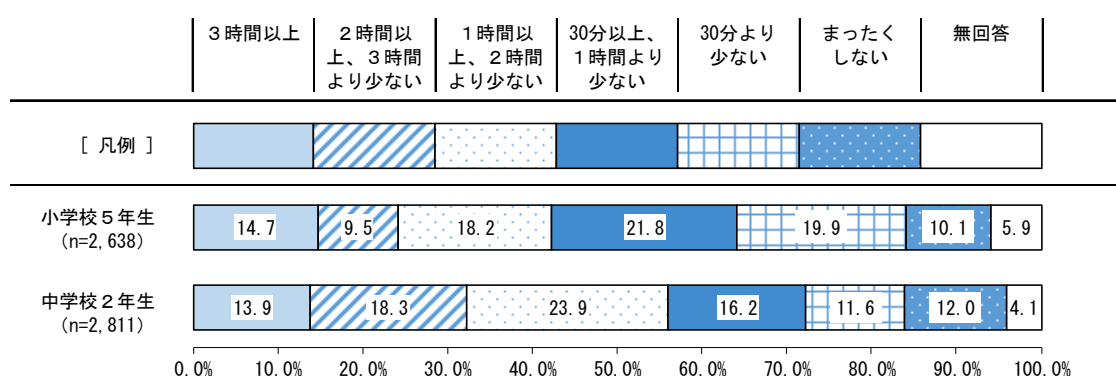
中学校2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が19.6%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」「まったくしない」が17.7%となっている。

経年でみると、小学校5年生では大きな差はみられない。中学校2年生では「まったくしない」が前回調査に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-141 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】



＜前回調査＞【図表 4-142 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】



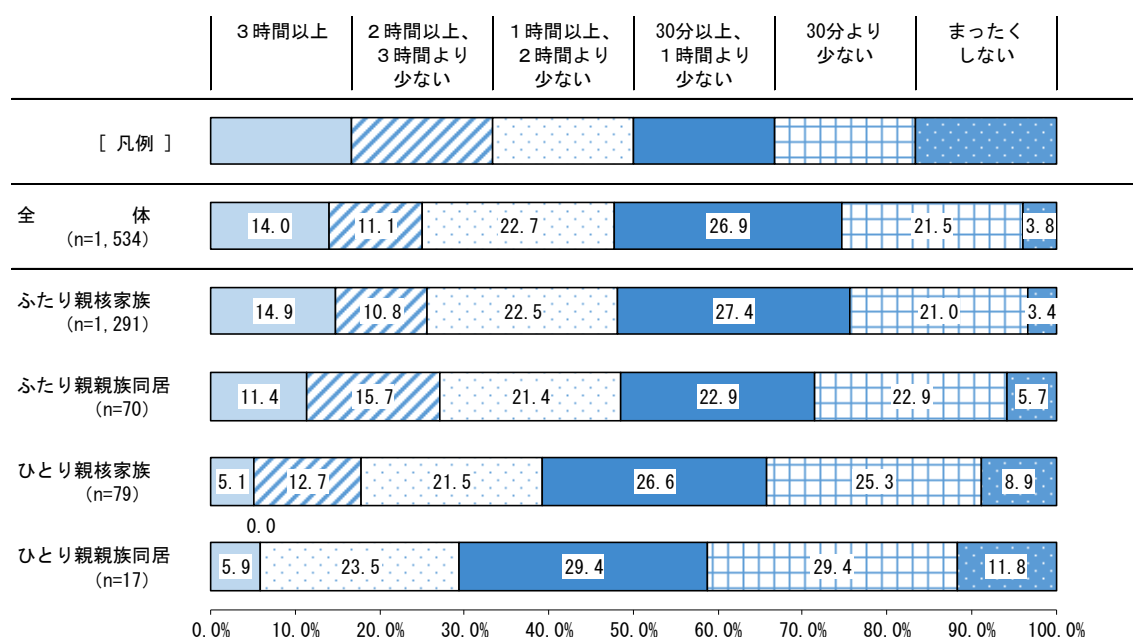
小学校5年生の学校がある日（月～金）の学校の授業以外の学習時間を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「3時間以上」で、全体と比べて低くなっている。

経年でみると、「30分より少ない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高くなっている一方、「30分以上、1時間より少ない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

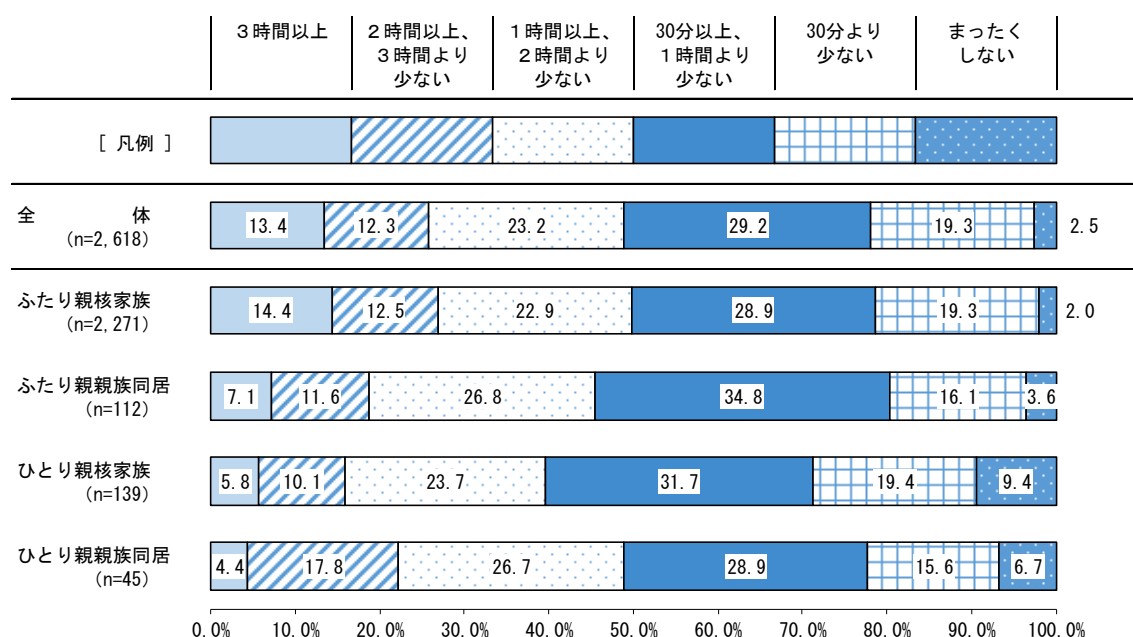
<今回調査>【図表 4-143 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（小学校5年生・世帯構成別）



<前回調査>【図表 4-144 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（小学校5年生・世帯構成別）

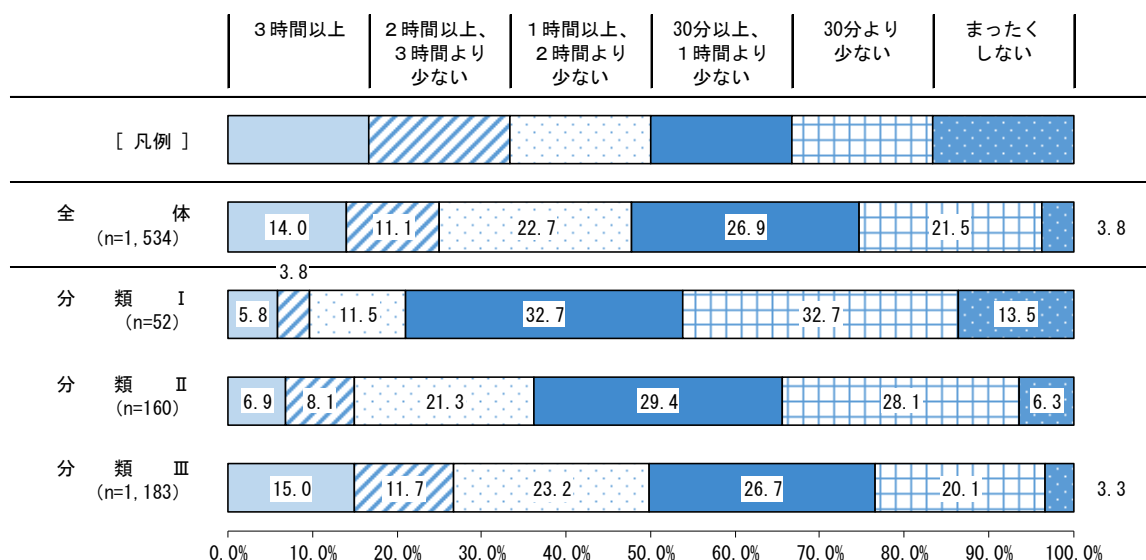


所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「2時間以上、3時間より少ない」が3.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が11.5%と全体に比べて低く、「30分以上、1時間より少ない」が32.7%、「30分より少ない」が32.7%、「まったくしない」が13.5%と全体に比べて高くなっている。『分類Ⅱ』では「30分より少ない」が28.1%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「1時間以上、2時間より少ない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低く、一方、「30分より少ない」「まったくしない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高くなっている。

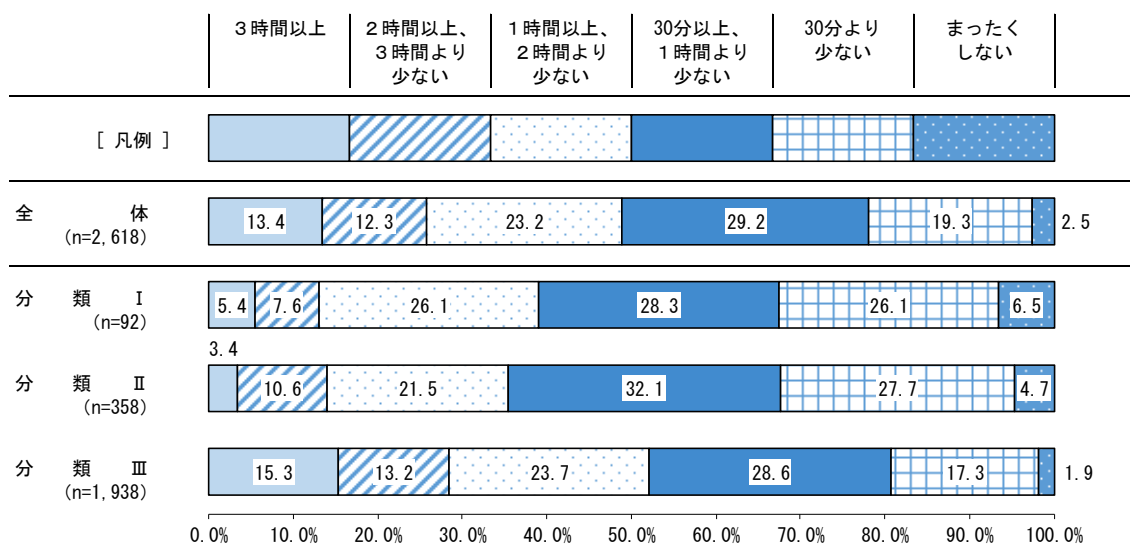
<今回調査>【図表 4-145 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（小学校5年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-146 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（小学校5年生・所得分類別）



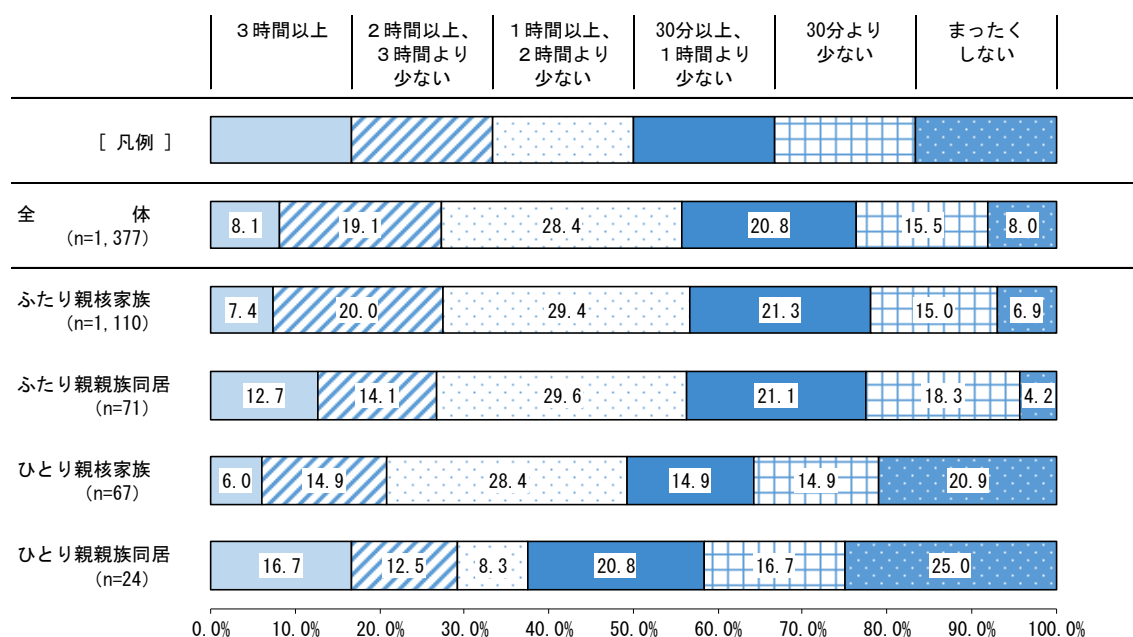
中学校2年生の学校がある日（月～金）の学校の授業以外の学習時間を世帯構成別にみると、「まったくしない」は『ひとり親核家族』が20.9%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、『ふたり親親族同居』では「3時間以上」「30分より少ない」が前回調査に比べて高く、「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」が前回調査に比べて低くなっている。『ひとり親核家族』では「30分以上、1時間より少ない」が前回調査に比べて低く、「まったくしない」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

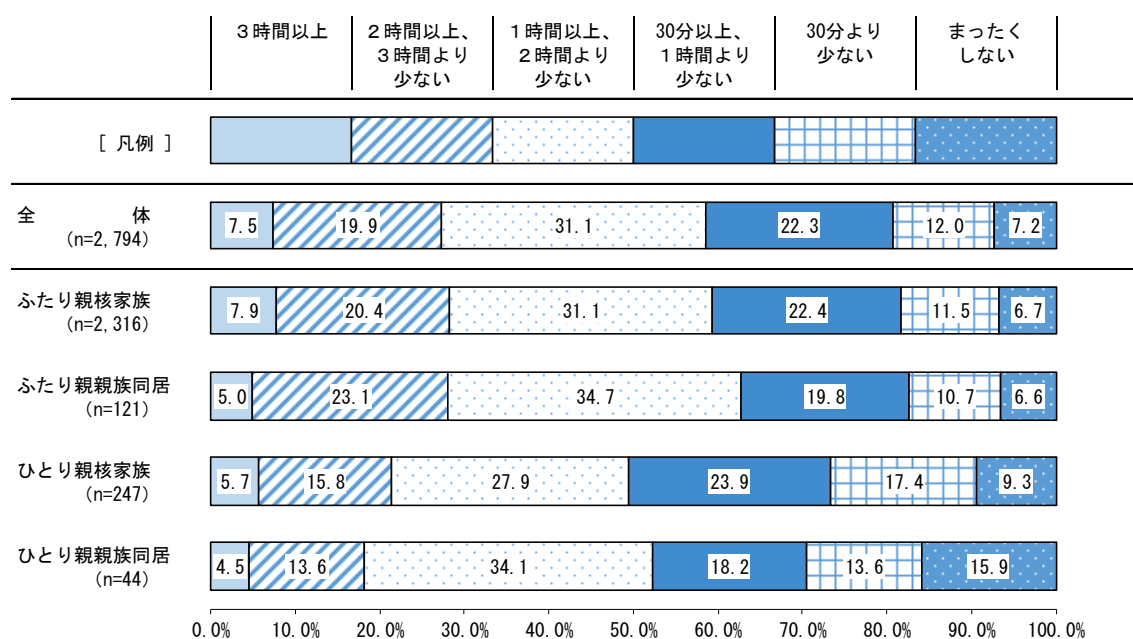
<今回調査>【図表 4-147 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（中学校2年生・世帯構成別）



<前回調査>【図表 4-148 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（中学校2年生・世帯構成別）

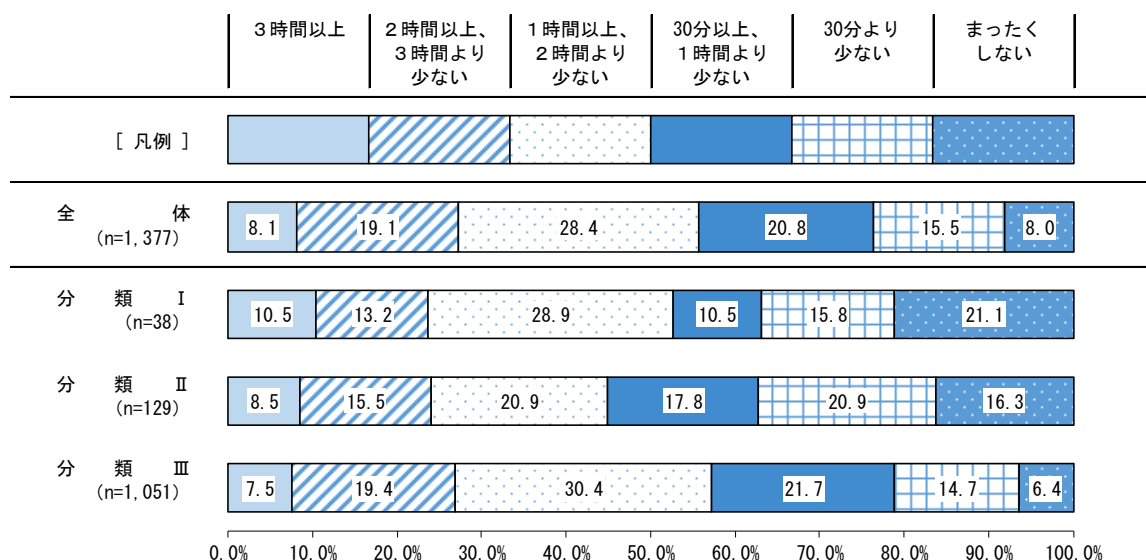


所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「1時間以上、2時間より少ない」が20.9%と全体に比べて低く、「30分より少ない」が20.9%、「まったくしない」16.3%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、『分類Ⅱ』では「1時間以上、2時間より少ない」、「30分以上、1時間より少ない」が前回調査に比べて低く、「30分より少ない」、「まったくしない」が前回調査に比べて高くなっている。

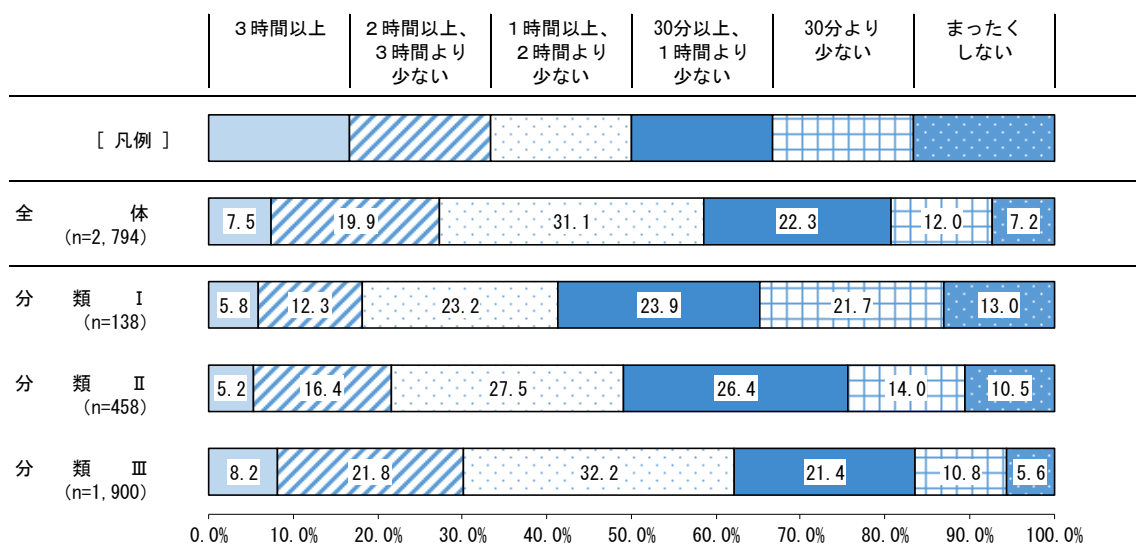
<今回調査>【図表 4-149 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（中学校2年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-150 学校の授業以外の学習時間（学校がある日（月～金））】

（中学校2年生・所得分類別）

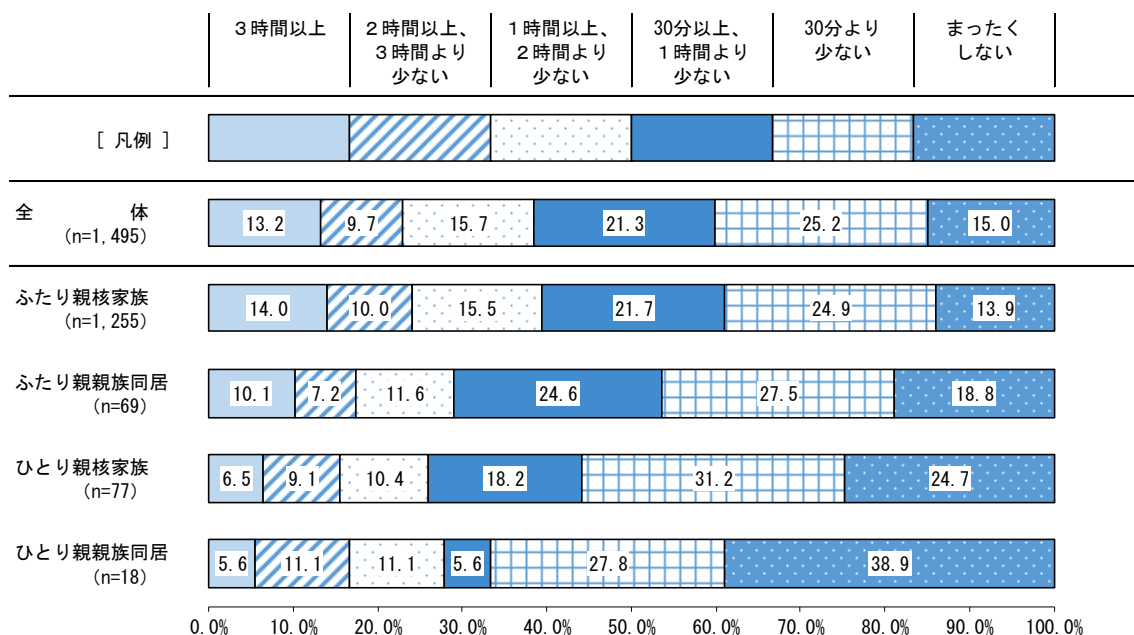


小学校5年生の学校がない日（土・日・祝日）の学校の授業以外の学習時間を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「3時間以上」が6.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が10.4%と全体に比べて低く、「30分より少ない」が31.2%、「まったくしない」が24.7%と全体に比べて高くなっている。

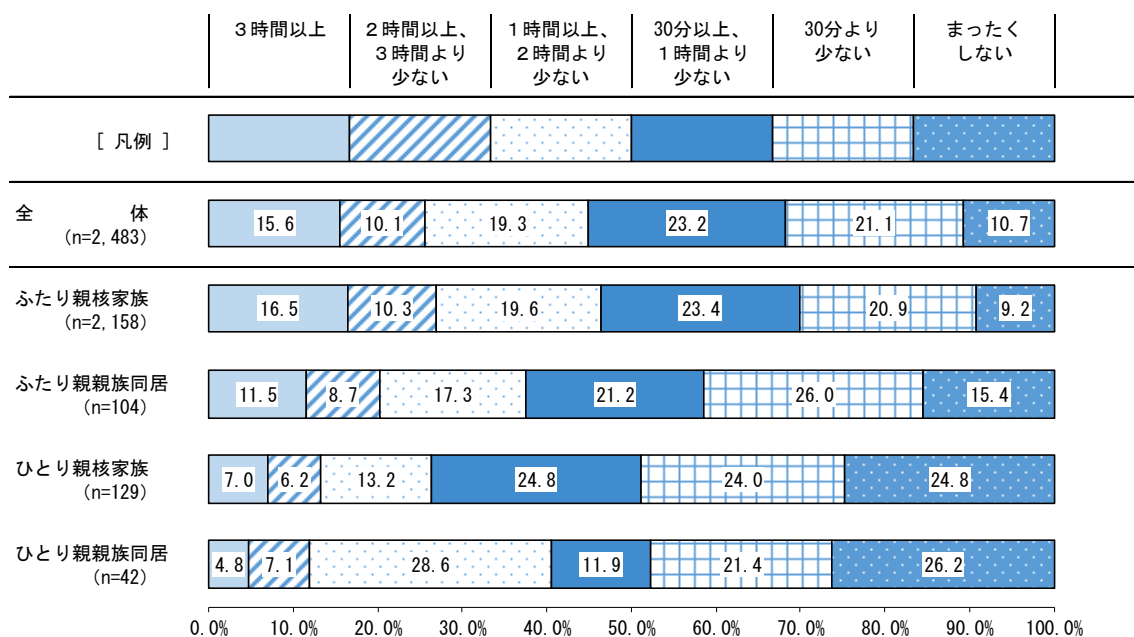
経年でみると、「1時間以上、2時間より少ない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低く、「30分以上、1時間より少ない」は『ひとり親核家族』が低くなっている。「30分より少ない」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-151 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】
（小学校5年生・世帯構成別）



＜前回調査＞【図表 4-152 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】
（小学校5年生・世帯構成別）

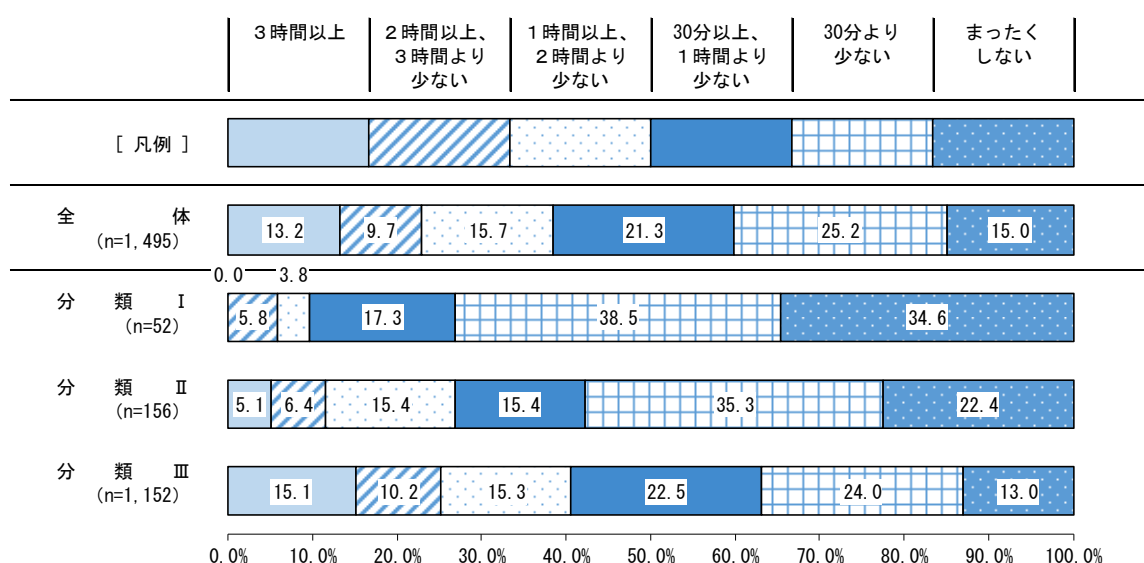


小学校5年生の学校がない日（土・日・祝日）の学校の授業以外の学習時間を所得分類別にみると、「3時間以上」は『分類Ⅰ』が0.0%、『分類Ⅱ』が5.1%と全体に比べて低く、「1時間以上、2時間より少ない」は『分類Ⅰ』が3.8%、「30分以上、1時間より少ない」は『分類Ⅱ』が15.4%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。「30分より少ない」は『分類Ⅰ』が38.5%、『分類Ⅱ』が35.3%と全体に比べて高く、「まったくしない」は『分類Ⅰ』が34.6%、『分類Ⅱ』が22.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「1時間以上、2時間より少ない」は『分類Ⅰ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「30分以上、1時間より少ない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低く、「30分より少ない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高く、「まったくしない」は『分類Ⅰ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

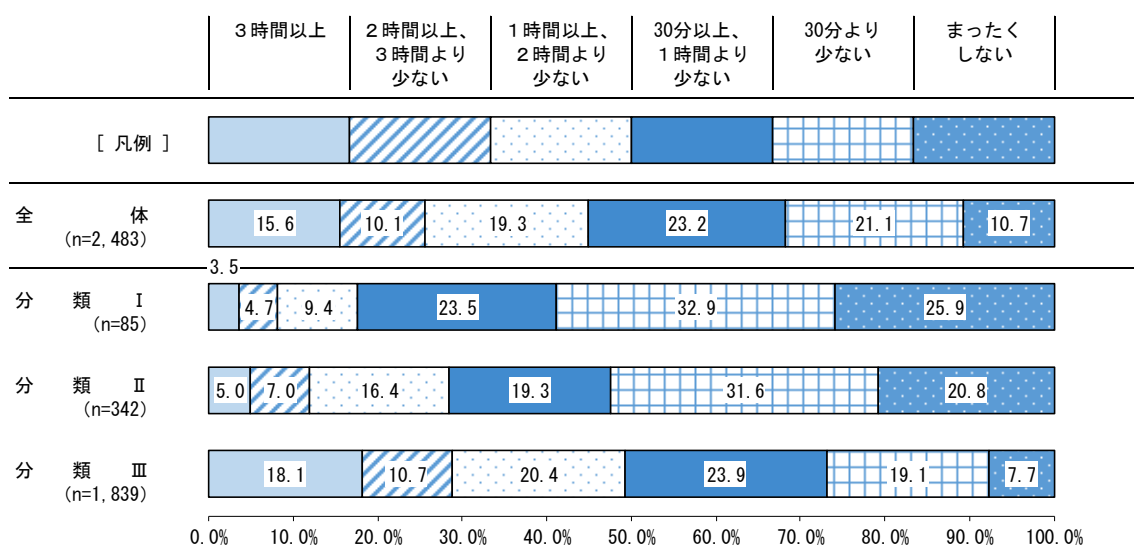
<今回調査>【図表 4-153 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】

（小学校5年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-154 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】

（小学校5年生・所得分類別）



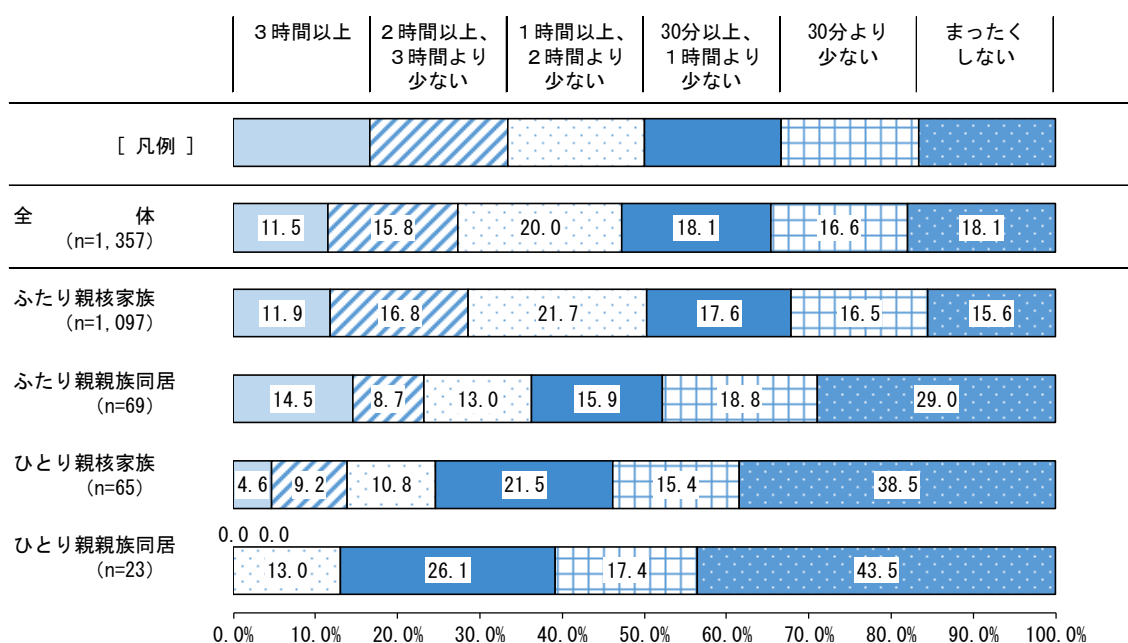
※ページ調整のため余白

中学校2年生の学校がない日（土・日・祝日）の学校の授業以外の学習時間を世帯構成別にみると、「3時間以上」は『ひとり親核家族』が4.6%と全体に比べて低く、「2時間以上、3時間より少ない」は『ふたり親親族同居』が8.7%、『ひとり親核家族』が9.2%と全体に比べて低く、「1時間以上、2時間より少ない」は『ふたり親親族同居』が13.0%、『ひとり親核家族』が10.8%と全体に比べて低くなっている。「まったくくしない」は『ふたり親親族同居』が29.0%、『ひとり親核家族』が38.5%と全体に比べて高くなっている。

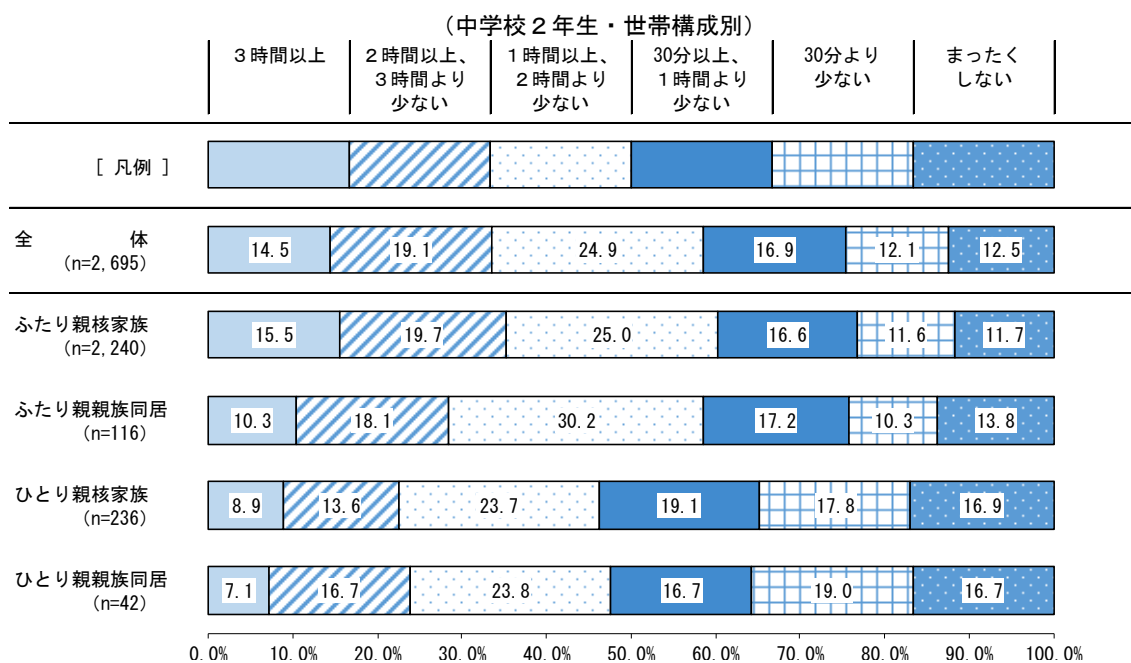
経年でみると、「2時間以上、3時間より少ない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低く、「1時間以上、2時間より少ない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「30分より少ない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「まったくくしない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-155 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】
（中学校2年生・世帯構成別）



<前回調査>【図表 4-156 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】



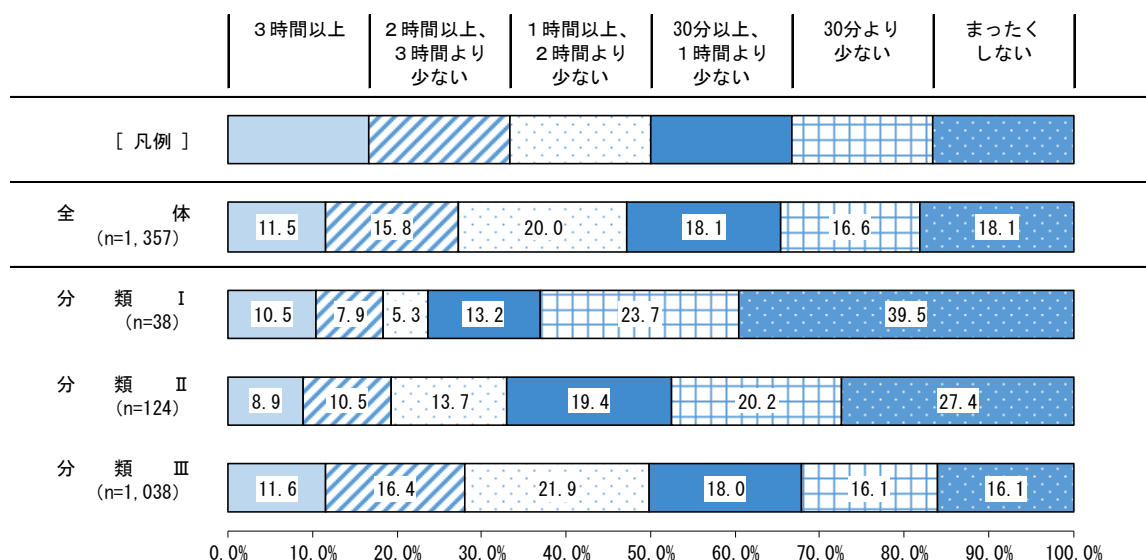
所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「2時間以上、3時間より少ない」が10.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が13.7%と全体に比べて低く、「まったくしない」が27.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「1時間以上、2時間より少ない」は『分類Ⅱ』が低くなっている。「30分より少ない」、「まったくしない」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

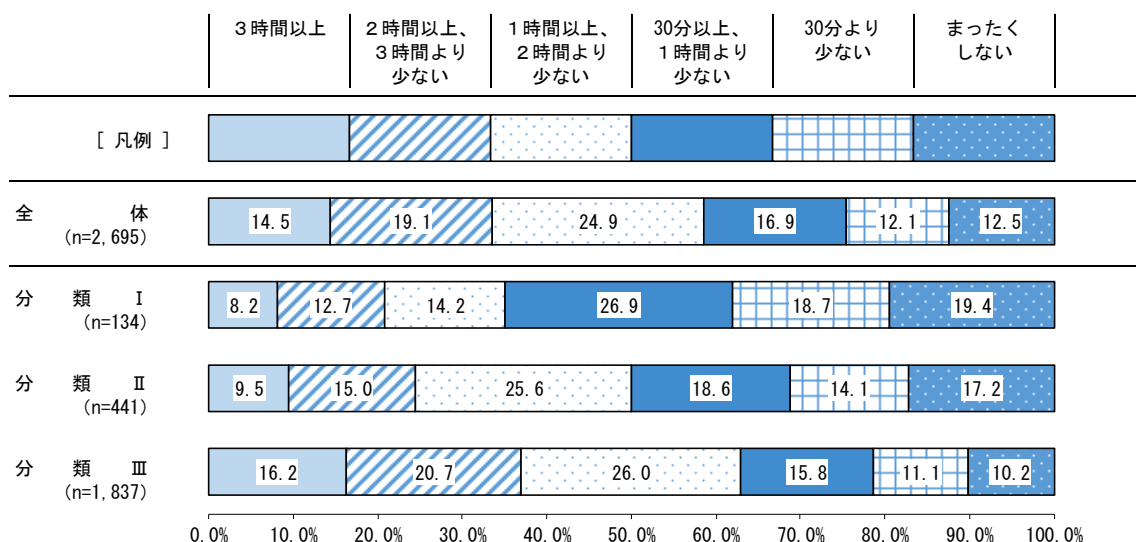
<今回調査>【図表 4-157 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】

（中学校2年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-158 学校の授業以外の学習時間（学校がない日（土・日・祝日））】

（中学校2年生・所得分類別）



（２）課外活動の状況

① 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況 【問 14】（SA）

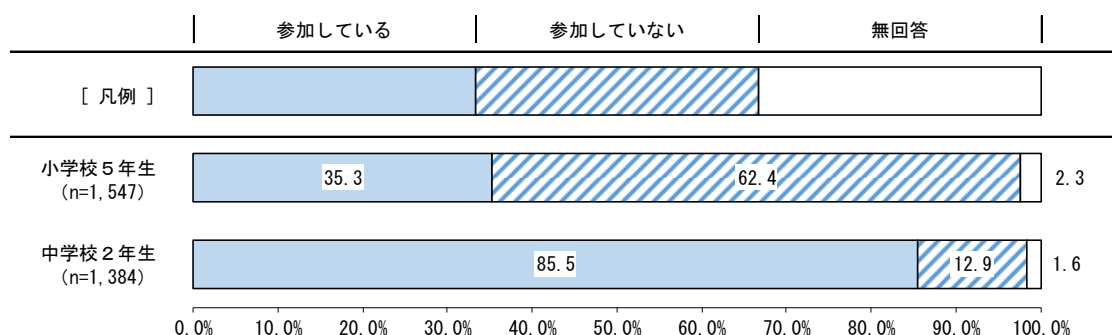
スポーツクラブ・部活動等への参加状況を聞いたところ、小学校５年生では「参加している」が 35.3%、「参加していない」が 62.4%となっている。

中学校２年生では「参加している」が 85.5%、「参加していない」が 12.9%となっている。

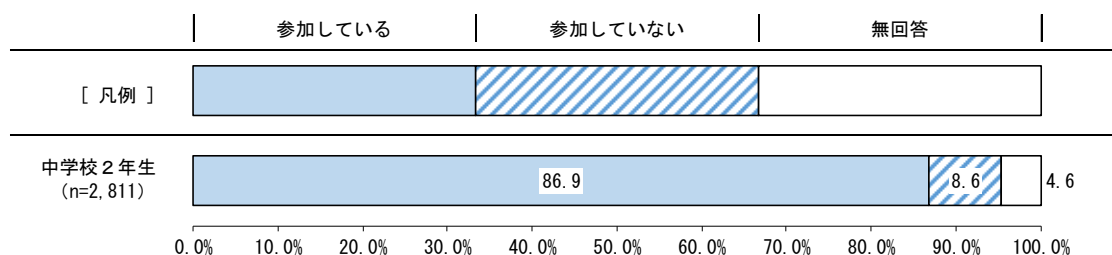
経年でみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査には、小学校５年生ではこの設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 4-159 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】



＜前回調査＞【図表 4-160 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】



※前回調査は中学校２年生のみ

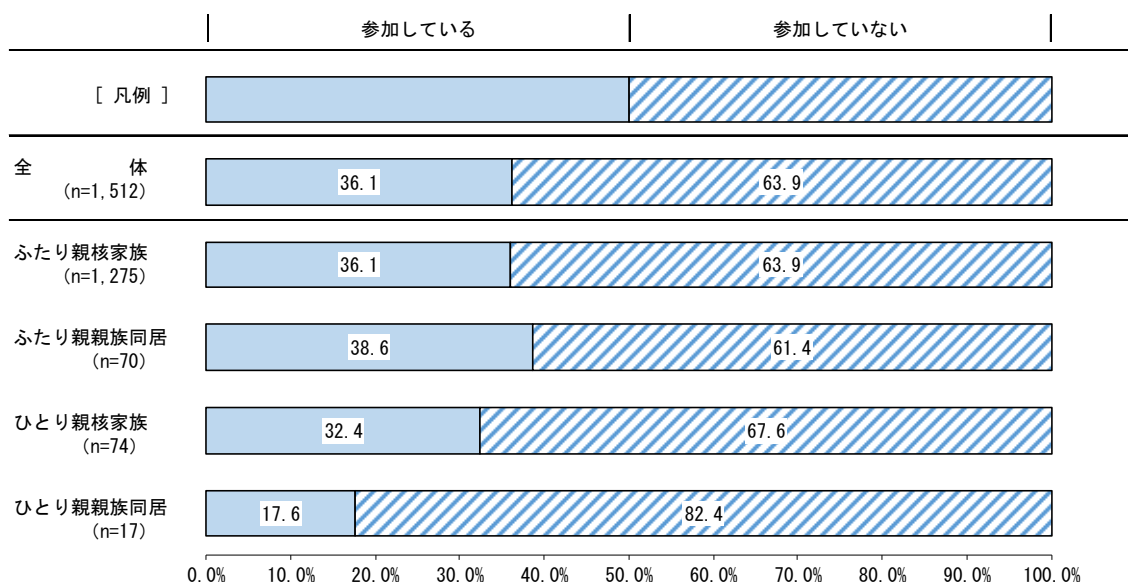
小学校5年生のスポーツクラブ・部活動等への参加状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-161 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(小学校5年生・世帯構成別)

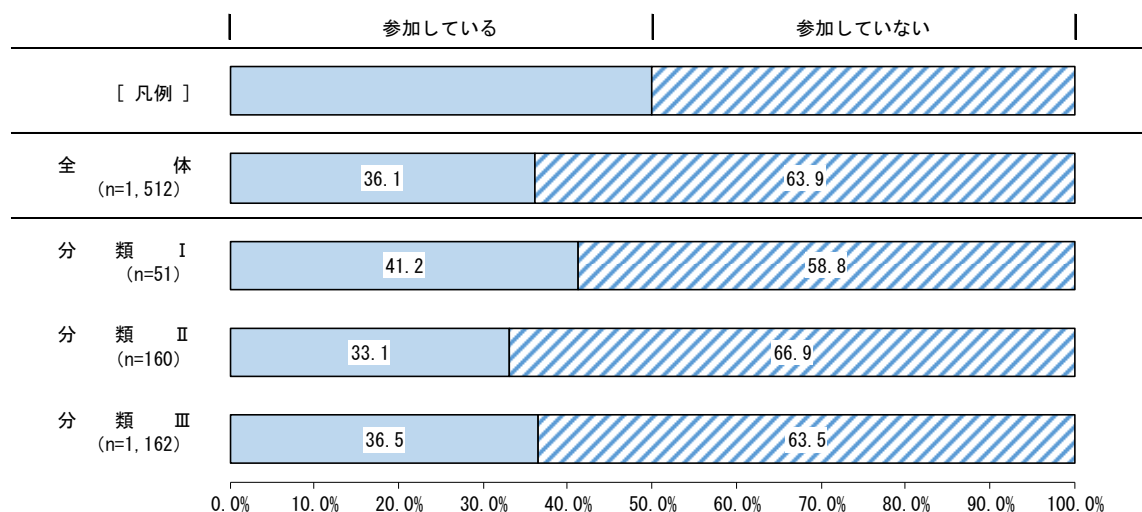


所得状況別にみると、「参加している」は『分類Ⅰ』が41.2%と全体に比べて高くなっている。

なお、前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-162 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(小学校5年生・所得分類別)



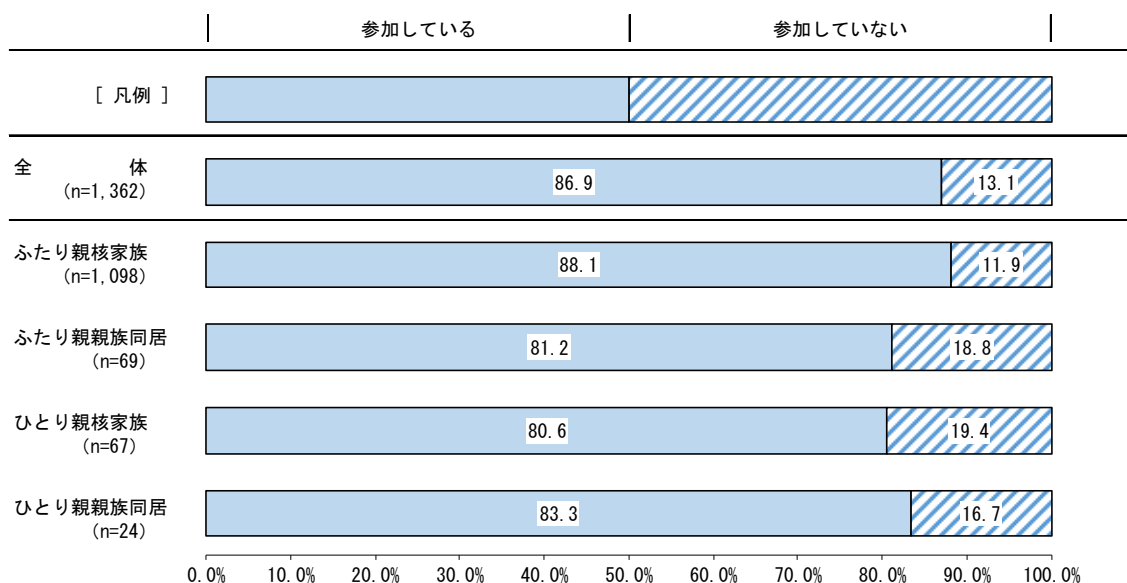
中学校2年生のスポーツクラブ・部活動等への参加状況を世帯構成別にみると、「参加している」は『ふたり親親族同居』が81.2%、『ひとり親核家族』が80.6%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「参加している」は、『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

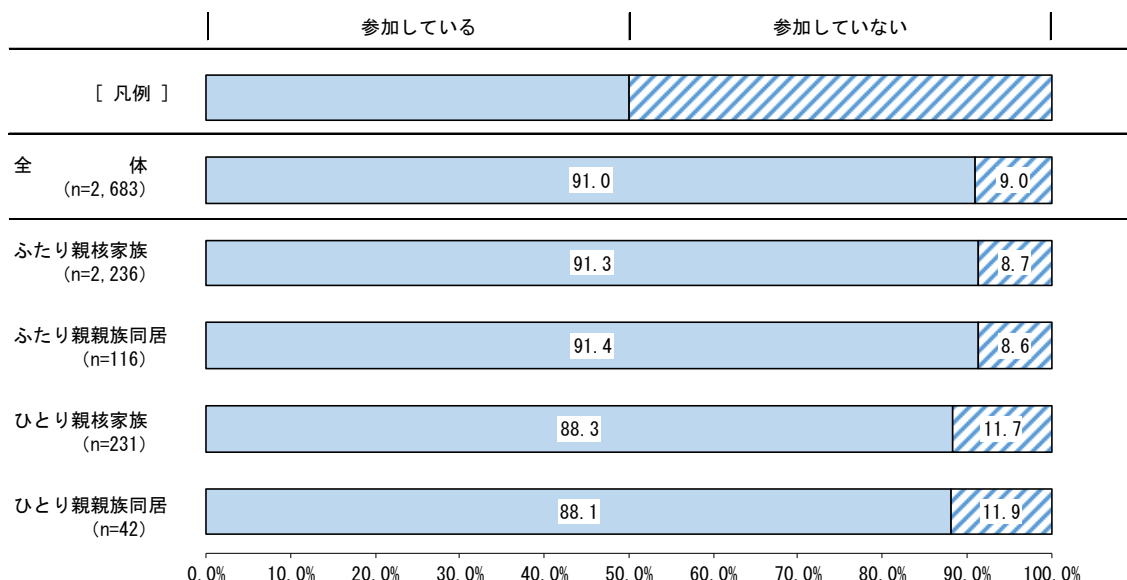
<今回調査>【図表 4-163 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-164 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(中学校2年生・世帯構成別)



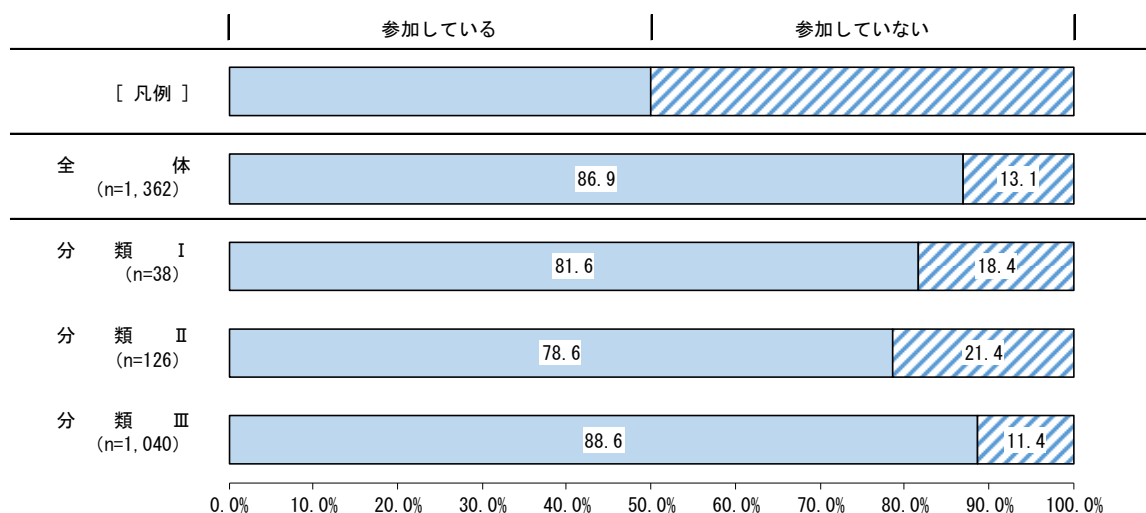
所得状況別にみると、「参加している」は『分類Ⅱ』が 78.6%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「参加している」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

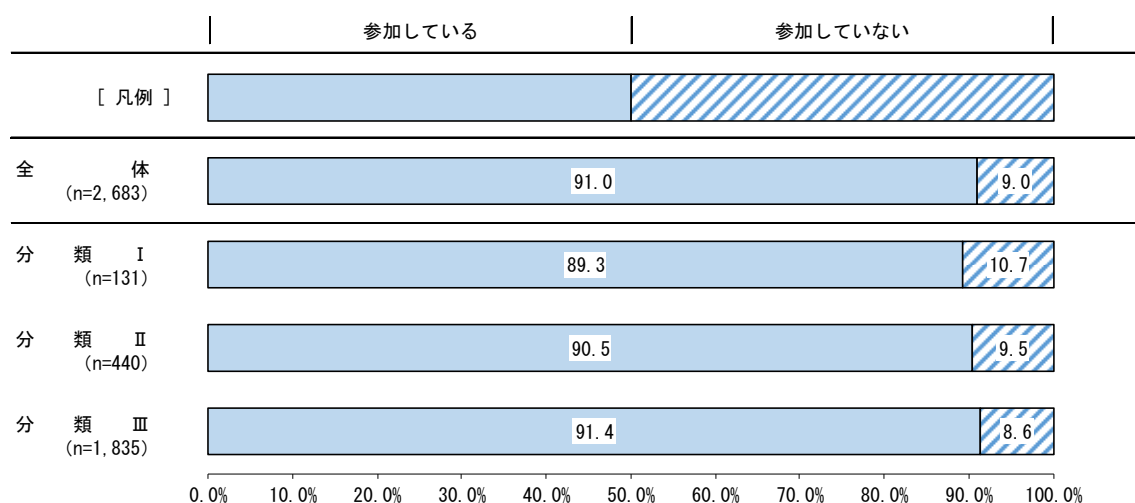
<今回調査>【図表 4-165 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(中学校 2 年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-166 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】

(中学校 2 年生・所得分類別)



② スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由【問 15】(MA)

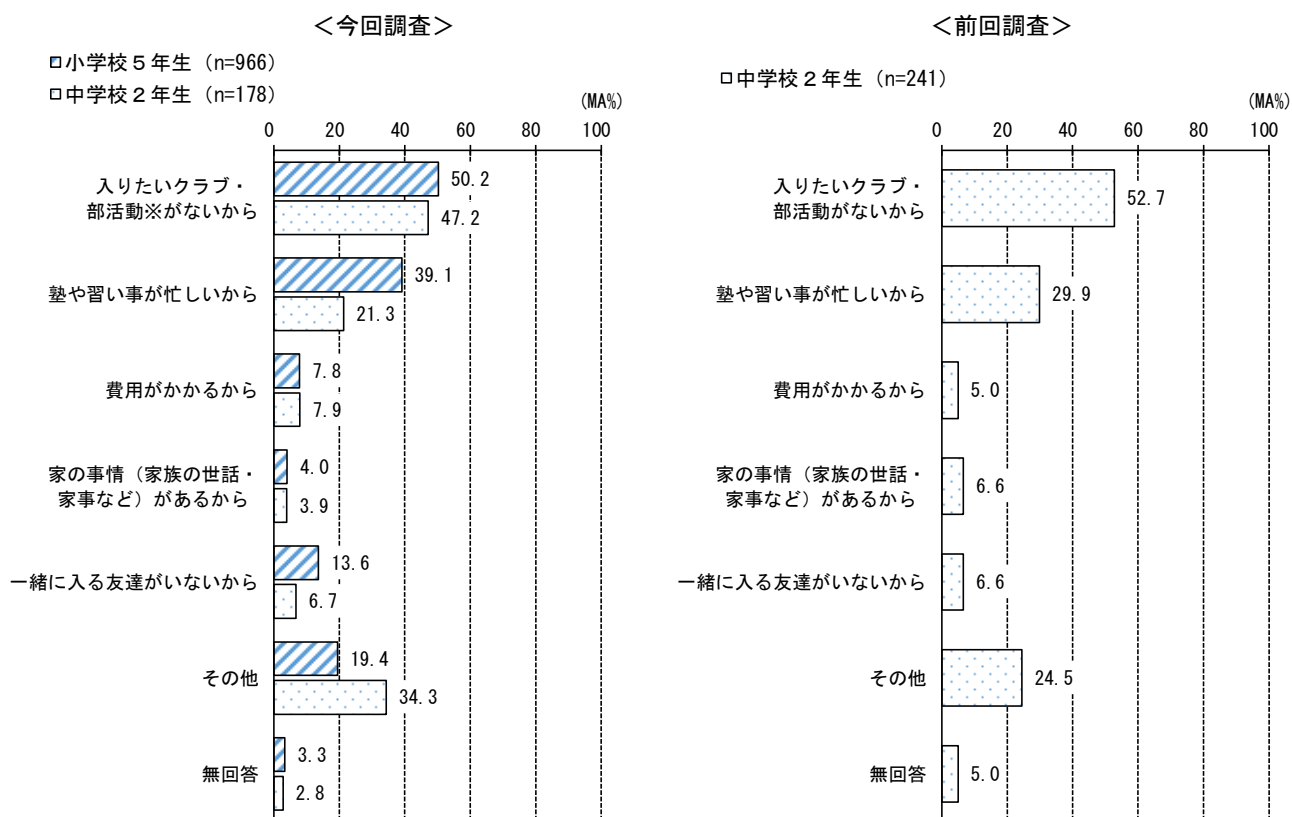
スポーツクラブ、部活動等へ参加していない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「入りたいクラブがないから」が50.2%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が39.1%、「一緒に入る友達がいないから」が13.6%となっている。

中学校2年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」が47.2%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が21.3%、「費用がかかるから」が7.9%となっている。

経年でみると、中学校2年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」「塾や習い事が忙しいから」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

【図表 4-167 スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由（複数回答）】



※小学校5年生は「入りたいクラブがないから」

小学校5年生のスポーツクラブ・部活動等へ参加しない理由を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「入りたいクラブがないから」が58.3%と全体に比べて高く、「塾や習い事が忙しいから」が20.4%と全体に比べて低く、「家の事情（家族の世話・家事など）があるから」が9.7%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-168 スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：%								
		母数 (n)	入 り た い ク ラ ブ が な い か ら	塾 や 習 い 事 が 忙 し い か ら	費 用 が か か る か ら	家 の 事 情 （ な ど ） が あ る か ら 家 族 の 世 話 ・ 家 事	一 緒 に 入 る 友 達 が い な い か ら	そ の 他
全体		934	51.9	40.5	8.0	4.2	14.0	20.0
世 帯 構 成	ふたり親核家族	787	52.0	42.1	6.7	3.7	13.3	19.7
	ふたり親親族同居	43	△ 62.8	39.5	△ 16.3	△ 9.3	16.3	18.6
	ひとり親核家族	48	▼ 45.8	▼ 16.7	10.4	△ 10.4	16.7	△ 27.1
	ひとり親親族同居	13	▼ 46.2	▼ 15.4	△ 23.1	－	15.4	△ 30.8
所 得 分 類	分類Ⅰ	26	▼ 42.3	▼ 19.2	△ 23.1	7.7	15.4	19.2
	分類Ⅱ	103	△ 58.3	▼ 20.4	11.7	△ 9.7	17.5	24.3
	分類Ⅲ	715	51.3	43.9	6.7	3.4	13.4	19.7

中学校2年生のスポーツクラブ・部活動等へ参加しない理由を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、世帯構成別では、『ふたり親核家族』で「入りたいクラブ・部活動がないから」が前回調査に比べて低く、「塾や習い事が忙しいから」が前回調査に比べて低くなっている。

所得分類別では、『分類Ⅲ』で「塾や習い事が忙しいから」「一緒に入る友達がいないから」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 4-169 スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％									
			母数 (n)	入りたい クラブ・部活動が ないから	塾や 習い事が忙しいから	費用が かかるから	家の事情（家族の世話・家事など）があるから	一緒に入る友達がいないから	その他
今回調査	全体		173	48.6	22.0	8.1	4.0	6.9	35.3
	世帯構成	ふたり親核家族	126	50.0	25.4	6.3	4.0	5.6	36.5
		ふたり親親族同居	13	▼ 38.5	－	△ 15.4	－	7.7	△ 46.2
		ひとり親核家族	13	△ 53.8	▼ 7.7	△ 15.4	7.7	△ 23.1	▼ 23.1
		ひとり親親族同居	4	▼ 25.0	△ 50.0	－	－	－	▼ 25.0
	所得分類	分類Ⅰ	7	－	－	－	△ 28.6	△ 28.6	△ 57.1
		分類Ⅱ	27	△ 55.6	△ 29.6	11.1	3.7	△ 14.8	33.3
		分類Ⅲ	114	50.9	21.9	7.9	2.6	3.5	36.0
前回調査	全体		229	55.5	31.4	5.2	7.0	7.0	25.8
	世帯構成	ふたり親核家族	183	57.4	31.1	6.0	6.0	8.2	25.7
		ふたり親親族同居	9	▼ 44.4	△ 55.6	－	－	11.1	▼ 11.1
		ひとり親核家族	27	▼ 48.1	29.6	－	11.1	－	25.9
		ひとり親親族同居	5	▼ 40.0	－	－	－	－	△ 60.0
	所得分類	分類Ⅰ	14	△ 64.3	△ 42.9	7.1	－	7.1	▼ 14.3
		分類Ⅱ	41	△ 63.4	26.8	9.8	7.3	2.4	22.0
		分類Ⅲ	149	54.4	30.9	4.0	6.7	9.4	27.5

第4節 子どもの状況

(1) 子どもの精神状態や考え方

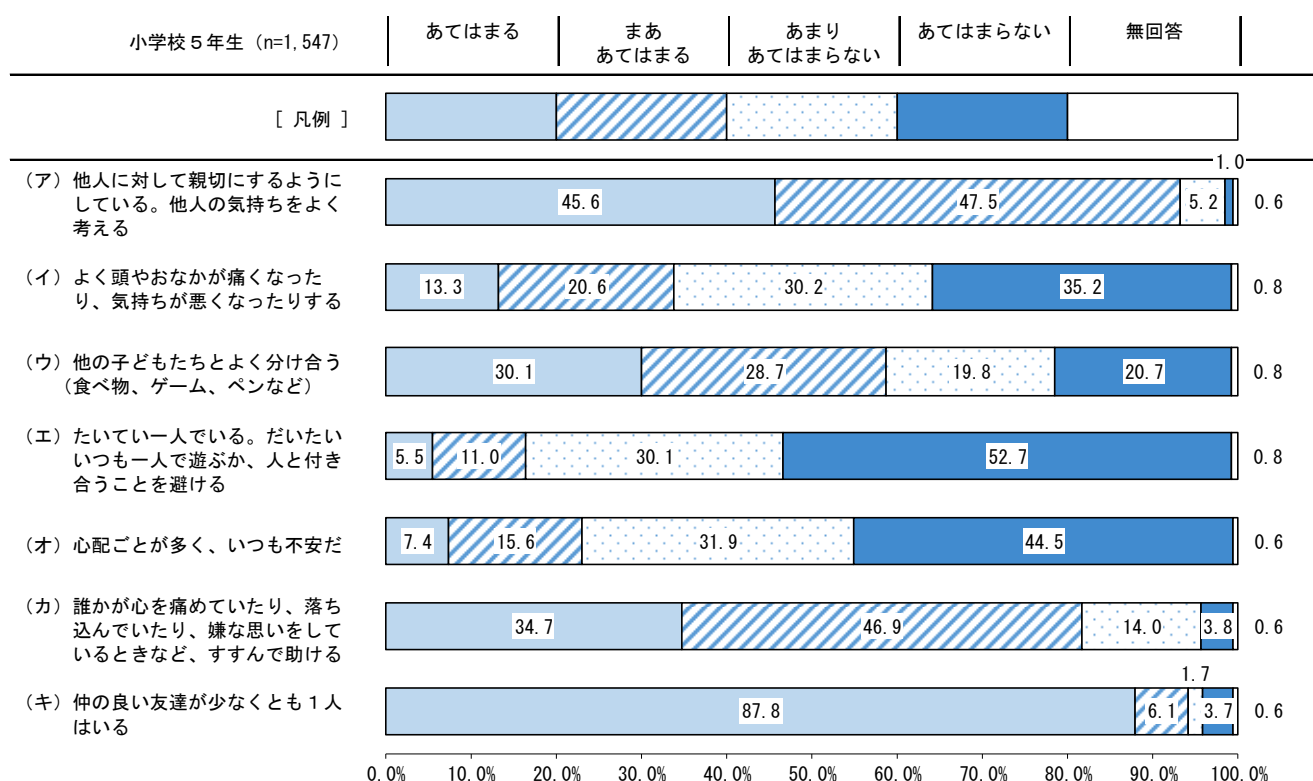
ア 子どもの精神状態【問19】(SA)

ここ半年間の精神状態を聞いたところ、小学校5年生では「あてはまる」と「まああてはまる」を足し合わせた割合が『(キ) 仲の良い友達が少なくとも1人はいる』が93.9%と最も高く、次いで『(ア) 他人に対して親切にするようにしている。他人の気持ちをよく考える』が93.1%、『(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている』が92.0%となっている。

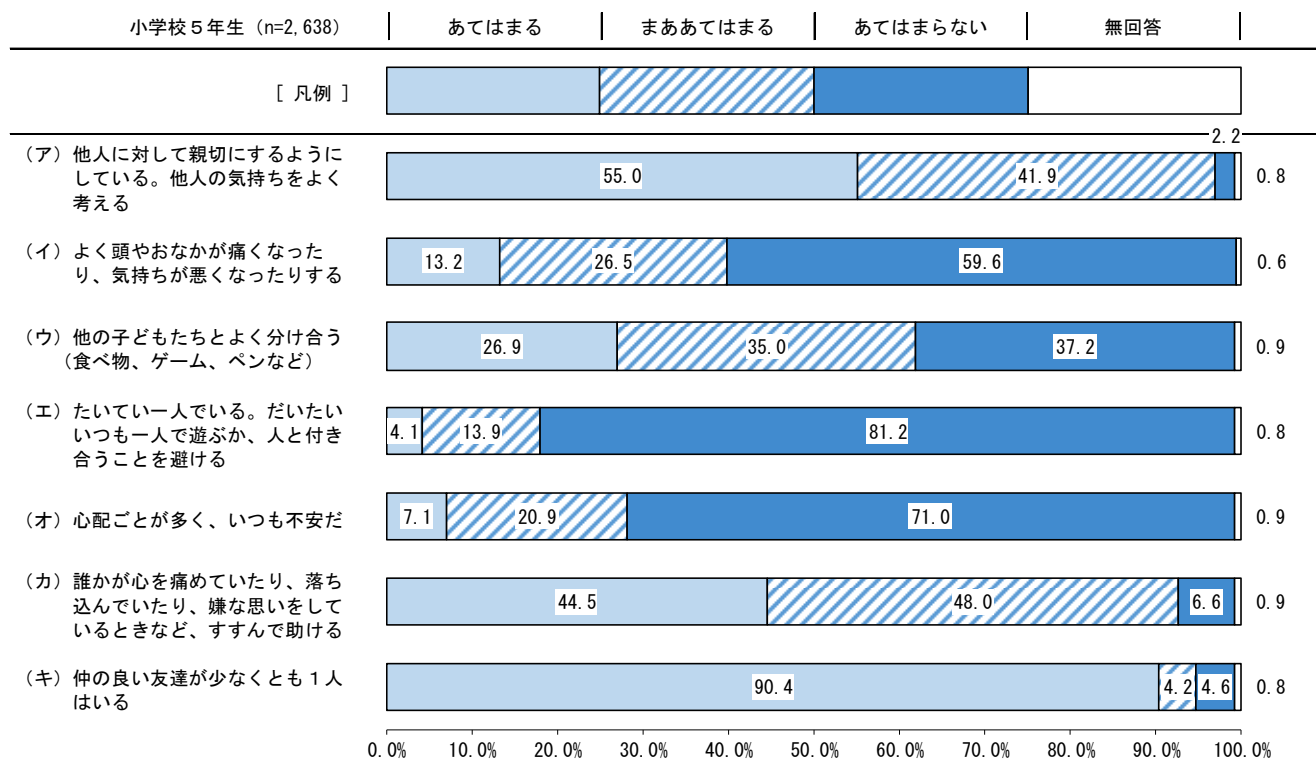
経年でみると、「あてはまる」は『(ア) 他人に対して親切にするようにしている。他人の気持ちをよく考える』『(カ) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける』で、前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-170 子どもの精神状態-1】(小学校5年生)



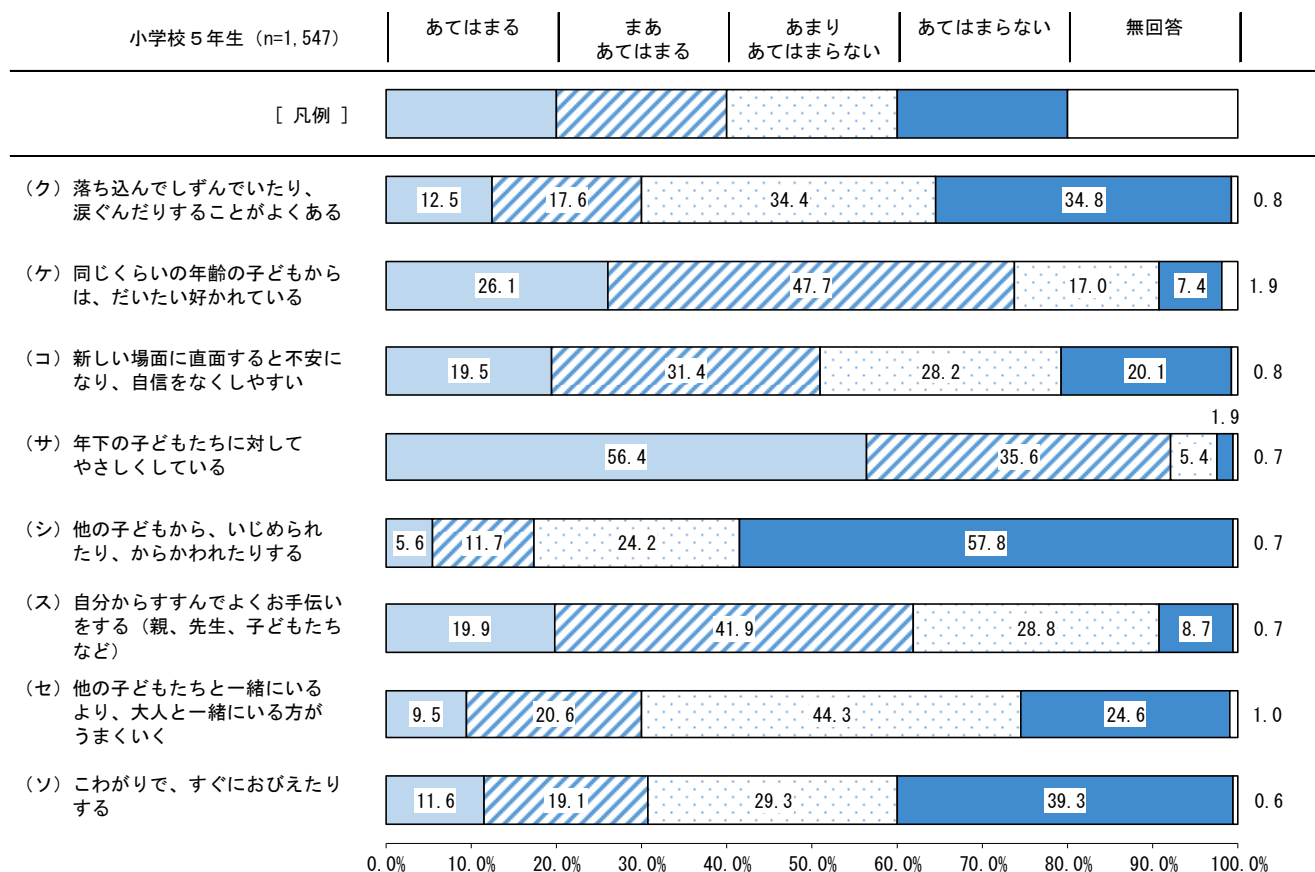
＜前回調査＞【図表 4-171 子どもの精神状態-1】（小学校5年生）



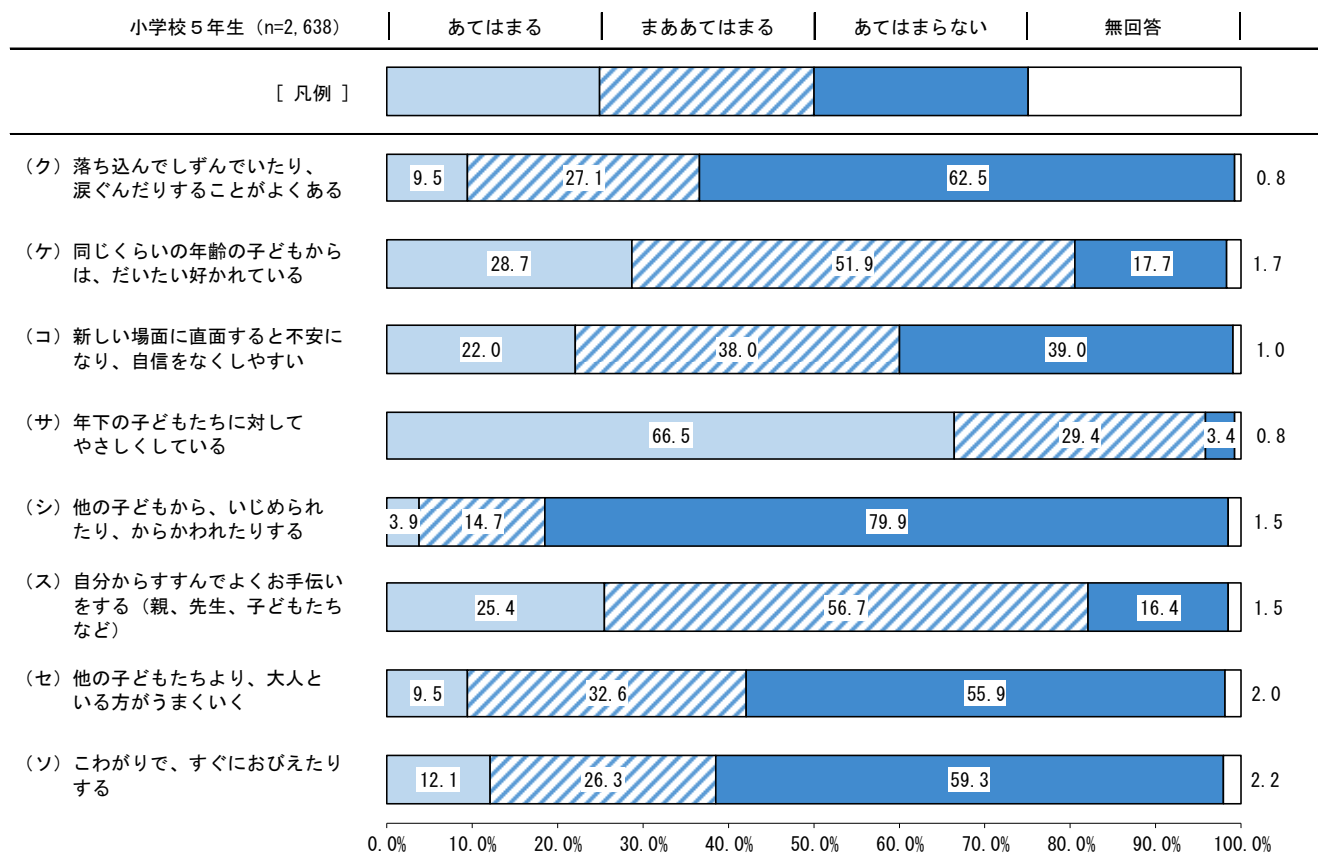
経年でみると、「あてはまる」は『(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている』で前回調査に比べて低くなっている。「あてはまらない」は『(ク) 落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある』『(ケ) 同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている』『(コ) 新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい』『(シ) 他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする』『(ス) 自分からすすんでよくお手伝いをする（親、先生、子どもたちなど）』『(セ) 他の子どもたちと一緒にいるより、大人と一緒にいる方がうまくいく』『(ソ) こわがりで、すぐにおびえたりする』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-172 子どもの精神状態-2】(小学校5年生)



＜前回調査＞【図表 4-173 子どもの精神状態-2】（小学校5年生）

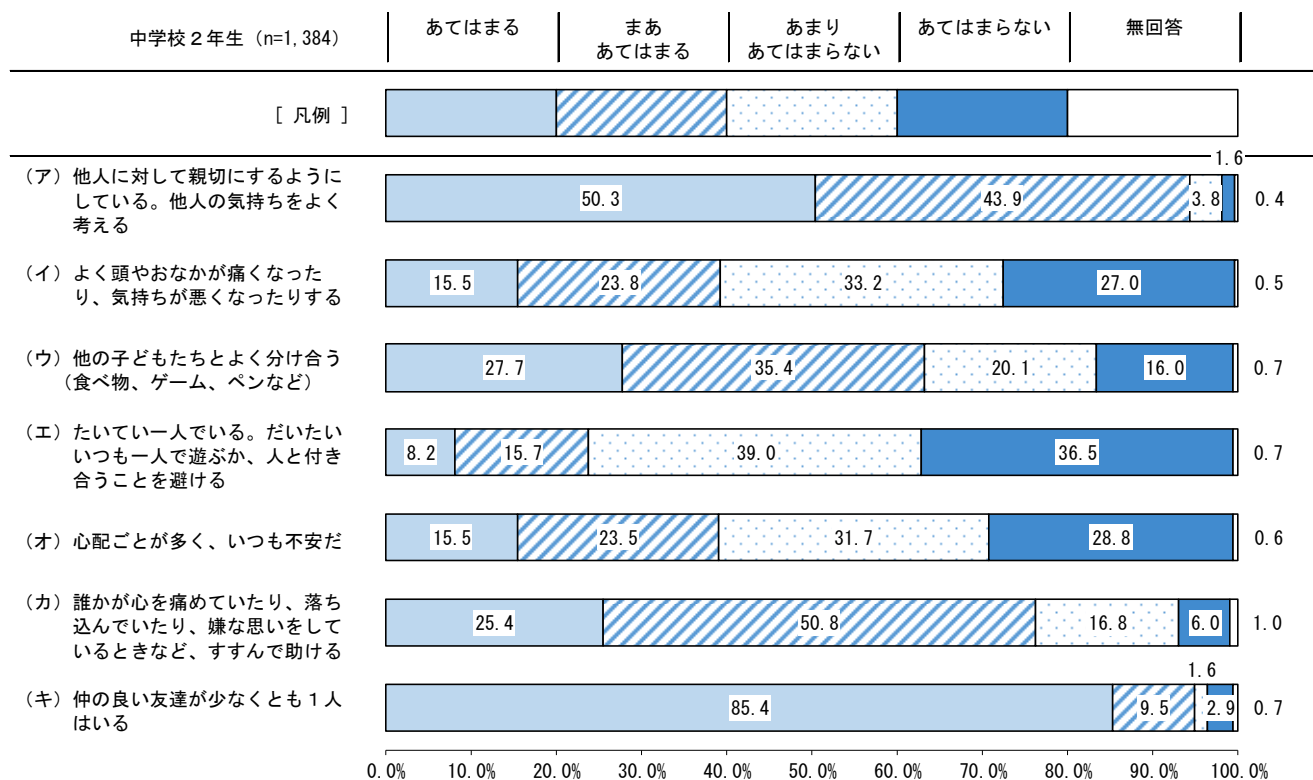


ここ半年間の精神状態を聞いたところ、中学校2年生では「あてはまる」と「まああてはまる」を足し合わせた割合が『(キ) 仲の良い友達が少なくとも1人はいる』が94.9%と最も高く、次いで『(ア) 他人に対して親切にしている。他人の気持ちをよく考える』が94.2%、『(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている』が89.4%となっている。

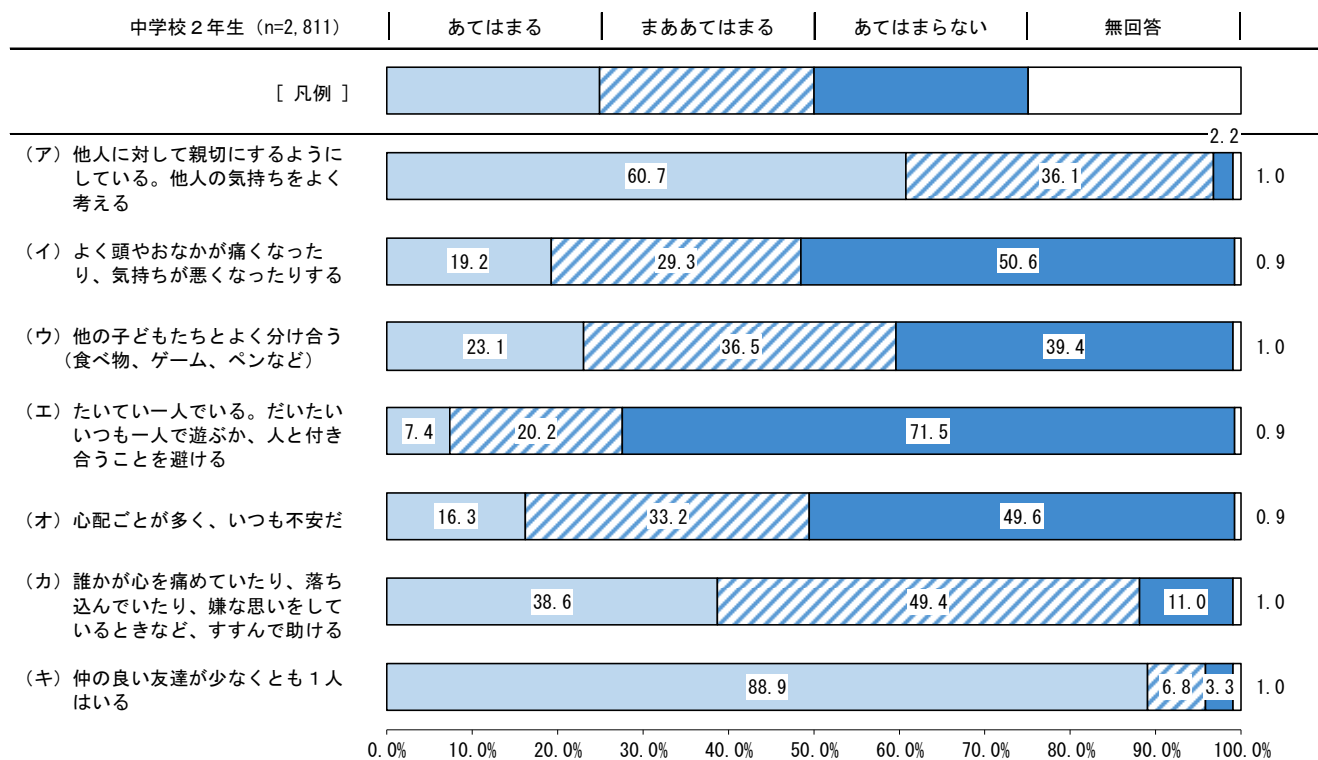
経年でみると、「あてはまる」は『(ア) 他人に対して親切にしている。他人の気持ちをよく考える』『(カ) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける』で前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-174 子どもの精神状態-1】(中学校2年生)



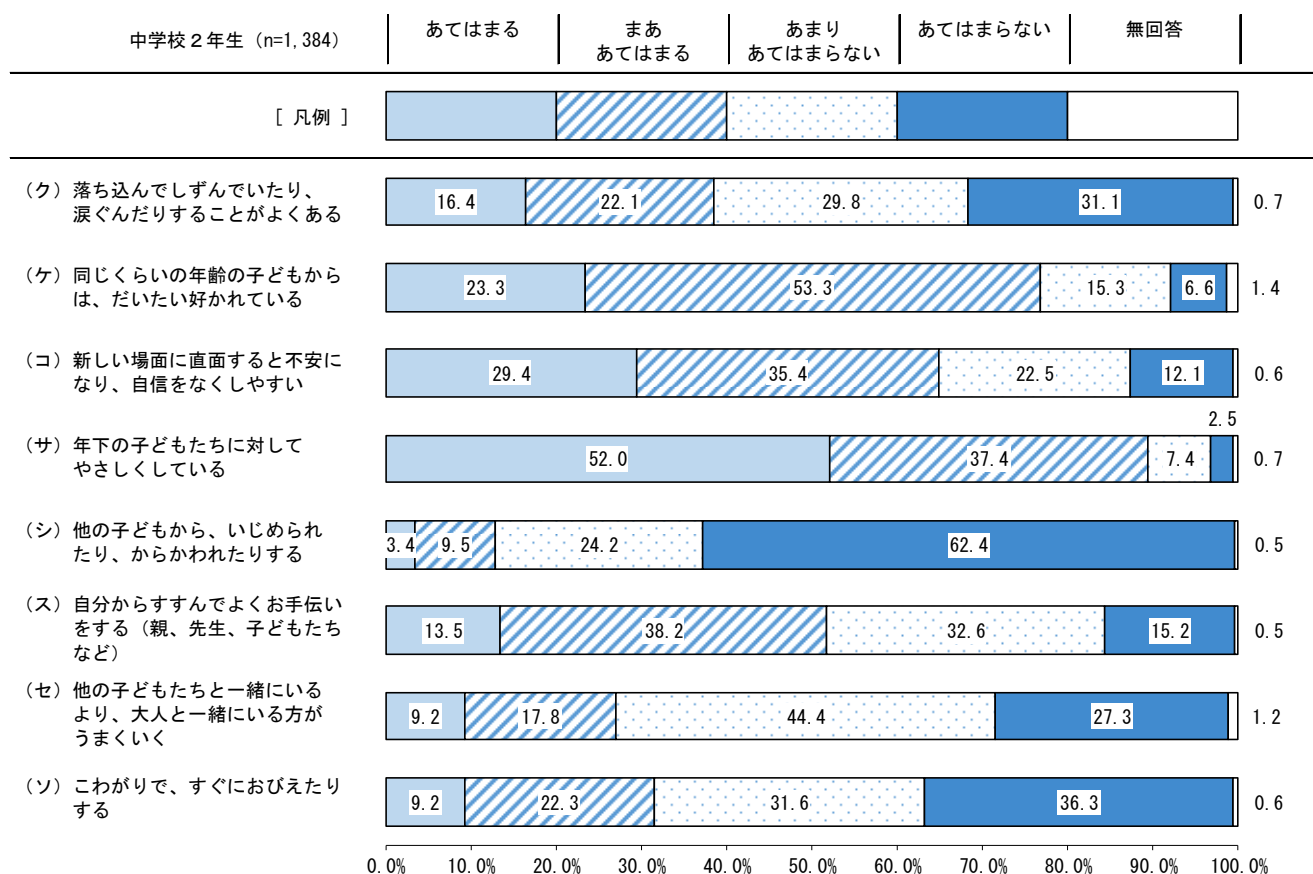
＜前回調査＞【図表 4-175 子どもの精神状態-1】（中学校2年生）



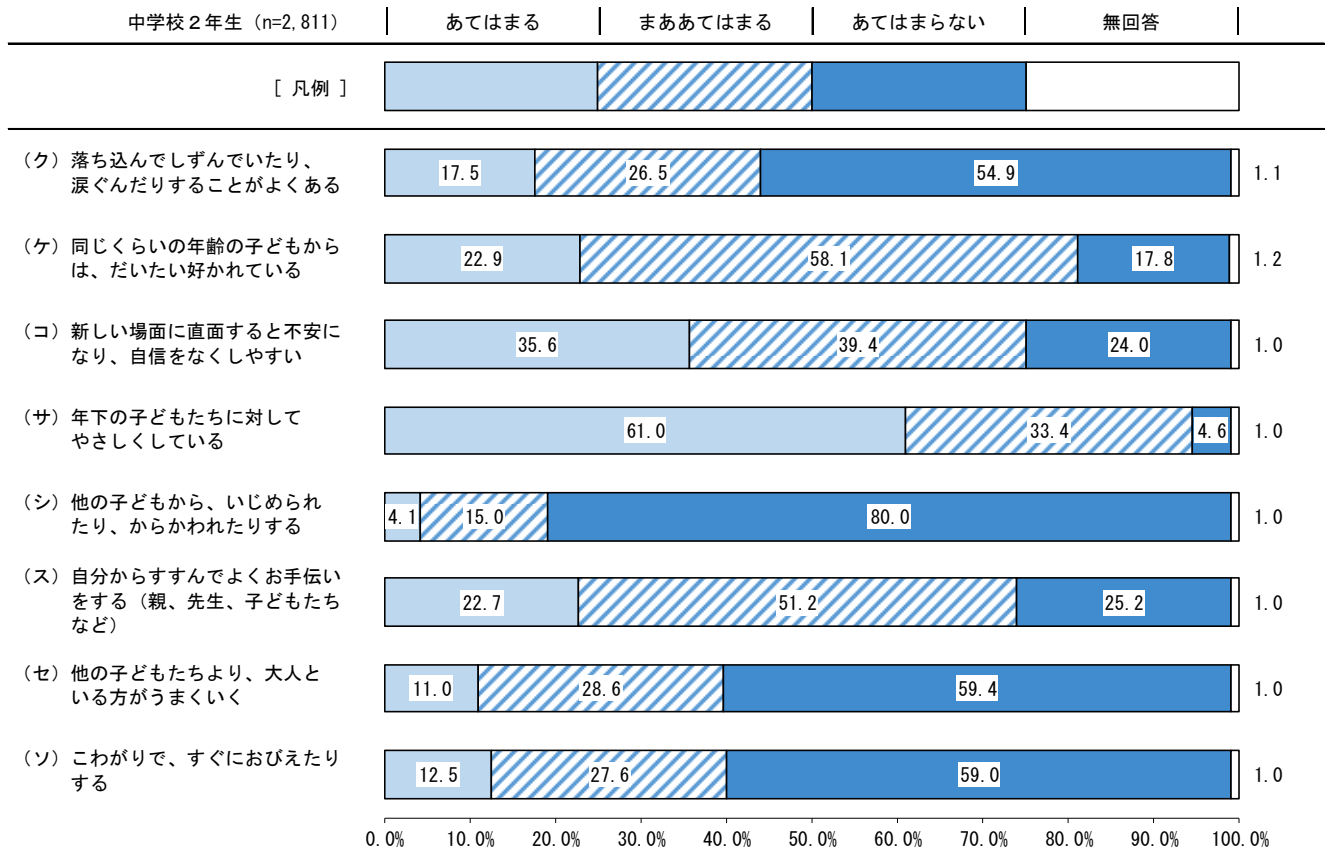
経年でみると、「あてはまる」は『(コ) 新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい』『(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている』『(ス) 自分からすすんでよくお手伝いをする（親、先生、子どもたちなど）』で前回調査に比べて低くなっている。「あてはまらない」は（ク）～（ソ）すべての項目で前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-176 子どもの精神状態-2】（中学校2年生）



＜前回調査＞【図表 4-177 子どもの精神状態-2】（中学校2年生）



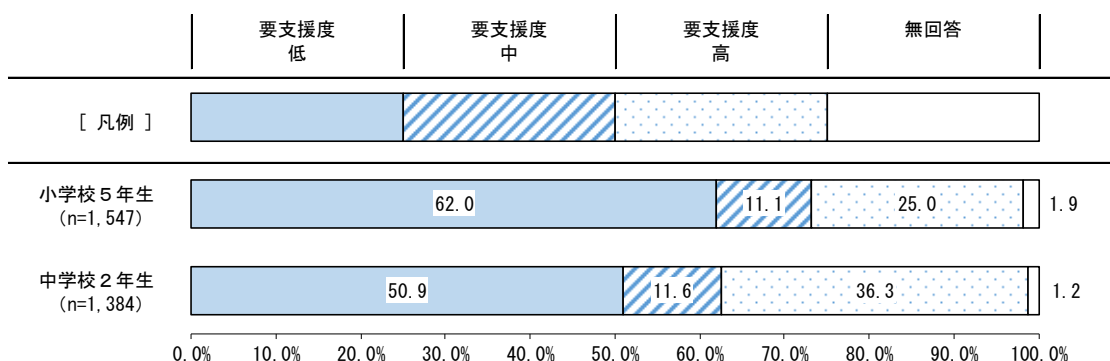
SDQ¹に基づく分類分け²のうち、『情緒』についてみると、小学校5年生では「要支援度低」が62.0%、「要支援度中」が11.1%、「要支援度高」が25.0%となっている。

中学校2年生では「要支援度低」が50.9%、「要支援度中」が11.6%、「要支援度高」が36.3%となっている。

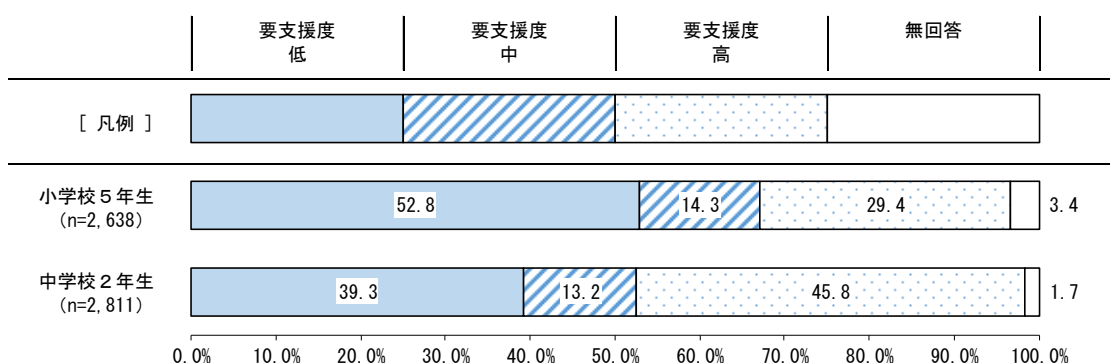
経年で見ると、「要支援度低」は、小学校5年生、中学校2年生ともに前回調査に比べて高く、「要支援度高」は中学校2年生が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-178 SDQに基づく分類『情緒』】



＜前回調査＞【図表 4-179 SDQに基づく分類『情緒』】



¹ SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire: 子どもの強さと困難さアンケート) は、子どもの情緒や行動についての25の質問項目を回答する形式の短いアンケートのこと。今回の調査では、25の項目のうち、「情緒」「仲間関係」「向社会性」の3観点に関する15項目を設定している。なお、本調査では、子ども本人に対して実施したが、本来は親が子どもを評価する際のものであることに留意すること。

² 採点方法としては、「1 あてはまる」を2点、「2 まああてはまる」を1点、「3 あまりあてはまらない」を0点、「4 あてはまらない」を0点とし、次の3つの観点ごとに点数を合計した。ただし、キとケは「3 あまりあてはまらない」を2点、「4 あてはまらない」を2点、「2 まああてはまる」を1点、「1 あてはまる」を0点とする。「情緒：イ、オ、ク、コ、ソ」⇒要支援度低：0～2点、中：3点、高：4点～、「仲間関係：エ、キ、ケ、シ、セ」⇒要支援度低：0～2点、中：3点、高：4点～、「向社会性：ア、ウ、カ、サ、ス」⇒要支援度低：6点～、中：5点、高：～4点

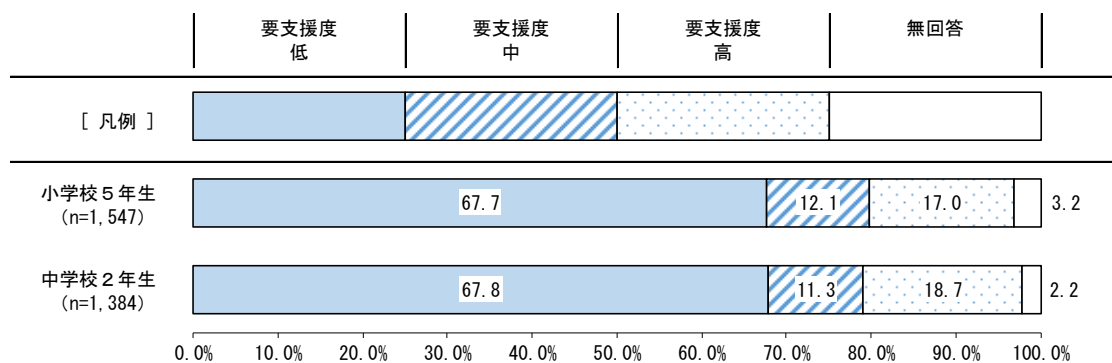
SDQに基づく分類分けのうち、『仲間関係』についてみると、小学校5年生では「要支援度低」が67.7%、「要支援度中」が12.1%、「要支援度高」が17.0%となっている。

中学校2年生では「要支援度低」が67.8%、「要支援度中」が11.3%、「要支援度高」が18.7%となっている。

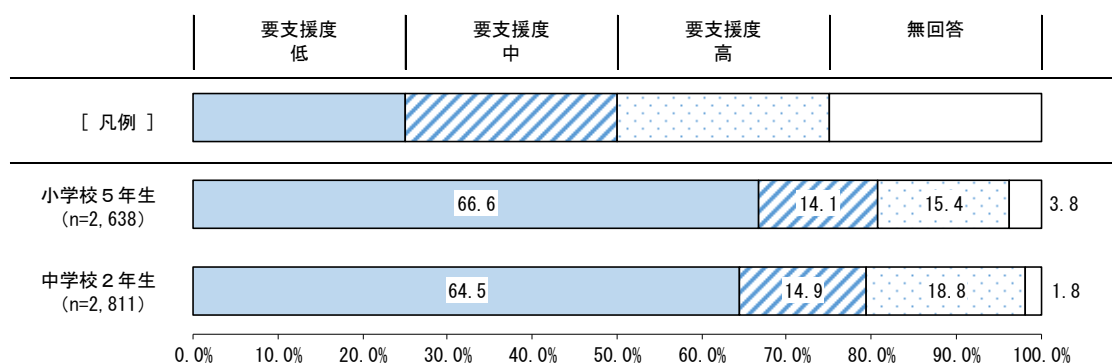
経年でみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-180 SDQに基づく分類『仲間関係』】



<前回調査>【図表 4-181 SDQに基づく分類『仲間関係』】



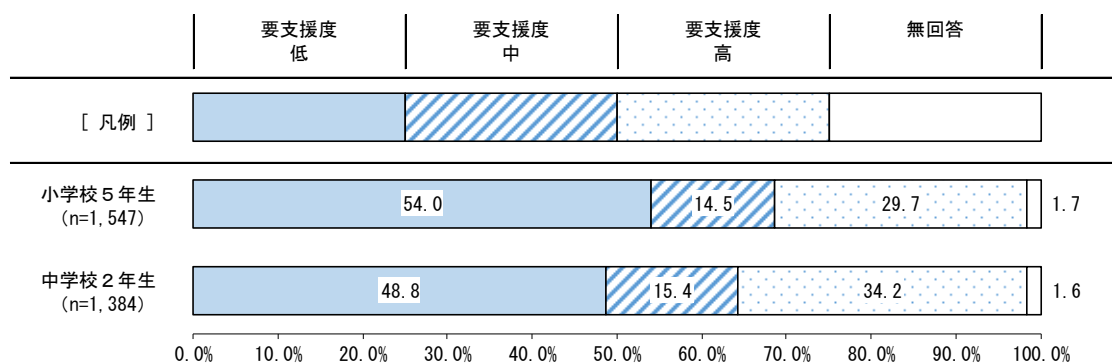
SDQに基づく分類分けのうち、『向社会性』についてみると、小学校5年生では「要支援度低」が54.0%、「要支援度中」が14.5%、「要支援度高」が29.7%となっている。

中学校2年生では「要支援度低」が48.8%、「要支援度中」が15.4%、「要支援度高」が34.2%となっている。

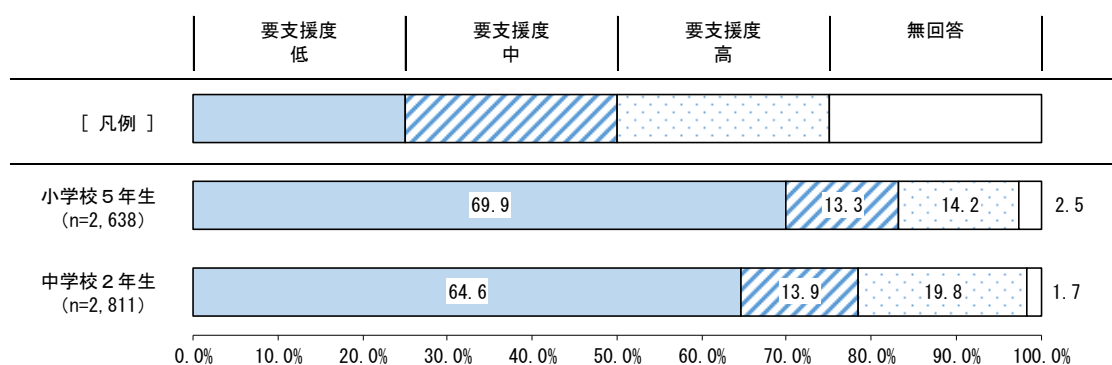
経年でみると、「要支援度低」は小学校5年生、中学校2年生ともに前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-182 SDQに基づく分類『向社会性』】



<前回調査>【図表 4-183 SDQに基づく分類『向社会性』】



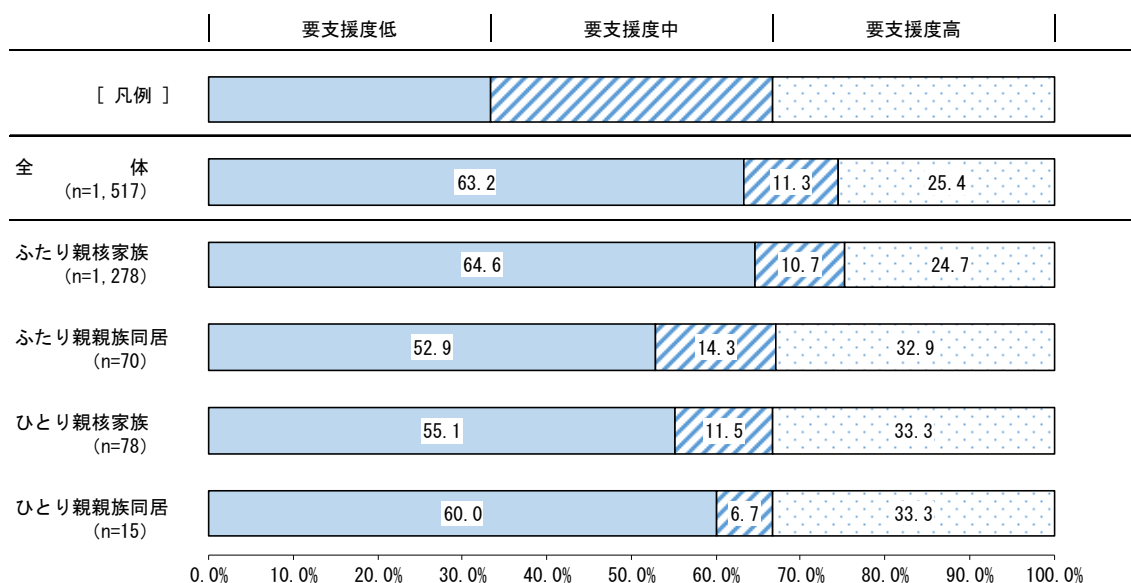
小学校5年生の『情緒』を世帯構成別にみると、「要支援度高」は『ふたり親親族同居』が32.9%、『ひとり親核家族』が33.3%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「要支援度低」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。「要支援度中」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低く、「要支援度高」は『ふたり親核家族』が低くなっている。

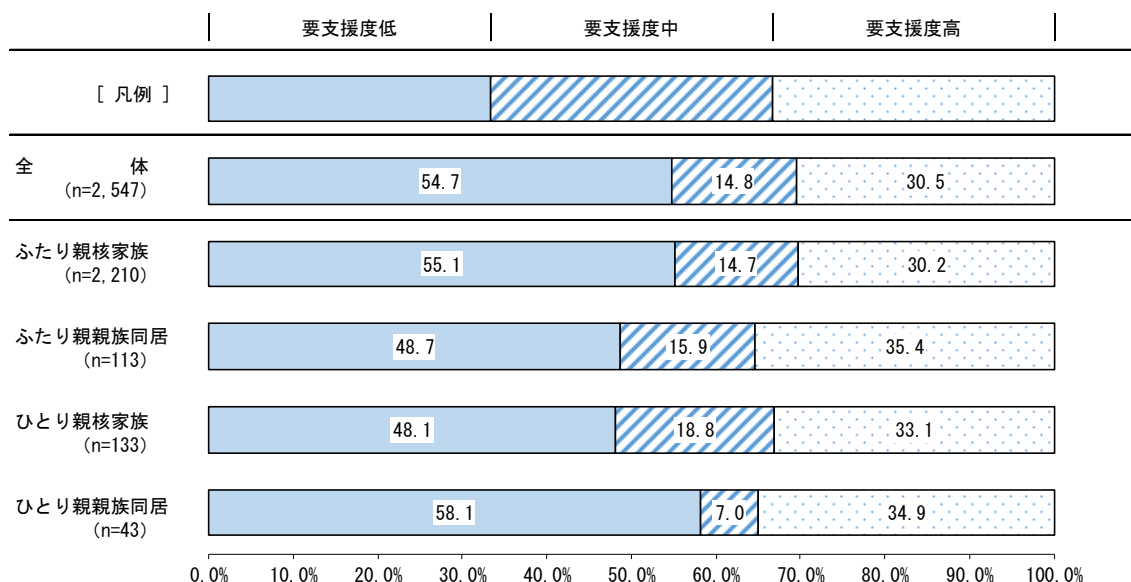
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-184 S D Qに基づく分類『情緒』】(小学校5年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-185 S D Qに基づく分類『情緒』】(小学校5年生・世帯構成別)



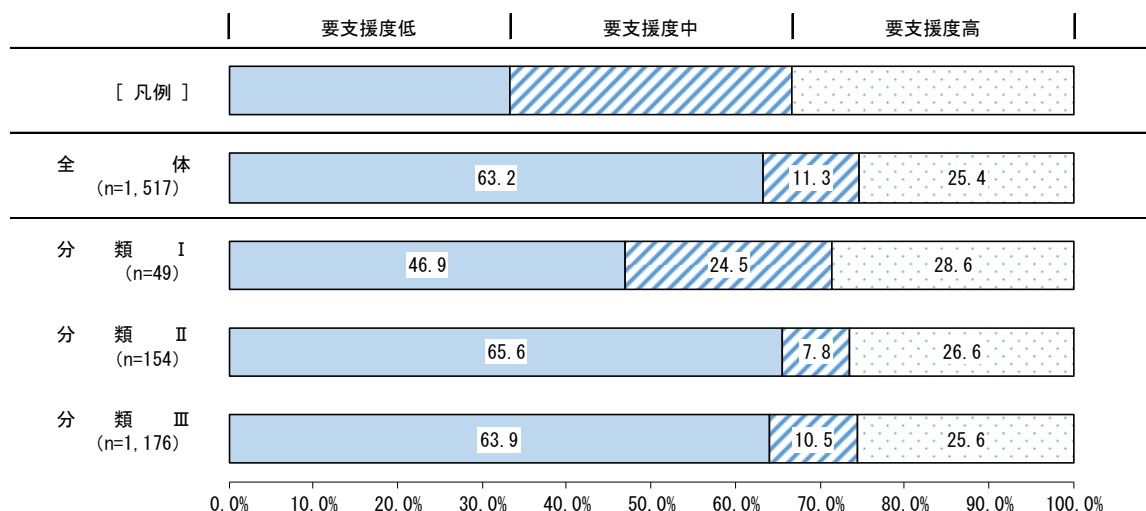
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「要支援度低」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』で前回調査に比べて高く、「要支援度中」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低く、「要支援度高」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。

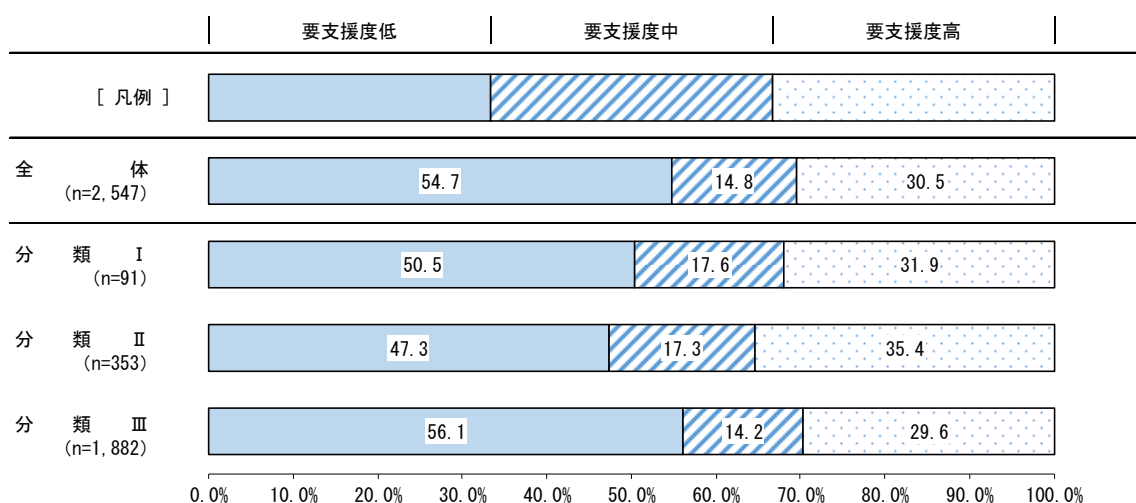
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-186 S D Qに基づく分類『情緒』】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-187 S D Qに基づく分類『情緒』】(小学校5年生・所得分類別)



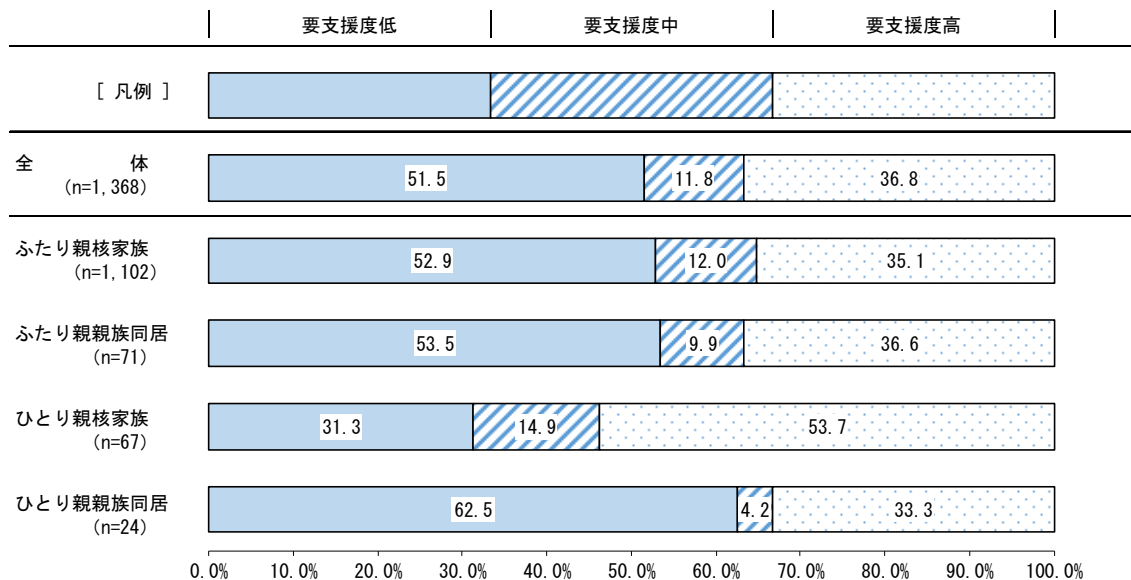
中学校2年生の『情緒』を世帯構成別にみると、「要支援度高」は「ひとり親核家族」が53.7%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「要支援度低」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』で前回調査に比べて高くなっている。

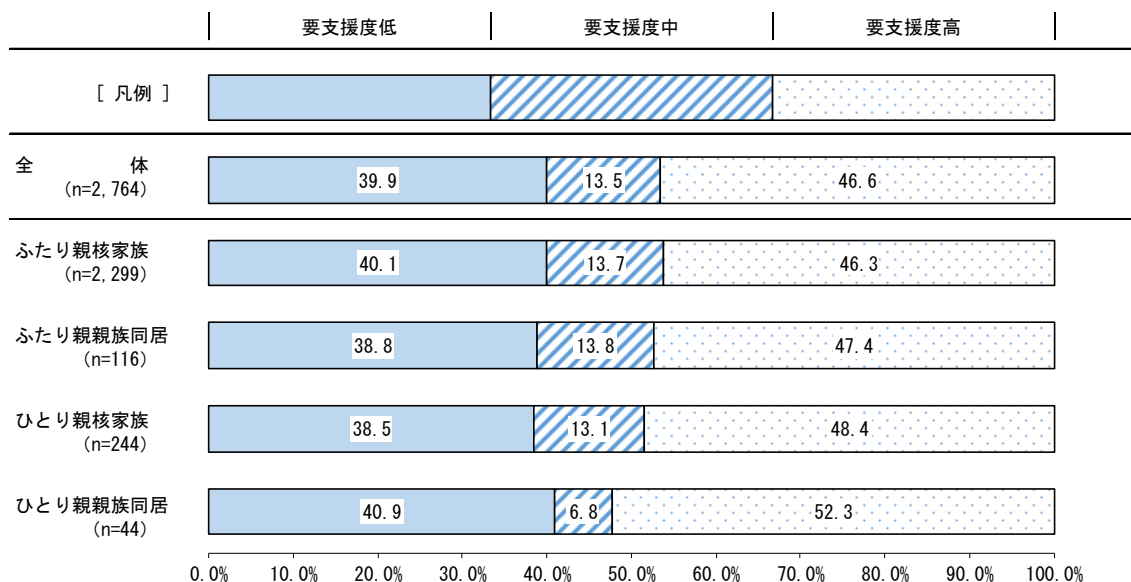
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-188 S D Qに基づく分類『情緒』】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-189 S D Qに基づく分類『情緒』】(中学校2年生・世帯構成別)



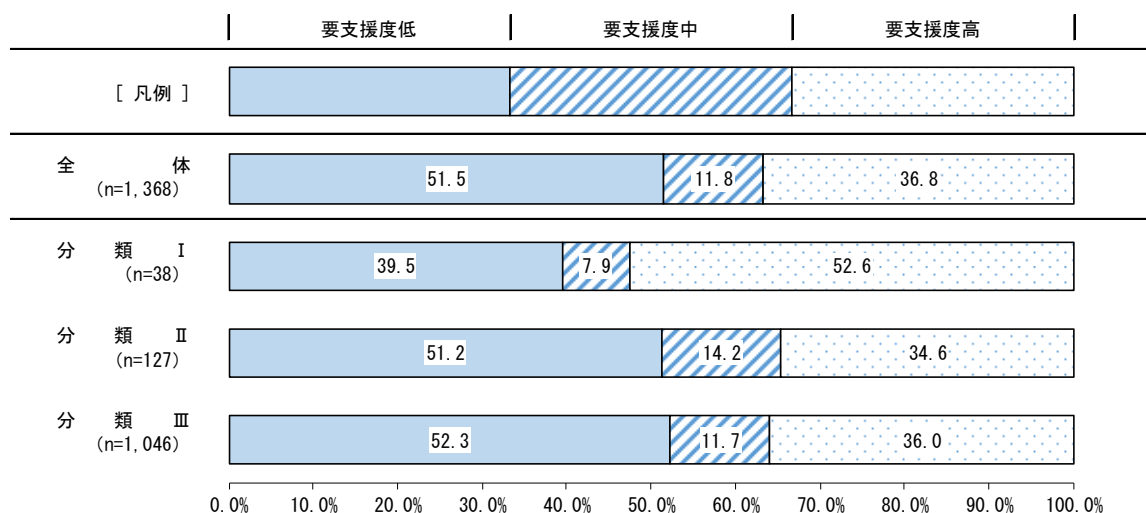
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「要支援度低」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高く、「要支援度高」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低くなっている。

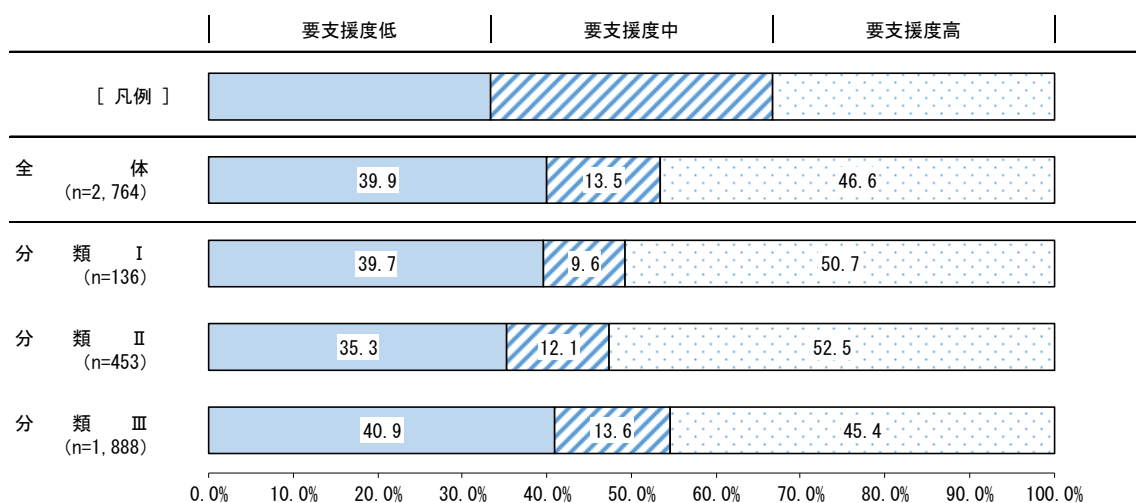
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-190 S D Qに基づく分類『情緒』】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-191 S D Qに基づく分類『情緒』】(中学校2年生・所得分類別)



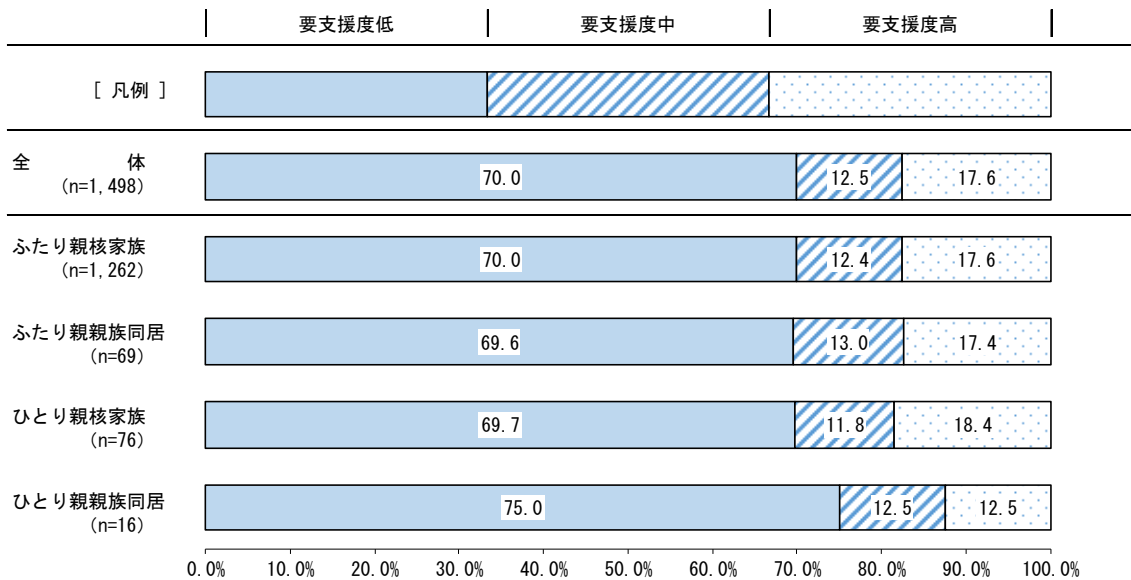
小学校5年生の『仲間関係』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「要支援度低」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「要支援度高」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低くなっている。

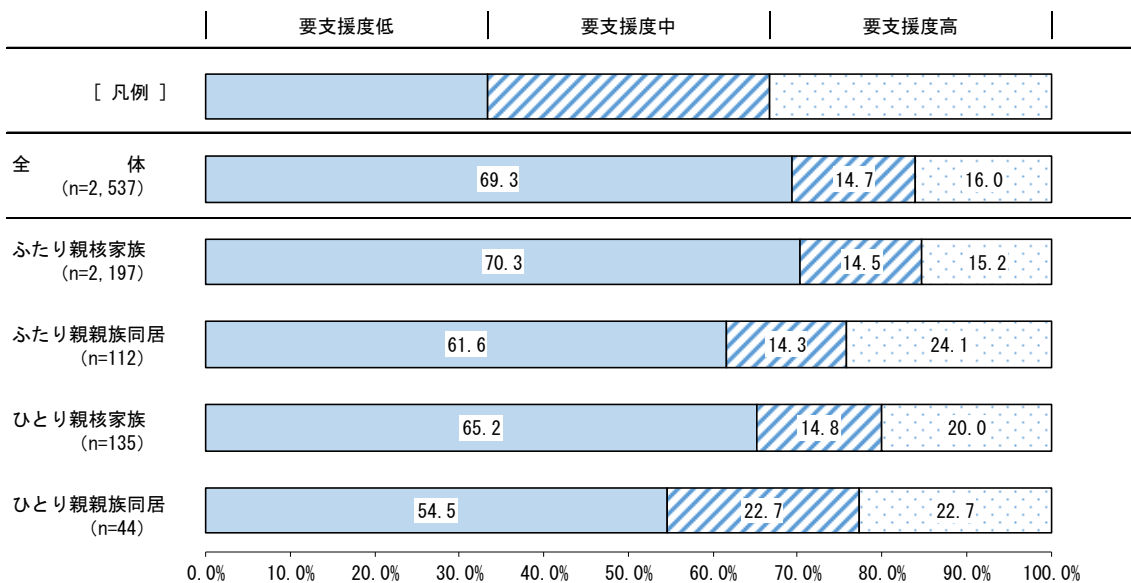
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-192 SDQに基づく分類『仲間関係』】(小学校5年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-193 SDQに基づく分類『仲間関係』】(小学校5年生・世帯構成別)



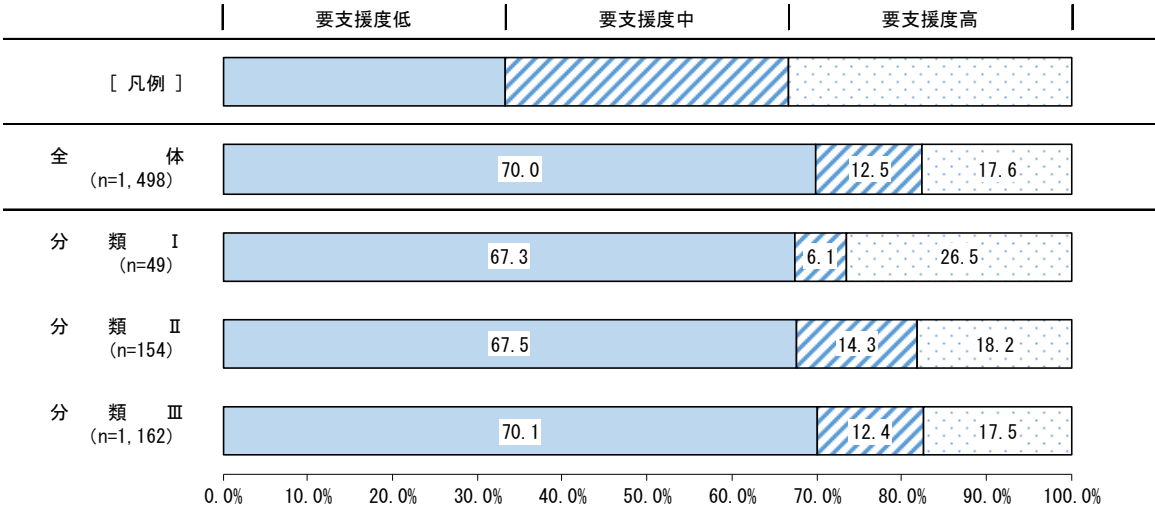
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「要支援度低」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高くなっている。

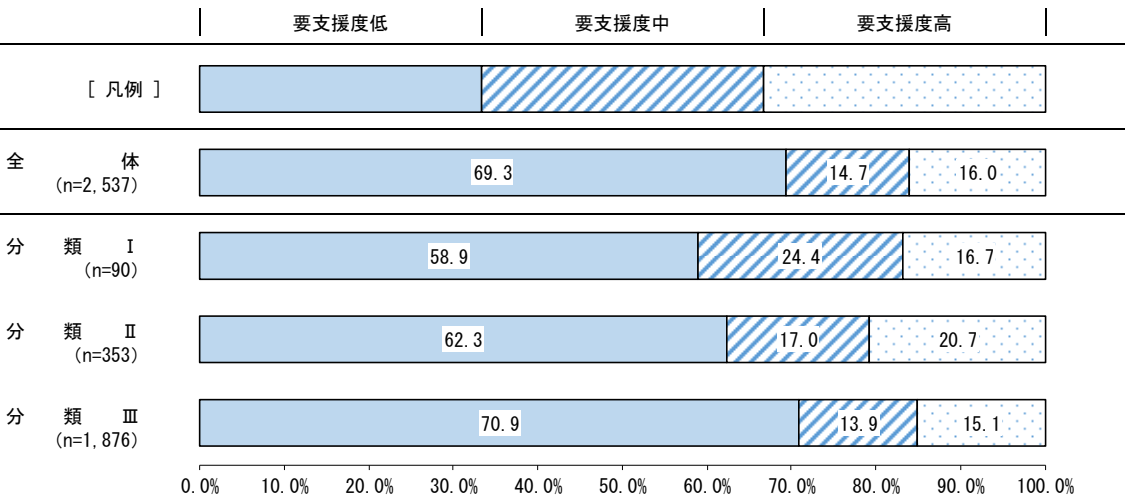
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-194 S D Qに基づく分類『仲間関係』】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-195 S D Qに基づく分類『仲間関係』】(小学校5年生・所得分類別)



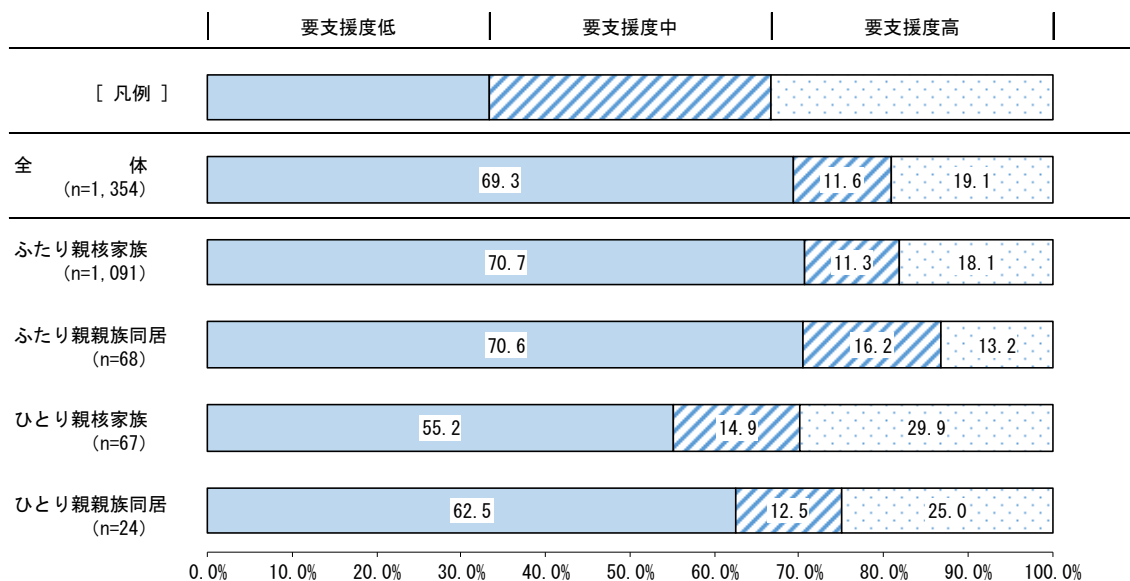
中学校2年生の『仲間関係』を世帯構成別にみると、「要支援度低」は『ひとり親核家族』が55.2%と全体に比べて低くなっている。「要支援度高」は『ふたり親親族同居』が13.2%と全体に比べて低く、『ひとり親核家族』が29.9%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「要支援度低」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「要支援度高」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

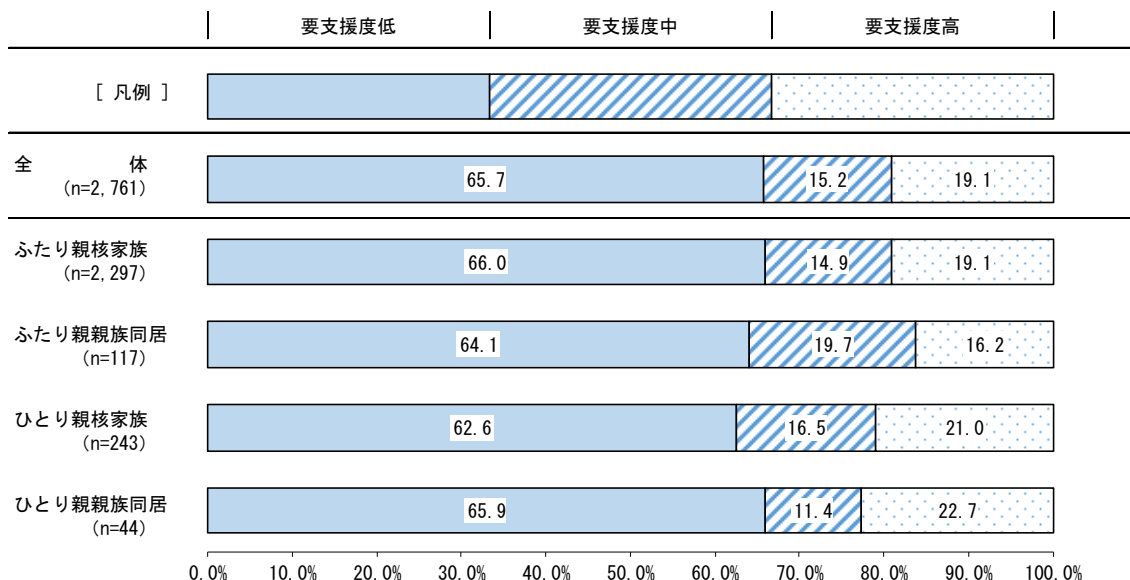
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-196 SDQに基づく分類『仲間関係』】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-197 SDQに基づく分類『仲間関係』】(中学校2年生・世帯構成別)



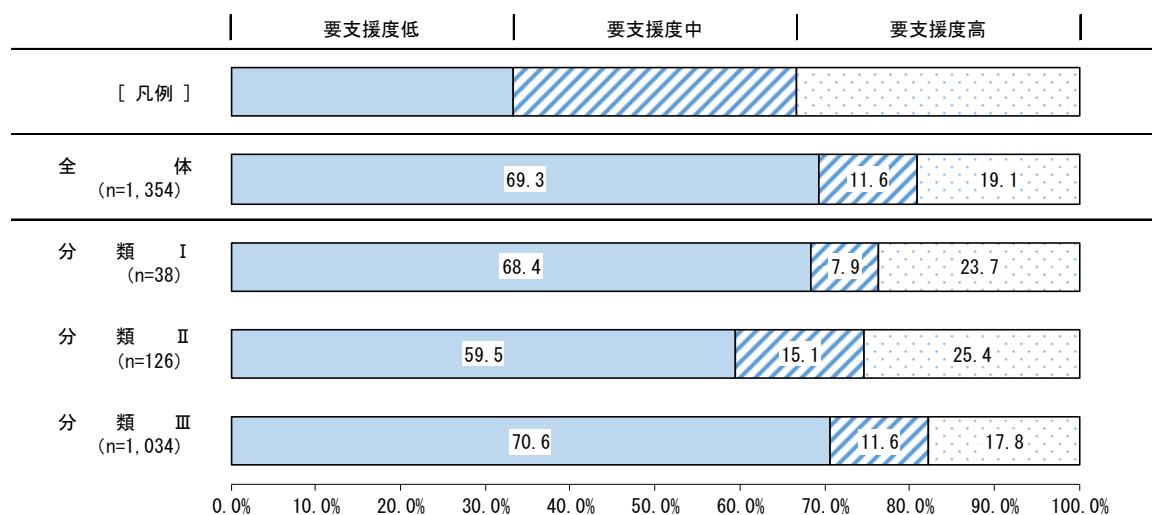
所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「要支援度低」が 59.5%と全体に比べて低く、「要支援度高」が 25.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

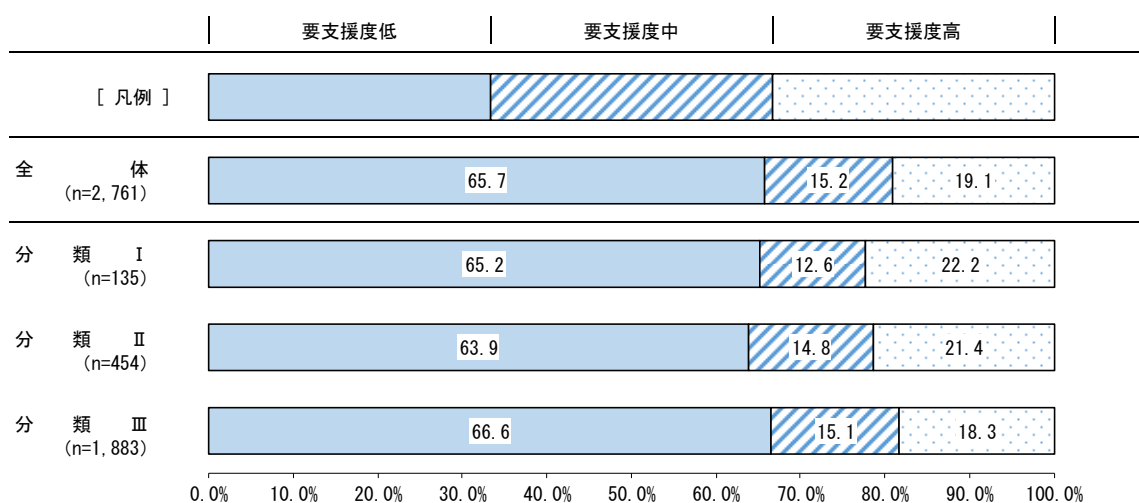
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-198 S D Qに基づく分類『仲間関係』】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-199 S D Qに基づく分類『仲間関係』】(中学校2年生・所得分類別)



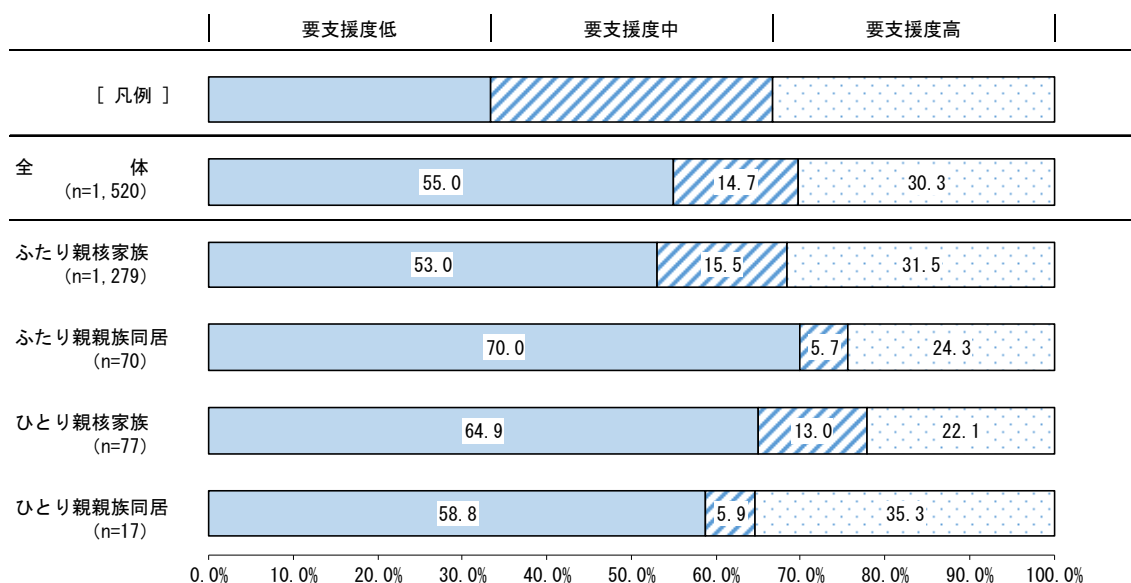
小学校5年生の『向社会性』を世帯構成別にみると、「要支援度低」は『ふたり親親族同居』が70.0%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「要支援度高」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高く、「要支援度中」は『ふたり親親族同居』で前回調査に比べて低くなっている。

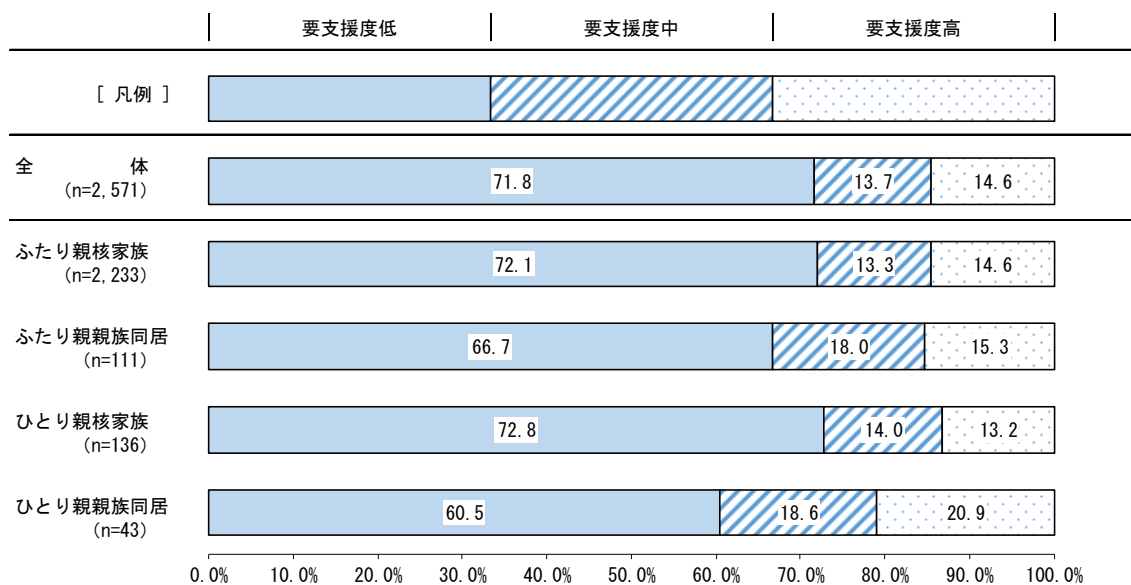
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-200 SDQに基づく分類『向社会性』】(小学校5年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-201 SDQに基づく分類『向社会性』】(小学校5年生・世帯構成別)

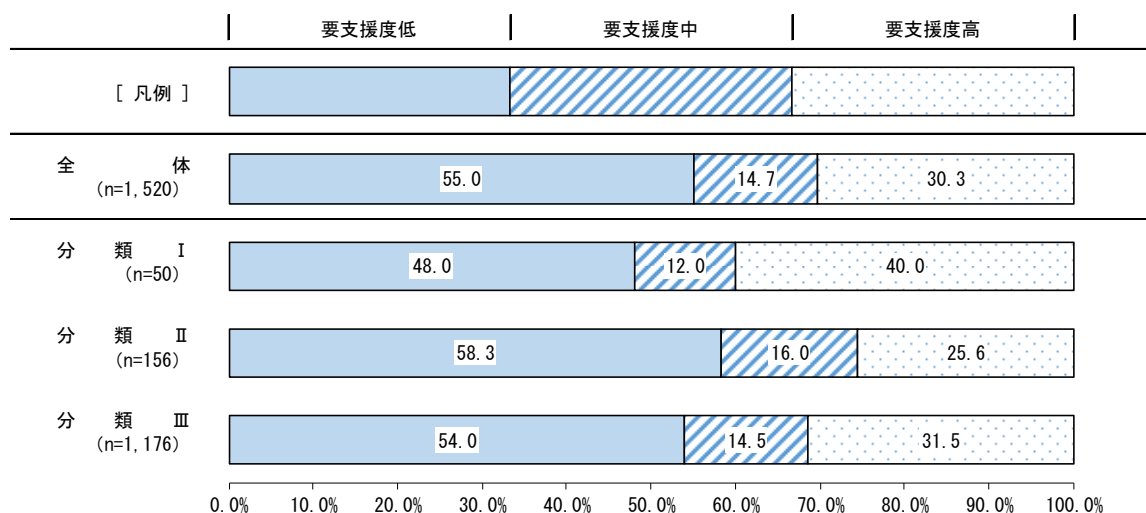


所得分類別にみると、「要支援度低」は『分類Ⅰ』が48.0%と全体に比べて低く、「要支援度高」は『分類Ⅰ』が40.0%と全体に比べて高くなっている。

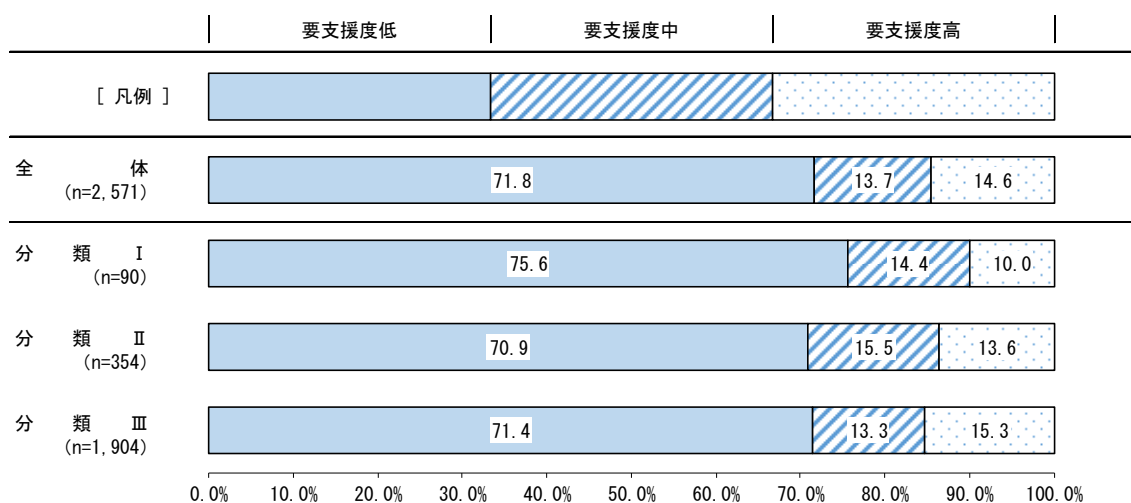
経年でみると、「要支援度低」はいずれの所得分類でも前回調査に比べて低く、「要支援度高」はいずれの所得分類でも高くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-202 S D Qに基づく分類『向社会性』】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-203 S D Qに基づく分類『向社会性』】(小学校5年生・所得分類別)



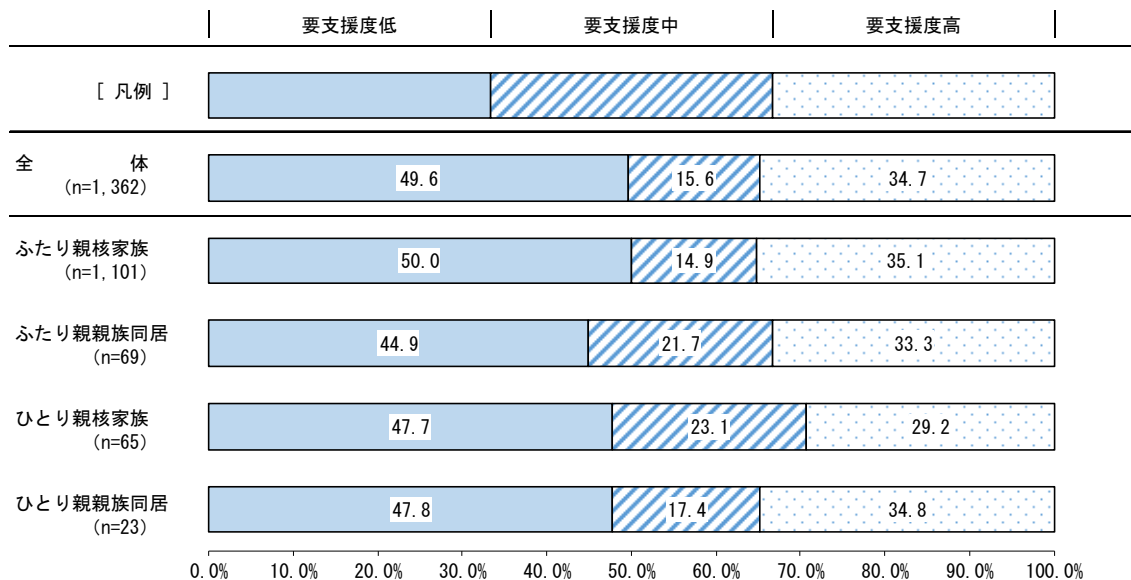
中学校2年生の『向社会性』を世帯構成別にみると、「要支援度高」は『ひとり親核家族』が29.2%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「要支援度高」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高くなっている。

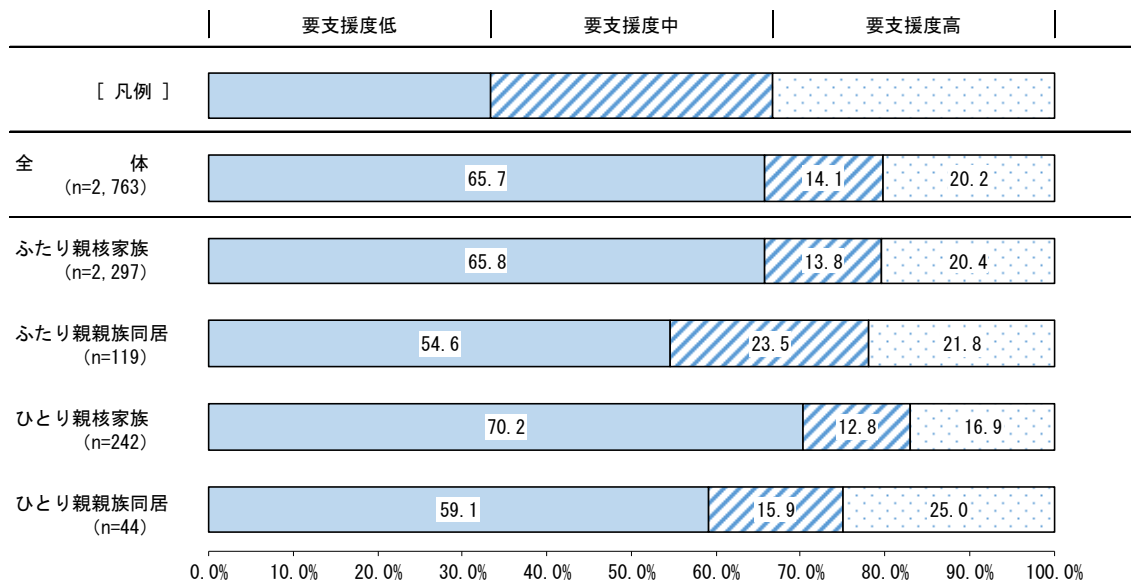
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-204 S D Qに基づく分類『向社会性』】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-205 S D Qに基づく分類『向社会性』】(中学校2年生・世帯構成別)



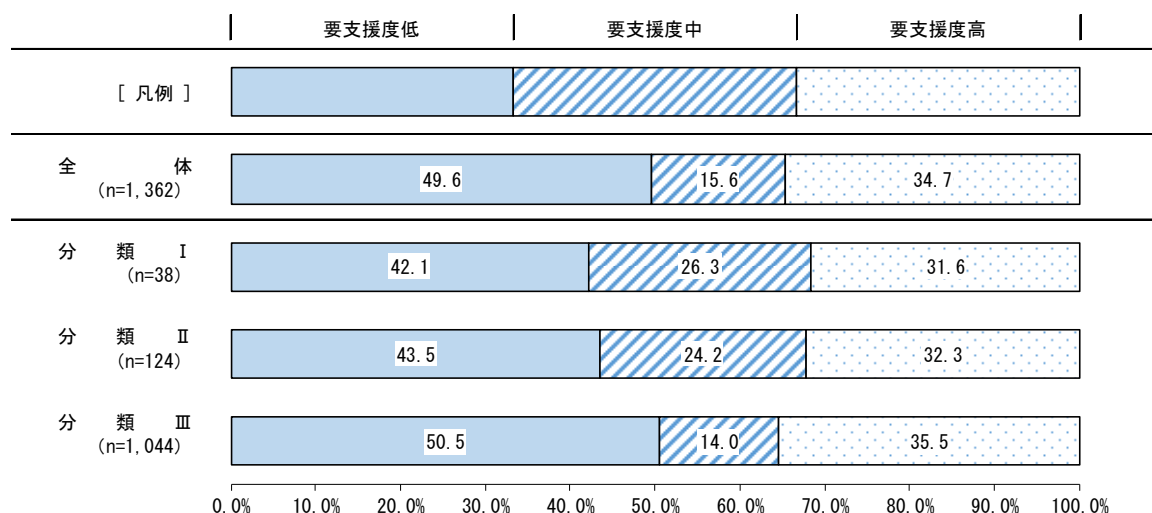
所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「要支援度低」が43.5%と全体に比べて低く、「要支援度中」が24.2%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「要支援度低」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「要支援度中」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高く、「要支援度高」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。

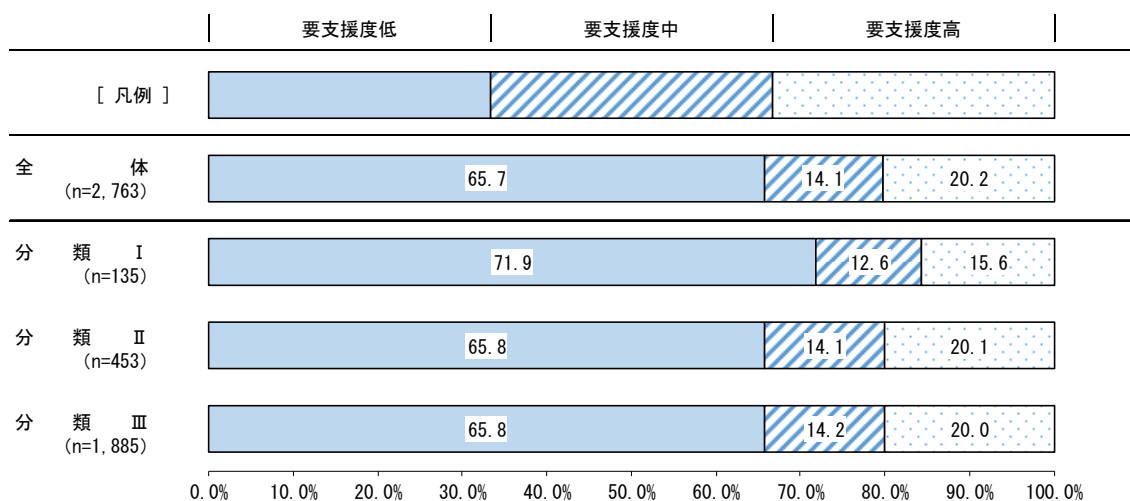
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 4-206 SDQに基づく分類『向社会性』(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-207 SDQに基づく分類『向社会性』(中学校2年生・所得分類別)

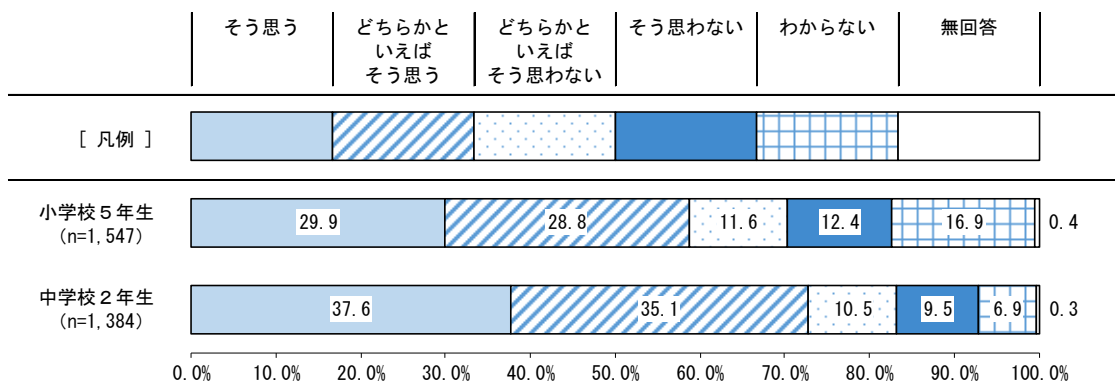


イ 将来に対する考え方や自己肯定感など【問20】（SA）

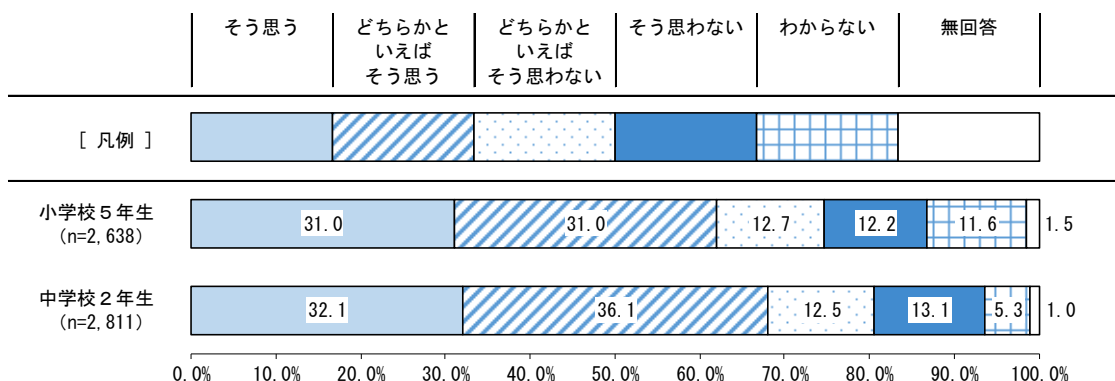
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

経年でみると、中学校2年生では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-208 （ア）大学を出ないとよい仕事につけないと思う】



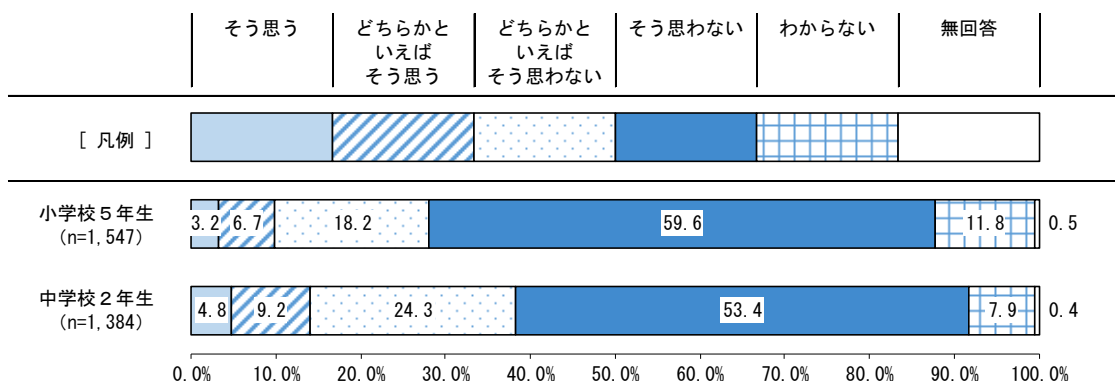
＜前回調査＞【図表 4-209 （ア）大学を出ないとよい仕事につけないと思う】



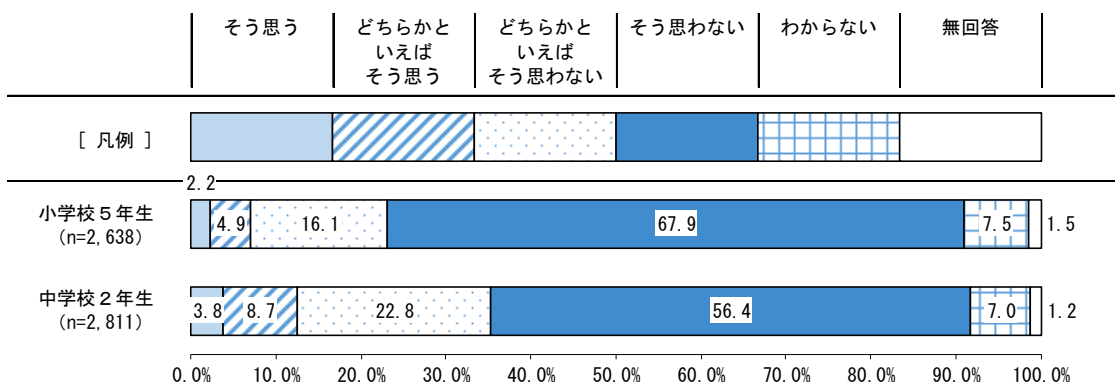
『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を足し合わせた割合が「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合を上回っている。

経年でみると、小学校5年生では「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を足し合わせた割合が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-210 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

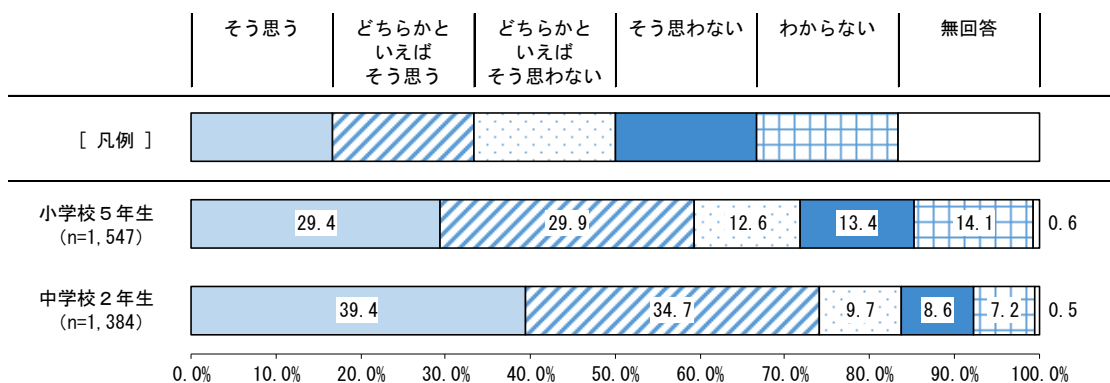


＜前回調査＞【図表 4-211 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

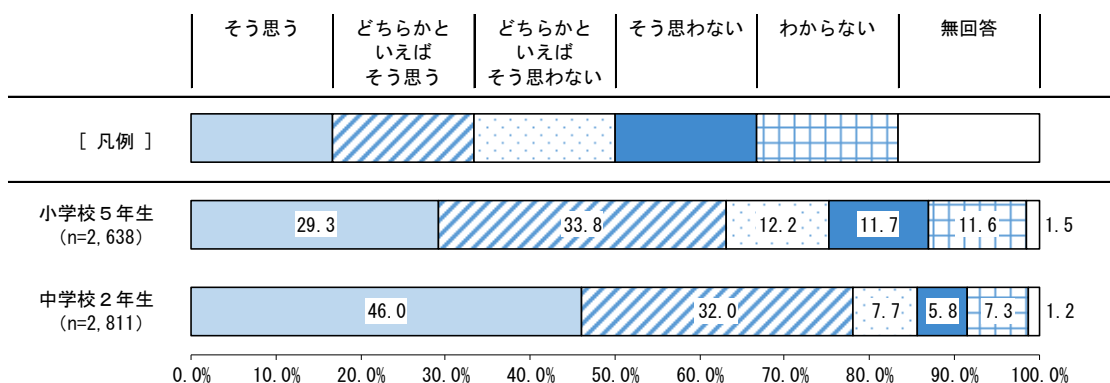


『希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。経年でみると、中学校2年生では「そう思う」が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-212 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】



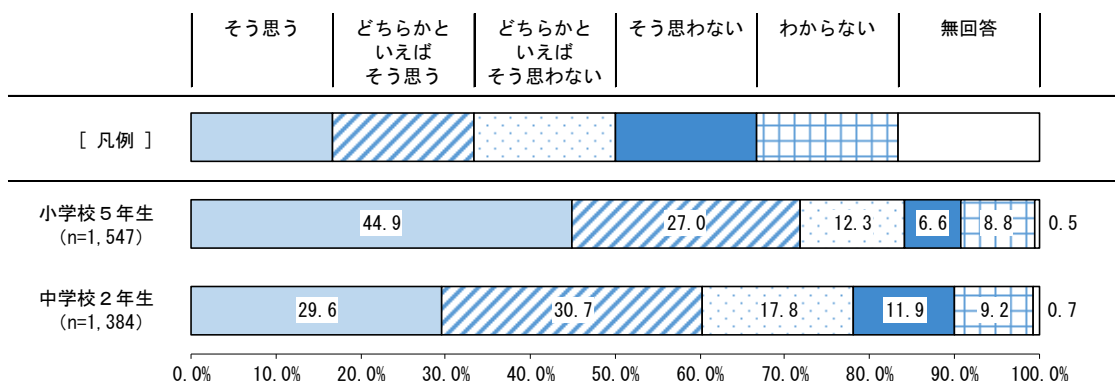
<前回調査>【図表 4-213 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】



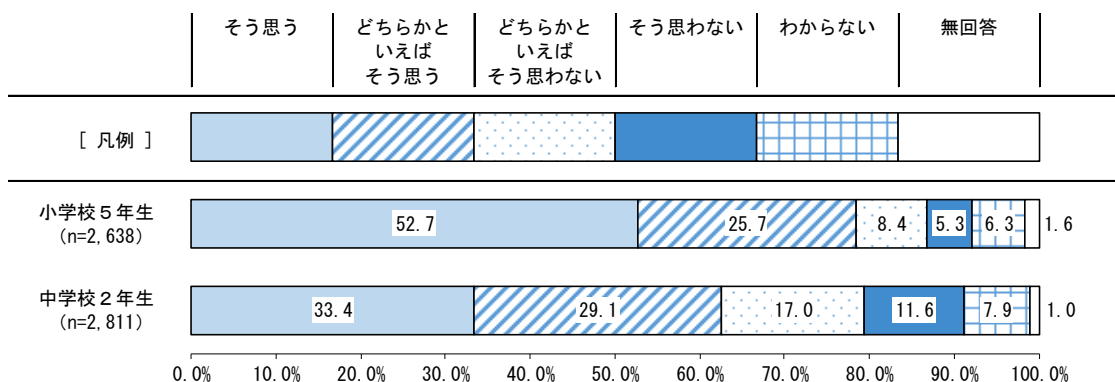
『自分の将来が楽しみだ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

経年でみると、小学校5年生では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合が前回調査に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-214 (エ) 自分の将来が楽しみだ】



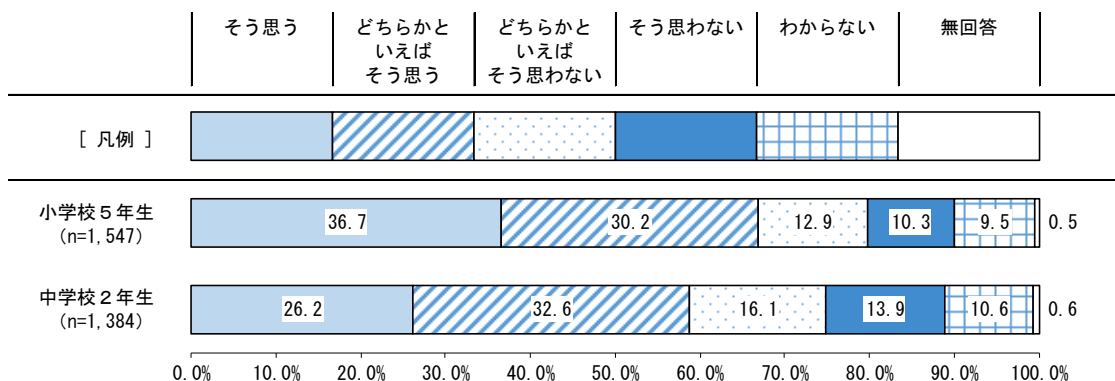
＜前回調査＞【図表 4-215 (エ) 自分の将来が楽しみだ】



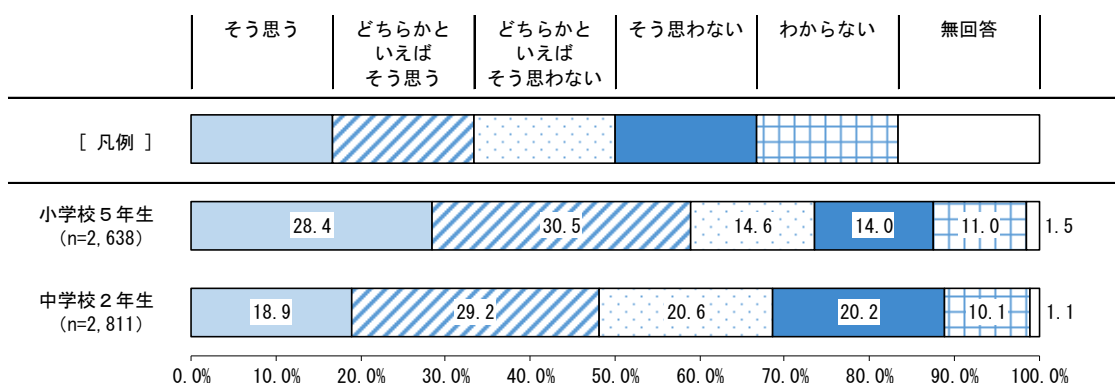
『自分のことが好きだ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

経年でみると、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-216 (オ) 自分のことが好きだ】

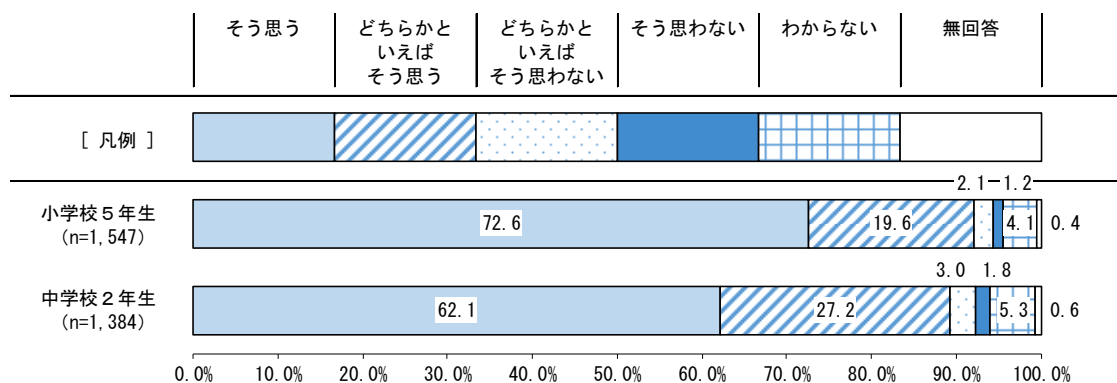


<前回調査>【図表 4-217 (オ) 自分のことが好きだ】

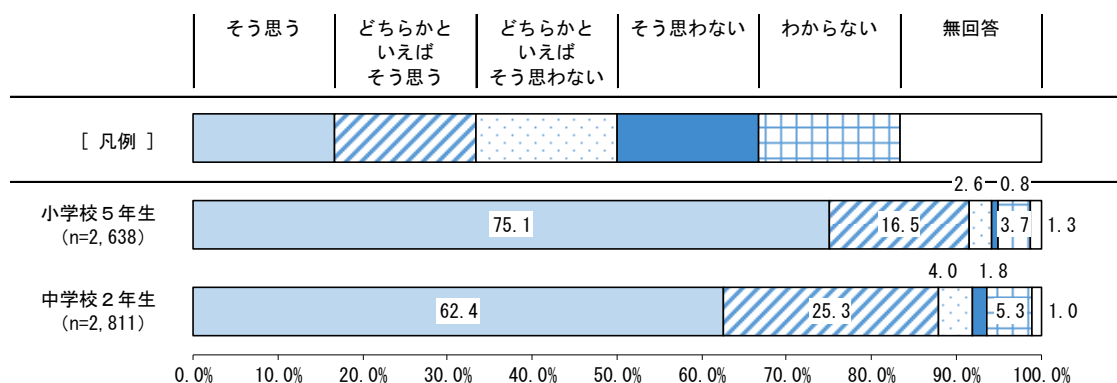


『自分は家族に大事にされていると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。経年でみると、大きな差はみられない。

<今回調査>【図表 4-218 (力) 自分は家族に大事にされていると思う】



<前回調査>【図表 4-219 (力) 自分は家族に大事にされていると思う】

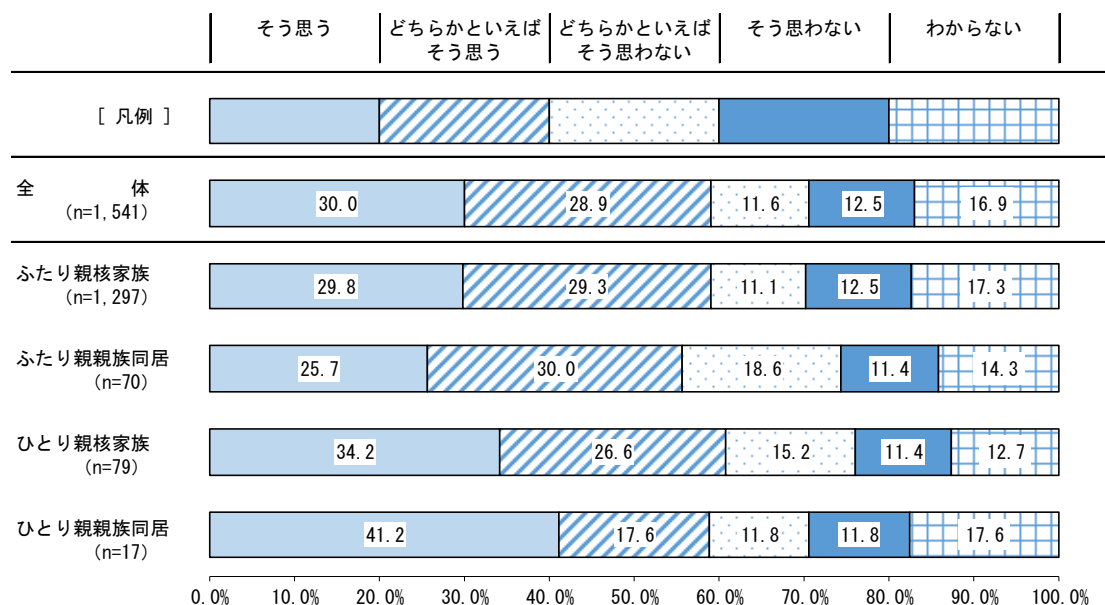


小学校5年生の『大学と出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「どちらかといえばそうは思わない」は『ふたり親親族同居』が18.6%と全体に比べて高くなっている。

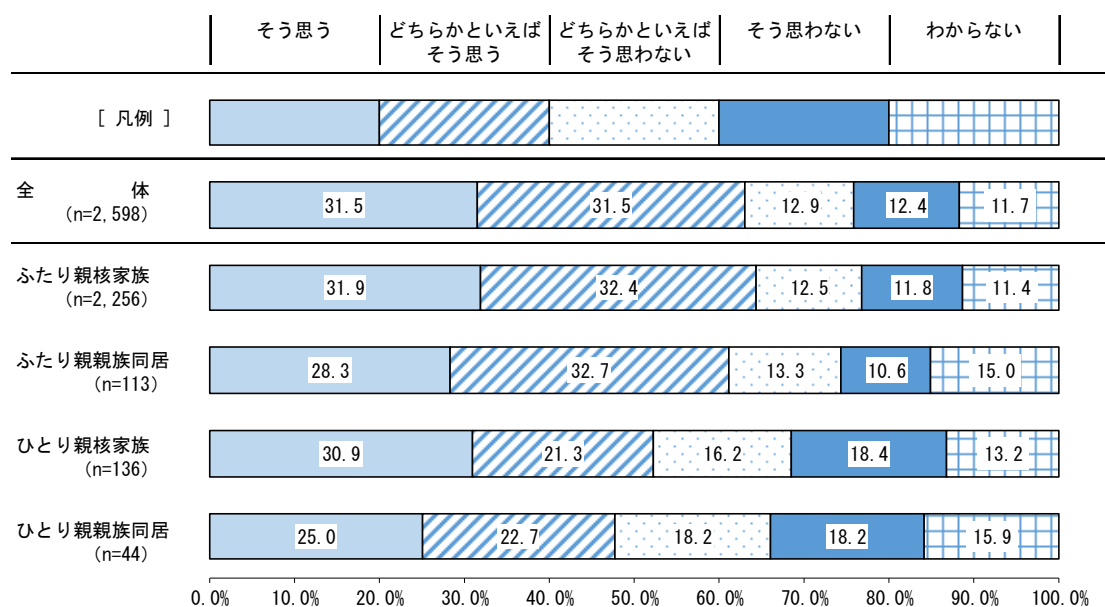
経年でみると、「どちらかといえばそう思う」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-220 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(小学校5年生・世帯構成別)



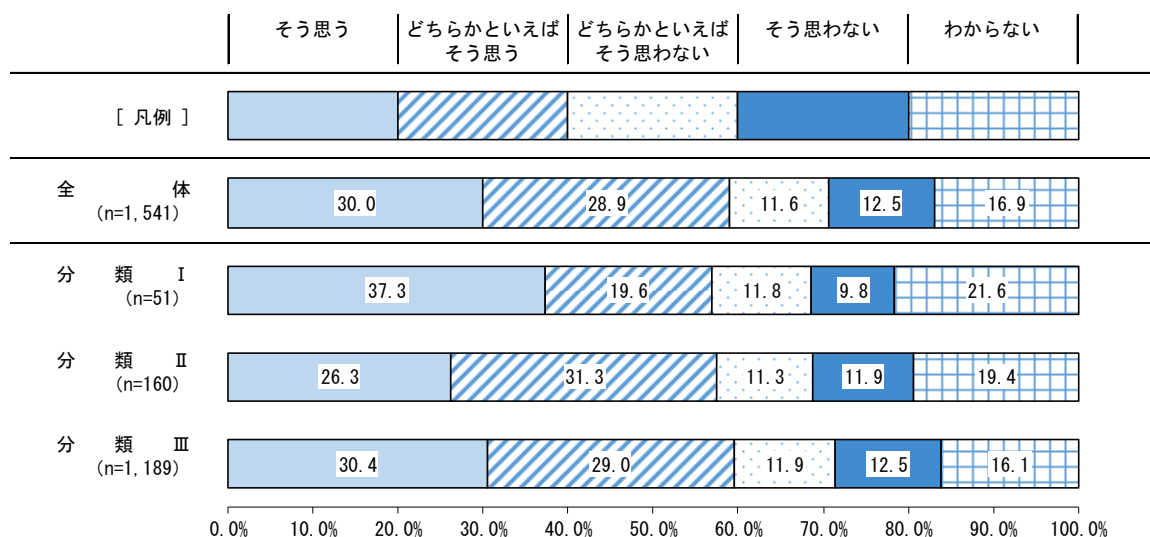
<前回調査>【図表 4-221 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(小学校5年生・世帯構成別)



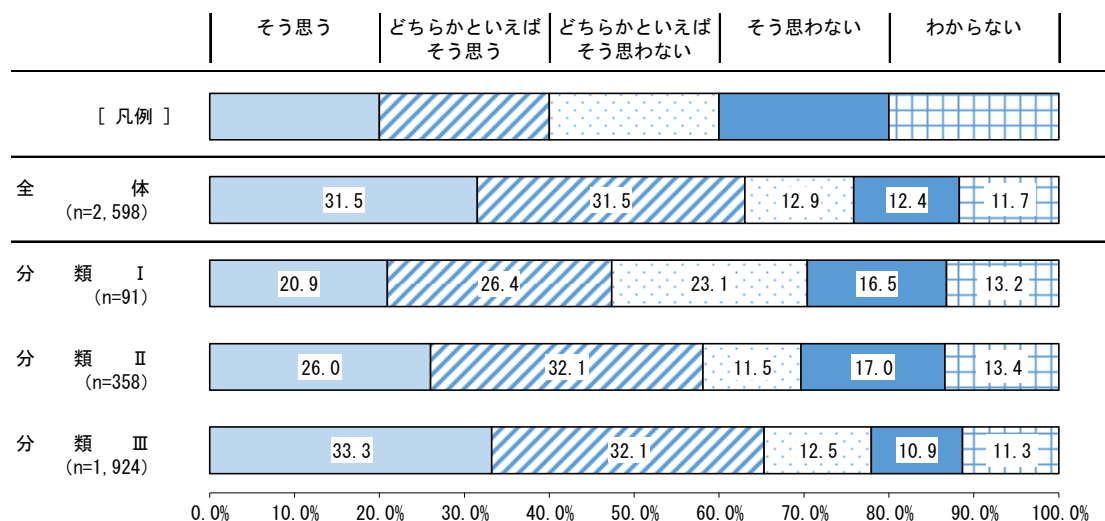
所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』が37.3%と全体に比べて高く、「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅰ』が19.6%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が前回調査に比べて高く、「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が前回調査に比べて低くなっている。『分類Ⅱ』では「そう思わない」が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-222 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-223 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(小学校5年生・所得分類別)



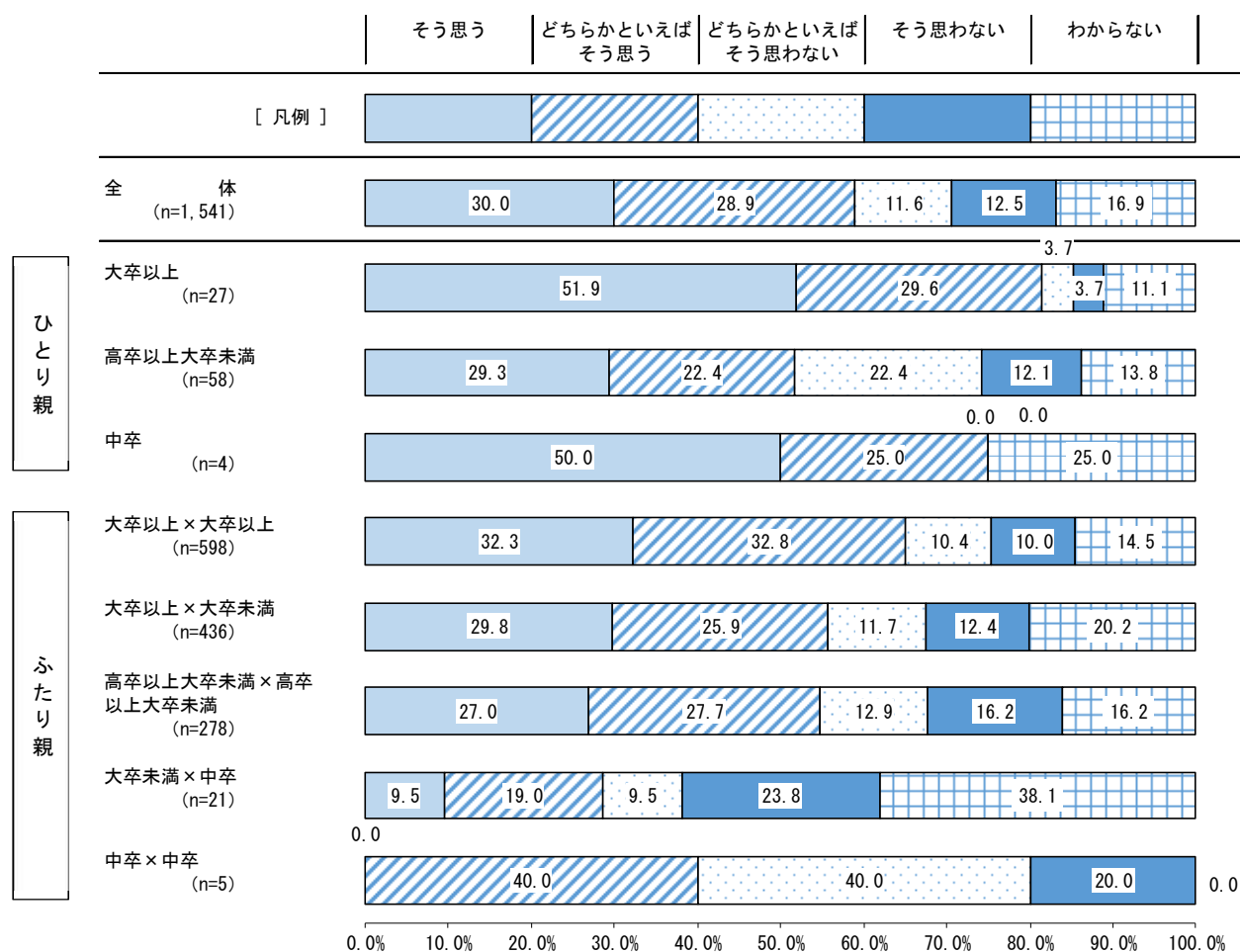
保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「どちらかといえばそう思う」が22.4%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思わない」が22.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思わない」は『高卒以上大卒未満』が、「どちらかといえばそう思う」は『大卒以上×大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

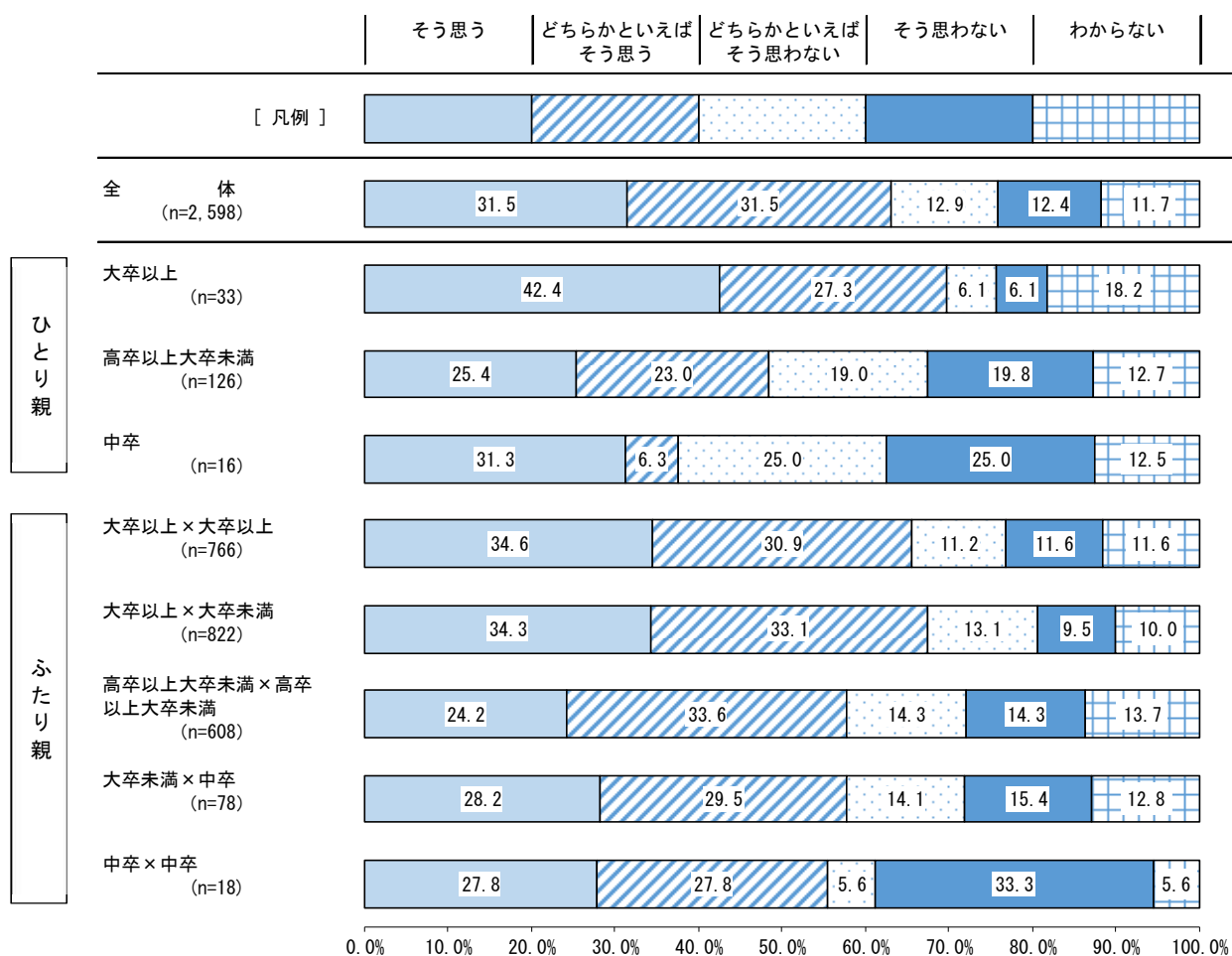
＜今回調査＞【図表 4-224 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】

(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



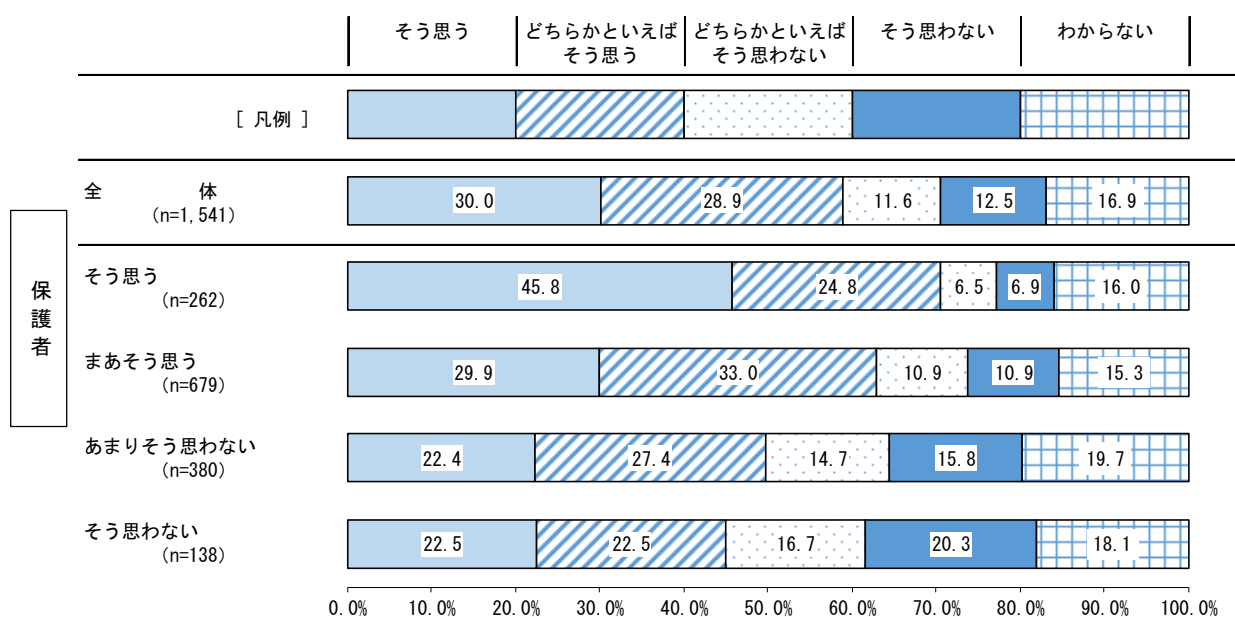
<前回調査>【図表 4-225 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】

(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、「そう思う」は『そう思う（保護者）』が 45.8%と全体に比べて高く、『あまりそう思わない（保護者）』が 22.4%、『そう思わない（保護者）』が 22.5%と全体に比べて低くなっている。「どちらかといえばそう思う」は『そう思わない（保護者）』が 22.5%と全体に比べて低くなっている。「どちらかといえばそう思わない」は『そう思う（保護者）』が 6.5%と全体に比べて低く、『そう思わない（保護者）』が 16.7%と全体に比べて高くなっている。「そう思わない」は『そう思う（保護者）』が 6.9%と全体に比べて低く、『そう思わない（保護者）』が 20.3%と全体に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-226 （ア）大学を出ないとよい仕事につけないと思う】（小学校５年生・保護者の回答別）

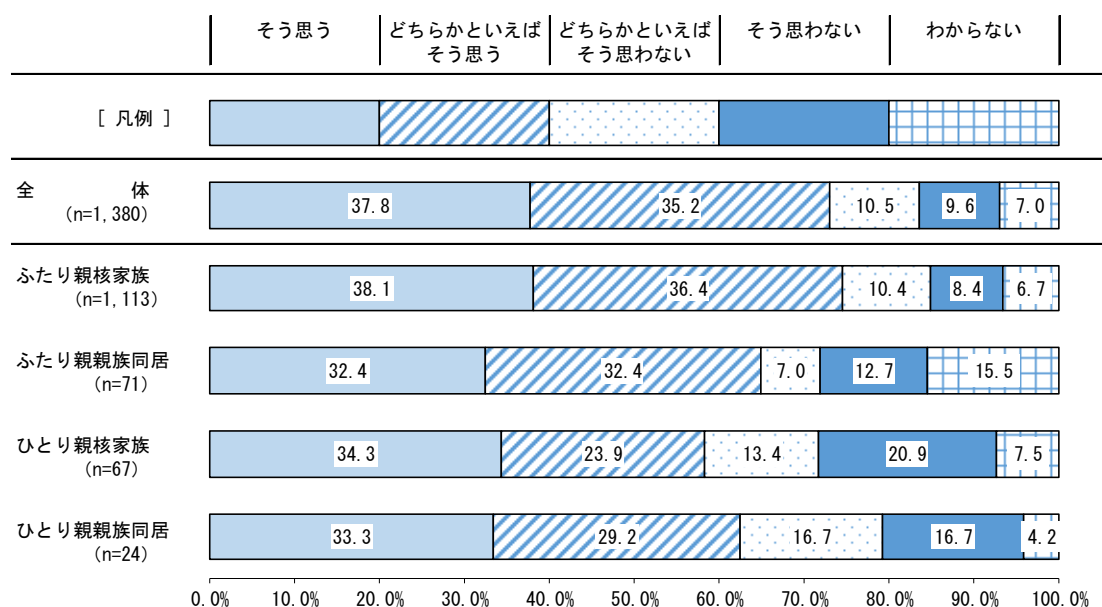


中学校2年生の『大学と出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ふたり親親族同居』が32.4%と全体に比べて低くなっている。また、「そう思わない」は『ひとり親核家族』で20.9%と全体に比べて高くなっている。

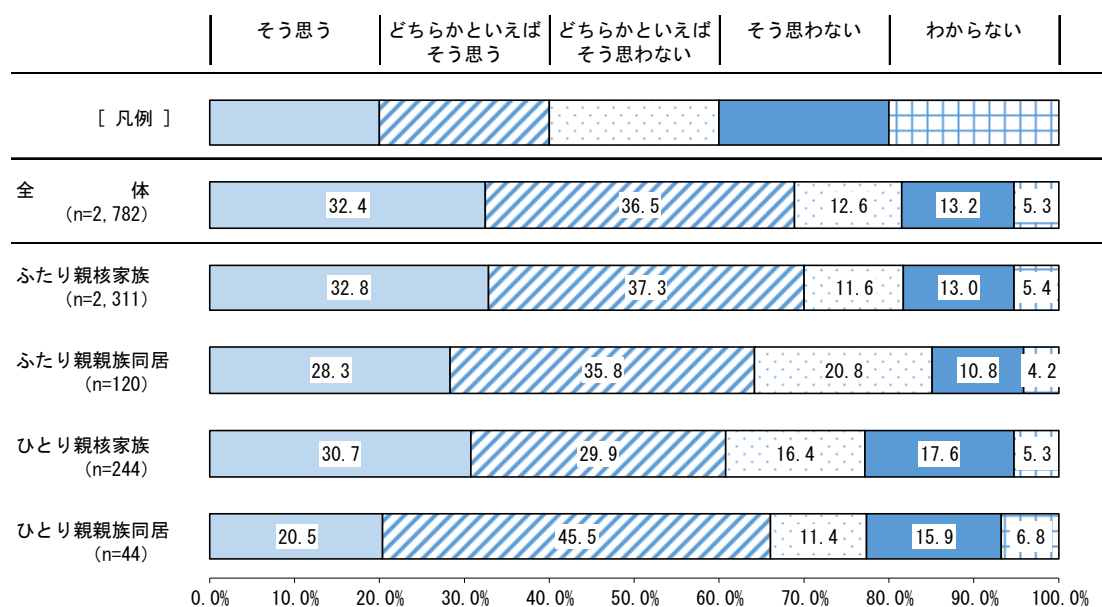
経年でみると、「そう思う」は『ふたり親核家族』で高く、「どちらかといえばそう思う」は『ひとり親核家族』で、それぞれ前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-227 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(中学校2年生・世帯構成別)

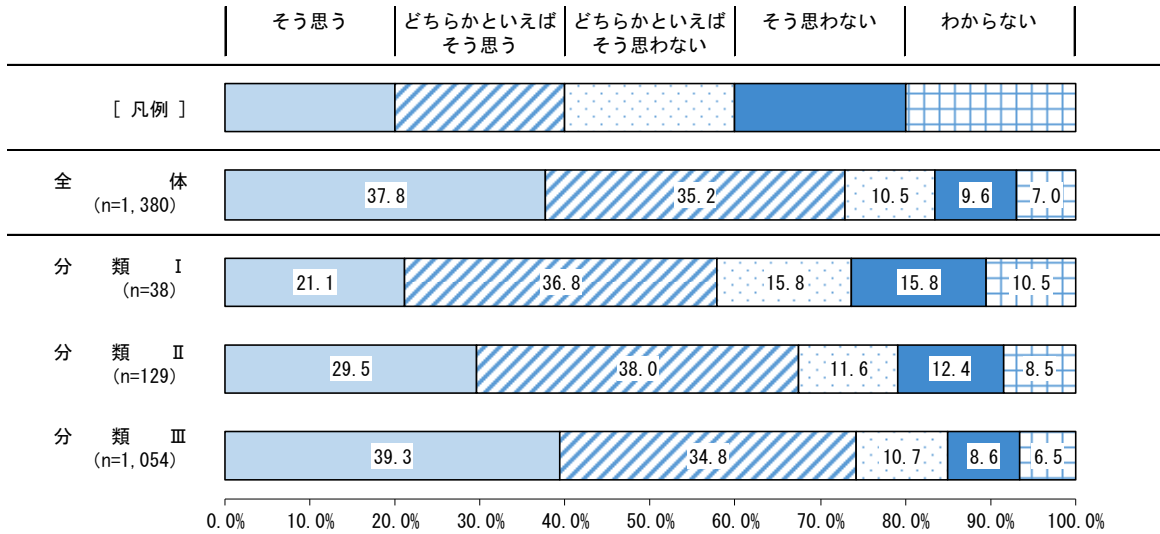


<前回調査>【図表 4-228 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(中学校2年生・世帯構成別)

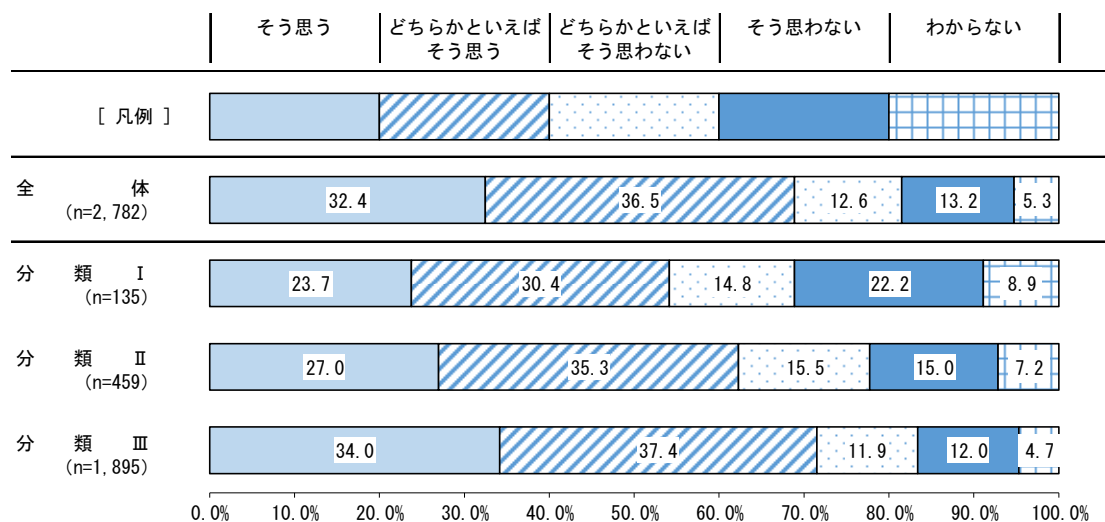


所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅱ』が29.5%と全体に比べて低くなっている。
 経年でみると、「そう思う」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-229 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-230 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(中学校2年生・所得分類別)



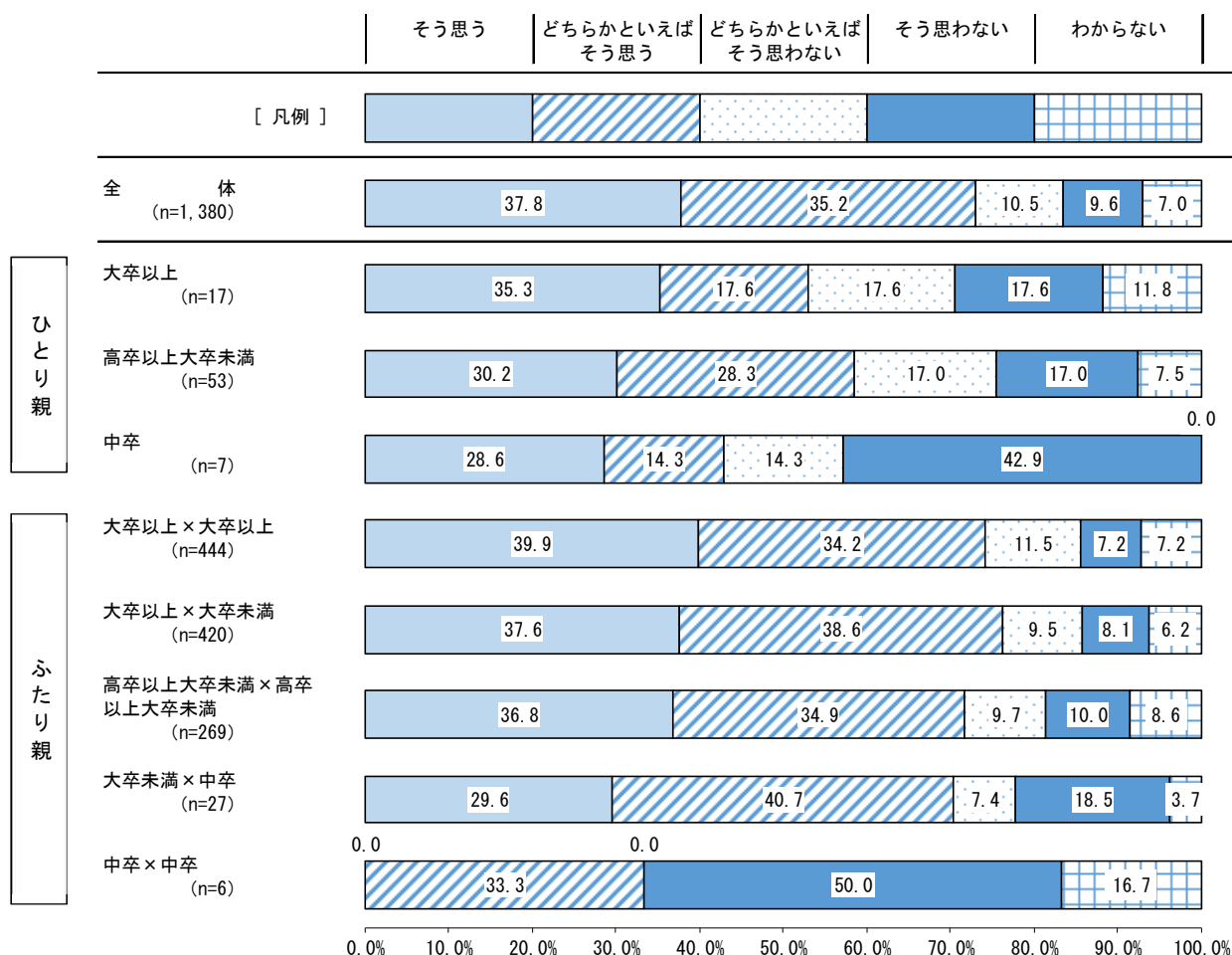
保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が 30.2%、「どちらかといえばそう思う」が 28.3%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思わない」が 17.0%、「そう思わない」が 17.0%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」は『高卒以上大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

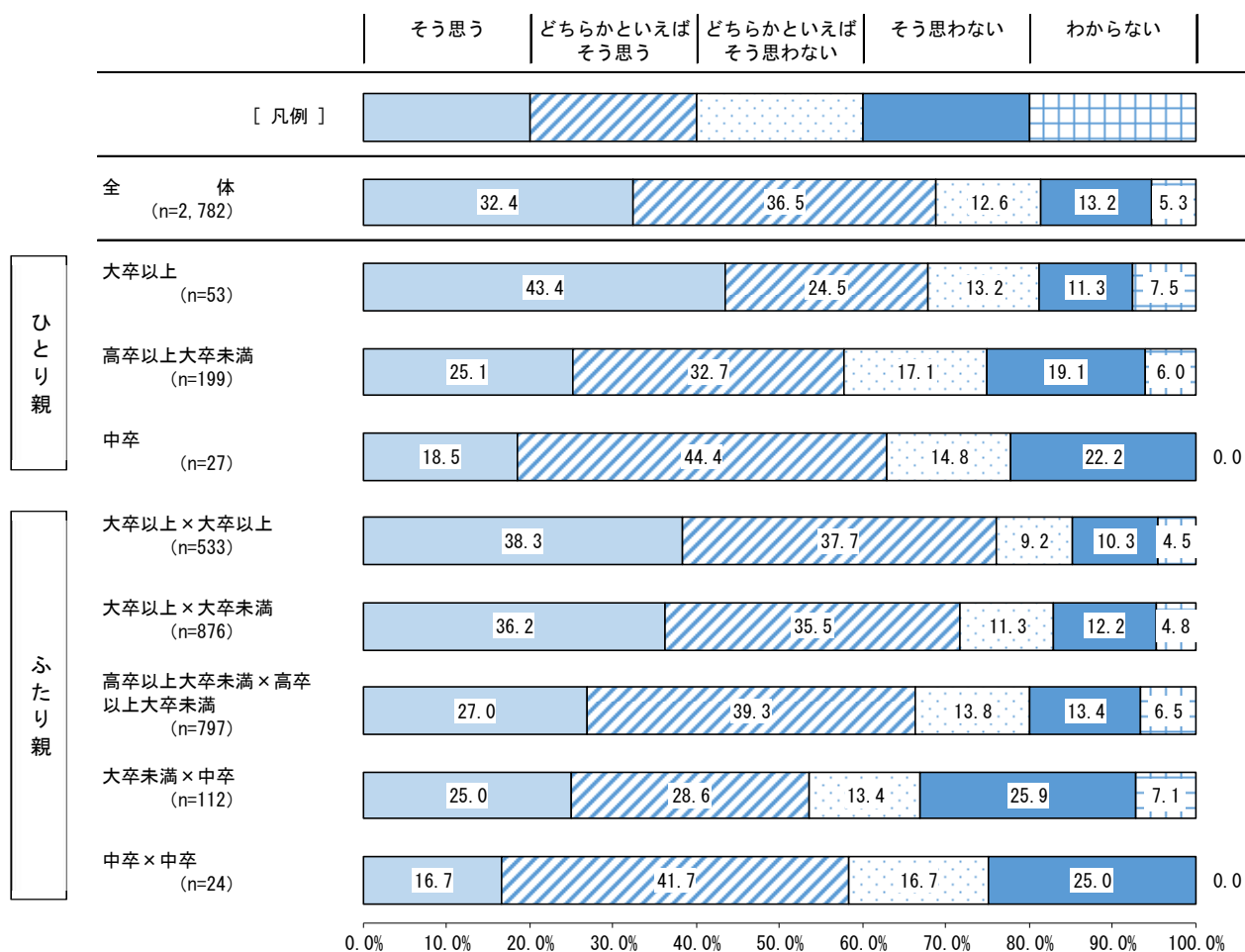
<今回調査>【図表 4-231 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】

(中学校 2 年生・保護者の最終学歴別)



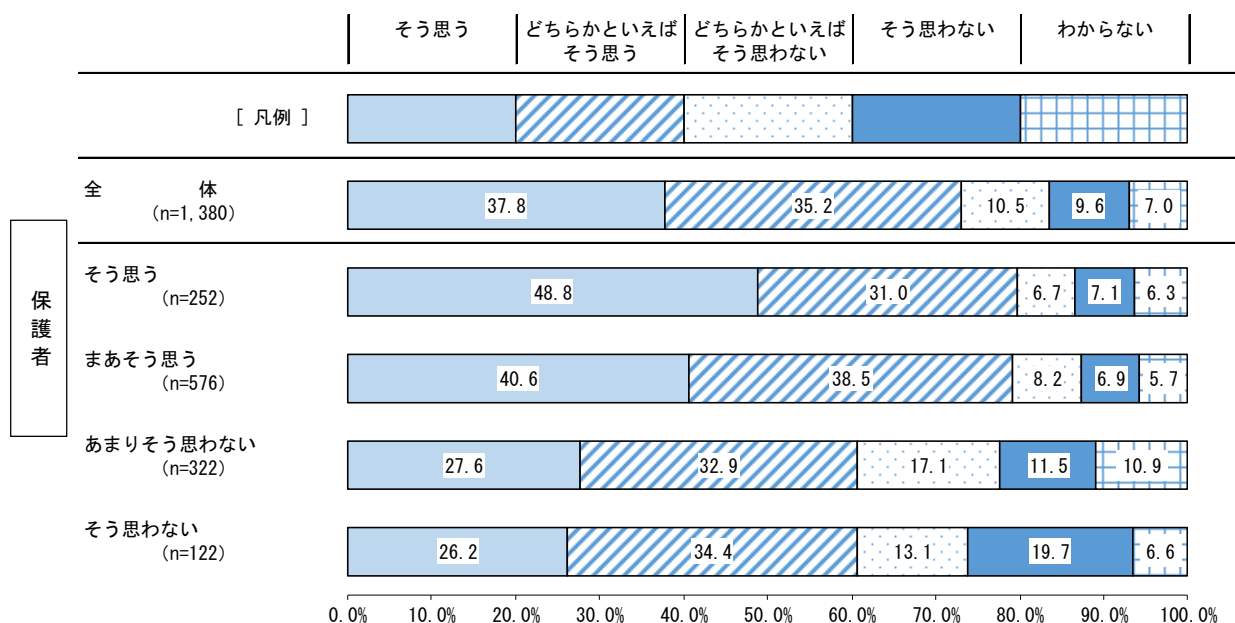
<前回調査>【図表 4-232 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】

(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、「そう思う」は『そう思う（保護者）』が48.8%と全体に比べて高く、『あまりそう思わない（保護者）』が27.6%、『そう思わない（保護者）』が26.2%と全体に比べて低くなっている。「どちらかといえばそう思わない」は『あまりそう思わない（保護者）』が17.1%と全体に比べて高く、「そう思わない」は『そう思わない（保護者）』が19.7%と全体に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-233 （ア）大学を出ないとよい仕事につけないと思う】（中学校2年生・保護者の回答別）

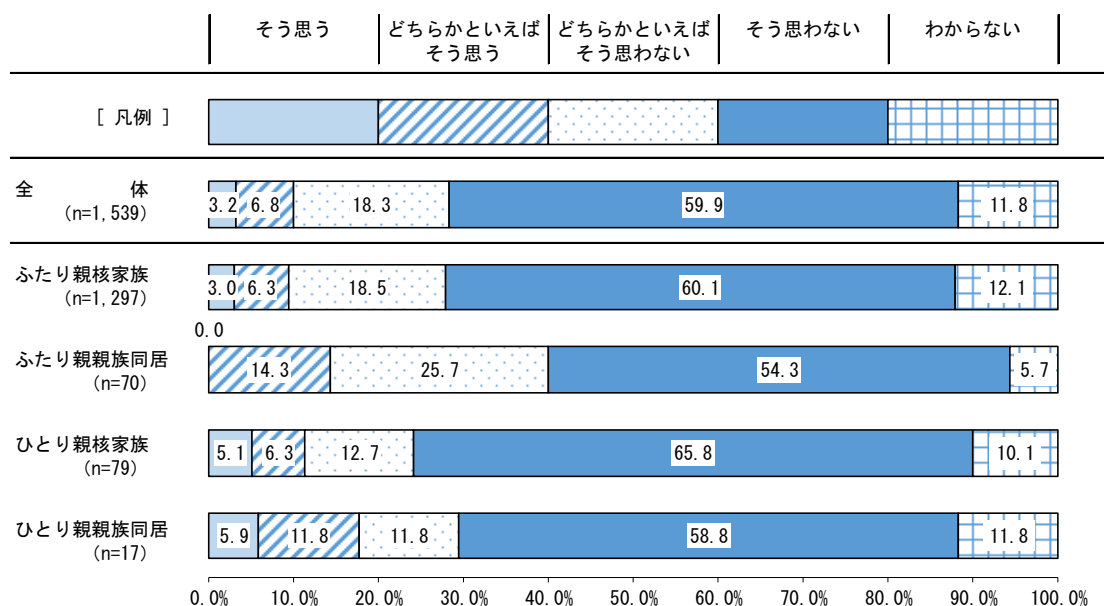


小学校5年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「どちらかといえばそう思う」は『ふたり親親族同居』が14.3%と全体に比べて高くなっている。

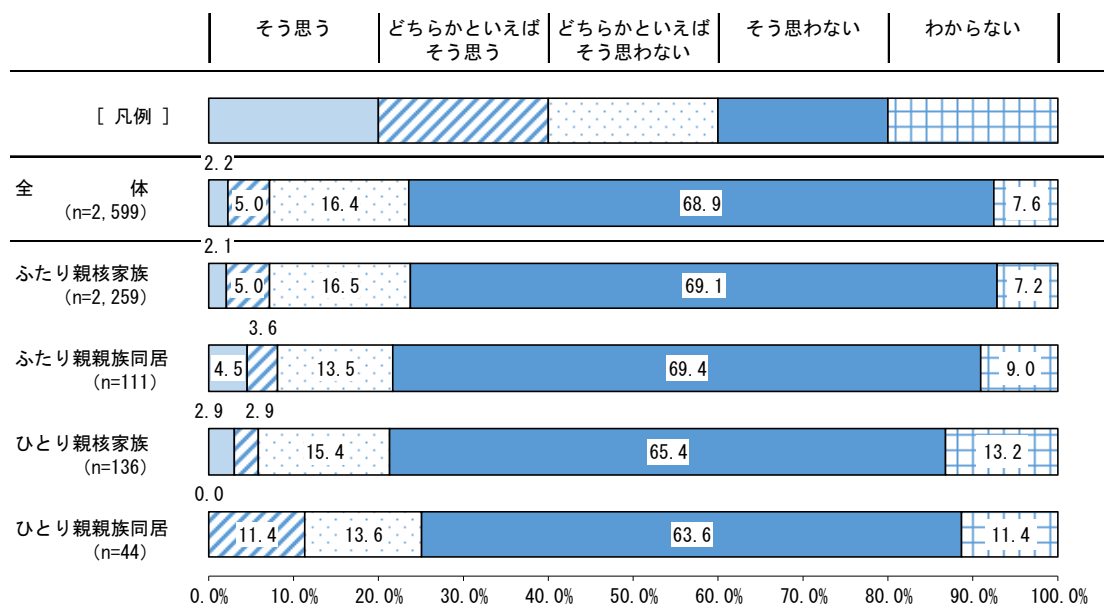
経年でみると、「どちらかといえばそう思わない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「そう思わない」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-234 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(小学校5年生・世帯構成別)



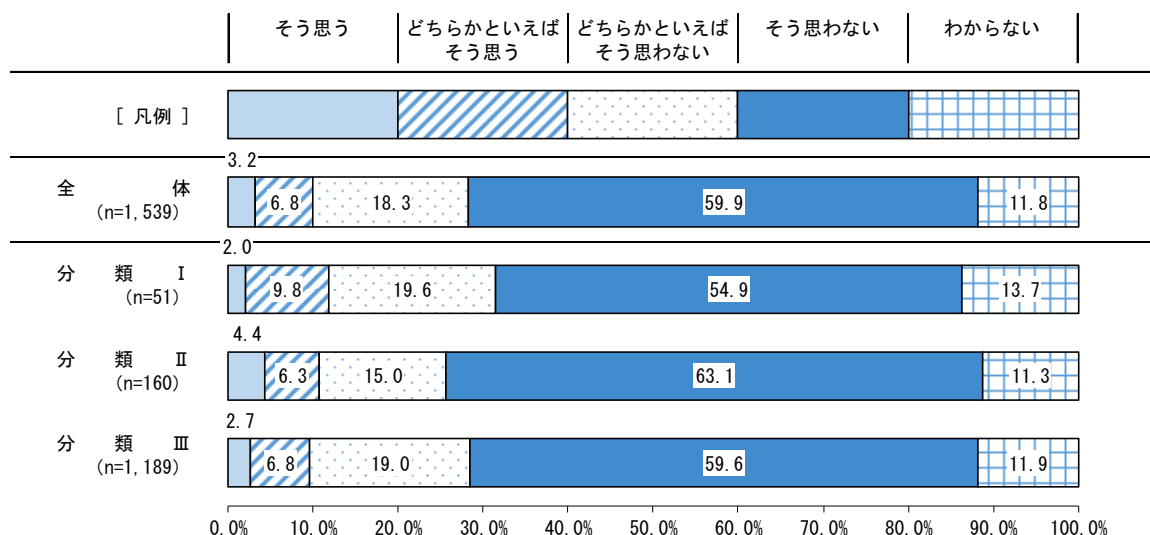
<前回調査>【図表 4-235 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(小学校5年生・世帯構成別)



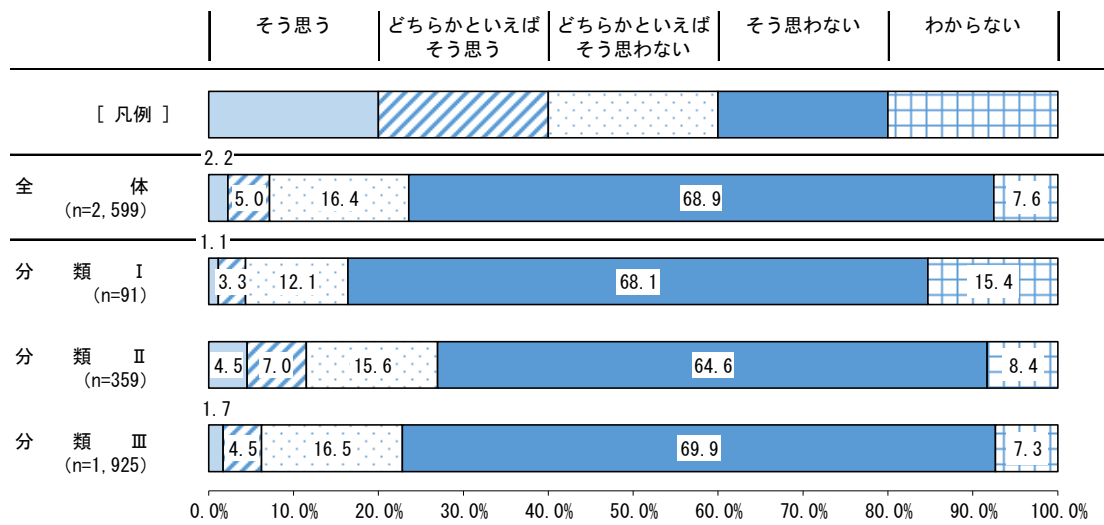
所得分類別にみると、「そう思わない」は『分類Ⅰ』が 54.9%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「どちらかといえばそう思わない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高く、「そう思わない」は『分類Ⅰ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-236 (イ) ががんばって働かなくても生活していけると思う】(小学校5年生・所得分類別)



＜前回調査＞【図表 4-237 (イ) ががんばって働かなくても生活していけると思う】(小学校5年生・所得分類別)



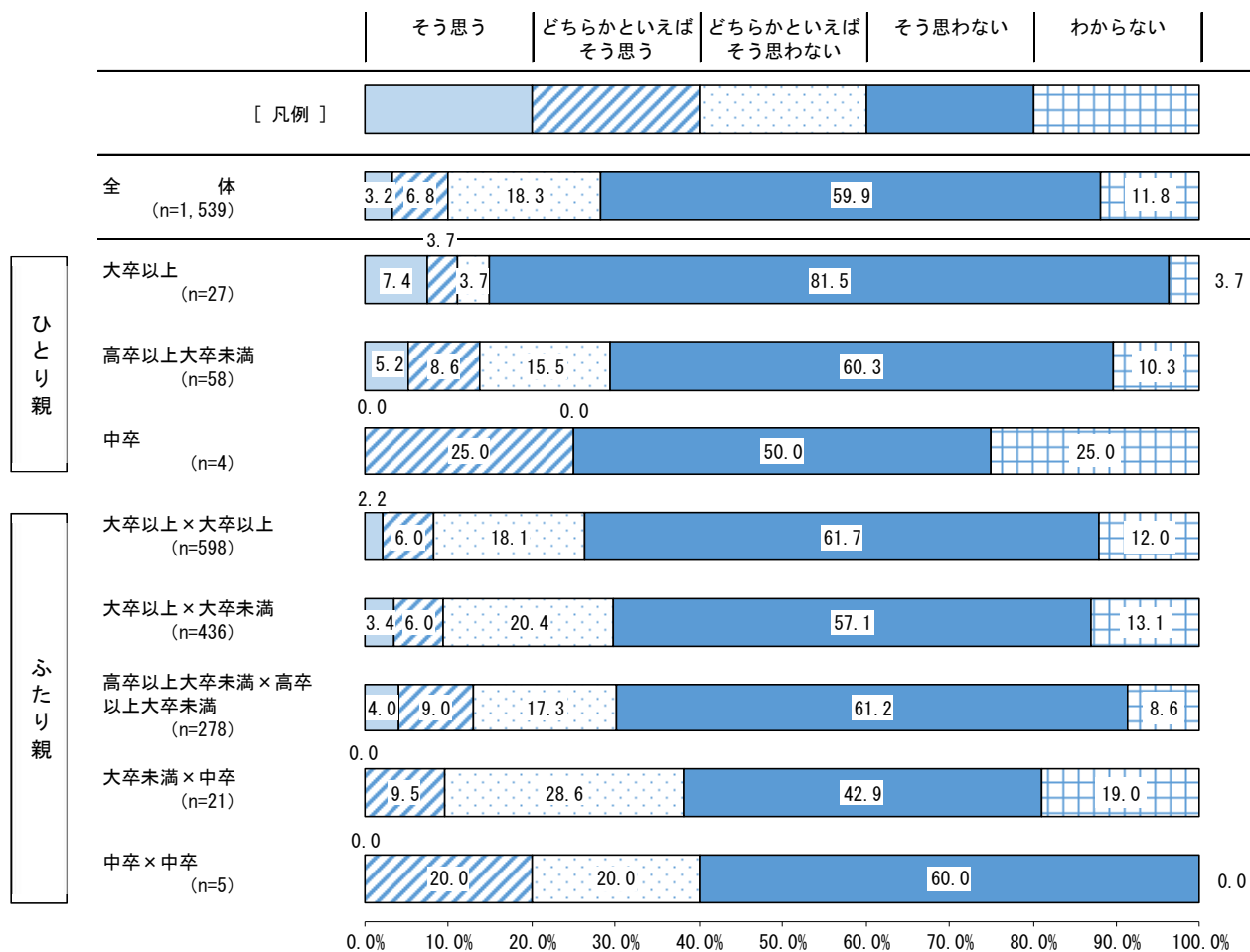
保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「そう思わない」は『大卒以上×大卒以上』『大卒以上×大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

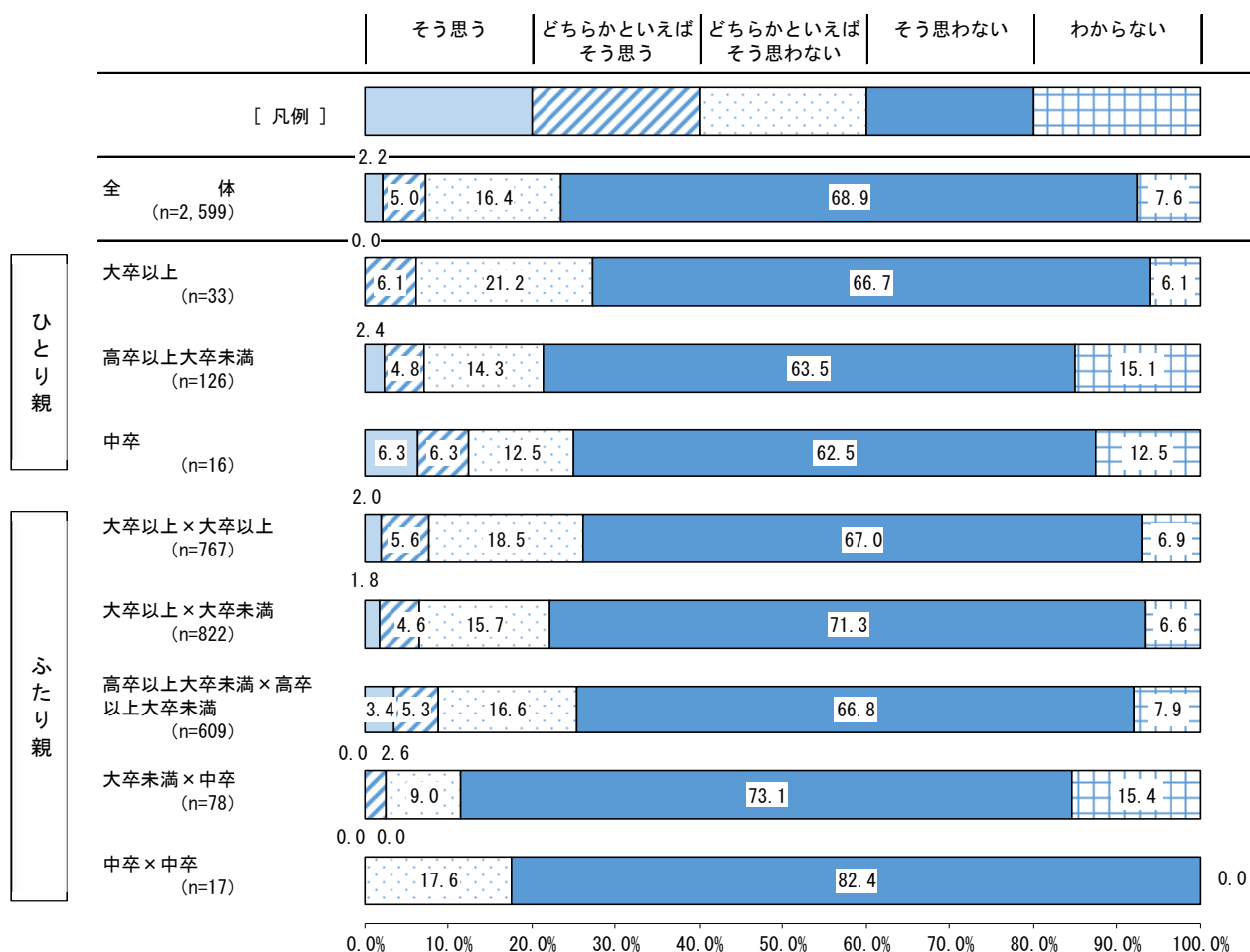
<今回調査>【図表 4-238 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



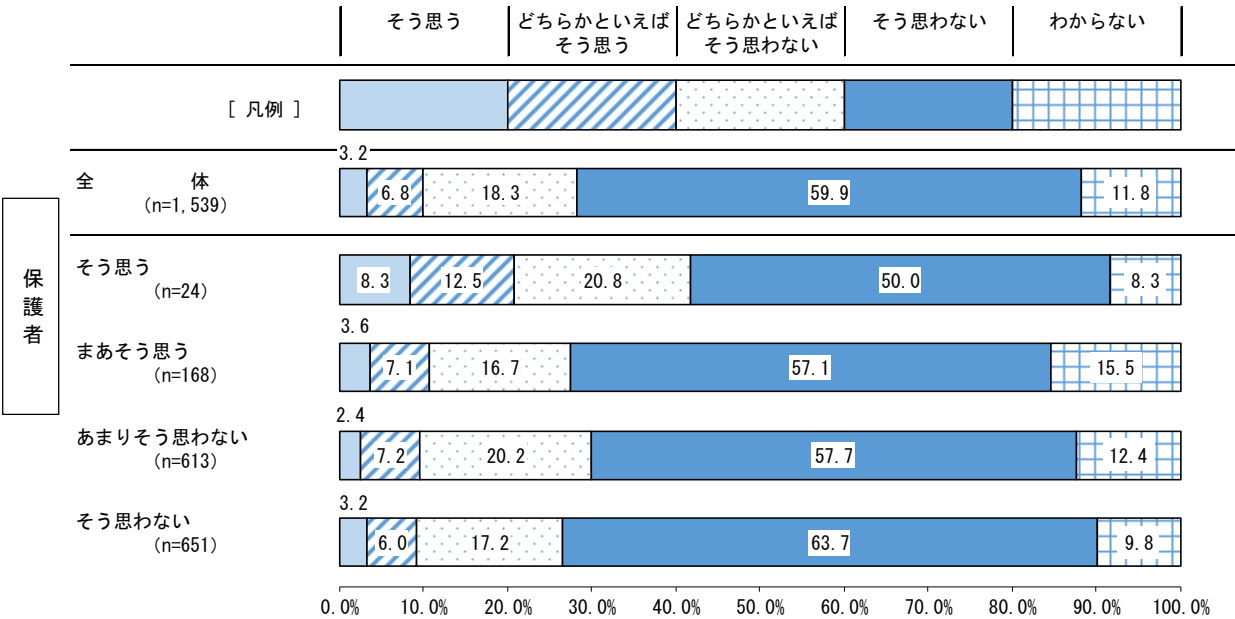
<前回調査>【図表 4-239 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-240 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】
 (小学校5年生・保護者の回答別)

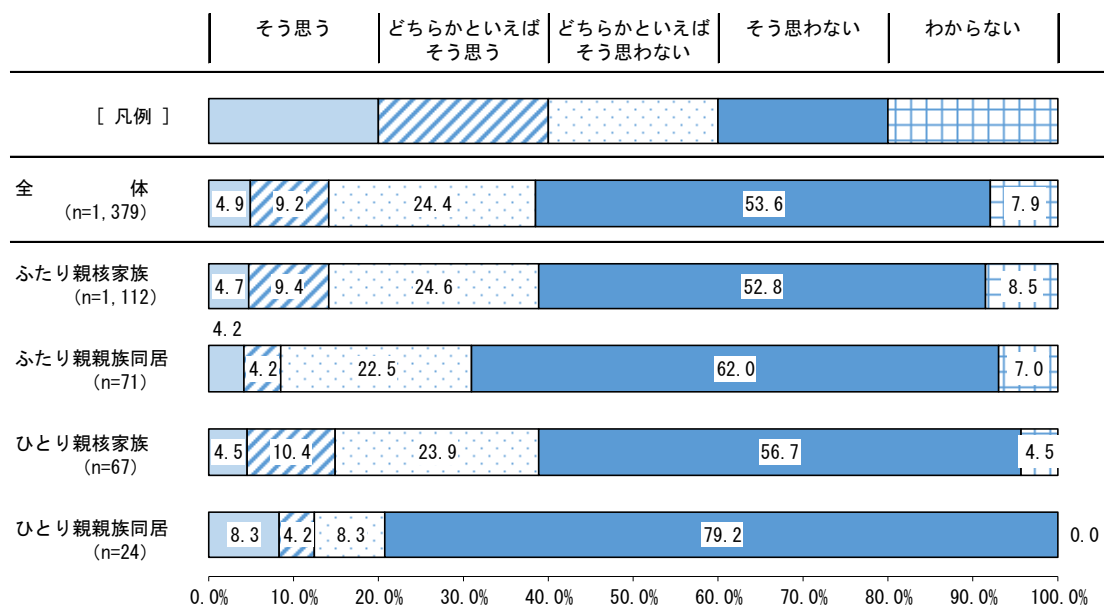


中学校2年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思わない」は『ふたり親親族同居』が62.0%と全体に比べて高くなっている。

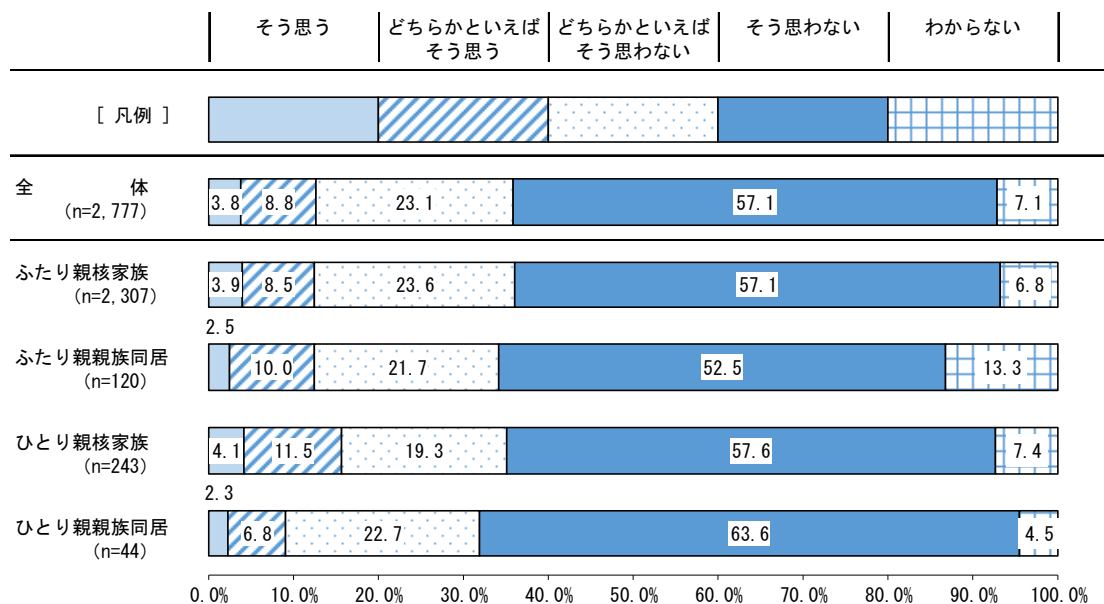
経年でみると、「そう思わない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「どちらかといえばそう思う」は『ふたり親親族同居』が低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-241 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-242 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(中学校2年生・世帯構成別)

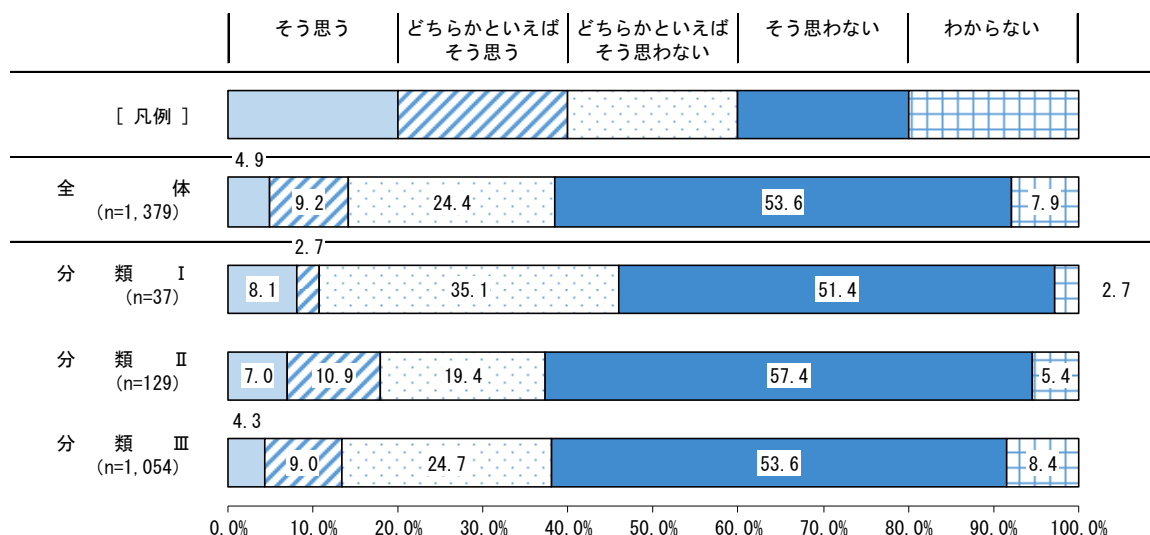


所得分類別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は『分類Ⅱ』が 19.4%と全体に比べて低くなっている。

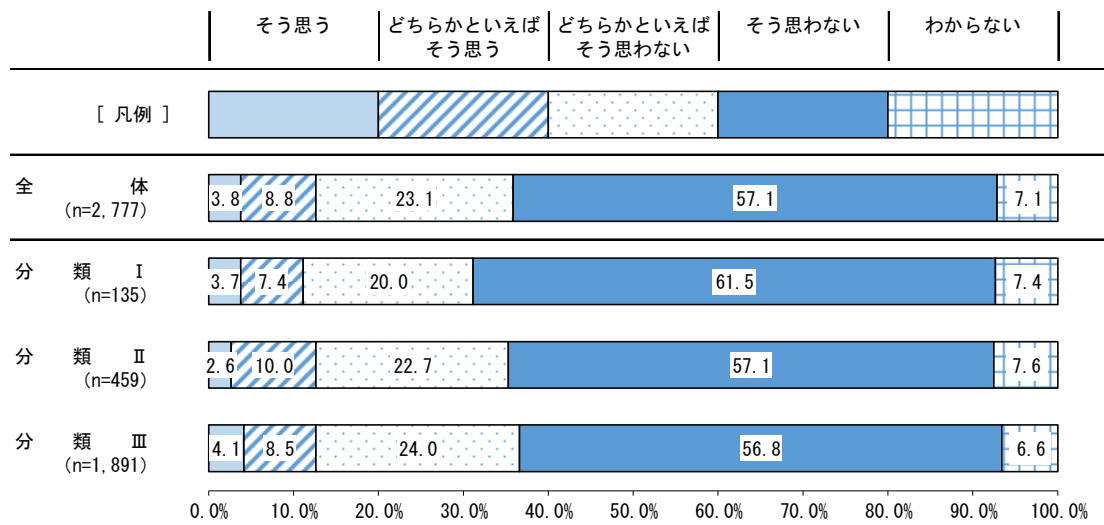
経年でみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-243 (イ) ががんばって働かなくても生活していけると思う】(中学校 2 年生・所得分類別)



＜前回調査＞【図表 4-244 (イ) ががんばって働かなくても生活していけると思う】(中学校2年生・所得分類別)



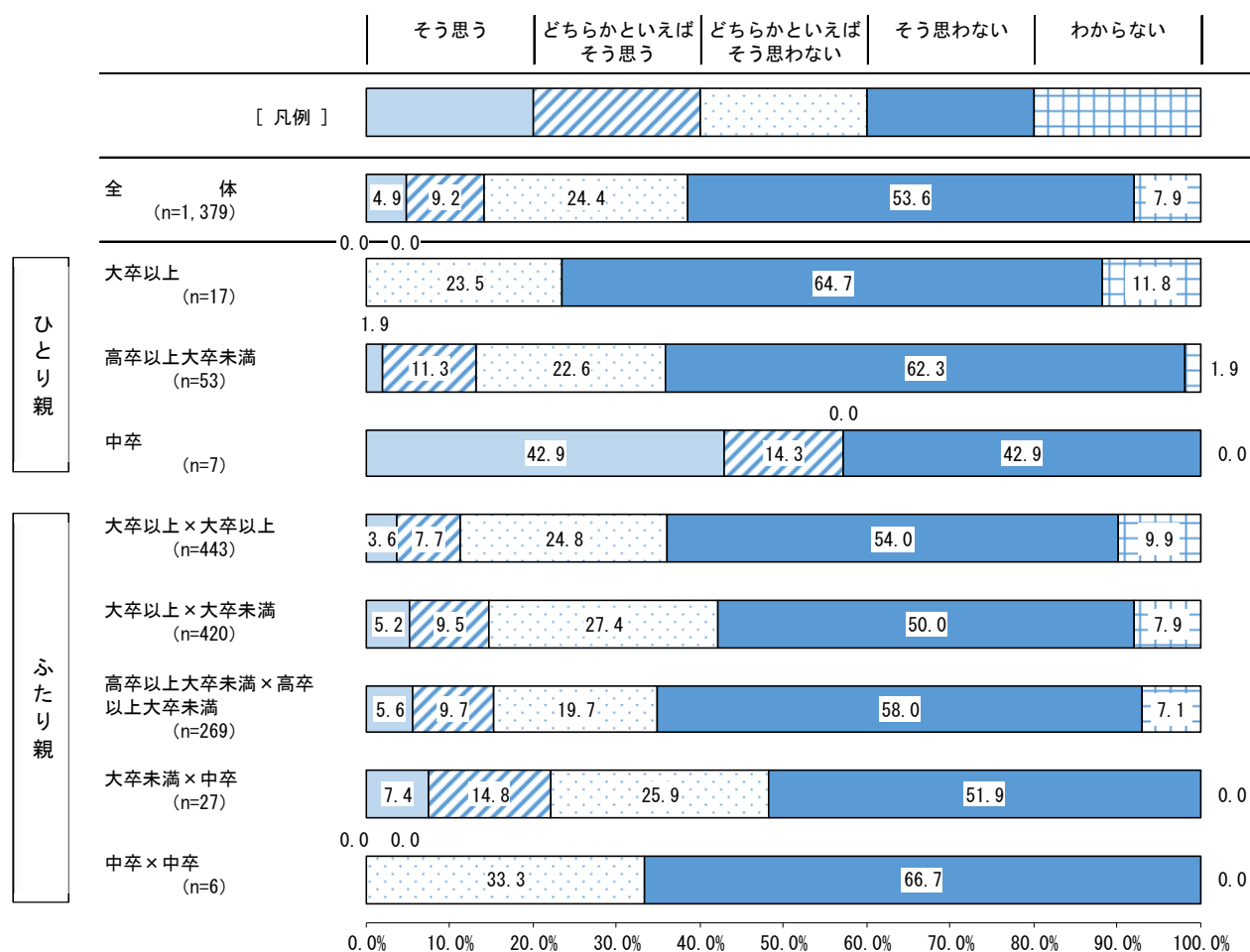
保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思わない」が 62.3%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「どちらかといえばそう思わない」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

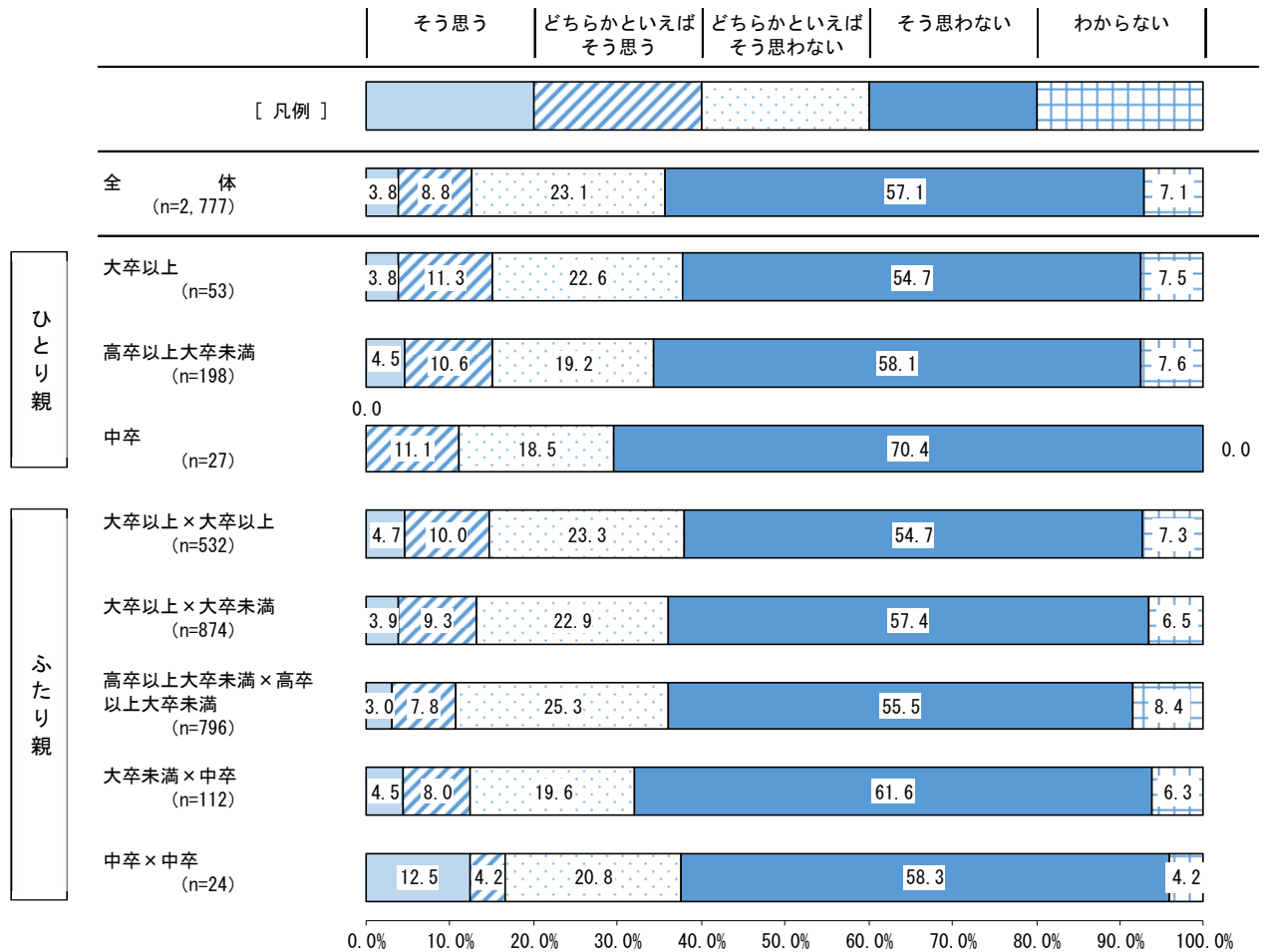
<今回調査>【図表 4-245 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

(中学校 2 年生・保護者の最終学歴別)



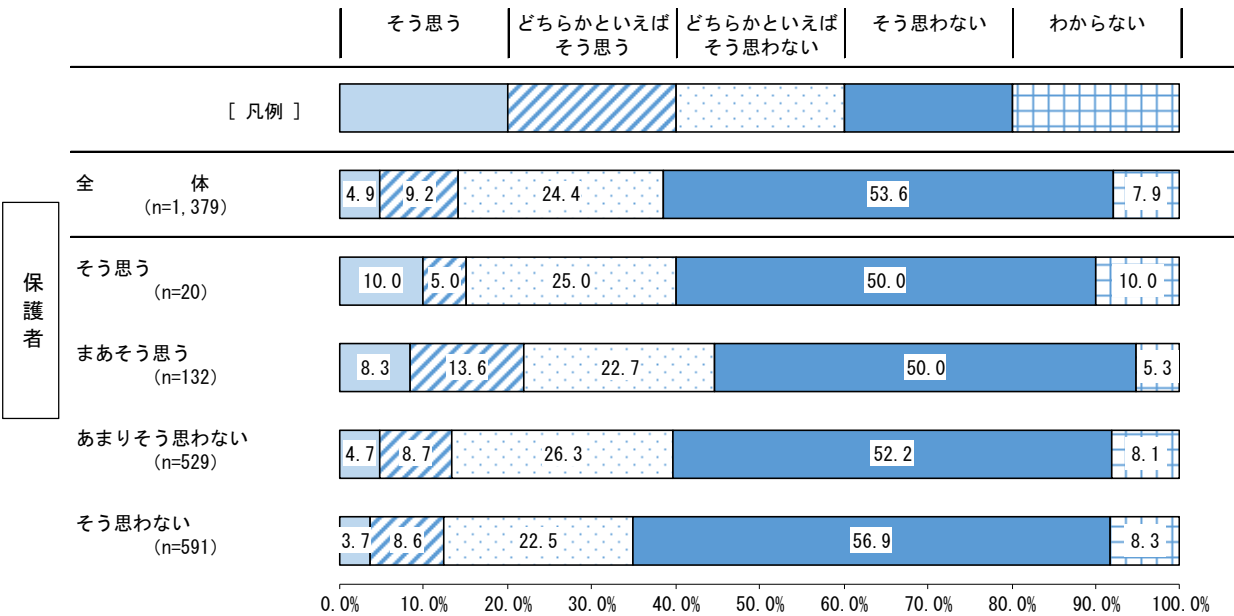
<前回調査>【図表 4-246 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】

(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、大きな差はみられない。
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-247 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】
(中学校 2 年生・保護者の回答別)

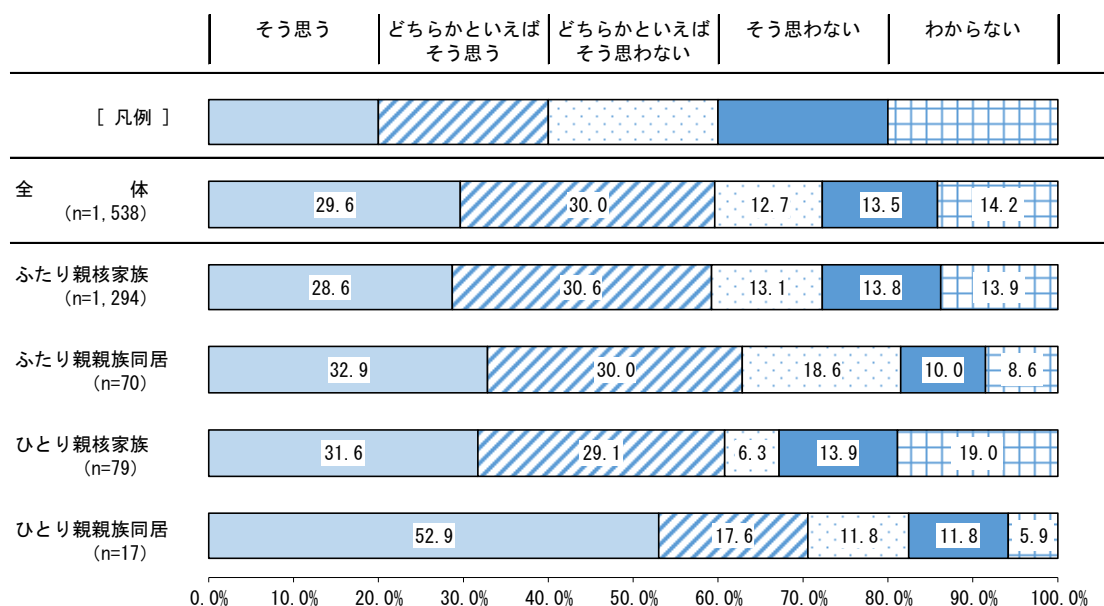


小学校5年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は『ふたり親親族同居』が18.6%と全体に比べて高く、『ひとり親核家族』が6.3%と全体に比べて低くなっている。

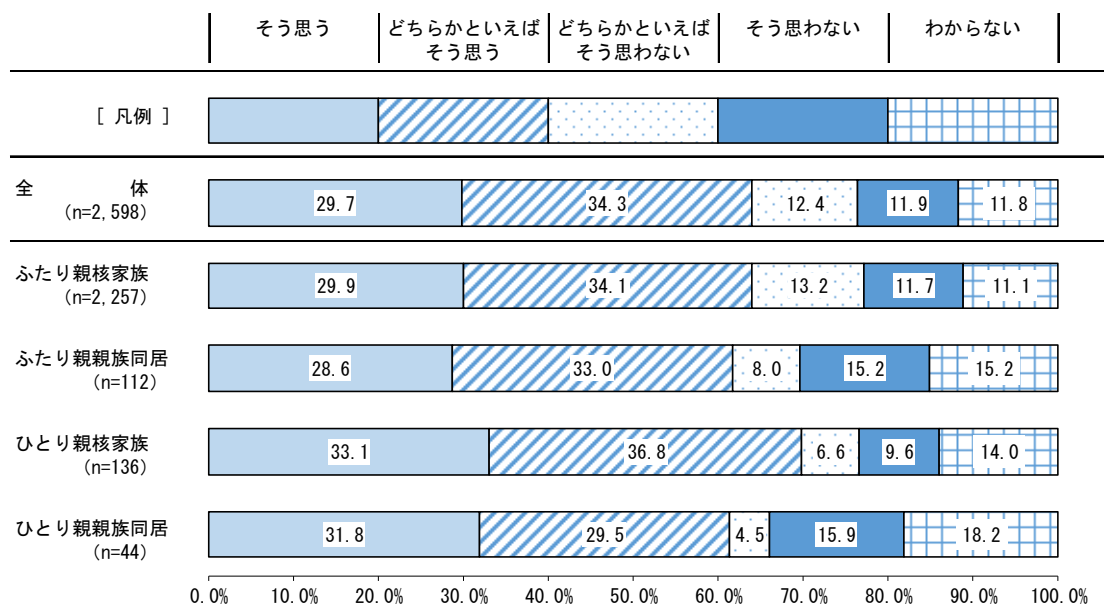
経年でみると、「そう思わない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」は『ひとり親核家族』が低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-248 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・世帯構成別)



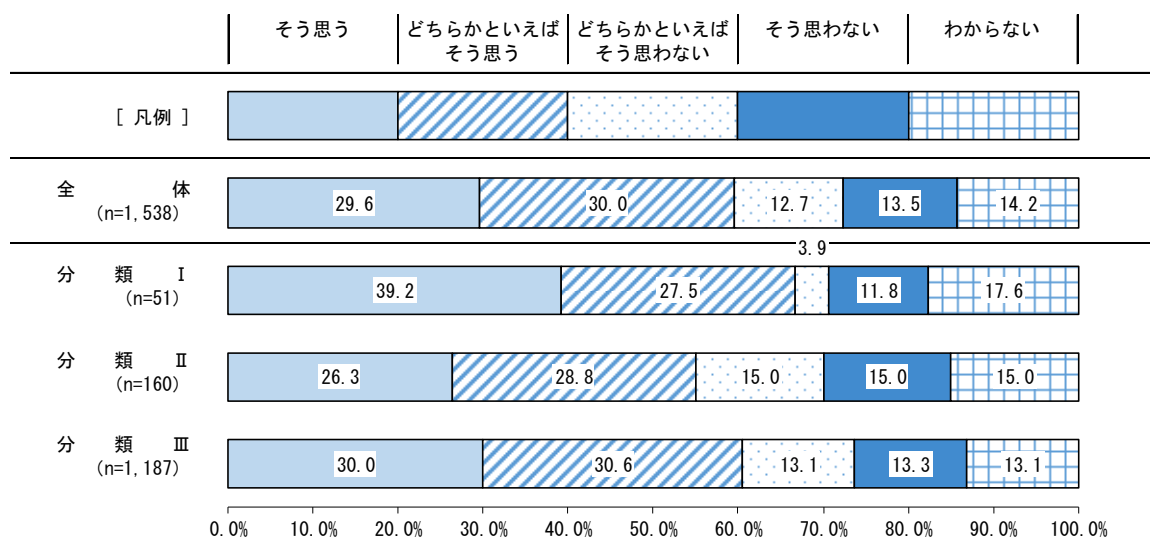
<前回調査>【図表 4-249 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・世帯構成別)



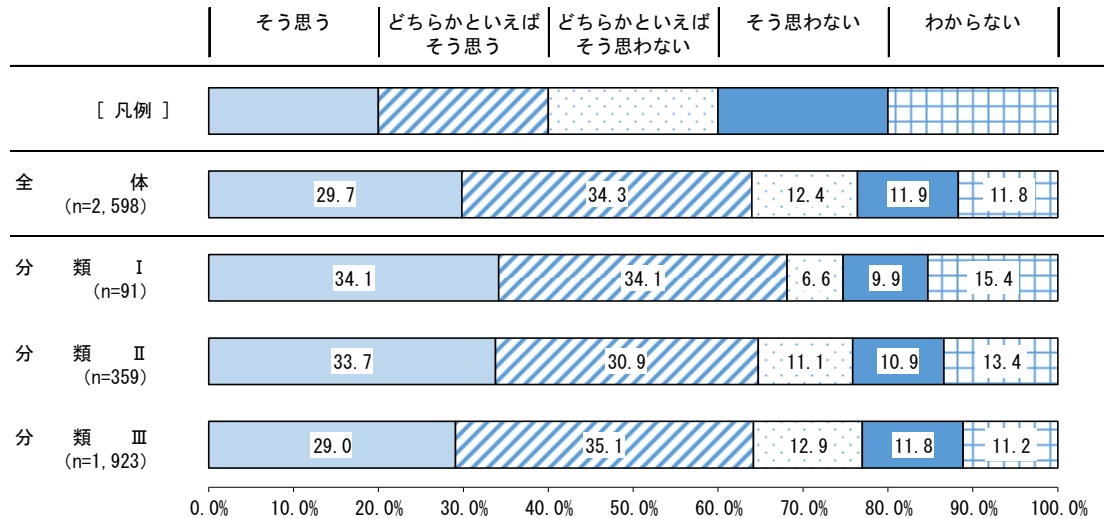
所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が39.2%と全体に比べて高く、「どちらかといえばそう思う」が3.9%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高く、『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-250 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-251 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・所得分類別)

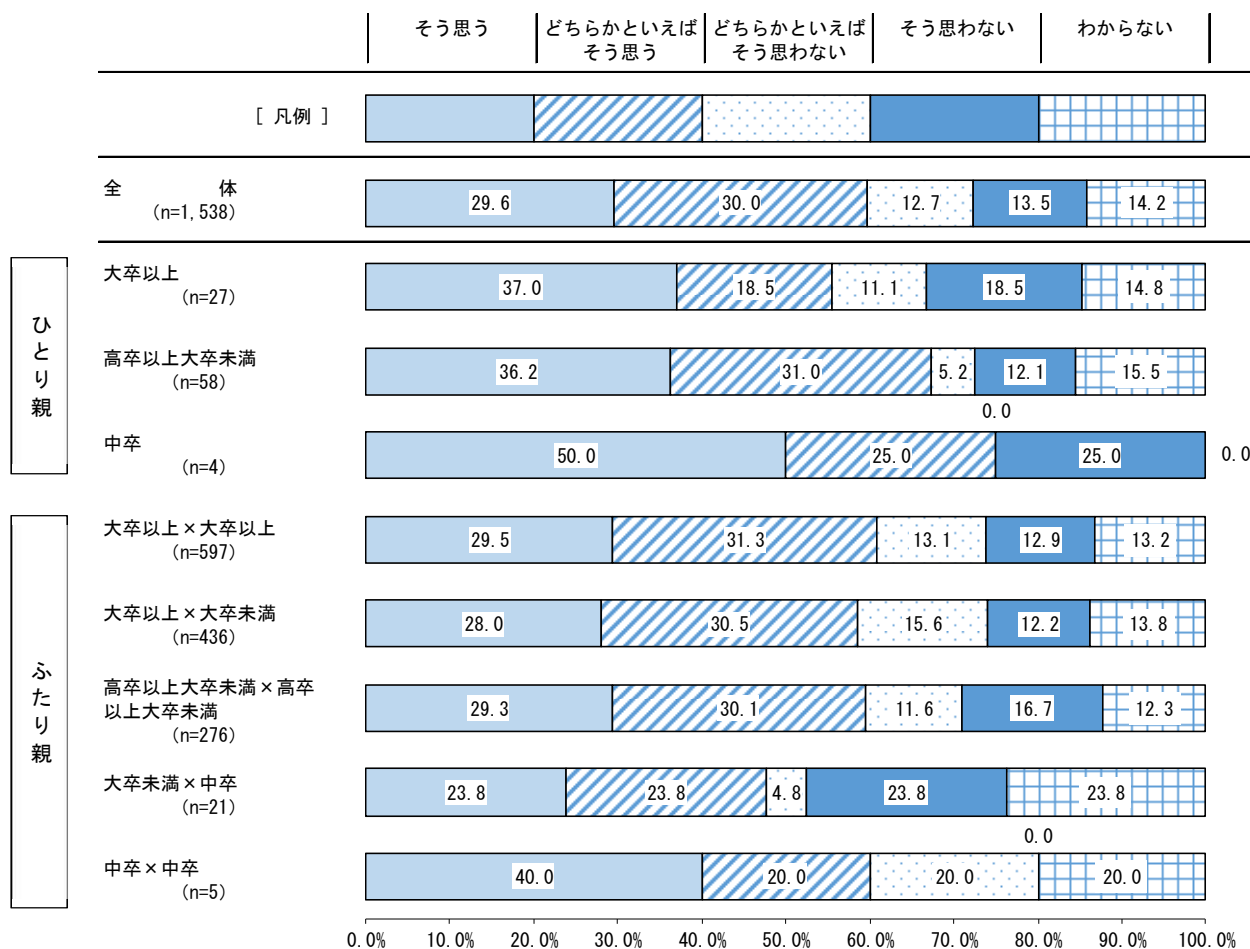


保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が 36.2%と全体に比べて高く、「どちらかといえばそう思わない」が 5.2%と全体に比べて低くなっている。

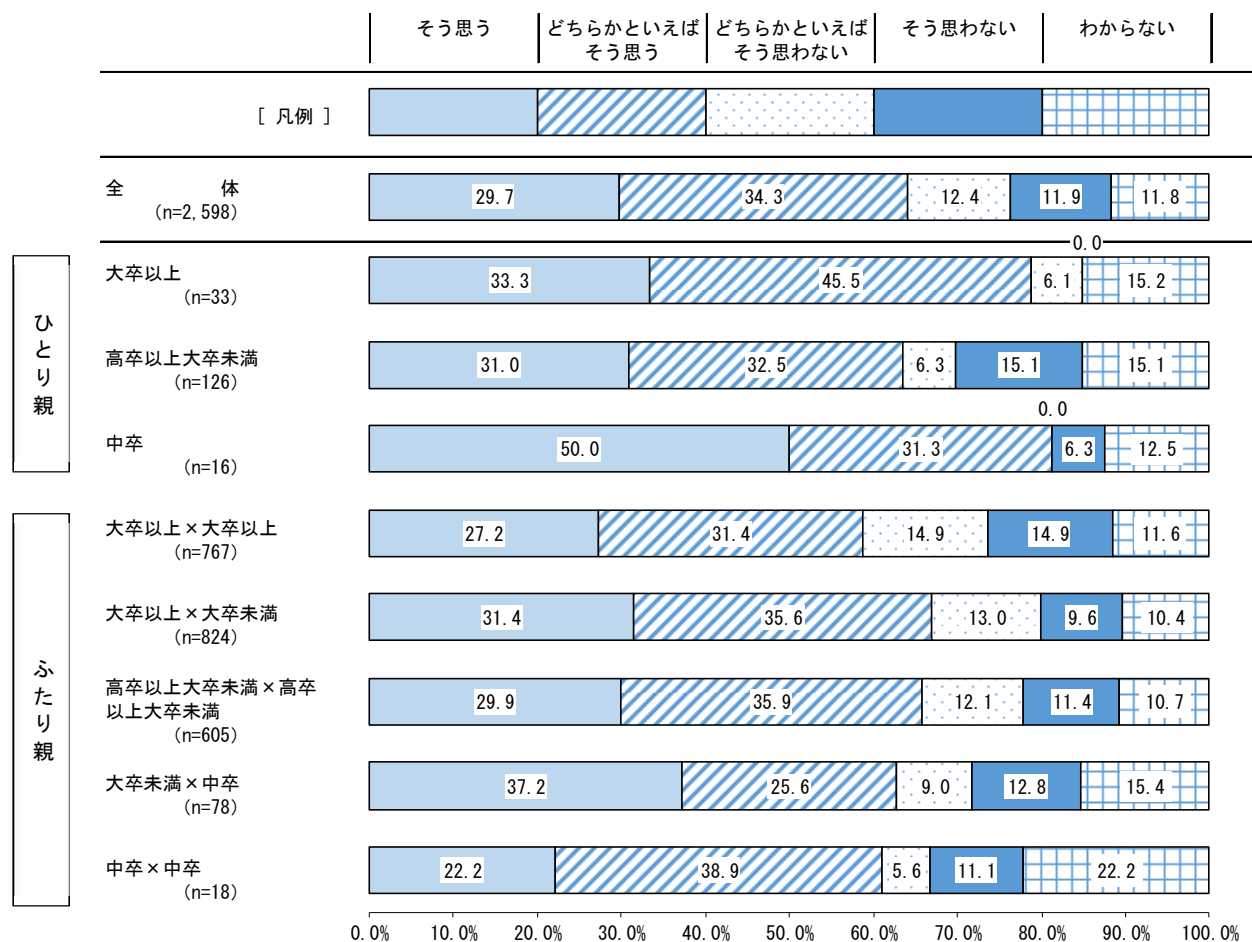
経年でみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が前回調査に比べて高くなっている。また、『大卒以上×大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』では「どちらかといえばそう思う」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-252 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)

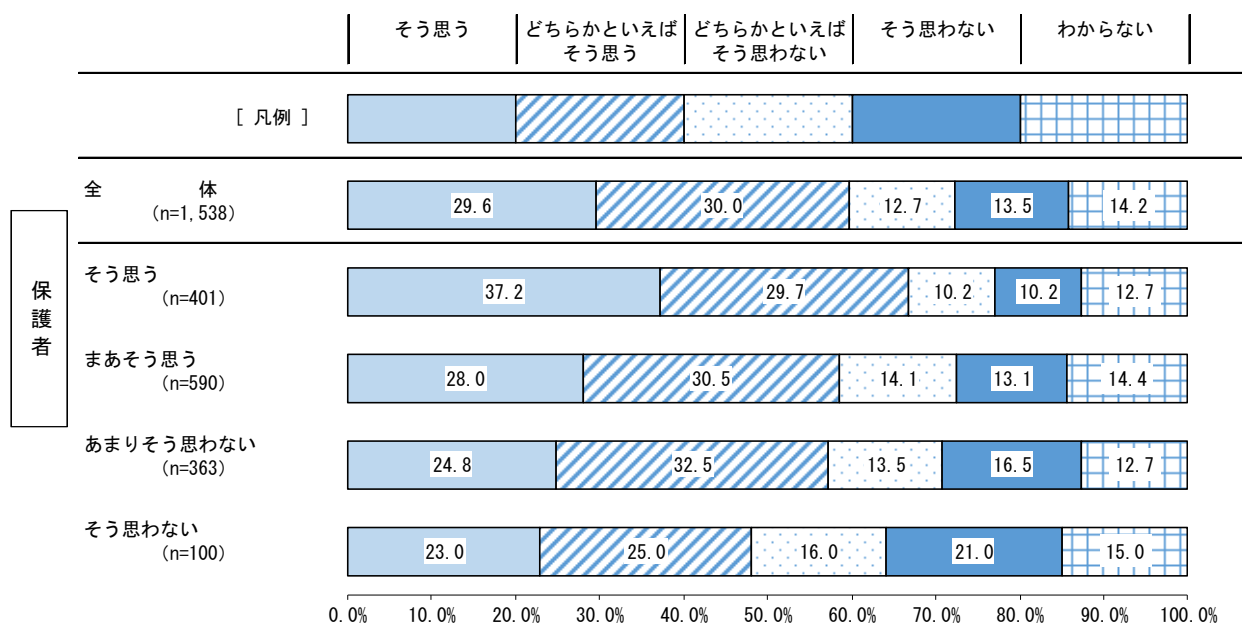


＜前回調査＞【図表 4-253 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、『そう思う（保護者）』では「そう思う」が 37.2%、『そう思わない（保護者）』では「そう思わない」が 21.0%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-254 （ウ）希望する学校や会社に入れるか不安だ】（小学校5年生・保護者の回答別）

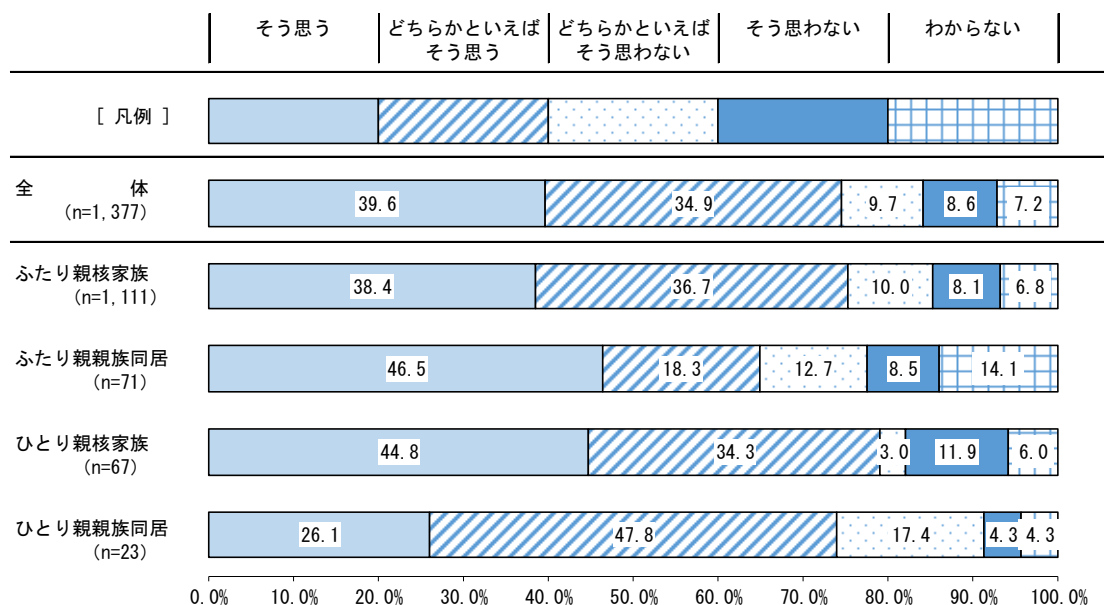


中学校2年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ふたり親親族同居』が46.5%、『ひとり親核家族』が44.8%と全体に比べて高くなっている。

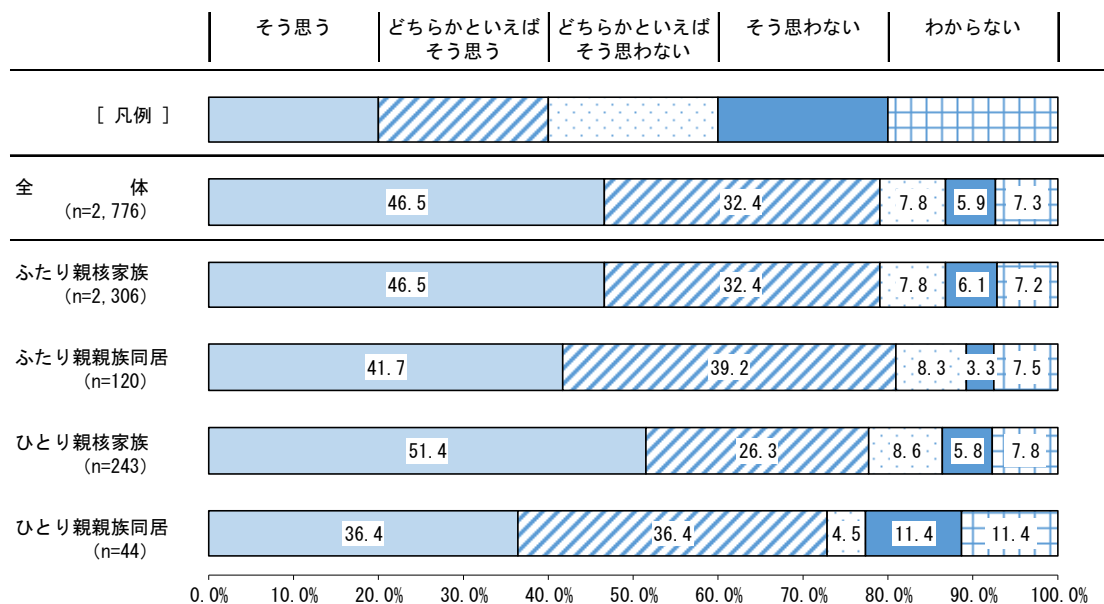
経年でみると、「そう思わない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高く、「そう思う」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』で低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-255 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-256 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・世帯構成別)

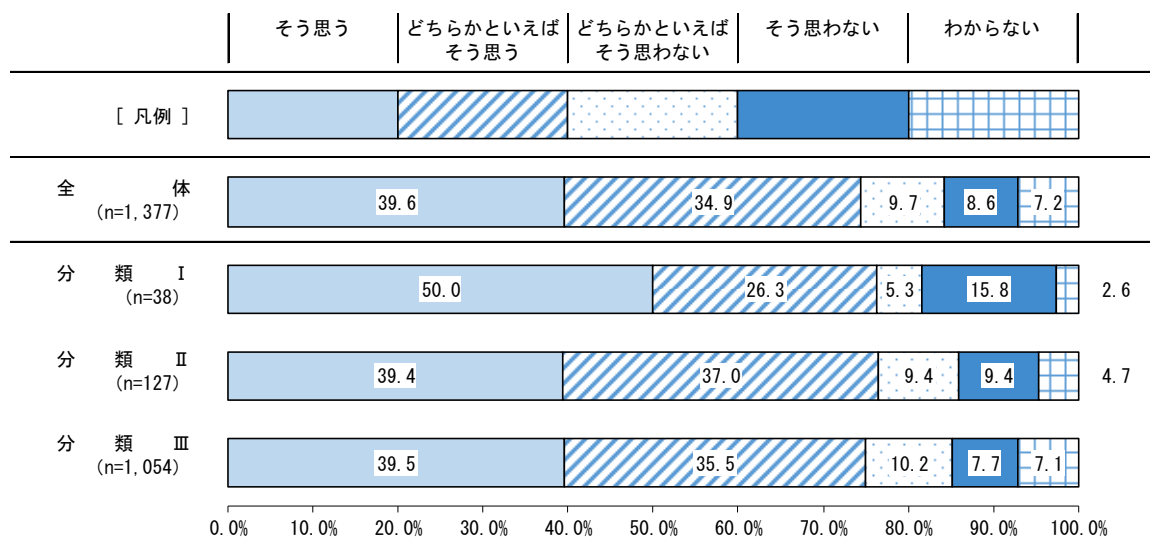


所得分類別にみると、大きな差はみられない。

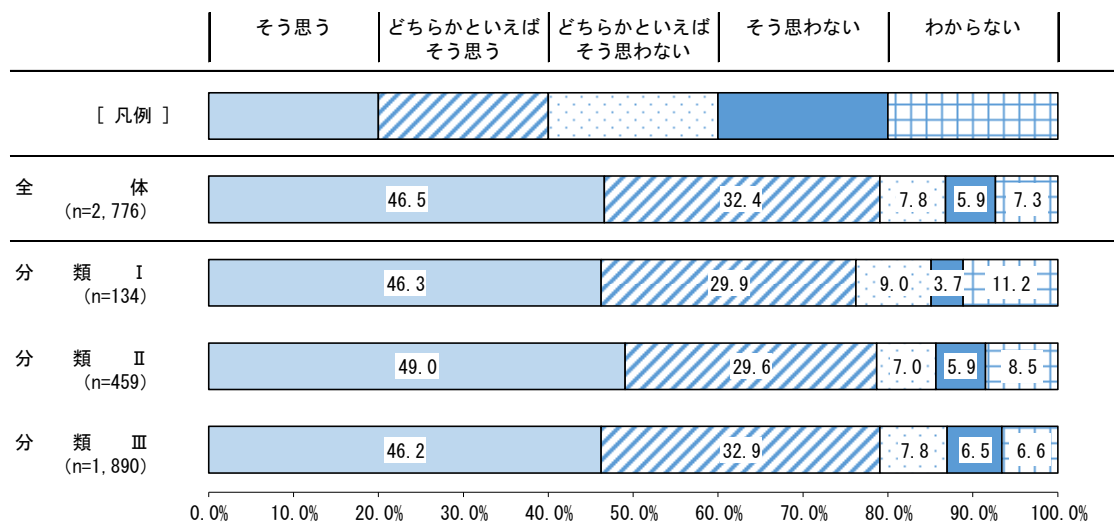
経年でみると、「そう思う」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅱ』が高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-257 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-258 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・所得分類別)

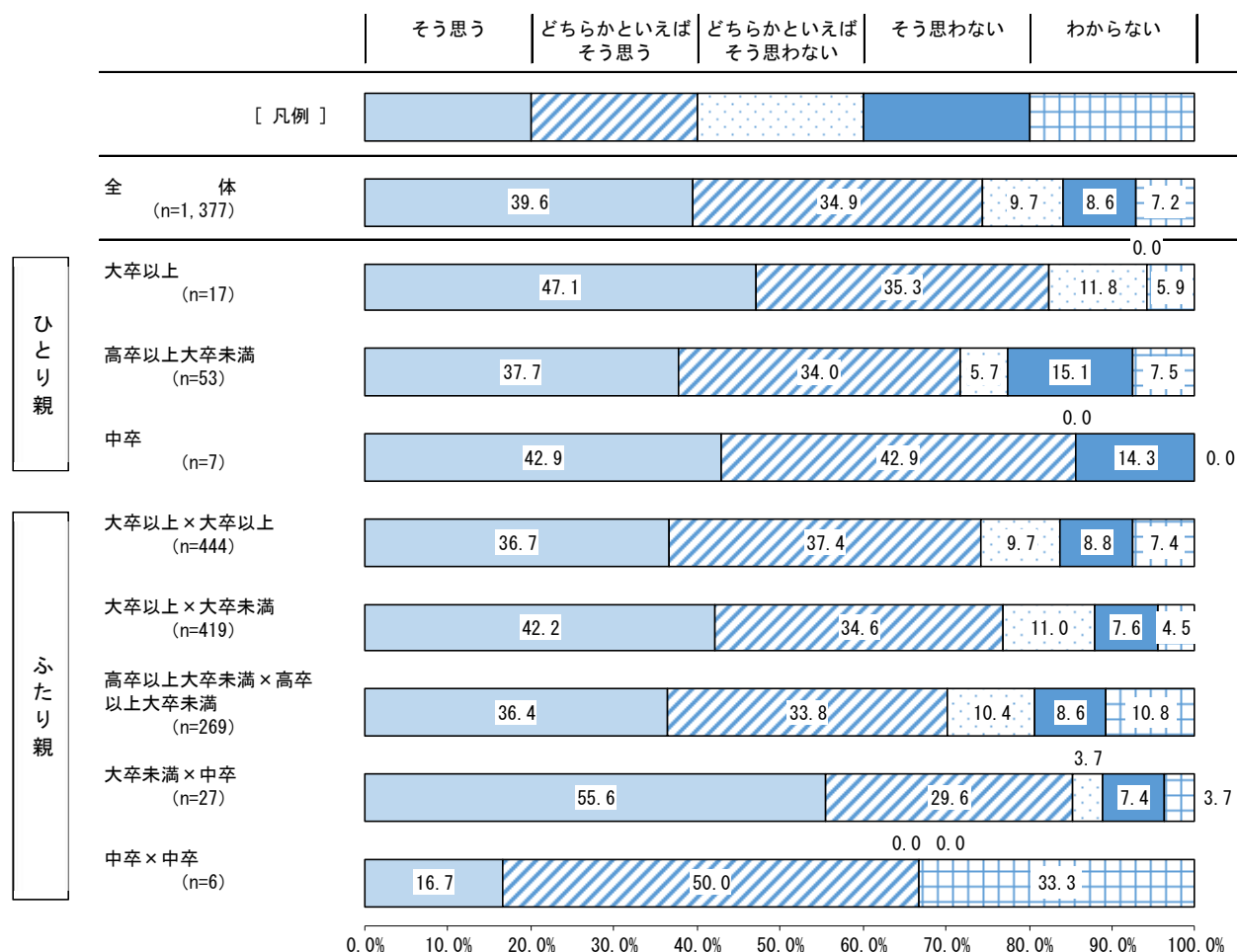


保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思わない」が 15.1%と全体に比べて高くなっている。

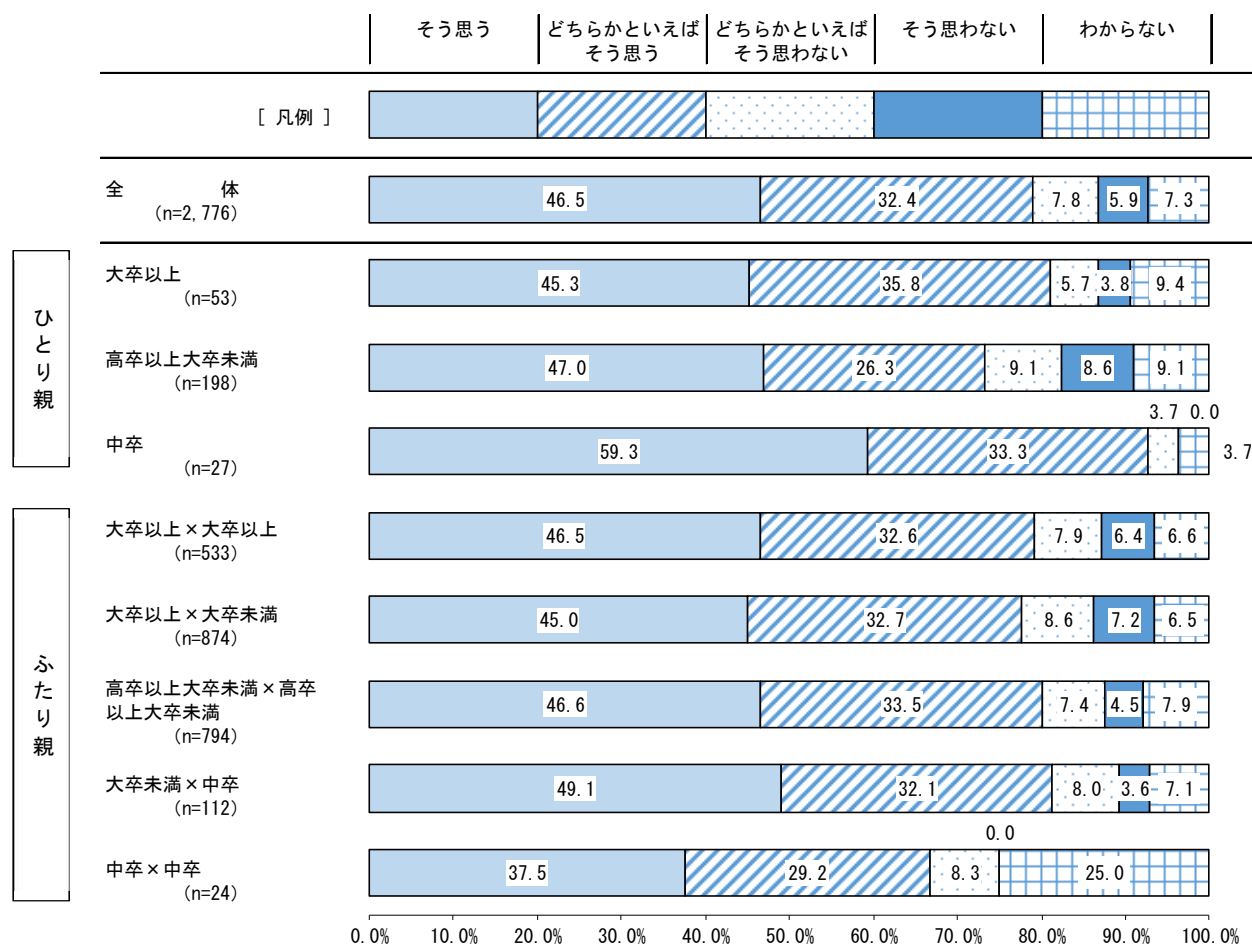
経年でみると、「そう思う」は『高卒以上大卒未満』『大卒以上×大卒以上』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-259 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)

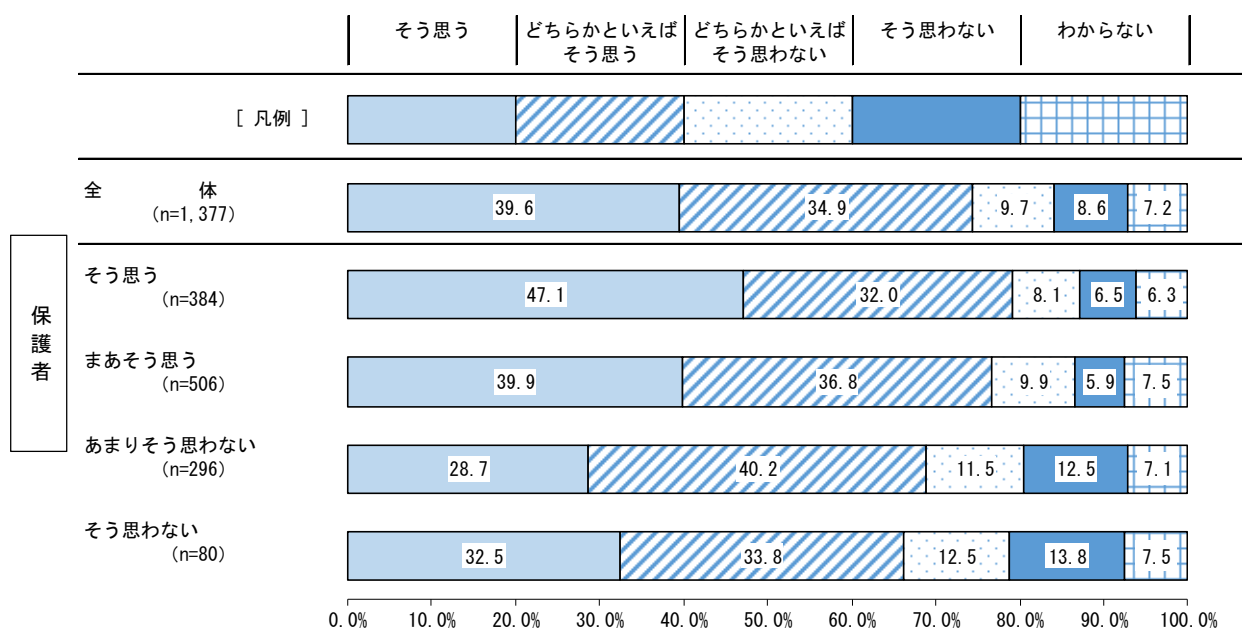


＜前回調査＞【図表 4-260 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



保護者の回答別にみると、「そう思う」は『そう思う（保護者）』が 47.1%と全体に比べて高く、『あまりそう思わない（保護者）』が 28.7%、『そう思わない（保護者）』が 32.5%と全体に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-261 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(中学校2年生・保護者の回答別)

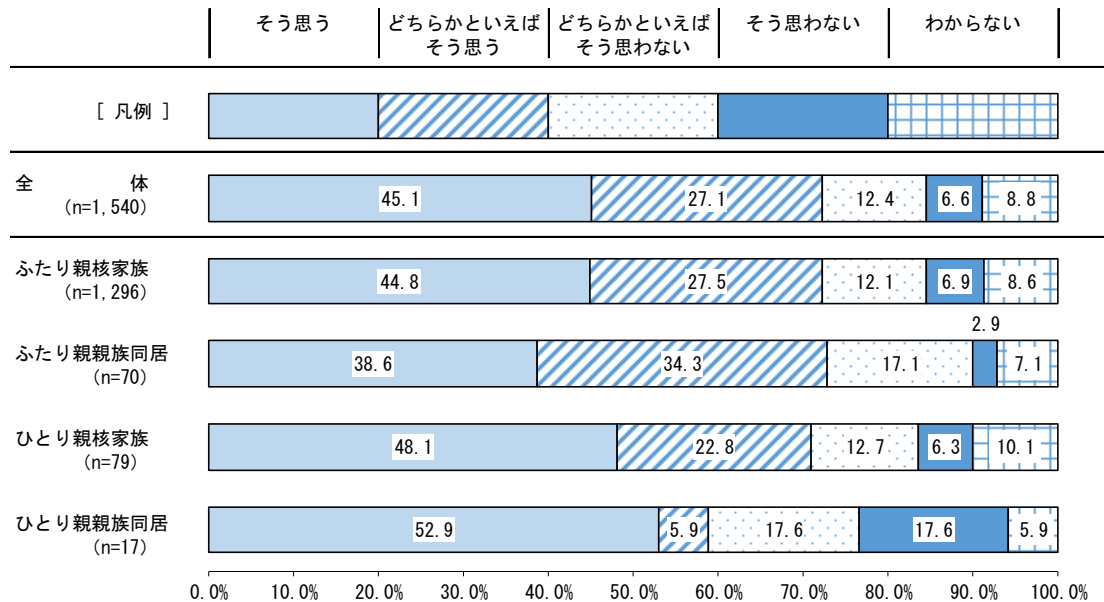


小学校5年生の『自分の将来が楽しみだ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ふたり親親族同居』が38.6%と全体に比べて低くなっている。

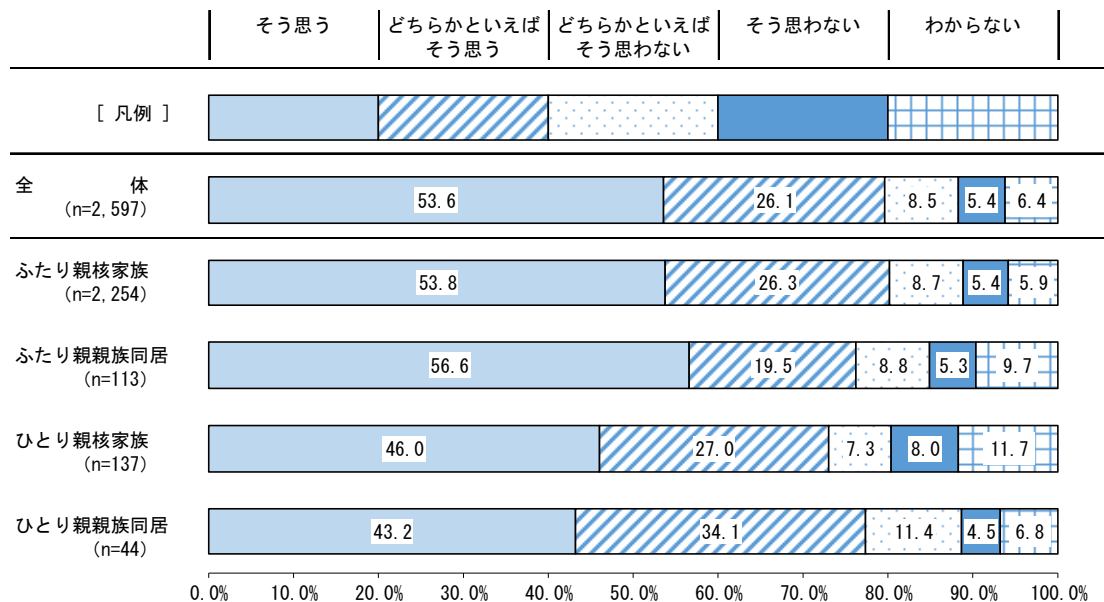
経年でみると、「どちらかといえばそう思う」は『ふたり親親族同居』が、「どちらかといえばそう思わない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が、それぞれ前回調査に比べて高く、「そう思う」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』が低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-262 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・世帯構成別)



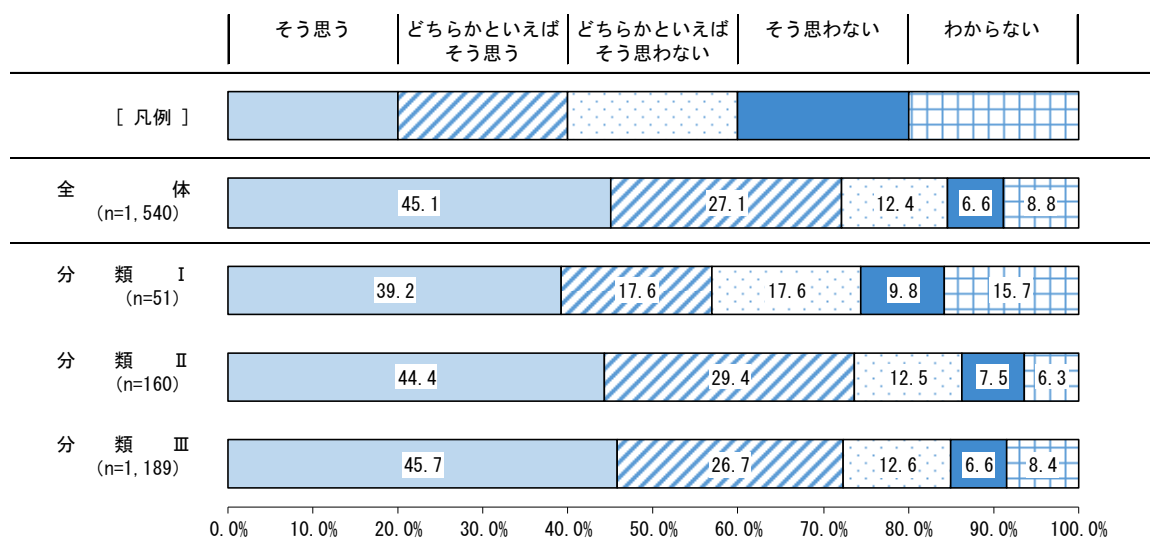
<前回調査>【図表 4-263 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・世帯構成別)



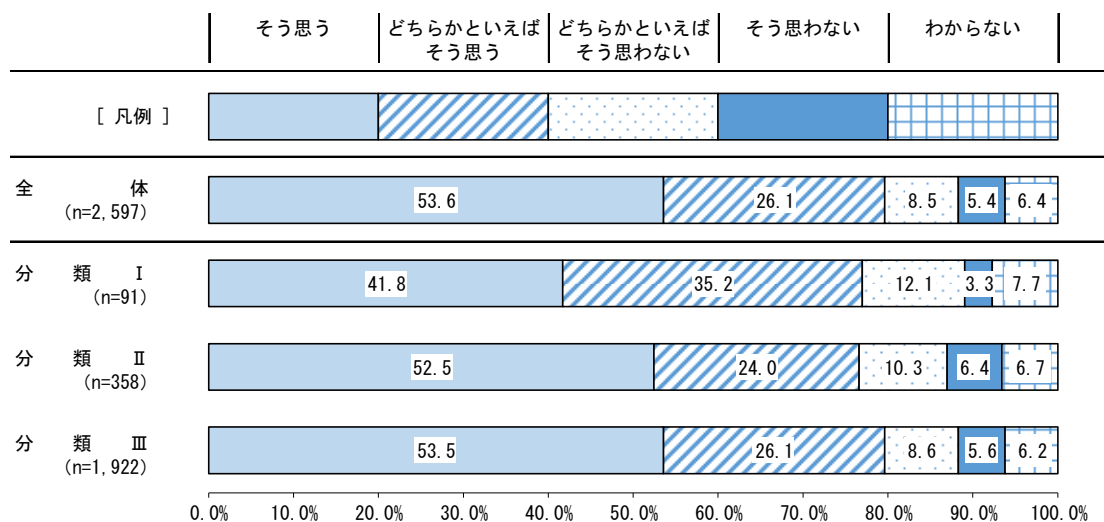
所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が 39.2%、「どちらかといえばそう思う」が 17.6%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思わない」が 17.6%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低く、『分類Ⅱ』が前回調査に比べて高くなっている。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-264 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-265 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・所得分類別)

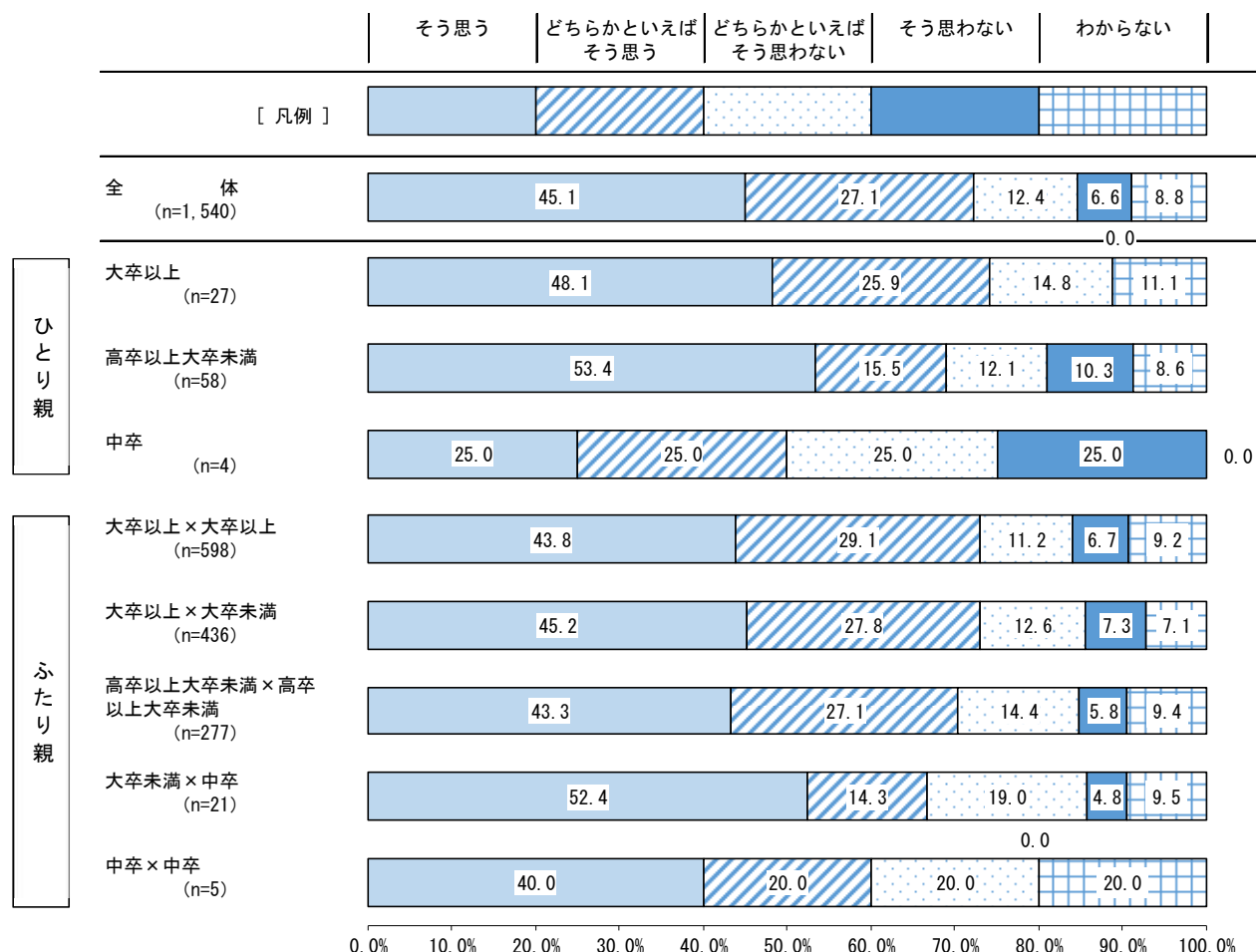


保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が 53.4%と全体に比べて高く、「どちらかといえばそう思う」が 15.5%と全体に比べて低くなっている。

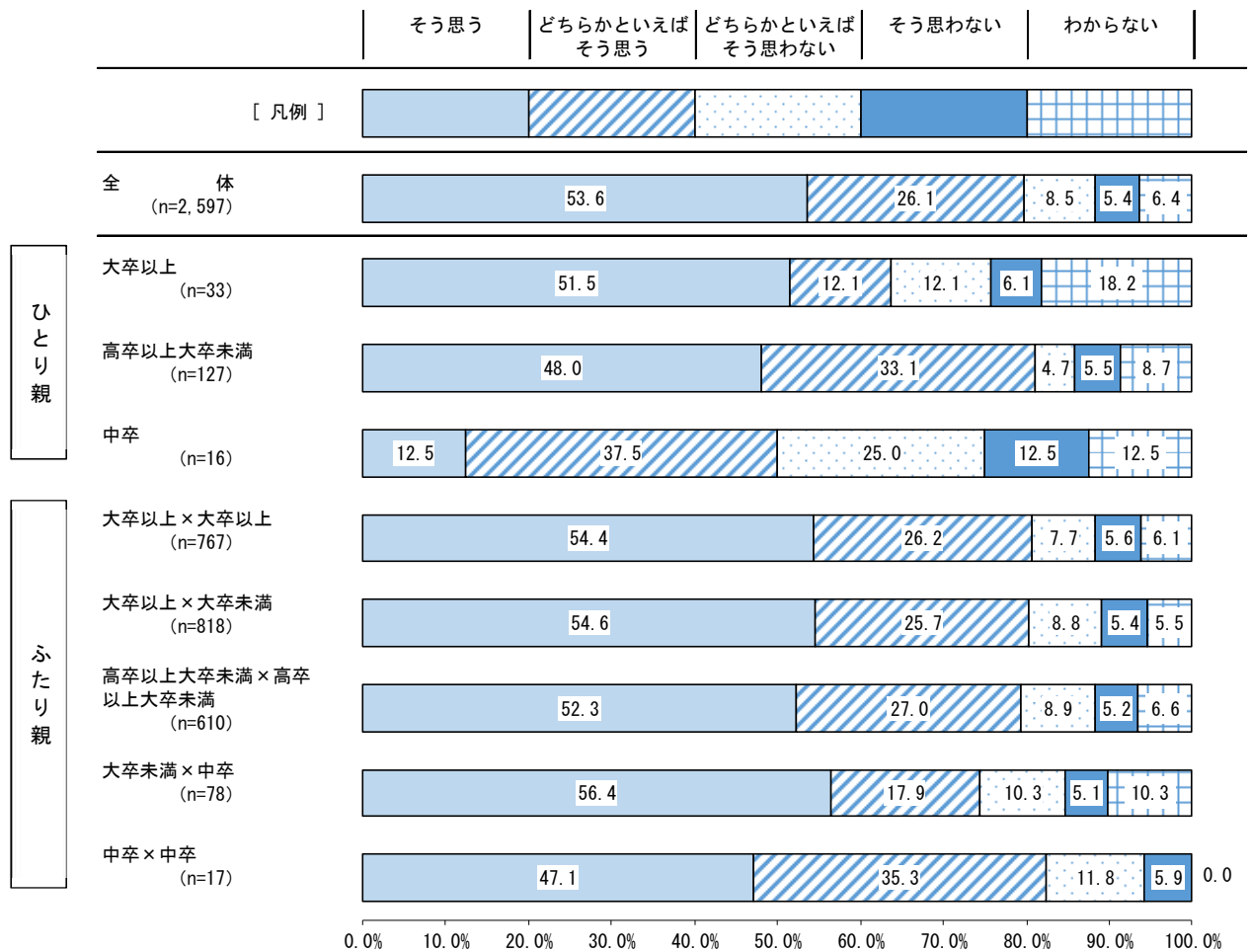
経年でみると、「そう思う」は『高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて高く、『大卒以上×大卒以上』『大卒以上×大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』で前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-266 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



<前回調査>【図表 4-267 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)

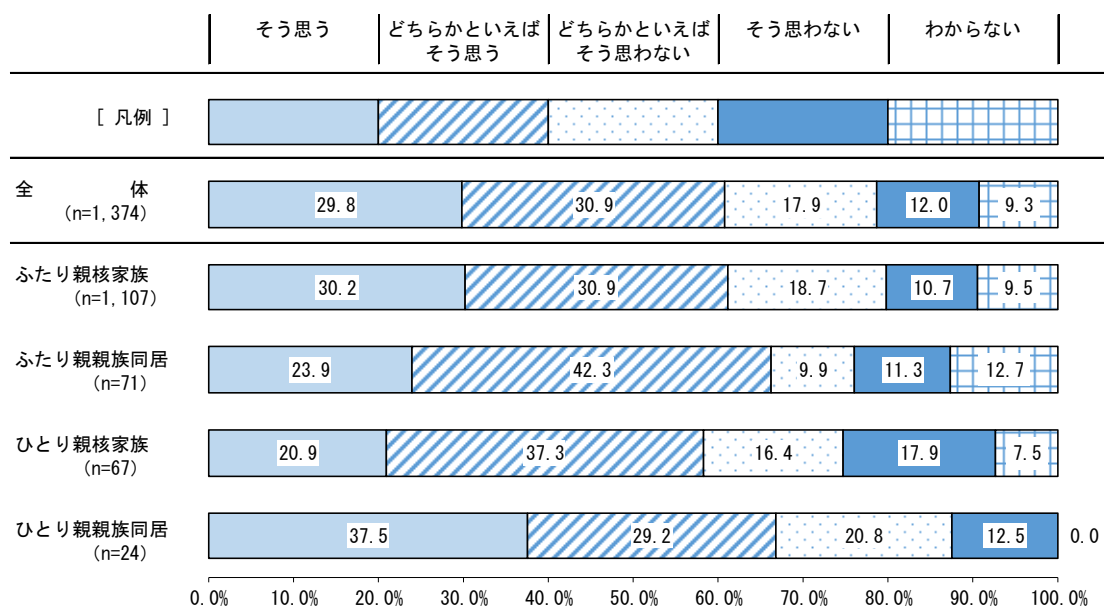


中学校2年生の『自分の将来が楽しみだ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ふたり親親族同居』が23.9%、『ひとり親核家族』が20.9%と全体に比べて低くなっている。

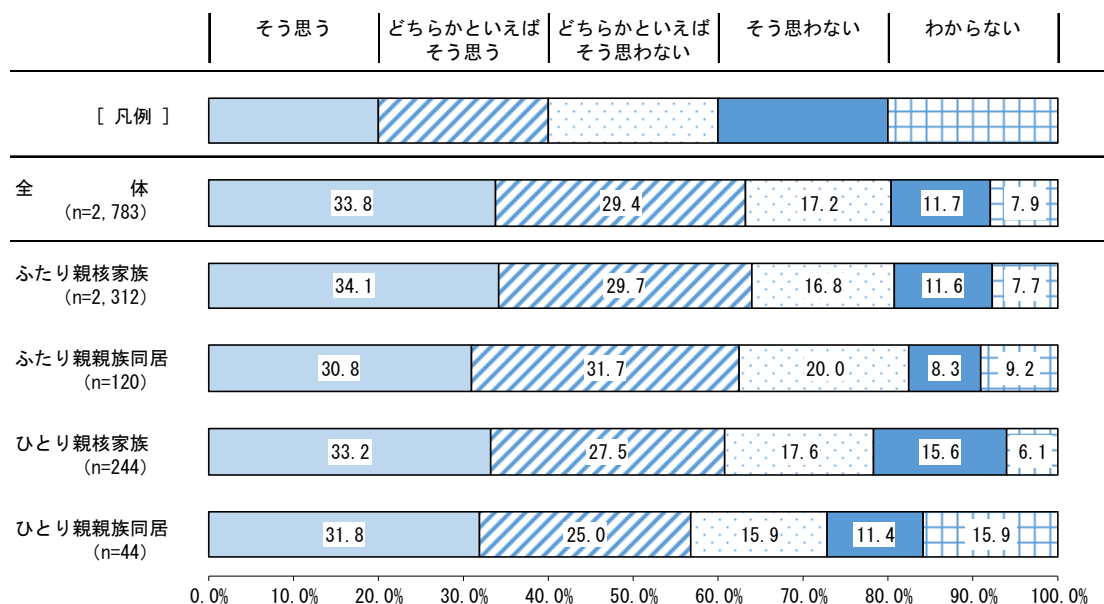
経年でみると、「どちらかといえばそう思う」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高く、「そう思う」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-268 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-269 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校2年生・世帯構成別)

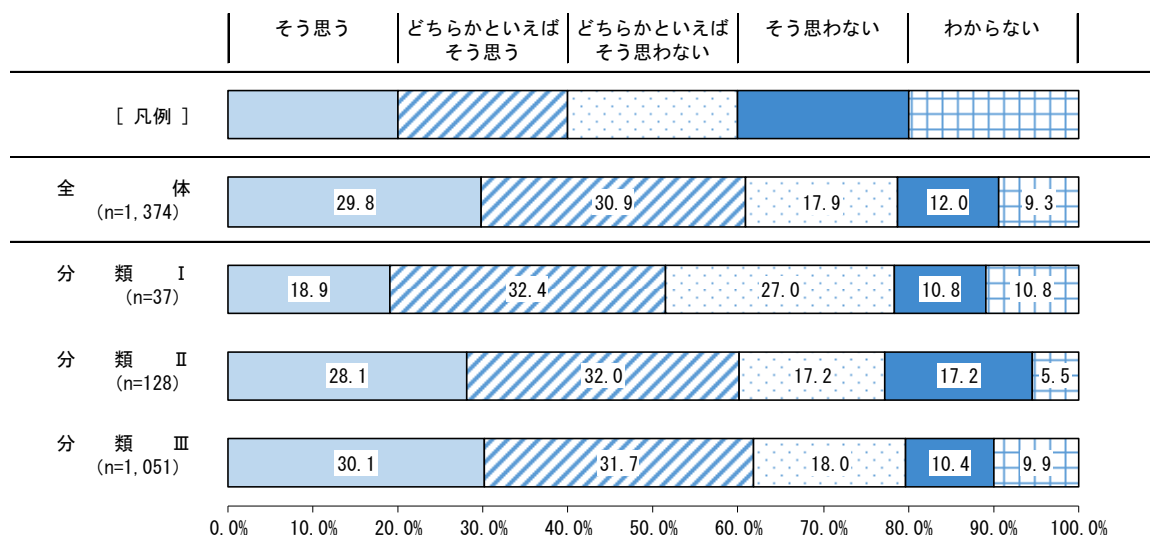


所得分類別にみると、「そう思わない」は『分類Ⅱ』が 17.2%と全体に比べて高くなっている。

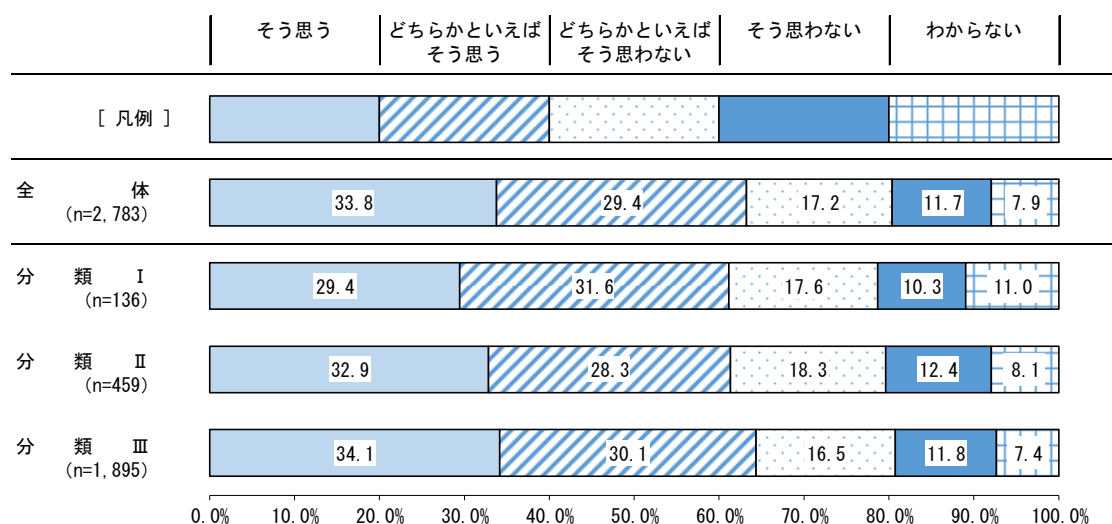
経年でみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-270 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校 2 年生・所得分類別)



＜前回調査＞【図表 4-271 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校 2 年生・所得分類別)

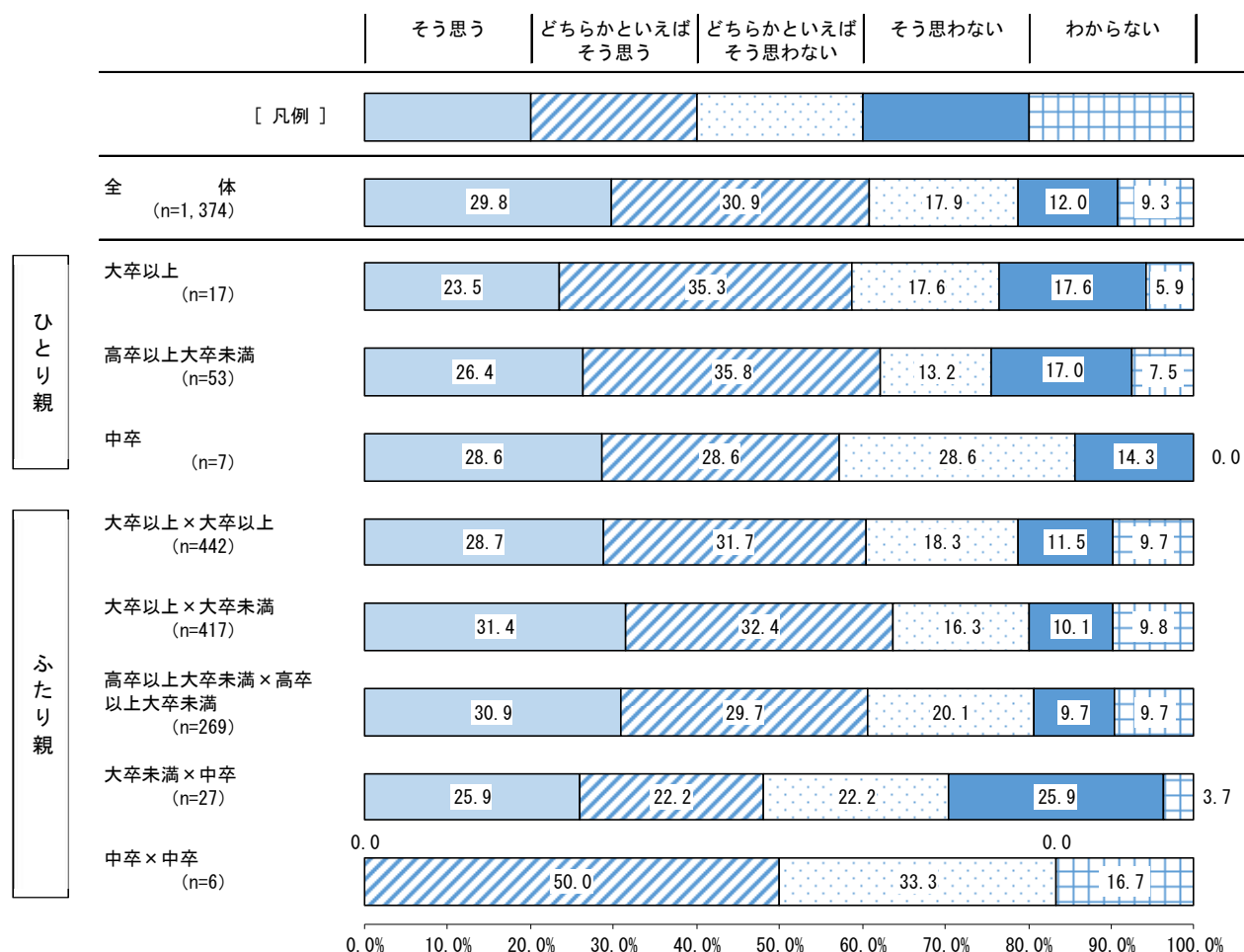


保護者の最終学歴別にみると、「そう思わない」は『高卒以上大卒未満』が 17.0%と全体に比べて高くなっている。

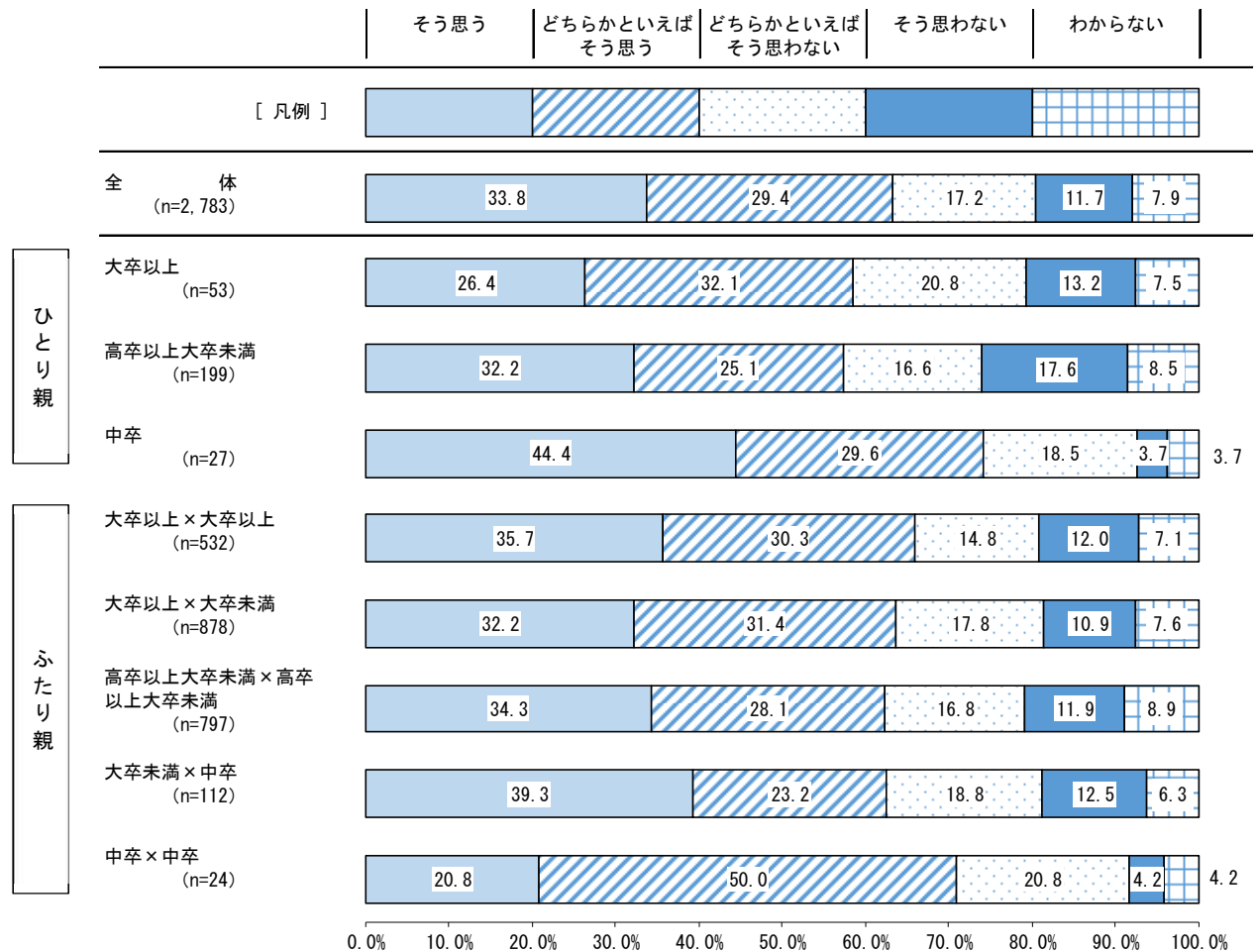
経年でみると、『高卒以上大卒未満』では「どちらかといえばそう思う」が前回調査に比べて高く、『大卒以上×大卒以上』では「そう思う」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-272 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校 2 年生・保護者の最終学歴別)



<前回調査>【図表 4-273 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)

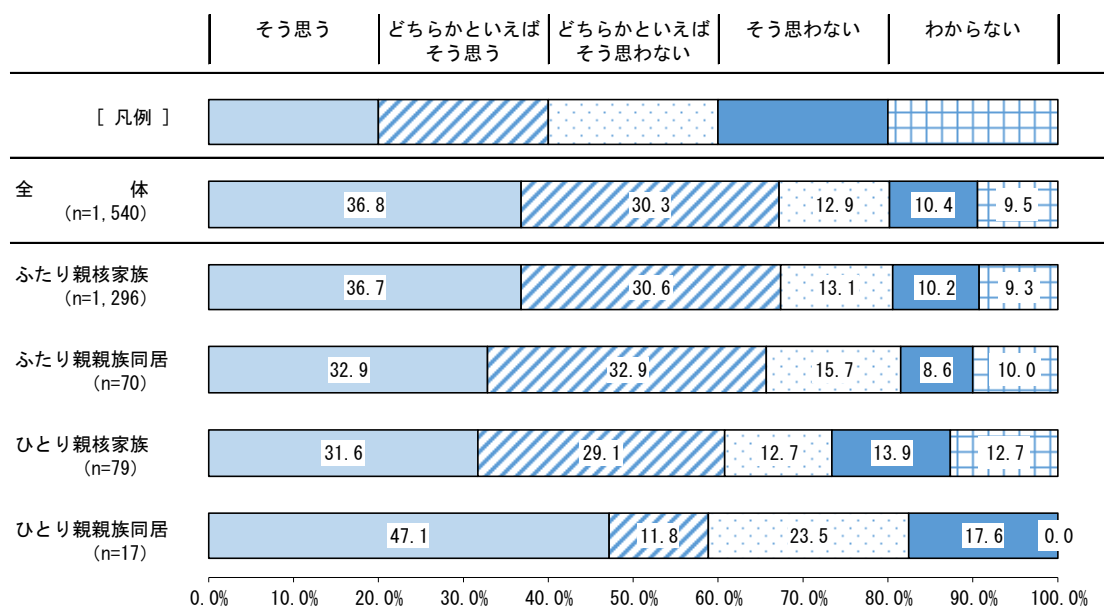


小学校5年生の『自分のことが好きだ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ひとり親核家族』が31.6%と全体に比べて低くなっている。

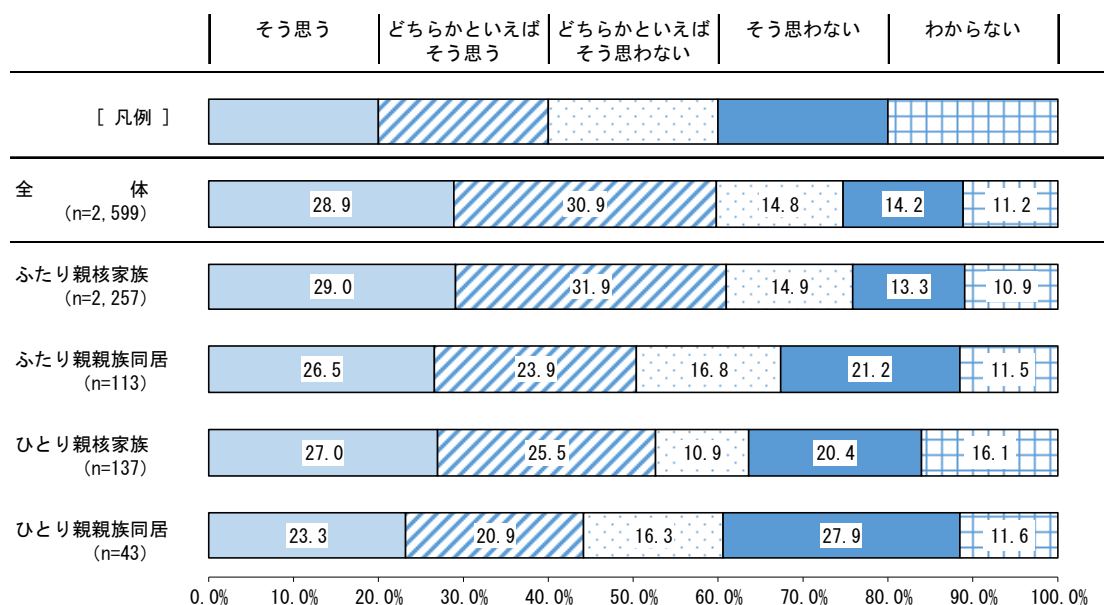
経年でみると、「そう思う」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-274 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校5年生・世帯構成別)



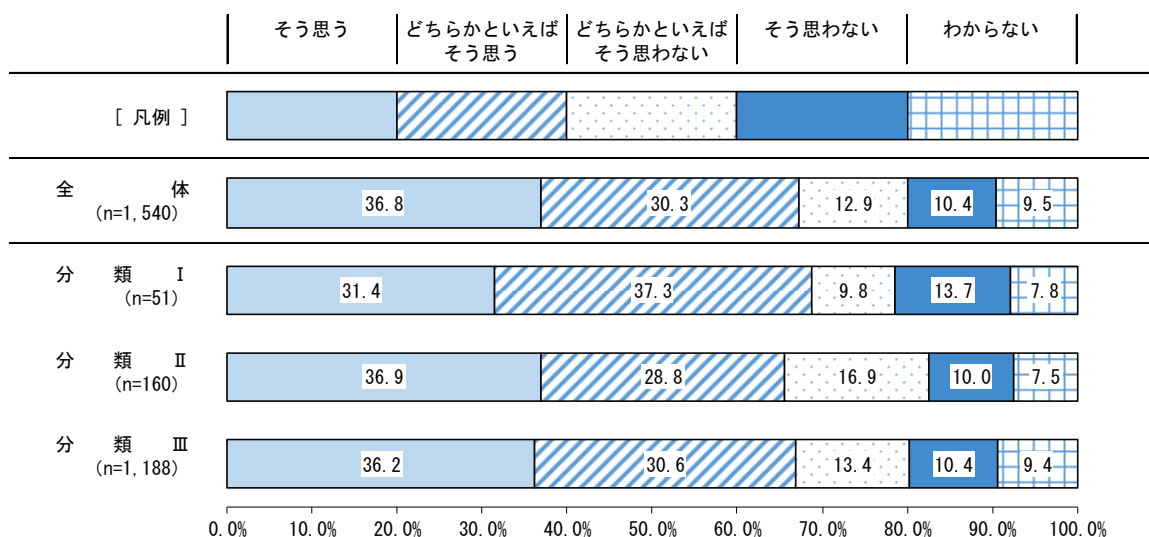
<前回調査>【図表 4-275 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校5年生・世帯構成別)



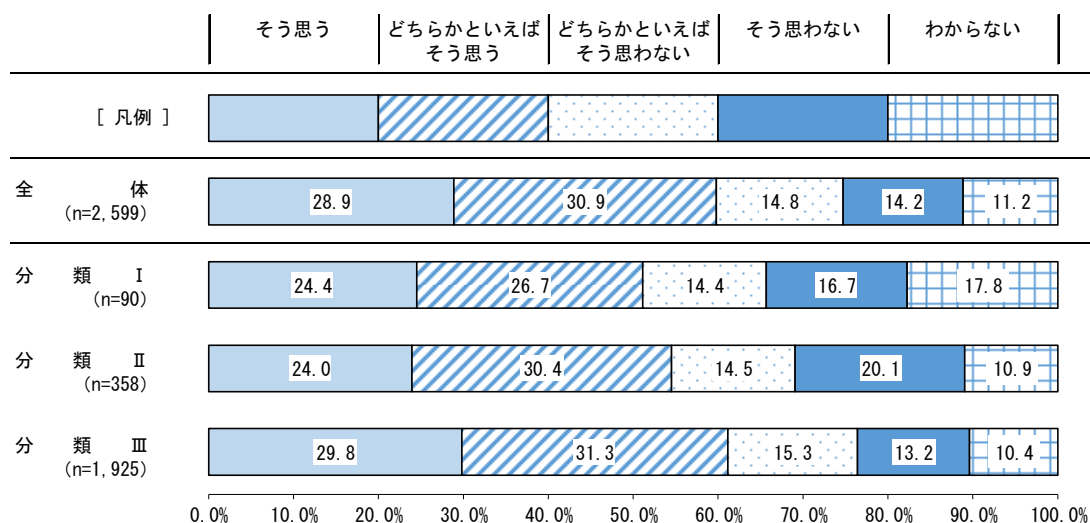
所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が31.4%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」が37.3%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」はいずれの所得分類でも前回調査より高く、「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-276 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-277 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校5年生・所得分類別)

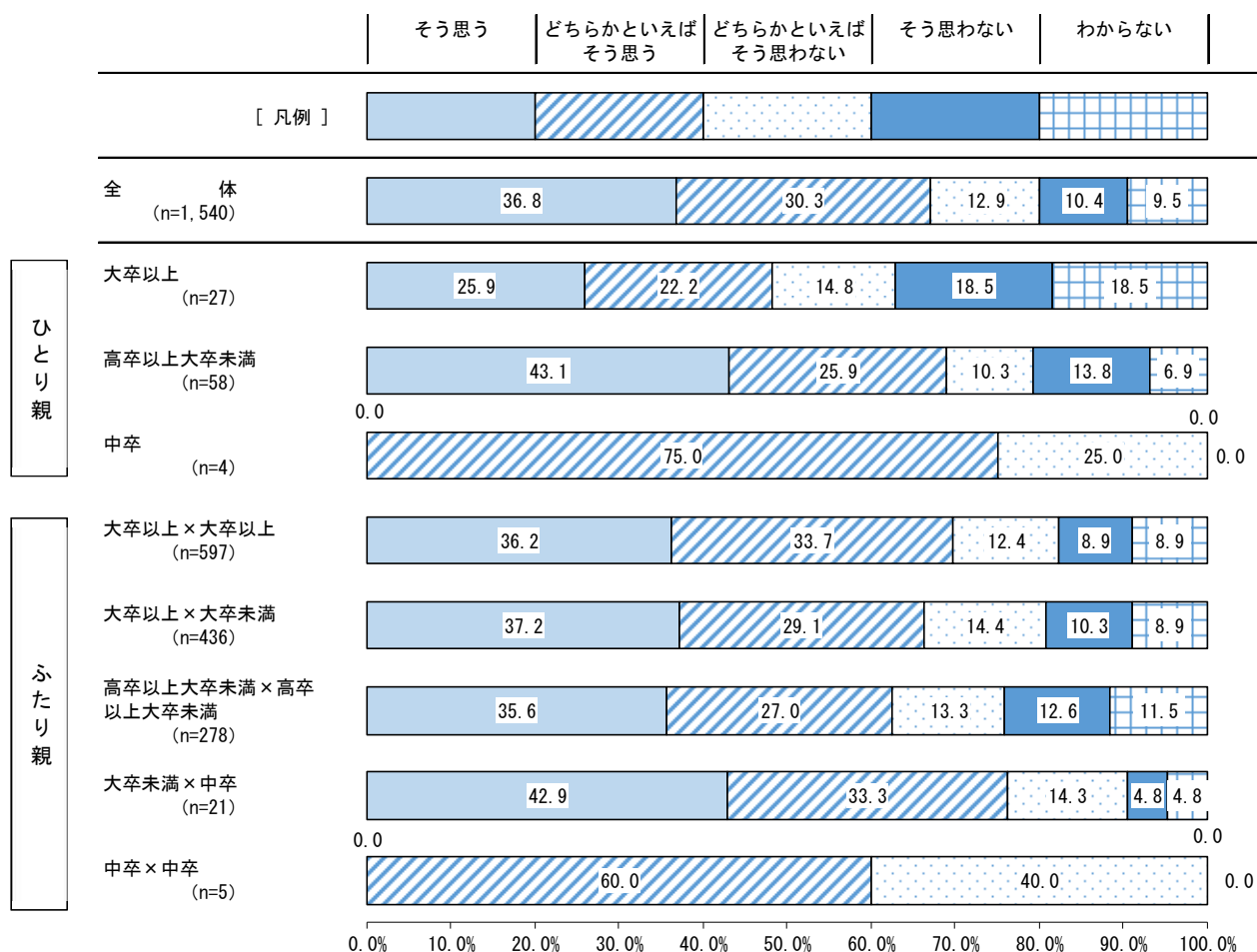


保護者の最終学歴別にみると、「そう思う」は『高卒以上大卒未満』が 43.1%と全体に比べて高くなっている。

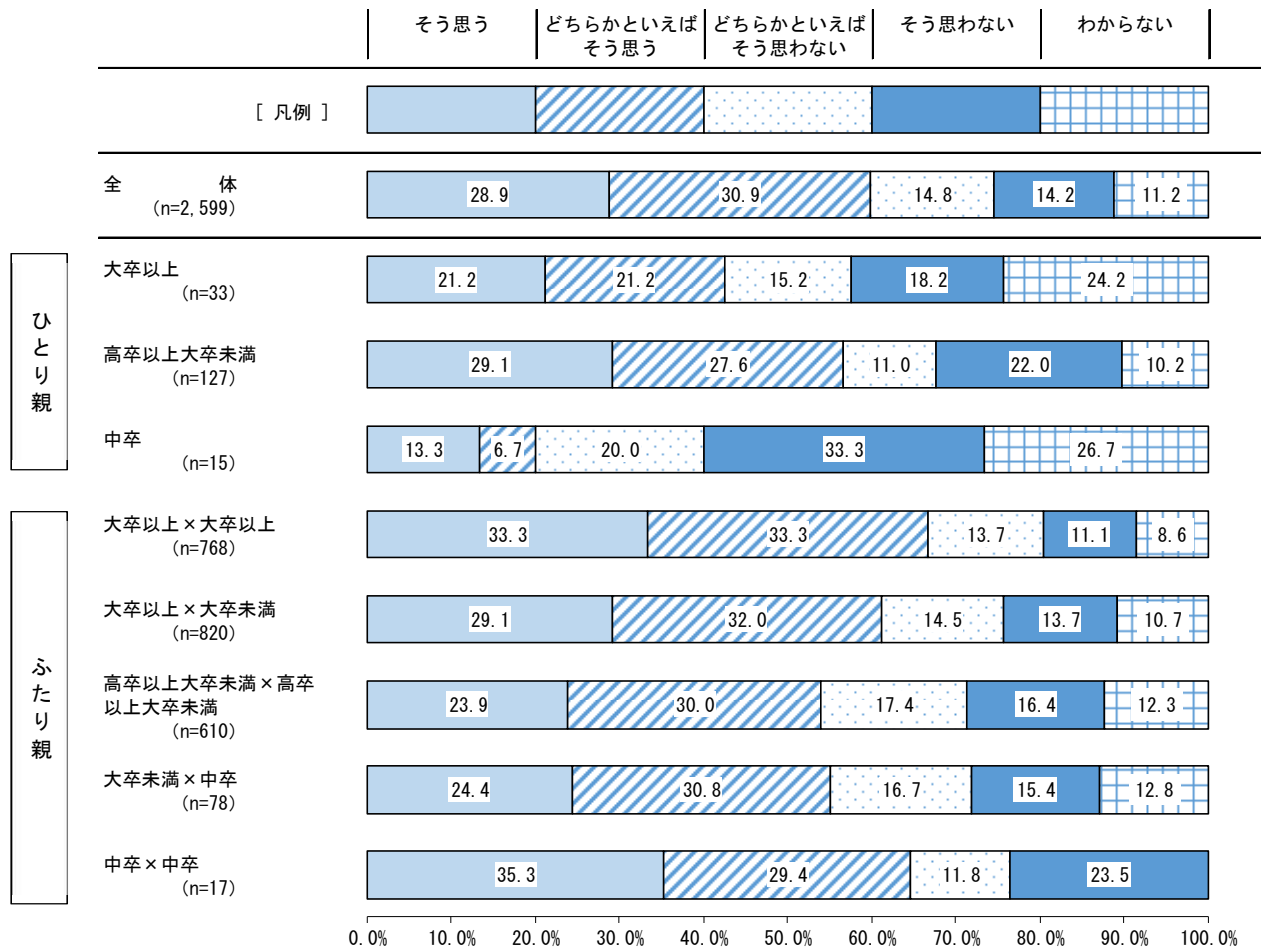
経年でみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が前回調査に比べて高く、「そう思わない」が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-278 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校 5 年生・保護者の最終学歴別)



<前回調査>【図表 4-279 (オ) 自分のことが好きだ】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)

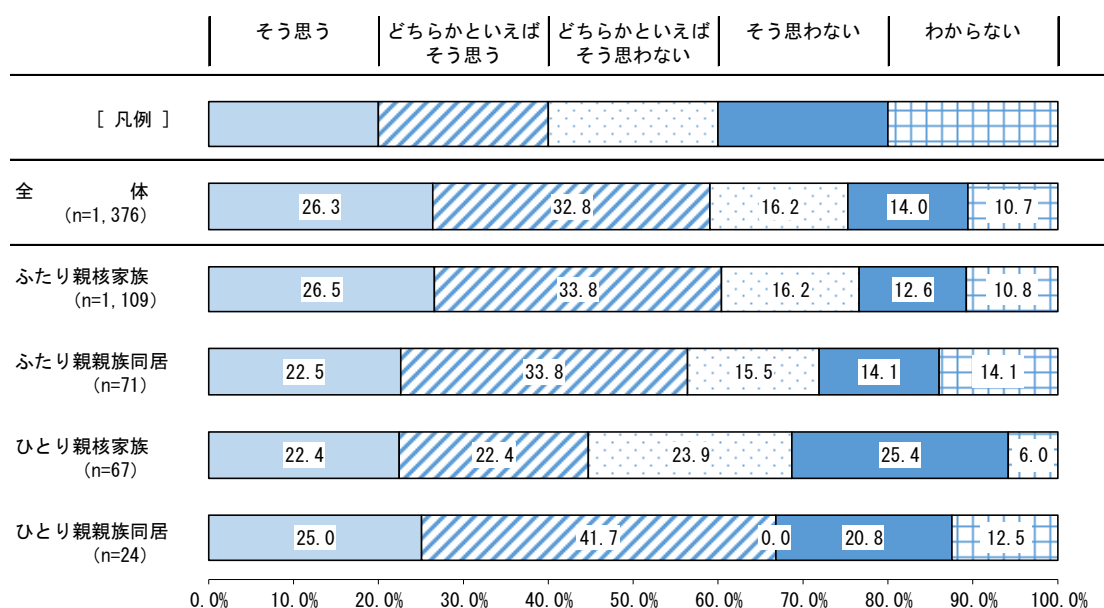


中学校2年生の『自分のことが好きだ』についてどう思うかを世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「どちらかといえばそう思わない」が23.9%、「そう思わない」が25.4%と全体に比べて高くなっている。

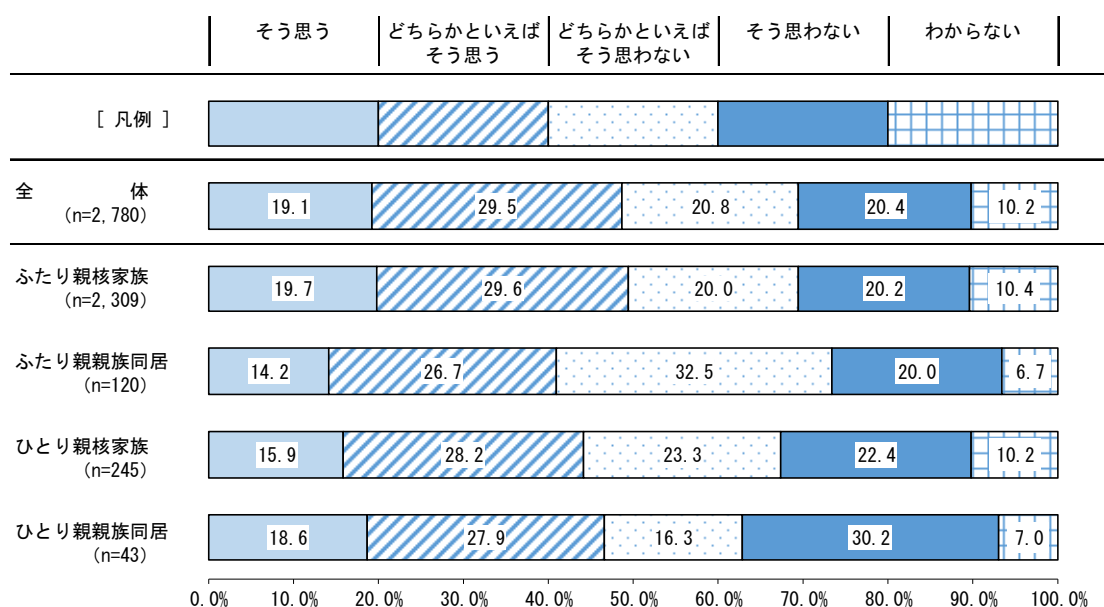
経年でみると、「そう思う」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高く、「どちらかといえばそう思わない」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-280 (オ) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-281 (オ) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・世帯構成別)

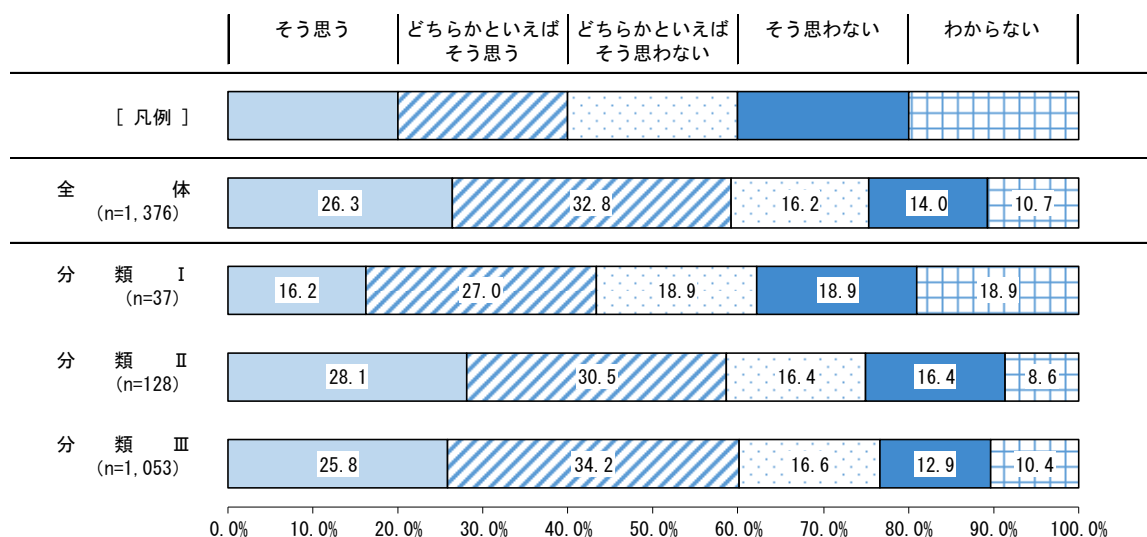


所得分類別にみると、大きな差はみられない。

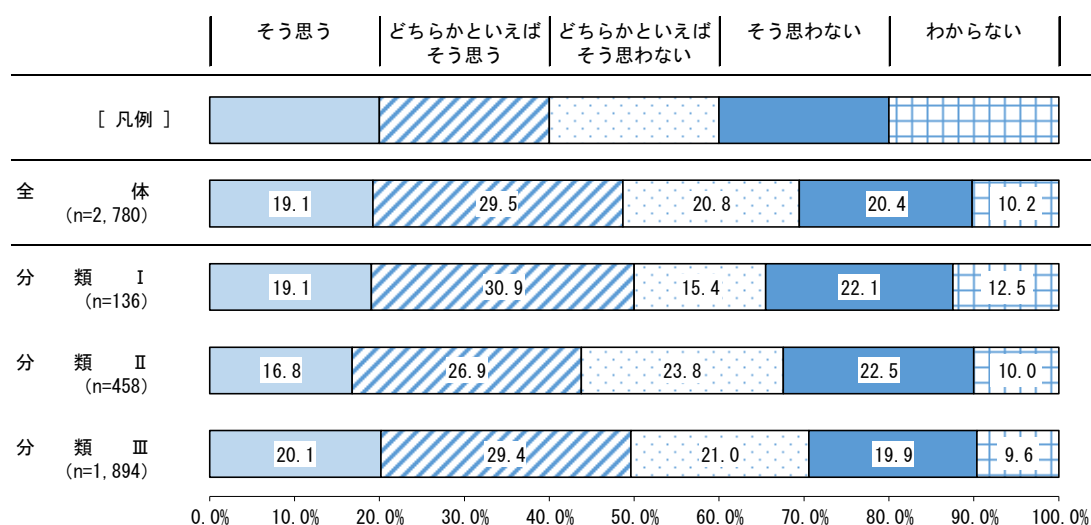
経年でみると、「そう思う」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。
「どちらかといえばそう思う」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低く、「そう思わない」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-282 (オ) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-283 (オ) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・所得分類別)

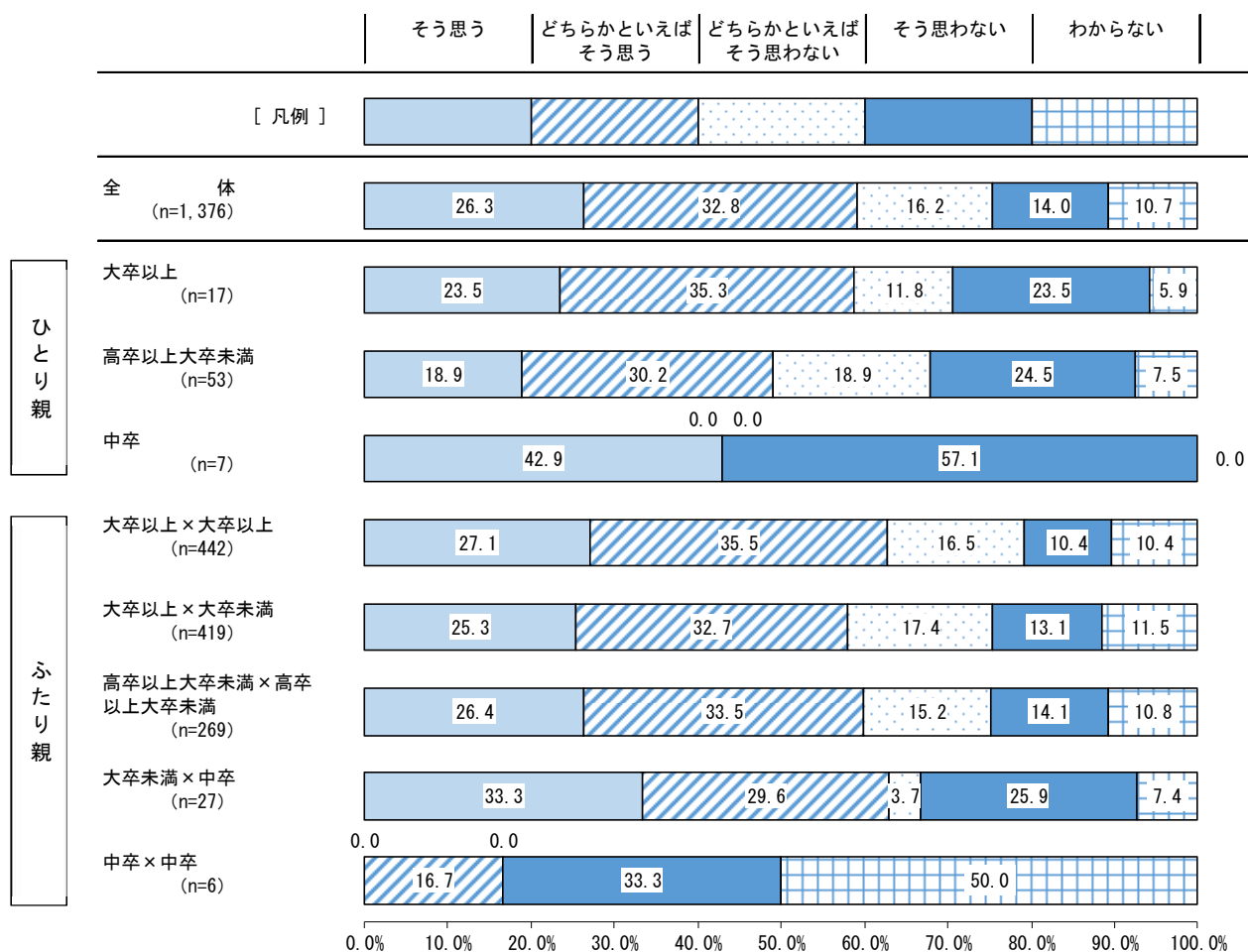


保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「そう思う」が 18.9%と全体に比べて低く、「そう思わない」が 24.5%と全体に比べて高くなっている。

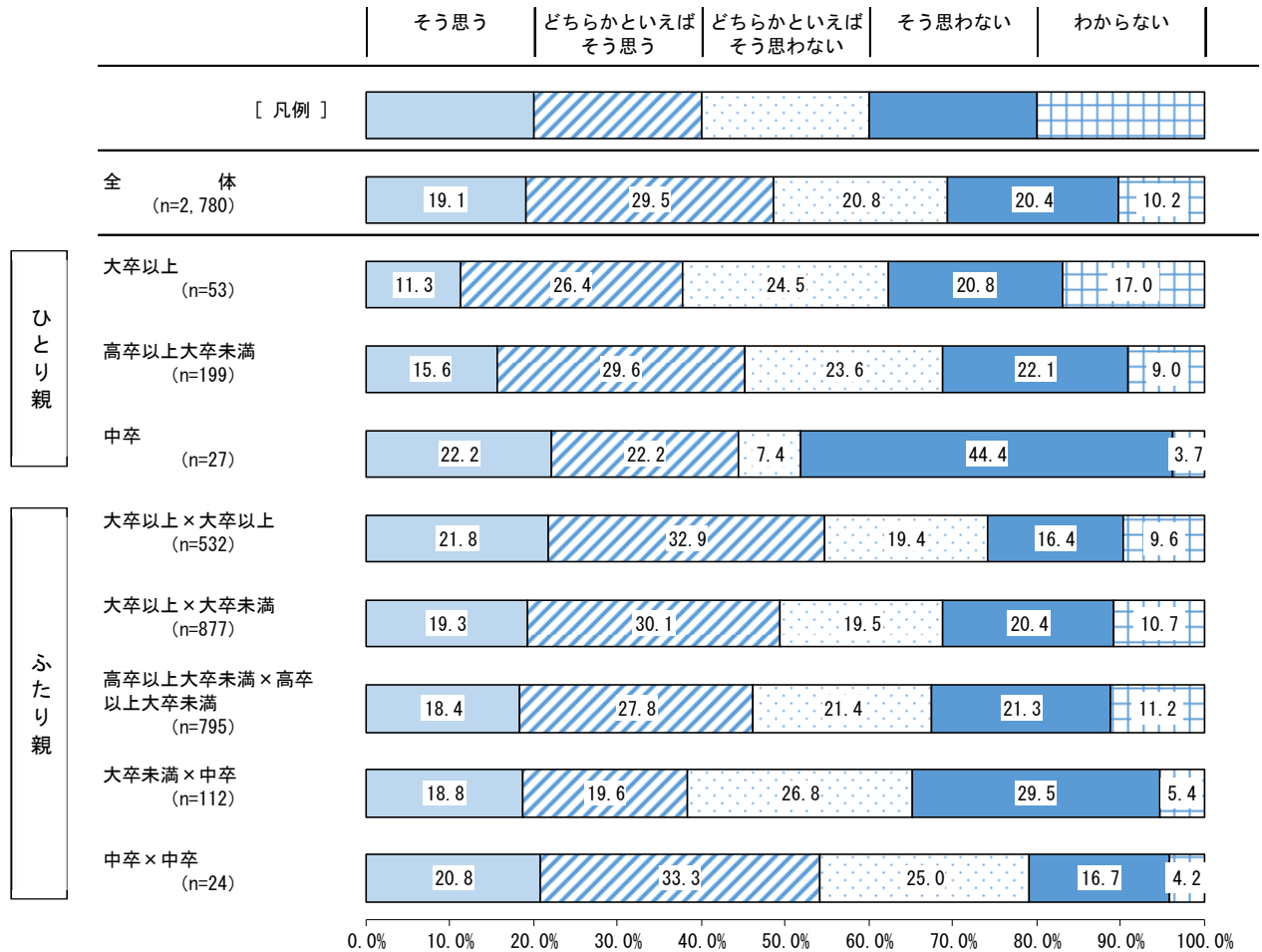
経年でみると、「そう思う」は『大卒以上×大卒以上』『大卒以上×大卒未満』『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-284 (オ) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



<前回調査>【図表 4-285 (才) 自分のことが好きだ】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)

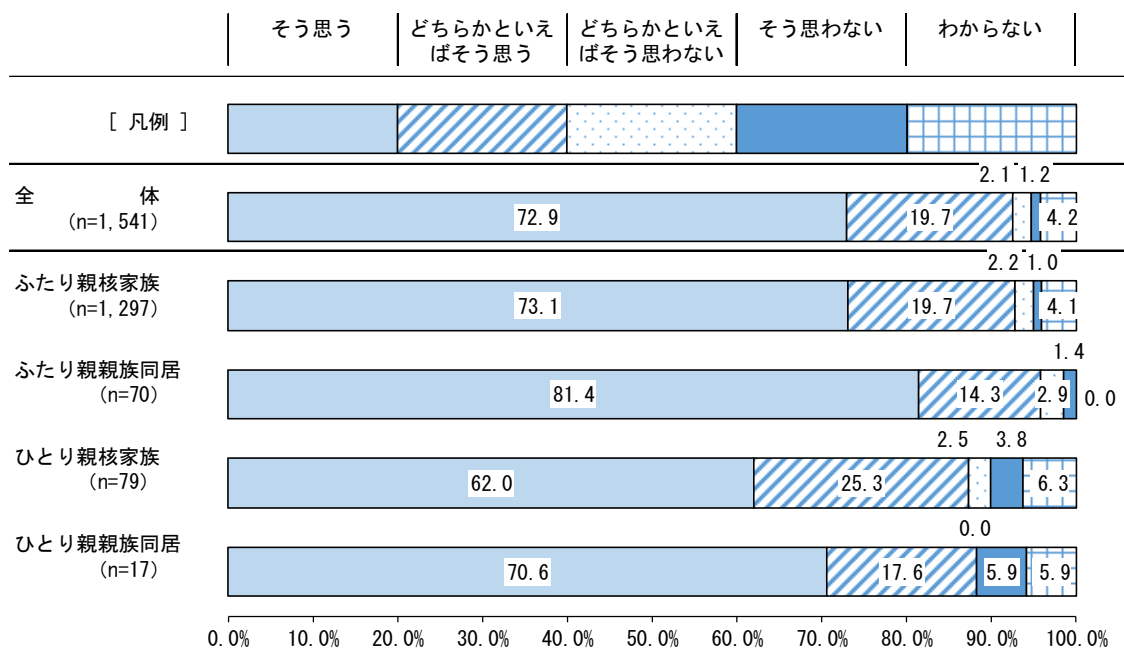


小学校5年生の『自分は家族に大事にされていると思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ふたり親親族同居』が81.4%と全体に比べて高く、『ひとり親核家族』が62.0%と全体に比べて低くなっている。

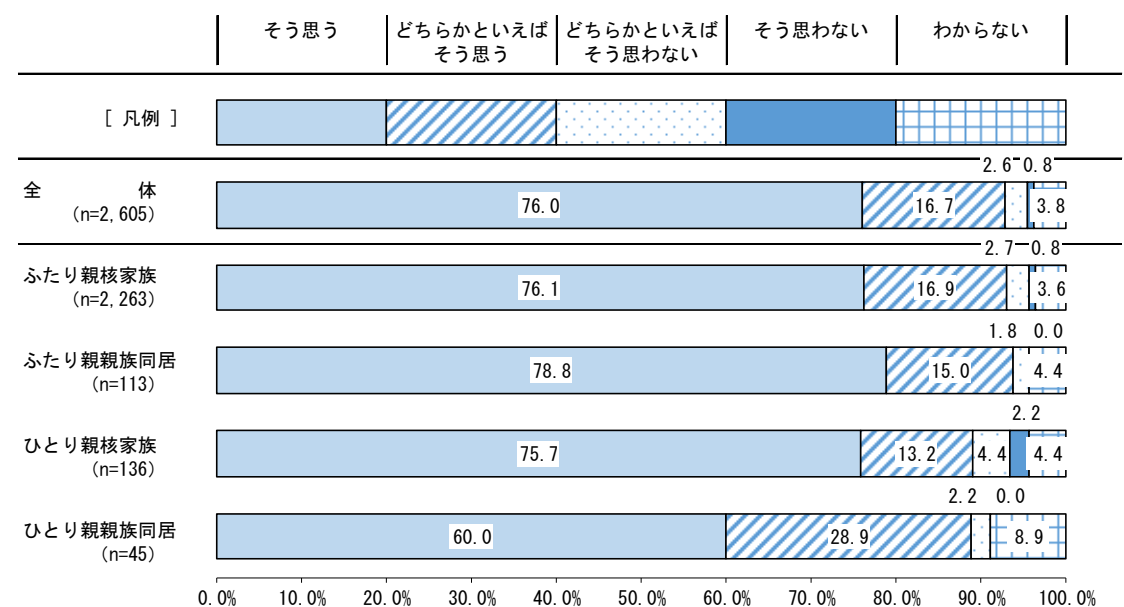
経年でみると、『ひとり親核家族』では「そう思う」が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-286 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・世帯構成別)



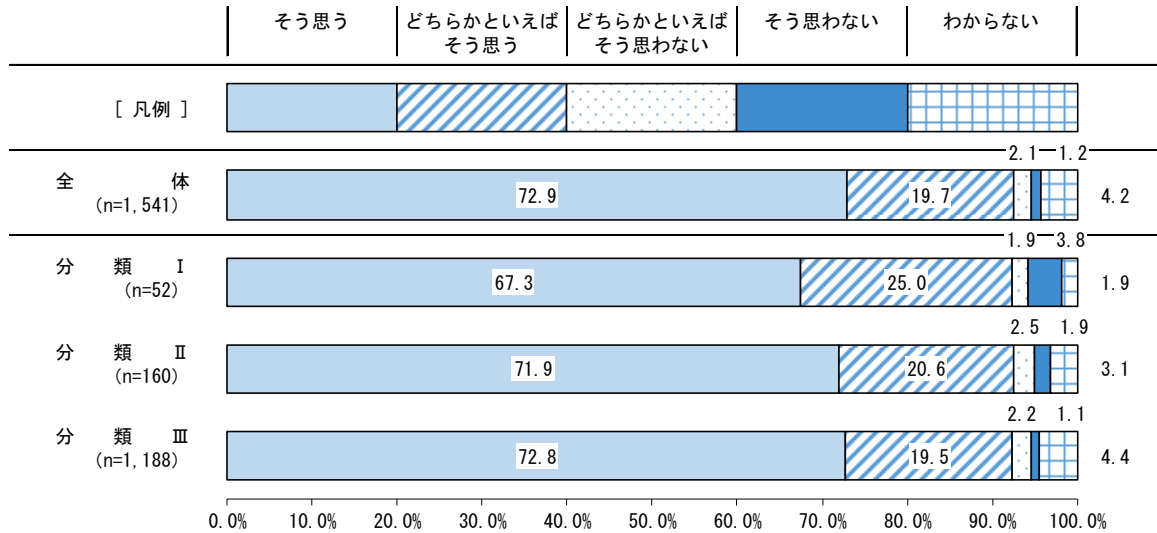
<前回調査>【図表 4-287 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・世帯構成別)



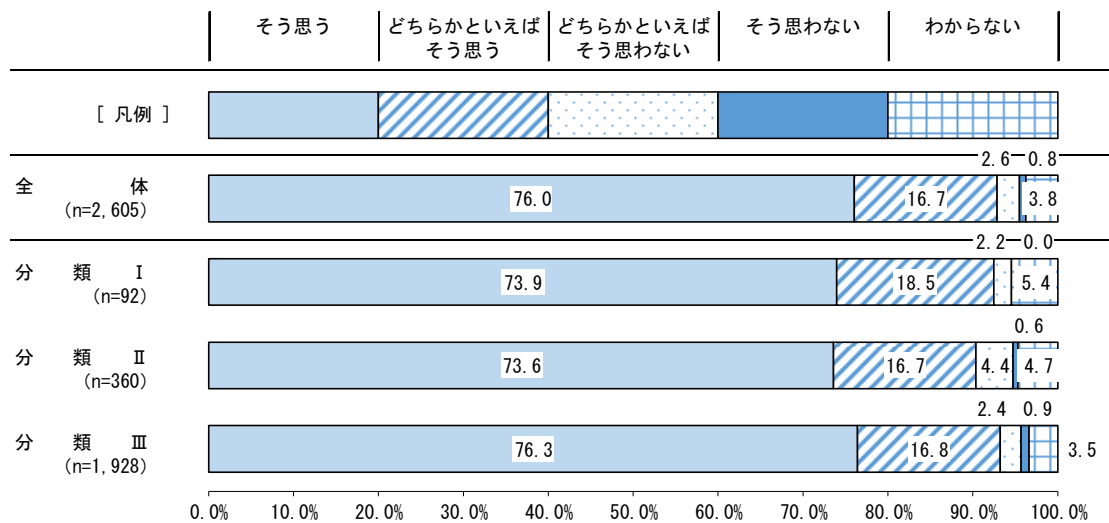
所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が 67.3%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」が 25.0%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、『分類Ⅰ』では「そう思う」が前回調査に比べて低く、「どちらかといえばそう思う」が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-288 (力) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-289 (力) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・所得分類別)

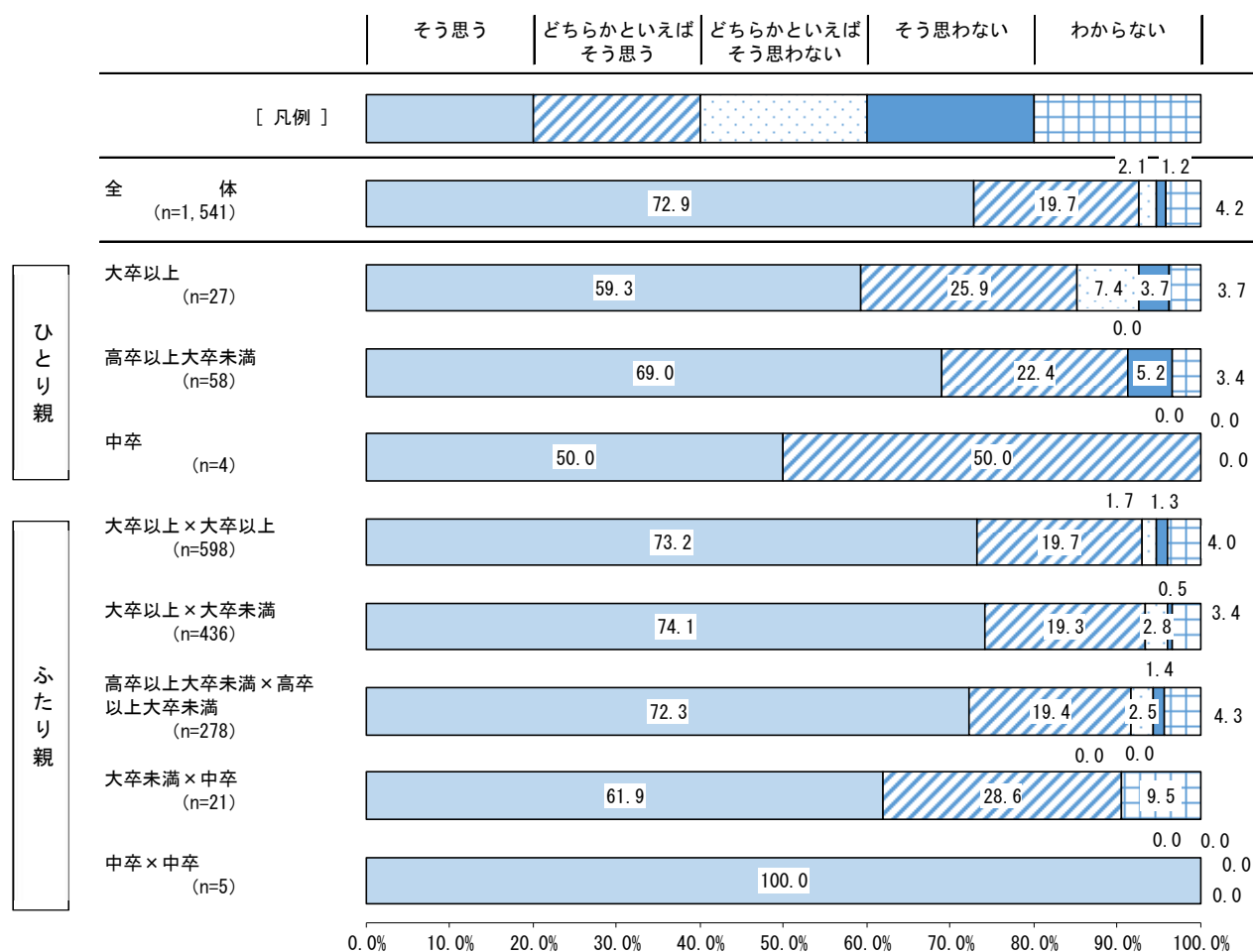


保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

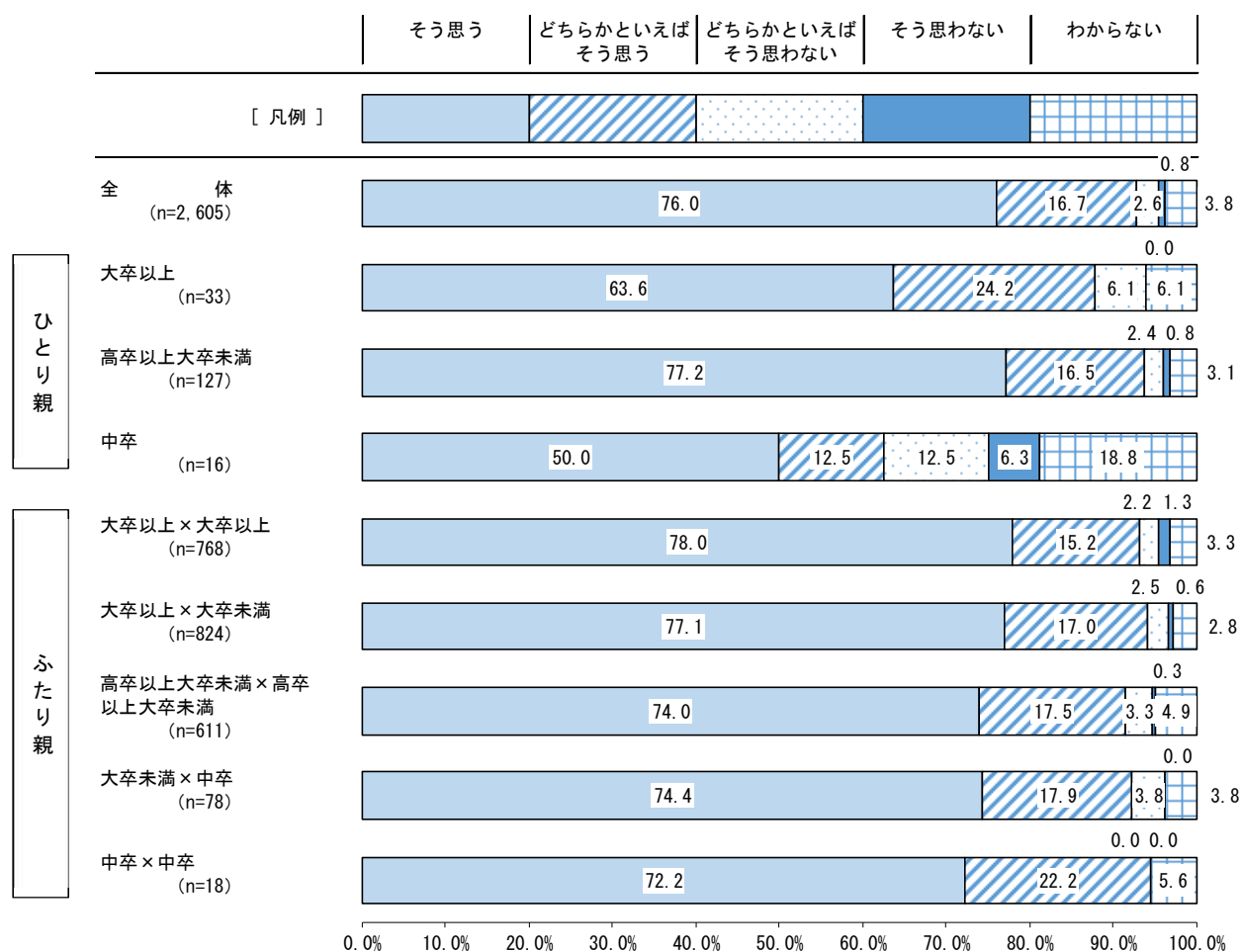
経年でみると、「そう思う」は『高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-290 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)



＜前回調査＞【図表 4-291 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(小学校5年生・保護者の最終学歴別)

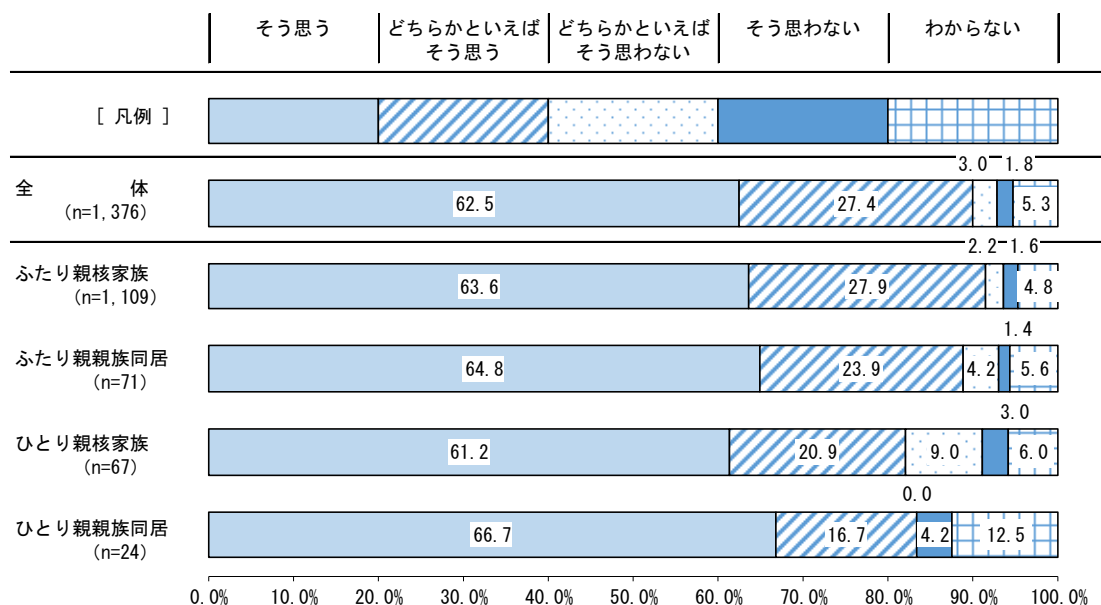


中学校2年生の『自分は家族に大事にされていると思う』についてどう思うかを世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「どちらかといえばそう思う」が20.9%と全体に比べて低く、「どちらかといえばそう思わない」が9.0%と全体に比べて高くなっている。

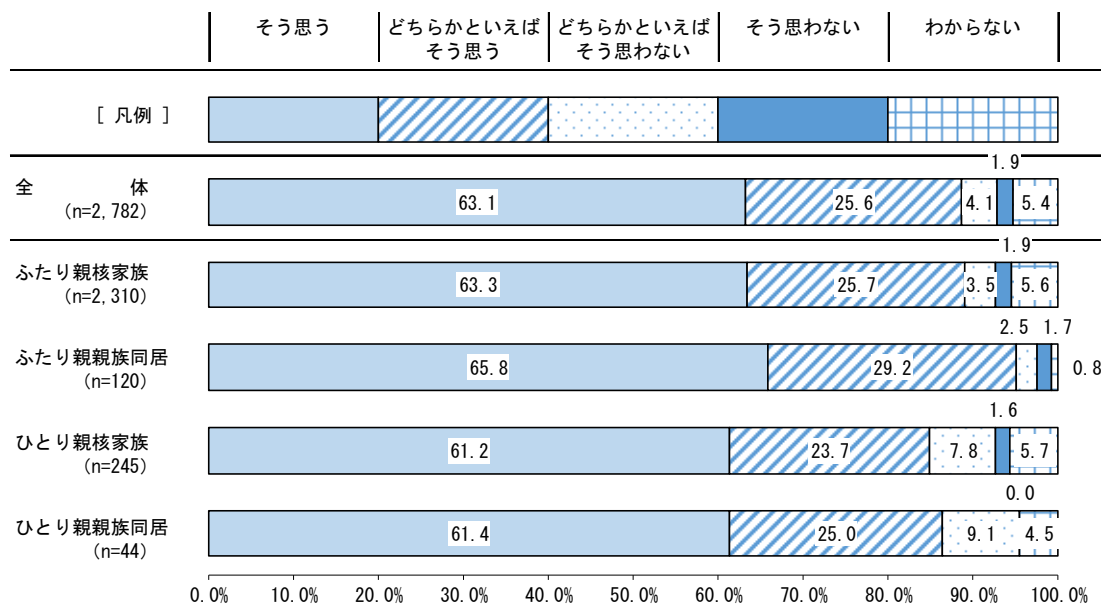
経年でみると、「どちらかといえばそう思う」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-292 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-293 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・世帯構成別)

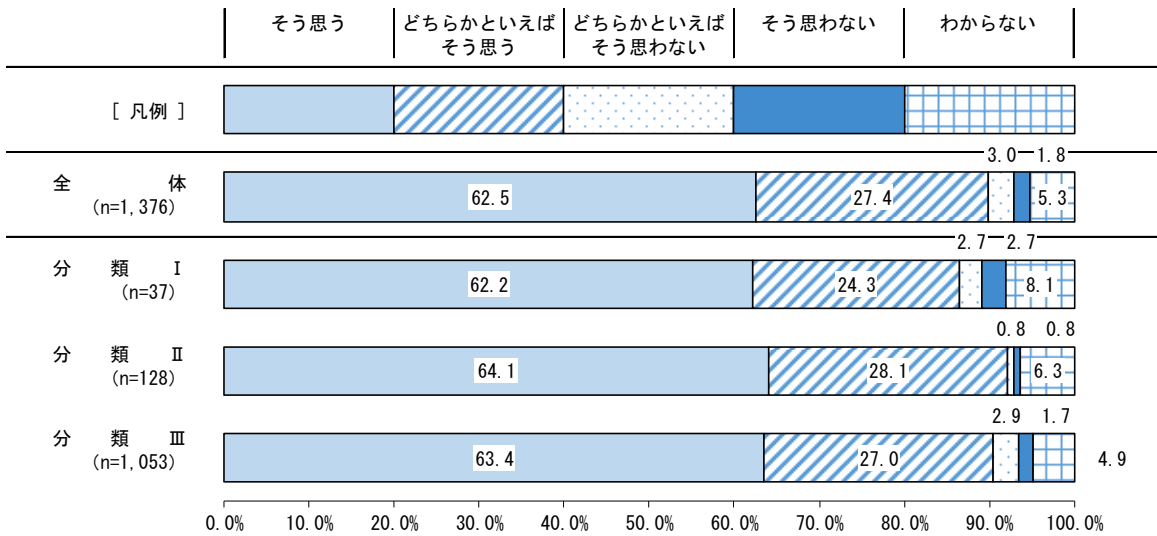


所得分類別にみると、大きな差はみられない。

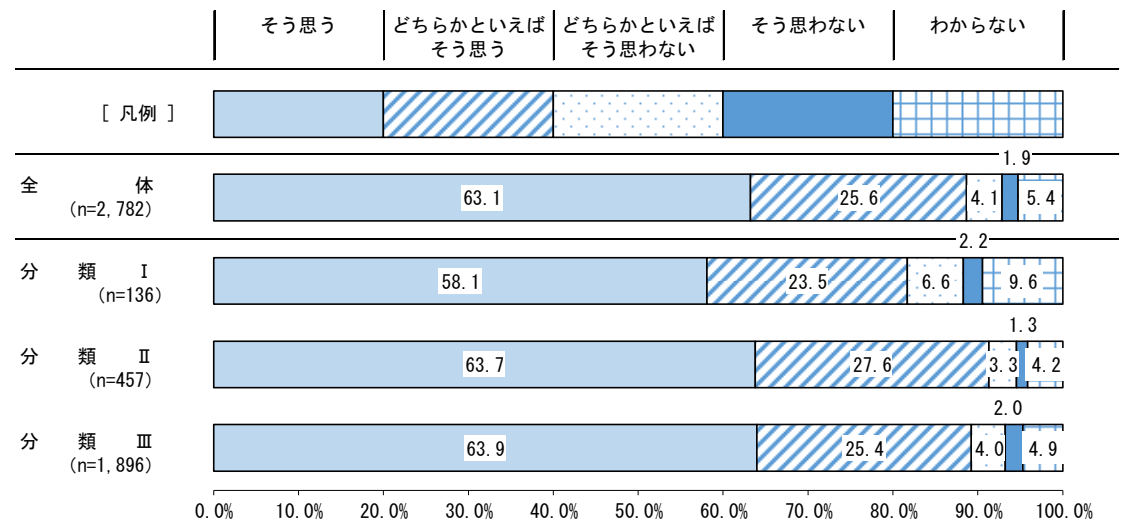
経年でみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-294 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・所得分類別)

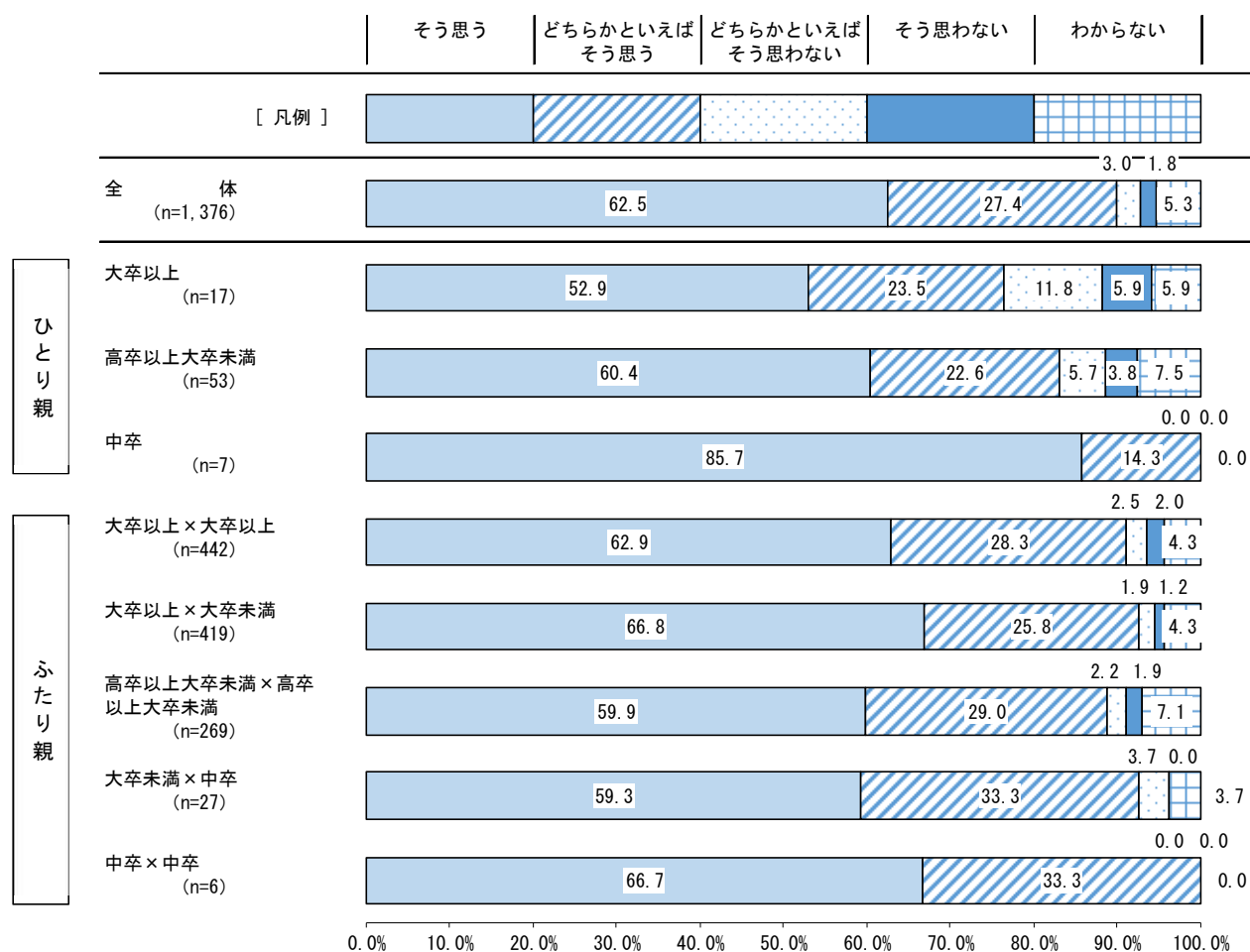


＜前回調査＞【図表 4-295 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・所得分類別)

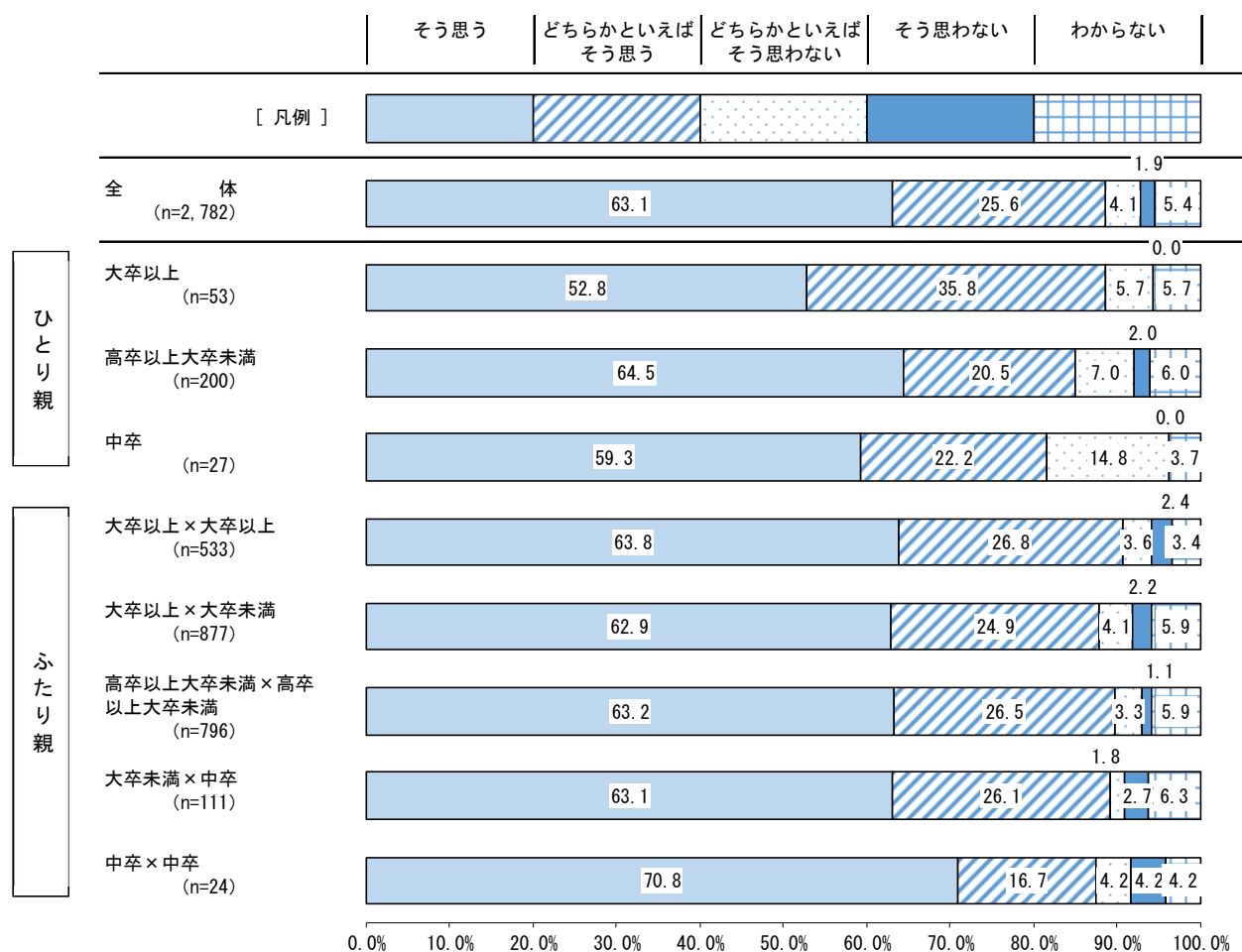


保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-296 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



＜前回調査＞【図表 4-297 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(中学校2年生・保護者の最終学歴別)



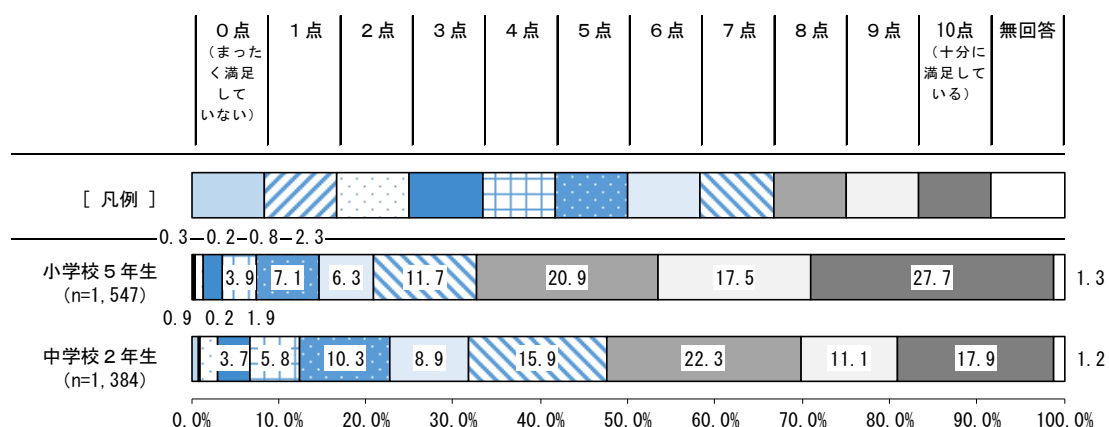
ウ 現状への満足度【問18】（SA）

最近の生活に対する満足度を聞いたところ、小学校5年生では「10点（十分に満足している）」が27.7%と最も高く、次いで「8点」が20.9%、「9点」が17.5%となっている。

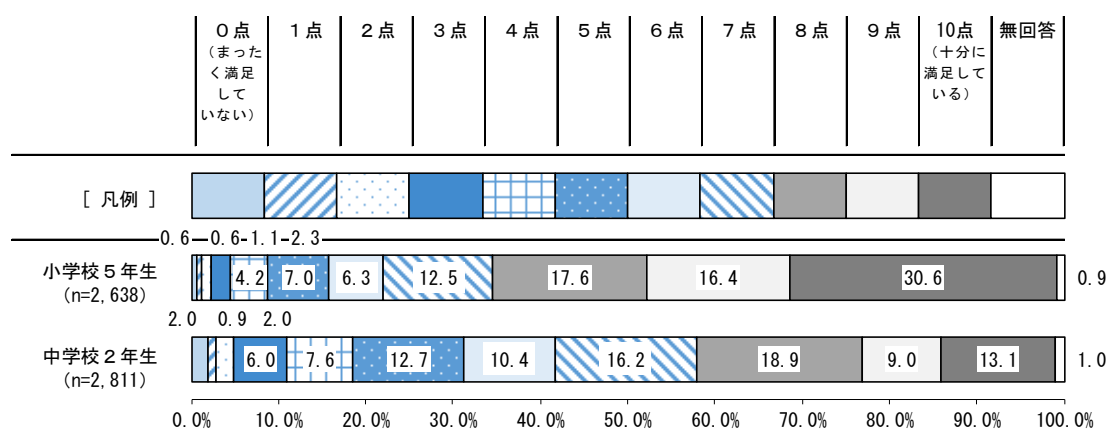
中学校2年生では「8点」が22.3%と最も高く、次いで「10点（十分に満足している）」が17.9%、「7点」が15.9%となっている。

経年でみると、中学校2年生では「6点」～「10点」を足し合わせた割合が前回調査に比べて高く、「0点」～「4点」を足し合わせた割合が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-298 生活の満足度】

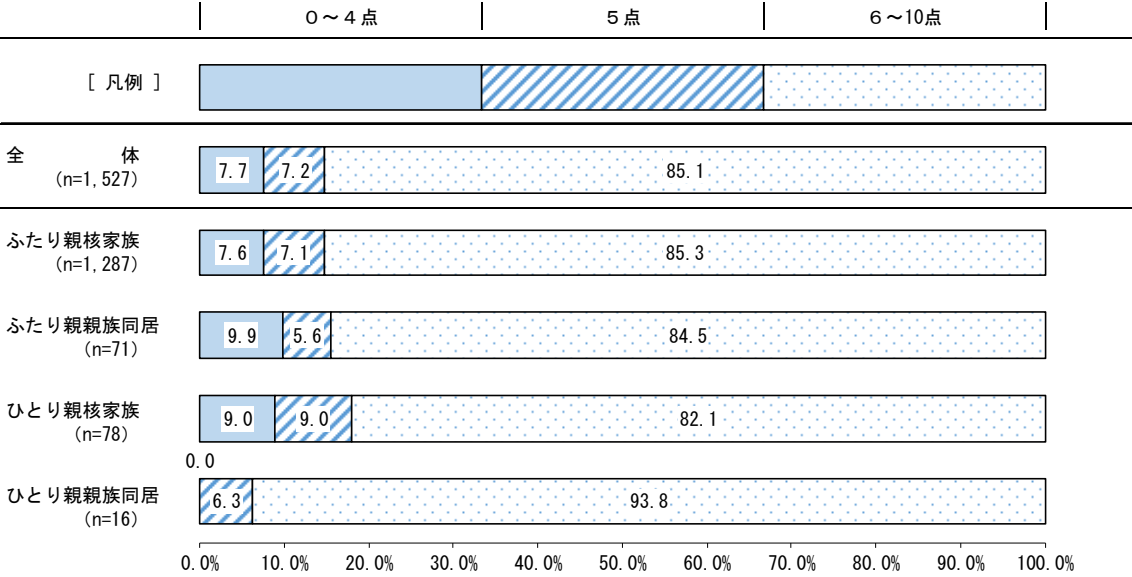


＜前回調査＞【図表 4-299 生活の満足度】

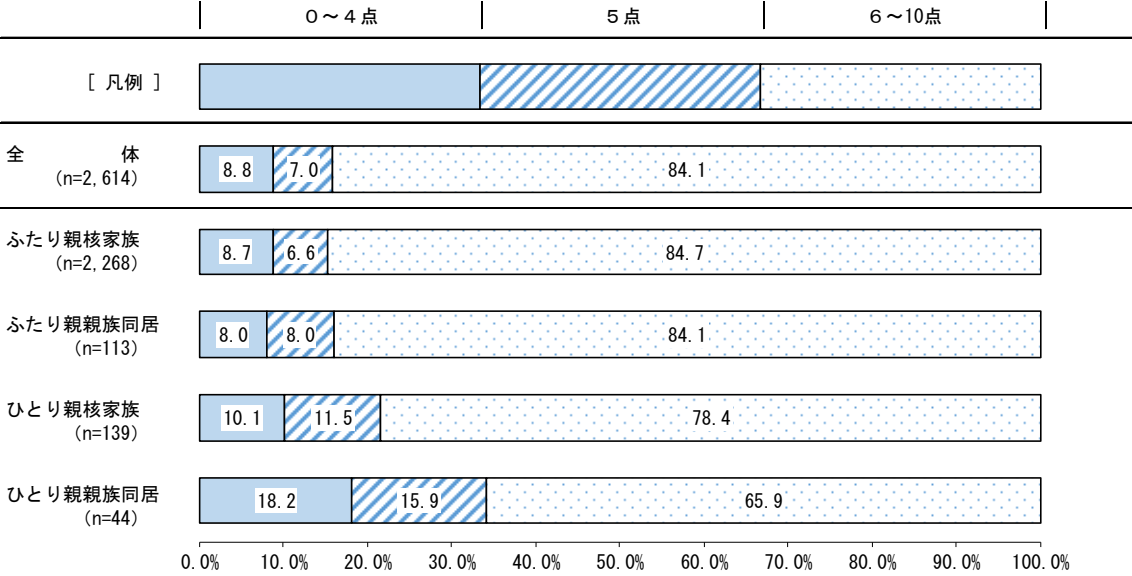


小学校5年生の生活に対する満足度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-300 生活の満足度】（小学校5年生・世帯構成別）



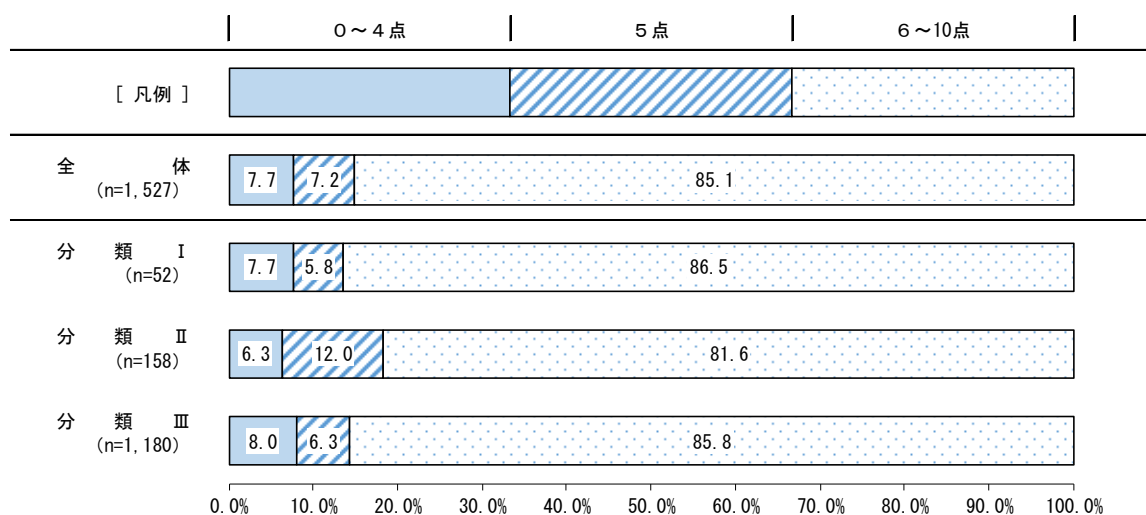
<前回調査>【図表 4-301 生活の満足度】（小学校5年生・世帯構成別）



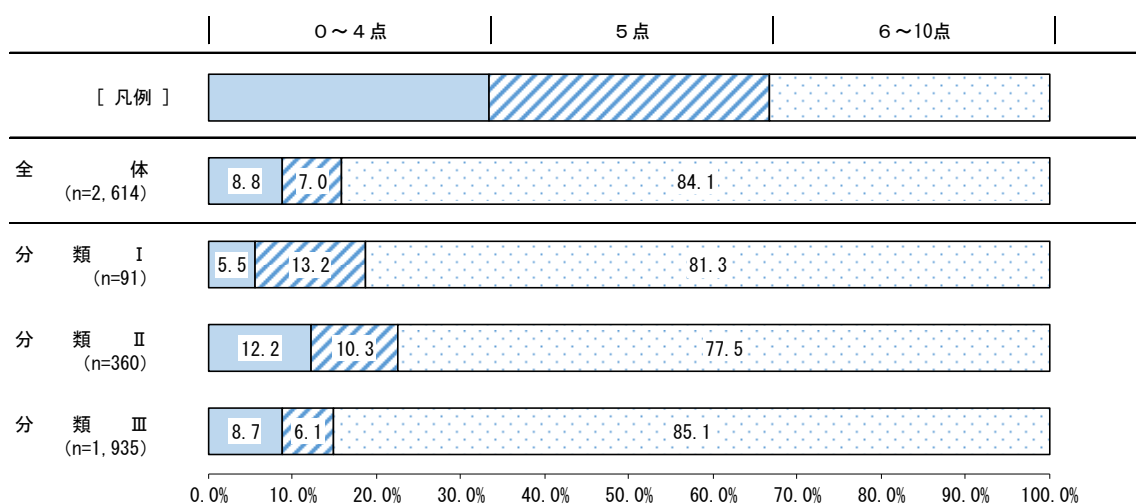
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

経年でみると、「0～4点」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低く、「5点」は『分類Ⅰ』が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 4-302 生活の満足度】（小学校5年生・所得分類別）



<前回調査>【図表 4-303 生活の満足度】（小学校5年生・所得分類別）

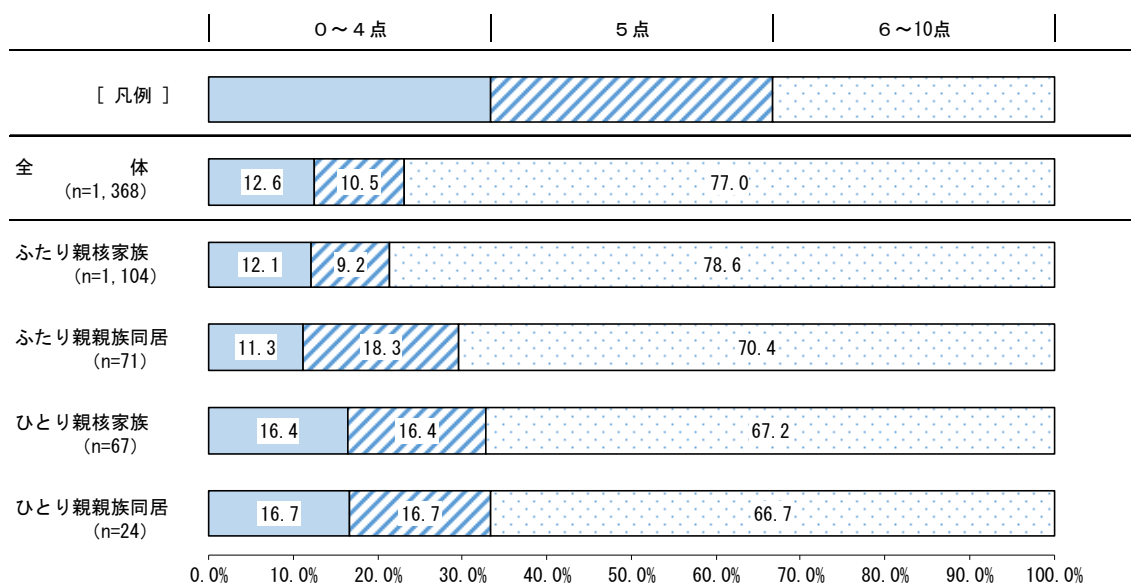


中学校2年生の生活に対する満足度を世帯構成別にみると、「5点」は『ふたり親親族同居』が18.3%、『ひとり親核家族』が16.4%と全体に比べて高くなっている。「6～10点」は『ふたり親親族同居』が70.4%、『ひとり親核家族』が67.2%と全体に比べて低くなっている。

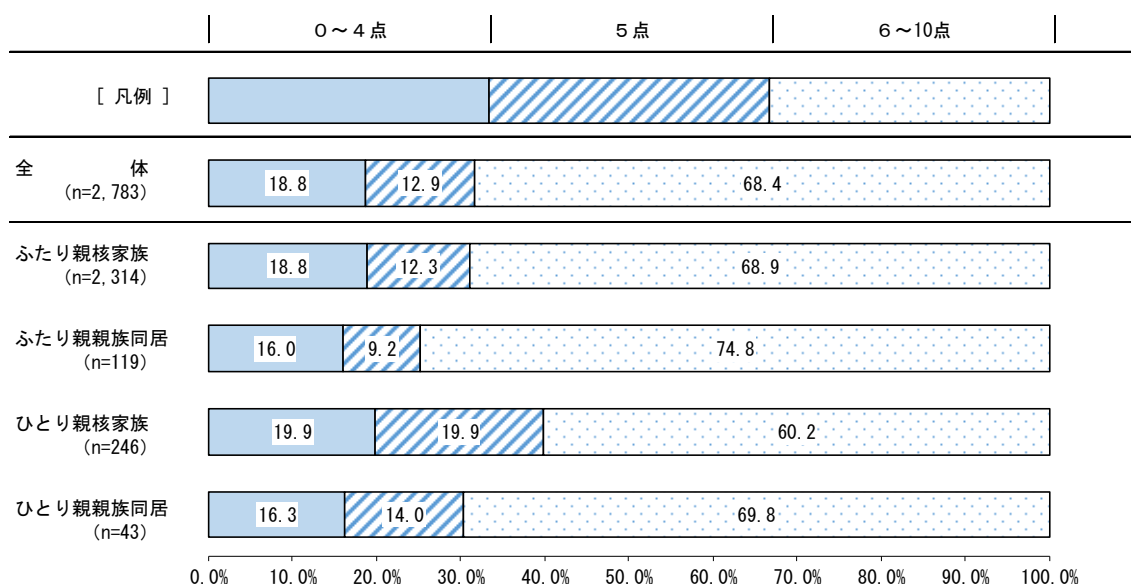
経年でみると、「6～10点」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。「5点」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて高く、「0～4点」は『ふたり親核家族』が低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-304 生活の満足度】(中学校2年生・世帯構成別)

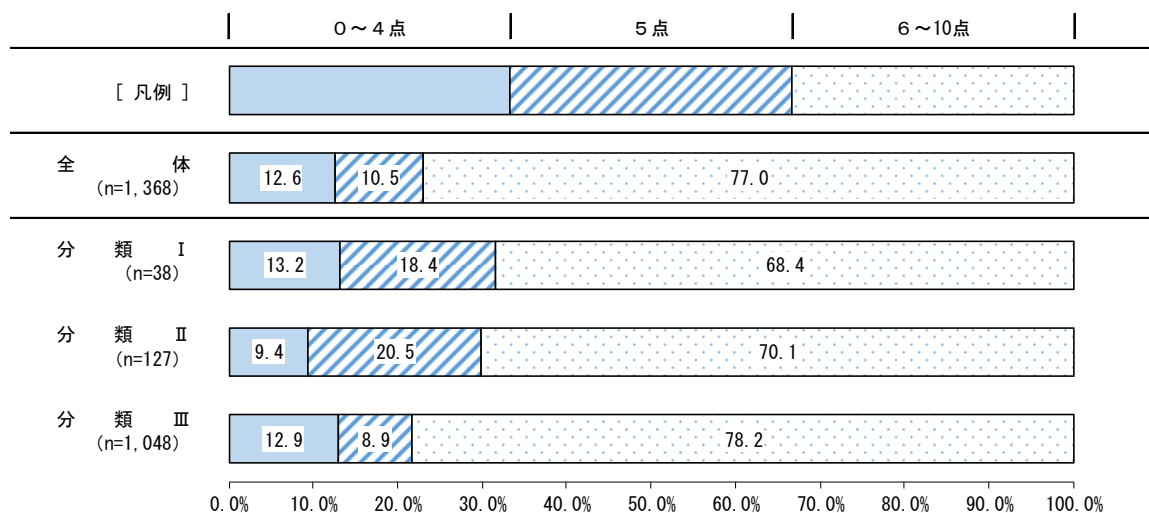


<前回調査>【図表 4-305 生活の満足度】(中学校2年生・世帯構成別)

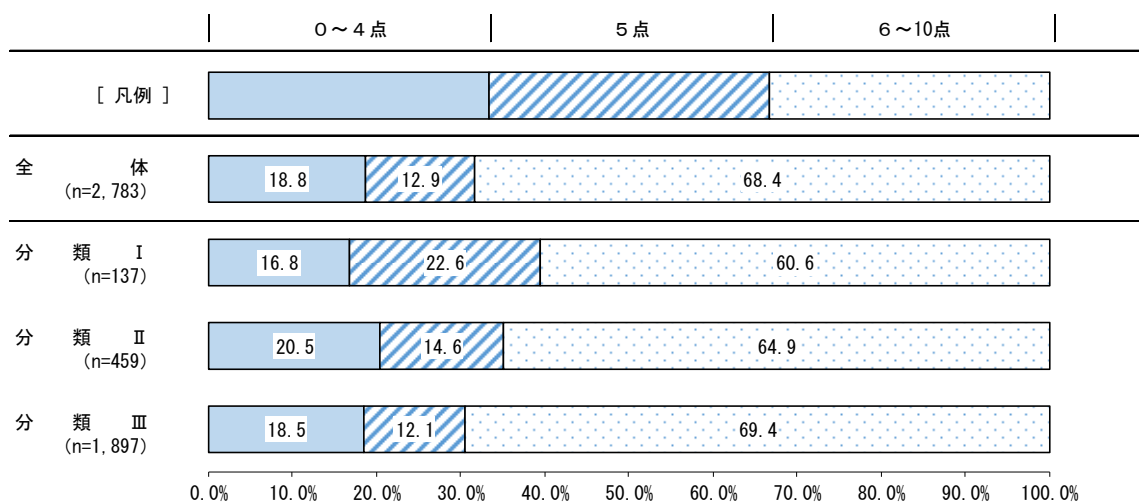


所得分類別にみると、「5点」は『分類Ⅱ』が20.5%と全体に比べて高くなっている。
 経年でみると、「6～10点」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。
 『分類Ⅱ』では「0～4点」が前回調査に比べて低く、「5点」が高くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-306 生活の満足度】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-307 生活の満足度】(中学校2年生・所得分類別)



(2) 将来展望

ア 希望する最終学歴

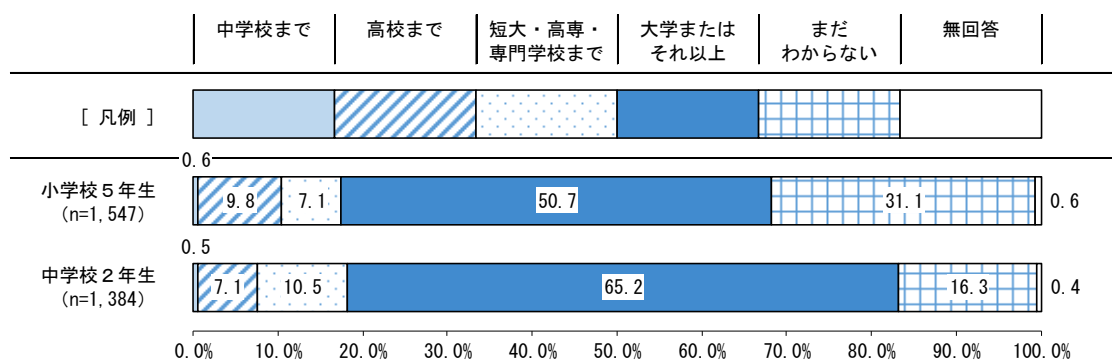
① 希望する最終学歴【問6】(SA)

希望する最終学歴を聞いたところ、小学校5年生では「大学またはそれ以上」が50.7%と最も高く、次いで「まだわからない」が31.1%、「高校まで」が9.8%となっている。

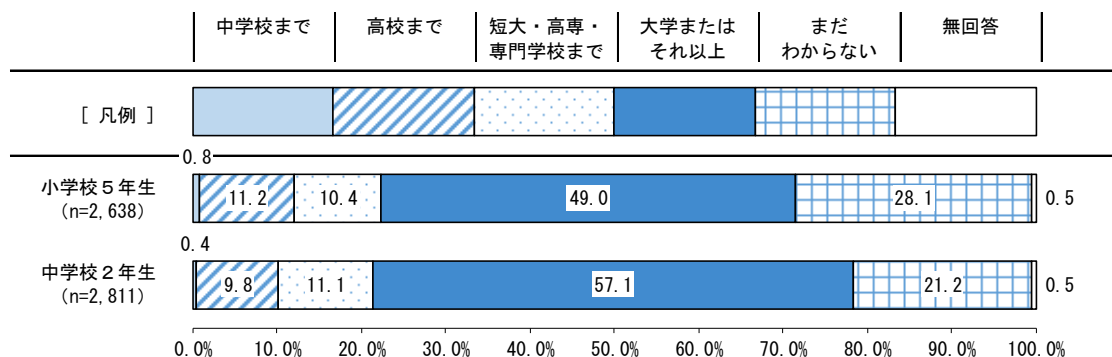
中学校2年生では「大学またはそれ以上」が65.2%と最も高く、次いで「まだわからない」が16.3%、「短大・高専・専門学校まで」が10.5%となっている。

経年でみると、中学校2年生では「大学またはそれ以上」が前回調査に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-308 希望する最終学歴】



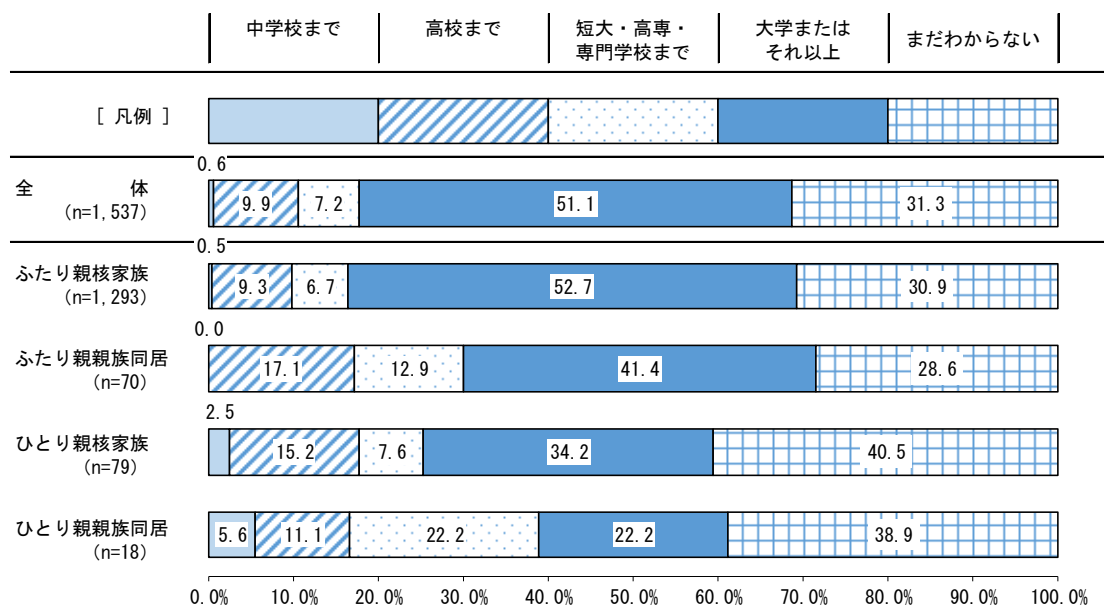
＜前回調査＞【図表 4-309 希望する最終学歴】



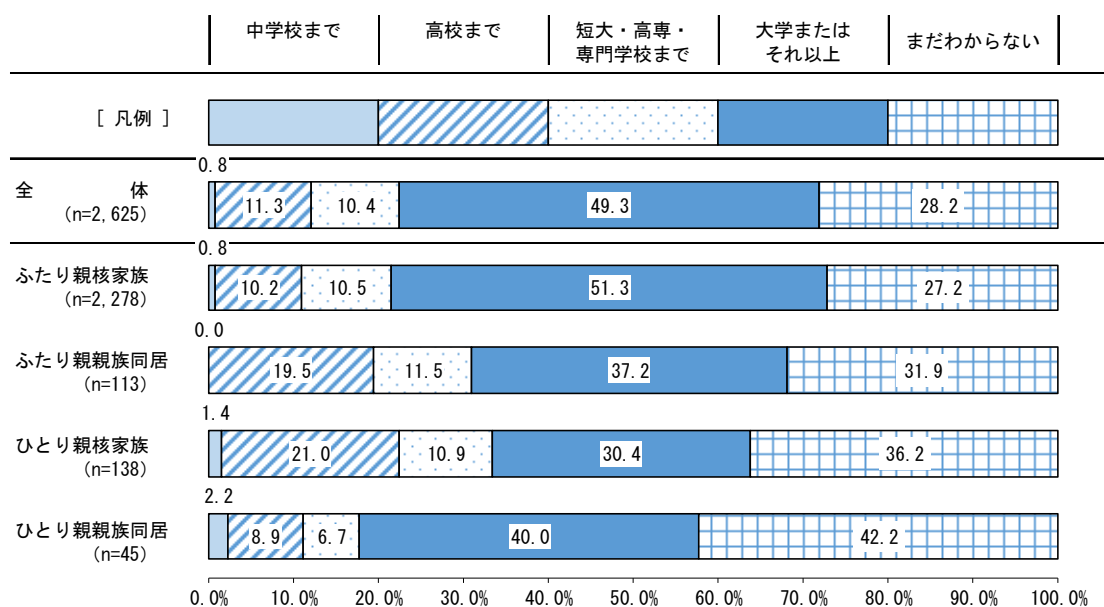
小学校5年生の希望する最終学歴を世帯構成別にみると、「高校まで」は『ふたり親親族同居』が17.1%、『ひとり親核家族』が15.2%と全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』が41.4%、『ひとり親核家族』が34.2%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「高校まで」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-310 希望する最終学歴】(小学校5年生・世帯構成別)



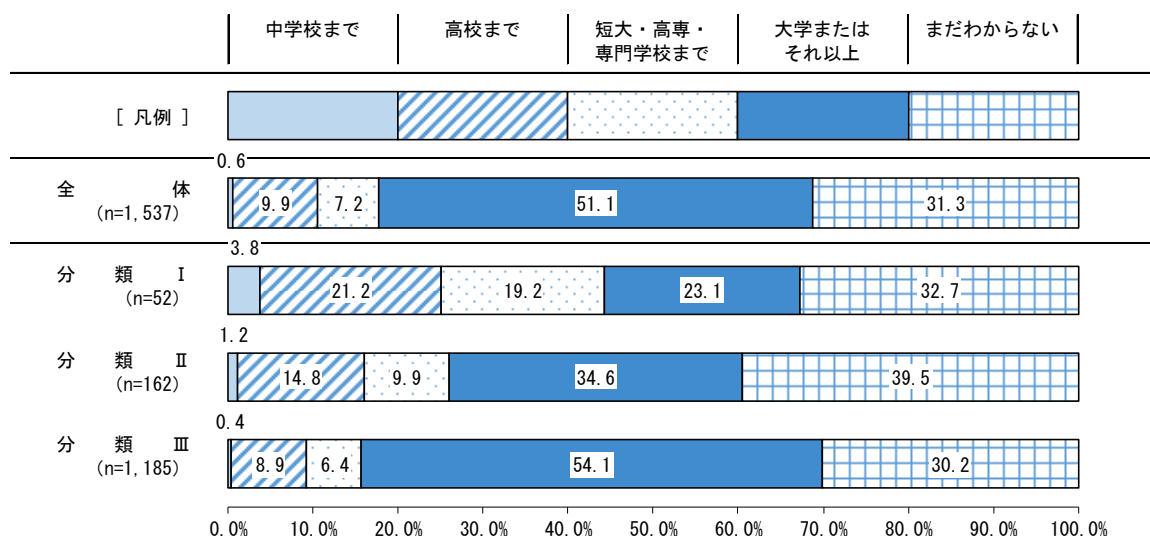
<前回調査>【図表 4-311 希望する最終学歴】(小学校5年生・世帯構成別)



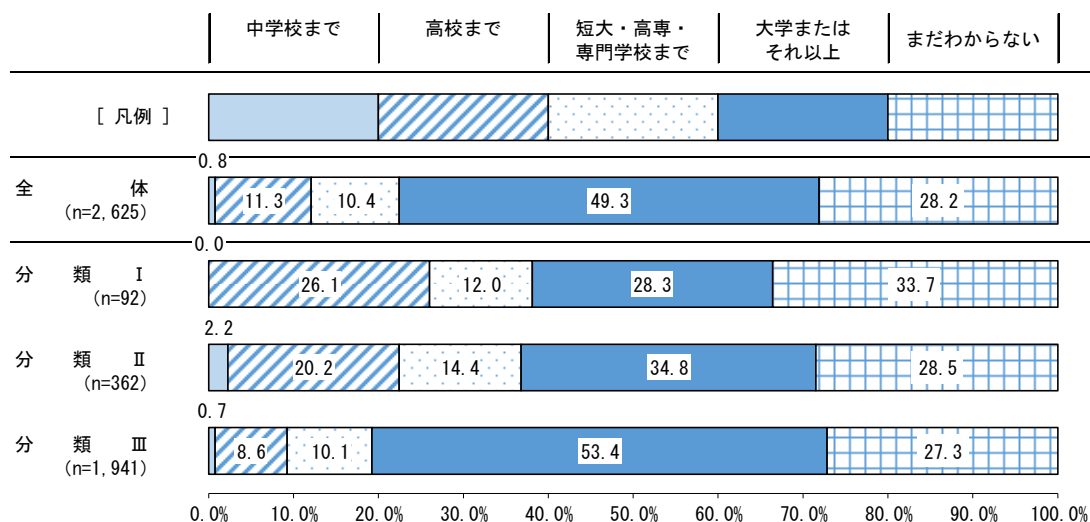
小学校5年生の希望する最終学歴を所得分類別にみると、「高校まで」は『分類Ⅰ』が21.2%と全体に比べて高く「短大・高専・専門学校まで」は『分類Ⅰ』が19.2%と全体に比べて高くなっている。「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』が23.1%、『分類Ⅱ』が34.6%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「高校まで」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低く、「短大・高専・専門学校まで」は『分類Ⅰ』が高くなっている。「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』が低くなっている。

<今回調査>【図表 4-312 希望する最終学歴】(小学校5年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-313 希望する最終学歴】(小学校5年生・所得分類別)

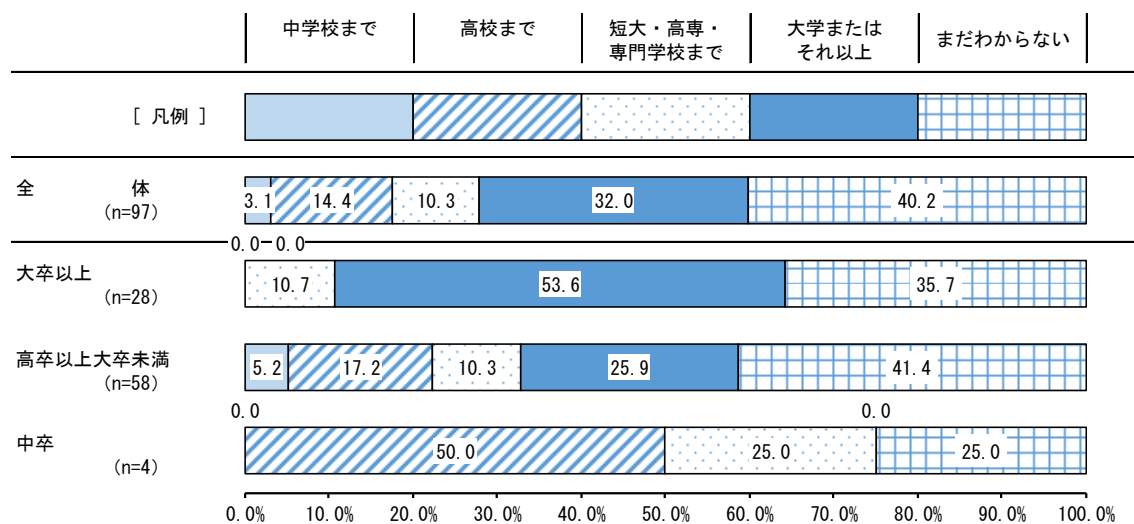


小学校5年生の希望する最終学歴を保護者（ひとり親）の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満』では「大学またはそれ以上」が25.9%と全体に比べて低くなっている。

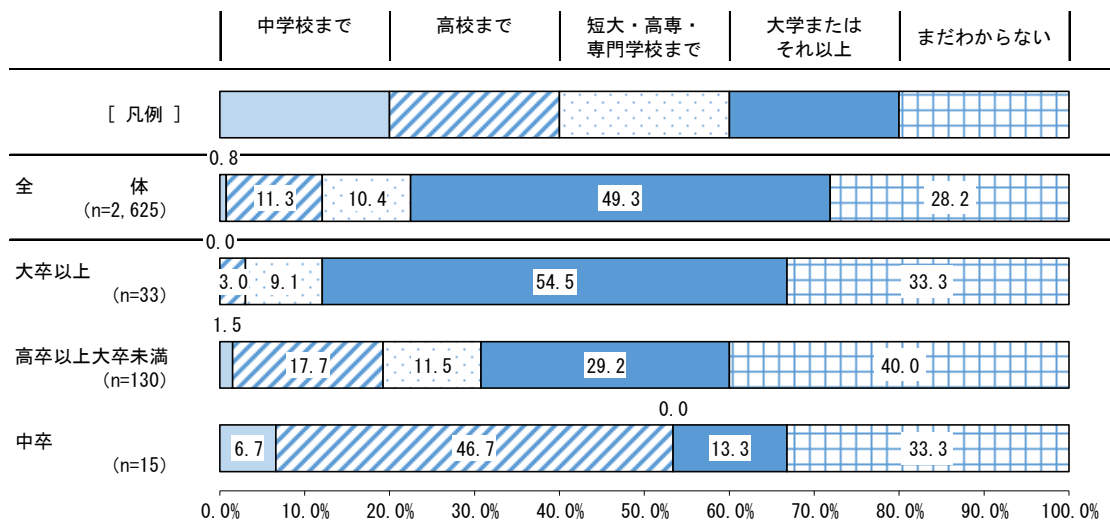
経年でみると、大きな変化はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-314 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）



<前回調査>【図表 4-315 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）

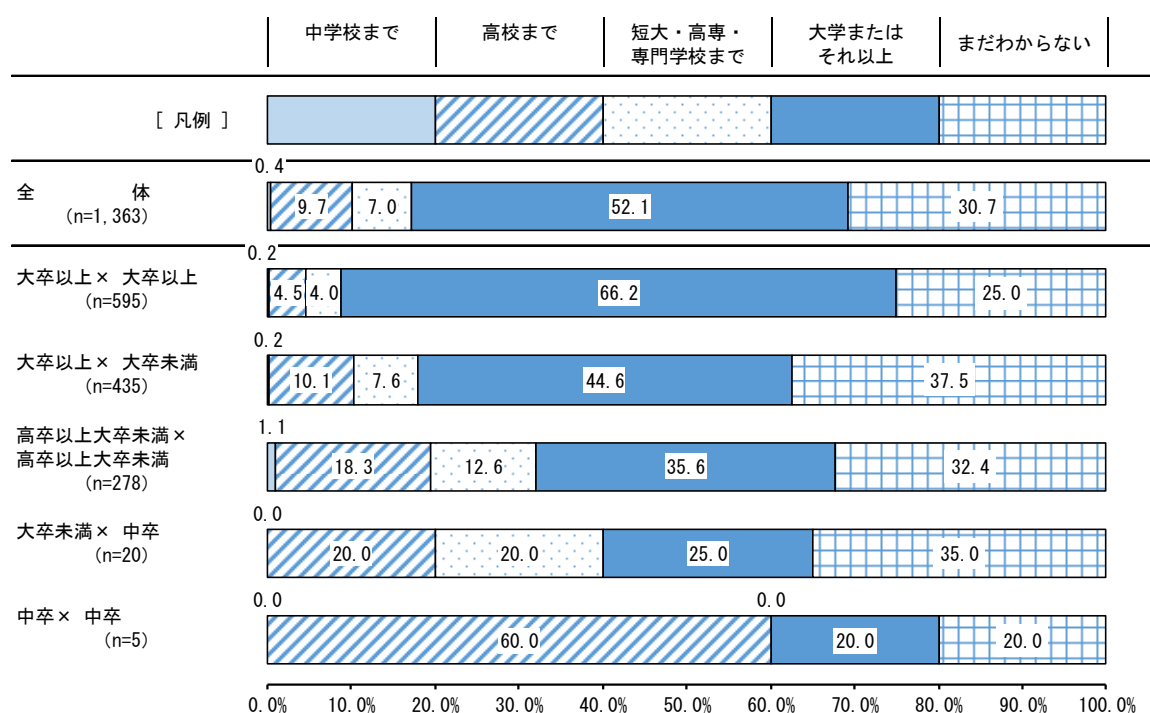


小学校5年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「高校まで」は『大卒以上×大卒以上』が4.5%と全体に比べて低く、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が18.3%と全体に比べて高くなっている。「短大・高専・専門学校まで」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が12.6%と全体に比べて高くなっている。「大学またはそれ以上」は『大卒以上×大卒以上』が66.2%と全体に比べて高く、『大卒以上×大卒未満』が44.6%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が35.6%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『大卒以上×大卒以上』が25.0%と全体に比べて低く、『大卒以上×大卒未満』が37.5%と全体に比べて高くなっている。

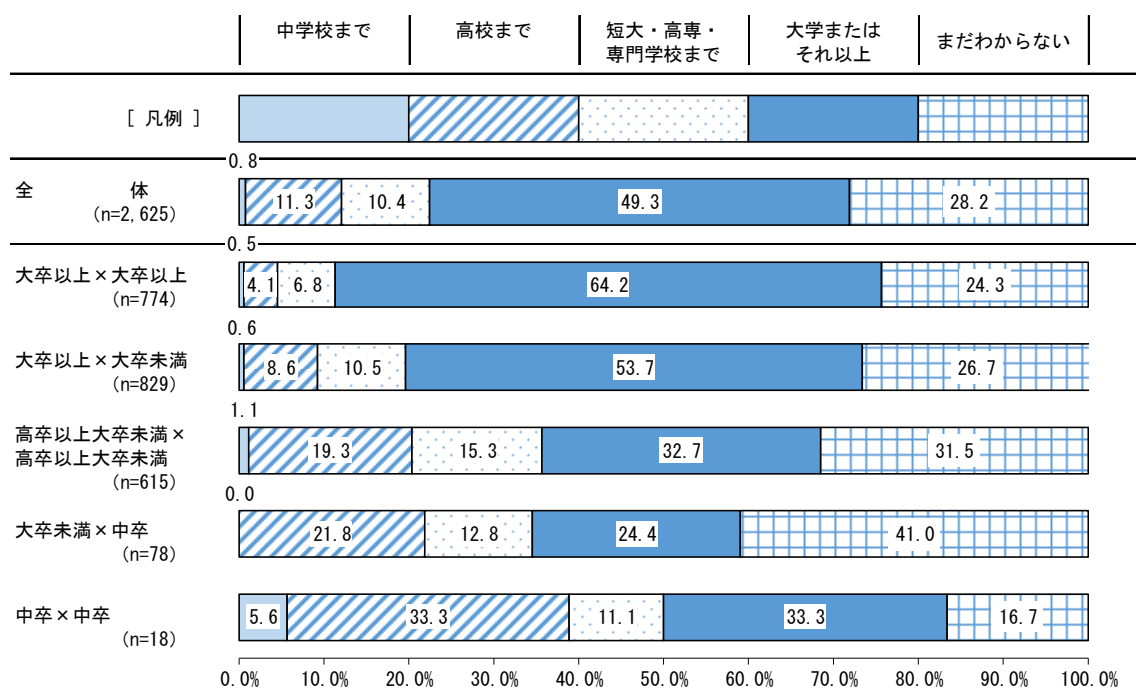
経年でみると、『大卒以上×大卒未満』では「大学またはそれ以上」が前回調査に比べて低く、「まだわからない」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-316 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



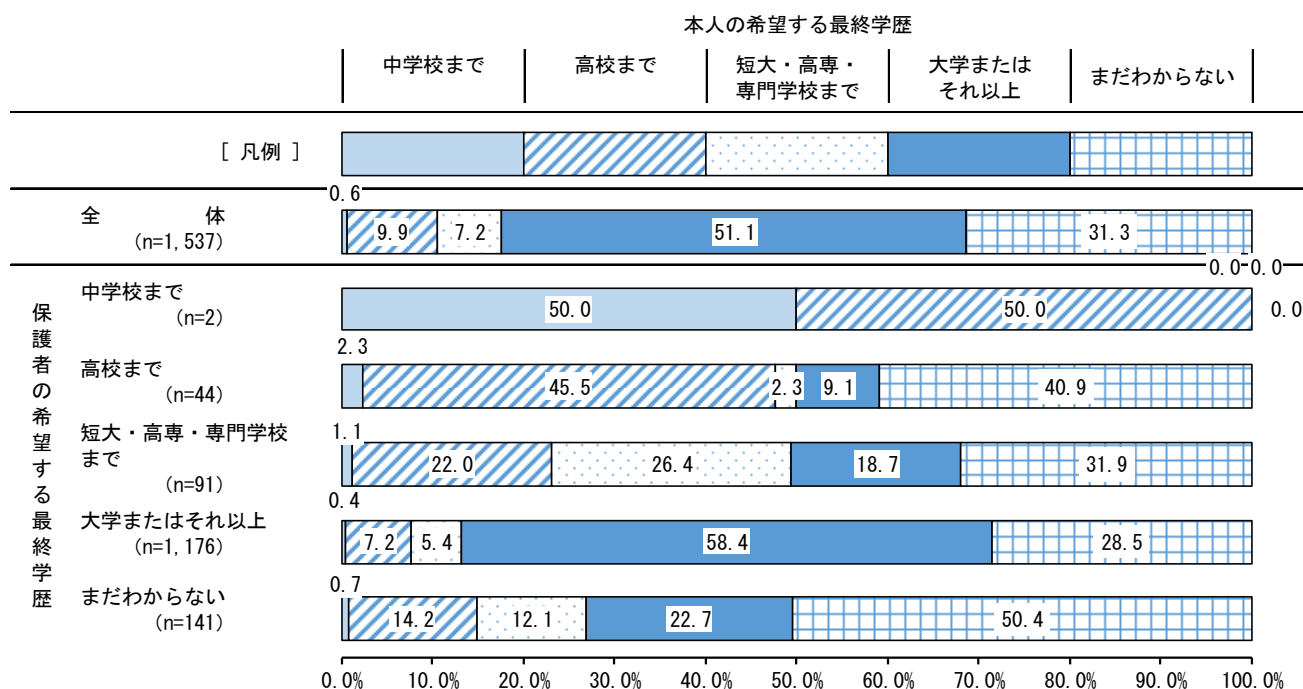
<前回調査>【図表 4-317 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



小学校5年生の希望する最終学歴を、保護者の子どもに希望する最終学歴別にみると、『短大・高卒・専門学校まで（保護者）』では「高校まで」が22.0%、「短大・高専・専門学校まで」が26.4%と全体に比べて高く、「大学またはそれ以上」が18.7%と全体に比べて低くなっている。「大学またはそれ以上」は『大学またはそれ以上（保護者）』が58.4%と全体に比べて高くなっている。また、「まだわからない」は『まだわからない（保護者）』が50.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

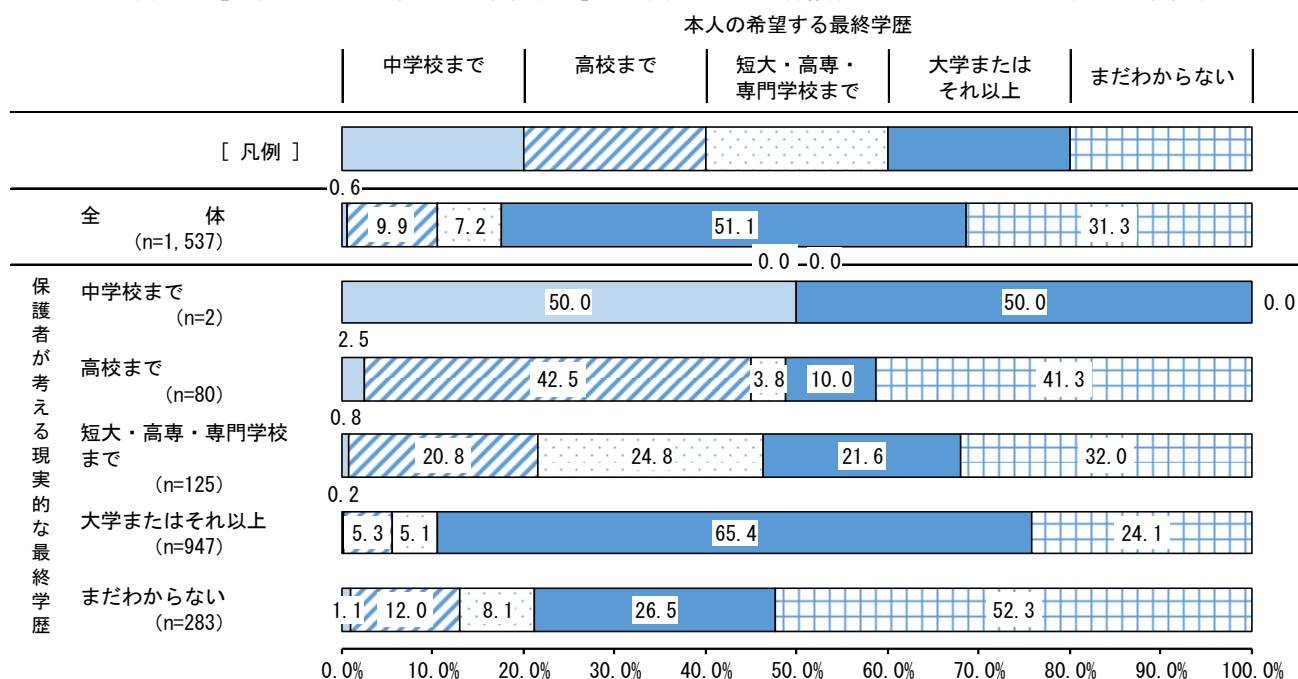
<今回調査>【図表 4-318 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者の子どもに希望する最終学歴別）



小学校5年生の希望する最終学歴を、保護者が考える子どもの現実的な最終学歴別にみると、『高校まで（保護者）』では「高校まで」が42.5%と全体に比べて高く、「大学またはそれ以上」が10.0%と全体に比べて低くなっている。『大学またはそれ以上（保護者）』では「大学またはそれ以上」が65.4%と全体に比べて高く、「まだわからない」が24.1%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『高校まで（保護者）』が41.3%、『まだわからない（保護者）』が52.3%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-319 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者が考える子どもの現実的な最終学歴別）

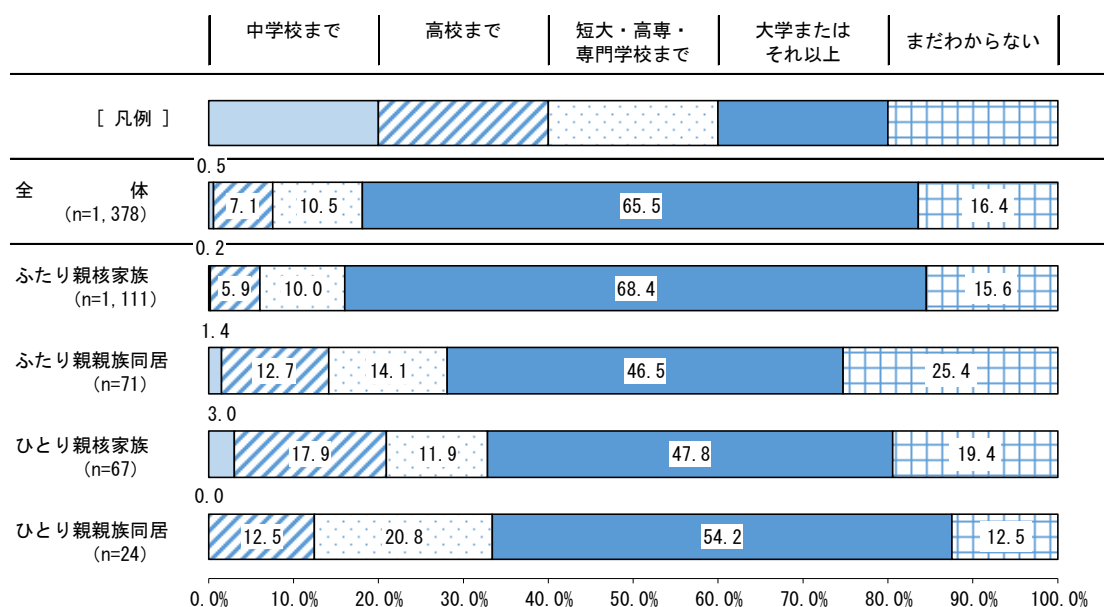


中学校2年生の希望する最終学歴を世帯構成別にみると、「高校まで」は『ふたり親親族同居』が12.7%、『ひとり親核家族』が17.9%と全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』が46.5%、『ひとり親核家族』が47.8%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『ふたり親親族同居』が25.4%と全体に比べて高くなっている。

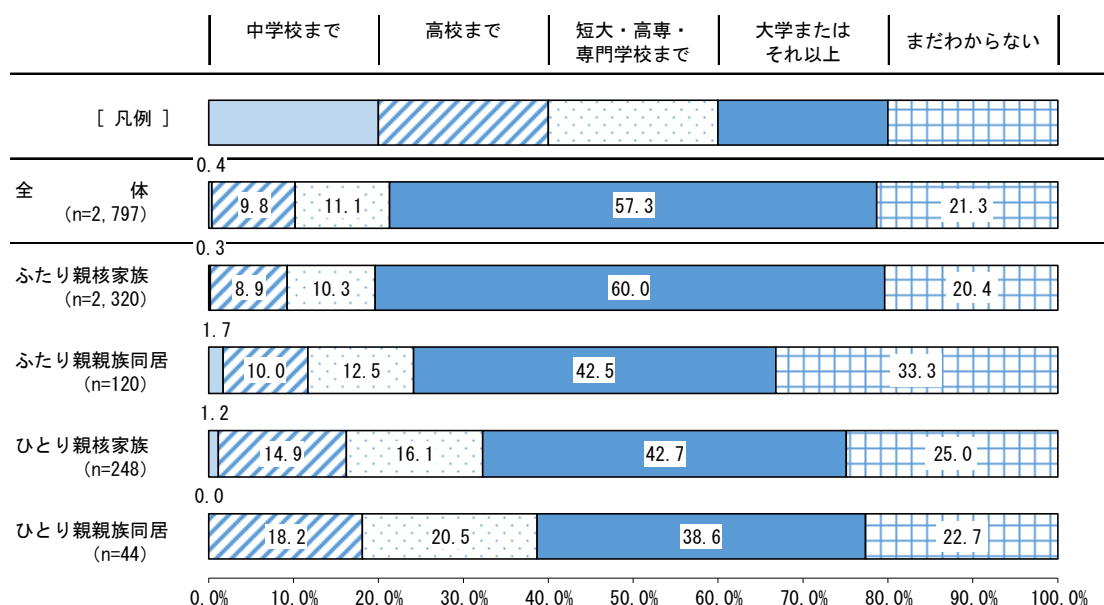
経年でみると、「大学またはそれ以上」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。また、「まだわからない」は『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-320 希望する最終学歴】(中学校2年生・世帯構成別)



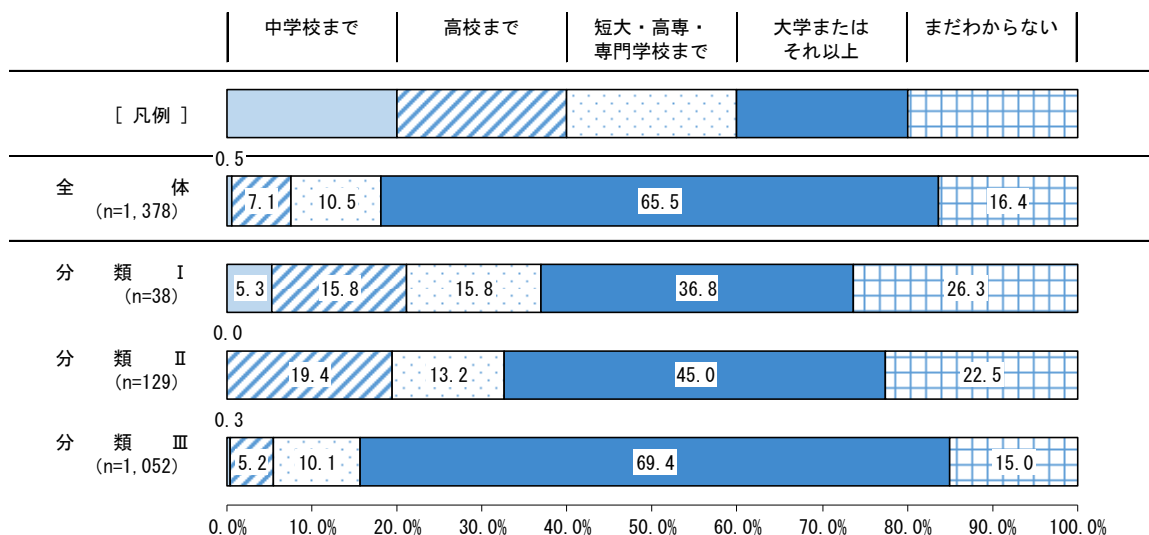
<前回調査>【図表 4-321 希望する最終学歴】(中学校2年生・世帯構成別)



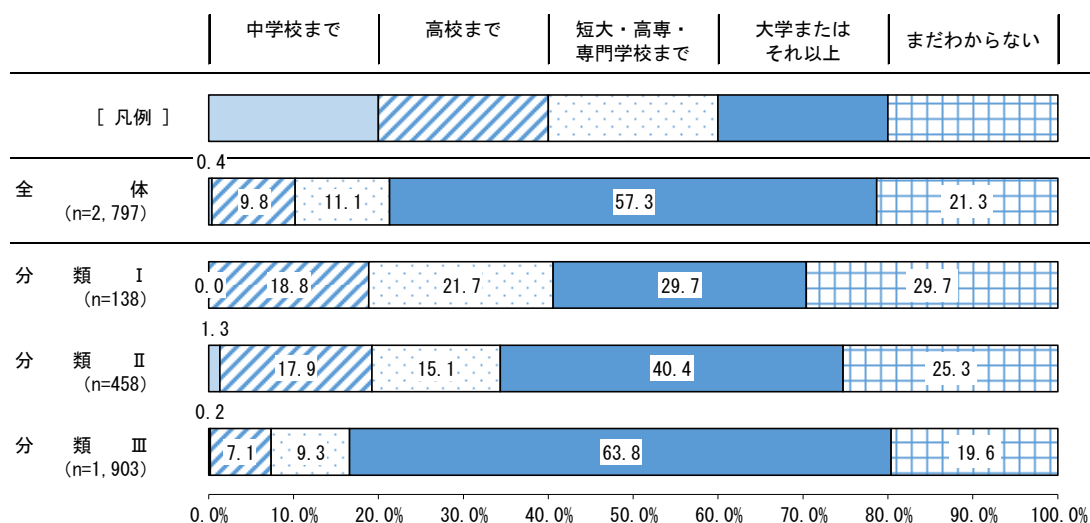
中学校2年生の希望する最終学歴を所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「高校まで」が19.4%と全体に比べて高く、「大学またはそれ以上」が45.0%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『分類Ⅱ』が22.5%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-322 希望する最終学歴】(中学校2年生・所得分類別)



<前回調査>【図表 4-323 希望する最終学歴】(中学校2年生・所得分類別)

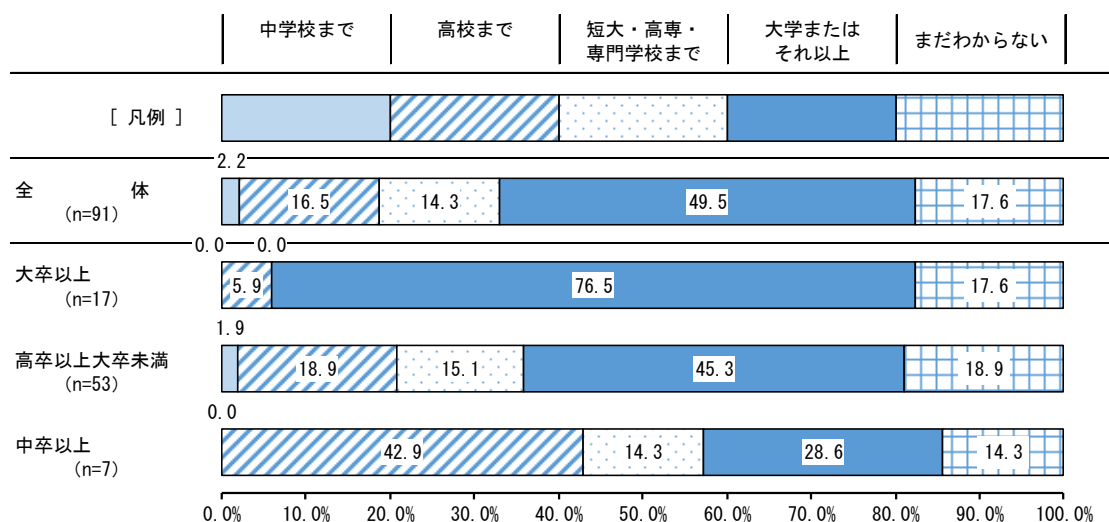


中学校2年生の希望する最終学歴を保護者（ひとり親）の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

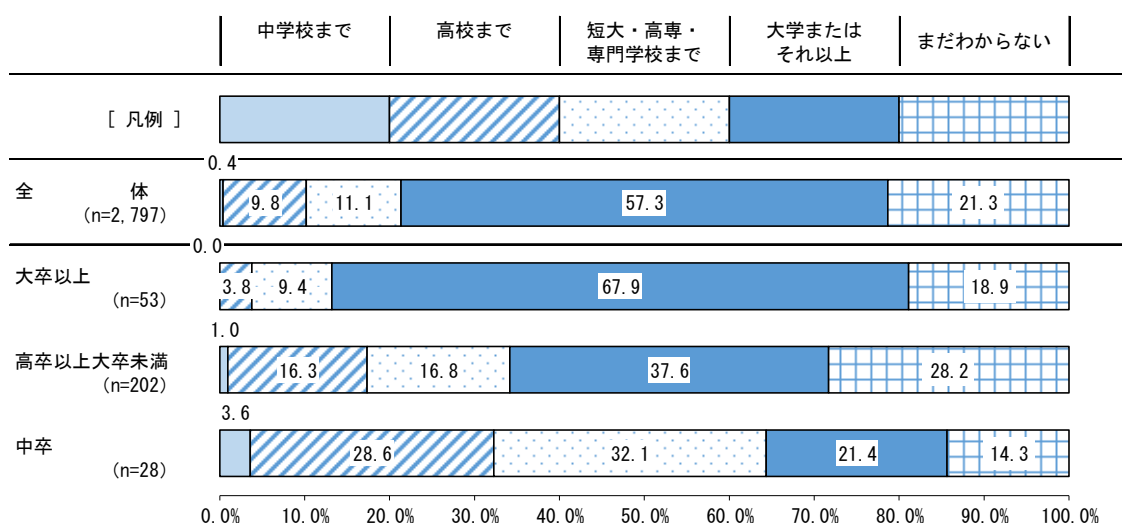
経年でみると、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-324 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）



<前回調査>【図表 4-325 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）



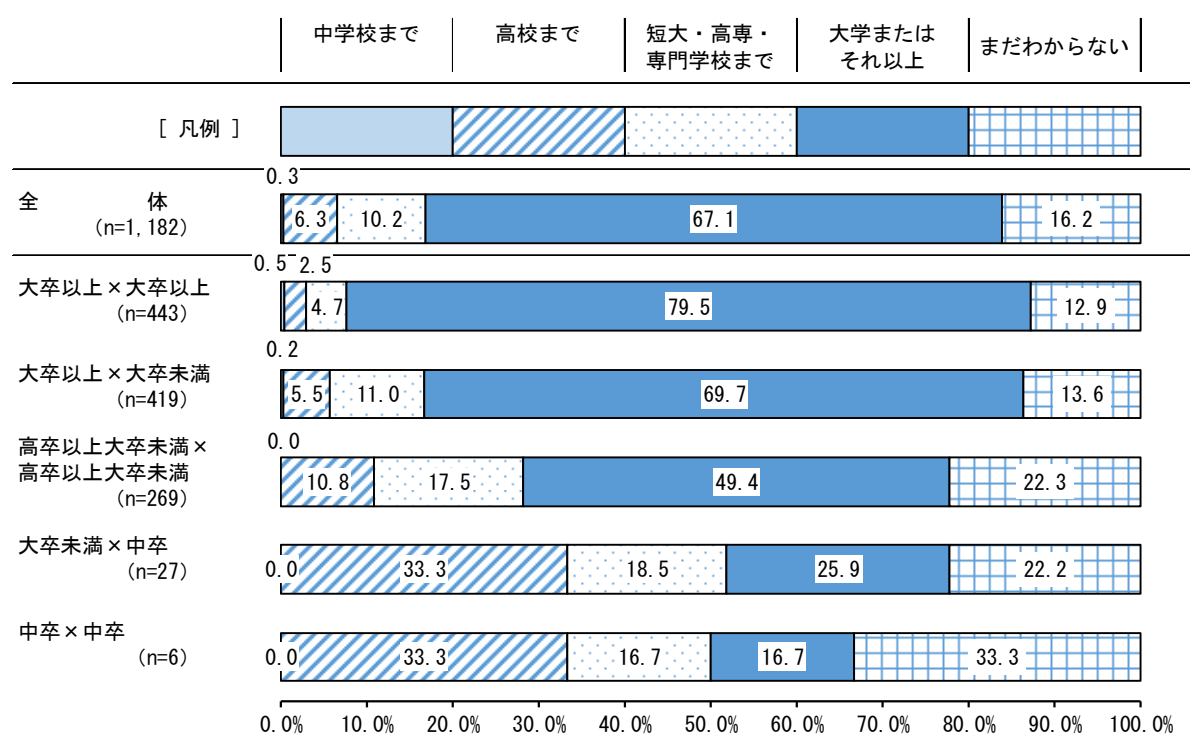
※ページ調整のため余白

中学校2年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「短大・高専・専門学校まで」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が17.5%と、全体に比べて高くなっている。「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が49.4%と全体に比べて低く、『大卒以上×大卒以上』が79.5%と全体に比べて高くなっている。また、「まだわからない」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が22.3%と全体に比べて高くなっている。

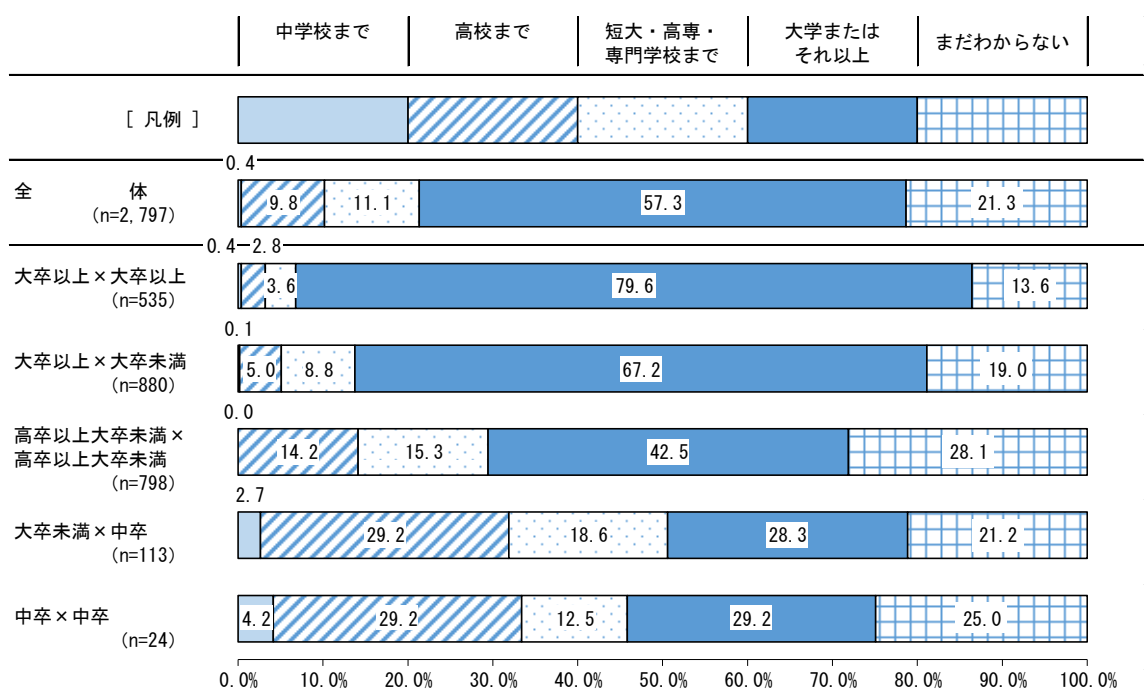
経年でみると、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-326 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



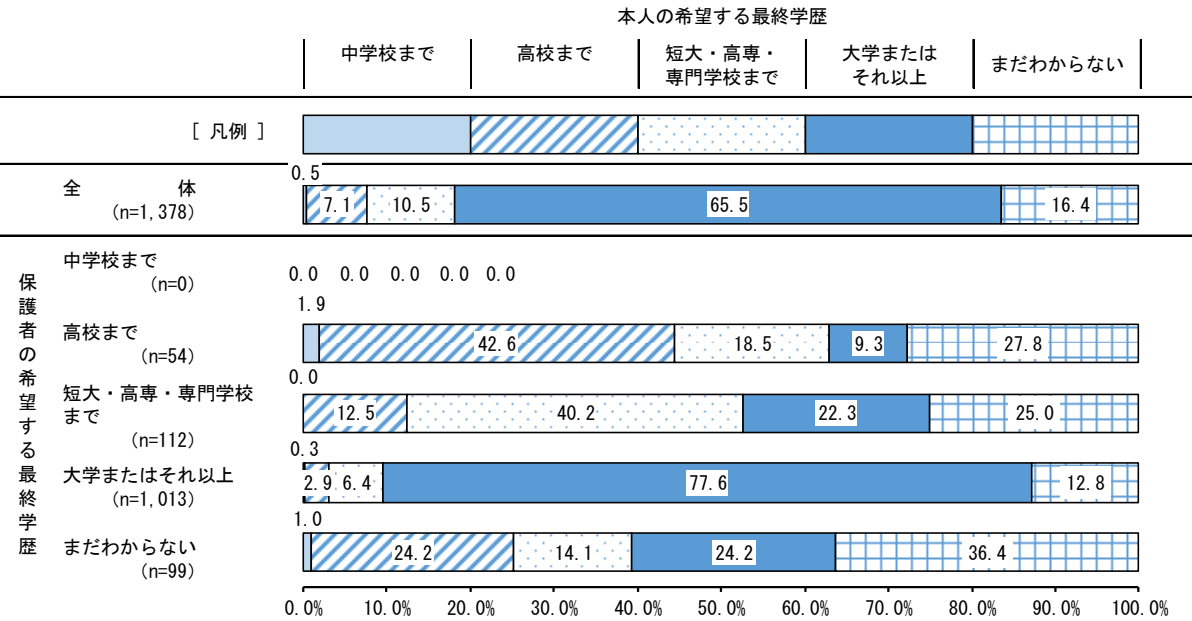
<前回調査>【図表 4-327 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



中学校2年生の希望する最終学歴を、保護者の子どもに希望する最終学歴別にみると、「高校まで」は『高校まで（保護者）』が 42.6%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が 12.5%、『まだわからない』が 24.2%と全体に比べて高くなっている。「短大・高専・専門学校まで」は『高校まで（保護者）』が 18.5%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が 40.2%と全体に比べて高くなっている。「大学またはそれ以上」は『大学またはそれ以上（保護者）』が 77.6%と全体に比べて高く、『高校まで（保護者）』が 9.3%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が 22.3%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『高校まで（保護者）』が 27.8%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が 25.0%、『まだわからない（保護者）』が 36.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-328 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者の子どもに希望する最終学歴別）

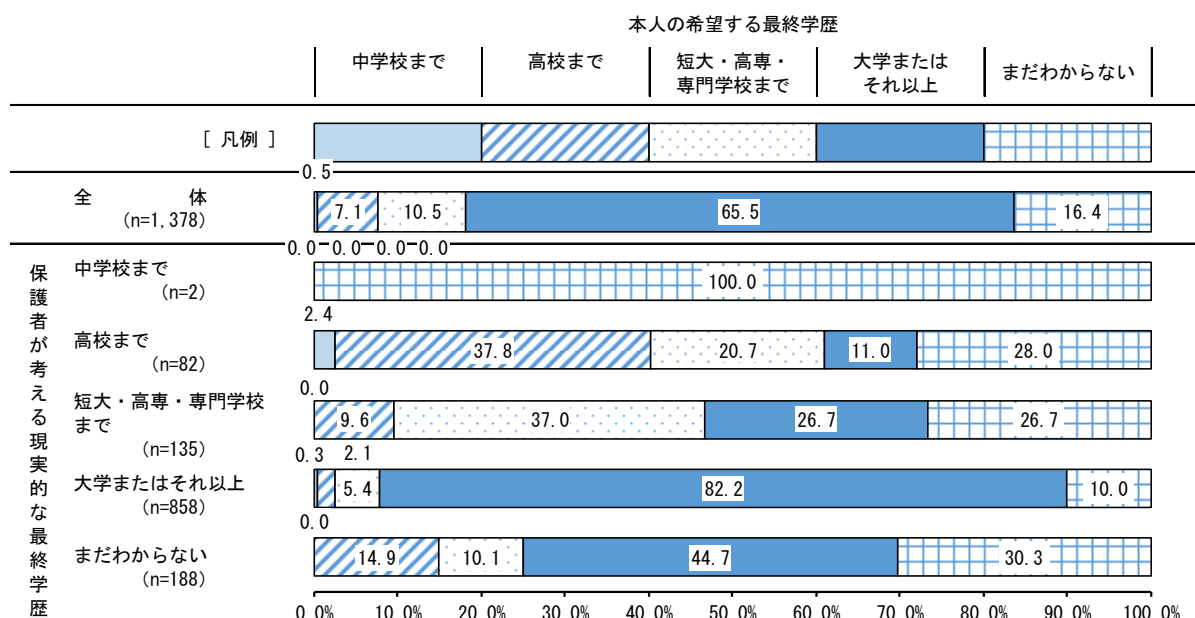


中学校2年生の希望する最終学歴を、保護者の考える子どもの現実的な最終学歴別にみると、「高校まで」は『高校まで（保護者）』が37.8%、『まだわからない（保護者）』が14.9%と全体に比べて高く、『大学またはそれ以上（保護者）』が2.1%と全体に比べて低くなっている。

「短大・高専・専門学校まで」は『高校まで（保護者）』が20.7%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が37.0%と全体に比べて高く、『大学またはそれ以上（保護者）』が5.4%と全体に比べて低くなっている。「大学またはそれ以上」は『大学またはそれ以上（保護者）』が82.2%と全体に比べて高く、『高校まで（保護者）』が11.0%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が26.7%、『まだわからない（保護者）』が44.7%と全体に比べて低くなっている。また、「まだわからない」は『高校まで（保護者）』が28.0%、『短大・高専・専門学校まで（保護者）』が26.7%、『まだわからない（保護者）』が30.3%と全体に比べて高く、『大学またはそれ以上（保護者）』が10.0%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-329 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者が考える子どもの現実的な最終学歴別）



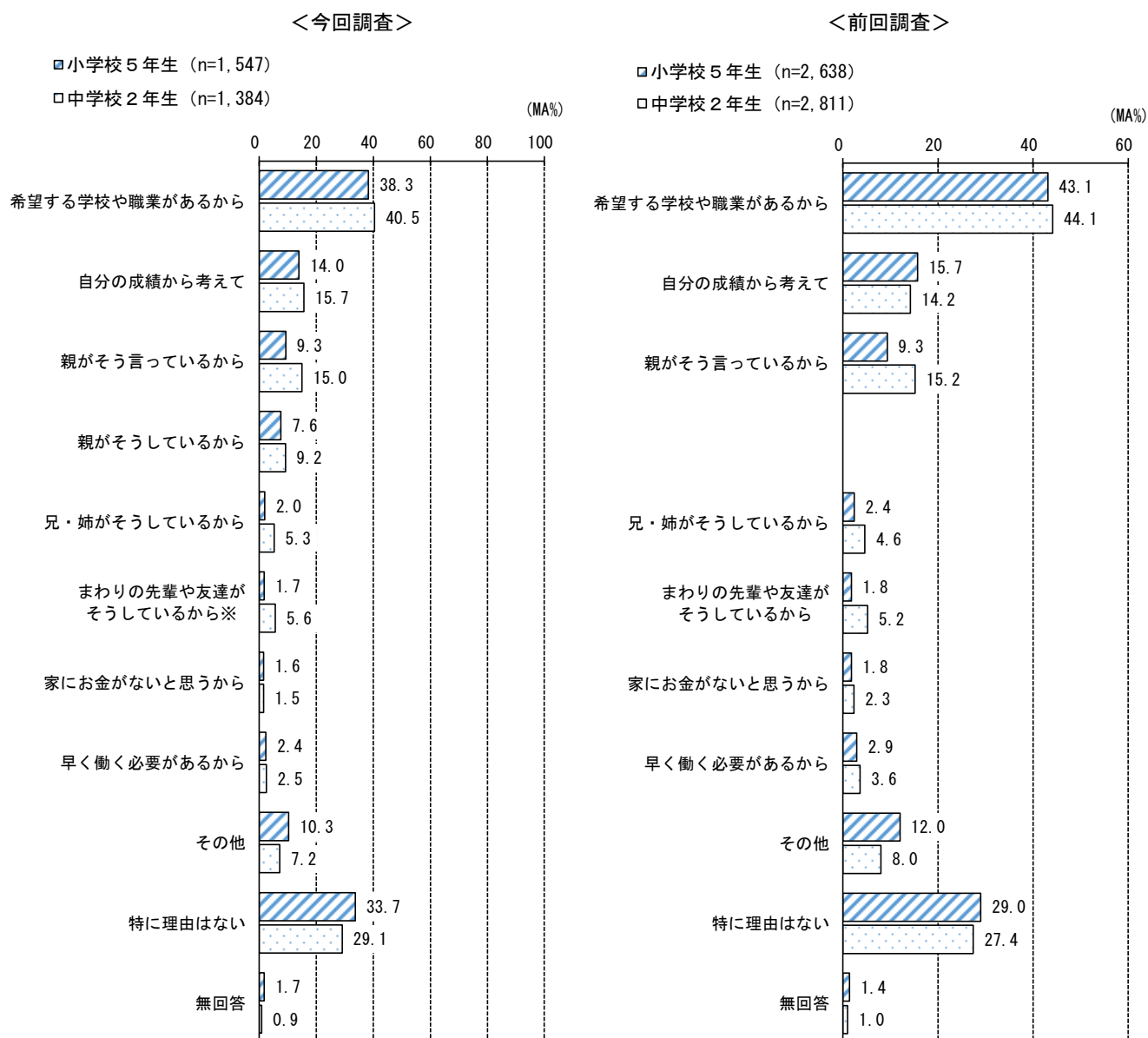
② 希望する最終学歴の理由【問7】(MA)

希望する最終学歴の理由を複数回答で聞いたところ、「希望する学校や職業があるから」(小学校5年生:38.3%、中学校2年生:40.5%)が最も高く、次いで「自分の成績から考えて」(小学校5年生:14.0%、中学校2年生:15.7%)、「親がそう言っているから」(小学校5年生:9.3%、中学校2年生:15.0%)となっている。

一方、「特に理由はない」は小学校5年生が33.7%、中学校2年生が29.1%となっている。経年でみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 4-330 希望する最終学歴の理由(複数回答)】



※小学校5年生:「まわりの友達がそうしているから」

※ページ調整のため余白

小学校5年生の希望する最終学歴の理由を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「希望する学校や職業があるから」が24.4%と全体に比べて低く、「自分の成績から考えて」が19.2%と全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『分類Ⅰ』が19.2%、『分類Ⅱ』が33.5%と全体に比べて低く、「親がそうしているから」は『分類Ⅰ』が1.9%と全体に比べて低くなっている。「兄・姉がそうしているから」は『分類Ⅰ』が9.6%と全体に比べて高くなっている。

希望する学歴別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『短大・高専・専門学校まで』が67.3%、『大学またはそれ以上』が55.2%と全体に比べて高く、『高校まで』が33.8%、『まだわからない』が7.7%と全体に比べて低くなっている。「自分の成績から考えて」は『高校まで』が21.9%と全体に比べて高くなっている。「親がそう言っているから」は『大学またはそれ以上』が15.4%と全体に比べて高く、『まだわからない』が1.9%と全体に比べて低くなっている。「親がそうしているから」は『大学またはそれ以上』が13.6%と全体に比べて高く、『高校まで』が2.0%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、世帯構成別では、「希望する学校や職業があるから」は『ふたり親核家族』『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。「自分の成績から考えて」「親がそう言っているから」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。

所得分類別では、「希望する学校や職業があるから」は『分類Ⅰ』『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。

希望する学歴別では、「希望する学校や職業があるから」は『高校まで』が前回調査に比べて高く、『短大・高専・専門学校まで』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-331 希望する最終学歴の理由（複数回答）】

（小学校５年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

単位：％

		母数 (n)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	親がそうしているから	兄・姉がそうしているから	まわりの友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない
全体		1,520	38.9	14.2	9.5	7.7	2.0	1.8	1.6	2.4	10.5	34.3
世帯構成	ふたり親核家族	1,282	39.8	14.0	9.4	7.8	1.9	2.0	1.2	2.3	10.7	34.2
	ふたり親親族同居	70	40.0	12.9	10.0	11.4	－	1.4	4.3	4.3	▼ 4.3	34.3
	ひとり親核家族	78	▼ 24.4	△ 19.2	11.5	3.8	5.1	－	5.1	3.8	12.8	33.3
	ひとり親親族同居	16	▼ 31.3	12.5	6.3	6.3	－	6.3	6.3	△ 12.5	6.3	△ 43.8
所得分類	分類Ⅰ	52	▼ 19.2	15.4	7.7	▼ 1.9	△ 9.6	－	5.8	5.8	5.8	△ 42.3
	分類Ⅱ	158	▼ 33.5	15.8	8.2	8.2	2.5	2.5	1.9	3.2	△ 15.8	32.9
	分類Ⅲ	1,176	40.4	14.4	10.0	8.2	1.4	1.9	1.5	2.4	9.9	33.8
希望する学歴	中学校まで	8	－	△ 62.5	－	－	－	－	－	－	△ 25.0	▼ 25.0
	高校まで	151	▼ 33.8	△ 21.9	6.0	▼ 2.0	2.0	2.6	5.3	7.3	▼ 4.6	32.5
	短大・高専・専門学校まで	110	△ 67.3	11.8	5.5	7.3	3.6	－	1.8	6.4	▼ 3.6	▼ 14.5
	大学またはそれ以上	781	△ 55.2	13.4	△ 15.4	△ 13.6	2.7	2.8	1.0	1.8	10.8	▼ 17.9
	まだわからない	470	▼ 7.7	12.8	▼ 1.9	－	0.6	0.2	1.3	1.1	13.2	△ 66.8

＜前回調査＞【図表 4-332 希望する最終学歴の理由（複数回答）】

（小学校５年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

単位：％

		母数 (n)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから		兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない
全体		2,602	43.7	15.9	9.5		2.4	1.8	1.8	2.9	12.1	29.4
世帯構成	ふたり親核家族	2,262	44.8	16.0	9.6		2.5	1.9	1.5	2.7	12.0	28.7
	ふたり親親族同居	112	▼ 37.5	14.3	8.9		－	1.8	0.9	5.4	△ 17.9	△ 34.8
	ひとり親核家族	138	▼ 33.3	13.8	5.8		5.1	1.4	5.8	5.8	10.9	34.1
	ひとり親親族同居	41	▼ 36.6	17.1	△ 14.6		－	2.4	4.9	2.4	▼ 4.9	△ 41.5
所得分類	分類Ⅰ	89	▼ 27.0	14.6	5.6		△ 7.9	2.2	3.4	△ 9.0	▼ 2.2	△ 44.9
	分類Ⅱ	359	39.6	16.7	9.7		2.5	2.2	2.8	3.3	11.4	29.8
	分類Ⅲ	1,927	45.3	15.5	9.8		2.0	1.7	1.3	2.5	12.5	28.8
希望する学歴	中学校まで	21	▼ 19.0	△ 28.6	－		4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	△ 42.9
	高校まで	294	▼ 27.9	20.1	8.2		3.4	2.7	5.8	6.8	10.9	31.6
	短大・高専・専門学校まで	273	△ 78.4	14.3	5.9		2.6	1.5	2.6	3.7	▼ 3.7	▼ 8.8
	大学またはそれ以上	1,291	△ 59.7	14.9	△ 15.1		3.5	2.5	1.1	2.9	13.2	▼ 15.3
	まだわからない	720	▼ 9.2	16.3	▼ 1.5		0.0	0.4	1.3	1.3	13.9	△ 61.1

中学校2年生の希望する最終学歴の理由を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』では「自分の成績から考えて」が8.5%、「親がそうしているから」が4.2%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。『ひとり親核家族』では「親がそう言っているから」が6.2%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『分類Ⅱ』が34.4%と全体に比べて低くなっている。

希望する学歴別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『短大・高専・専門学校まで』が69.0%、『大学またはそれ以上』が46.2%と全体に比べて高く、『高校まで』が25.0%、『まだわからない』が8.2%と全体に比べて低くなっている。「自分の成績から考えて」は『高校まで』が27.1%と全体に比べて高くなっている。「親がそう言っているから」は『高校まで』が9.4%、『短大・高専・専門学校まで』が9.7%、『まだわからない』が2.3%と全体に比べて低く、「親がそうしているから」は『高校まで』が1.0%、『短大・高専・専門学校まで』が2.8%、『まだわからない』が0.9%と全体に比べて低くなっている。「まわりの友達がそうしているから」は『短大・高専・専門学校まで』が0.7%と全体に比べて低くなっている。「早く働く必要があるから」は『高校まで』が10.4%と全体に比べて高くなっている。

経年でみると、世帯構成別では、「自分の成績から考えて」は『ふたり親親族同居』が前回調査に比べて低く、『ひとり親核家族』が前回調査に比べて高くなっている。「親がそう言っているから」は『ひとり親核家族』が前回調査に比べて低くなっている。

所得分類別では、「希望する学校や職業があるから」は『分類Ⅱ』が前回調査に比べて低くなっている。

希望する学歴別では、「希望する学校や職業があるから」は『短大・高専・専門学校まで』、『大学またはそれ以上』が前回調査に比べて低くなっている。「自分の成績から考えて」は『大学またはそれ以上』が前回調査に比べて高く、『まだわからない』が前回調査に比べて低くなっている。「親がそう言っているから」は『高校まで』が前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-333 希望する最終学歴の理由（複数回答）】

（中学校２年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

単位：％

		母数 (n)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	親がそうしているから	兄・姉がそうしているから	まわりの友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない
全体		1,371	40.9	15.8	15.2	9.3	5.3	5.7	1.5	2.5	7.2	29.4
世帯構成	ふたり親核家族	1,107	41.1	15.4	16.5	9.9	5.9	5.9	1.1	1.9	7.6	29.2
	ふたり親親族同居	71	36.6 ▼	8.5	12.7 ▼	4.2	4.2	4.2	2.8	4.2	8.5 △	36.6
	ひとり親核家族	65	43.1	20.0 ▼	6.2	7.7	3.1	6.2	4.6	6.2 ▼	1.5	26.2
	ひとり親親族同居	24	41.7 △	25.0 ▼	8.3 ▼	4.2	4.2 △	12.5	4.2	-	4.2	29.2
所得分類	分類Ⅰ	37	▼ 32.4	16.2	13.5	5.4	2.7	8.1	5.4	5.4	10.8	△ 37.8
	分類Ⅱ	128	▼ 34.4	18.0	14.8	4.7	3.9	6.3	4.7	3.9	6.3	33.6
	分類Ⅲ	1,048	42.0	15.6	16.0	10.1	5.9	5.4	1.0	1.8	7.3	28.2
希望する学歴	中学校まで	6	▼ 33.3	-	-	-	-	-	△ 16.7	-	△ 16.7	33.3
	高校まで	96	▼ 25.0	△ 27.1	▼ 9.4	▼ 1.0	3.1	2.1	5.2	△ 10.4	6.3	33.3
	短大・高専・専門学校まで	145	△ 69.0	13.8	▼ 9.7	▼ 2.8	4.1	▼ 0.7	2.1	4.1	4.8	▼ 11.0
	大学またはそれ以上	902	△ 46.2	14.6	19.8	13.2	6.9	8.1	0.8	1.9	7.0	▼ 22.8
	まだわからない	220	▼ 8.2	17.3	▼ 2.3	▼ 0.9	0.9	0.9	2.3	0.5	10.0	△ 66.8

＜前回調査＞【図表 4-334 希望する最終学歴の理由（複数回答）】

（中学校２年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

単位：％

		母数 (n)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから		兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない
全体		2,784	44.5	14.3	15.3		4.6	5.2	2.4	3.7	8.1	27.7
世帯構成	ふたり親核家族	2,309	45.1	14.2	15.7		4.9	5.3	1.9	3.5	8.4	27.5
	ふたり親親族同居	119	▼ 39.5	16.0	▼ 8.4		2.5	7.6	1.7	5.0	5.0	△ 35.3
	ひとり親核家族	247	43.3	15.0	15.0		4.9	3.2	7.3	4.5	8.9	24.3
	ひとり親親族同居	44	▼ 38.6	13.6	15.9		-	6.8	-	4.5	-	31.8
所得分類	分類Ⅰ	138	41.3	16.7	▼ 7.2		2.9	1.4	4.3	6.5	3.6	△ 33.3
	分類Ⅱ	455	42.2	18.5	17.6		4.4	6.8	5.7	3.5	9.2	25.3
	分類Ⅲ	1,893	45.6	13.5	15.7		4.6	5.3	1.5	3.1	8.3	27.7
希望する学歴	中学校まで	11	▼ 27.3	△ 27.3	-		-	-	△ 9.1	△ 18.2	△ 36.4	▼ 9.1
	高校まで	274	▼ 29.6	△ 28.1	15.7		3.3	7.3	6.2	6.6	5.5	28.1
	短大・高専・専門学校まで	311	△ 76.5	△ 10.6	▼ 7.7		2.3	2.6	2.3	5.1	3.9	▼ 9.0
	大学またはそれ以上	1,601	△ 52.8	▼ 8.3	△ 21.4		6.9	6.9	1.1	3.7	8.5	▼ 22.1
	まだわからない	587	▼ 12.3	△ 25.9	▼ 2.9		0.3	1.0	3.9	1.0	9.9	△ 53.0

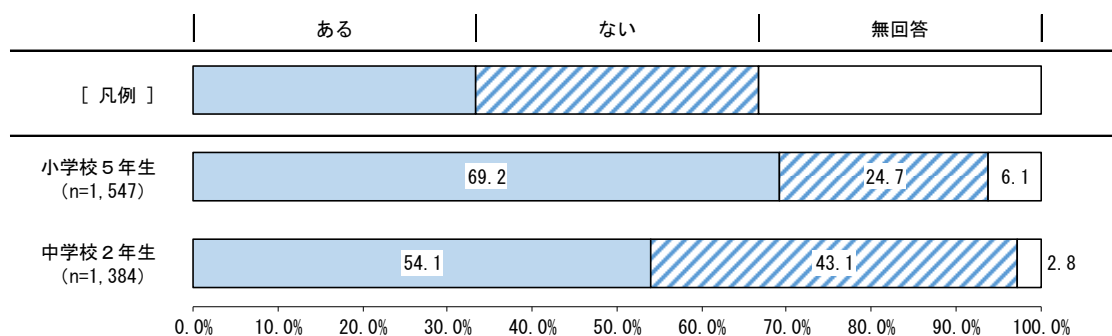
イ 将来の夢やつきたい職業

① 将来の夢やつきたい職業の有無【問8】(SA)

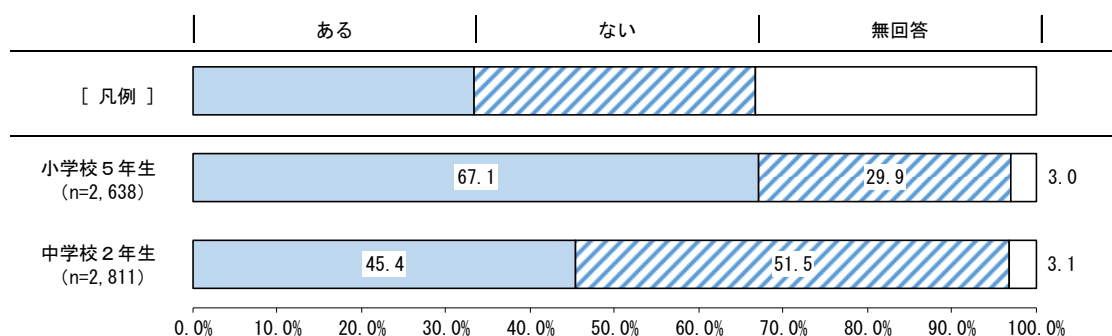
将来の夢やつきたい職業の有無を聞いたところ、小学校5年生では「ある」が69.2%、「ない」が24.7%となっている。中学校2年生では「ある」が54.1%、「ない」が43.1%となっている。

経年でみると、小学校5年生、中学校2年生ともに「ない」が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 4-335 将来の夢の有無】



＜前回調査＞【図表 4-336 将来の夢の有無】

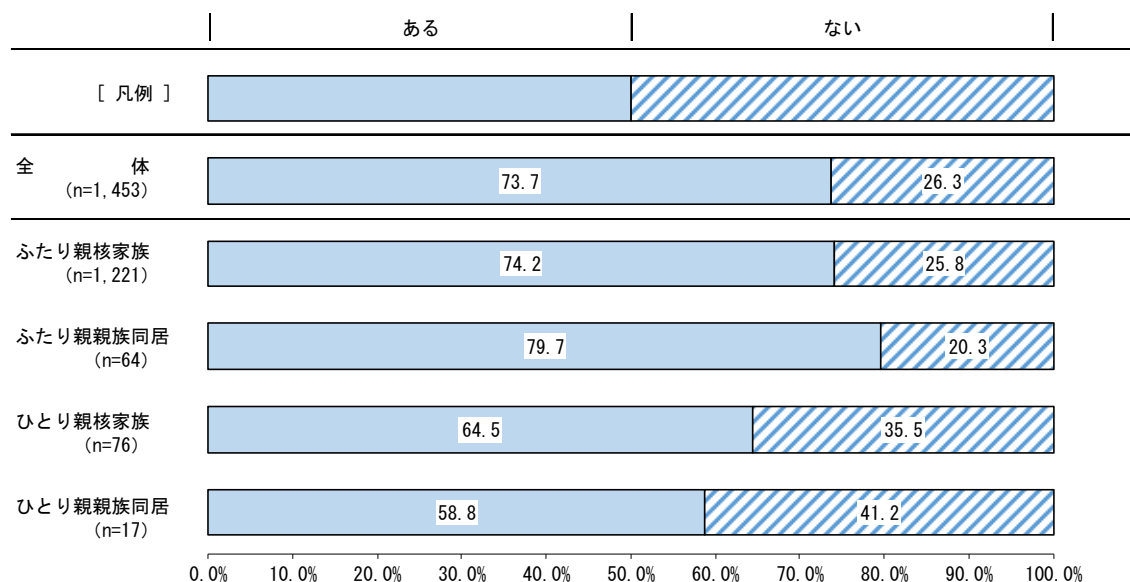


小学校5年生の将来の夢の有無を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「ある」が64.5%で全体に比べて低くなっている。

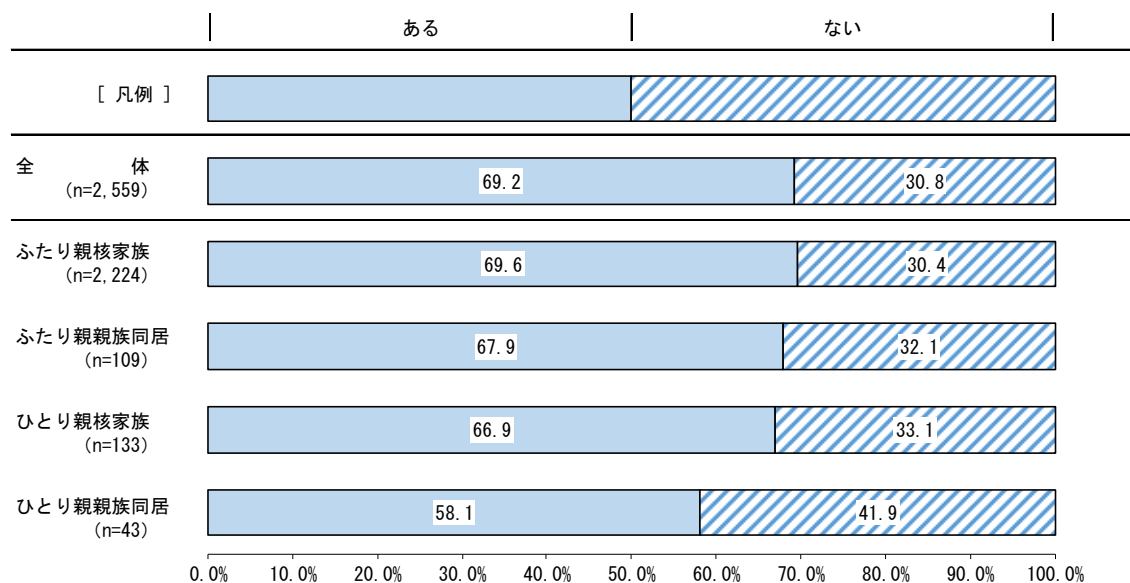
経年でみると、「ある」が『ふたり親親族同居』で前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-337 将来の夢の有無】(小学校5年生・世帯構成別)

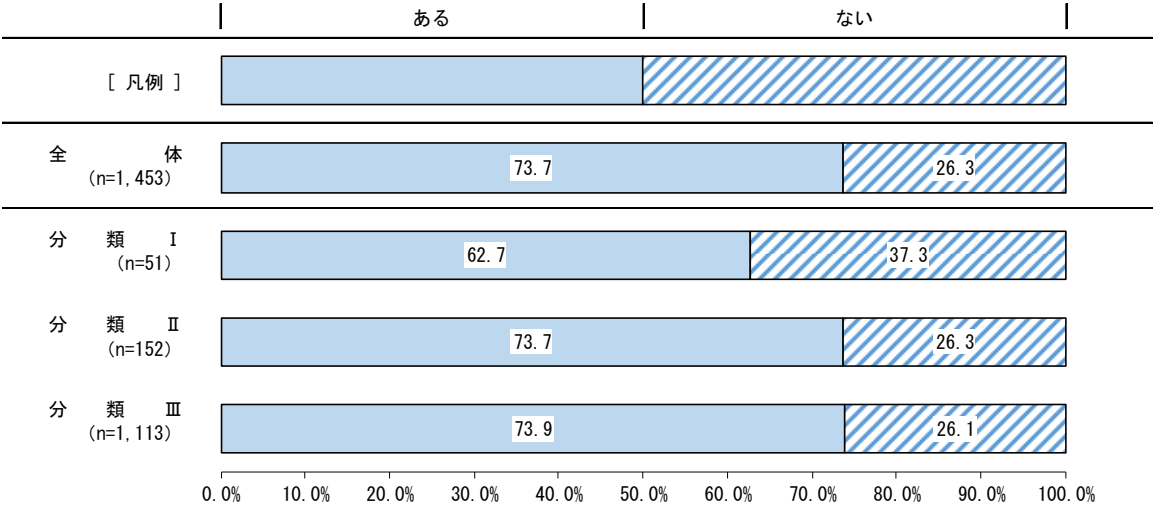


<前回調査>【図表 4-338 将来の夢の有無】(小学校5年生・世帯構成別)

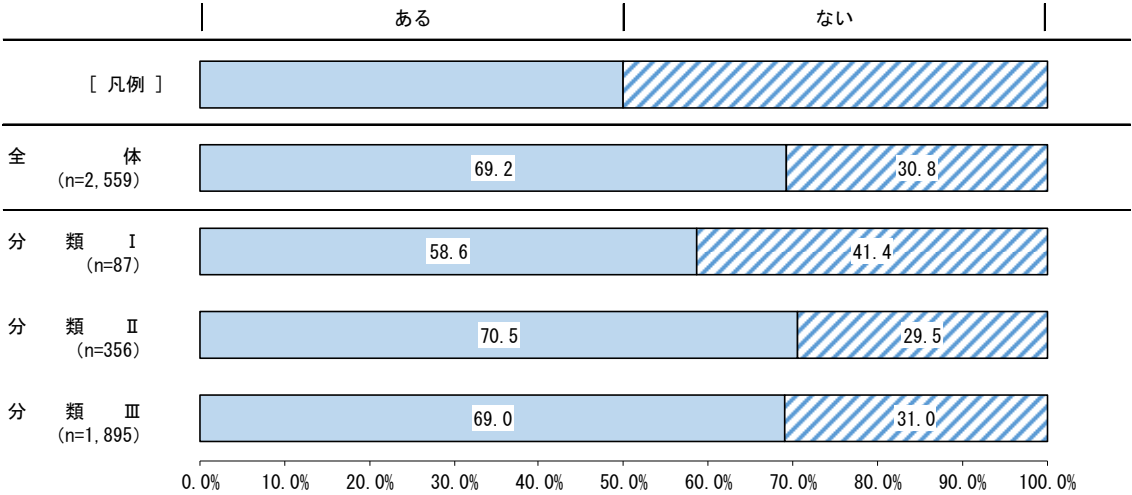


所得分類別にみると、「ある」は『分類Ⅰ』が62.7%と全体に比べて低くなっている。
経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 4-339 将来の夢の有無】（小学校5年生・所得分類別）



＜前回調査＞【図表 4-340 将来の夢の有無】（小学校5年生・所得分類別）

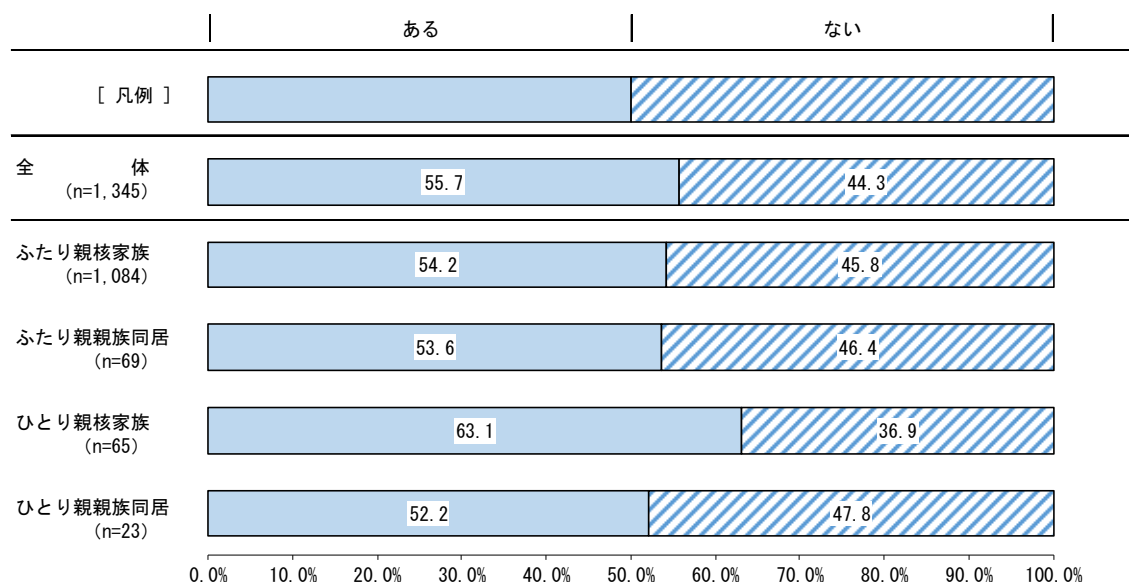


中学校2年生の将来の夢の有無を世帯構成別にみると、「ある」は『ひとり親核家族』が63.1%と全体に比べて高くなっている。

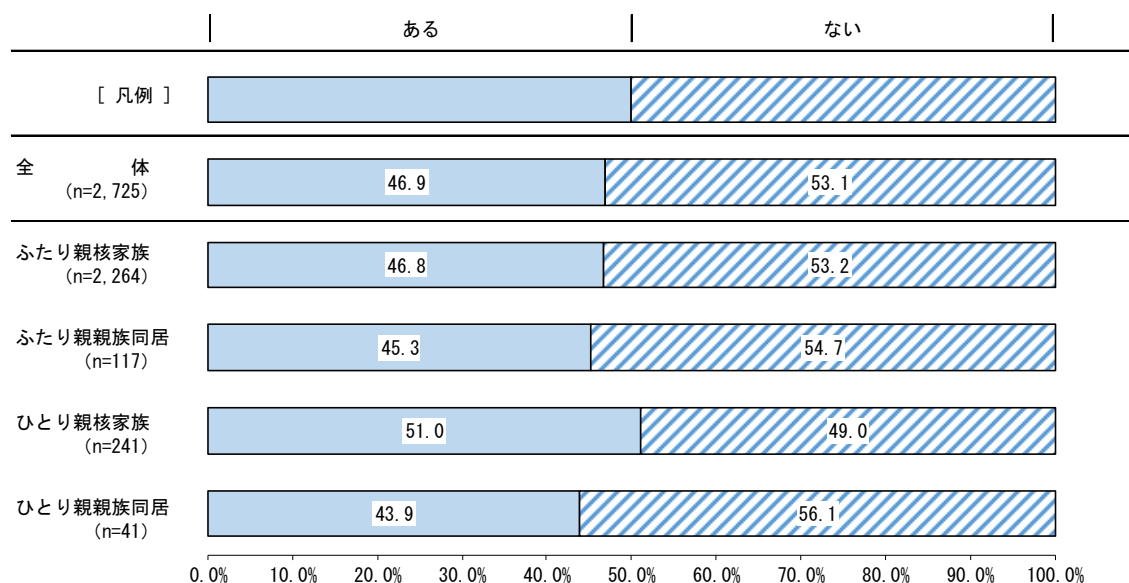
経年でみると、「ある」は『ふたり親核家族』『ふたり親親族同居』『ひとり親核家族』で前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

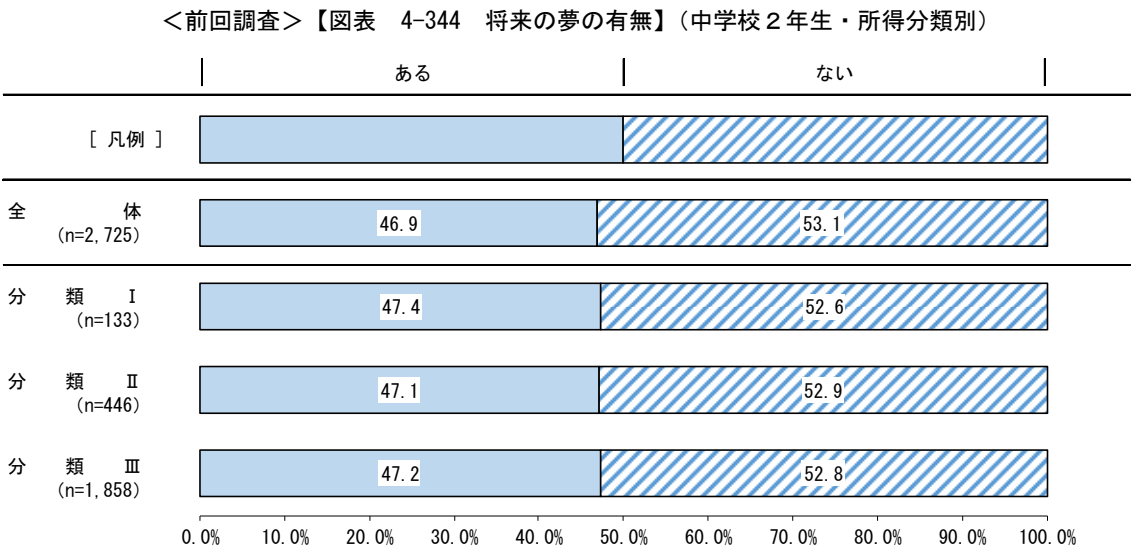
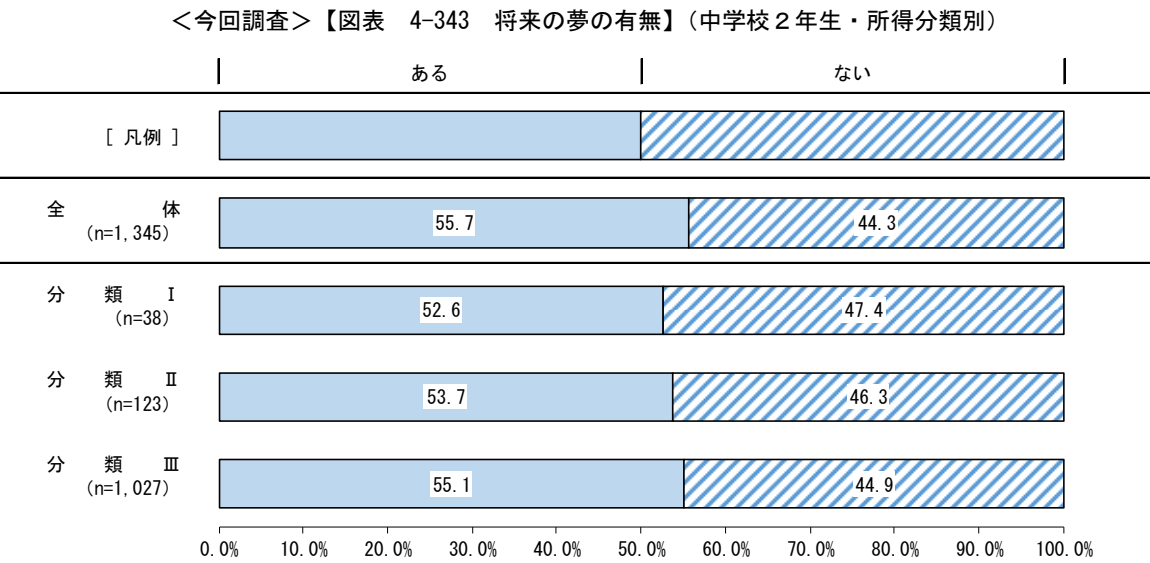
<今回調査>【図表 4-341 将来の夢の有無】(中学校2年生・世帯構成別)



<前回調査>【図表 4-342 将来の夢の有無】(中学校2年生・世帯構成別)



所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 経年でみると、「ある」は『分類Ⅱ』『分類Ⅲ』が前回調査に比べて高くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。



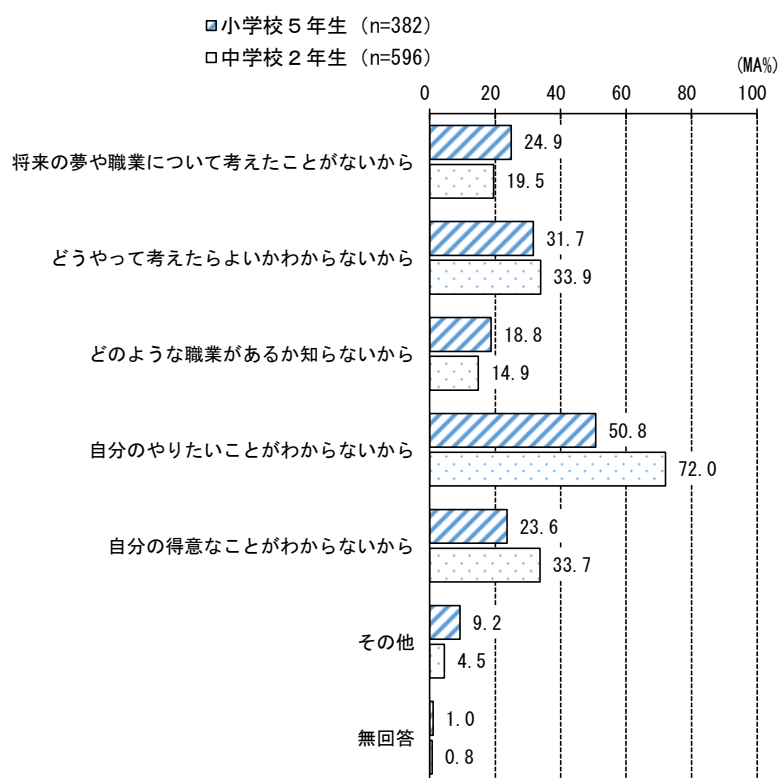
② 将来の夢がない理由【問 8-1】(MA)

将来の夢やつきたい職業がない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、小学校 5 年生では「自分のやりたいことがわからないから」が 50.8%と最も高く、次いで「どうやって考えたらよいかわからないから」が 31.7%、「将来の夢や職業について考えたことがないから」が 24.9%となっている。

中学校 2 年生では「自分のやりたいことがわからないから」が 72.0%と最も高く、次いで「どうやって考えたらよいかわからないから」が 33.9%、「自分の得意なことがわからないから」が 33.7%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 4-345 将来の夢がない理由（複数回答）】



小学校5年生の将来の夢がない理由を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 4-346 将来の夢がない理由（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	考 え た こ 夢 と が 職 業 に か つ い て	わ ど う か ら や つ な い て か 考 え た ら よ い か	知 ど の よ う な 職 業 が あ る か	わ 自 か ら の や り か い こ と が	わ 自 か ら の 得 意 な こ と が	そ の 他
全体		378	25.1	32.0	19.0	51.3	23.8	9.3
世帯 構 成	ふたり親核家族	312	25.0	32.7	18.9	51.9	24.4	9.6
	ふたり親親族同居	13	23.1	30.8	23.1	△ 69.2	△ 38.5	7.7
	ひとり親核家族	27	29.6	29.6	14.8	▼ 44.4	22.2	－
	ひとり親親族同居	6	▼ 16.7	▼ 16.7	－	50.0	▼ 16.7	△ 16.7
所 得 分 類	分類Ⅰ	18	22.2	33.3	△ 27.8	▼ 38.9	▼ 11.1	11.1
	分類Ⅱ	40	▼ 20.0	△ 40.0	15.0	50.0	22.5	7.5
	分類Ⅲ	287	25.1	31.7	18.8	53.0	26.1	9.1

中学校 2 年生の将来の夢がない理由を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「将来の夢や職業について考えたことがないから」が 14.5%、「どのような職業があるかわからないから」が 9.1%、「自分のやりたいことがわからないから」が 67.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-347 将来の夢がない理由（複数回答）】

（中学校 2 年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％								
		母数 (n)	考 え た こ と が な い か ら	ど う や つ て 考 え た ら よ い か	ど の よ う な 職 業 が あ る か	わ か ら な い か ら	わ か ら な い か ら	そ の 他
全体		591	19.6	34.2	15.1	72.6	34.0	4.6
世 帯 構 成	ふたり親核家族	494	20.2	33.6	15.4	72.7	35.2	5.5
	ふたり親親族同居	30	△ 30.0	30.0	13.3	70.0	▼ 13.3	－
	ひとり親核家族	23	▼ 8.7	30.4	13.0	▼ 56.5	▼ 21.7	－
	ひとり親親族同居	11	－	▼ 27.3	－	△ 90.9	△ 45.5	－
所 得 分 類	分類Ⅰ	18	22.2	△ 50.0	16.7	△ 77.8	38.9	5.6
	分類Ⅱ	55	▼ 14.5	30.9	▼ 9.1	▼ 67.3	32.7	9.1
	分類Ⅲ	459	20.7	32.2	16.3	72.8	34.2	4.1

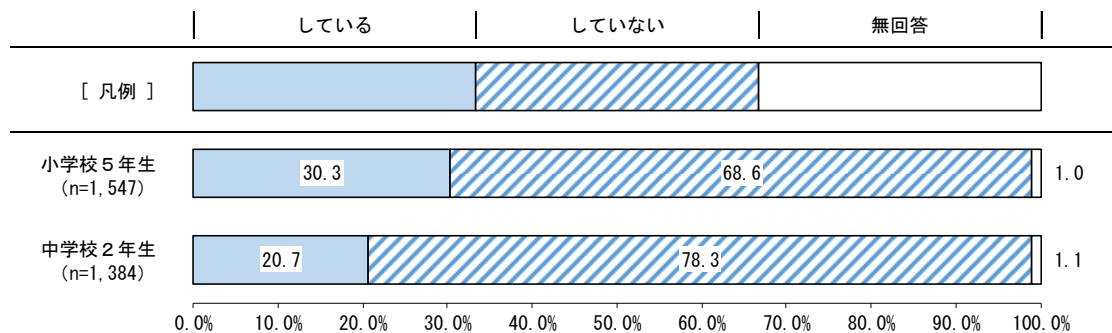
第5節 ヤングケアラーについて

※前回調査には、第5節の設問は含まれていない。

(1) 家族の世話や家事等の状況【問22】(SA)

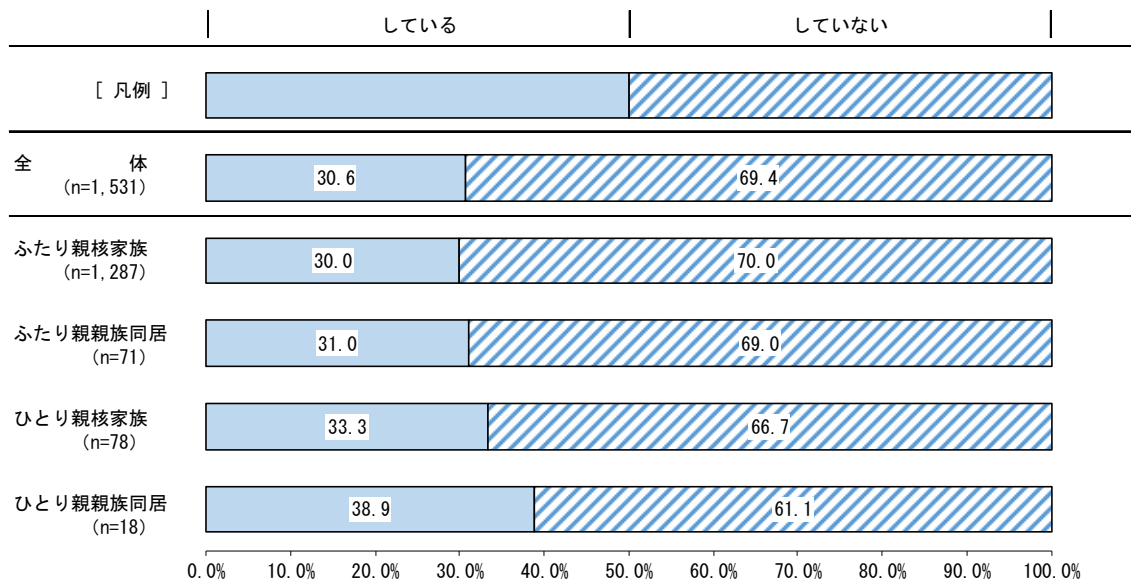
家で、家族の誰かのために世話や家事等をしているか聞いたところ、「している」は小学校5年生が30.3%、中学校2年生が20.7%となっている。

＜今回調査＞【図表 4-348 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】



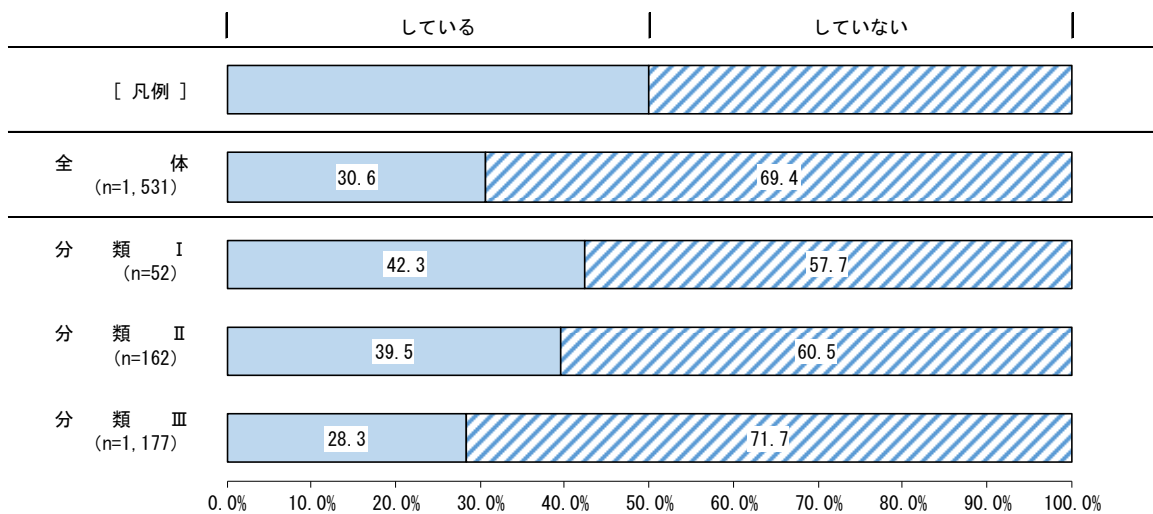
小学校5年生の家族の世話や家事等の状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-349 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】(小学校5年生・世帯構成別)



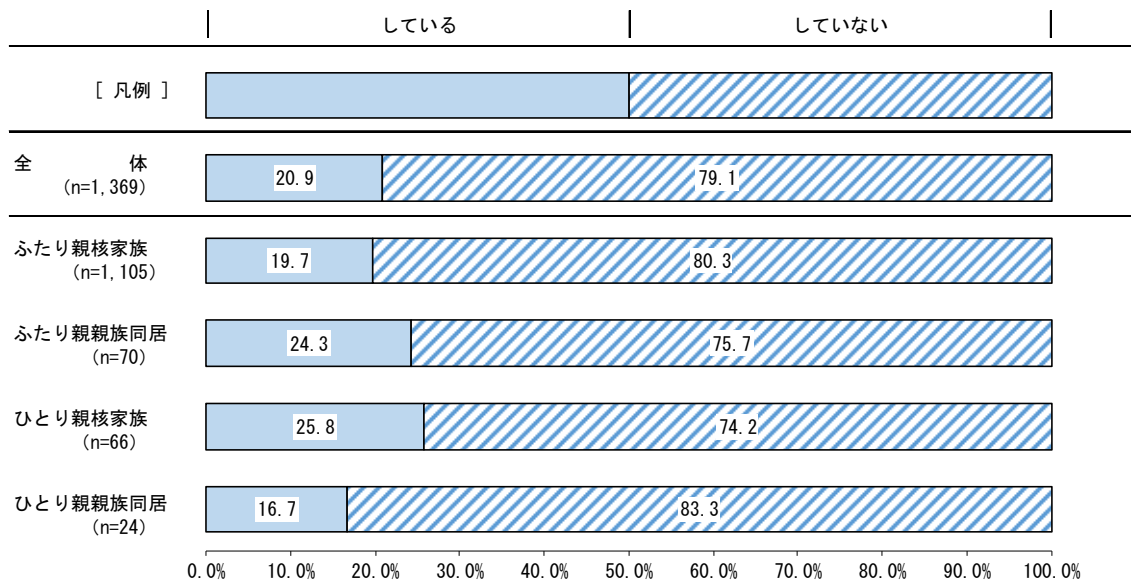
所得分類別にみると、「している」は『分類Ⅰ』が42.3%、『分類Ⅱ』が39.5%と全体に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 4-350 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】(小学校5年生・所得分類別)



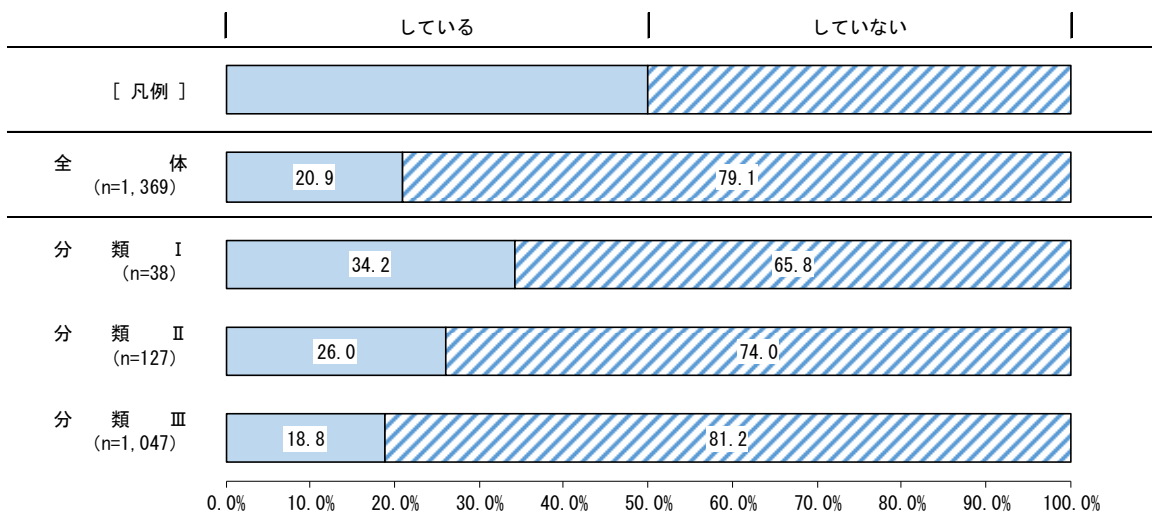
中学校2年生の家族の世話や家事等の状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-351 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】(中学校2年生・世帯構成別)



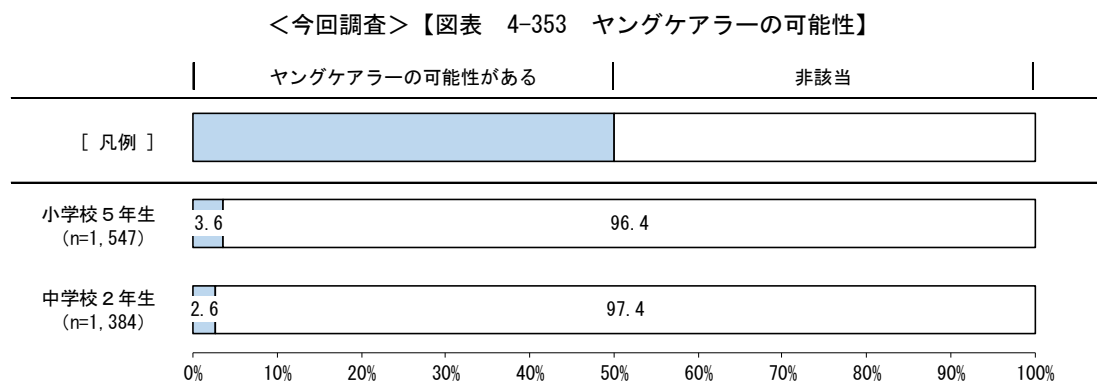
所得分類別にみると、「している」は『分類Ⅱ』が26.0%と全体に比べて高くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-352 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】(中学校2年生・所得分類別)



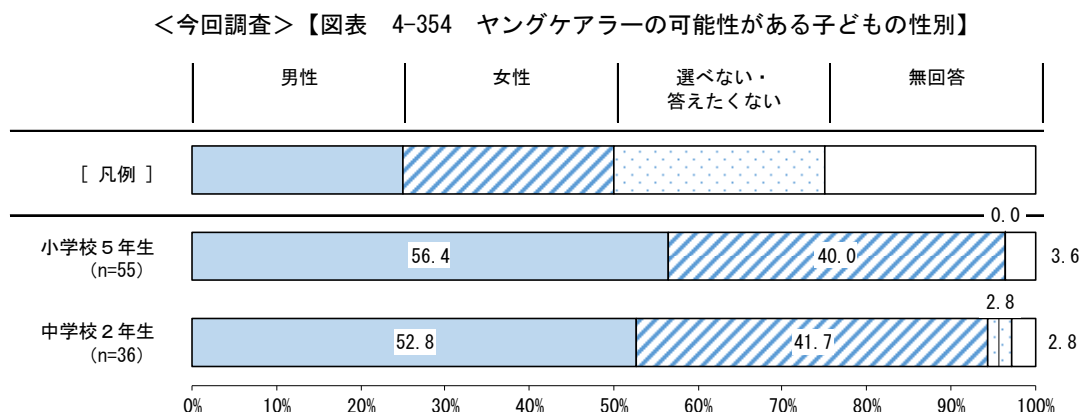
（２）ヤングケアラーの可能性

家で、家族の誰かのために世話や家事等をしている（問 22）、かつ、世話や家事等をしていることが理由での生活状況について「特にない」を除く回答をしている（問 22-3）方を「ヤングケアラーの可能性がある」と定義すると、ヤングケアラーの可能性のあるのは、小学校 5 年生が 3.6%、中学校 2 年生が 2.6%となっている。



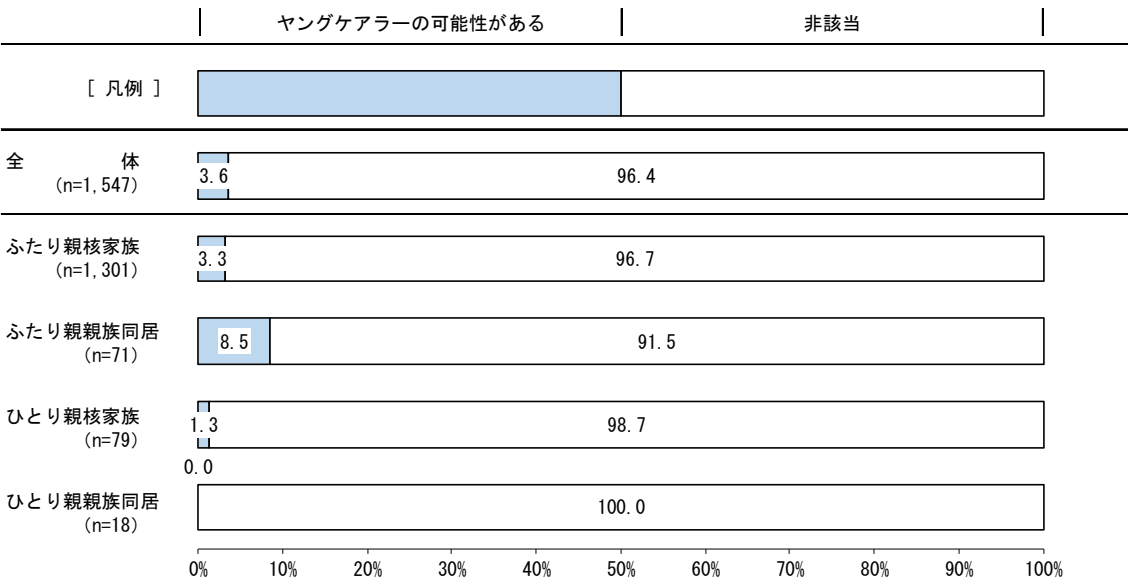
ヤングケアラーの可能性のある子どもの性別をみると、小学校 5 年生は「男性」が 56.4%、「女性」が 40.0%となっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。



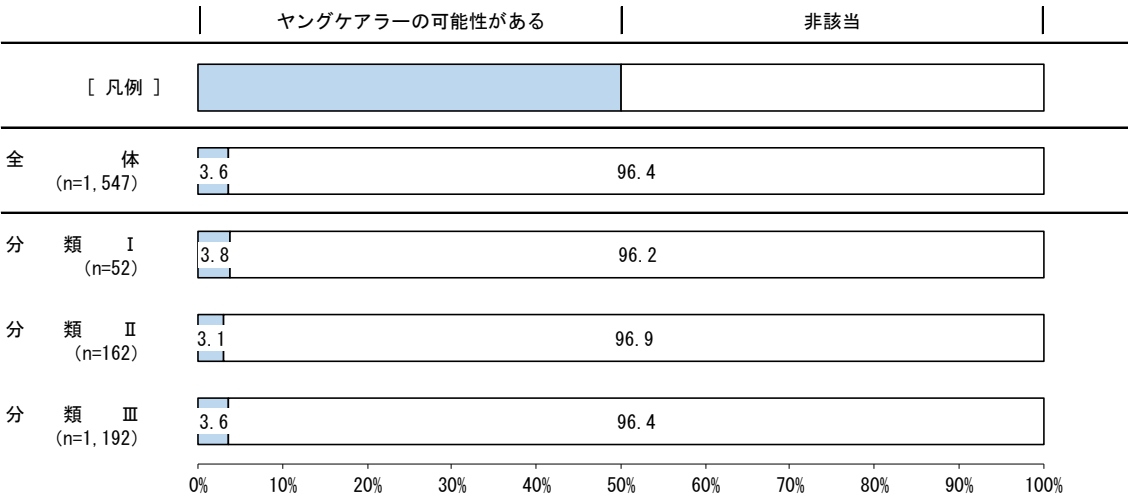
小学校5年生のヤングケアラーの可能性を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-355 ヤングケアラーの可能性】（小学校5年生・世帯構成別）

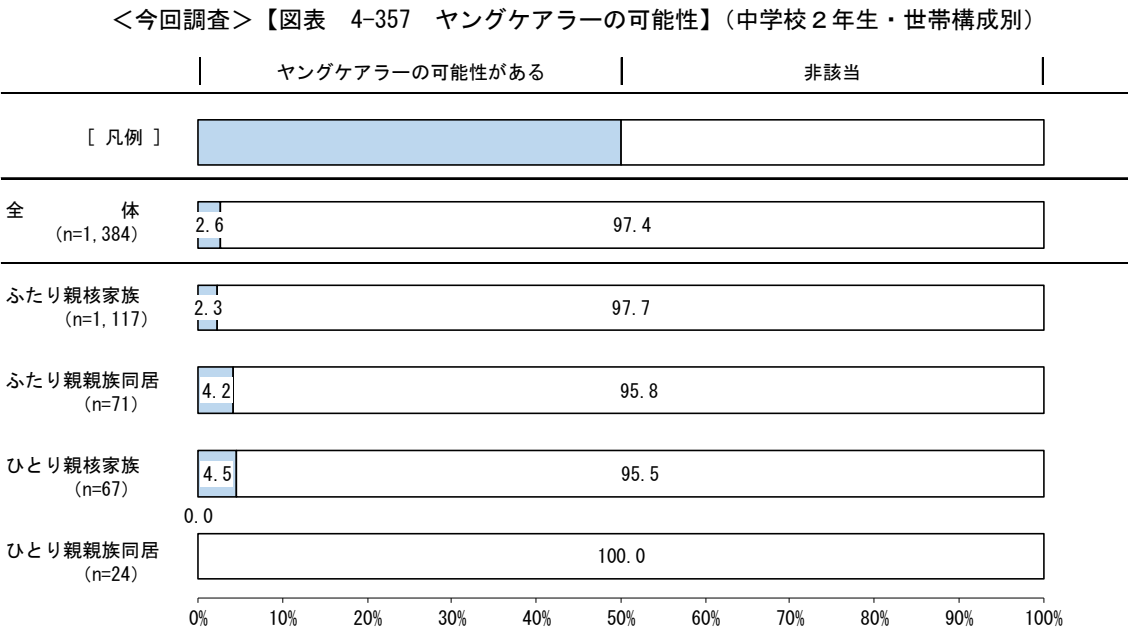


小学校5年生のヤングケアラーの可能性を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

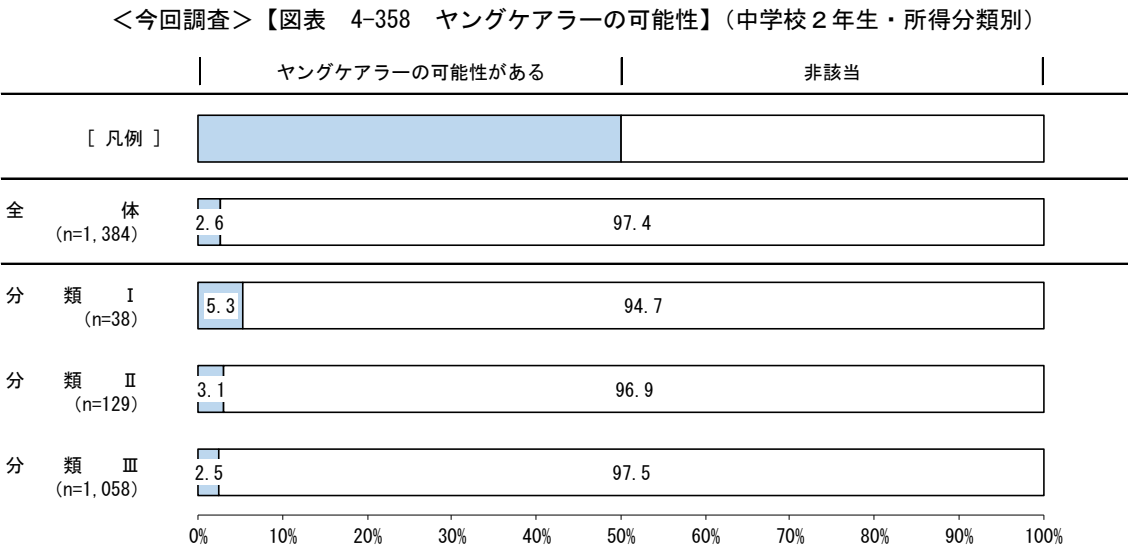
＜今回調査＞【図表 4-356 ヤングケアラーの可能性】（小学校5年生・所得分類別）



中学校 2 年生のヤングケアラーの可能性を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。



中学校 2 年生のヤングケアラーの可能性を所得分類別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。



(3) ヤングケアラーの生活状況

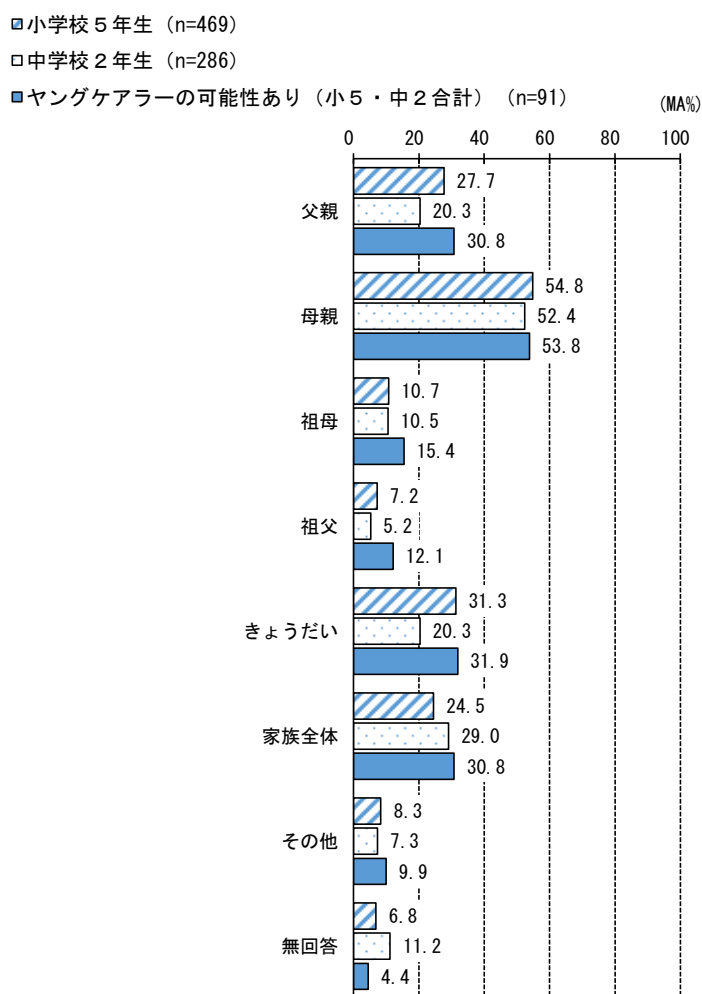
① 世話や家事等を必要としている家族【問 22-1】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等を必要としている人を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「母親」が54.8%と最も高く、次いで「きょうだい」が31.3%、「父親」が27.7%となっている。

中学校2年生では「母親」が52.4%と最も高く、次いで「家族全体」が29.0%、「父親」「きょうだい」が20.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「母親」が53.8%と最も高く、次いで「きょうだい」が31.9%、「父親」「家族全体」が30.8%となっている。

<今回調査>【図表 4-359 世話や家事等を必要としている人（複数回答）】



小学校５年生の世話や家事等を必要としている人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「お父さん」が24.6%、「家族全体」が16.4%と全体に比べて低く、「おばあちゃん」は21.3%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-360 世話や家事等を必要としている人（複数回答）】

（小学校５年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	お父 さん	お母 さん	おじ い ちゃん	おば あ ちゃん	き よ う だい	家 族 全 体	そ の 他
全体		437	29.7	58.8	7.8	11.4	33.6	26.3	8.9
世帯 構成	ふたり親核家族	358	32.1	62.0	8.4	9.2	34.1	25.7	8.4
	ふたり親親族同居	21	▼ 19.0	▼ 47.6	9.5	△ 33.3	▼ 23.8	△ 33.3	△ 14.3
	ひとり親核家族	24	▼ 8.3	▼ 50.0	－	12.5	▼ 25.0	△ 33.3	8.3
	ひとり親親族同居	7	▼ 14.3	▼ 14.3	－	△ 42.9	▼ 14.3	28.6	△ 14.3
所得 分類	分類Ⅰ	21	28.6	▼ 42.9	9.5	△ 23.8	△ 47.6	23.8	△ 14.3
	分類Ⅱ	61	▼ 24.6	62.3	11.5	△ 21.3	34.4	▼ 16.4	4.9
	分類Ⅲ	309	31.4	61.2	6.5	8.4	31.4	28.5	9.1

中学校２年生の世話や家事等を必要としている人を世帯構成別にみると、「祖母」は『ふたり親核家族』が5.8%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-361 世話や家事等を必要としている人（複数回答）】

（中学校２年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	父 親	母 親	祖 母	祖 父	き よ う だい	家 族 全 体	そ の 他
全体		254	22.8	59.1	11.8	5.9	22.8	32.7	8.3
世帯 構成	ふたり親核家族	190	25.3	63.7	▼ 5.8	5.3	23.7	32.1	6.8
	ふたり親親族同居	17	23.5	▼ 35.3	△ 47.1	△ 17.6	23.5	29.4	11.8
	ひとり親核家族	16	▼ 6.3	▼ 43.8	12.5	－	25.0	31.3	12.5
	ひとり親親族同居	3	－	△ 66.7	△ 100.0	－	－	－	－
所得 分類	分類Ⅰ	9	－	▼ 22.2	11.1	－	22.2	33.3	△ 33.3
	分類Ⅱ	27	22.2	△ 81.5	△ 25.9	7.4	25.9	▼ 22.2	7.4
	分類Ⅲ	179	25.7	59.2	9.5	6.1	22.9	33.0	5.6

② 世話や家事等の内容【問 22-2】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等の内容を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている」が18.1%、「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」が14.3%となっている。

中学校2年生では「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」が17.8%、「家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている」が13.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている」が28.6%、「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」が22.0%となっている。

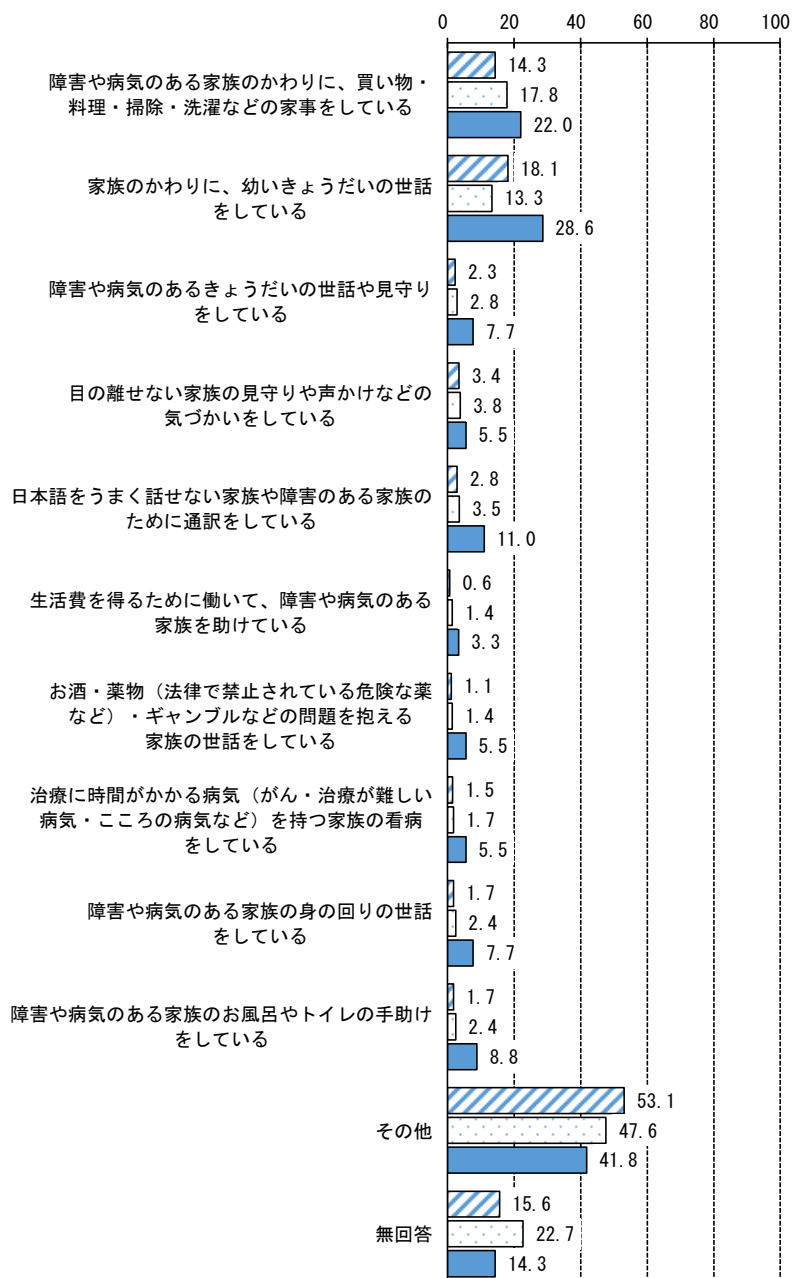
<今回調査>【図表 4-362 世話や家事等の内容（複数回答）】

□小学校5年生 (n=469)

□中学校2年生 (n=286)

■ヤングケアラーの可能性あり（小5・中2合計）(n=91)

(MA%)



小学校5年生の世話や家事等の内容を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-363 世話や家事等の内容（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	障害や病気の ある家族の 身の回りの 世話をしている	家族のかわりに、 幼いきょうだいの 世話をしている	障害や病気の あるきょうだいの 世話や 見守りをして いる	目の離せない 家族の見守り や声かけ などの気づか いをしてい る	日本語をうま く話せない家 族や障害の ある家族のた めに通訳をし ている	生活費を得る ために働いて 、障害や病 気のある家 族を助けてい る	お酒・薬物（ 法律で禁止さ れている問題 を抱える家 族の世話をし ている	治療に時間 がかかる病 気（がん・治 療が難しい 病気・こころ の病気など） を持つ家族 の看病をして いる	障害や病気の ある家族の 身の回りの 世話をしてい る	障害や病気の ある家族の お風呂や トイレの手 助けをしてい る	その他
													単位：％
全体		396	16.9	21.5	2.8	4.0	3.3	0.8	1.3	1.8	2.0	2.0	62.9
世帯構成	ふたり親核家族	326	16.6	20.6	2.1	4.3	2.5	0.3	1.2	1.8	1.2	1.2	64.1
	ふたり親親族同居	17	17.6	△ 29.4	5.9	-	△ 11.8	-	-	-	5.9	5.9	▼ 47.1
	ひとり親核家族	25	20.0	▼ 8.0	4.0	-	8.0	4.0	-	-	4.0	△ 8.0	△ 76.0
	ひとり親親族同居	6	△ 50.0	16.7	-	-	-	-	-	-	△ 16.7	-	▼ 50.0
所得分類	分類Ⅰ	21	△ 28.6	△ 38.1	-	-	4.8	-	-	4.8	-	4.8	▼ 42.9
	分類Ⅱ	58	20.7	19.0	-	5.2	3.4	-	-	-	1.7	-	63.8
	分類Ⅲ	279	16.1	19.0	3.6	3.9	3.2	0.7	1.4	1.4	1.4	1.8	65.2

中学校2年生の世話や家事等の内容を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-364 世話や家事等の内容（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	障害や病気のある家族のかわりに、 買い物・料理・掃除・洗濯などの 家事をしている	家族のかわりに、 幼いきょうだいの 世話をしている	障害や病気のあるきょうだいの世話や 見守りをしている	目の離せない家族の見守りや声かけ などの気づかいをしている	日本語をうまく話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている	生活費を得るために働いて、 病気のある家族を助けている	お酒・薬物（法律で禁止されている危険な薬など）・ギャンブルなどの問題を抱える家族の世話をしている	治療に時間がかかる病気（がん・治療が難しい病気・こころの病気など）を持つ家族の看病をしている	障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている	障害や病気のある家族のお風呂やトイレの手助けをしている	その他
													単位：％
全体		221	23.1	17.2	3.6	5.0	4.5	1.8	1.8	2.3	3.2	3.2	61.5
世帯構成	ふたり親核家族	166	21.1	18.1	3.6	4.8	3.6	2.4	1.8	3.0	3.0	3.6	63.3
	ふたり親親族同居	17	23.5	17.6	△ 11.8	△ 17.6	－	－	－	－	5.9	5.9	▼ 52.9
	ひとり親核家族	14	△ 28.6	14.3	－	－	－	－	△ 7.1	－	7.1	－	64.3
	ひとり親親族同居	2	△ 100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
所得分類	分類Ⅰ	9	▼ 11.1	△ 22.2	－	－	－	－	△ 11.1	－	△ 11.1	△ 11.1	▼ 55.6
	分類Ⅱ	21	△ 33.3	14.3	△ 9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	61.9
	分類Ⅲ	158	22.8	17.7	3.2	5.7	3.2	1.9	1.3	2.5	3.2	2.5	60.1

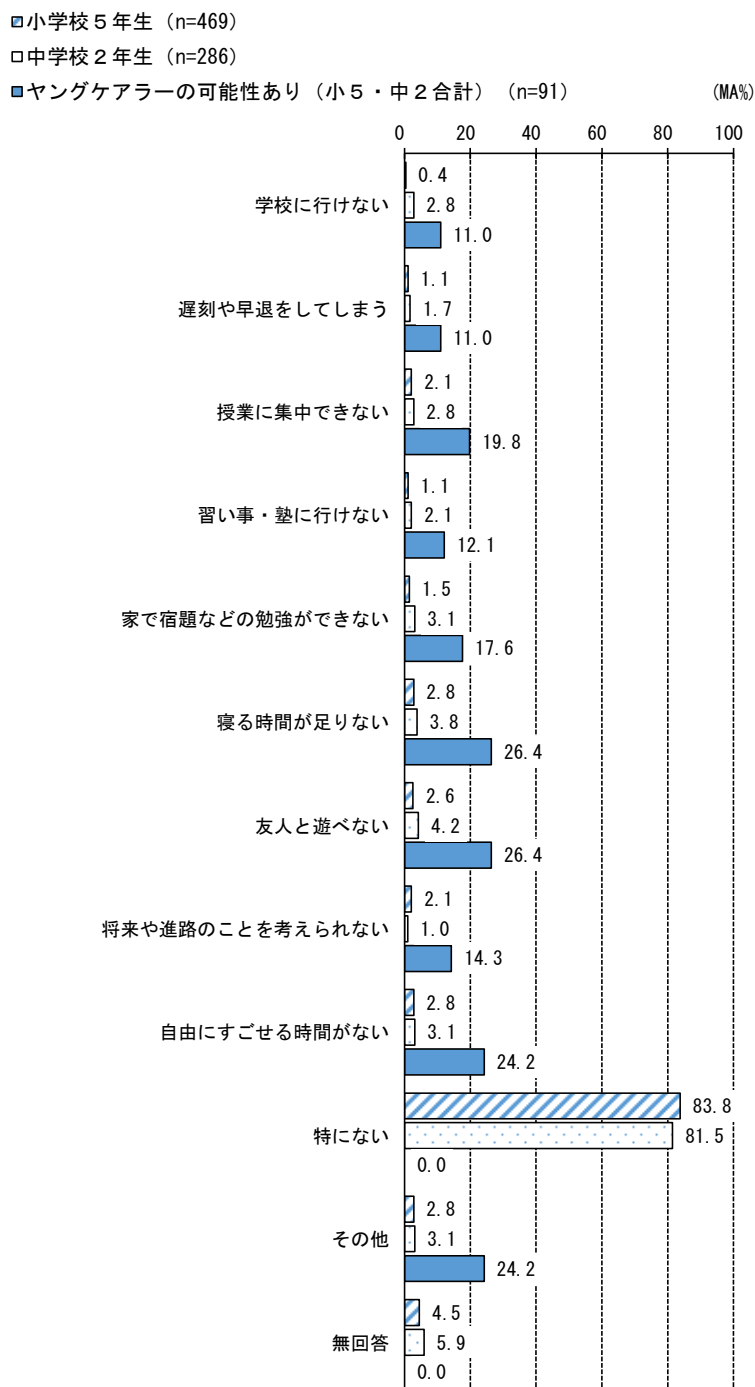
③ 世話や家事等をしていることの影響【問 22-3】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていることの影響を複数回答で聞いたところ、「特にない」(小学校5年生:83.8%、中学校2年生:81.5%)が最も高くなっている。また、小学校5年生では「寝る時間が足りない」「自由にすごせる時間がない」が2.8%、「友人と遊べない」が2.6%となっている。

中学校2年生では「友人と遊べない」が4.2%、「寝る時間が足りない」が3.8%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人(小学校5年生、中学校2年生の合計)では「寝る時間が足りない」「友人と遊べない」が26.4%、「自由にすごせる時間がない」が24.2%となっている。

＜今回調査＞【図表 4-365 世話や家事等をしていることの影響(複数回答)】



小学校５年生の世話や家事等をしていることの影響を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-366 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】

（小学校５年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％													
		母数 (n)	学校に行けない	遅刻や早退をしてしまう	授業に集中できない	習い事・塾に行けない	家で宿題などの勉強ができない	寝る時間が足りない	友人と遊べない	将来や進路のことを考えられない	自由にすごせる時間がない	特にない	その他
全体		448	0.4	1.1	2.2	1.1	1.6	2.9	2.7	2.2	2.9	87.7	2.9
世帯構成	ふたり親核家族	371	0.3	1.1	2.2	0.5	0.8	3.0	2.7	1.9	2.7	88.4	2.7
	ふたり親親族同居	21	－	－	4.8	4.8	△ 14.3	4.8	4.8	－	△ 9.5	▼ 71.4	4.8
	ひとり親核家族	24	－	－	－	－	－	－	－	4.2	－	△ 95.8	－
	ひとり親親族同居	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△ 100.0	－
所得分類	分類Ⅰ	21	－	－	4.8	－	－	－	－	－	－	90.5	4.8
	分類Ⅱ	62	－	－	1.6	－	1.6	3.2	1.6	3.2	1.6	91.9	－
	分類Ⅲ	320	0.3	1.3	2.2	0.9	1.6	3.1	3.1	1.9	3.4	86.6	3.1

中学校２年生の世話や家事等をしていることの影響を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-367 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】

（中学校２年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％													
		母数 (n)	学校に行けない	遅刻や早退をしてしまう	授業に集中できない	部活動や習い事・塾に行けない	家で宿題などの勉強ができない	寝る時間が足りない	友人と遊べない	将来や進路のことを考えられない	自由にすごせる時間がない	特にない	その他
全体		269	3.0	1.9	3.0	2.2	3.3	4.1	4.5	1.1	3.3	86.6	3.3
世帯構成	ふたり親核家族	205	2.4	2.0	2.0	2.4	3.9	4.4	4.4	1.5	3.9	87.3	2.9
	ふたり親親族同居	17	5.9	－	5.9	－	－	－	－	－	－	82.4	5.9
	ひとり親核家族	16	－	－	6.3	6.3	－	6.3	△ 12.5	－	6.3	▼ 81.3	6.3
	ひとり親親族同居	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△ 100.0	－
所得分類	分類Ⅰ	12	△ 8.3	－	－	－	－	－	－	－	△ 8.3	83.3	△ 8.3
	分類Ⅱ	32	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	9.4	△ 6.3	6.3	87.5	3.1
	分類Ⅲ	185	1.6	1.1	2.2	2.2	3.2	4.3	4.3	0.5	3.2	85.9	3.2

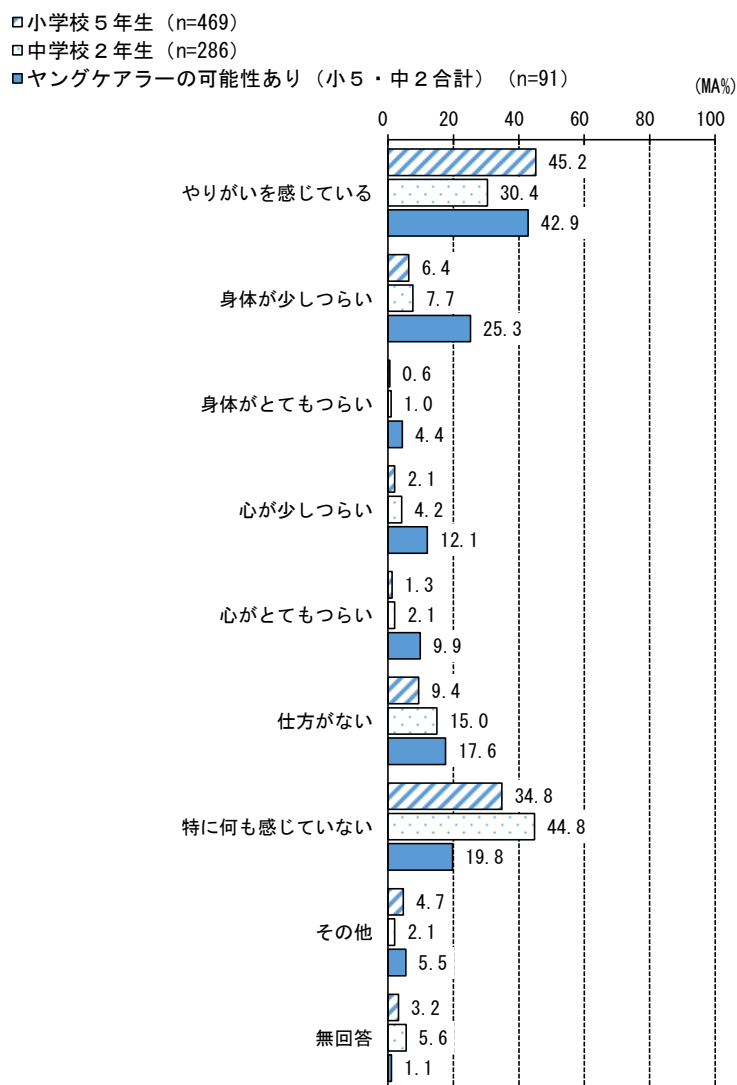
④ 世話や家事等をしていて感じる事【問 22-4】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていて感じることを複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「やりがいを感じている」が45.2%と最も高く、次いで「特に何も感じていない」が34.8%、「仕方がない」が9.4%となっている。

中学校2年生では「特に何も感じていない」が44.8%と最も高く、次いで「やりがいを感じている」が30.4%、「仕方がない」が15.0%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「やりがいを感じている」が42.9%と最も高く、次いで「身体が少しつらい」が25.3%、「特に何も感じていない」が19.8%となっている。

＜今回調査＞【図表 4-368 世話や家事等をしていて感じる事（複数回答）】



小学校5年生の世話や家事等をしていて感じることを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-369 世話や家事等をしていて感じること（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	やりがいを感じている	身体が少しつらい	身体がとてつらい	心が少しつらい	心がとてつらい	仕方がない	特に何も感じていない	その他
全体		454	46.7	6.6	0.7	2.2	1.3	9.7	35.9	4.8
世帯構成	ふたり親核家族	377	46.9	7.2	0.8	2.4	1.6	8.2	35.8	5.0
	ふたり親親族同居	21	▼ 23.8	9.5	－	4.8	－	△ 33.3	△ 42.9	4.8
	ひとり親核家族	25	△ 52.0	－	－	－	－	△ 16.0	32.0	8.0
	ひとり親親族同居	7	△ 57.1	－	－	－	－	－	△ 42.9	－
所得分類	分類Ⅰ	22	45.5	－	－	4.5	－	△ 27.3	▼ 27.3	－
	分類Ⅱ	64	46.9	9.4	1.6	1.6	－	10.9	35.9	△ 10.9
	分類Ⅲ	325	46.5	6.8	0.6	2.2	1.8	8.3	36.3	4.3

中学校2年生の世話や家事等をしていて感じることを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-370 世話や家事等をしていて感じること（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

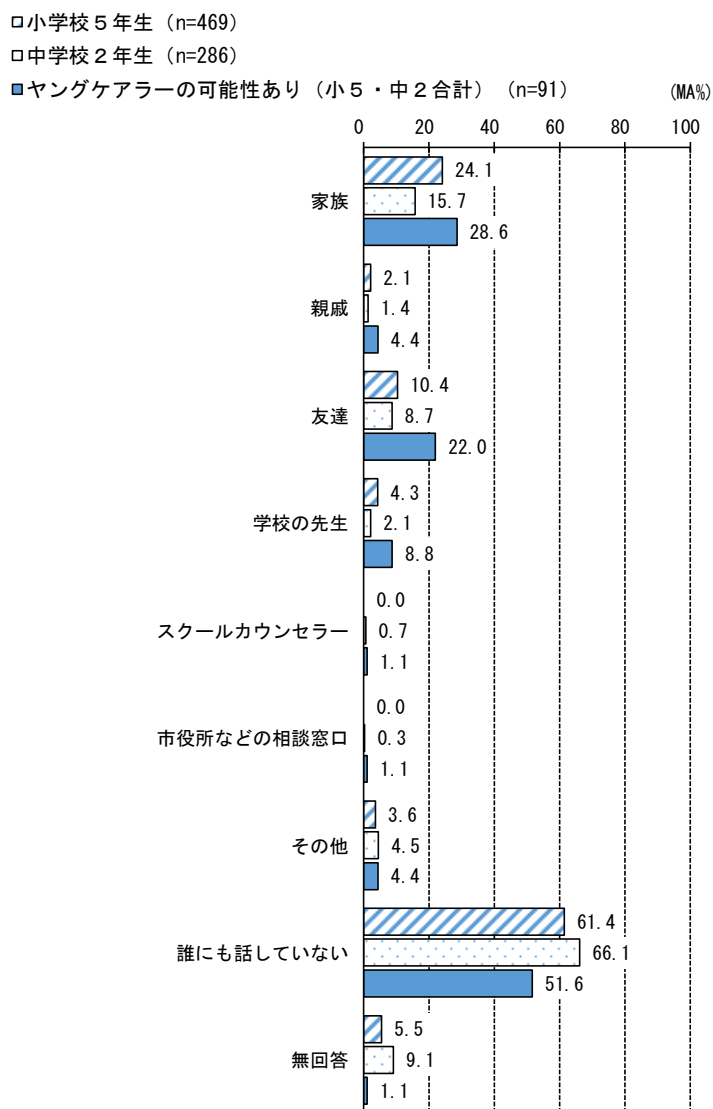
		母数 (n)	やりがいを感じている	身体が少しつらい	身体がとてつらい	心が少しつらい	心がとてつらい	仕方がない	特に何も感じていない	その他
全体		270	32.2	8.1	1.1	4.4	2.2	15.9	47.4	2.2
世帯構成	ふたり親核家族	205	31.2	8.3	1.5	4.4	2.4	17.6	47.8	2.4
	ふたり親親族同居	17	△ 41.2	5.9	－	△ 11.8	－	11.8	▼ 35.3	－
	ひとり親核家族	17	△ 47.1	11.8	－	5.9	－	17.6	▼ 35.3	－
	ひとり親親族同居	3	△ 66.7	－	－	－	－	－	▼ 33.3	－
所得分類	分類Ⅰ	12	△ 41.7	△ 16.7	－	△ 16.7	－	16.7	▼ 33.3	－
	分類Ⅱ	32	△ 40.6	9.4	△ 6.3	△ 12.5	6.3	△ 31.3	▼ 34.4	－
	分類Ⅲ	187	30.5	8.0	0.5	3.2	1.6	14.4	49.7	2.1

⑤ 世話や家事等についての相談相手【問 22-5】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等についての相談相手を複数回答で聞いたところ、「誰にも話していない」(小学校5年生：61.4%、中学校2年生：66.1%)が最も高く、次いで「家族」(小学校5年生：24.1%、中学校2年生：15.7%)、「友達」(小学校5年生：10.4%、中学校2年生：8.7%)となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人(小学校5年生、中学校2年生の合計)では「誰にも話していない」が51.6%と最も高く、次いで「家族」が28.6%、「友達」が22.0%となっている。

<今回調査>【図表 4-371 世話や家事等についての相談相手(複数回答)】



小学校5年生の世話や家事等についての相談相手を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-372 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	家族	親戚	友達	学校の先生	スクール カウンセ ラー	市役所な どの相 談窓口	その他	誰 にも 話 して い ない
全体		443	25.5	2.3	11.1	4.5	－	－	3.8	65.0
世帯 構成	ふたり親核家族	367	23.7	1.6	10.9	4.9	－	－	3.3	67.6
	ふたり親親族同居	21	28.6	4.8	9.5	4.8	－	－	△ 14.3	▼ 52.4
	ひとり親核家族	25	△ 36.0	4.0	－	－	－	－	4.0	▼ 60.0
	ひとり親親族同居	7	－	－	△ 42.9	－	－	－	△ 14.3	▼ 42.9
所得 分類	分類Ⅰ	21	△ 38.1	－	9.5	4.8	－	－	△ 9.5	▼ 42.9
	分類Ⅱ	63	23.8	1.6	12.7	1.6	－	－	4.8	61.9
	分類Ⅲ	318	23.6	2.5	11.0	5.0	－	－	3.8	67.6

中学校2年生の世話や家事等についての相談相手を世帯構成別にみると、「誰にも話していない」は『ふたり親核家族』が78.2%と全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-373 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	家族	親戚	友達	学校の先生	スクール カウンセ ラー	市役所な どの相 談窓口	その他	誰 にも 話 して い ない
全体		260	17.3	1.5	9.6	2.3	0.8	0.4	5.0	72.7
世帯 構成	ふたり親核家族	197	14.2	2.0	7.6	1.5	0.5	0.5	4.6	△ 78.2
	ふたり親親族同居	17	△ 35.3	－	11.8	－	－	－	5.9	▼ 52.9
	ひとり親核家族	16	△ 37.5	－	△ 25.0	6.3	－	－	6.3	▼ 37.5
	ひとり親親族同居	3	△ 33.3	－	－	－	－	－	－	▼ 66.7
所得 分類	分類Ⅰ	11	△ 27.3	△ 9.1	△ 18.2	－	－	－	－	▼ 54.5
	分類Ⅱ	30	△ 23.3	3.3	13.3	△ 10.0	3.3	3.3	3.3	▼ 63.3
	分類Ⅲ	181	16.0	0.6	7.2	0.6	－	－	3.9	77.3

⑥ 周りからしてもらいたいこと【問 22-6】(MA)

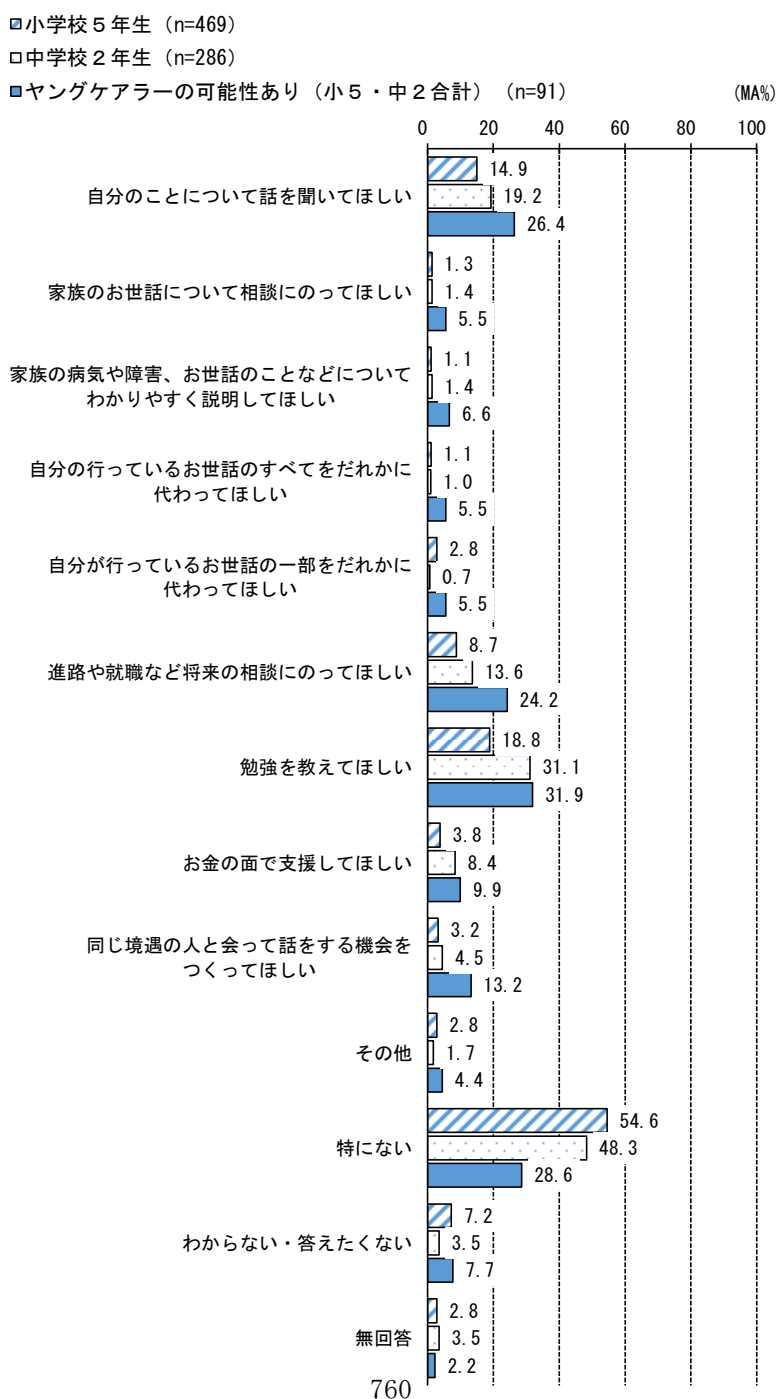
家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、周りからしてもらいたいことを複数回答で聞いたところ、「勉強を教えてほしい」(小学校5年生：18.8%、中学校2年生：31.1%)が最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」(小学校5年生：14.9%、中学校2年生：19.2%)、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」(小学校5年生：8.7%、中学校2年生：13.6%)となっている。

一方、「特にない」は小学校5年生が54.6%、中学校2年生が48.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人(小学校5年生、中学校2年生の合計)では「勉強を教えてほしい」が31.9%と最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が26.4%、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が24.2%となっている。

一方、「特にない」は28.6%となっている。

<今回調査>【図表 4-374 周りからしてもらいたいこと(複数回答)】



小学校5年生の周りからしてもらいたいことを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。
所得分類別にみると、「特にない」は『分類Ⅱ』が62.9%と全体に比べて高くなっている。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-375 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】

（小学校5年生・世帯構成別、所得分類別）

単位：％

		母数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分の行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	同じ境遇の人と会って話をする機会をつくってほしい	その他	特にない	わからない・答えたくない
全体		456	15.4	1.3	1.1	1.1	2.9	9.0	19.3	3.9	3.3	2.9	56.1	7.5
世帯構成	ふたり親核家族	376	17.3	1.3	0.8	1.1	2.7	10.4	19.9	3.5	3.5	2.9	55.6	7.4
	ふたり親親族同居	22	▼ 9.1	-	4.5	4.5	△ 9.1	-	22.7	△ 9.1	△ 9.1	-	▼ 45.5	9.1
	ひとり親核家族	25	▼ 8.0	4.0	4.0	-	-	-	16.0	△ 12.0	-	4.0	60.0	4.0
	ひとり親親族同居	7	-	-	-	-	-	-	△ 28.6	-	-	-	△ 71.4	-
所得分類	分類Ⅰ	22	▼ 9.1	4.5	-	-	4.5	9.1	△ 40.9	△ 18.2	4.5	4.5	▼ 40.9	9.1
	分類Ⅱ	62	12.9	-	-	1.6	1.6	4.8	14.5	1.6	1.6	1.6	△ 62.9	4.8
	分類Ⅲ	327	16.5	1.5	1.5	1.2	2.8	10.4	19.9	3.7	4.0	3.4	54.4	7.6

中学校2年生の周りからしてもらいたいことを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 4-376 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】

（中学校2年生・世帯構成別、所得分類別）

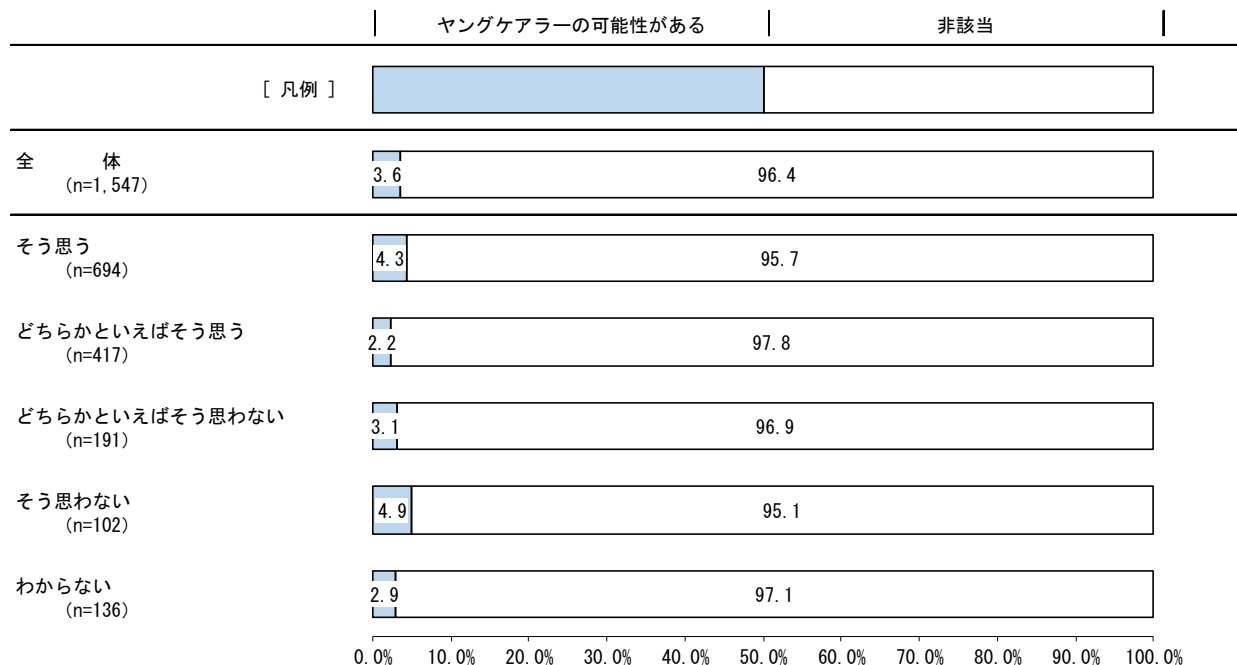
単位：％

		母数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分の行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	同じ境遇の人と会って話をする機会をつくってほしい	その他	特にない	わからない・答えたくない
全体		276	19.9	1.4	1.4	1.1	0.7	14.1	32.2	8.7	4.7	1.8	50.0	3.6
世帯構成	ふたり親核家族	210	21.0	1.9	1.4	1.0	1.0	15.2	34.8	8.6	5.7	1.4	49.5	2.4
	ふたり親親族同居	17	▼ 11.8	－	－	－	－	△ 23.5	35.3	11.8	－	－	▼ 35.3	△ 11.8
	ひとり親核家族	17	▼ 11.8	－	－	5.9	－	▼ 5.9	▼ 23.5	△ 17.6	－	5.9	52.9	5.9
	ひとり親親族同居	4	△ 50.0	－	－	－	－	－	▼ 25.0	－	－	－	50.0	－
所得分類	分類Ⅰ	13	15.4	△ 7.7	△ 7.7	－	－	△ 38.5	△ 53.8	△ 23.1	7.7	△ 7.7	▼ 23.1	－
	分類Ⅱ	32	21.9	6.3	3.1	3.1	3.1	9.4	△ 40.6	6.3	6.3	－	▼ 43.8	－
	分類Ⅲ	190	18.9	0.5	0.5	1.1	0.5	14.2	30.0	8.4	4.7	1.1	52.1	4.2

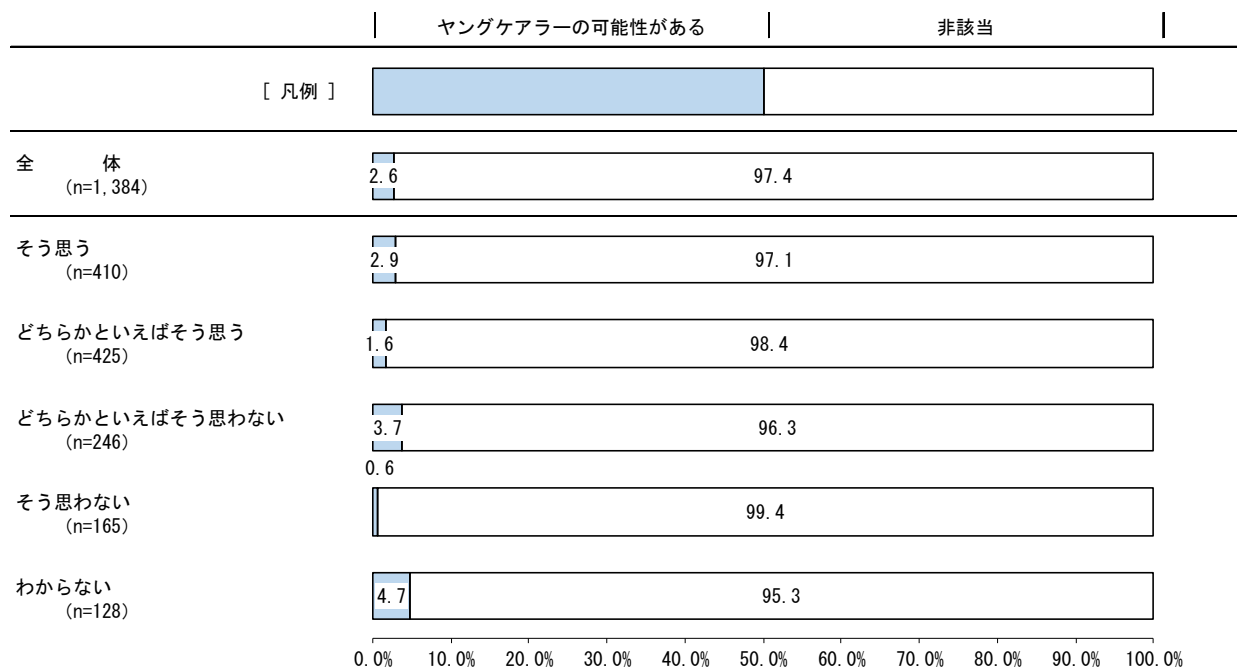
⑦ 将来に対する考え方や自己肯定感等【問 20】(SA)

将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分の将来が楽しみだ」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性がある』のは、小学校5年生では『そう思わない』が4.9%と最も高くなっている。中学校2年生では『わからない』が4.7%と最も高くなっている。

<今回調査>【図表 4-377 ヤングケアラーの可能性】((エ) 自分の将来が楽しみだ・小学校5年生)

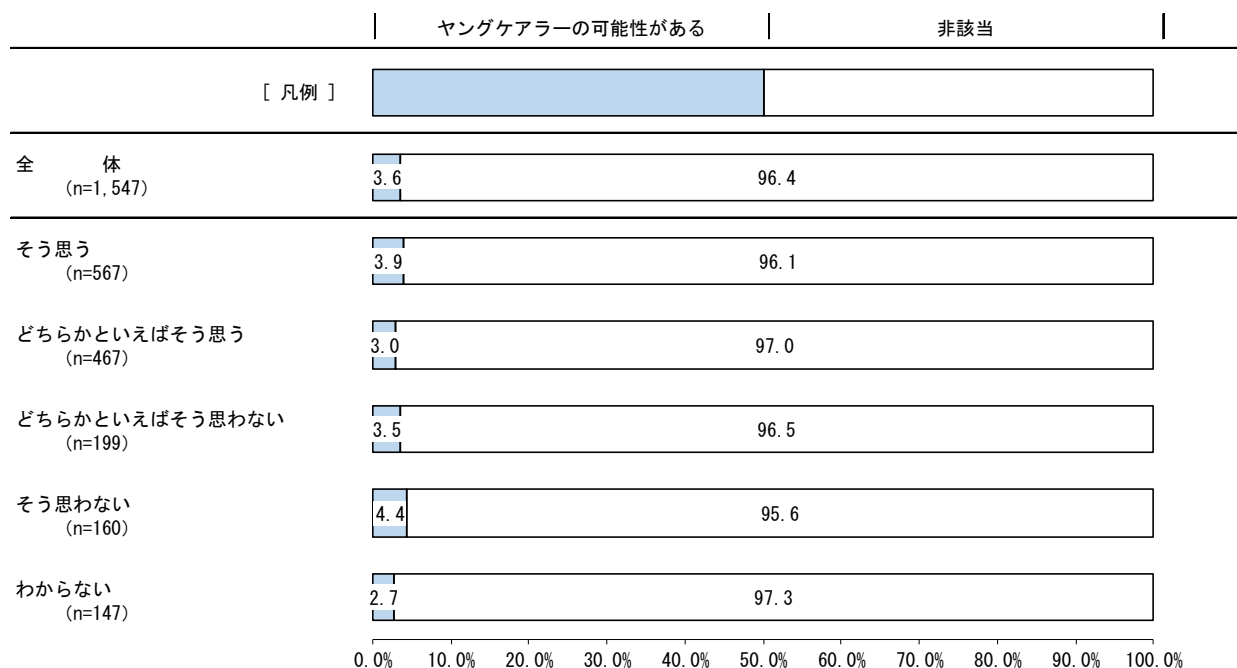


<今回調査>【図表 4-378 ヤングケアラーの可能性】((エ) 自分の将来が楽しみだ・中学校2年生)

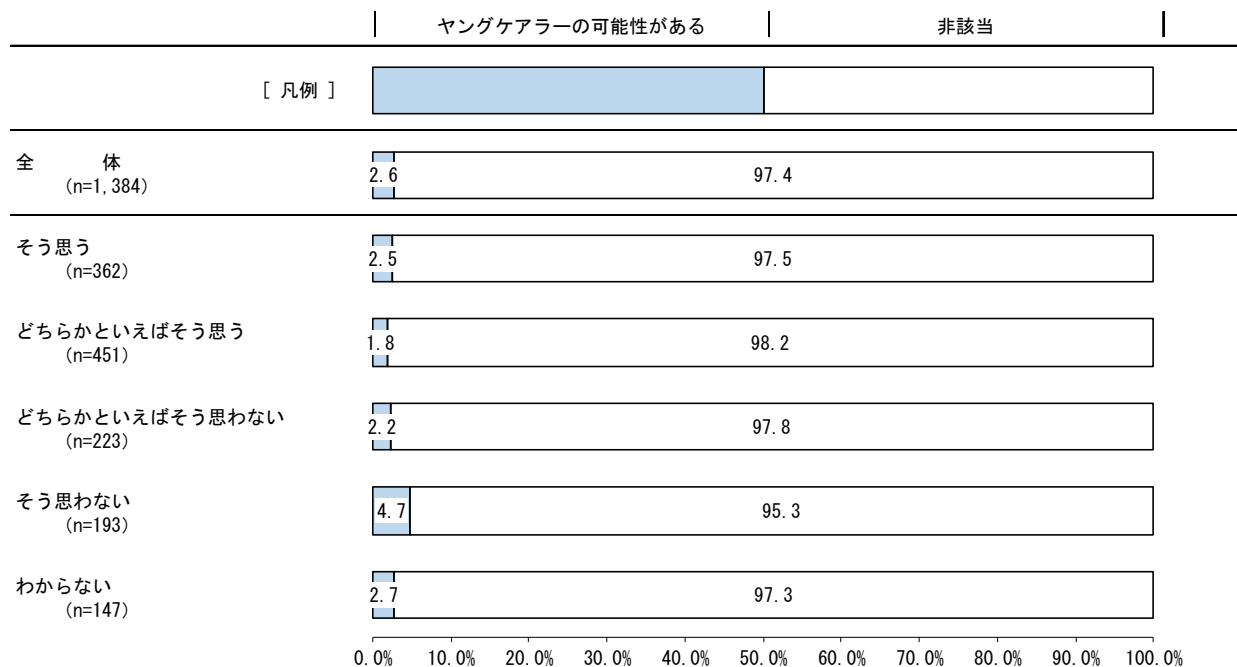


将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分のことが好きだ」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性がある』のは、小学校5年生では『そう思わない』が4.4%と最も高くなっている。中学校2年生では『そう思わない』が4.7%と最も高くなっている。

<今回調査>【図表 4-379 ヤングケアラーの可能性】((オ) 自分のことが好きだ・小学校5年生)



<今回調査>【図表 4-380 ヤングケアラーの可能性】((オ) 自分のことが好きだ・中学校2年生)

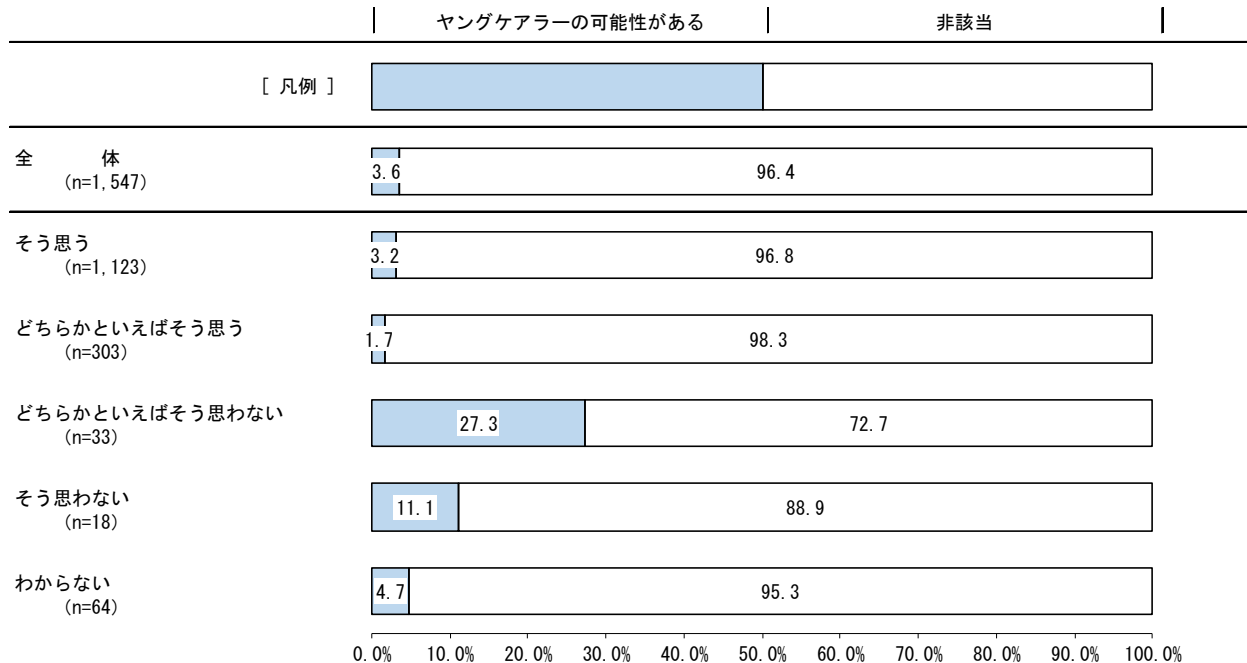


将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分は家族に大事にされていると思う」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは、小学校5年生では『わからない』が4.7%と最も高くなっている。中学校2年生では『わからない』が6.8%と最も高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

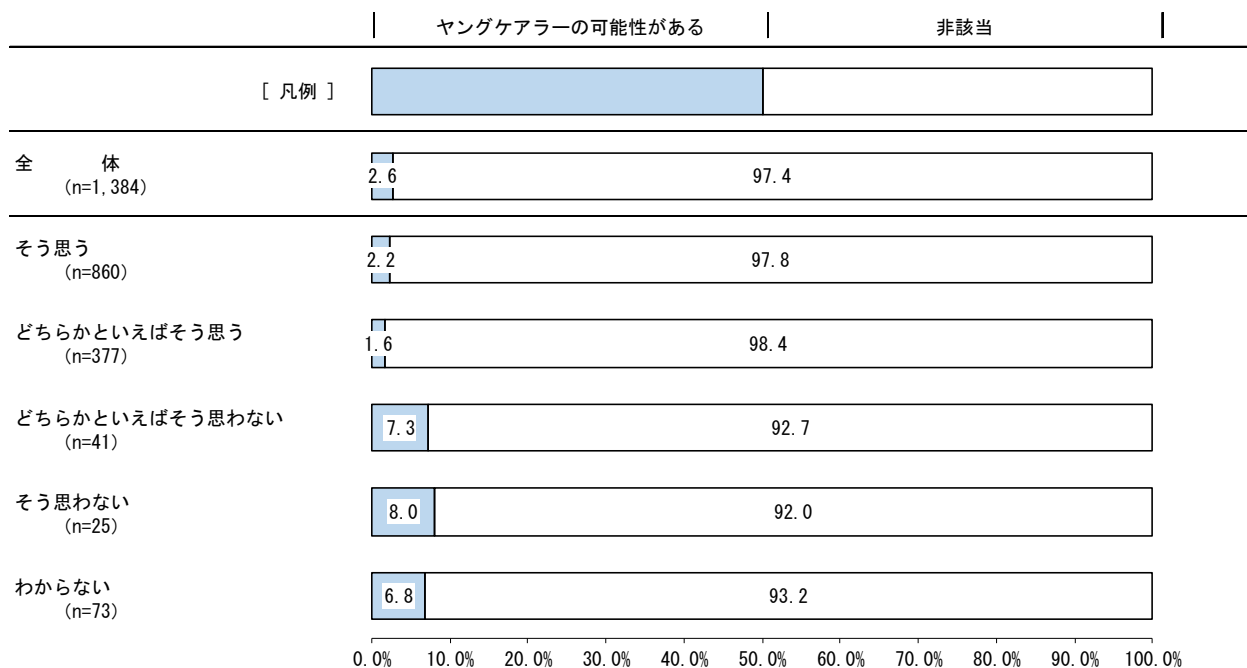
<今回調査>【図表 4-381 ヤングケアラーの可能性】

((力) 自分は家族に大事にされていると思う・小学校5年生)



<今回調査>【図表 4-382 ヤングケアラーの可能性】

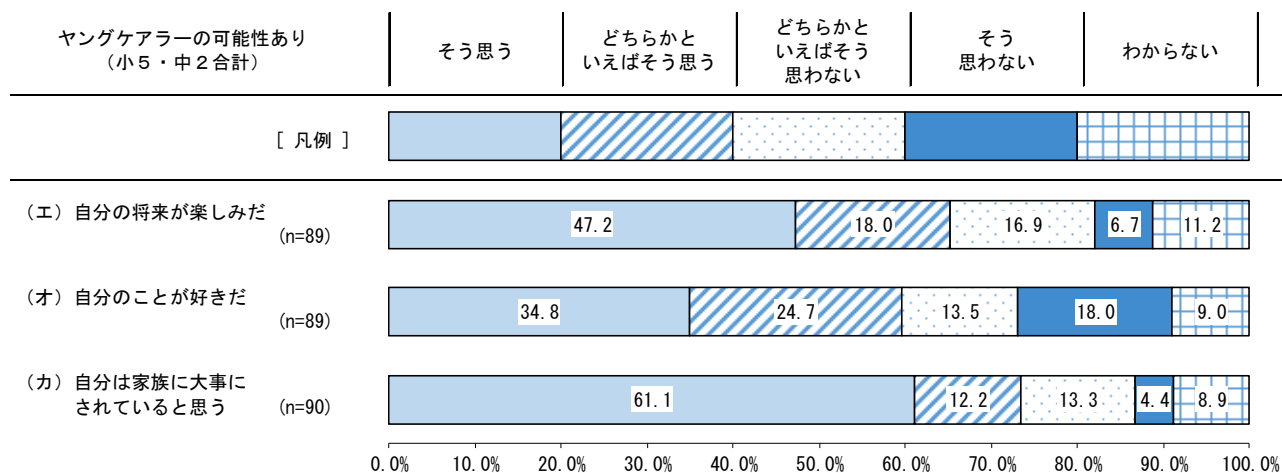
((力) 自分は家族に大事にされていると思う・中学校2年生)



ヤングケアラーの可能性のある人（小学校５年生、中学校２年生の合計）に、将来に対する考え方や自己肯定感等について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は『自分の将来が楽しみだ』が 65.2%、『自分のことが好きだ』が 59.5%、『自分は家族に大切にされていると思う』が 73.3%、となっている。

＜今回調査＞【図表 4-383 将来に対する考え方や自己肯定感等】

（ヤングケアラーの可能性あり・小５・中２合計）



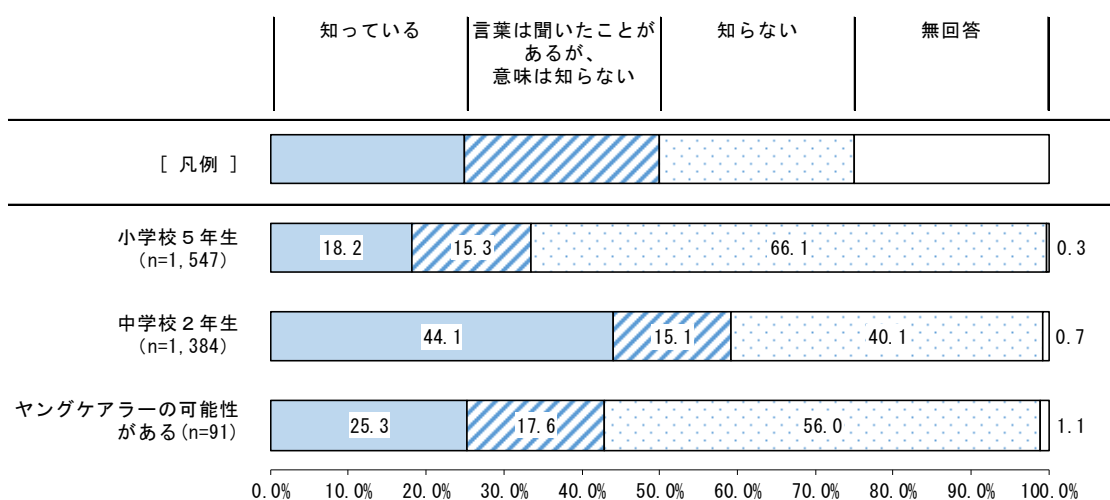
(4) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度【問21】(SA)

「ヤングケアラー」という言葉を知っているか聞いたところ、小学校5年生では「知っている」が18.2%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が15.3%、「知らない」が66.1%となっている。

中学校2年生では「知っている」が44.1%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が15.1%、「知らない」が40.1%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「知っている」が25.3%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が17.6%、「知らない」が56.0%となっている。

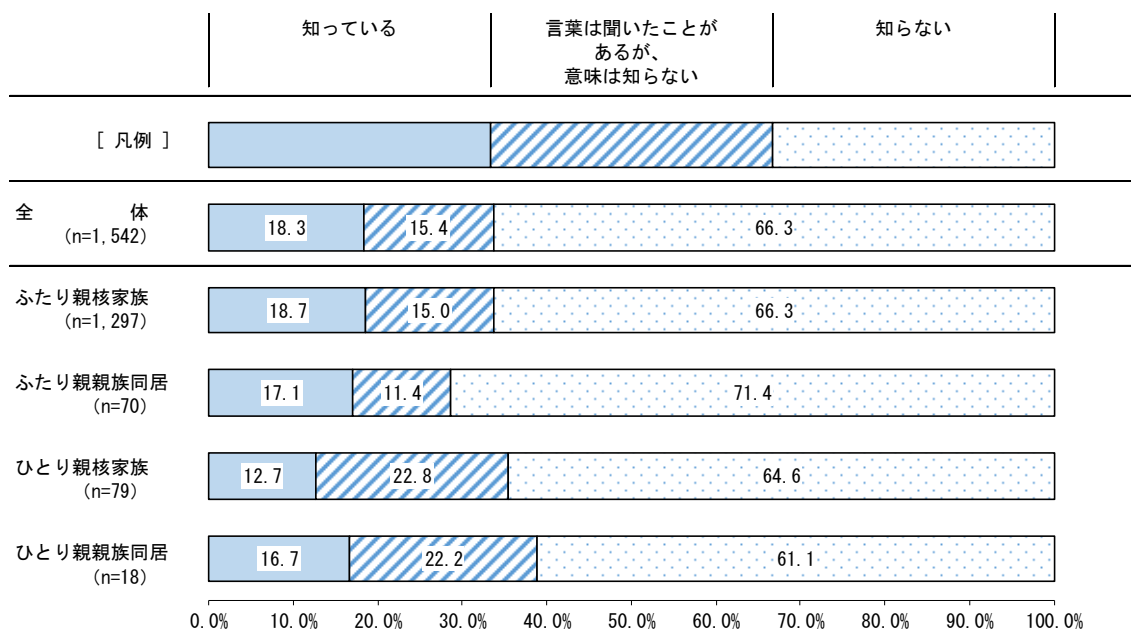
<今回調査>【図表 4-384 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】



小学校5年生の「ヤングケアラー」という言葉の認知度を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「知っている」が12.7%と全体に比べて低く、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が22.8%と全体に比べて高くなっている。

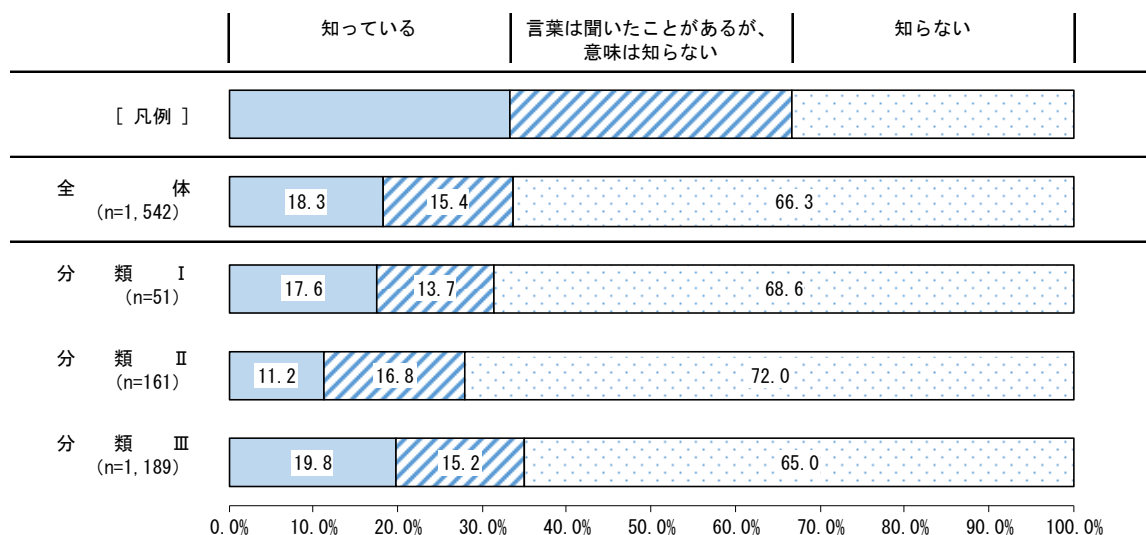
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-385 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】(小学校5年生・世帯構成別)



所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「知っている」が11.2%と全体に比べて低く、「知らない」が72.0%と全体に比べて高くなっている。

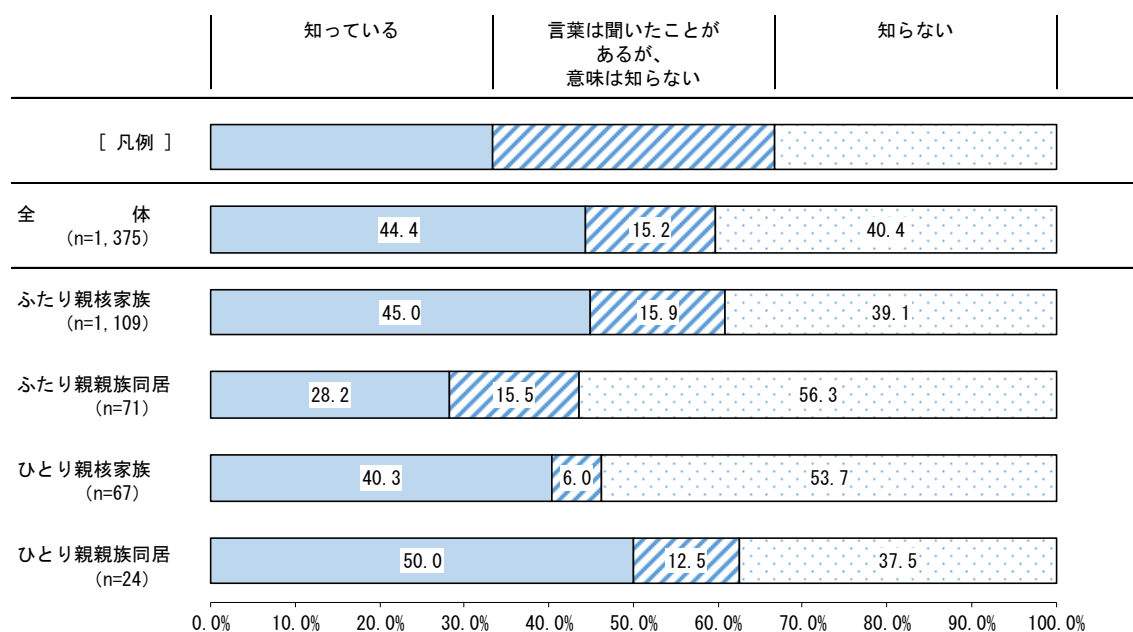
<今回調査>【図表 4-386 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】(小学校5年生・所得分類別)



中学校2年生の「ヤングケアラー」という言葉の認知度を世帯構成別にみると、「知っている」は『ふたり親親族同居』が28.2%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

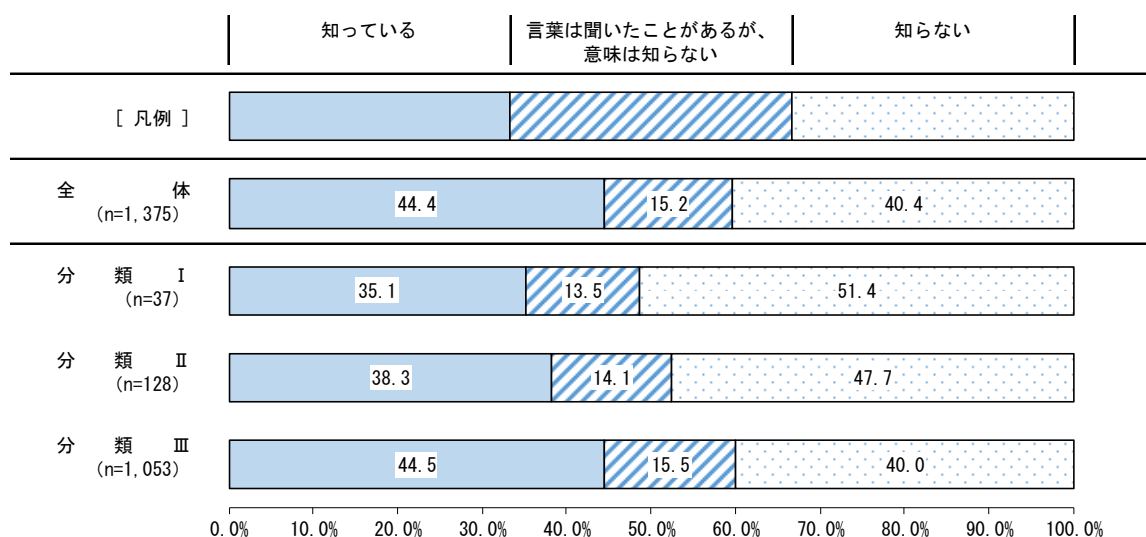
<今回調査>【図表 4-387 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】(中学校2年生・世帯構成別)



所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「知っている」が38.3%と全体に比べて低く、「知らない」が47.7%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 4-388 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】(中学校2年生・所得分類別)



第 5 章

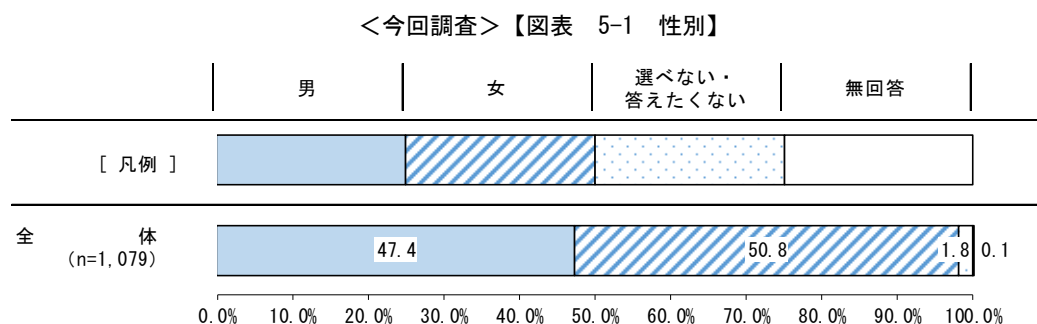
若者（16～30 歳）に関する調査結果

第1節 若者の属性

(1) 回答者の属性

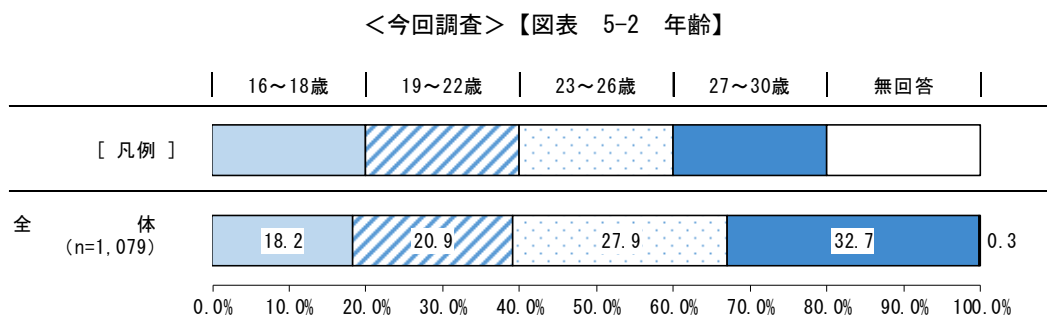
ア 性別【問1】(SA)

性別を聞いたところ、次のとおりとなった。



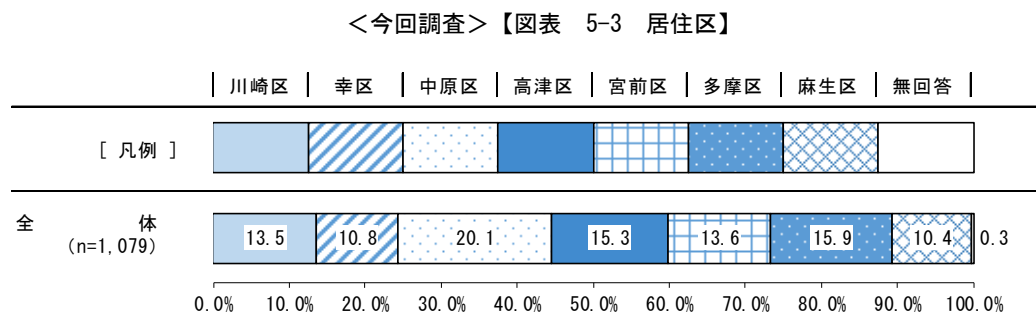
イ 年齢【問2】(NA)

年齢を聞いたところ、次のとおりとなった。



ウ 居住区【問3】(SA)

居住区を聞いたところ、次のとおりとなった。

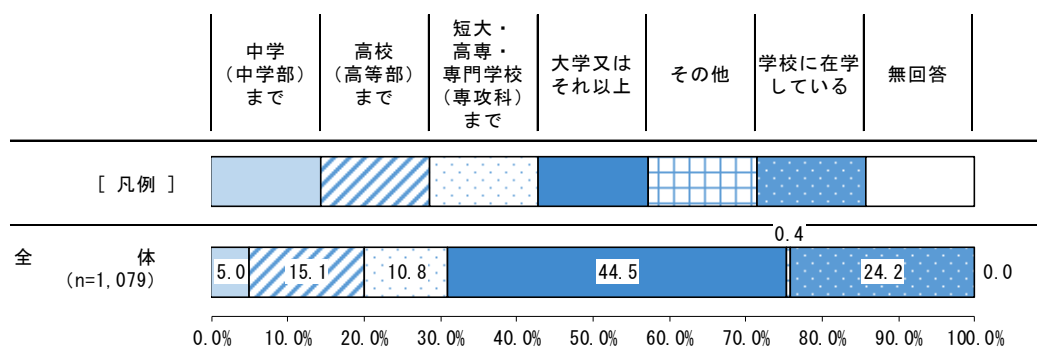


エ 最終学歴【問4】(SA)

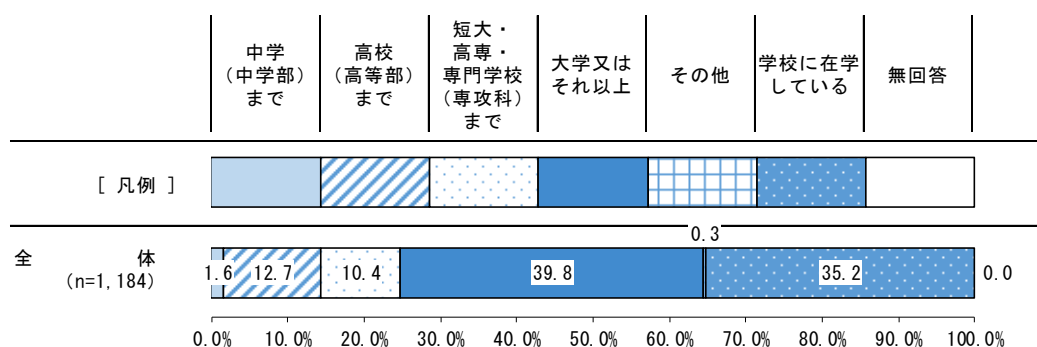
最終学歴を聞いたところ、「大学又はそれ以上」が44.5%で最も高く、次いで「学校に在学している」が24.2%、「高校（高等部）まで」が15.1%となっている。

経年でみると、「学校に在学している」が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-4 最終学歴】



＜前回調査＞【図表 5-5 最終学歴】

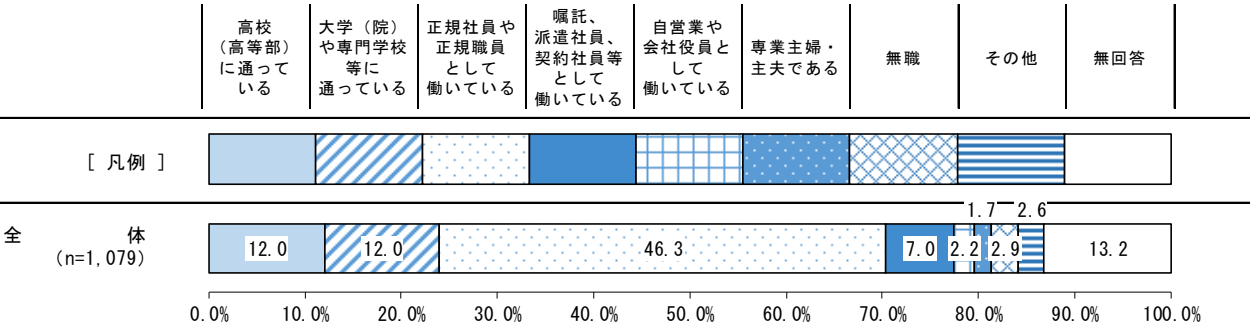


オ 就学・就業等の状況【問12】（SA）

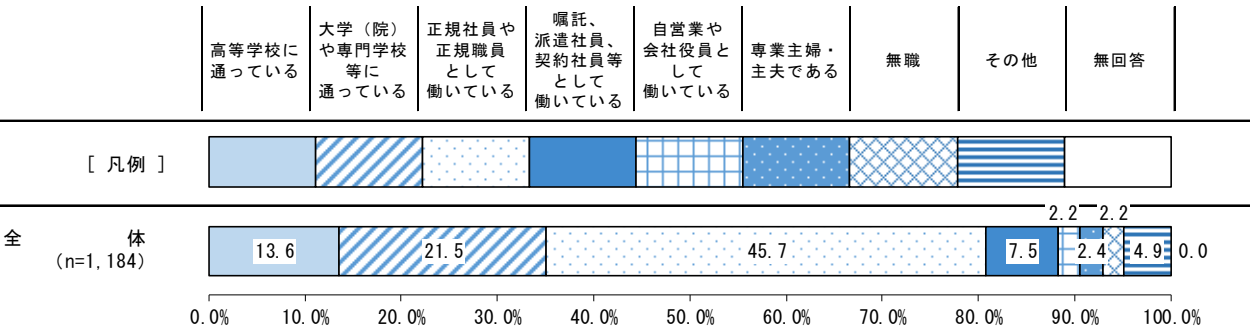
就学・就業等の状況を聞いたところ、「正規社員や正規職員として働いている」が 46.3%で最も高く、次いで「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」が 12.0%、「嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている」が 7.0%となっている。

経年でみると、「大学（院）や専門学校等に通っている」が前回調査に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-6 就学・就業等の状況】



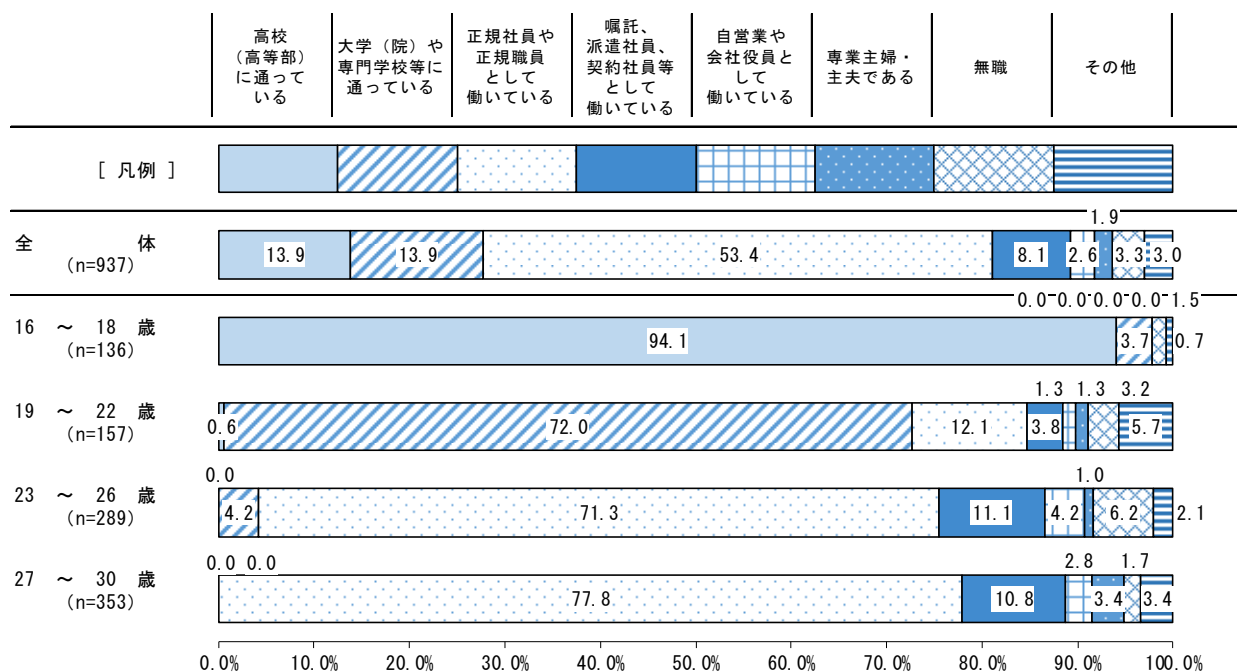
＜前回調査＞【図表 5-7 就学・就業等の状況】



就学・就業等の状況を年齢別にみると、「高校（高等部）に通っている」は『16～18 歳』が 94.1%、「大学（院）や専門学校等に通っている」は『19～22 歳』が 72.0%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。「正規社員や正規職員として働いている」は『23～26 歳』が 71.3%、『27～30 歳』が 77.8%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、前回調査と年齢の回答方法が異なるため、前回グラフは掲載しない。

＜今回調査＞【図表 5-8 就学・就業等の状況】（年齢別）



第2節 若者の生活

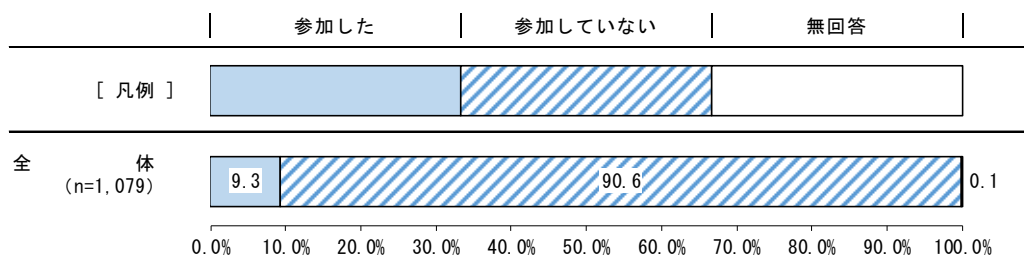
(1) 地域活動等への参加状況

ア 地域活動やボランティア活動への参加状況【問5】(SA)

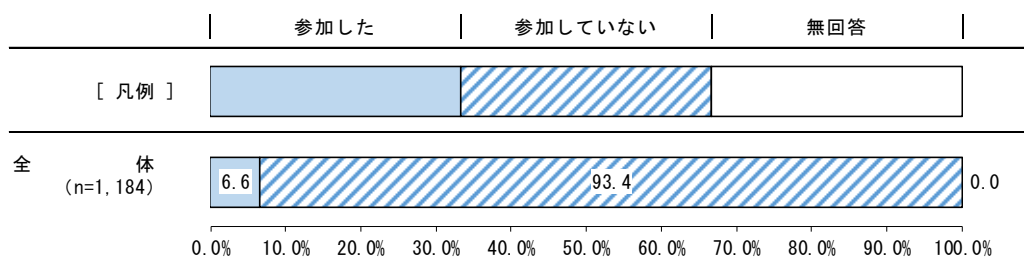
直近1年間での地域活動やボランティア活動などへの参加状況を聞いたところ、「参加した」が9.3%、「参加していない」が90.6%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 5-9 地域活動やボランティア活動への参加状況】



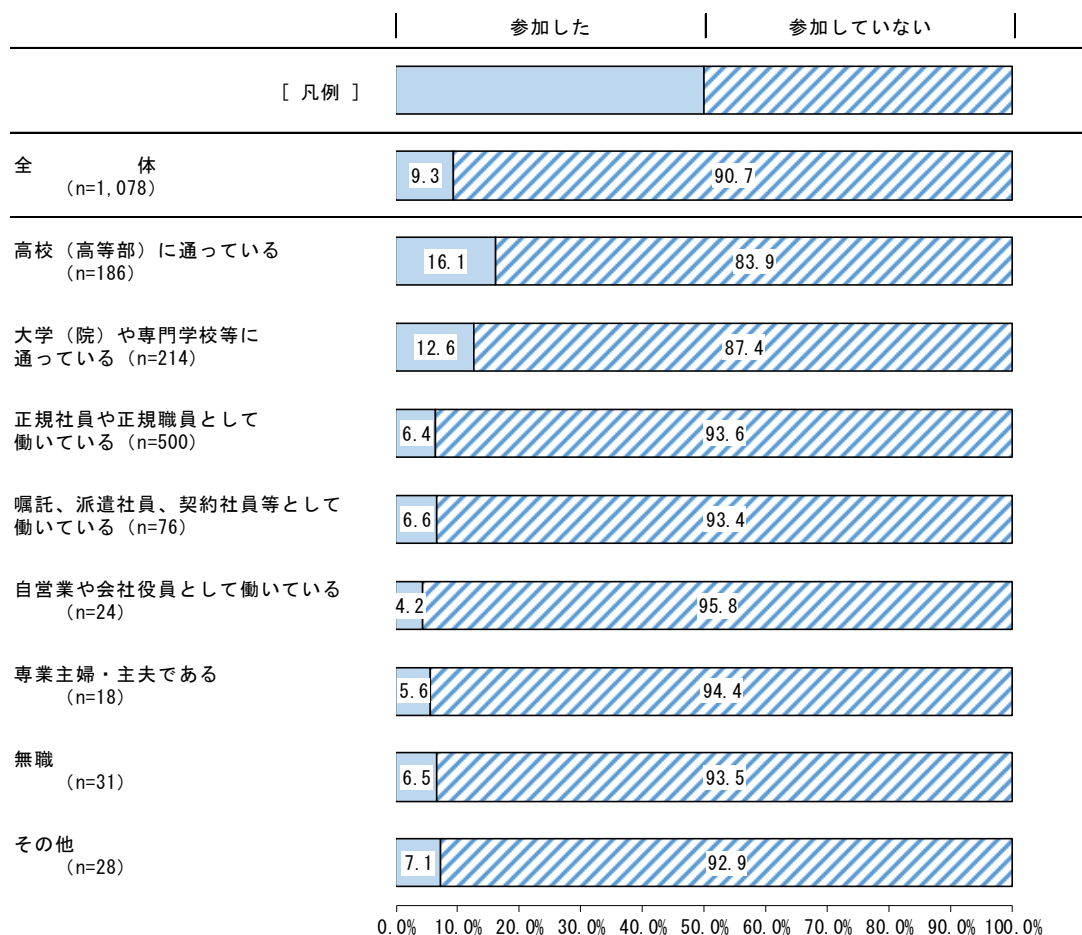
＜前回調査＞【図表 5-10 地域活動やボランティア活動への参加状況】



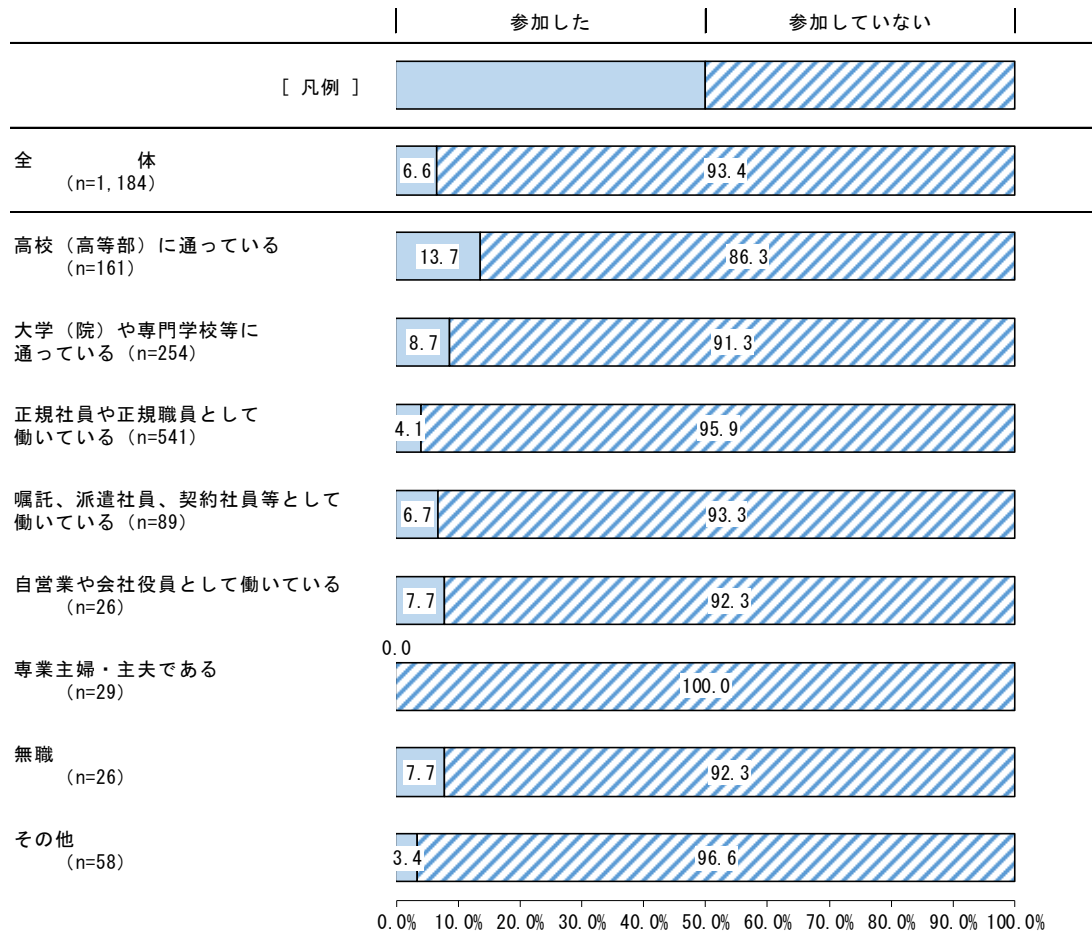
直近1年間での地域活動やボランティア活動などへの参加状況を就学・就業状況別にみると、「参加した」は『高校（高等部）に通っている』が16.1%と、全体に比べて高くなっている。経年でみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-11 地域活動やボランティア活動への参加状況】（就学・就業状況別）



<前回調査> 【図表 5-12 地域活動やボランティア活動への参加状況】（就学・就業状況別）

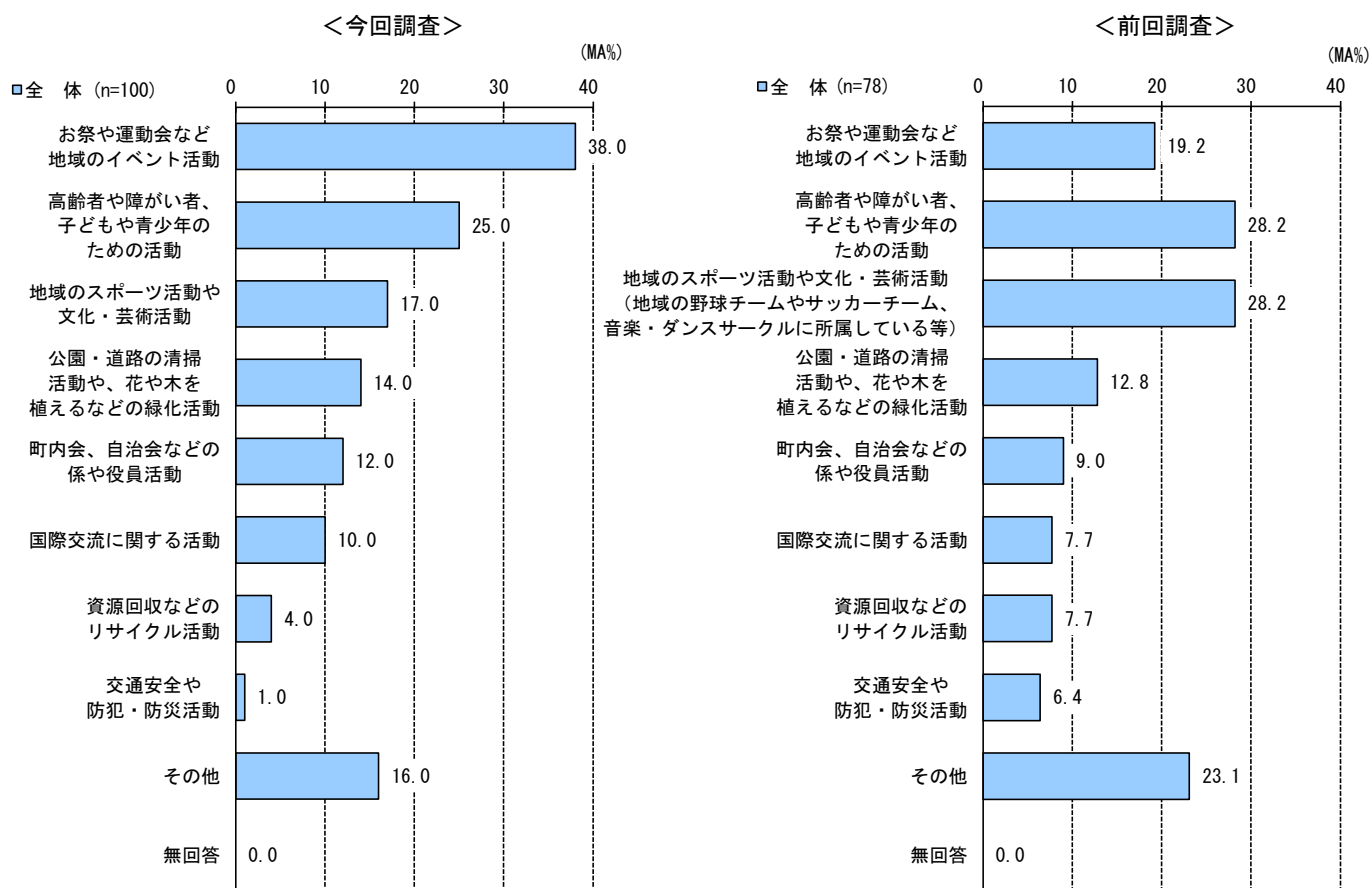


イ 地域活動やボランティア活動の内容【問6】(MA)

地域活動やボランティア活動などに「参加した」と回答した方に、活動の内容を複数回答で聞いたところ、「お祭や運動会など地域のイベント活動」が 38.0%で最も高く、次いで「高齢者や障がい者、子どもや青少年のための活動」が 25.0%、「地域のスポーツ活動や文化・芸術活動」が 17.0%となっている。

経年でみると、「お祭や運動会など地域のイベント活動」が前回調査に比べて高く、「交通安全や防犯・防災活動」が前回調査に比べて低くなっている。

【図表 5-13 地域活動やボランティア活動の内容（複数回答）】



地域活動やボランティア活動の内容の就学・就業状況別については、すべての項目のサンプル数が 50 に満たないため、参考値とし、経年比較等は行わない。

＜今回・前回調査＞【図表 5-14 地域活動やボランティア活動の内容（複数回答）】（就学・就業状況別）

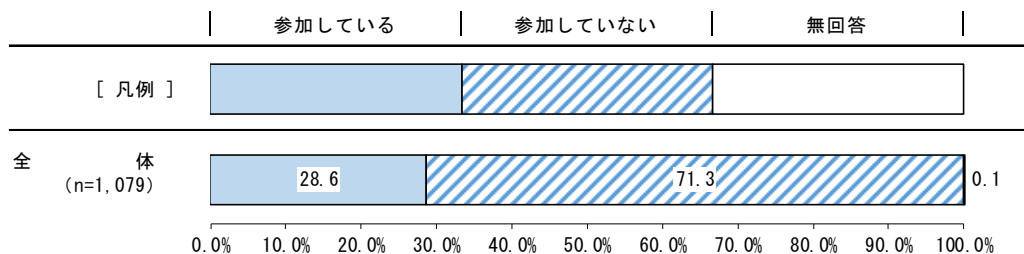
			母数 (n)	お祭や運動会など地域の イベント活動	高齢者や障がい者、子ども や青少年のための活動	文化・芸術活動	地域のスポーツ活動や 文化・芸術活動	公園・道路の清掃活動や、 花や木を植えるなどの緑化 活動	町内会、自治会などの 係や役員活動	国際交流に関する活動	資源回収などのリサイクル 活動	交通安全や防犯・防災活動	その他
今回調査	就学・就業 状況別	全体	100	38.0	25.0	17.0	14.0	12.0	10.0	4.0	1.0	16.0	
		高校（高等部）に通っている	30	36.7	26.7	16.7	△ 20.0	△ 20.0	10.0	6.7	-	16.7	
		大学（院）や専門学校等に通っている	27	40.7	25.9	14.8	14.8	▼ 3.7	7.4	7.4	-	11.1	
		正規社員や正規職員として働いている	32	▼ 28.1	▼ 15.6	△ 25.0	▼ 6.3	▼ 6.3	△ 15.6	-	-	△ 25.0	
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	5	△ 60.0	△ 60.0	-	△ 20.0	△ 40.0	-	-	-	-	
		自営業や会社役員として働いている	1	-	-	-	△ 100.0	-	-	-	-	-	
		専業主婦・主夫である	1	△ 100.0	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
		無職	2	△ 50.0	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-	
		その他	2	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
前回調査	就学・就業 状況別	全体	78	19.2	28.2	28.2	12.8	9.0	7.7	7.7	6.4	23.1	
		高等学校に通っている	22	22.7	31.8	▼ 13.6	13.6	13.6	-	△ 13.6	4.5	27.3	
		大学（院）や専門学校等に通っている	22	18.2	△ 40.9	△ 36.4	13.6	-	9.1	4.5	9.1	27.3	
		正規社員や正規職員として働いている	22	▼ 13.6	▼ 22.7	△ 36.4	13.6	13.6	△ 13.6	-	9.1	▼ 13.6	
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	6	-	-	△ 33.3	-	-	△ 16.7	-	-	△ 50.0	
		自営業や会社役員として働いている	2	-	-	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-	
		専業主婦・主夫である	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		無職	2	△ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-	-	-	-	
		その他	2	△ 100.0	-	△ 50.0	-	-	-	△ 100.0	-	-	

ウ 部活動やグループ・団体活動への参加状況【問7】(SA)

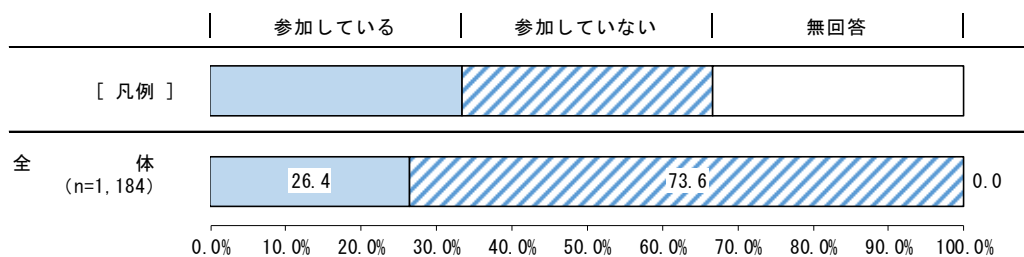
部活動やグループ・団体活動への参加状況を聞いたところ、「参加している」が28.6%、「参加していない」が71.3%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 5-15 部活動やグループ・団体活動への参加状況】



＜前回調査＞【図表 5-16 部活動やグループ・団体活動への参加状況】



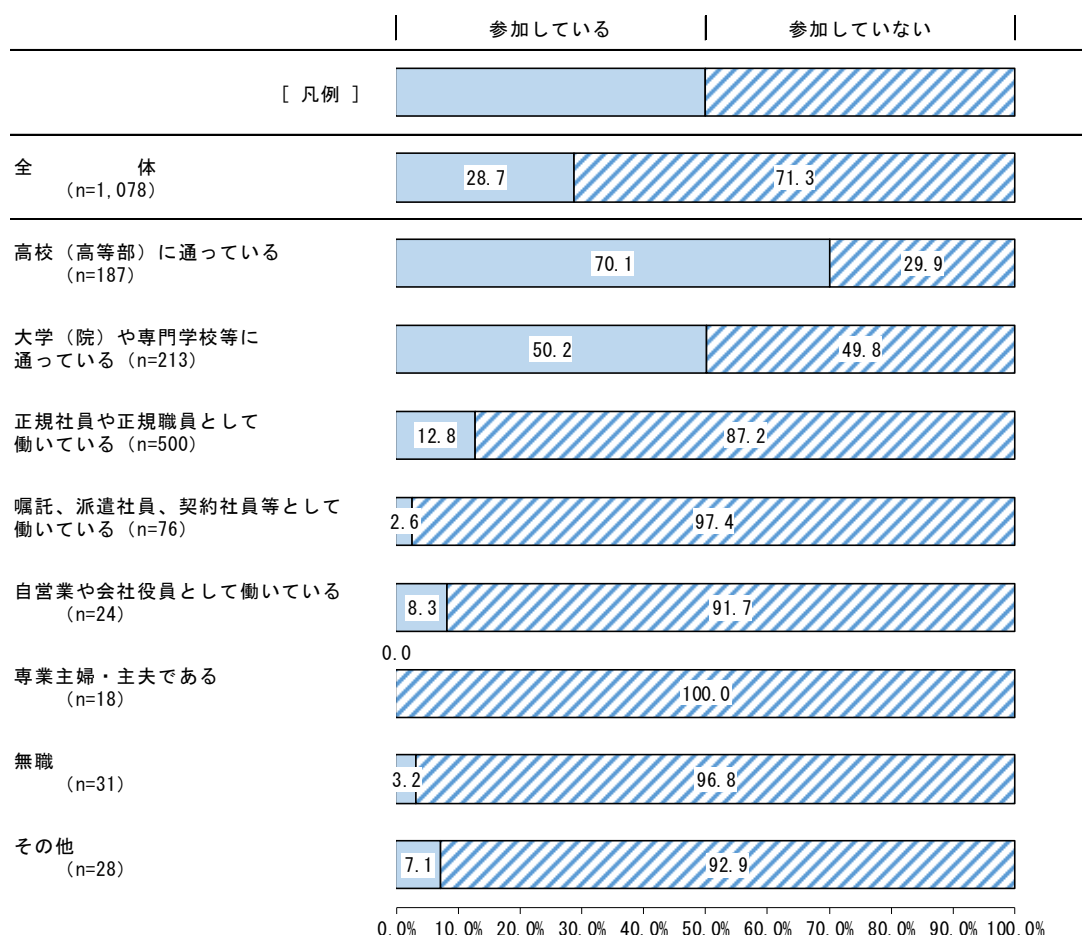
※ページ調整のため余白

部活動やグループ・団体活動への参加状況を就学・就業状況別にみると、「参加している」は『高校（高等部）に通っている』が70.1%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が50.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

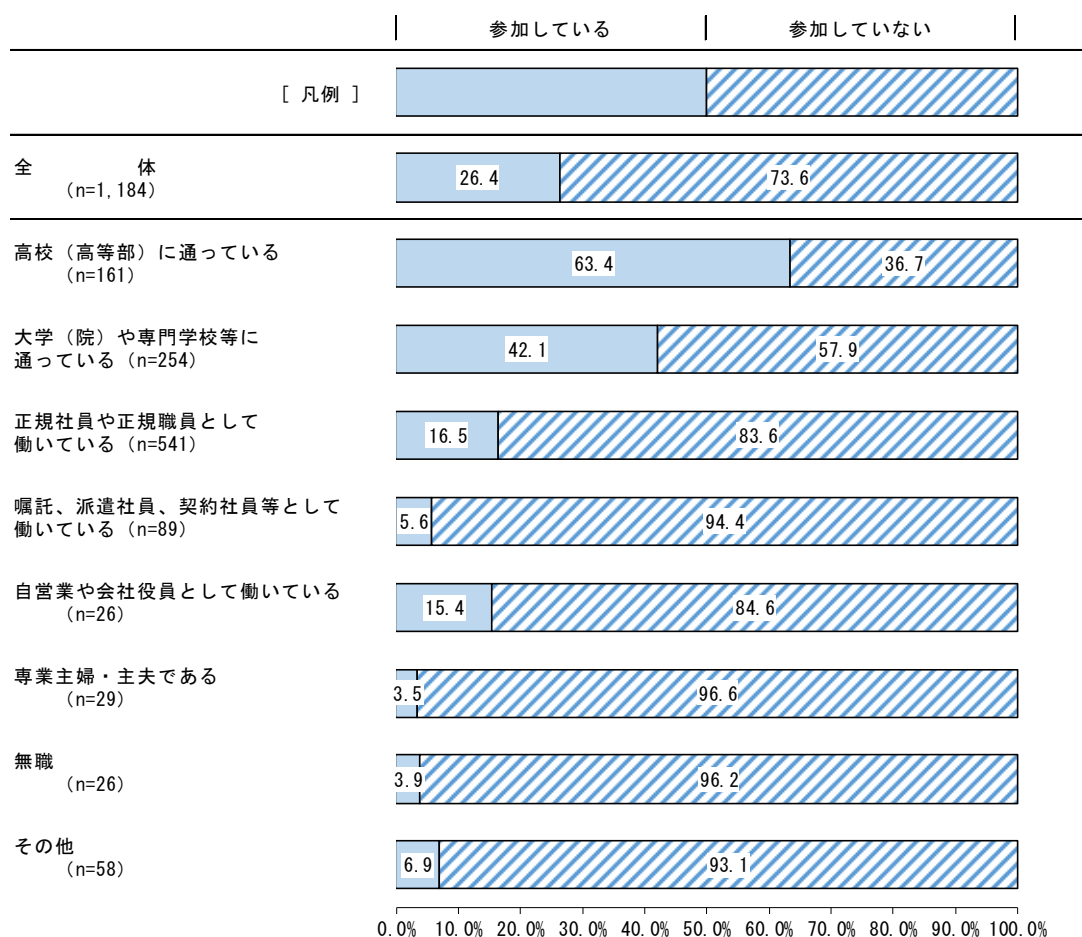
経年でみると、「参加している」は『高校（高等部）に通っている』『大学（院）や専門学校等に通っている』が前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-17 部活動やグループ・団体活動への参加状況】（就学・就業状況別）



<前回調査> 【図表 5-18 部活動やグループ・団体活動への参加状況】（就学・就業状況別）

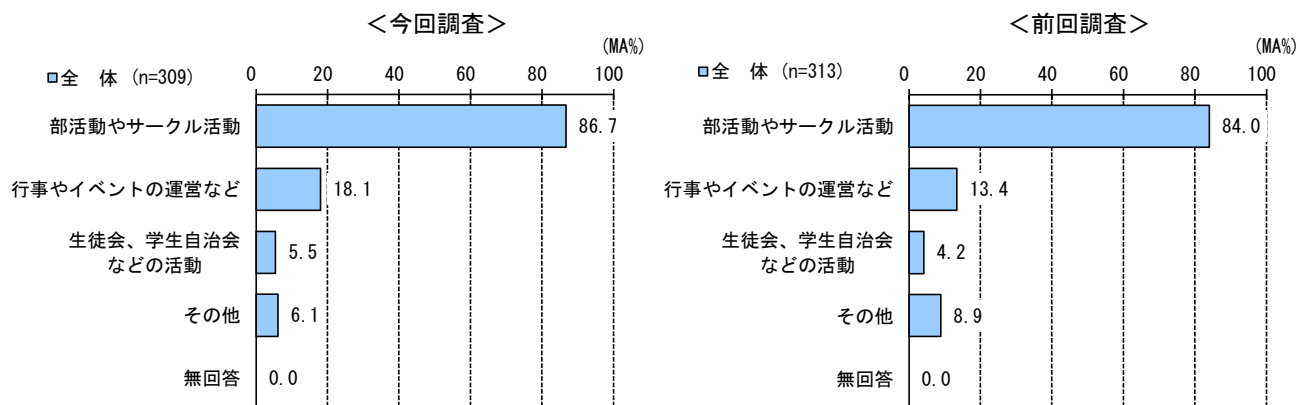


エ 参加している活動の内容【問7-1】(MA)

部活動やグループ・団体活動に「参加している」と回答した方に、参加している活動内容を複数回答で聞いたところ、「部活動やサークル活動」が86.7%で最も高く、次いで「行事やイベントの運営など」が18.1%、「生徒会、学生自治会などの活動」が5.5%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

【図表 5-19 部活動やグループ・団体活動の内容（複数回答）】



部活動やグループ・団体活動の内容を就学・就業状況別にみると、「部活動やサークル活動」は『高校（高等部）に通っている』が 95.4%、「行事やイベントの運営など」は『正規社員や正規職員として働いている』が 28.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「行事やイベントの運営など」は『正規社員や正規職員として働いている』が、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回・前回調査>【図表 5-20 部活動やグループ・団体活動の内容（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

			母数 (n)	部活動やサークル活動	行事やイベントの運営など	生徒会、学生自治会などの活動	その他
今回調査	全体		309	86.7	18.1	5.5	6.1
	就学・就業状況別	高校（高等部）に通っている	131	△ 95.4	14.5	8.4	2.3
		大学（院）や専門学校等に通っている	107	89.7	15.9	4.7	4.7
		正規社員や正規職員として働いている	64	▼ 68.8	△ 28.1	1.6	△ 14.1
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	2	▼ 50.0	△ 50.0	-	-
		自営業や会社役員として働いている	2	△ 100.0	-	-	-
		専業主婦・主夫である	-	-	-	-	-
		無職	1	-	△ 100.0	-	-
		その他	2	-	-	-	△ 100.0
前回調査	全体		313	84.0	13.4	4.2	8.9
	就学・就業状況別	高等学校に通っている	102	△ 93.1	11.8	5.9	▼ 2.0
		大学（院）や専門学校等に通っている	107	△ 90.7	9.3	4.7	6.5
		正規社員や正規職員として働いている	89	▼ 68.5	△ 21.3	2.2	△ 16.9
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	5	△ 100.0	-	-	-
		自営業や会社役員として働いている	4	▼ 50.0	-	-	△ 50.0
		専業主婦・主夫である	1	△ 100.0	-	-	-
		無職	1	△ 100.0	-	-	-
		その他	4	▼ 25.0	△ 25.0	-	△ 50.0

(2) 自由時間の過ごし方

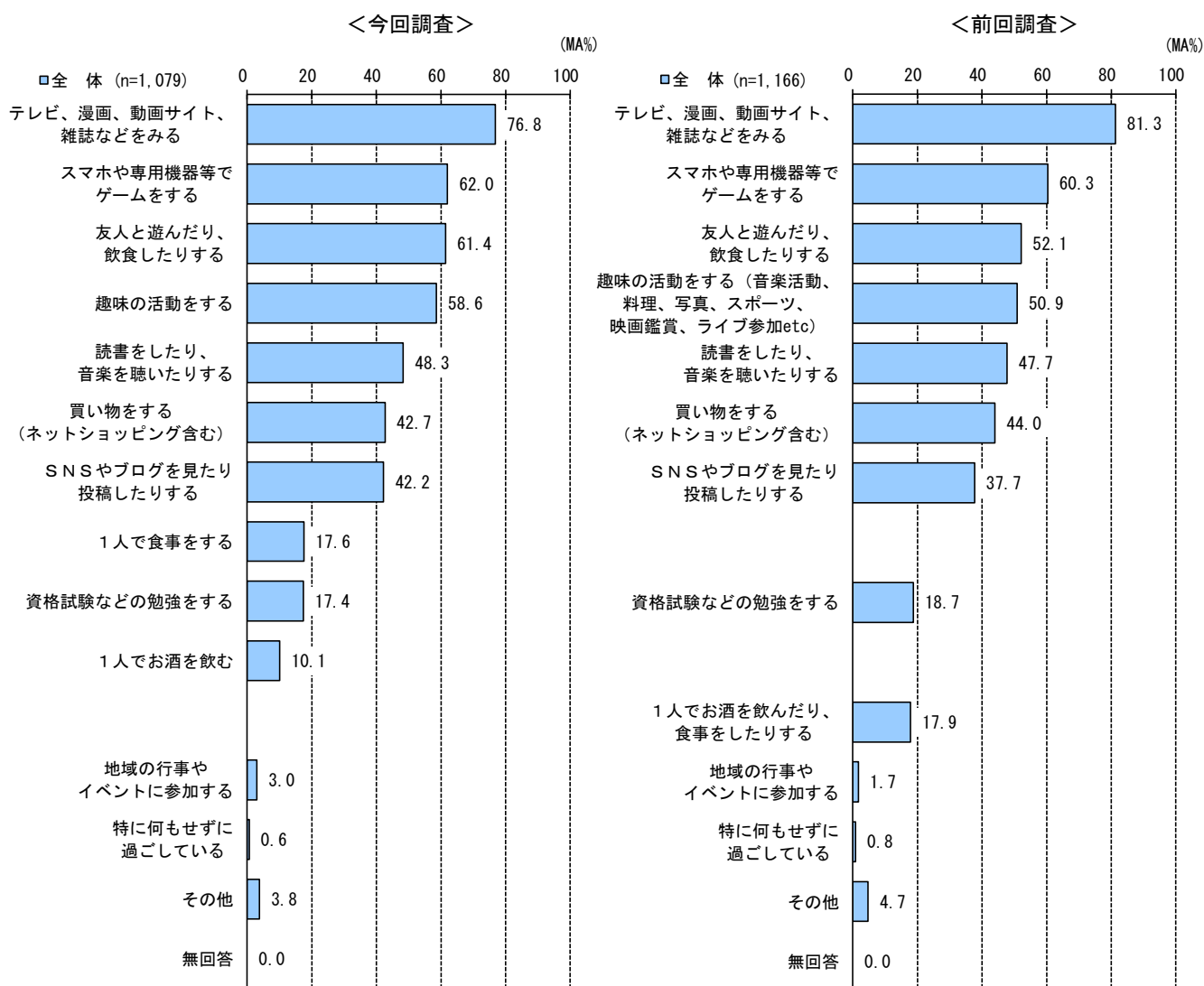
ア 自由時間の過ごし方【問8】(MA)

自由時間の過ごし方を複数回答で聞いたところ、「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」が76.8%で最も高く、次いで「スマホや専用機器等でゲームをする」が62.0%、「友人と遊んだり、飲食したりする」が61.4%となっている。

経年でみると、「友人と遊んだり、飲食したりする」「趣味の活動をする」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

【図表 5-21 自由時間の過ごし方（複数回答）】



自由時間の過ごし方を就学・就業状況別にみると、「スマホや専用機器等でゲームをする」は『高校（高等部）に通っている』が 76.5%、「友人と遊んだり、飲食したりする」は『正規社員や正規職員として働いている』が 66.6%、「読書をしたり、音楽を聴いたりする」は『高校（高等部）に通っている』が 54.0%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 53.7%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 53.9%、「買い物をする（ネットショッピング含む）」は『正規社員や正規職員として働いている』が 53.6%、「SNSやブログを見たり投稿したりする」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 47.4%、「1人で食事をする」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 26.3%、「1人でお酒を飲む」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 18.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「友人と遊んだり、飲食したりする」は『高校（高等部）に通っている』『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、「趣味の活動をする」は『高校（高等部）に通っている』『大学（院）や専門学校等に通っている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、「スマホや専用機器等でゲームをする」は『高校（高等部）に通っている』『大学（院）や専門学校等に通っている』で、「読書をしたり、音楽を聴いたりする」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、「SNSやブログを見たり投稿したりする」は『高校（高等部）に通っている』で、それぞれ前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 5-22 自由時間の過ごし方（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

			母数 (n)	テレビ、 雑誌など をみる	スマ ホや専 用機 器等 で	友 人 と 遊 ん だ り、 飲 食	趣 味 の 活 動 を す る	読 書 を し た り、 音 楽 を	シ ョ ッ ピ ン グ を す る (ネ ッ ト 含 む)	S N S や ブ ロ グ を 見 た り
今回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,079	76.8	62.0	61.4	58.6	48.3	42.7	42.2
		高校（高等部）に通っている	187	76.5	△ 76.5	▼ 55.6	55.6	△ 54.0	▼ 22.5	44.9
		大学（院）や専門学校等に通っている	214	78.5	66.8	64.5	57.5	△ 53.7	▼ 37.4	41.6
		正規社員や正規職員として働いている	500	75.8	▼ 55.0	△ 66.6	61.0	43.8	△ 53.6	39.8
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	81.6	59.2	▼ 53.9	63.2	△ 53.9	38.2	△ 47.4
		自営業や会社役員として働いている	24	▼ 66.7	▼ 54.2	58.3	58.3	△ 54.2	▼ 33.3	△ 50.0
		専業主婦・主夫である	18	▼ 66.7	▼ 27.8	▼ 50.0	▼ 22.2	▼ 38.9	44.4	△ 61.1
		無職	31	△ 90.3	△ 83.9	▼ 38.7	△ 64.5	△ 61.3	38.7	41.9
		その他	28	▼ 71.4	64.3	▼ 42.9	▼ 46.4	▼ 21.4	△ 50.0	39.3
前回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,166	81.3	60.3	52.1	50.9	47.7	44.0	37.7
		高校（高等部）に通っている	158	80.4	△ 71.5	48.7	▼ 41.8	50.6	22.2	37.3
		大学（院）や専門学校等に通っている	254	84.3	61.0	56.7	51.6	△ 53.1	▼ 37.0	39.0
		正規社員や正規職員として働いている	535	81.9	57.6	56.3	△ 57.0	44.3	△ 53.6	36.1
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	79.8	62.9	▼ 43.8	51.7	48.3	46.1	△ 43.8
		自営業や会社役員として働いている	24	▼ 50.0	▼ 45.8	50.0	▼ 33.3	▼ 41.7	45.8	▼ 20.8
		専業主婦・主夫である	25	80.0	▼ 44.0	▼ 28.0	▼ 28.0	▼ 28.0	▼ 28.0	▼ 32.0
		無職	26	80.8	△ 76.9	▼ 23.1	▼ 38.5	△ 57.7	▼ 34.6	▼ 30.8
		その他	55	81.8	▼ 52.7	▼ 38.2	▼ 38.2	△ 52.7	△ 52.7	△ 50.9

単位：％

			母数 (n)	1 人 で 食 事 を す る	資 格 試 験 な ど の 勉 強 を す る	1 人 で お 酒 を 飲 む	1 人 で お 酒 を 飲 ん だ り、 食 事 を し た り す る	参 加 地 域 の 行 事 や イ ベ ン ト に	特 に 何 も せ ず に 過 ご し て	そ の 他
今回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,079	17.6	17.4	10.1		3.0	0.6	3.8
		高校（高等部）に通っている	187	▼ 5.9	▼ 12.3	-		3.7	-	4.3
		大学（院）や専門学校等に通っている	214	17.8	16.4	7.0		1.9	0.5	0.9
		正規社員や正規職員として働いている	500	20.6	20.8	14.0		2.6	0.6	3.8
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	△ 26.3	19.7	△ 18.4		3.9	-	6.6
		自営業や会社役員として働いている	24	16.7	12.5	12.5		△ 8.3	-	△ 12.5
		専業主婦・主夫である	18	▼ 5.6	▼ 5.6	-		△ 11.1	-	-
		無職	31	12.9	12.9	△ 16.1		3.2	3.2	3.2
		その他	28	△ 32.1	▼ 10.7	7.1		-	3.6	△ 10.7
前回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,166		18.7		17.9	1.7	0.8	4.7
		高校（高等部）に通っている	158		15.8		▼ 1.3	-	0.6	5.1
		大学（院）や専門学校等に通っている	254		23.2		▼ 11.8	2.8	0.8	5.9
		正規社員や正規職員として働いている	535		20.0		△ 25.2	1.5	0.4	3.4
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89		15.7		21.3	3.4	1.1	4.5
		自営業や会社役員として働いている	24		▼ 12.5		20.8	-	-	△ 12.5
		専業主婦・主夫である	25		-		▼ 12.0	-	△ 8.0	8.0
		無職	26		15.4		19.2	△ 7.7	-	3.8
		その他	55		▼ 10.9		18.2	-	1.8	7.3

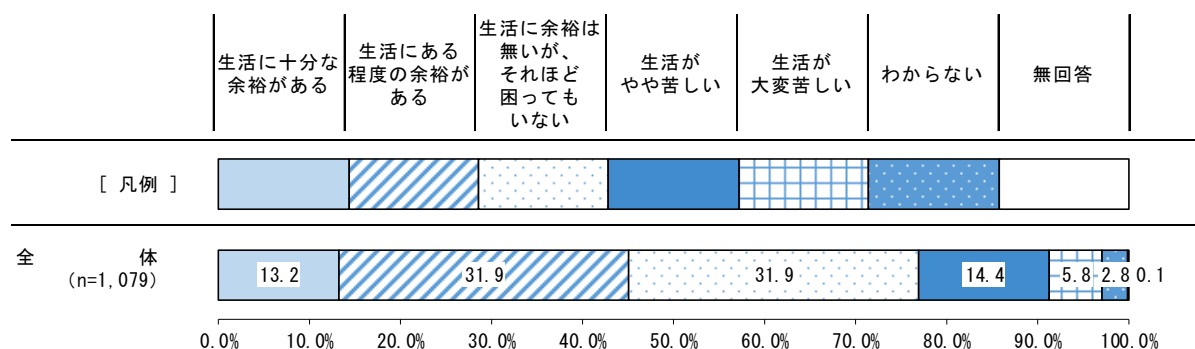
(3) 経済的な生活状況

ア 現在の経済的な生活状況【問10】(SA)

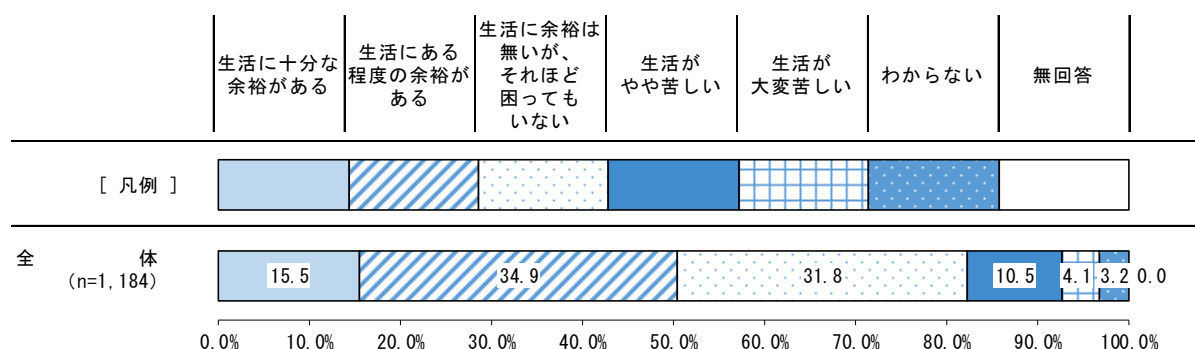
現在の経済的な生活状況を聞いたところ、「生活にある程度の余裕がある」「生活に余裕は無いが、それほど困ってもいない」が31.9%で最も高く、次いで「生活がやや苦しい」が14.4%、「生活に十分な余裕がある」が13.2%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 5-23 現在の経済的な生活状況】



＜前回調査＞【図表 5-24 現在の経済的な生活状況】

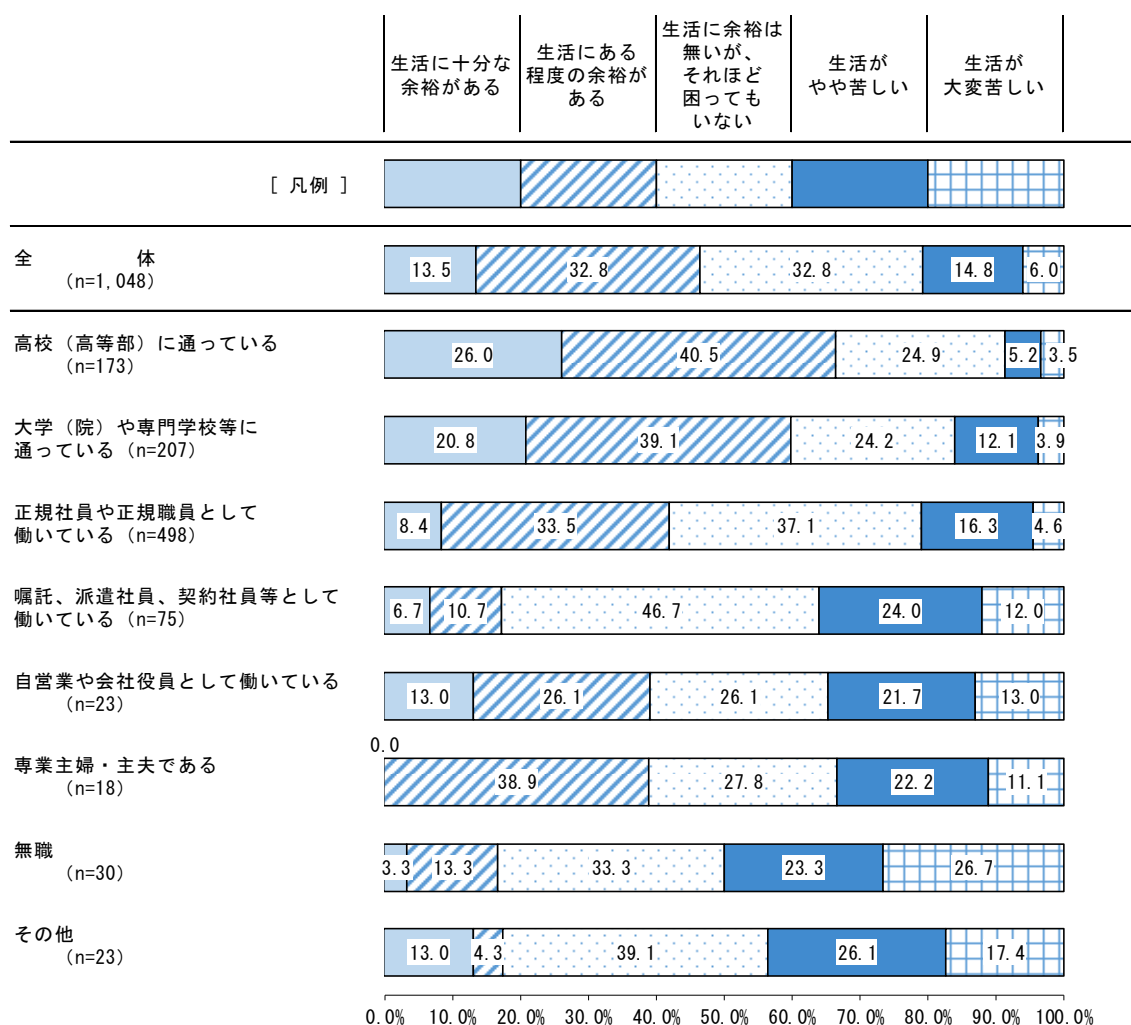


現在の経済的な生活状況を就学・就業状況別にみると、「生活がやや苦しい」「生活が大変苦しい」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 24.0%、12.0%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「生活に十分な余裕がある」は『高校（高等部）に通っている』『大学（院）や専門学校等に通っている』で、「生活にある程度の余裕がある」は『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、それぞれ前回調査に比べて低く、「生活がやや苦しい」は『正規社員や正規職員として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

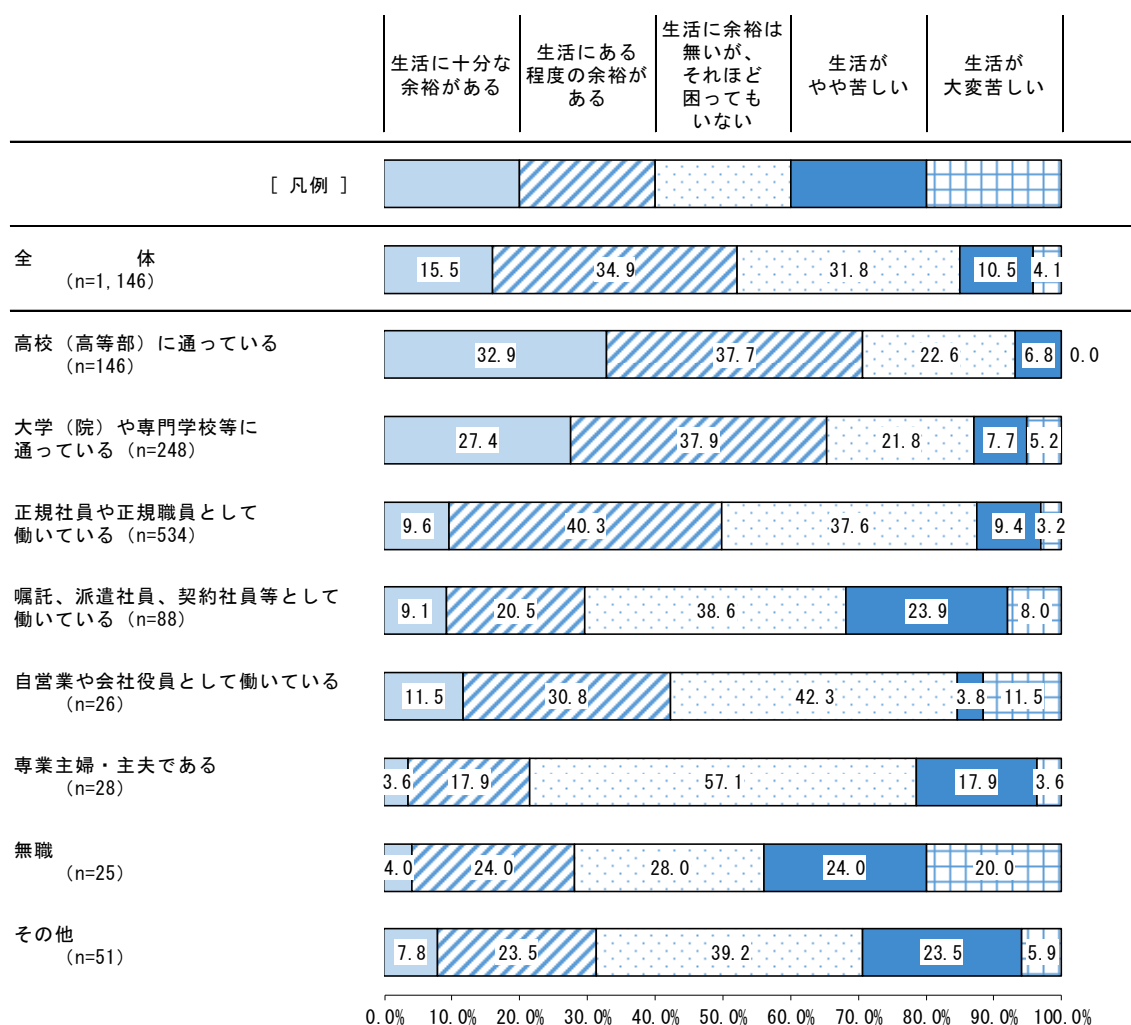
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-25 現在の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-26 現在の経済的な生活状況】(就学・就業状況別)



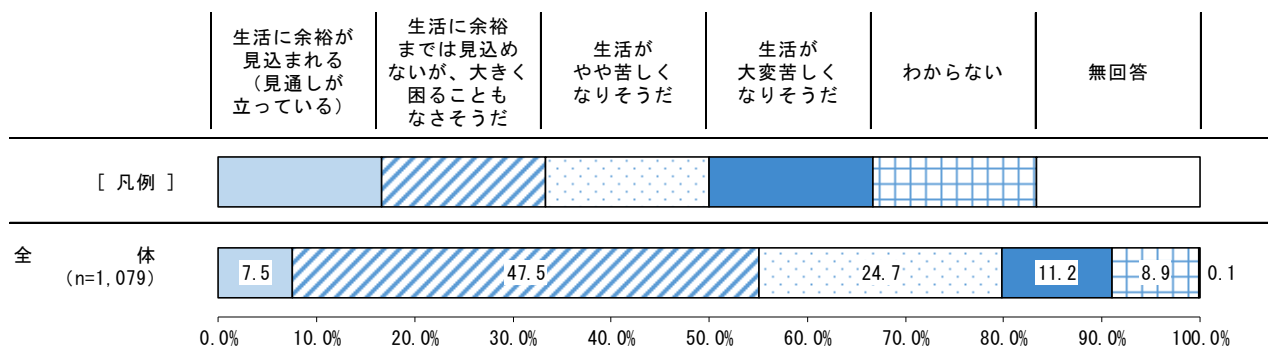
注：「わからない」を除く

イ 将来の経済的な生活状況【問11】（SA）

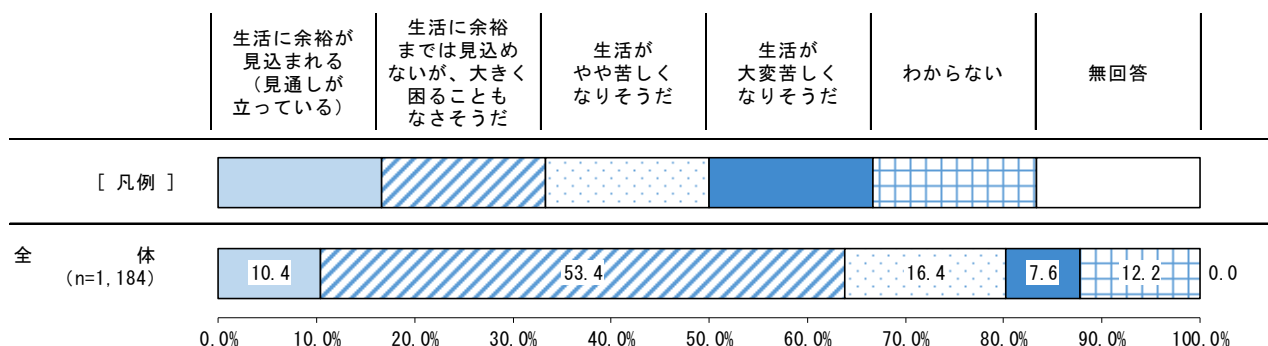
将来（５～１０年後）の経済的な生活状況を聞いたところ、「生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそうだ」が 47.5%で最も高く、次いで「生活がやや苦しくなりそうだ」が 24.7%、「生活が大変苦しくなりそうだ」が 11.2%となっている。

経年でみると、「生活がやや苦しくなりそうだ」が前回調査に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-27 将来（５～１０年後）の経済的な生活状況】



＜前回調査＞【図表 5-28 将来（５～１０年後）の経済的な生活状況】



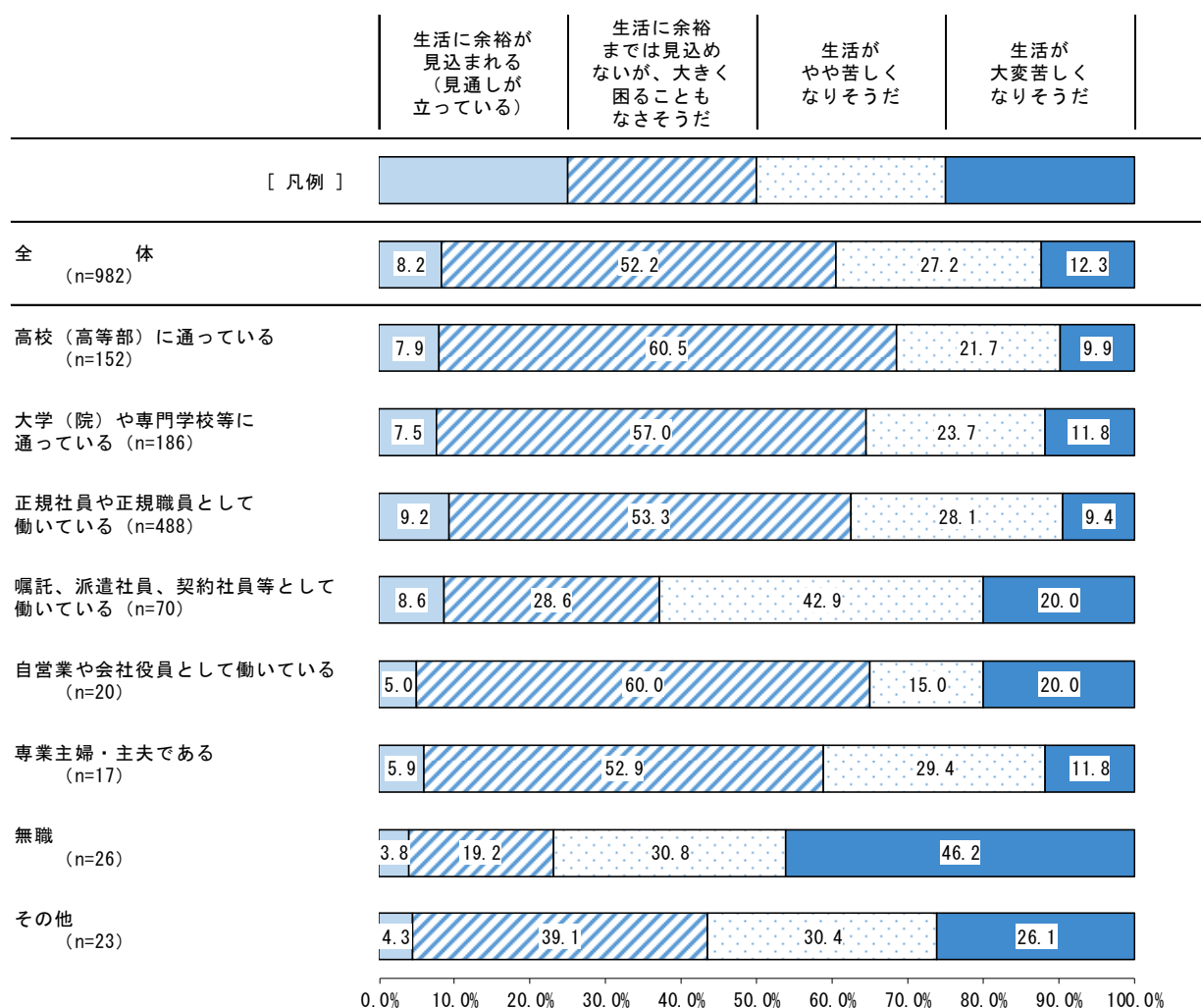
※ページ調整のため余白

将来（５～１０年後）の経済的な生活状況を就学・就業状況別にみると、「生活がやや苦しくなりそうだ」「生活が大変苦しくなりそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が42.9%、20.0%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「生活がやや苦しくなりそうだ」は『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、「生活が大変苦しくなりそうだ」は『高校（高等部）に通っている』で、それぞれ前回調査に比べて高くなっている。

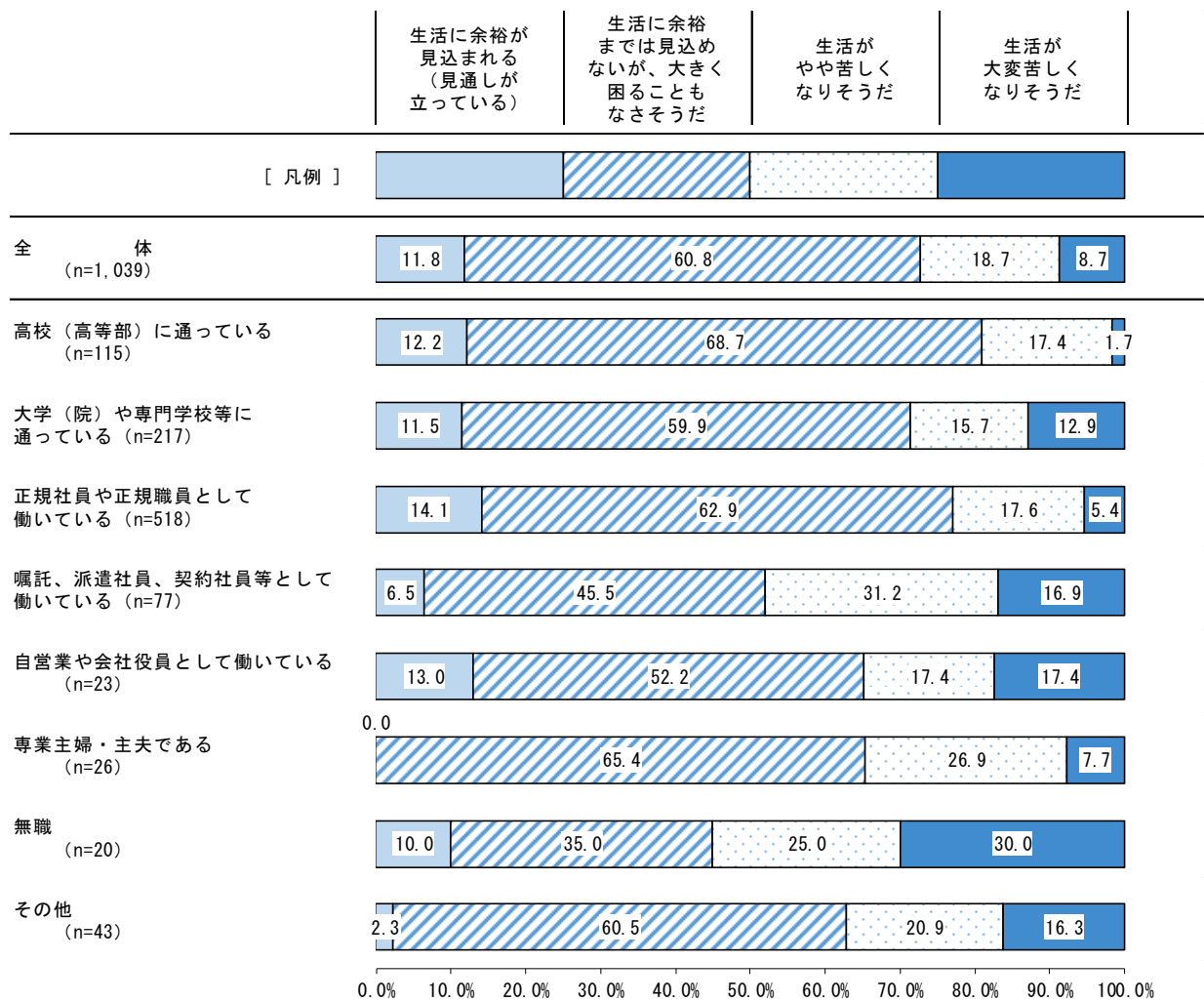
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-29 将来（５～１０年後）の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-30 将来（5～10年後）の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

第3節 若者の意識等

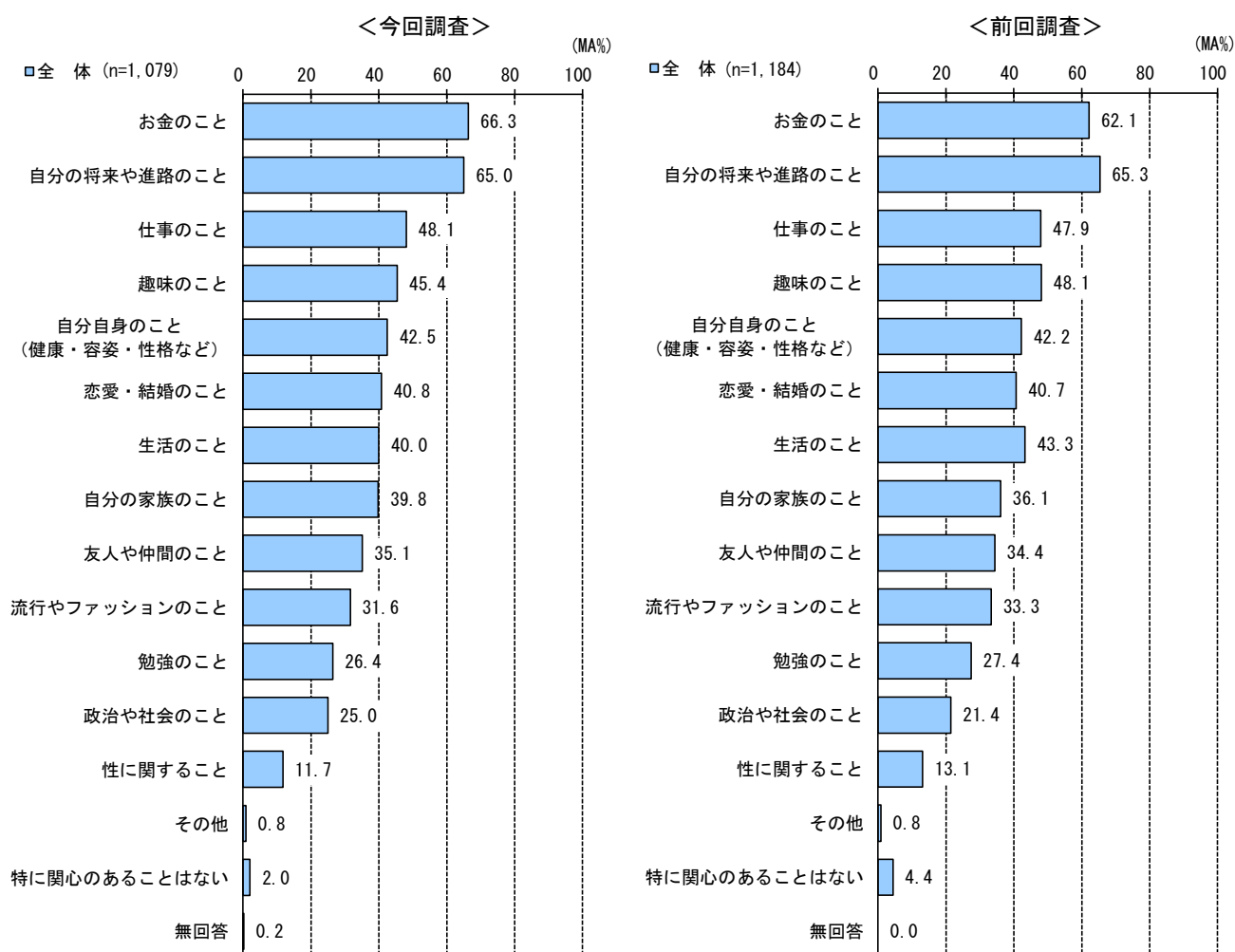
(1) 関心のあること

ア 関心のあること【問9】(MA)

今、関心のあることを複数回答で聞いたところ、「お金のこと」が66.3%で最も高く、次いで「自分の将来や進路のこと」が65.0%、「仕事のこと」が48.1%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

【図表 5-31 今、関心のあること（複数回答）】



今、関心のあることを性別にみると、「自分自身のこと（健康・容姿・性格など）」「自分の家族のこと」「流行やファッションのこと」は『女性』が 49.4%、46.1%、38.4%、「性に関すること」は『男性』が 18.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

就学・就業状況別にみると、「お金のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 78.9%、『正規社員や正規職員として働いている』が 75.6%、「自分の将来や進路のこと」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 75.2%、「仕事のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 64.5%、『正規社員や正規職員として働いている』が 64.1%、「趣味のこと」は『高校（高等部）に通っている』が 53.5%、「自分自身のこと（健康・容姿・性格など）」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 48.7%、「恋愛・結婚のこと」は『正規社員や正規職員として働いている』が 47.9%、「生活のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 55.3%、『正規社員や正規職員として働いている』が 49.5%、「自分の家族のこと」は『正規社員や正規職員として働いている』が 46.7%、「友人や仲間のこと」は『高校（高等部）に通っている』が 48.7%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 43.0%、「流行やファッションのこと」は『高校（高等部）に通っている』が 43.3%、「勉強のこと」は『高校（高等部）に通っている』が 44.9%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 37.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、性別について大きな差はみられない。

就学・就業状況別にみると、「お金のこと」は『高校（高等部）に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が、「自分の将来や進路のこと」は『正規社員や正規職員として働いている』が、「仕事のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が、「趣味のこと」は『高校（高等部）に通っている』が、「自分の家族のこと」は『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』が、「友人や仲間のこと」は『高校（高等部）に通っている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が、「政治や社会のこと」は『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が、「性に関すること」は『高校（高等部）に通っている』が、それぞれ前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 5-32 今、関心のあること（複数回答）】（性別、就学・就業状況別）

単位：％

			母数 (n)	お金の こと	自分の 将来や 進路の こと	仕事 のこと	趣味 のこと	など (健康・ 容姿・ 性格 など)	自分 自身の こと	恋愛・ 結婚の こと	生活 のこと	自分 の家族 のこと
今回調査	全体		1,077	66.4	65.1	48.2	45.5	42.6	40.9	40.1	39.8	
	性別	男	510	65.7	68.2	52.0	48.0	▼ 34.9	39.8	37.6	▼ 33.5	
		女	547	67.3	61.4	44.6	43.1	△ 49.4	42.6	42.6	△ 46.1	
		選べない・答えたくない	19	63.2	△ 84.2	52.6	47.4	△ 52.6	▼ 15.8	36.8	▼ 31.6	
	就学・ 就業 状況別	高校（高等部）に通っている	187	▼ 43.9	67.9	▼ 21.4	△ 53.5	41.2	▼ 29.4	▼ 19.8	▼ 23.0	
		大学（院）や専門学校等に通っている	214	▼ 61.2	△ 75.2	▼ 33.6	45.8	45.8	42.1	▼ 31.3	▼ 31.3	
		正規社員や正規職員として働いている	499	△ 75.6	62.7	△ 64.1	43.1	42.7	△ 47.9	△ 49.5	△ 46.7	
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	△ 78.9	60.5	△ 64.5	48.7	△ 48.7	▼ 35.5	△ 55.3	42.1	
		自営業や会社役員として働いている	24	66.7	▼ 58.3	△ 58.3	▼ 33.3	▼ 33.3	△ 50.0	△ 45.8	41.7	
		専業主婦・主夫である	18	▼ 50.0	▼ 27.8	▼ 11.1	▼ 22.2	▼ 16.7	-	▼ 27.8	△ 94.4	
		無職	31	64.5	61.3	▼ 38.7	△ 64.5	▼ 35.5	▼ 29.0	41.9	▼ 32.3	
		その他	27	70.4	▼ 59.3	▼ 33.3	▼ 29.6	44.4	▼ 29.6	37.0	△ 59.3	
前回調査	全体		1,184	62.1	65.3	47.9	48.1	42.2	40.7	43.3	36.1	
	性別	男	541	61.2	66.0	48.6	48.8	▼ 33.3	37.2	▼ 38.3	▼ 29.2	
		女	612	63.2	64.1	47.5	47.4	△ 50.5	44.6	47.4	△ 42.5	
		その他または、答えたくない	31	▼ 54.8	△ 77.4	▼ 41.9	51.6	▼ 35.5	▼ 25.8	△ 51.6	▼ 29.0	
	就学・ 就業 状況別	高等学校に通っている	161	▼ 36.0	△ 73.3	▼ 18.6	48.4	▼ 36.6	▼ 28.0	▼ 19.3	▼ 23.0	
		大学（院）や専門学校等に通っている	254	59.4	△ 82.3	▼ 32.7	49.6	45.7	39.0	▼ 31.9	▼ 26.0	
		正規社員や正規職員として働いている	541	△ 68.0	▼ 56.6	△ 60.4	49.9	41.0	△ 48.1	△ 50.3	40.9	
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	△ 69.7	62.9	△ 57.3	51.7	43.8	43.8	△ 55.1	△ 42.7	
		自営業や会社役員として働いている	26	65.4	△ 76.9	△ 53.8	▼ 38.5	42.3	▼ 30.8	△ 53.8	34.6	
		専業主婦・主夫である	29	△ 69.0	▼ 41.4	44.8	▼ 17.2	△ 48.3	▼ 10.3	△ 69.0	△ 65.5	
		無職	26	△ 73.1	△ 73.1	△ 69.2	46.2	▼ 34.6	▼ 34.6	△ 53.8	▼ 15.4	
		その他	58	△ 69.0	▼ 56.9	△ 53.4	▼ 39.7	△ 51.7	▼ 32.8	△ 55.2	△ 56.9	

単位：％

			母数 (n)	友人や 仲間の こと	流行や ファッション	勉強 のこと	政治や 社会の こと	性に関 すること	その他	は特 に 関 心 の あ る こ と
今回調査	全体		1,077	35.2	31.7	26.5	25.1	11.7	0.8	2.0
	性別	男	510	33.9	▼ 24.1	26.9	28.6	△ 18.2	0.8	2.4
		女	547	36.4	△ 38.4	25.8	21.4	▼ 5.5	0.9	1.8
		選べない・答えたくない	19	36.8	△ 36.8	△ 31.6	△ 36.8	15.8	-	-
	就学・ 就業 状況別	高校（高等部）に通っている	187	△ 48.7	△ 43.3	△ 44.9	▼ 17.6	13.9	0.5	2.7
		大学（院）や専門学校等に通っている	214	△ 43.0	36.4	△ 37.4	21.5	12.1	0.9	2.8
		正規社員や正規職員として働いている	499	30.7	28.3	▼ 17.6	29.1	11.8	1.0	1.0
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	31.6	27.6	22.4	△ 34.2	9.2	-	1.3
		自営業や会社役員として働いている	24	▼ 12.5	▼ 16.7	▼ 20.8	20.8	▼ 4.2	-	-
		専業主婦・主夫である	18	▼ 22.2	33.3	▼ 11.1	▼ 5.6	-	-	-
		無職	31	▼ 16.1	▼ 12.9	▼ 19.4	22.6	16.1	-	3.2
		その他	27	▼ 25.9	▼ 22.2	▼ 11.1	22.2	7.4	3.7	△ 14.8
前回調査	全体		1,184	34.4	33.3	27.4	21.4	13.1	0.8	4.4
	性別	男	541	32.9	▼ 24.2	30.5	23.1	16.6	0.6	5.4
		女	612	35.9	△ 40.8	24.5	19.6	9.6	1.0	3.3
		その他または、答えたくない	31	▼ 29.0	△ 41.9	32.3	25.8	△ 19.4	-	△ 9.7
	就学・ 就業 状況別	高等学校に通っている	161	△ 43.5	△ 38.5	△ 47.8	▼ 14.9	8.7	1.9	7.5
		大学（院）や専門学校等に通っている	254	△ 41.3	△ 39.4	△ 39.8	18.9	16.5	0.4	3.5
		正規社員や正規職員として働いている	541	31.6	29.9	▼ 19.8	24.0	13.9	0.6	3.7
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	▼ 23.6	▼ 25.8	▼ 18.0	△ 28.1	13.5	1.1	5.6
		自営業や会社役員として働いている	26	30.8	△ 38.5	▼ 19.2	△ 30.8	11.5	-	-
		専業主婦・主夫である	29	▼ 27.6	31.0	▼ 3.4	20.7	-	-	6.9
		無職	26	▼ 19.2	▼ 26.9	△ 34.6	19.2	▼ 7.7	-	3.8
		その他	58	32.8	36.2	▼ 15.5	▼ 12.1	12.1	1.7	5.2

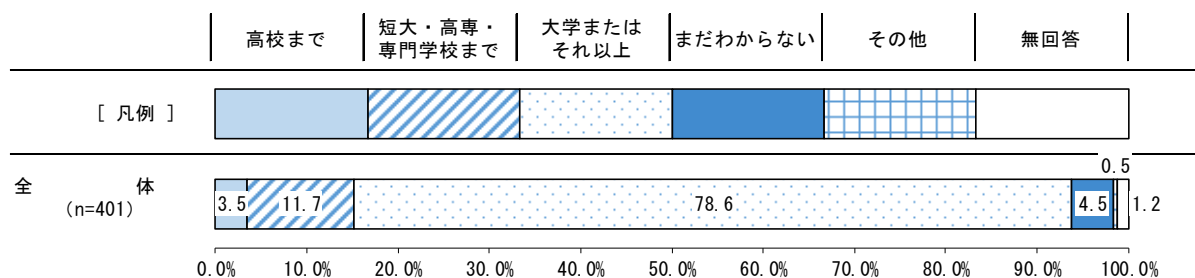
(2) 進学希望

ア 進学に関する希望【問12-1】(SA)

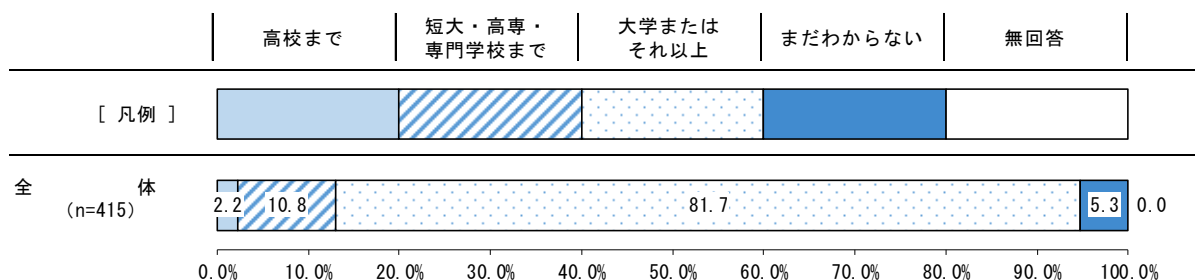
「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」方に、将来どの学校まで行きたい（卒業したい）かを聞いたところ、「大学またはそれ以上」が78.6%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が11.7%、「まだわからない」が4.5%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

<今回調査>【図表 5-33 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か】



<前回調査>【図表 5-34 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か】



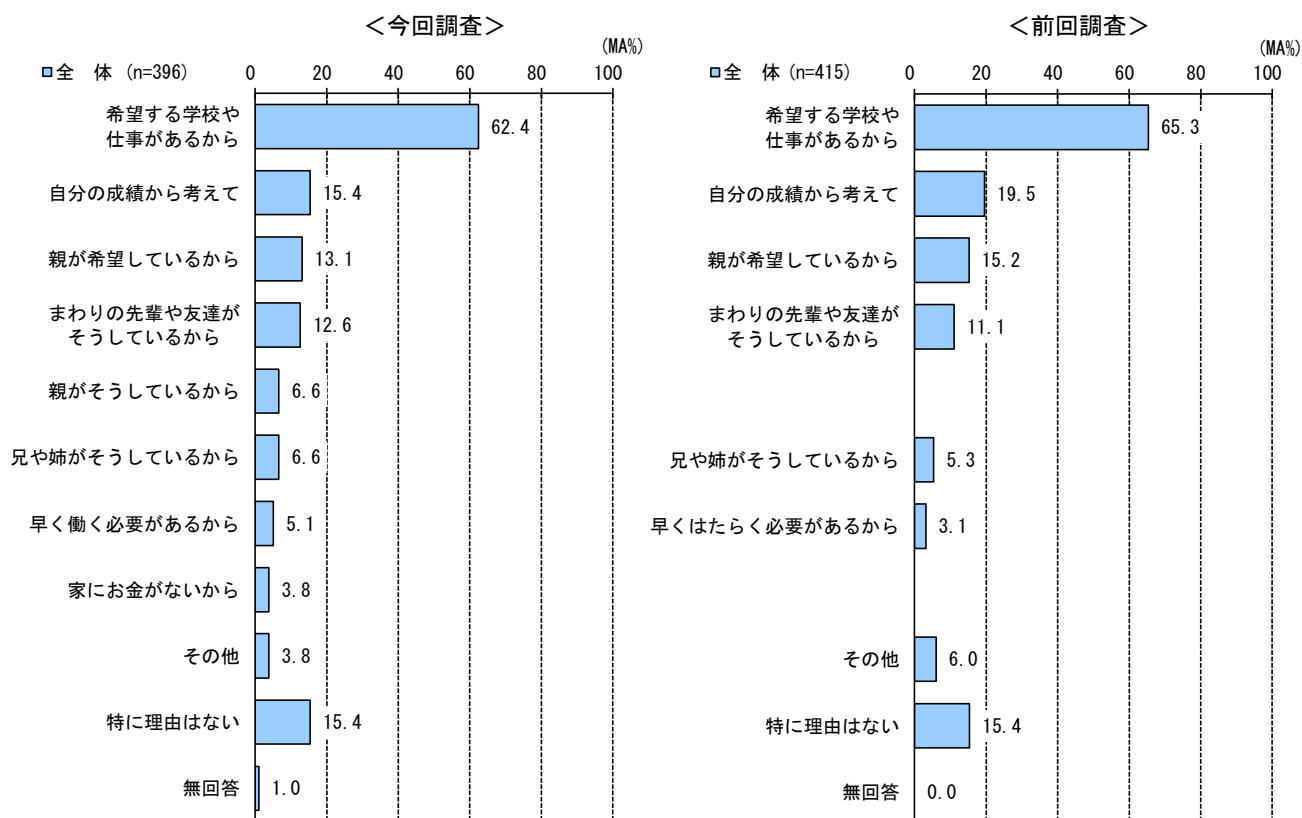
イ 進学を希望する理由【問12-2】（MA）

「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」方に、進学を希望する理由を複数回答で聞いたところ、「希望する学校や仕事があるから」が 62.4%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 15.4%、「親が希望しているから」が 13.1%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

【図表 5-35 進学を希望する理由（複数回答）】



※ページ調整のため余白

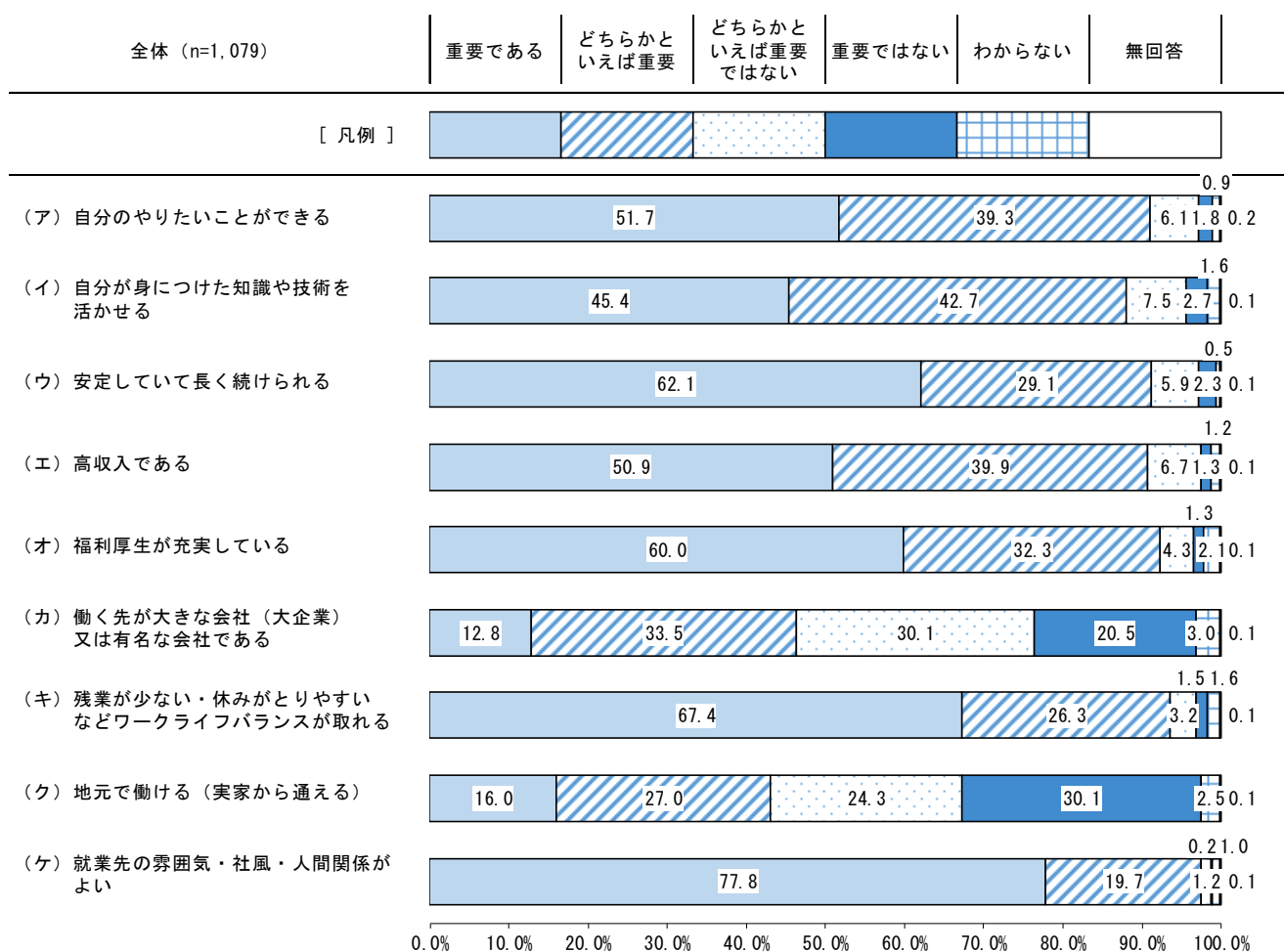
（３）仕事を選ぶ際に重要だと思うこと【問13】（SA）

仕事を選ぶ際に重要だと思うことを聞いたところ、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『就業先の雰囲気・社風・人間関係がよい』が 97.5%で最も高く、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」を足し合わせた割合は『地元で働ける（実家から通える）』が 54.4%で最も高くなっている。

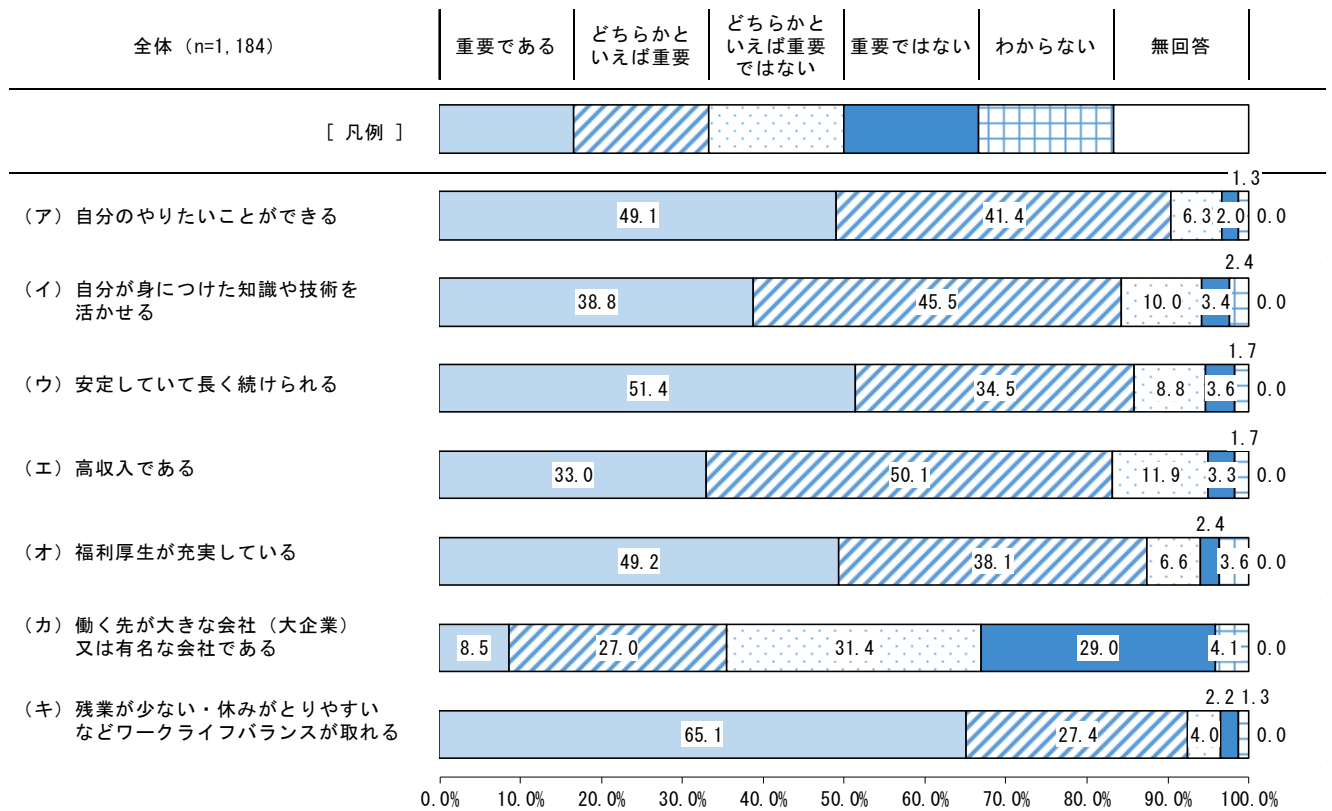
経年でみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『安定していて長く続けられる』『高収入である』『福利厚生が充実している』『働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-36 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



＜前回調査＞【図表 5-37 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



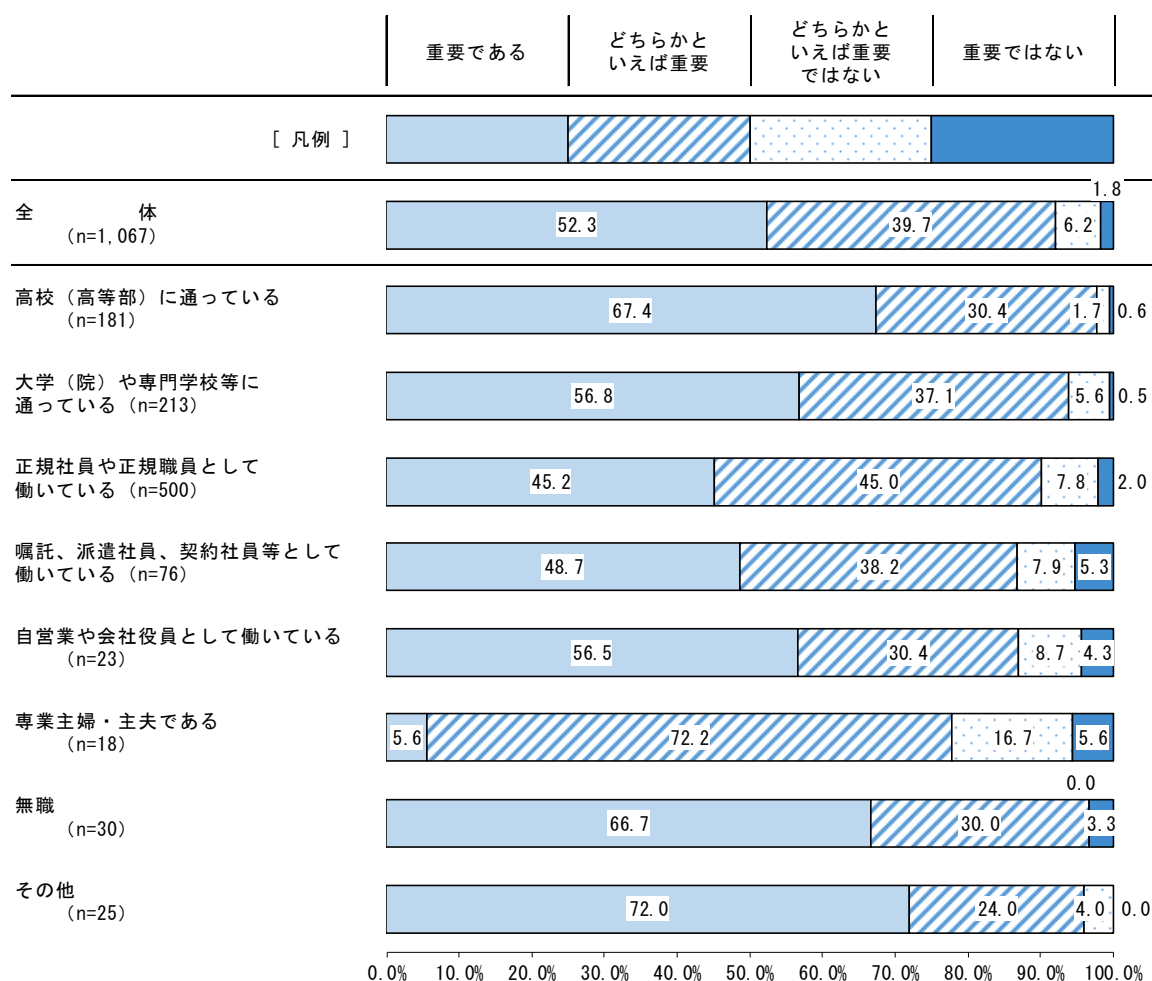
『自分のやりたいことができる』について就学・就業状況別にみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『高校（高等部）に通っている』が97.8%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

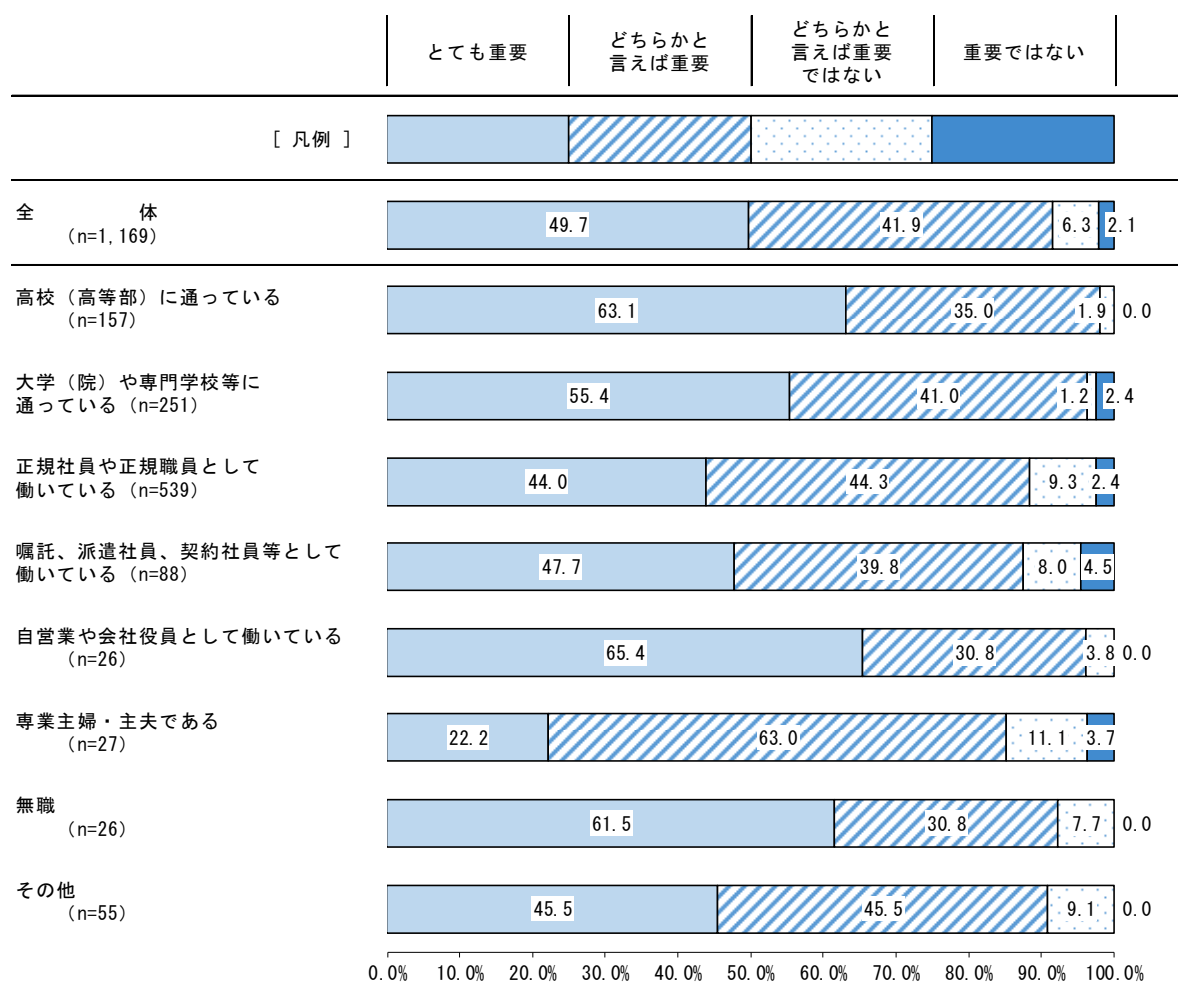
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-38 （ア）自分のやりたいことができる】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-39 (ア) 自分のやりたいことができる】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

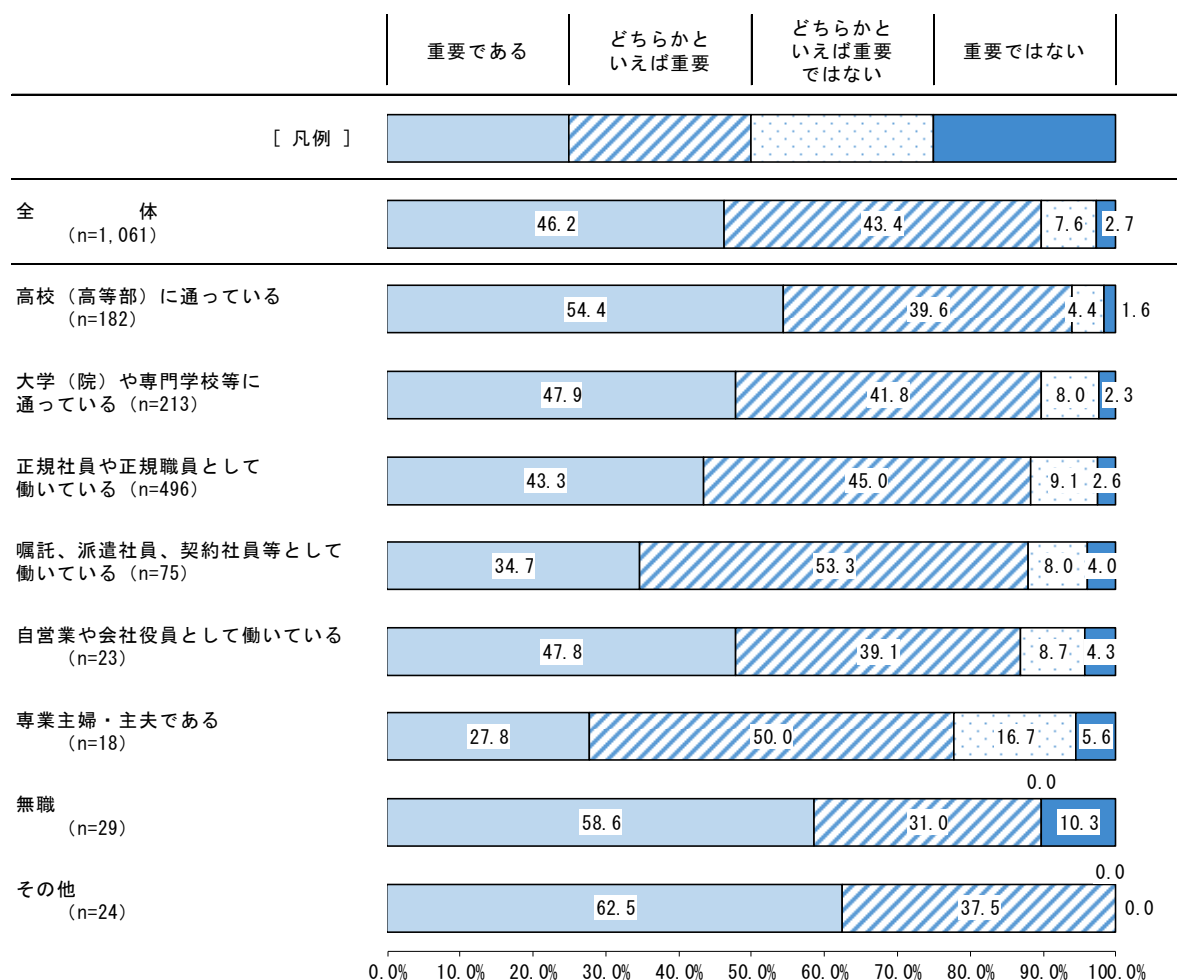
『自分が身につけた知識や技術を活かせる』について就学・就業状況別にみると、「重要である」は『高校（高等部）に通っている』が 54.4%と全体に比べて高く、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 34.7%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

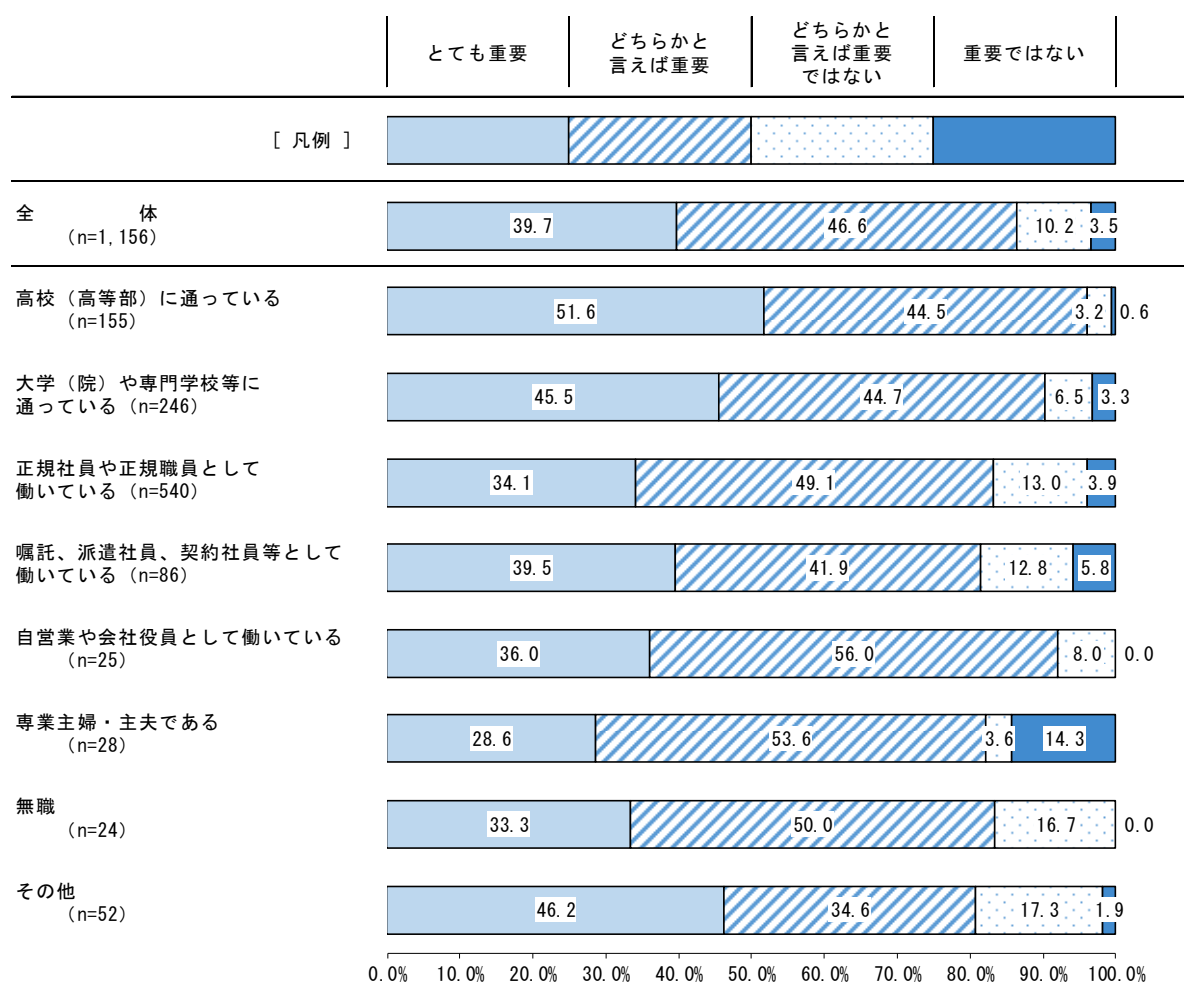
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-40 (イ) 自分が身につけた知識や技術を活かせる】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-41 (イ) 自分が身につけた知識や技術を活かせる】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

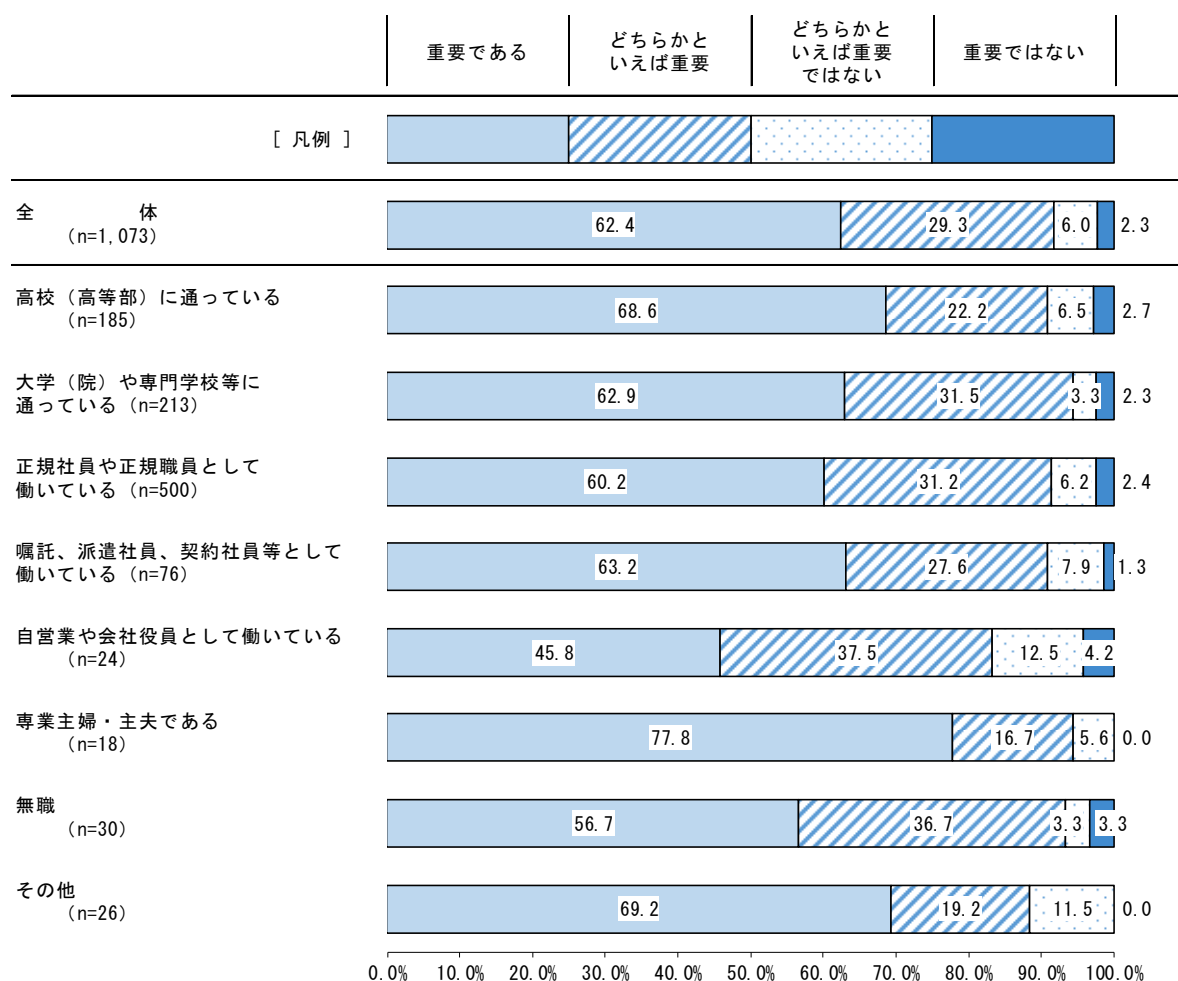
「安定していて長く続けられる」について就学・就業状況別にみると、「重要である」は『高校（高等部）に通っている』が68.6%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『正規社員や正規職員として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

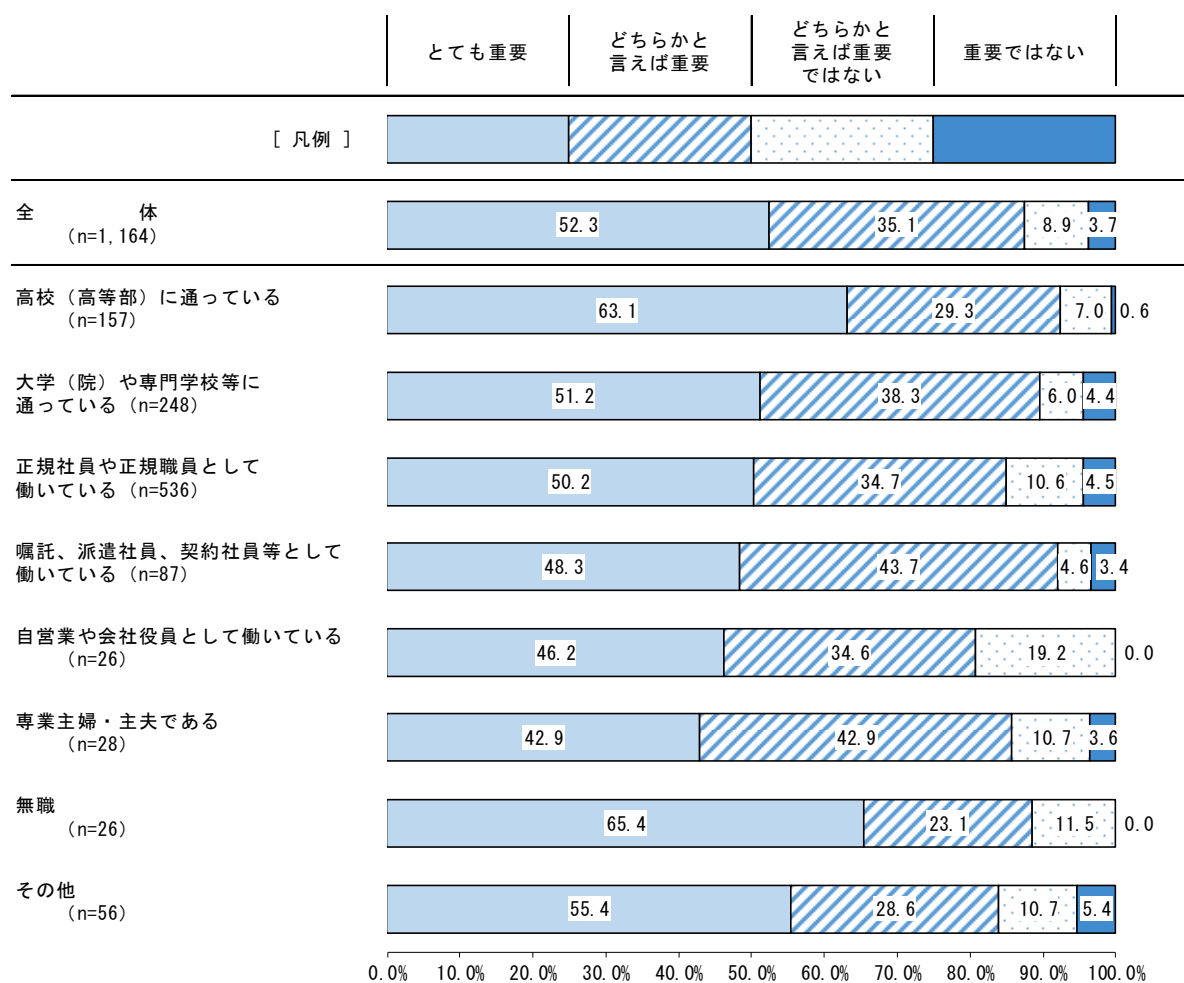
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-42 (ウ) 安定していて長く続けられる】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-43 (ウ) 安定していて長く続けられる】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

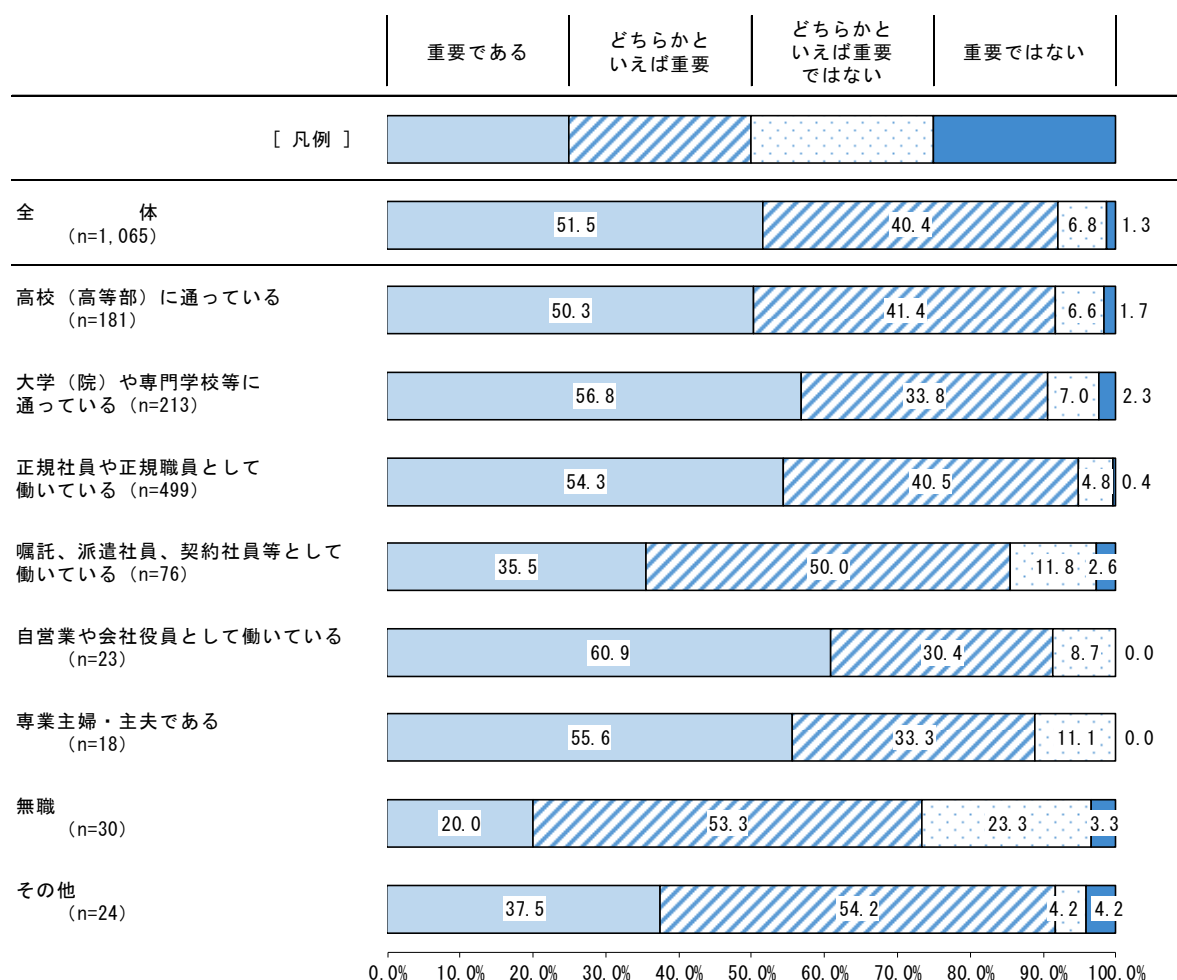
『高収入である』について就学・就業状況別にみると、「重要である」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 56.8%と、全体に比べて高くなっている。「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 85.5%と、全体に比べて低くなっている。

経年で見ると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

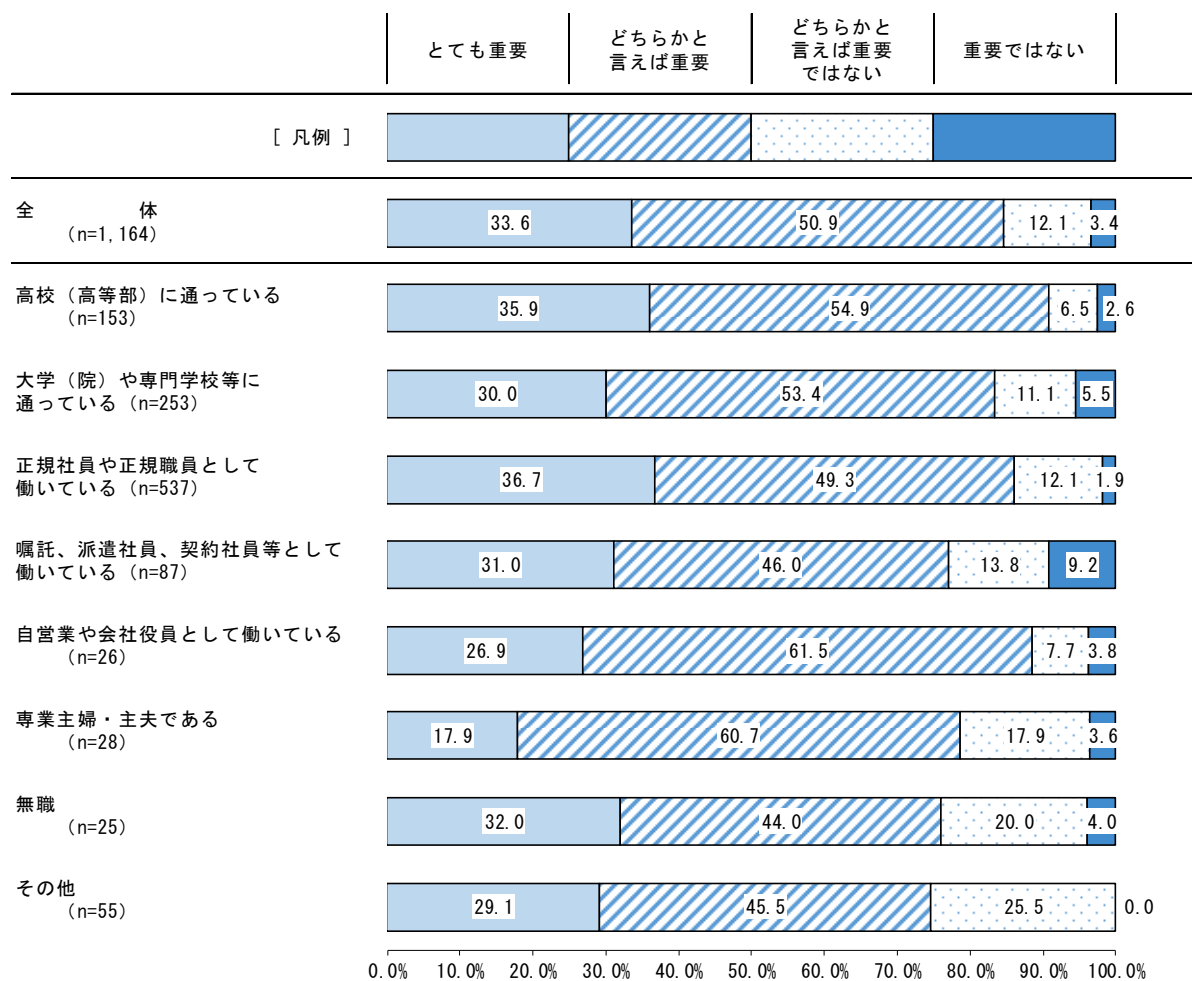
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-44 (エ) 高収入である】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-45 (エ) 高収入である】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

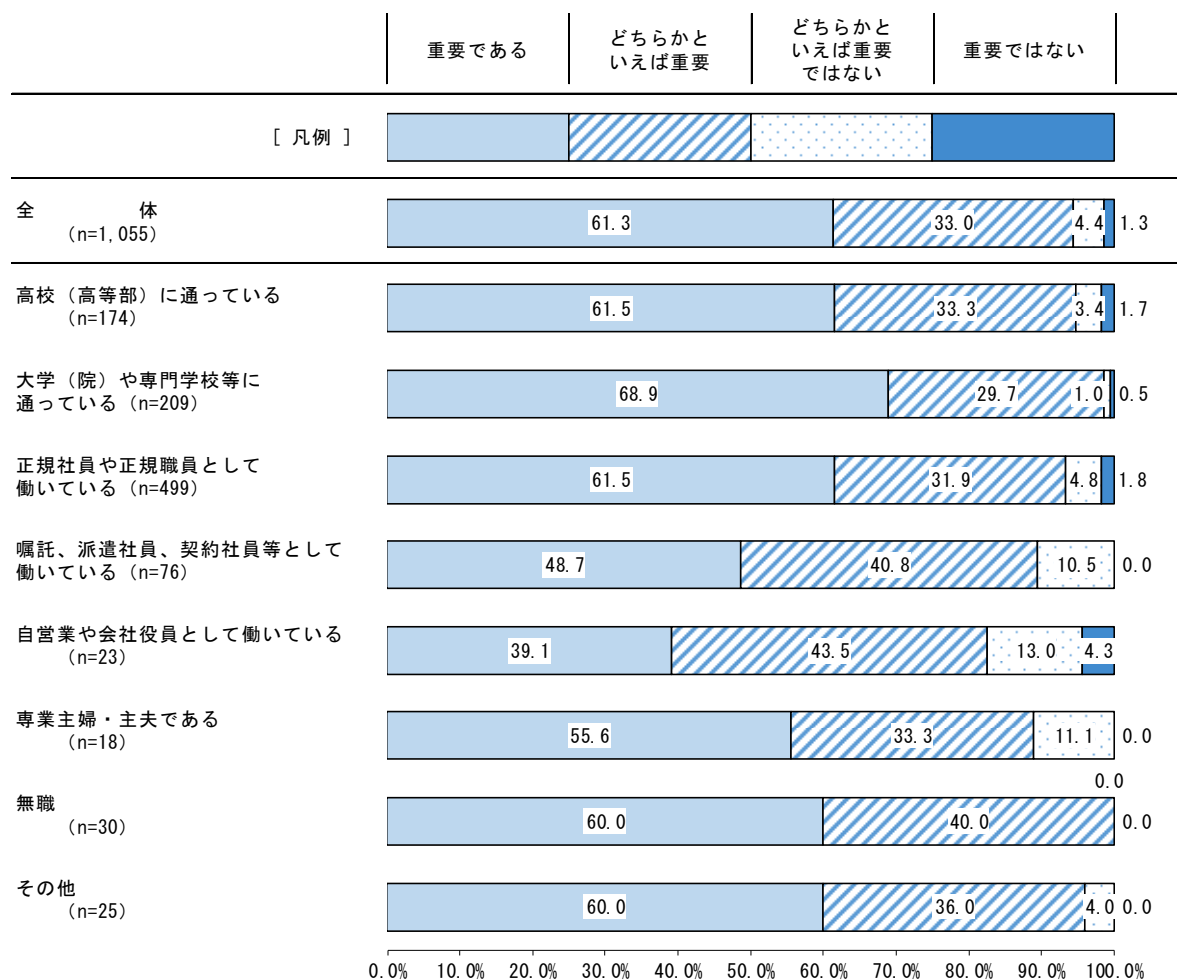
『福利厚生が充実している』について就学・就業状況別にみると、「重要である」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 68.9%と全体に比べて高く、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 48.7%と全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『大学（院）や専門学校等に通っている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

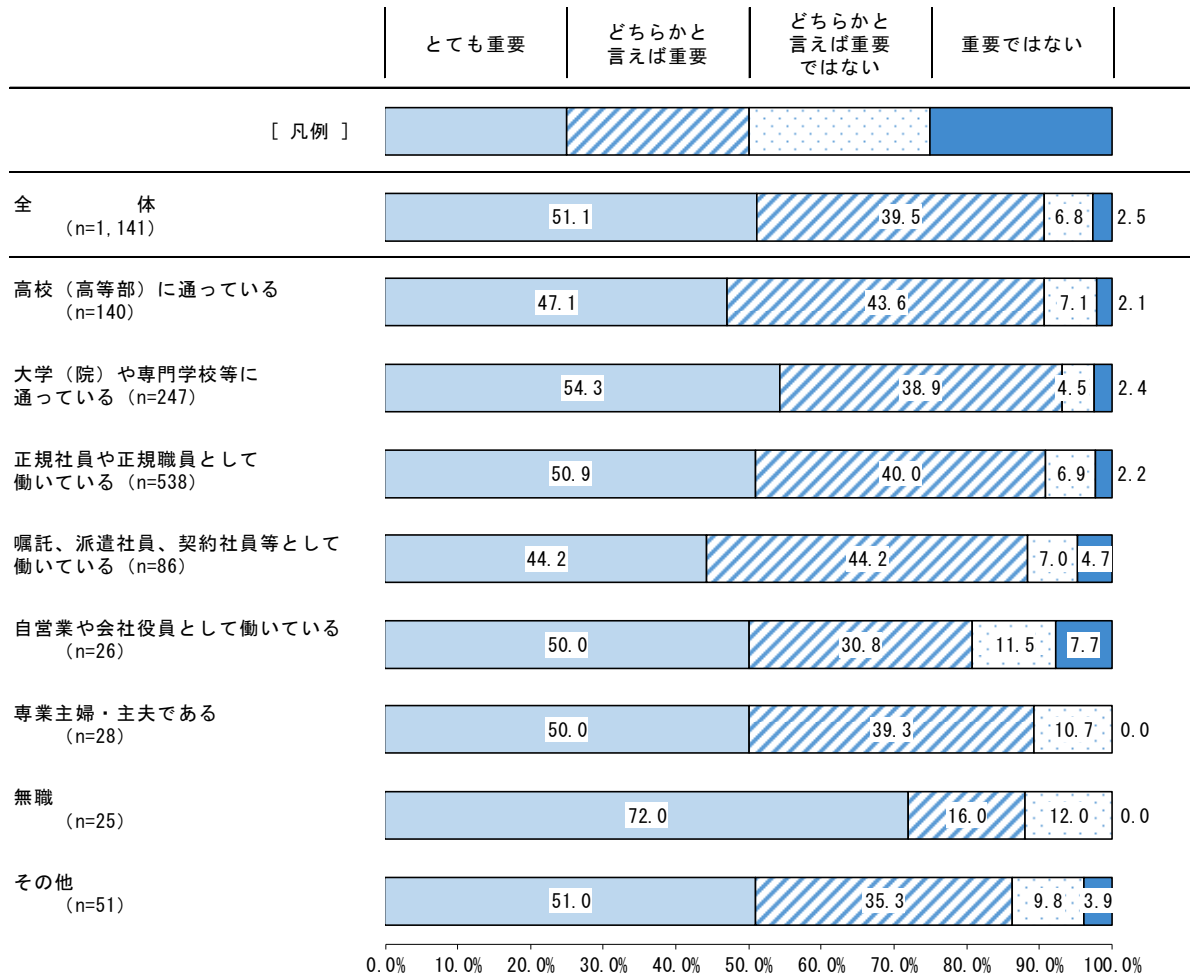
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-46 （オ）福利厚生が充実している】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-47 (オ) 福利厚生が充実している】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

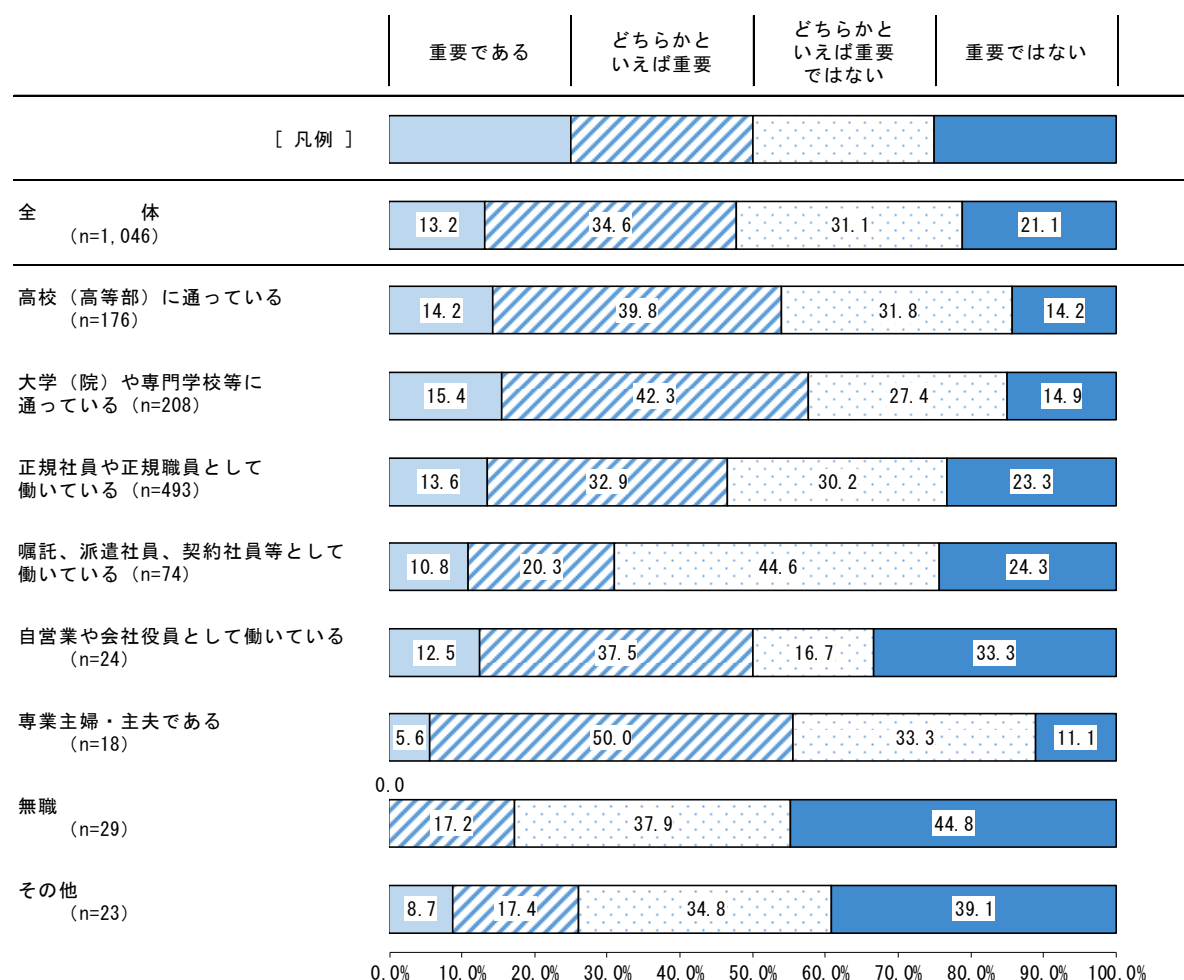
『働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である』について就学・就業状況別にみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 57.7%、『高校（高等部）に通っている』が 54.0%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

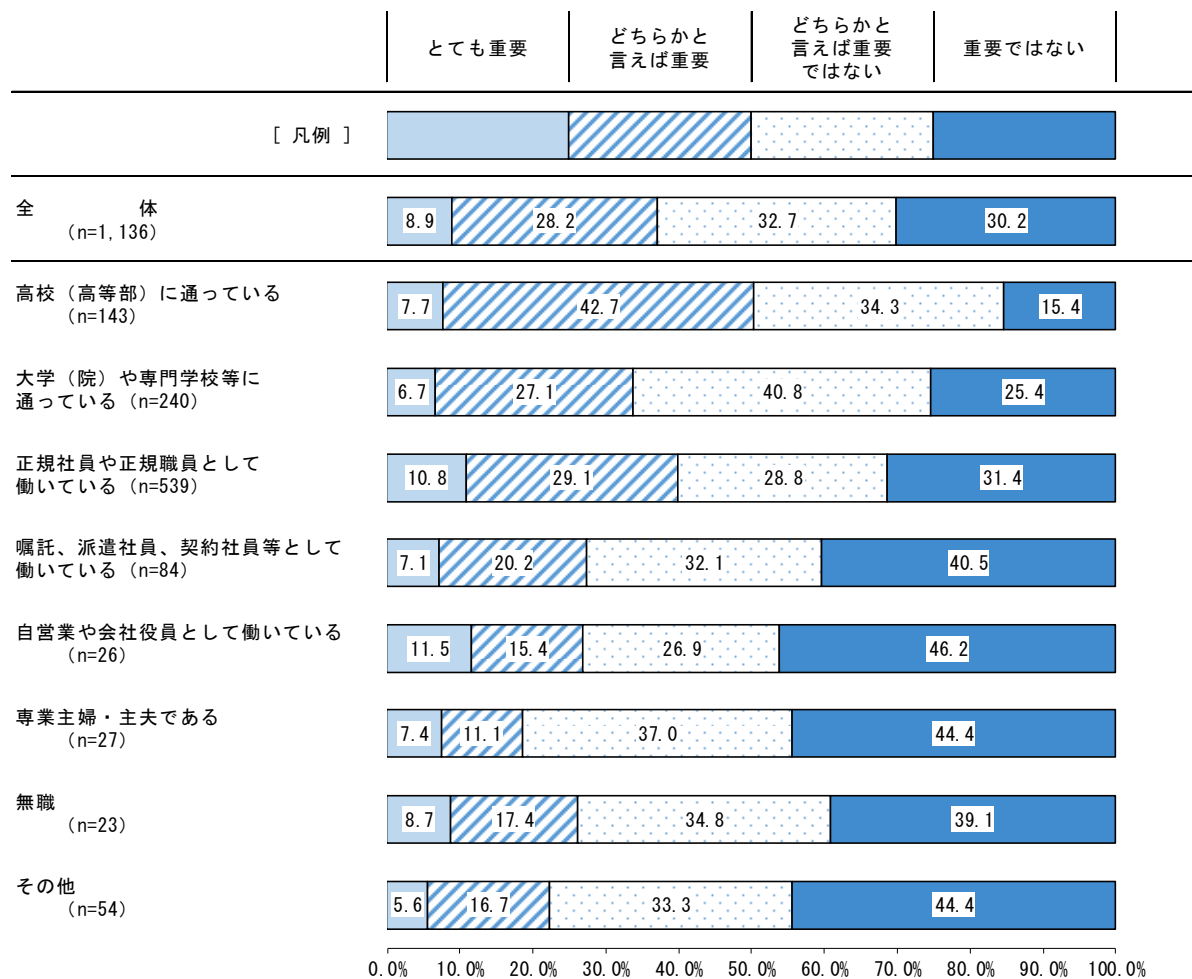
前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-48 （力）働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

<前回調査> 【図表 5-49 (力) 働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

『残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる』について就学・就業状況別にみると、「どちらかといえば重要」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が21.1%と、全体に比べて低くなっている。

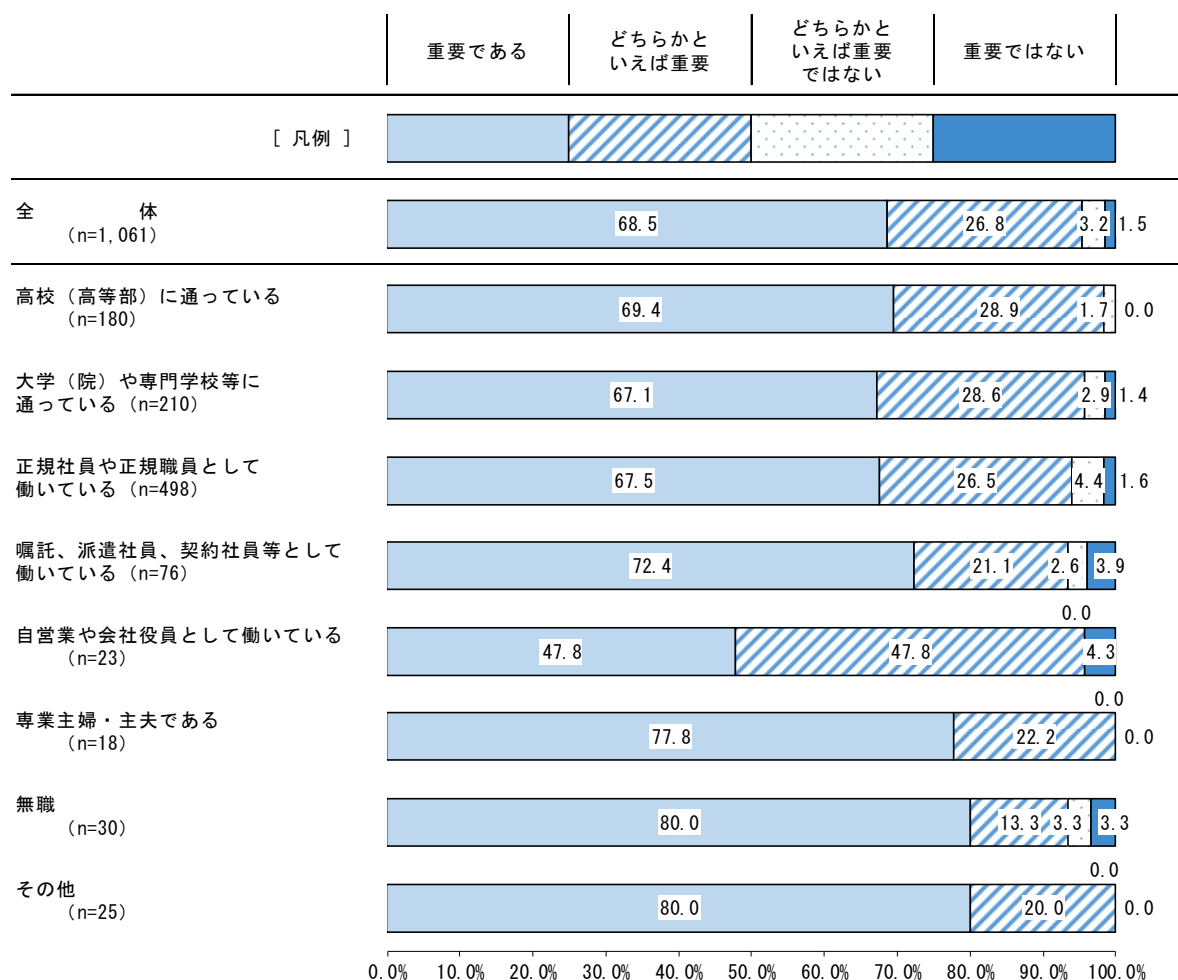
経年でみると、「どちらかといえば重要」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-50 (キ) 残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる】

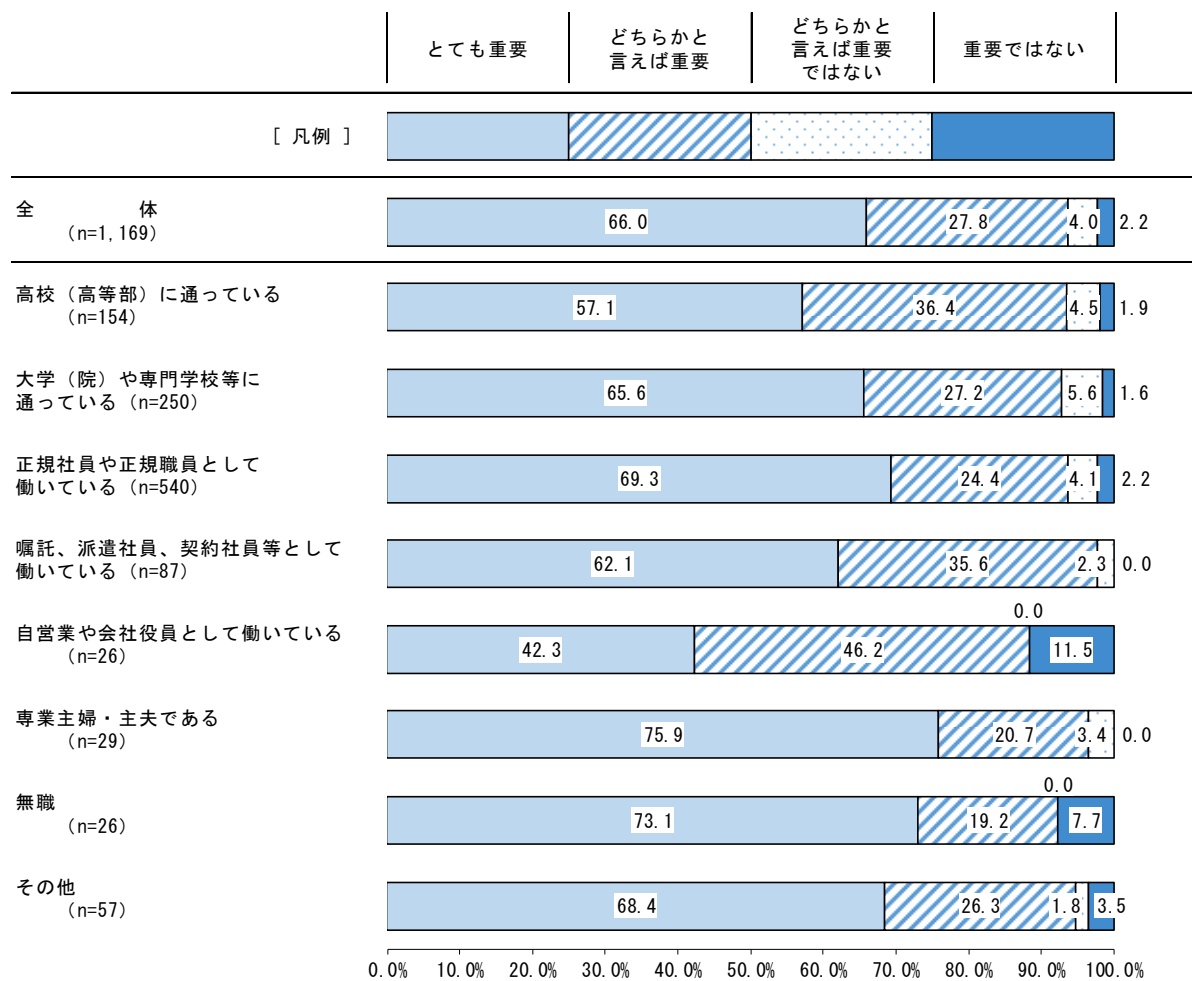
(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-51 (キ) 残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる】

(就学・就業状況別)



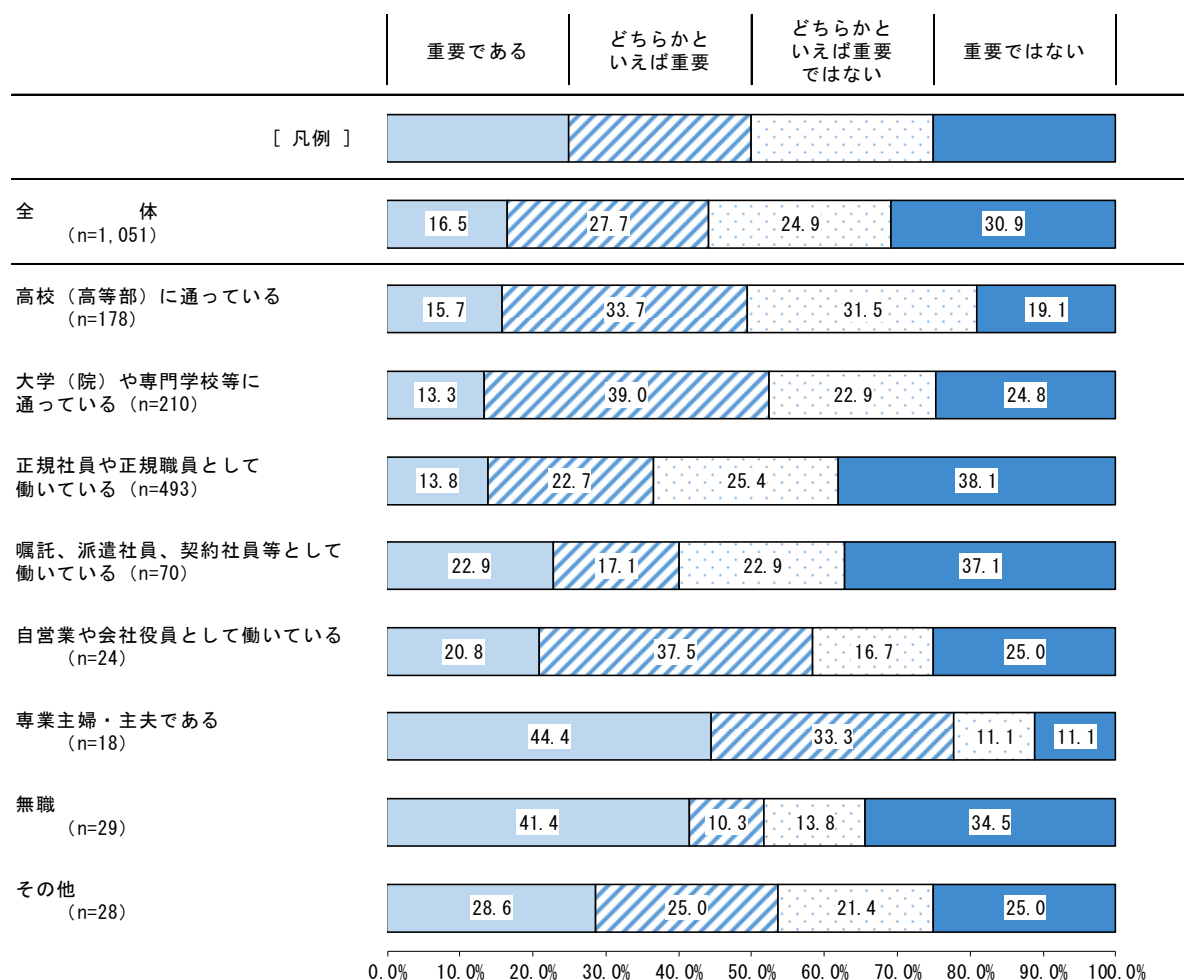
注：「わからない」を除く

『地元で働ける（実家から通える）』について就学・就業状況別にみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』が52.3%、『高校（高等部）に通っている』が49.4%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この項目は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-52 （ク）地元で働ける（実家から通える）】（就学・就業状況別）



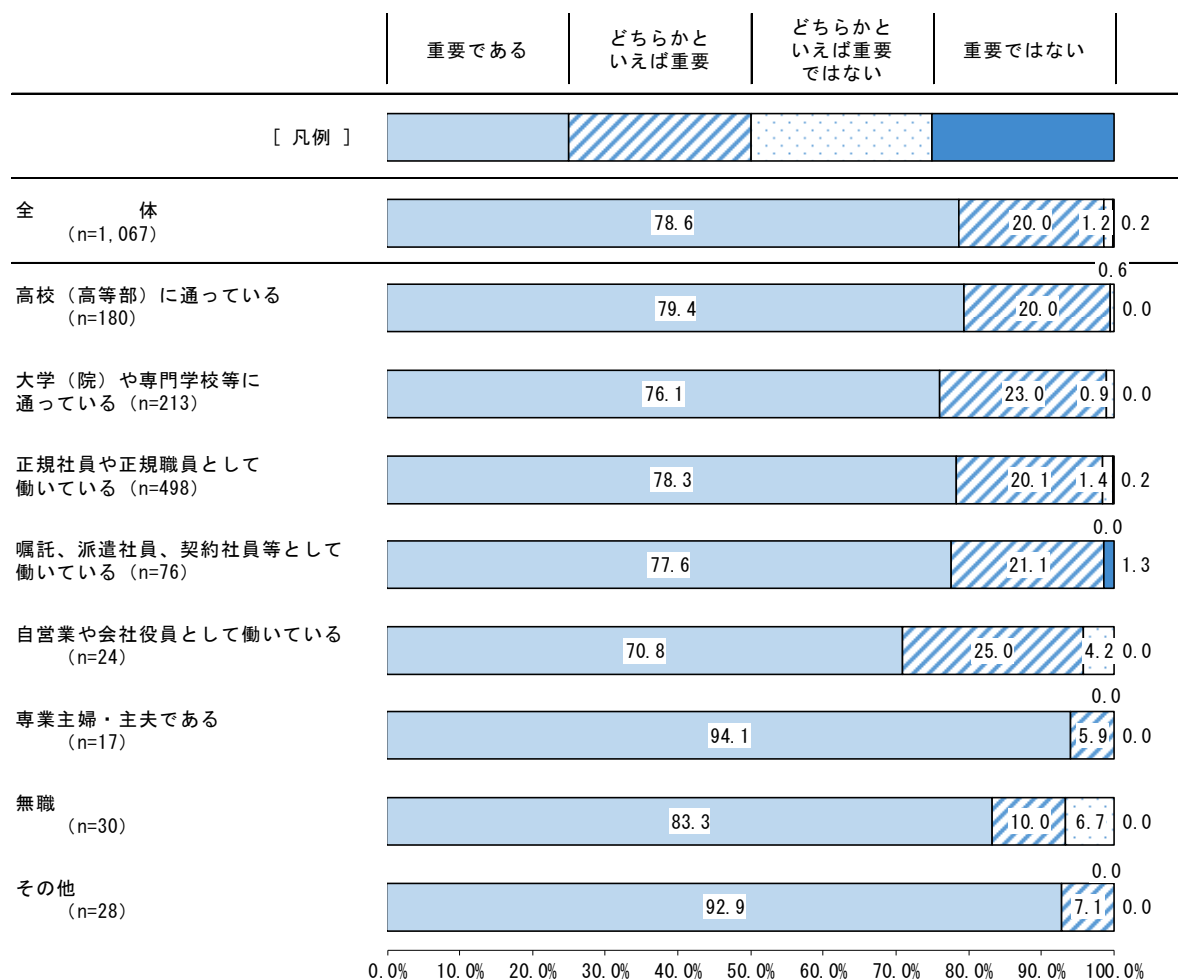
注：「わからない」を除く

『就業先の雰囲気・社風・人間関係がよい』について就学・就業状況別にみると、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査には、この項目は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-53 (ケ) 就業先の雰囲気・社風・人間関係がよい】(就学・就業状況別)



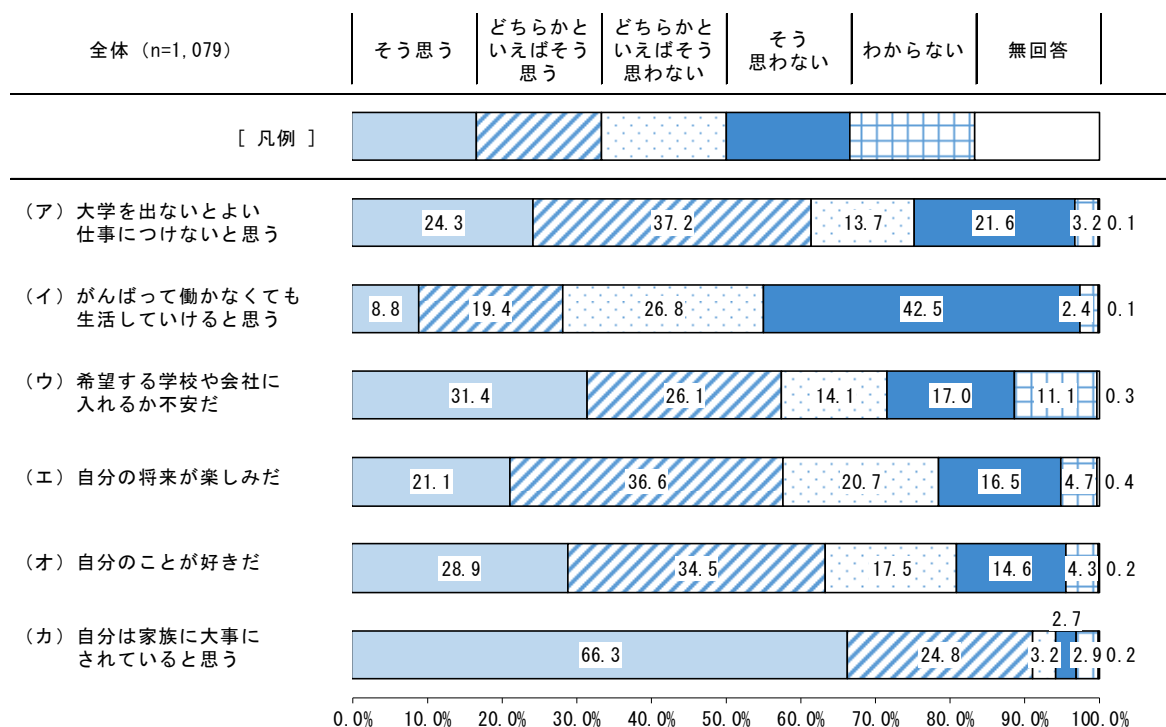
注：「わからない」を除く

(4) 将来に対する考え方や自己肯定感等【問14】(MA)

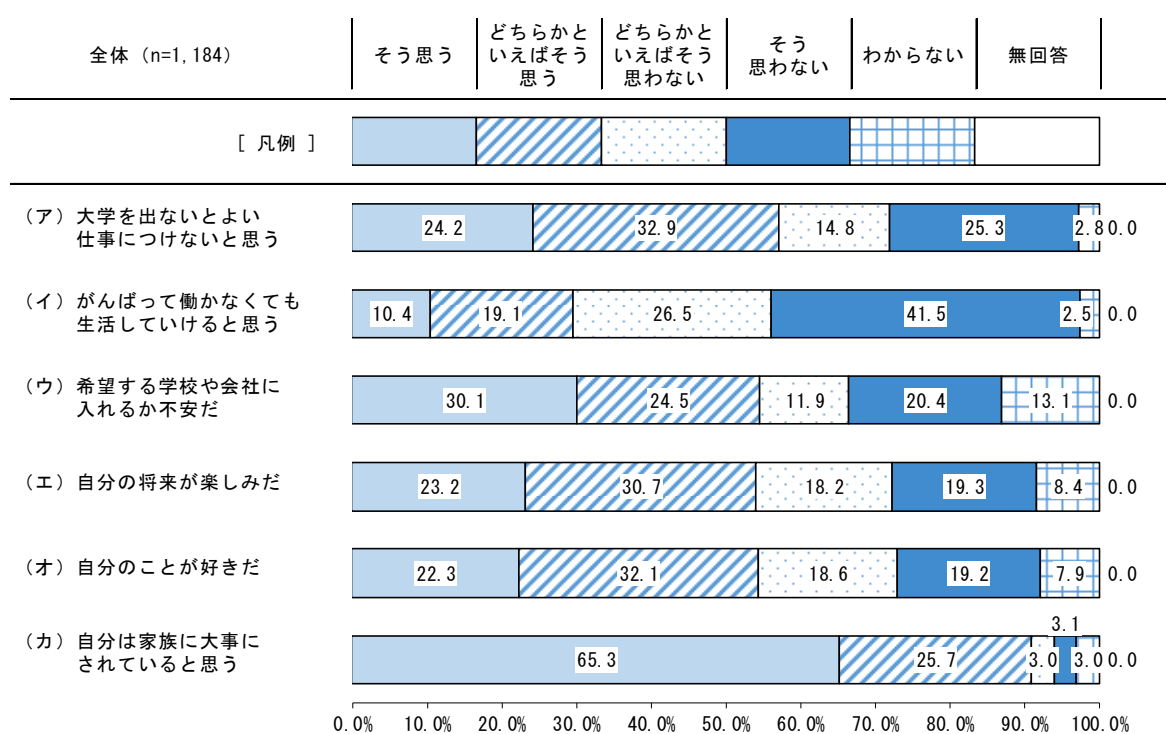
将来に対する考え方や自己肯定感等について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は『自分は家族に大事にされていると思う』が 91.1%で最も高く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は『がんばって働かなくても生活していけると思う』が 69.3%で最も高くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は『自分のことが好きだ』で、前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 5-54 将来に対する考え方や自己肯定感等】



<前回調査>【図表 5-55 将来に対する考え方や自己肯定感等】

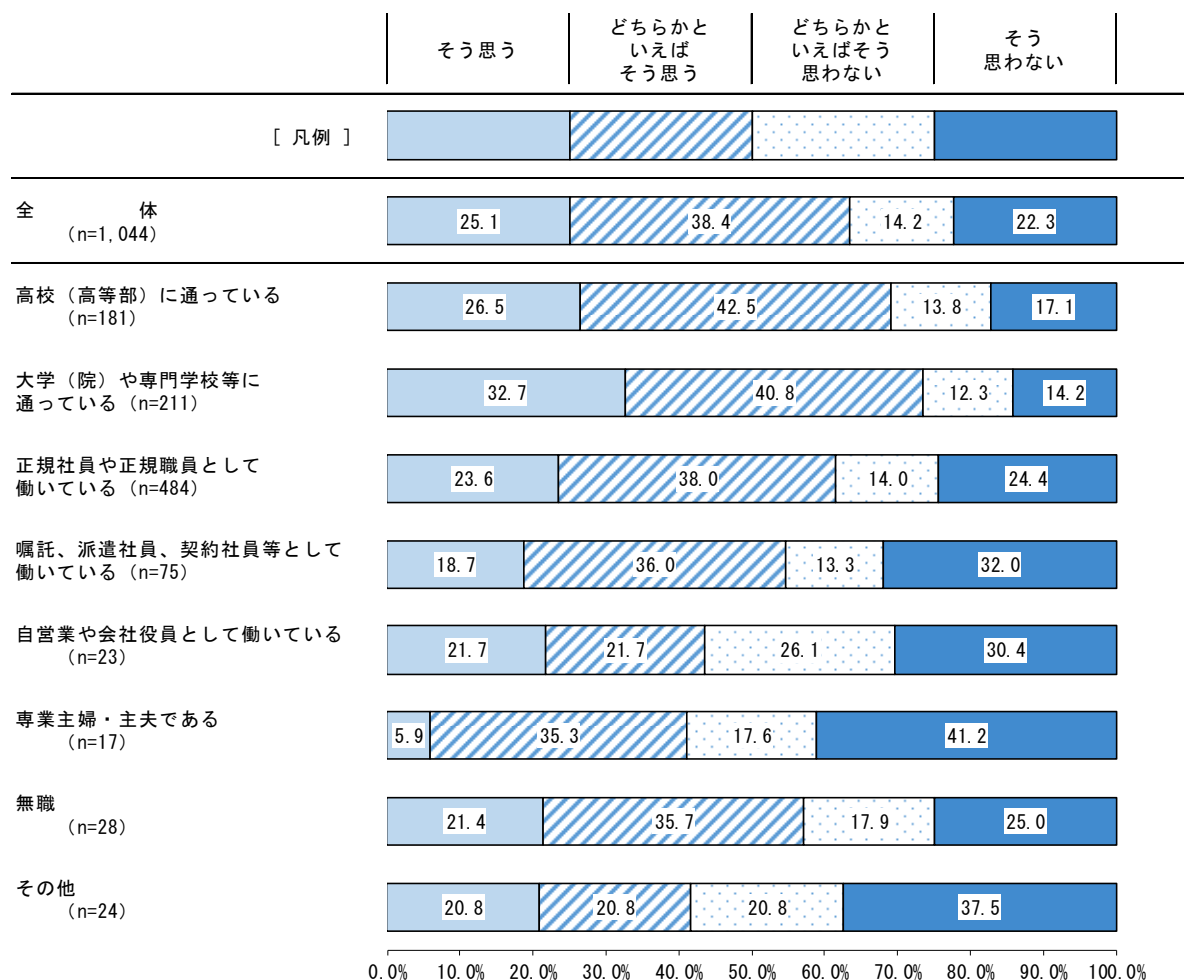


『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 73.5%、『高校（高等部）に通っている』が 69.0%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』で、前回調査に比べて高くなっている。

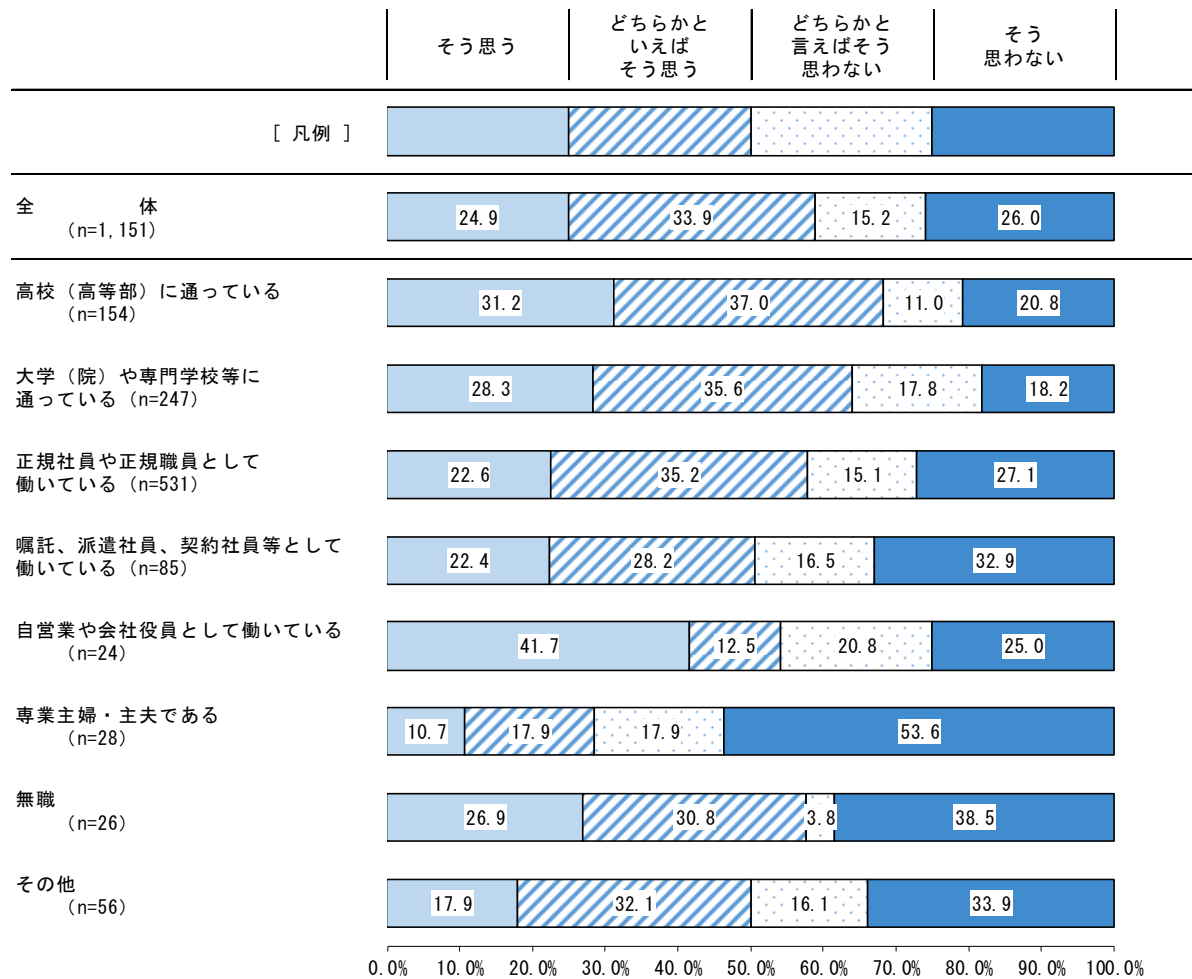
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-56 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-57 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】(就学・就業状況別)



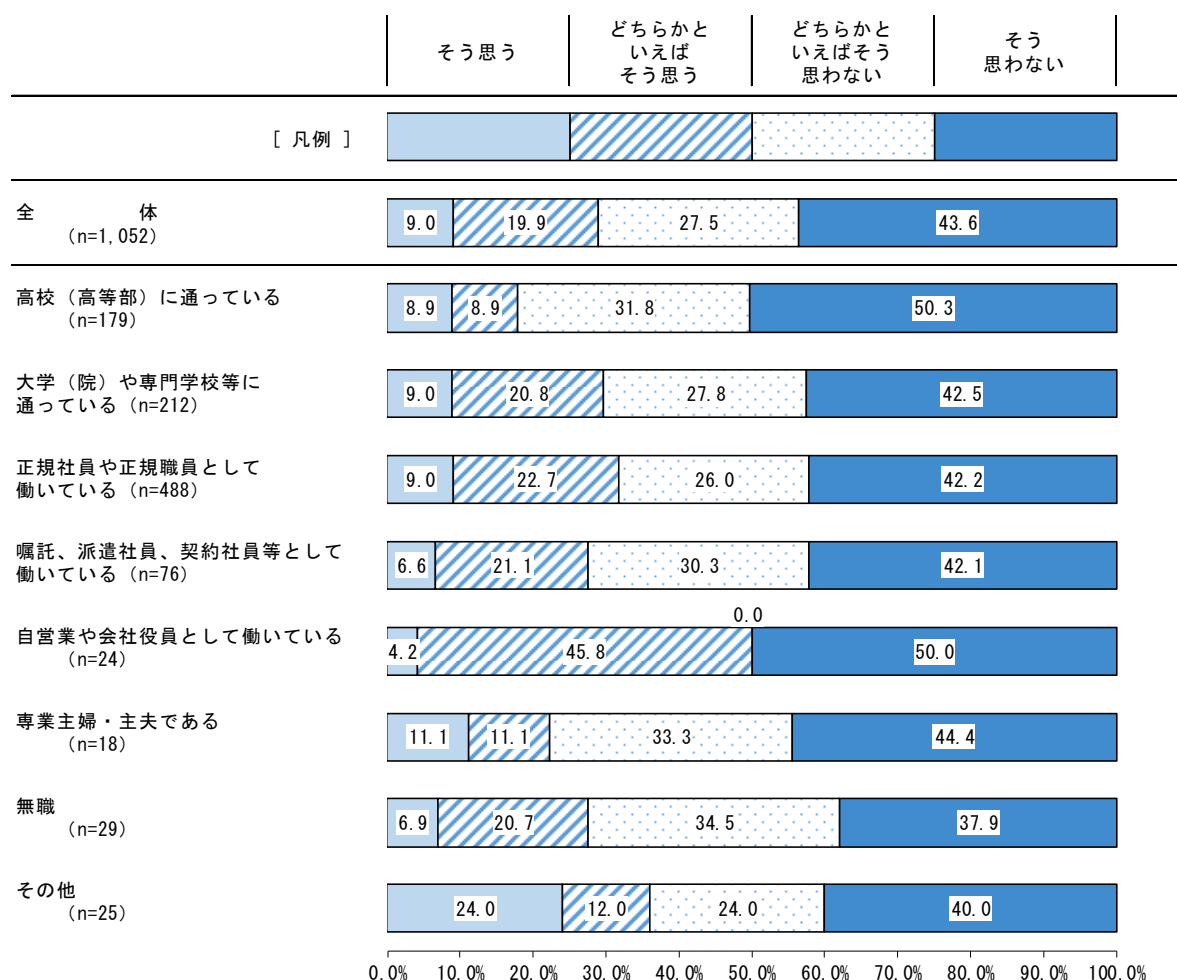
注：「わからない」を除く

『がんばって働かなくても生活していけると思う』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が17.8%と、全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』で、前回調査に比べて高くなっている一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は、『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

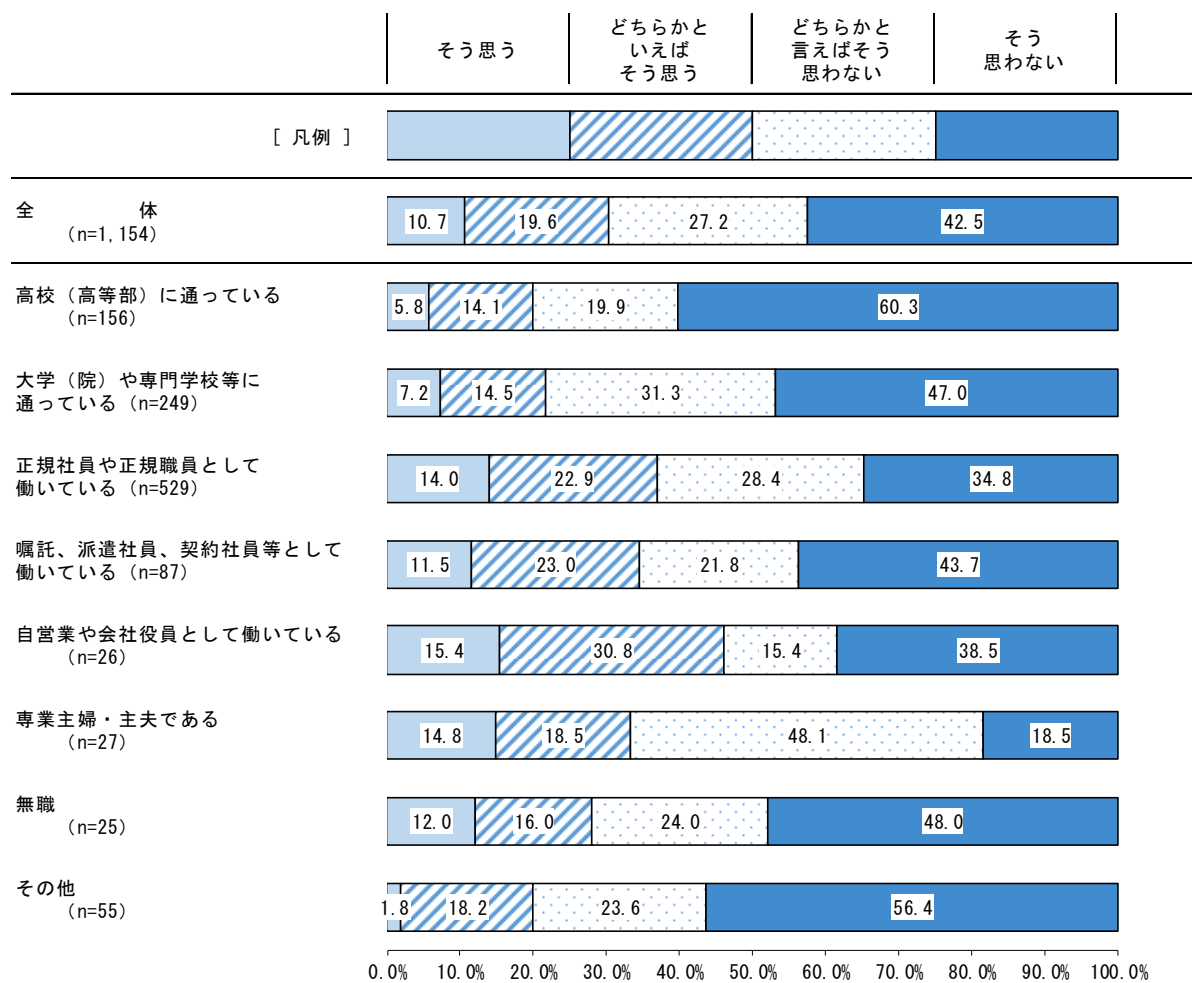
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-58 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-59 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】(就学・就業状況別)



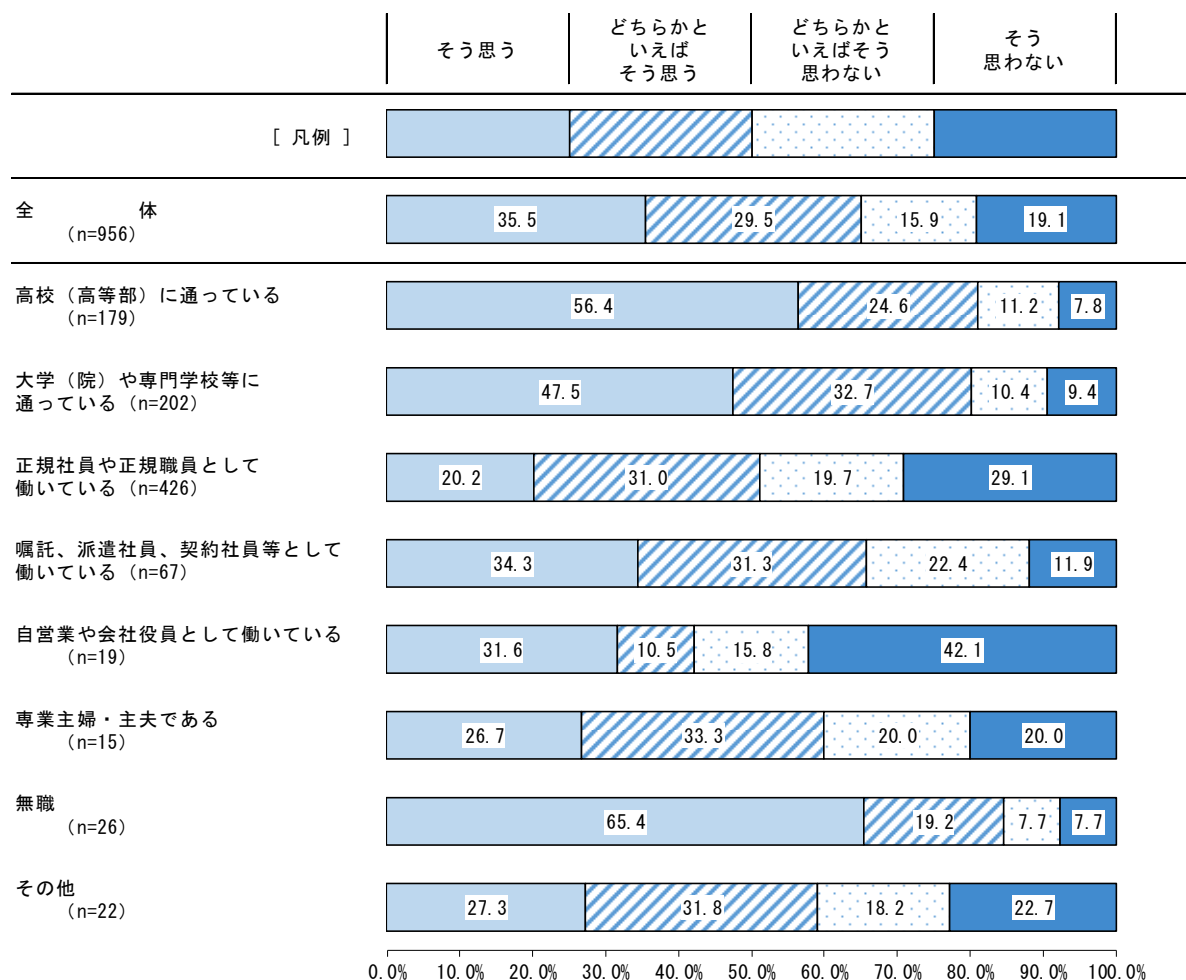
注：「わからない」を除く

『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が81.0%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が80.2%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で前回調査に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』で前回調査に比べて低くなっている。

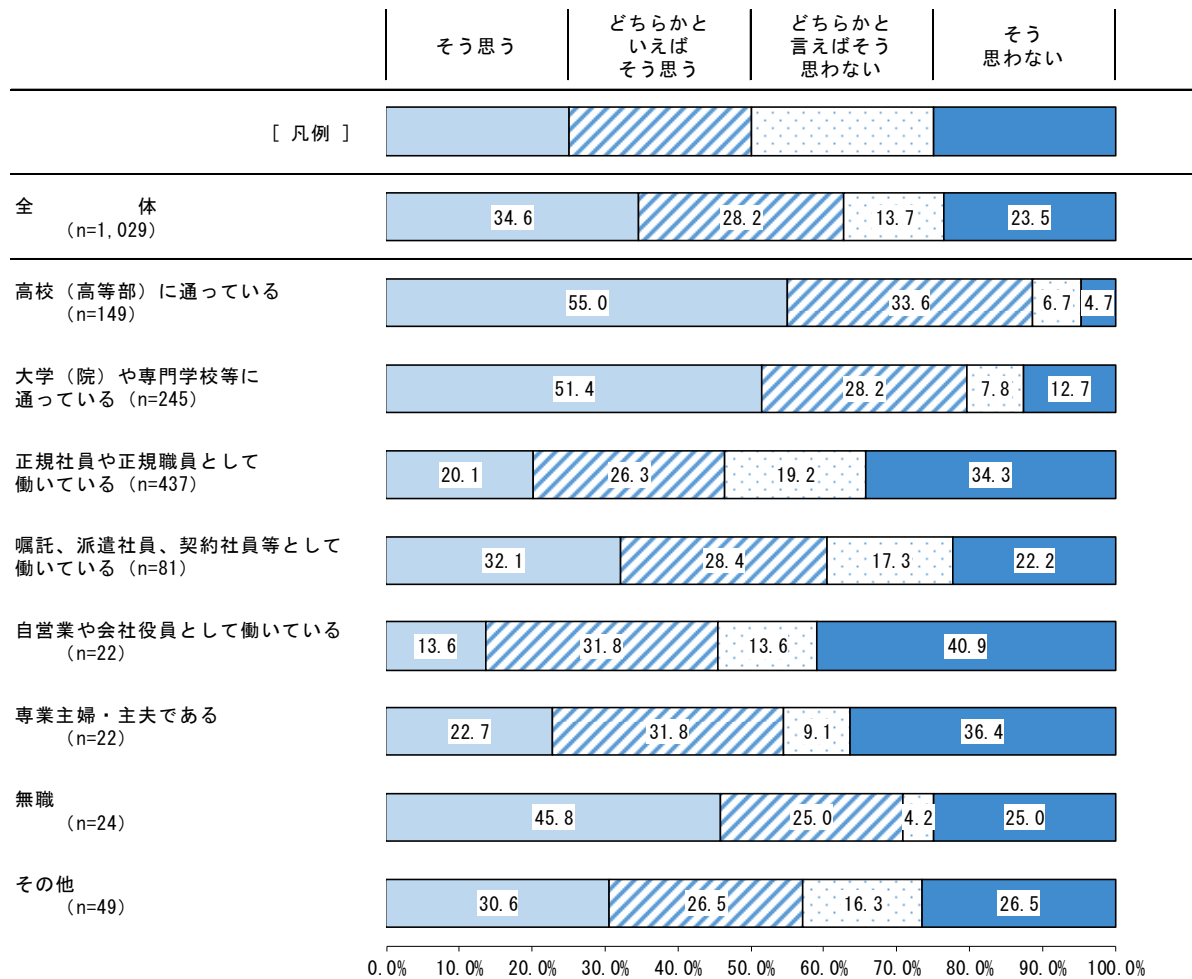
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-60 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-61 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】(就学・就業状況別)



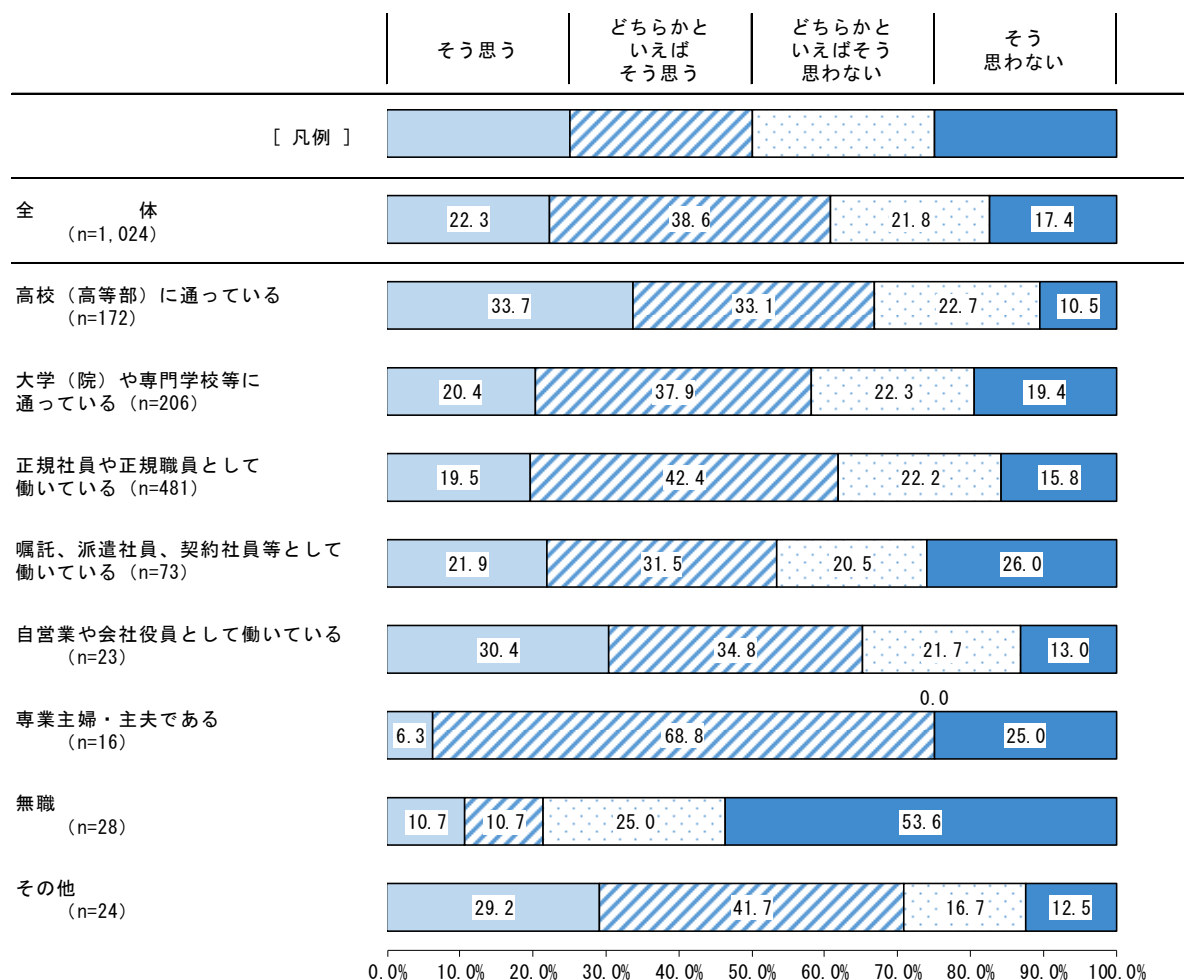
注：「わからない」を除く

『自分の将来が楽しみだ』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が 66.8%と、全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で前回調査に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』で前回調査に比べて低くなっている。

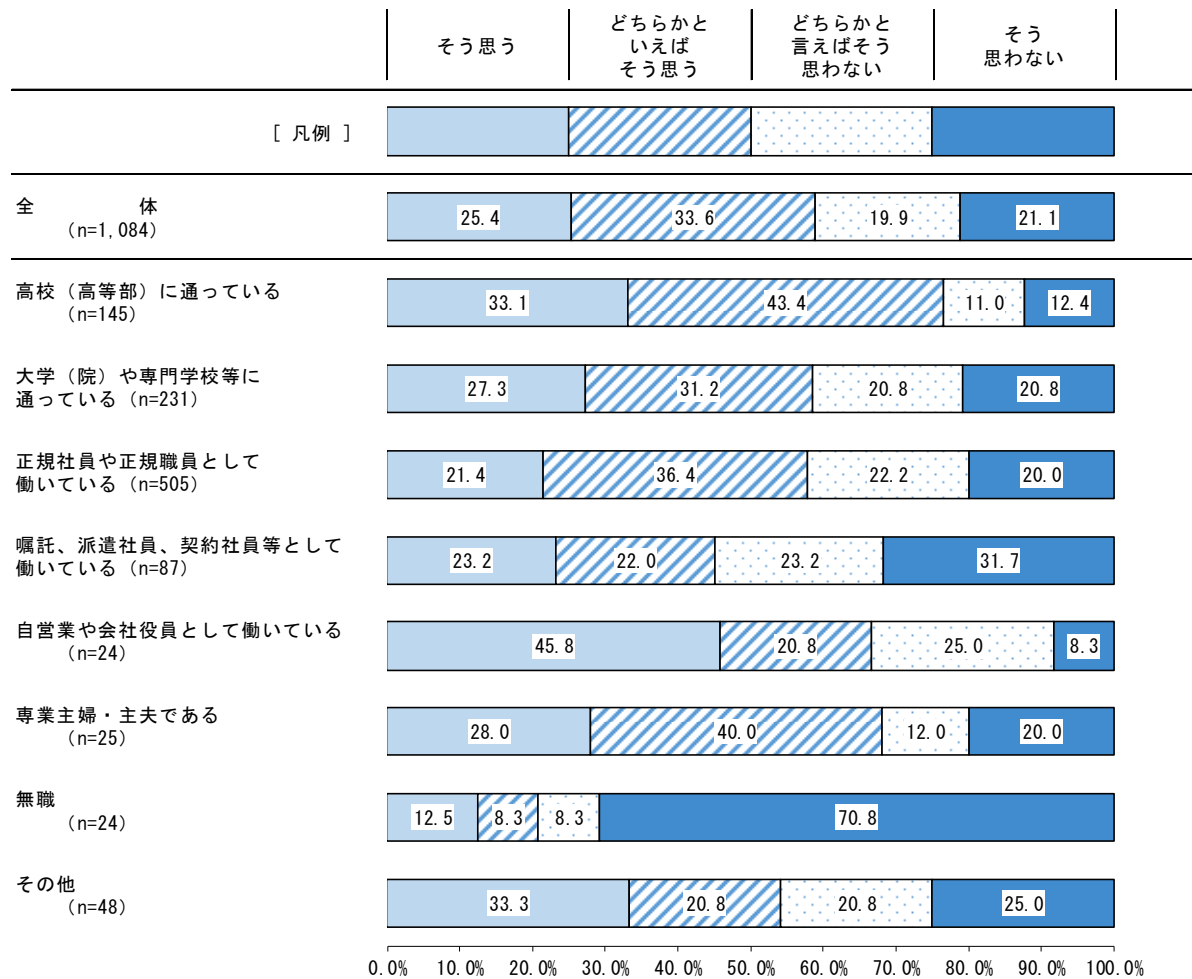
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-62 （エ）自分の将来が楽しみだ】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-63 (エ) 自分の将来が楽しみだ】(就学・就業状況別)



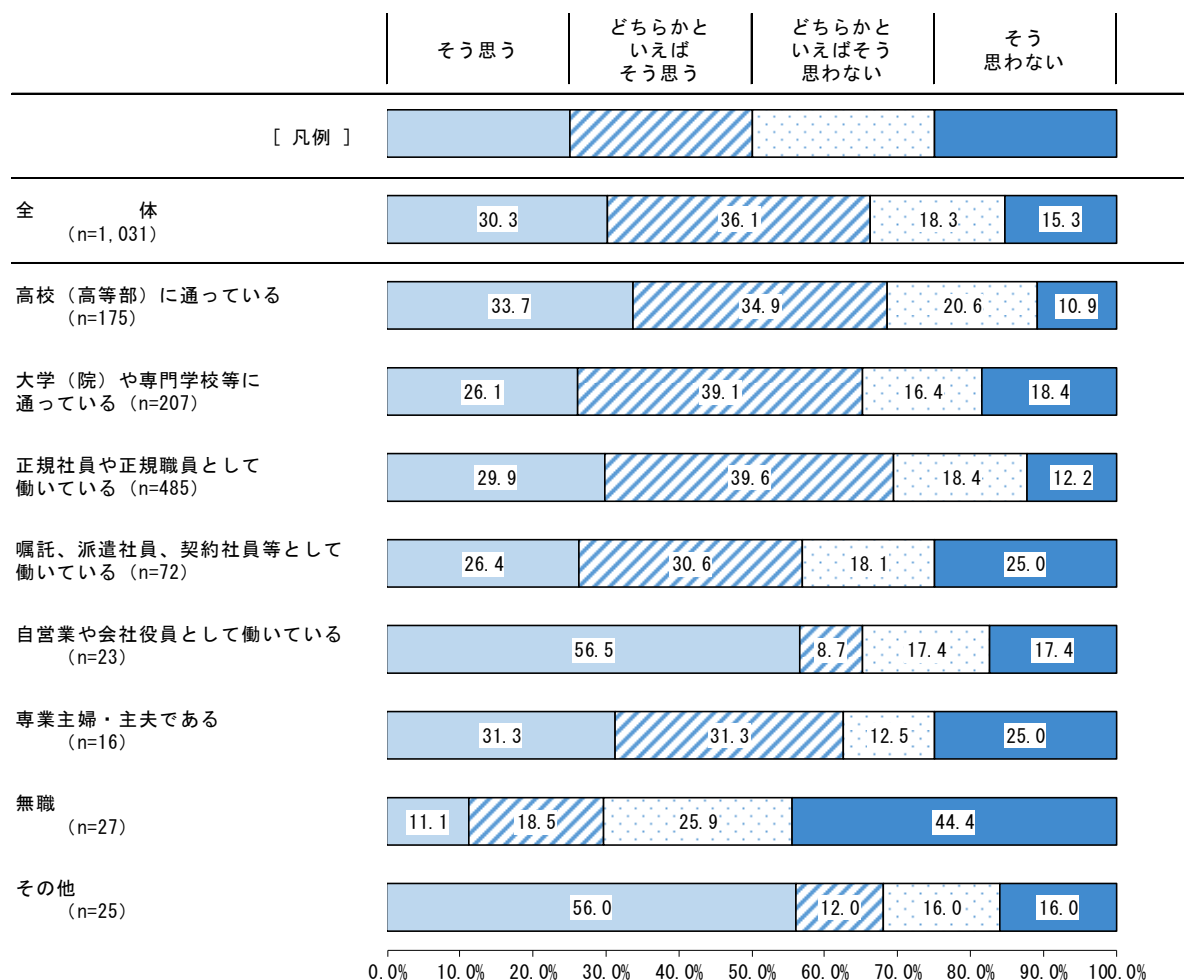
注：「わからない」を除く

『自分のことが好きだ』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が57.0%と、全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』『正規社員や正規職員として働いている』『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

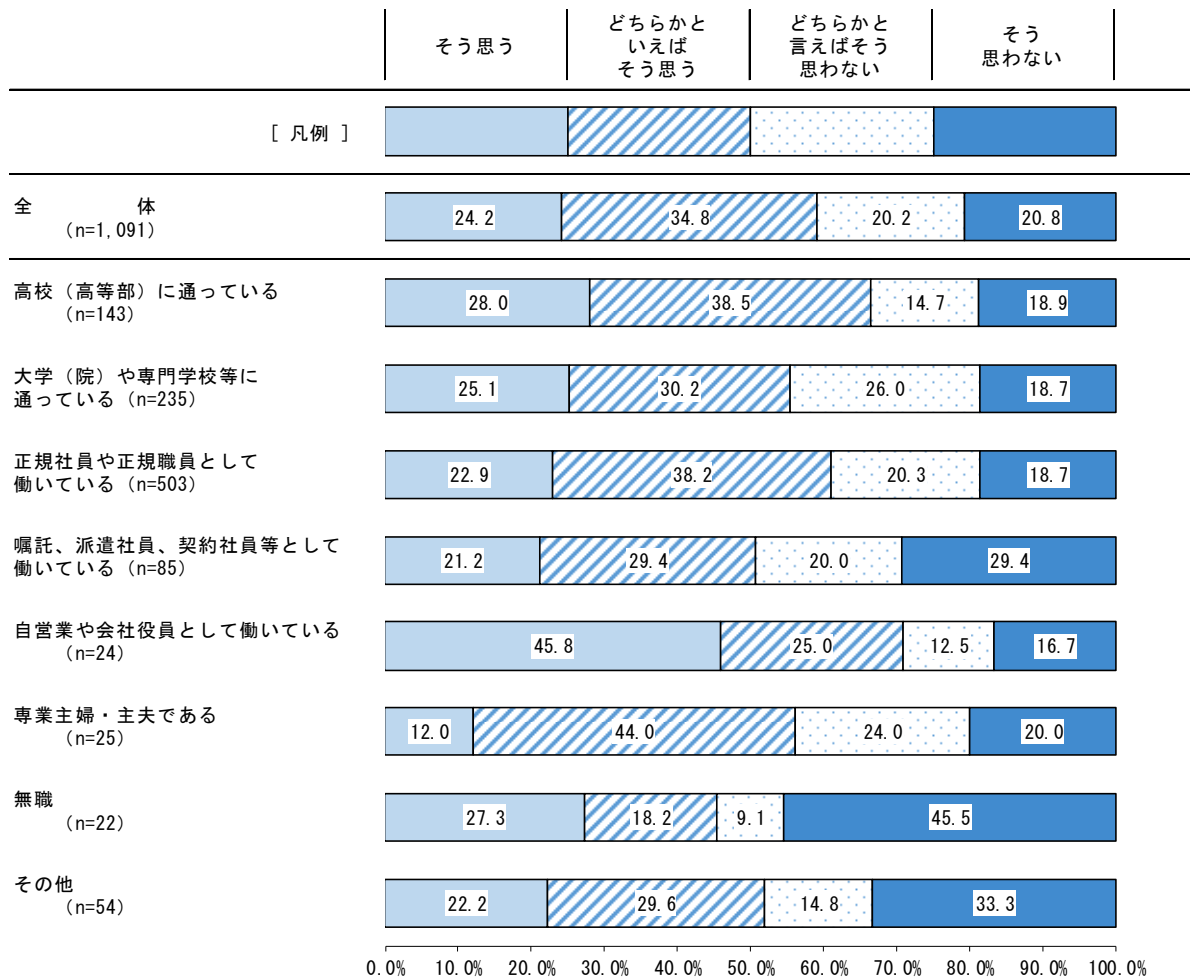
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-64 (オ) 自分のことが好きだ】(就学・就業状況別)



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-65 (オ) 自分のことが好きだ】(就学・就業状況別)



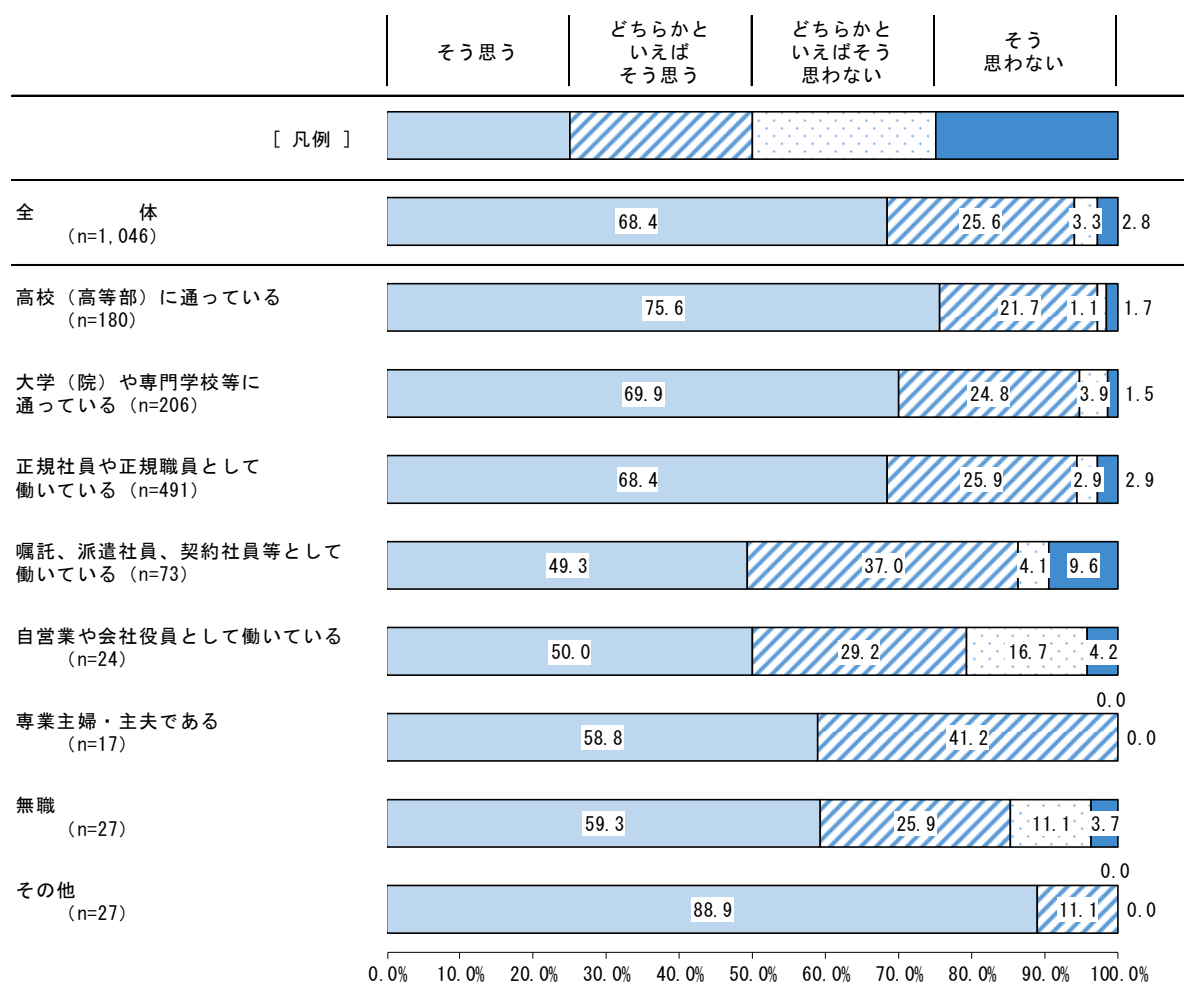
注：「わからない」を除く

『自分は家族に大事にされていると思う』について就学・就業状況別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が86.3%と、全体に比べて低くなっている。

経年でみると、「そう思う」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて低くなっている。

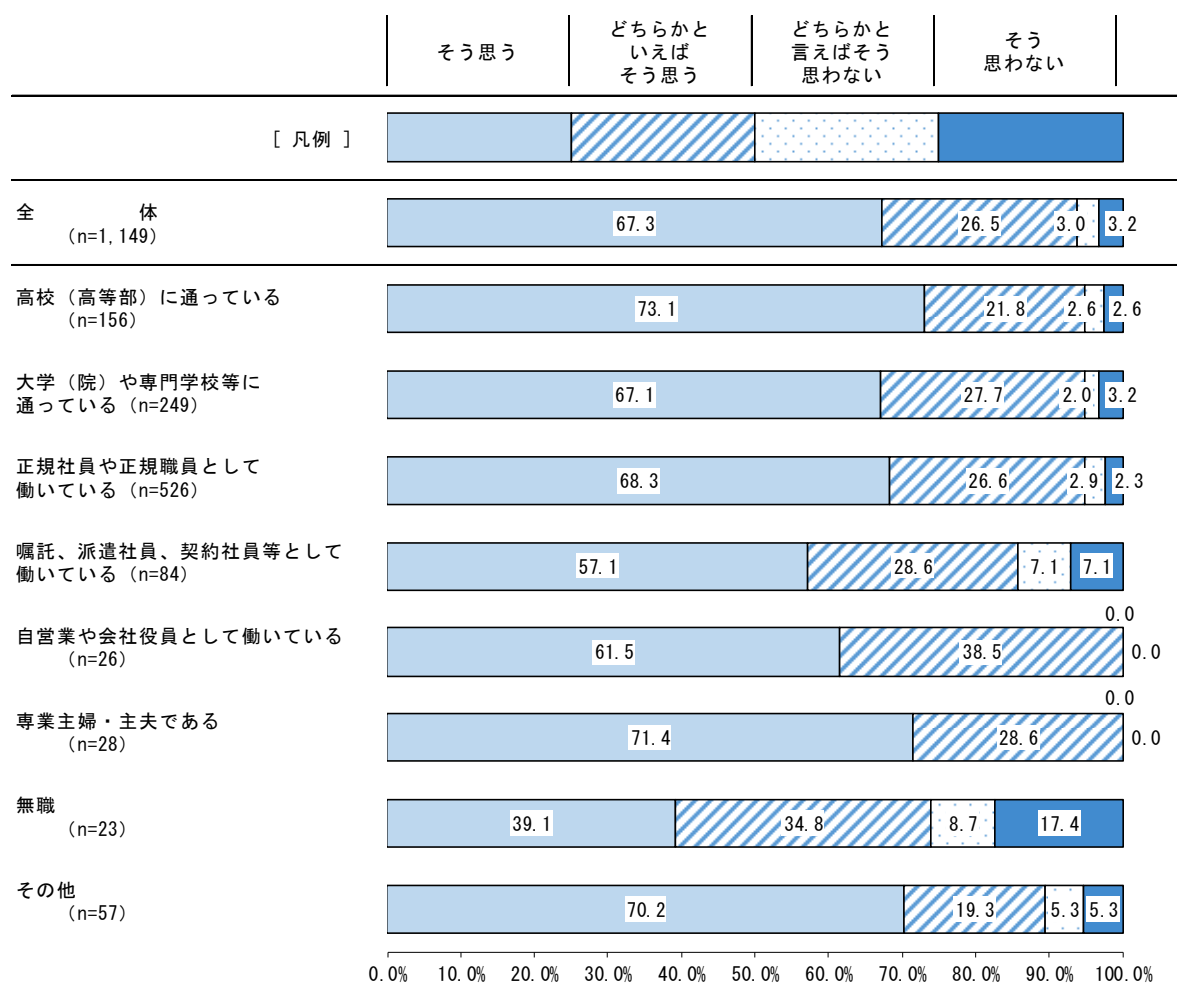
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-66 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(就学・就業状況別)



注:「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-67 (カ) 自分は家族に大事にされていると思う】(就学・就業状況別)



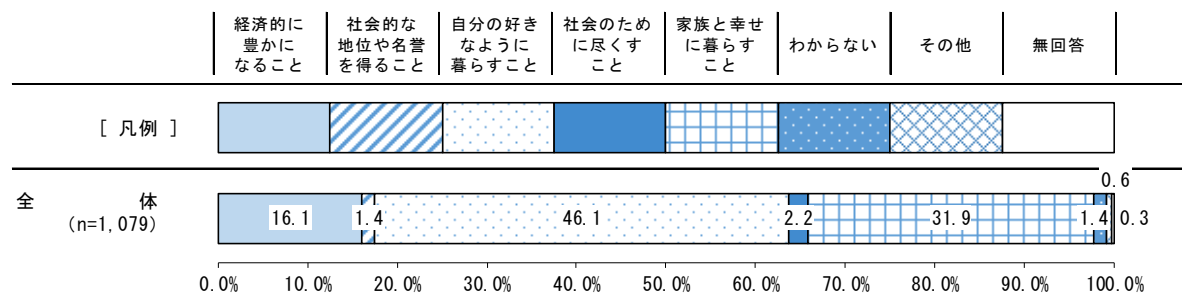
注：「わからない」を除く

(5) 理想とする生き方【問15】(SA)

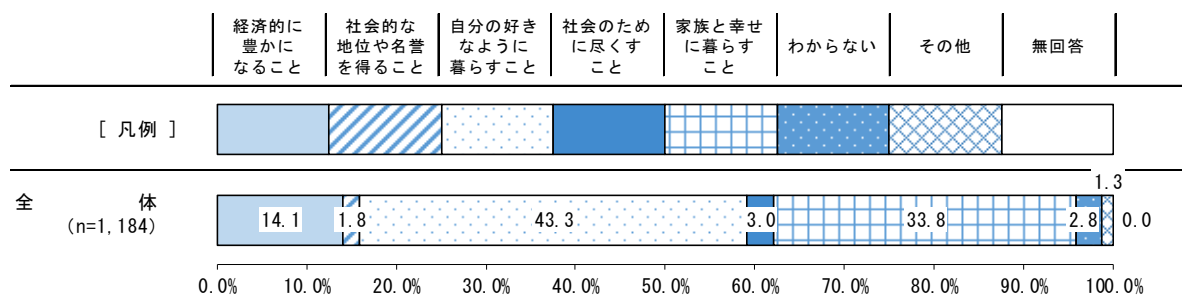
あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方を聞いたところ、「自分の好きなように暮らすこと」が 46.1%で最も高く、次いで「家族と幸せに暮らすこと」が 31.9%、「経済的に豊かになること」が 16.1%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 5-68 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】



＜前回調査＞【図表 5-69 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】



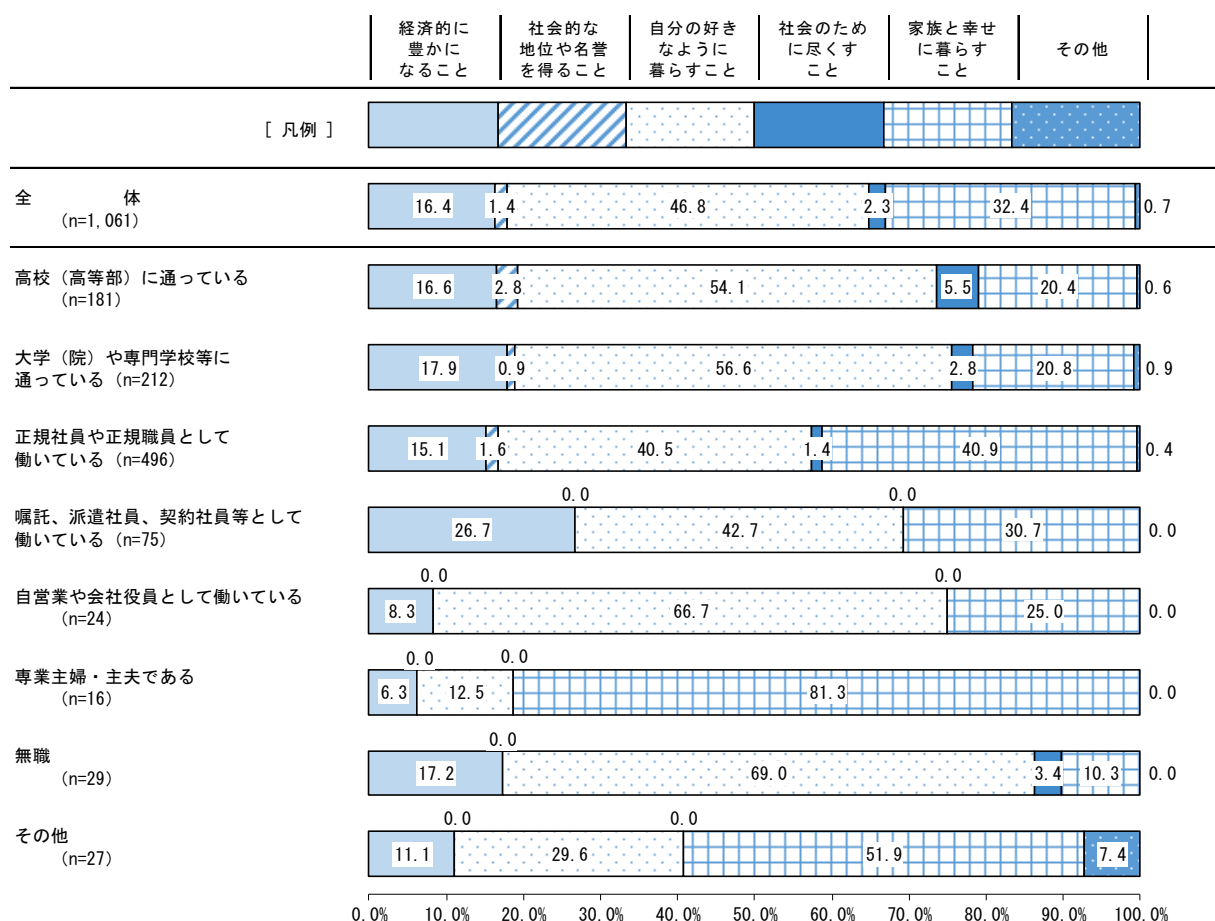
※ページ調整のため余白

あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方を就学・就業状況別にみると、「自分の好きなように暮らすこと」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 56.6%、『高校（高等部）に通っている』が 54.1%、「家族と幸せに暮らすこと」は『正規社員や正規職員として働いている』が 40.9%、「経済的に豊かになること」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 26.7%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「自分の好きなように暮らすこと」は『大学（院）や専門学校等に通っている』で、「経済的に豊かになること」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、それぞれ前回調査に比べて高くなっている一方、「家族と幸せに暮らすこと」は『高校（高等部）に通っている』で、「社会のために尽くすこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、それぞれ前回調査に比べて低くなっている。

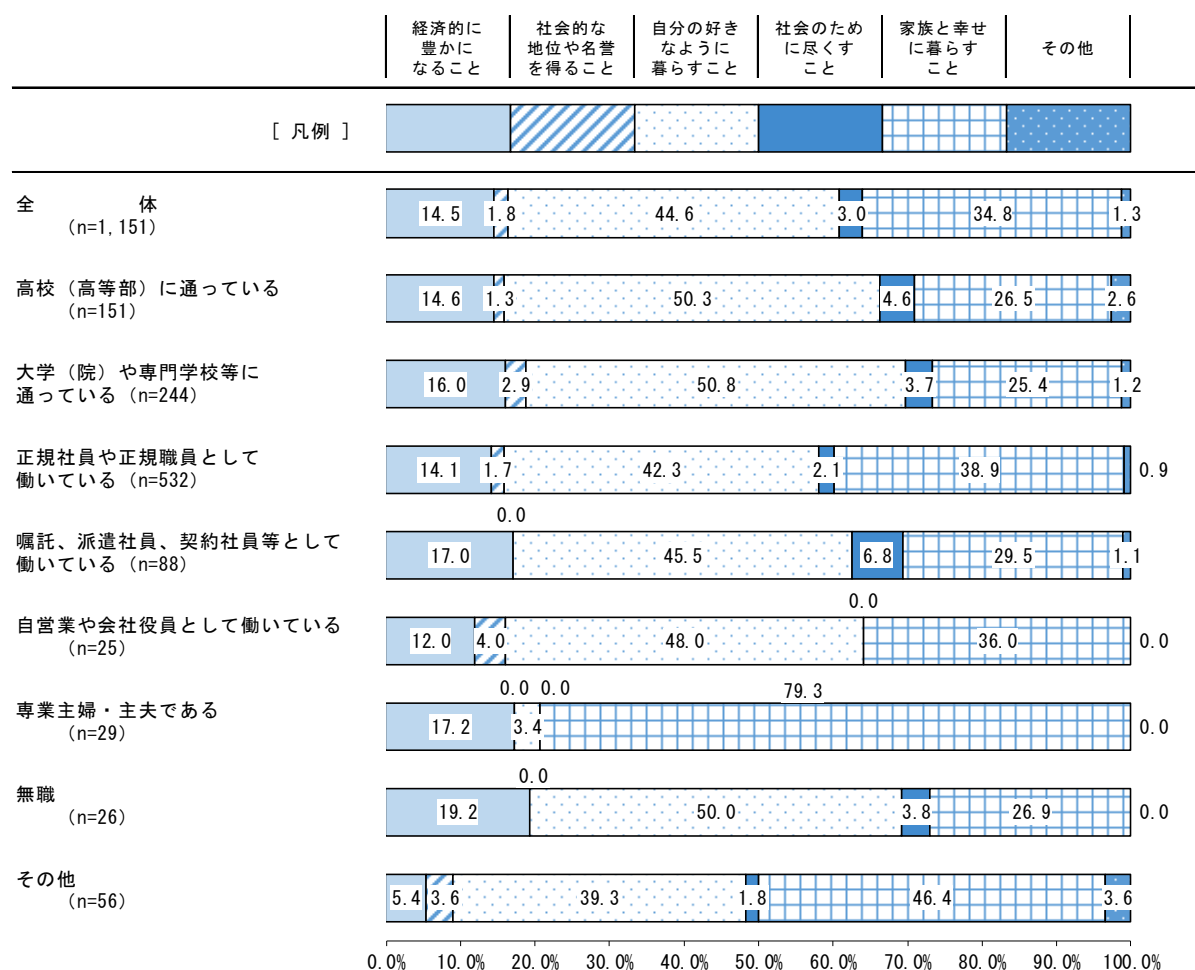
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-70 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

<前回調査>【図表 5-71 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】（就学・就業状況別）



注：「わからない」を除く

(6) つらい経験

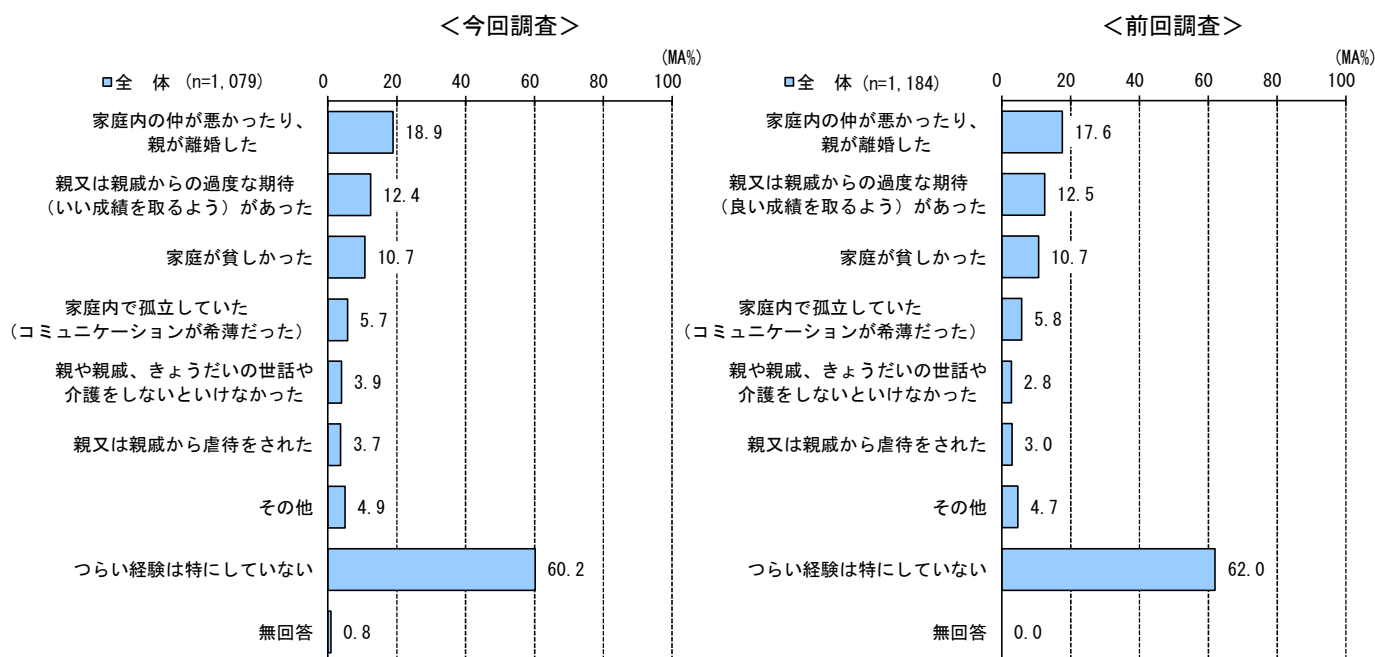
ア 家族・家庭でのつらい経験【問16】(MA)

家族・家庭でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない」が60.2%で最も高くなっている。

つらい経験の内容としては「家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した」が18.9%で最も高く、次いで「親又は親戚からの過度な期待（いい成績を取るよう）があった」が12.4%、「家庭が貧しかった」が10.7%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

【図表 5-72 家族・家庭でのつらい経験（複数回答）】



家族・家庭でのつらい経験を就学・就業状況別にみると、「家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した」「親又は親戚からの過度な期待（いい成績を取るよう）があった」「家庭が貧しかった」「家庭内で孤立していた（コミュニケーションが希薄だった）」「親や親戚、きょうだいの世話や介護をしないといけなかった」「親又は親戚から虐待をされた」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 35.5%、19.7%、19.7%、11.8%、9.2%、13.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した」「親又は親戚からの過度な期待（いい成績を取るよう）があった」「親又は親戚から虐待された」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回・前回調査>【図表 5-73 家族・家庭でのつらい経験（複数回答）】（就学・就業状況別）

		母数 (n)	親 家 庭 内 の 仲 が 悪 か っ た り 、 親 が 離 婚 し た	た へ 親 い 又 い は 親 戚 か ら の 過 度 な 期 待 （ い い 成 績 を 取 る よ う ） が あ っ た	家 庭 が 貧 し か っ た	だ へ 家 庭 内 で 孤 立 し て い た （ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン が 希 薄 だ っ た ）	介 護 を し な い と い け な か っ た 世 話 や	親 又 は 親 戚 か ら 虐 待 を さ れ た	そ の 他	つ ら い 経 験 は 特 に し て い な い
			単位：%							
今回調査	全体	1,070	19.1	12.5	10.7	5.8	3.9	3.7	5.0	60.7
	就学・就業状況別									
	高校（高等部）に通っている	186	▼ 10.2	▼ 7.5	5.9	1.6	2.7	1.1	3.8	△ 74.7
	大学（院）や専門学校等に通っている	210	16.2	17.1	▼ 5.7	5.2	3.8	1.4	2.9	62.9
	正規社員や正規職員として働いている	496	18.8	11.9	11.7	5.4	3.0	3.8	4.8	61.3
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	△ 35.5	△ 19.7	△ 19.7	△ 11.8	△ 9.2	△ 13.2	7.9	▼ 38.2
	自営業や会社役員として働いている	24	△ 33.3	12.5	12.5	△ 12.5	4.2	4.2	-	▼ 45.8
	専業主婦・主夫である	18	22.2	▼ 5.6	△ 27.8	5.6	-	5.6	△ 11.1	▼ 50.0
前回調査	無職	31	△ 48.4	12.9	△ 22.6	△ 22.6	△ 12.9	△ 9.7	9.7	▼ 35.5
	その他	28	14.3	▼ 7.1	14.3	3.6	7.1	3.6	△ 17.9	▼ 50.0
	全体	1,184	17.6	12.5	10.7	5.8	2.8	3.0	4.7	62.0
	就学・就業状況別									
	高等学校に通っている	161	▼ 10.6	12.4	▼ 5.6	4.3	0.6	2.5	3.1	△ 70.8
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	14.6	15.7	6.7	4.7	1.6	2.4	3.9	66.5
	正規社員や正規職員として働いている	541	16.5	11.1	10.9	4.3	3.1	1.8	4.1	64.1
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	△ 28.1	13.5	△ 27.0	△ 15.7	4.5	3.4	5.6	▼ 42.7
	自営業や会社役員として働いている	26	15.4	11.5	11.5	△ 11.5	-	3.8	△ 11.5	▼ 53.8
	専業主婦・主夫である	29	△ 37.9	▼ 6.9	6.9	6.9	3.4	3.4	6.9	▼ 55.2
	無職	26	△ 46.2	15.4	11.5	△ 15.4	7.7	△ 15.4	7.7	▼ 26.9
	その他	58	22.4	12.1	△ 17.2	6.9	6.9	△ 12.1	△ 12.1	▼ 50.0

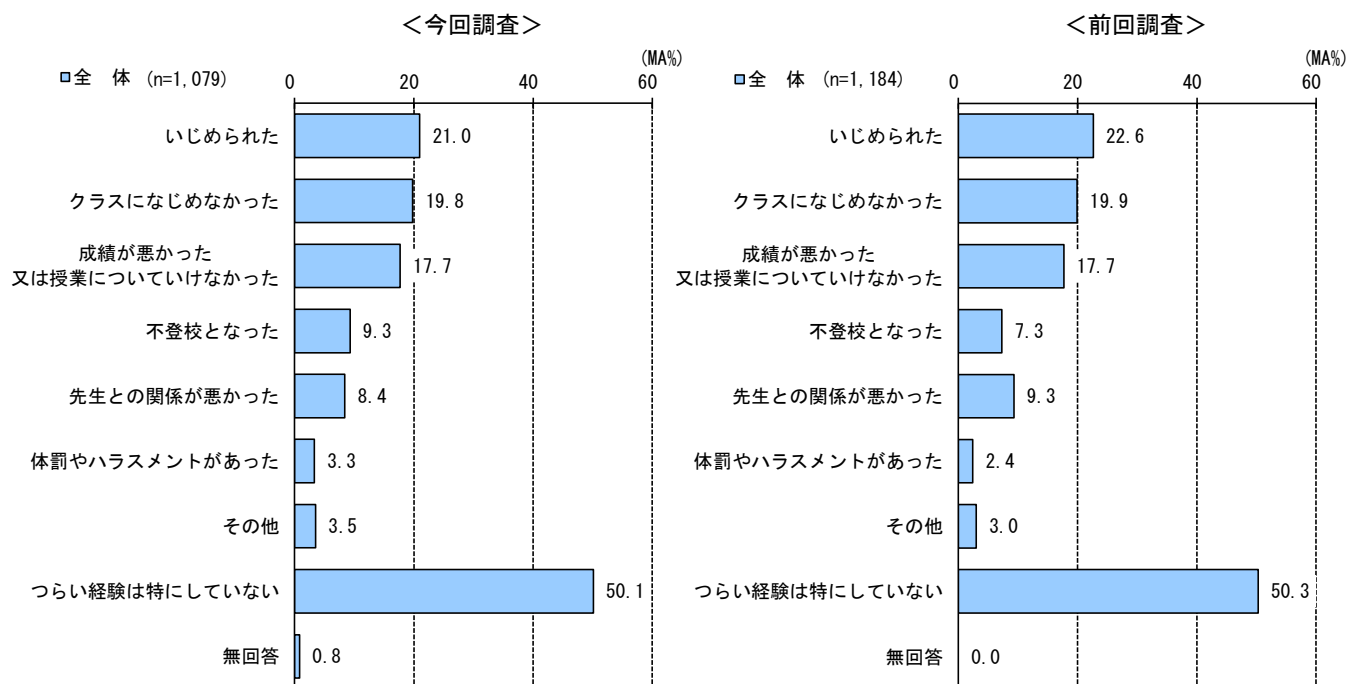
イ 学校でのつらい経験【問17】（MA）

学校でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない」が 50.1%で最も高くなっている。

つらい経験の内容としては「いじめられた」が 21.0%で最も高く、次いで「クラスになじめなかった」が 19.8%、「成績が悪かった又は授業についていけなかった」が 17.7%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

【図表 5-74 学校でのつらい経験（複数回答）】



学校でのつらい経験を就学・就業状況別にみると、「成績が悪かった又は授業についていけなかった」は『高校（高等部）に通っている』が 24.2%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 24.0%、「先生との関係が悪かった」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 13.6%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 14.7%、「いじめられた」「クラスになじめなかった」「不登校となった」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 37.3%、33.3%、16.0%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「いじめられた」「クラスになじめなかった」「不登校となった」「先生との関係が悪かった」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

＜今回・前回調査＞【図表 5-75 学校でのつらい経験（複数回答）】（就学・就業状況別）

			単位：％								
				いじめられた	クラスになじめなかった	成績が悪かった又は授業についていけなかった	不登校となった	先生との関係が悪かった	体罰やハラスメントがあった	その他	つらい経験は特にしていない
今回調査	全体		1,070	21.2	20.0	17.9	9.3	8.5	3.4	3.6	50.6
	就学・就業状況別	高校（高等部）に通っている	186	▼ 11.8	19.4	△ 24.2	10.2	4.8	1.6	3.2	52.2
		大学（院）や専門学校等に通っている	213	▼ 15.0	19.7	15.5	9.4	△ 13.6	2.3	5.2	53.1
		正規社員や正規職員として働いている	495	23.2	16.6	14.5	6.1	6.5	4.4	2.8	54.3
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	75	△ 37.3	△ 33.3	△ 24.0	△ 16.0	△ 14.7	2.7	5.3	▼ 33.3
		自営業や会社役員として働いている	24	20.8	△ 29.2	▼ 12.5	▼ 4.2	8.3	8.3	4.2	45.8
		専業主婦・主夫である	18	△ 27.8	▼ 11.1	△ 27.8	11.1	5.6	5.6	-	▼ 44.4
		無職	30	△ 33.3	△ 36.7	△ 26.7	△ 40.0	10.0	-	-	▼ 20.0
		その他	28	△ 35.7	△ 32.1	△ 25.0	△ 14.3	10.7	-	7.1	▼ 42.9
前回調査	全体		1,184	22.6	19.9	17.7	7.3	9.3	2.4	3.0	50.3
	就学・就業状況別	高等学校に通っている	161	▼ 11.2	▼ 14.9	△ 24.2	8.7	7.5	1.9	4.3	55.9
		大学（院）や専門学校等に通っている	254	▼ 16.1	24.8	20.5	7.5	8.7	0.8	3.9	49.6
		正規社員や正規職員として働いている	541	25.9	16.3	▼ 12.0	4.4	7.8	3.0	2.0	54.2
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	25.8	△ 25.8	△ 25.8	10.1	9.0	2.2	2.2	▼ 39.3
		自営業や会社役員として働いている	26	△ 30.8	△ 30.8	△ 23.1	3.8	△ 19.2	-	3.8	▼ 42.3
		専業主婦・主夫である	29	24.1	24.1	17.2	6.9	△ 17.2	3.4	6.9	▼ 41.4
		無職	26	△ 34.6	△ 38.5	△ 34.6	△ 26.9	△ 23.1	3.8	3.8	▼ 26.9
		その他	58	△ 37.9	22.4	19.0	△ 19.0	△ 17.2	5.2	1.7	▼ 37.9

ウ 職場でのつらい経験【問18】（MA）

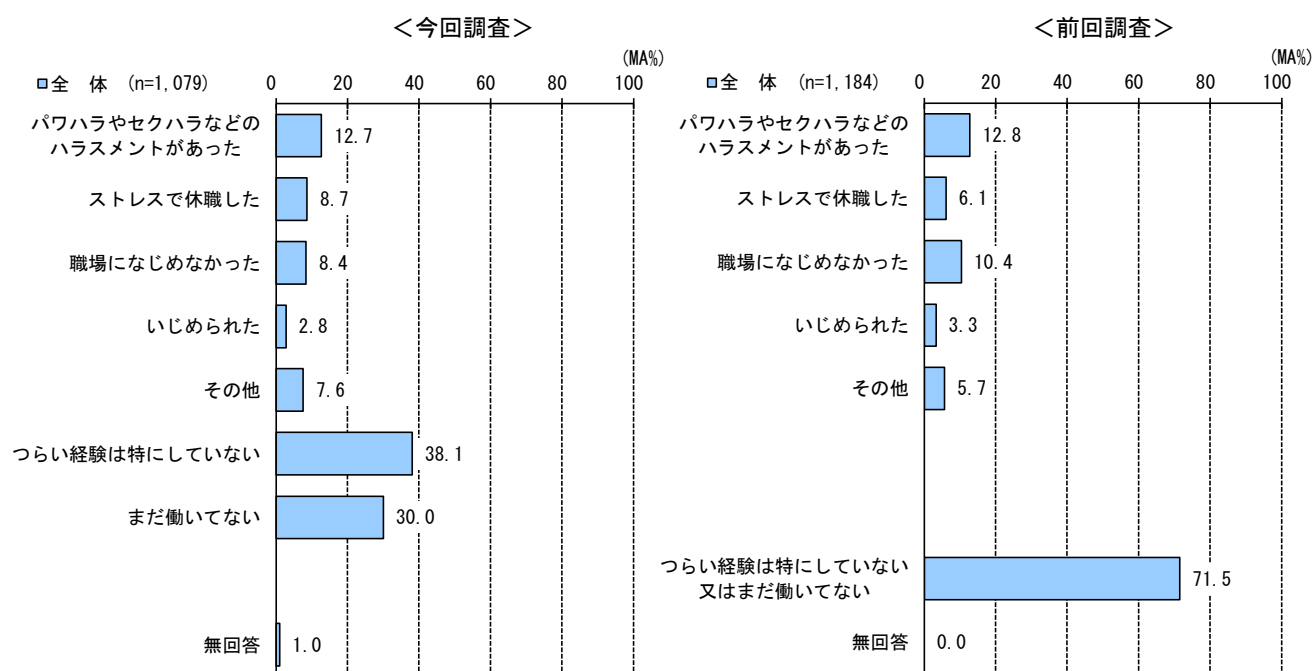
職場でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない」が 38.1%で最も高くなっている。

つらい経験の内容としては「パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった」が 12.7%で最も高く、次いで「ストレスで休職した」が 8.7%、「職場になじめなかった」が 8.4%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

【図表 5-76 職場でのつらい経験（複数回答）】



職場でのつらい経験の内容を就学・就業状況別にみると、「パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった」「ストレスで休職した」「職場になじめなかった」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 26.3%、28.9%、21.1%、「つらい経験は特にしていない」は『正規社員や正規職員として働いている』が 56.7%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

経年でみると、「ストレスで休職した」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回・前回調査>【図表 5-77 職場でのつらい経験の内容（複数回答）】（就学・就業状況別）

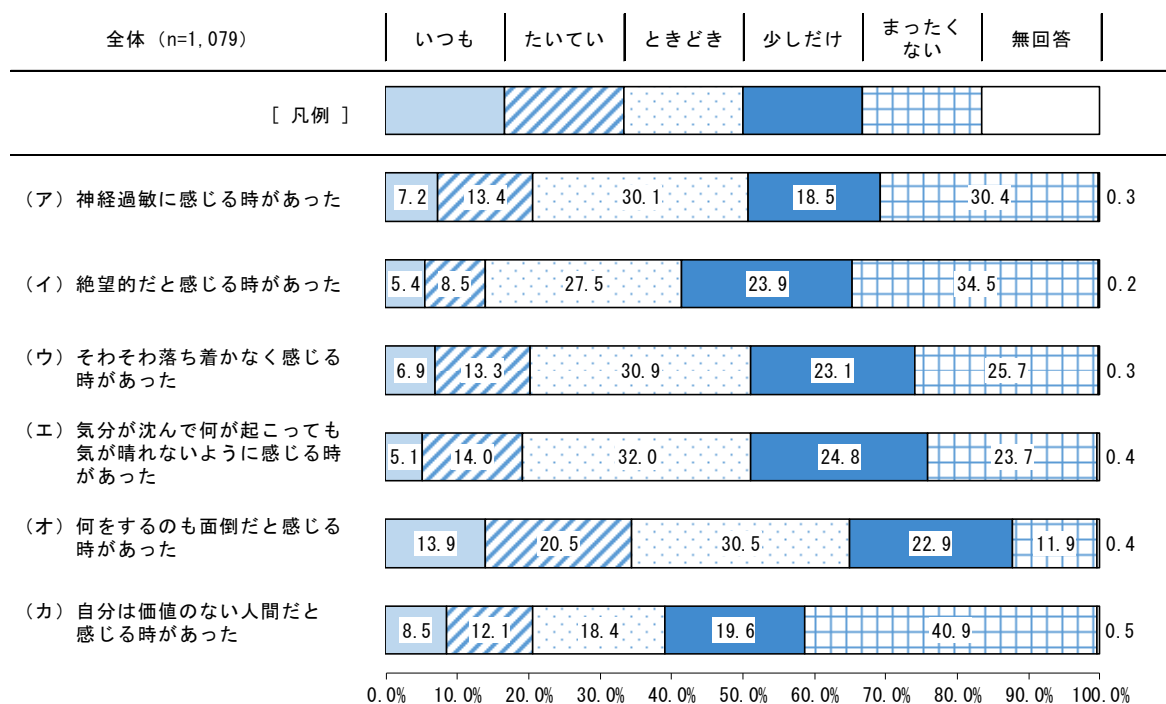
単位：％											
				の パワハラ やセク メント があつた	ス ト レ ス で 休 職 し た	職 場 に な じ め な か つ た	い じ め ら れ た	そ の 他	つ ら い 経 験 は 特 に し て い な い	ま だ 働 い て い な い	つ ら い 又 は ま だ 働 い て い な い
今回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,068	12.8	8.8	8.5	2.8	7.7	38.5	30.3	
		高校（高等部）に通っている	186	▼ 1.6	▼ 1.1	▼ 1.1	1.6	－	▼ 7.0	△ 88.2	
		大学（院）や専門学校等に通っている	210	▼ 2.4	▼ 1.9	▼ 2.9	1.0	2.9	▼ 24.3	△ 64.8	
		正規社員や正規職員として働いている	494	16.8		9.1	10.3	3.0	△ 12.8	△ 56.7	▼ 0.8
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	△ 26.3	△ 28.9	△ 21.1	6.6	9.2	43.4		－
		自営業や会社役員として働いている	24	△ 25.0	12.5	12.5	4.2	－	△ 50.0	▼ 4.2	
		専業主婦・主夫である	18	16.7	△ 22.2	－	－	5.6	△ 61.1	▼ 5.6	
		無職	31	△ 29.0	△ 32.3	△ 32.3	3.2	3.2	▼ 3.2	△ 41.9	
		その他	28	△ 28.6	△ 14.3	10.7	△ 10.7	10.7	35.7	▼ 17.9	
前回調査	就学・ 就業 状況 別	全体	1,184	12.8	6.1	10.4	3.3	5.7			71.5
		高校（高等部）に通っている	161	▼ 2.5	1.2	▼ 0.6	－	1.9			△ 94.4
		大学（院）や専門学校等に通っている	254	▼ 2.4	▼ 0.8	▼ 4.7	2.0	1.6			△ 89.8
		正規社員や正規職員として働いている	541	15.3	7.0	12.4	3.0	8.1			▼ 64.7
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	△ 23.6	△ 14.6	△ 20.2	6.7	9.0			▼ 49.4
		自営業や会社役員として働いている	26	△ 38.5	3.8	△ 19.2	△ 11.5	3.8			▼ 50.0
		専業主婦・主夫である	29	△ 20.7	△ 13.8	△ 17.2	△ 10.3	6.9			▼ 48.3
		無職	26	△ 19.2	△ 11.5	△ 26.9	3.8	3.8			▼ 53.8
		その他	58	△ 27.6	△ 15.5	13.8	△ 8.6	8.6			▼ 55.2

(7) 精神状態や考え方【問19】(SA)

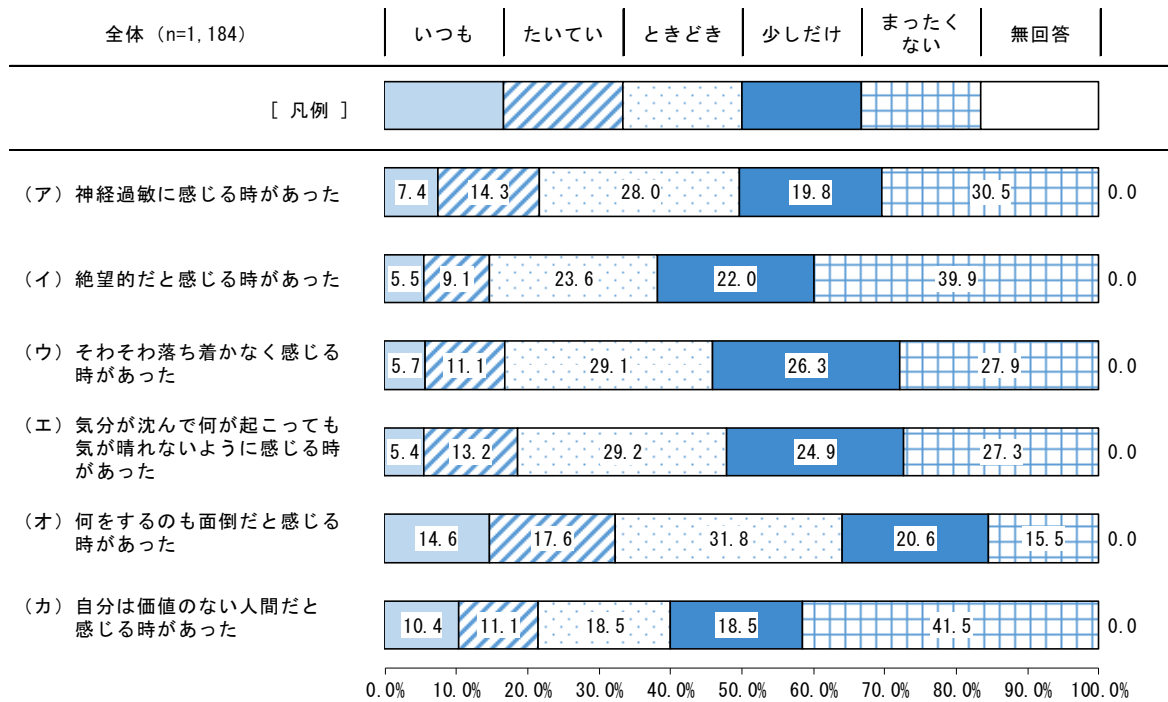
直近1か月間の精神状態や考え方を聞いたところ、「いつも」では『何をするのも面倒だと感じる時があった』が13.9%で最も高く、「まったく」では『自分は価値のない人間だと感じる時があった』が40.9%で最も高くなっている。

経年でみると、「まったく」では『絶望的だと感じる時があった』が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 5-78 直近1か月間の精神状態や考え方】



<前回調査>【図表 5-79 直近 1 か月間の精神状態や考え方】

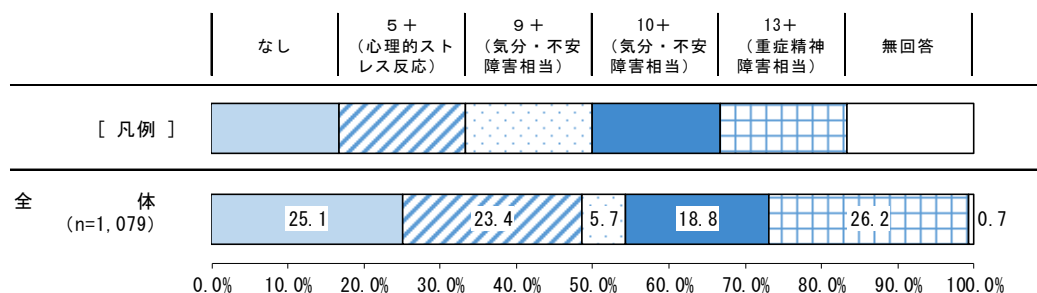


【K 6 指標に基づく抑うつ傾向】

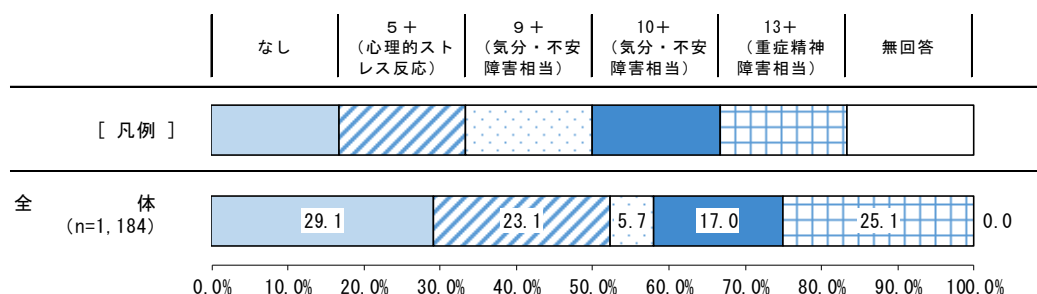
回答者の精神状態をうつ傾向を測る指標として普及されているK 6 指標¹に基づく分類で分けると、「13+（重症精神障害相当）」が 26.2%で最も高く、次いで「なし」が 25.1%、「5+（心理的ストレス反応）」が 23.4%となっている。

経年でみると、大きな差はみられない。

＜今回調査＞【図表 5-80 K 6 指標に基づく抑うつ傾向】



＜前回調査＞【図表 5-81 K 6 指標に基づく抑うつ傾向】



¹ K 6 指標は、米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されており、厚生労働省が実施する国民生活基礎調査においても用いられているものである。6つの質問について、5段階（「まったくない」（0点）、「少しだけ」（1点）、「ときどき」（2点）、「たいてい」（3点）、「いつも」（4点））で点数化を行い、その得点によって「重症精神障害相当」（13点以上）、「気分・不安障害相当」（9点以上及び10点以上）、「心理的ストレス反応相当」（5点以上）に分類され、合計点数が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとされている。

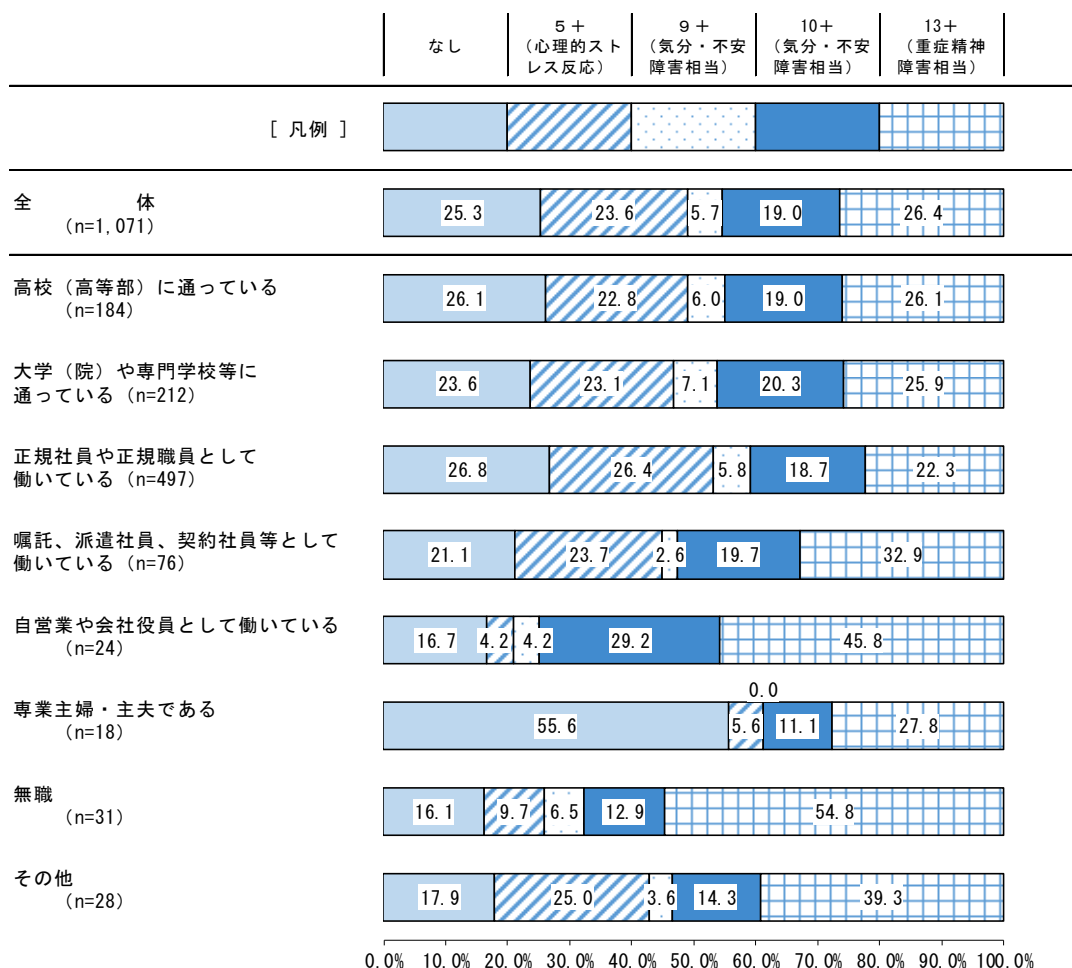
※ページ調整のため余白

K 6 指標に基づく抑うつ傾向を就学・就業状況別にみると、「13+（重症精神障害相当）」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 32.9%と全体に比べて高くなっている。

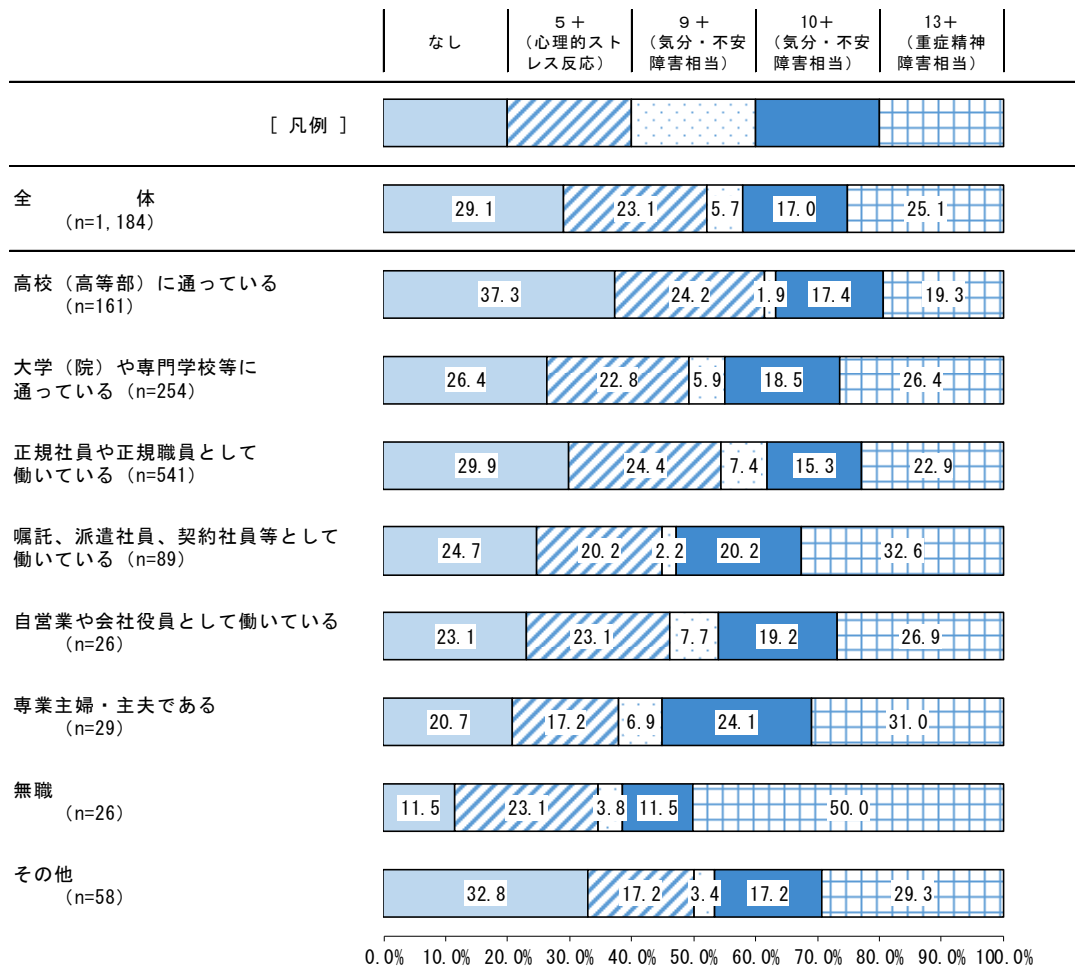
経年でみると、「13+（重症精神障害相当）」は『高校（高等部）に通っている』で前回調査に比べて高く、「なし」は『高校（高等部）に通っている』で前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-82 K 6 指標に基づく抑うつ傾向】（就学・就業状況別）



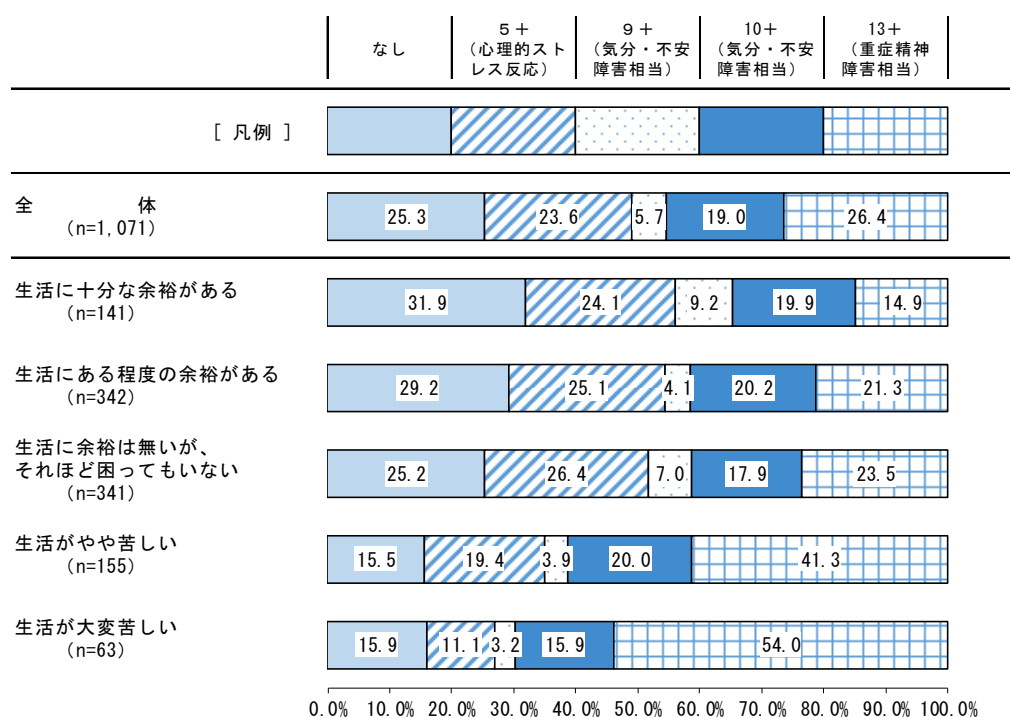
＜前回調査＞【図表 5-83 K6指標に基づく抑うつ傾向】（就学・就業状況別）



K 6 指標に基づく抑うつ傾向を現在の経済的な生活状況別にみると、「13+（重症精神障害相当）」は『生活が大変苦しい』が 54.0%、『生活がやや苦しい』が 41.3%、「なし」は『生活に十分な余裕がある』が 31.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

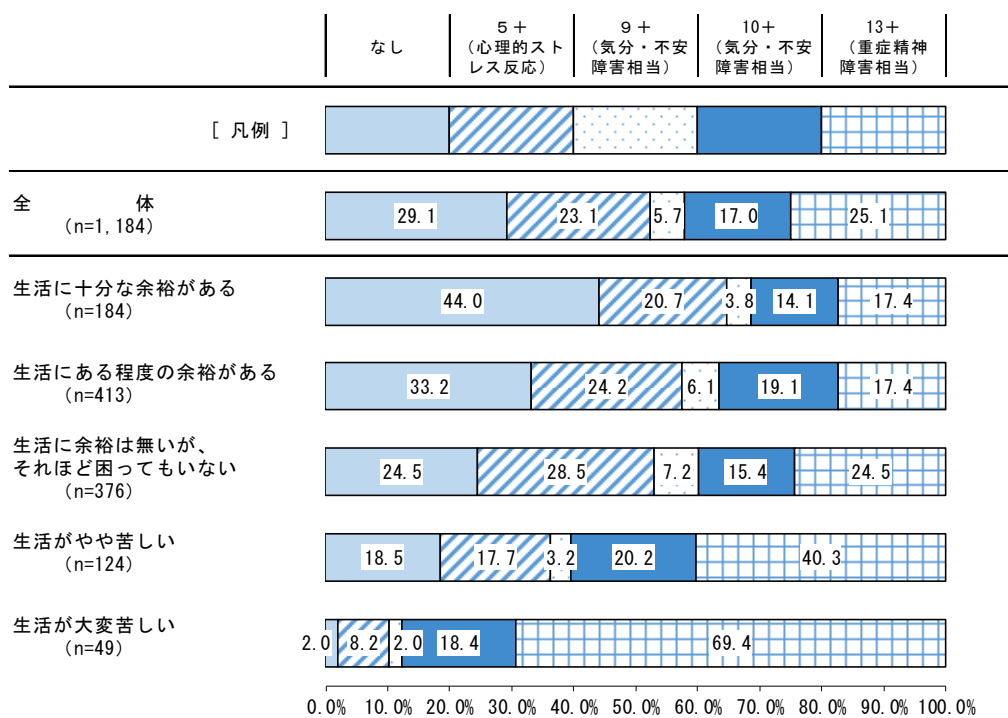
経年でみると、「なし」は『生活に十分な余裕がある』で前回調査に比べて低く、『生活が大変苦しい』で前回調査に比べて高くなっている。また、「10+（気分・不安障害相当）」は『生活に十分な余裕がある』で、前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査> 【図表 5-84 K 6 指標に基づく抑うつ傾向】（現在の経済的な生活状況別）



注：「わからない」を除く

＜前回調査＞【図表 5-85 K 6 指標に基づく抑うつ傾向】（現在の経済的な生活状況別）



注：「わからない」を除く

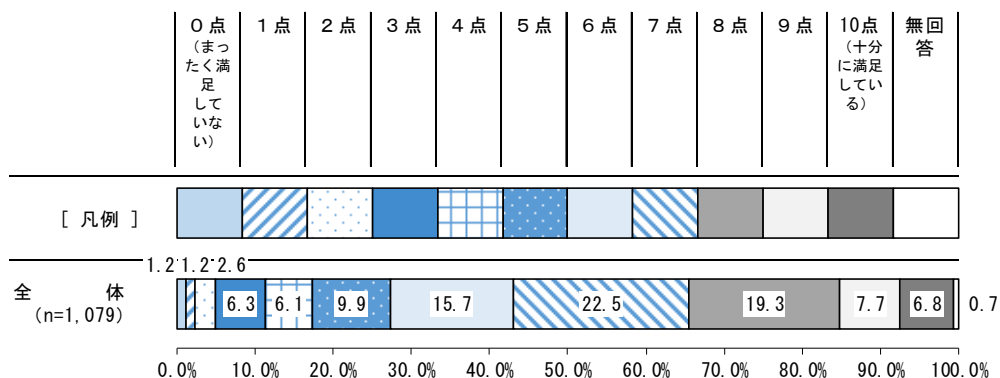
(8) 生活の満足度

ア 現状への満足度【問20】(SA)

最近の生活に対する満足度を『十分に満足している』を 10、『まったく満足していない』を 0 として聞いたところ、「7 点」が 22.5%と最も高く、次いで「8 点」が 19.3%、「6 点」が 15.7%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

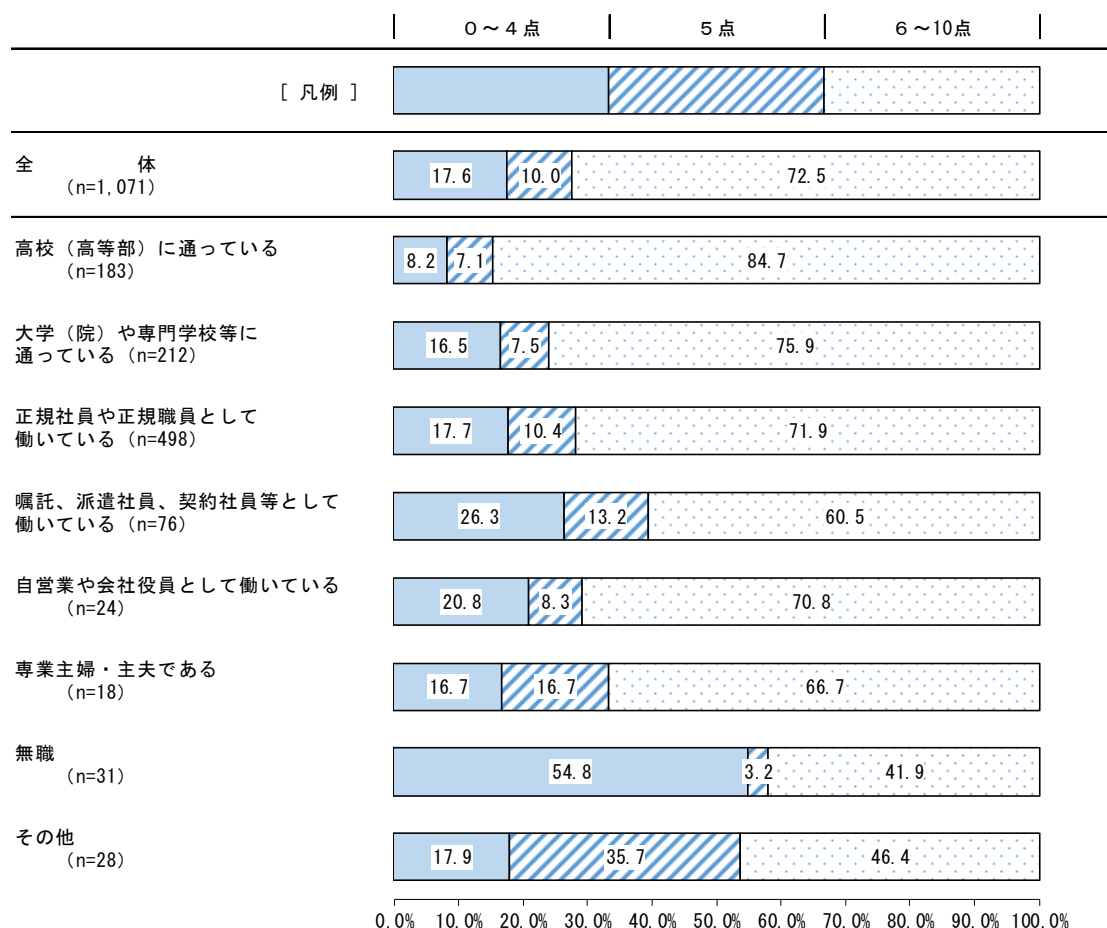
＜今回調査＞【図表 5-86 生活の満足度】



最近の生活に対する満足度を就学・就業状況別にみると、「6～10点」は『高校（高等部）に通っている』が84.7%と全体に比べて高く、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が60.5%と全体に比べて低くなっている。「0～4点」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が26.3%と全体に比べて高く、『高校（高等部）に通っている』が8.2%と全体に比べて低くなっている。

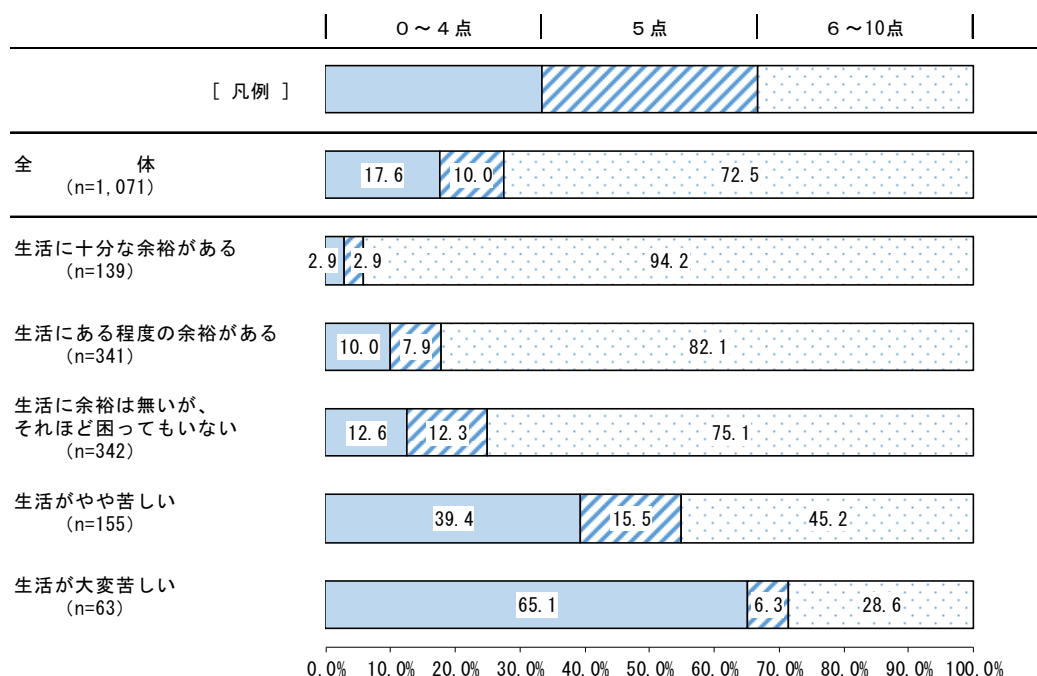
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-87 生活の満足度（3区分）】（就学・就業状況別）



最近の生活に対する満足度を現在の経済的な生活状況別にみると、「6～10」は『生活に十分な余裕がある』が 94.2%、『生活にある程度の余裕がある』が 82.1%と、全体より高くなっている。「0～4」は『生活がやや苦しい』が 39.4%、『生活が大変苦しい』が 65.1%と、全体より高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-88 生活の満足度（3区分）】（現在の経済的な生活状況別）



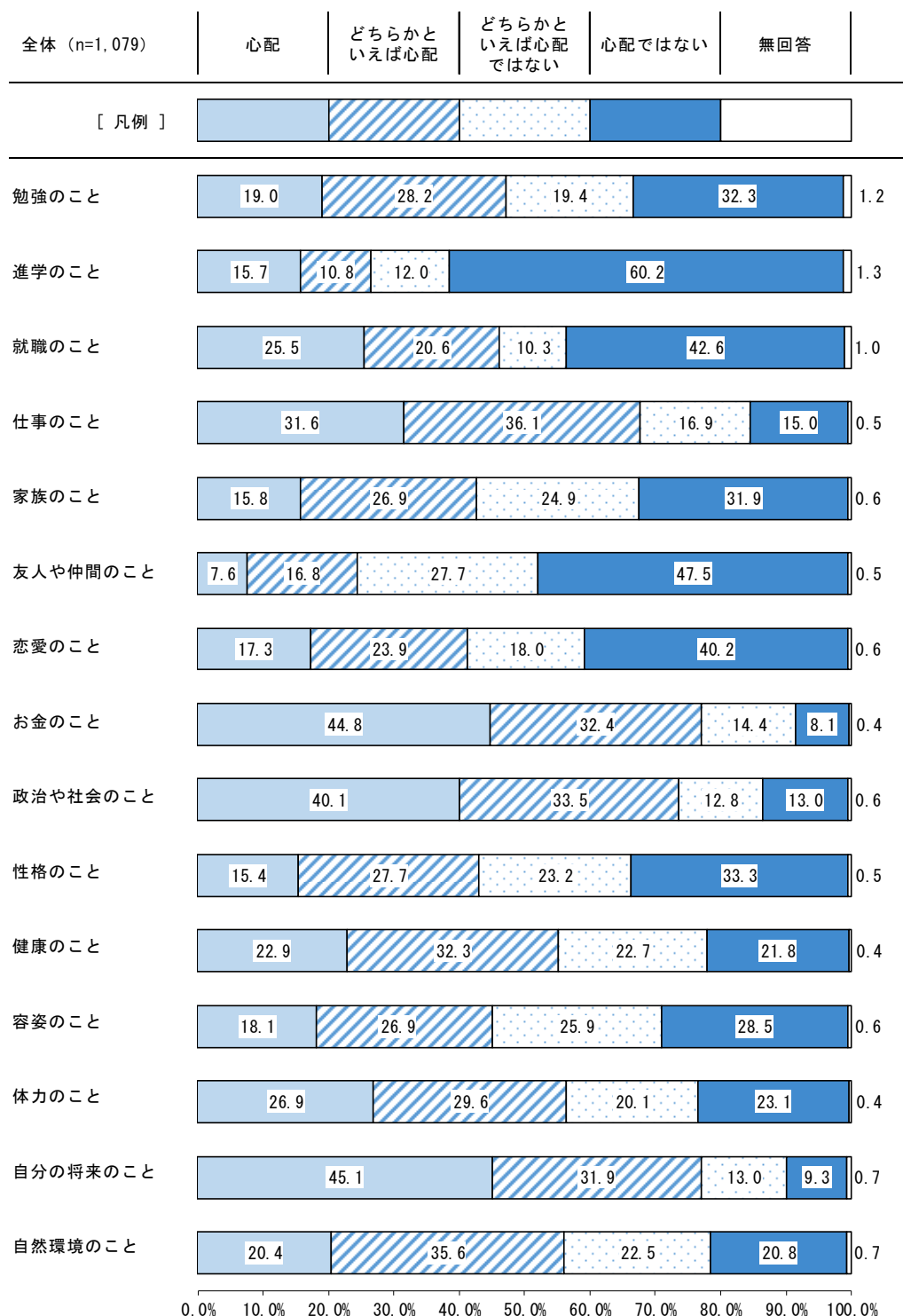
(9) 悩みや心配事、相談相手の有無

① 現在の悩みや心配ごと【問21】(SA)

現在の悩みや心配ごとを聞いたところ、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は『お金のこと』が77.2%で最も高く、「どちらかといえば心配ではない」と「心配ではない」を足し合わせた割合は『友人や仲間のこと』が75.2%で最も高くなっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

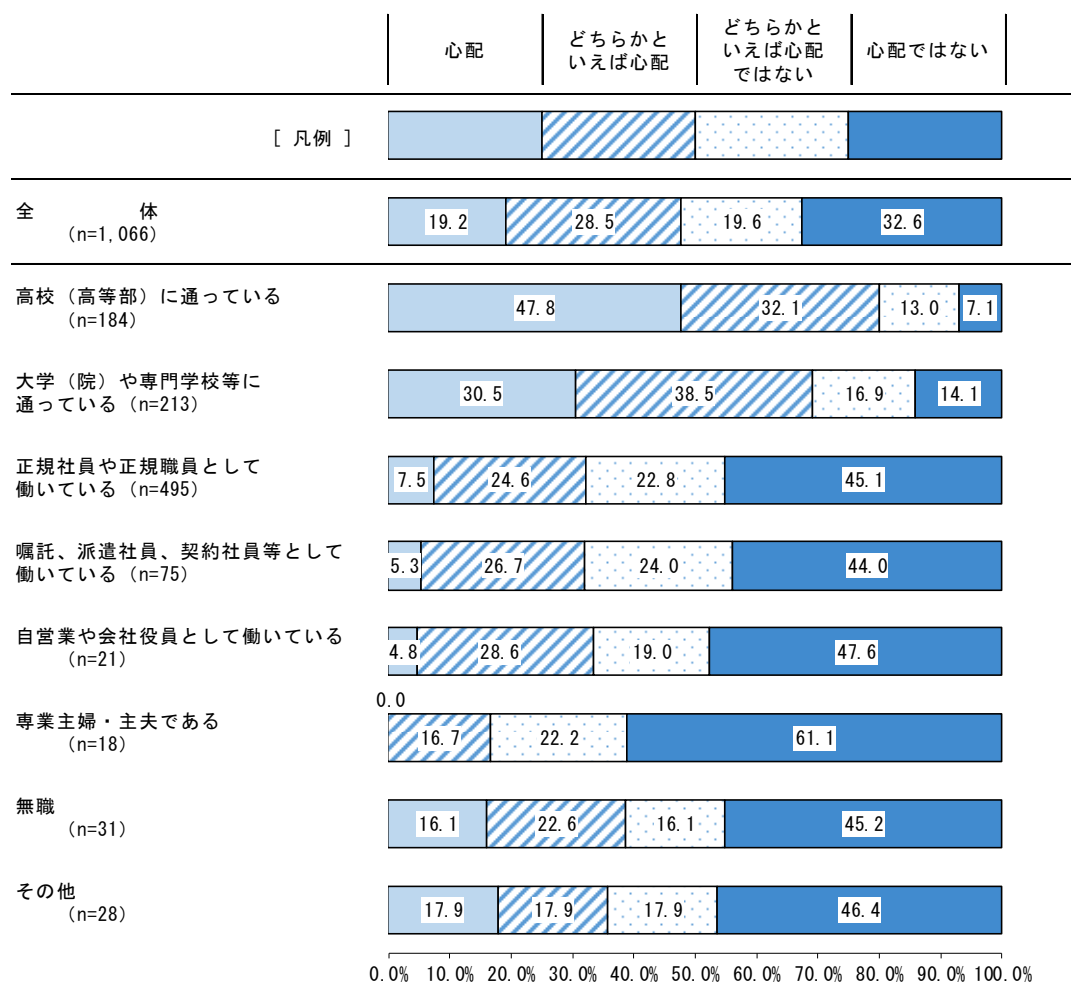
<今回調査>【図表 5-89 現在の悩みや心配ごと】



『勉強のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が 79.9%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 69.0%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

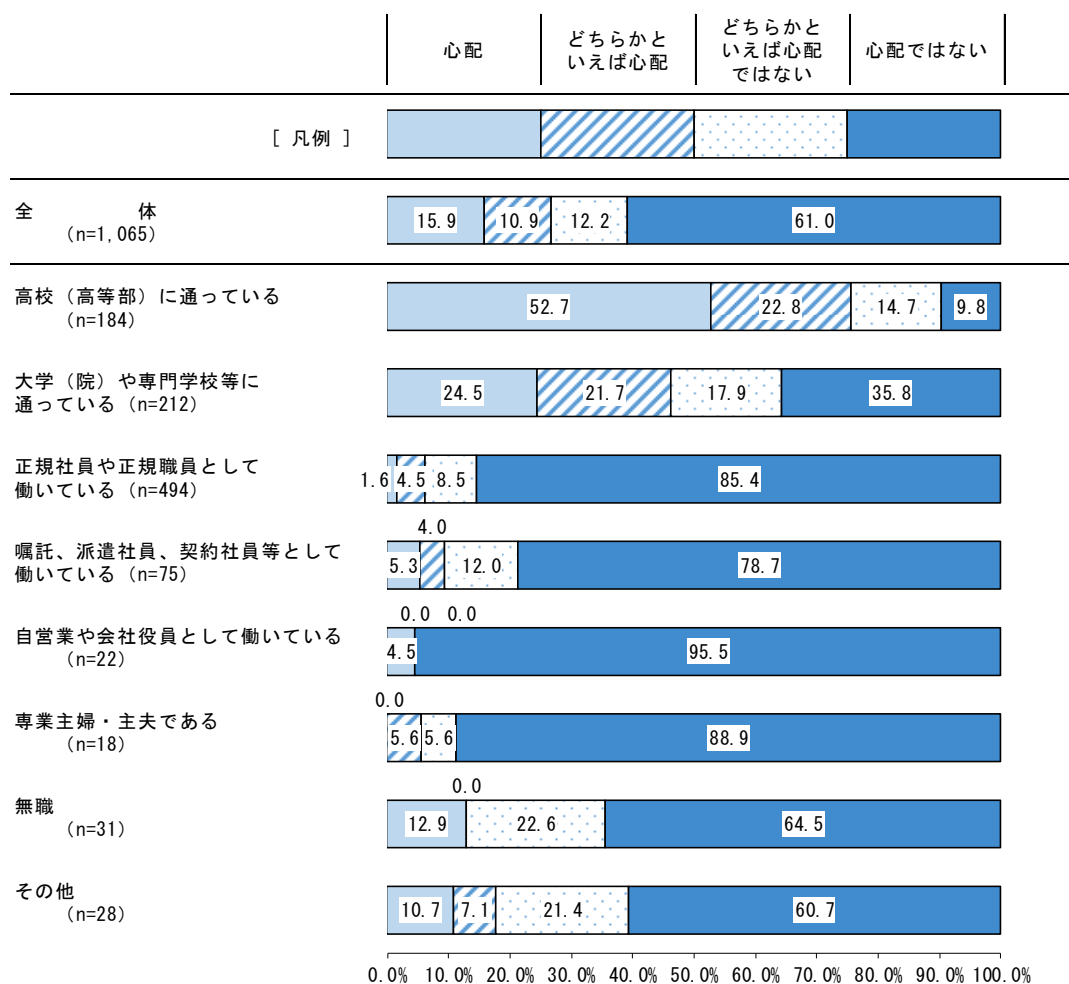
<今回調査> 【図表 5-90 『勉強のこと』について】（就学・就業状況別）



『進学のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が75.5%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が46.2%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

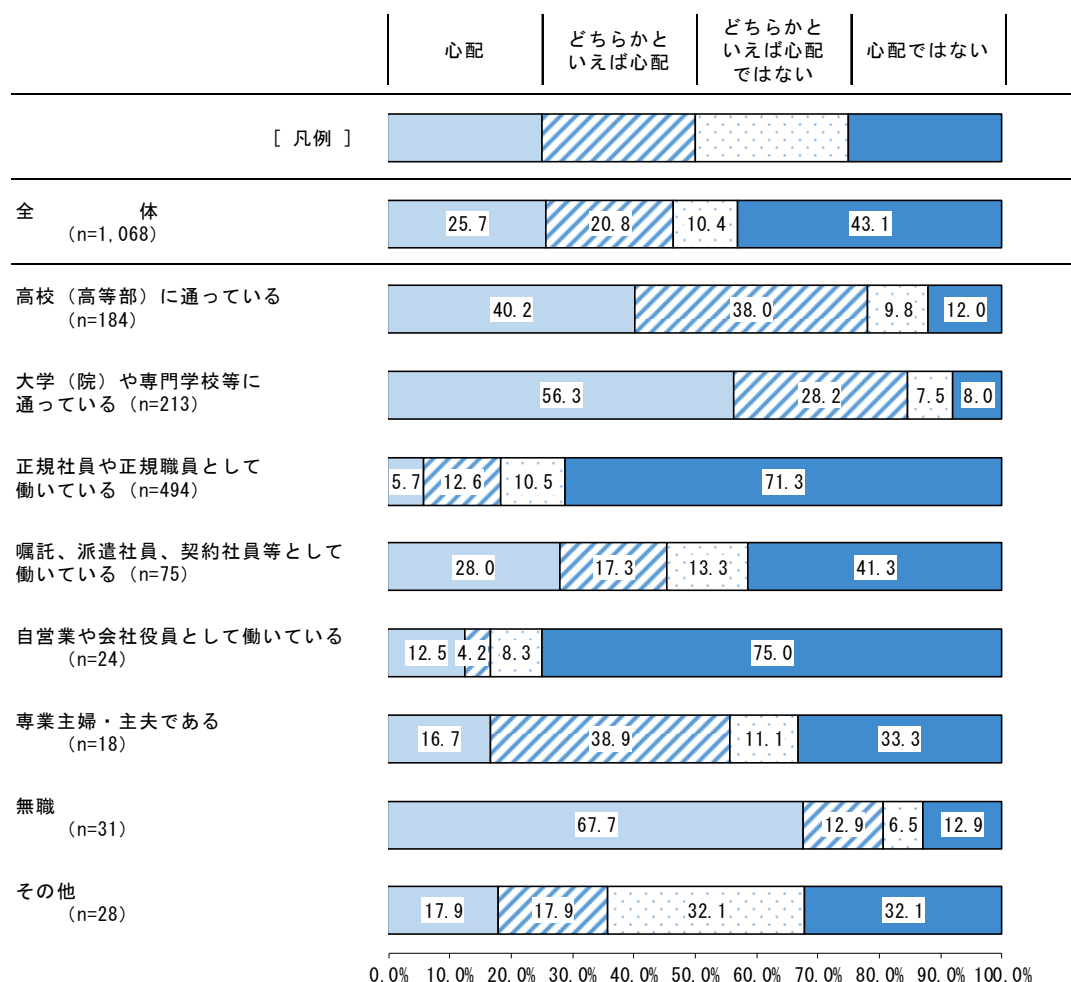
<今回調査>【図表 5-91 『進学のこと』について】（就学・就業状況別）



『就職のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が78.2%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が84.5%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

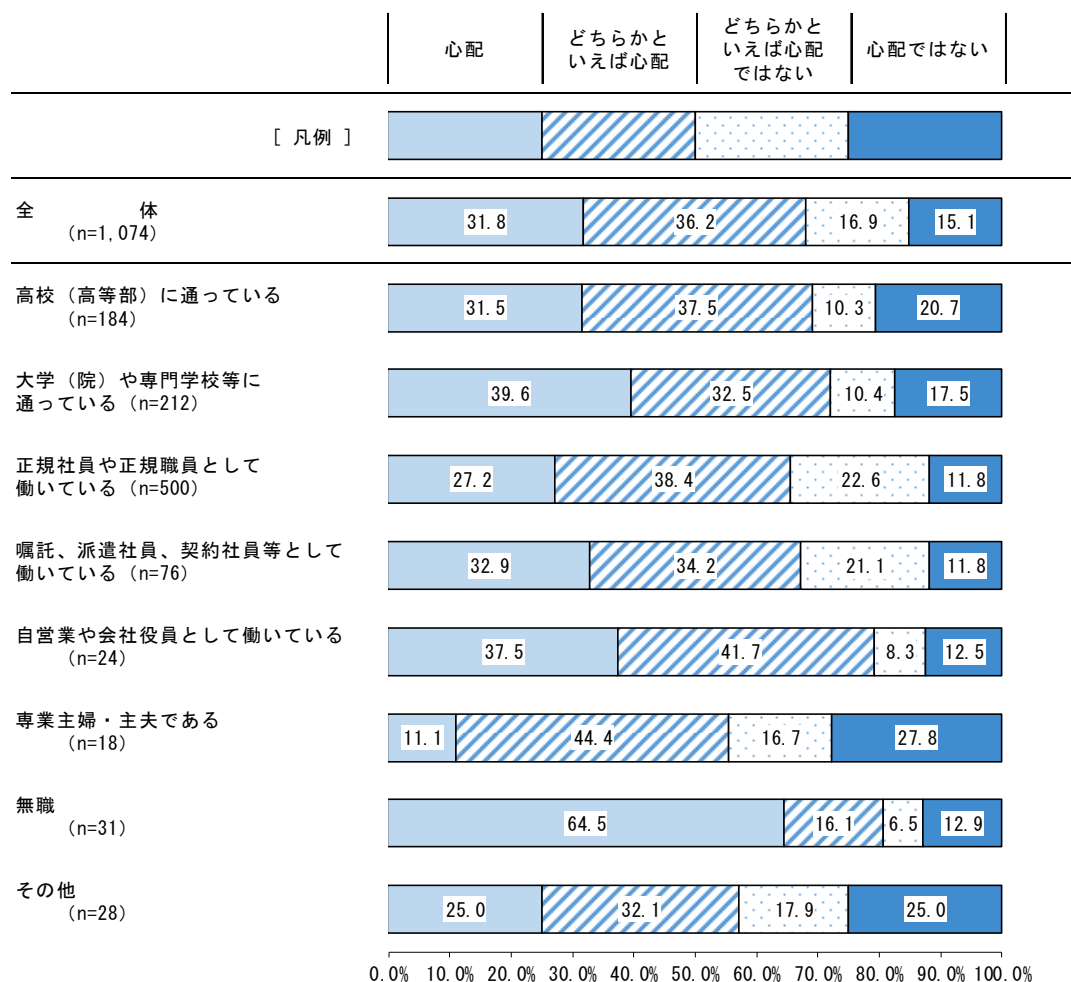
<今回調査>【図表 5-92 『就職のこと』について】（就学・就業状況別）



『仕事のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が39.6%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

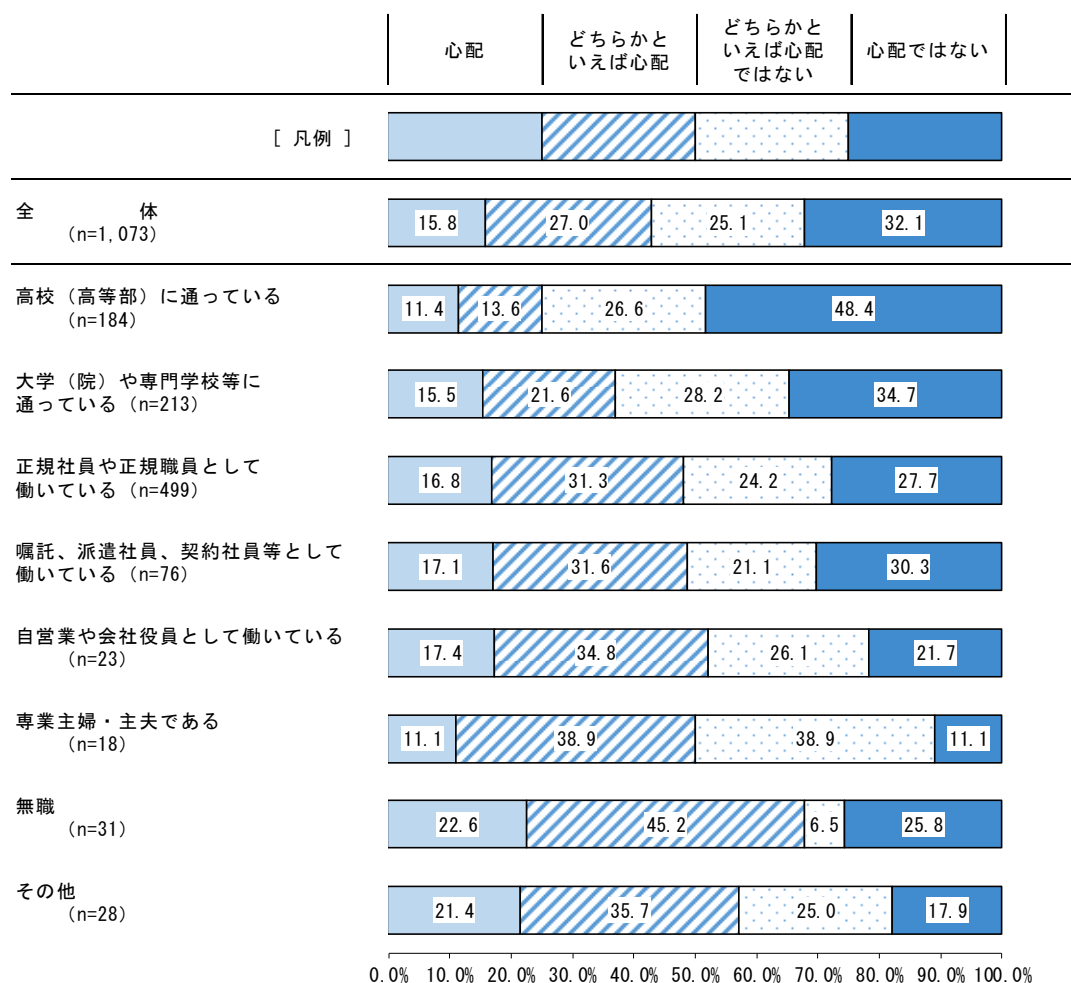
<今回調査>【図表 5-93 『仕事のこと』について】(就学・就業状況別)



『家族のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『正規社員や正規職員として働いている』が 48.1%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 48.7%と、全体に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』が 25.0%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 37.1%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

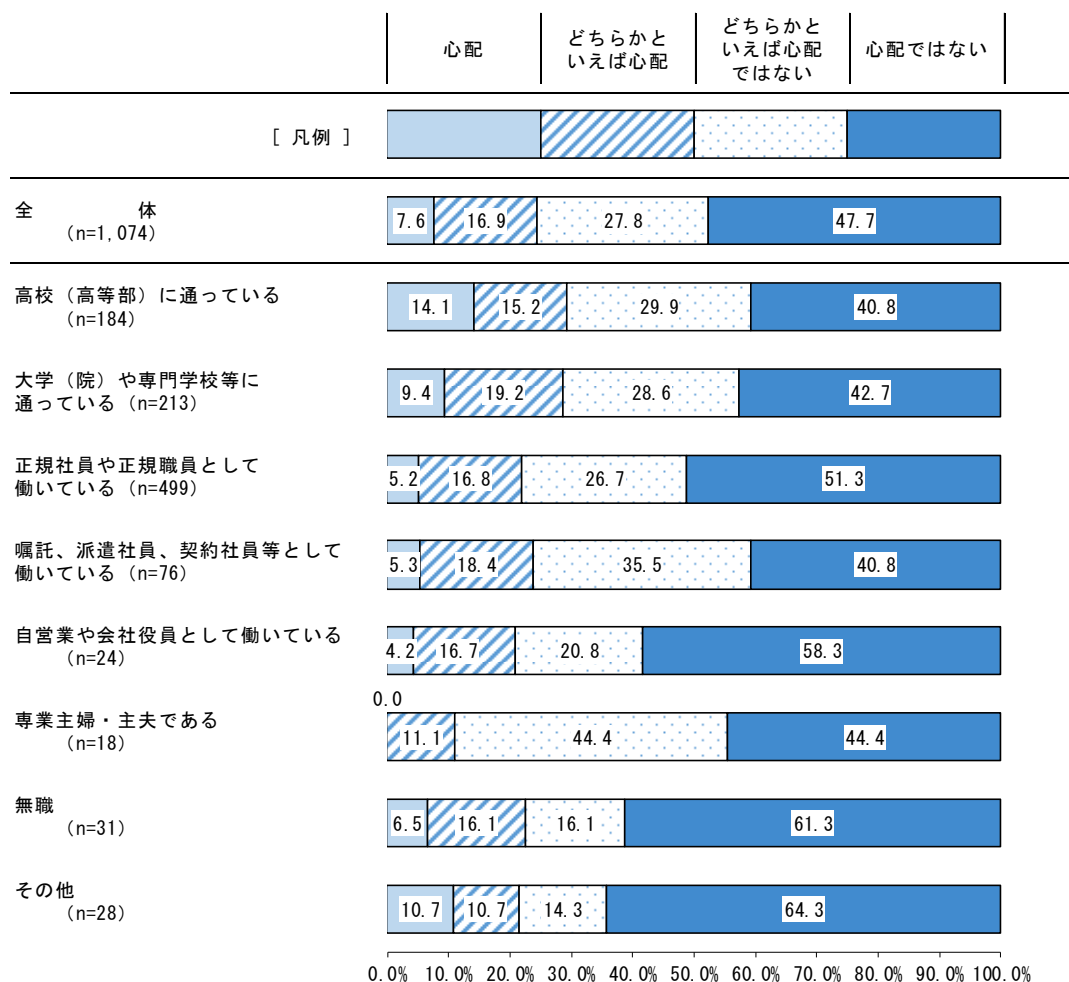
<今回調査>【図表 5-94 『家族のこと』について】（就学・就業状況別）



『友人や仲間のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」は『高校（高等部）に通っている』が14.1%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

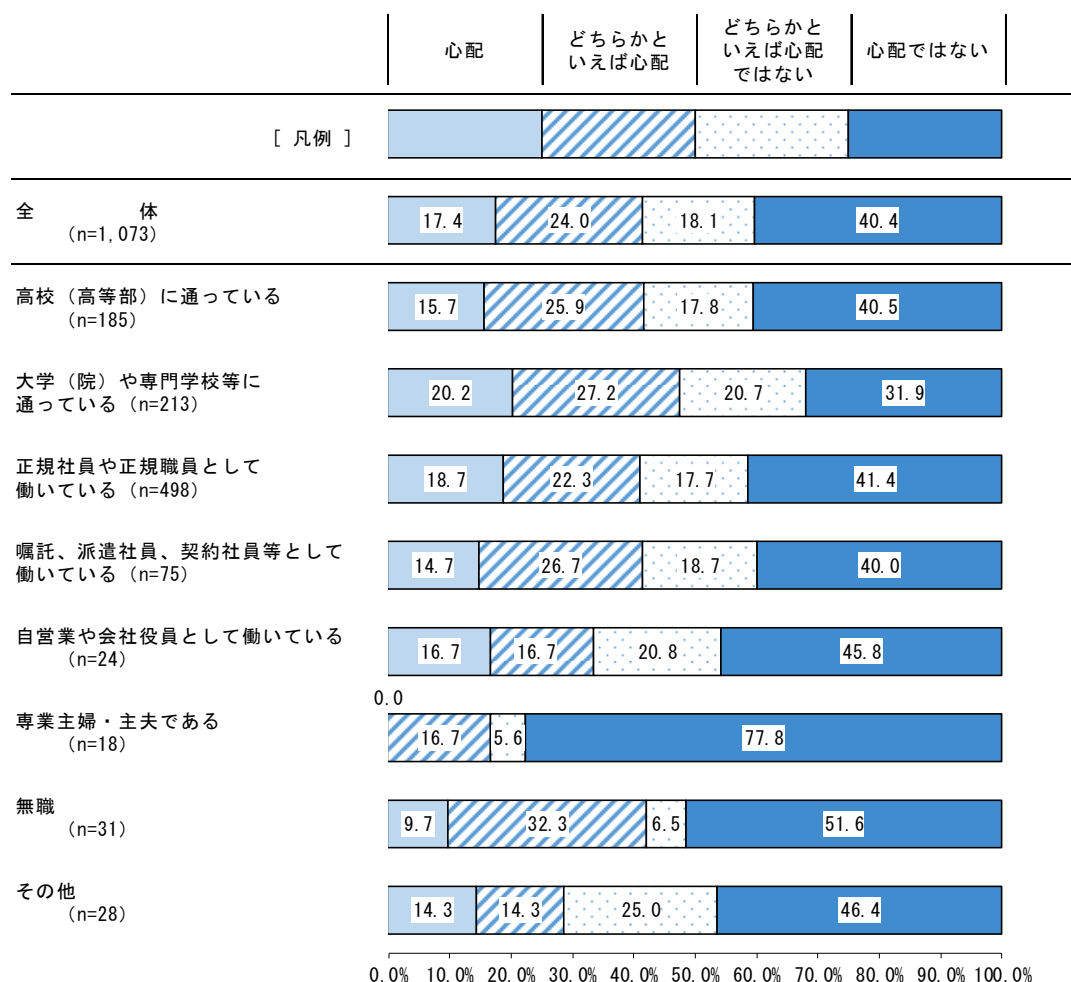
<今回調査>【図表 5-95 『友人や仲間のこと』について】（就学・就業状況別）



『恋愛のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 47.4%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

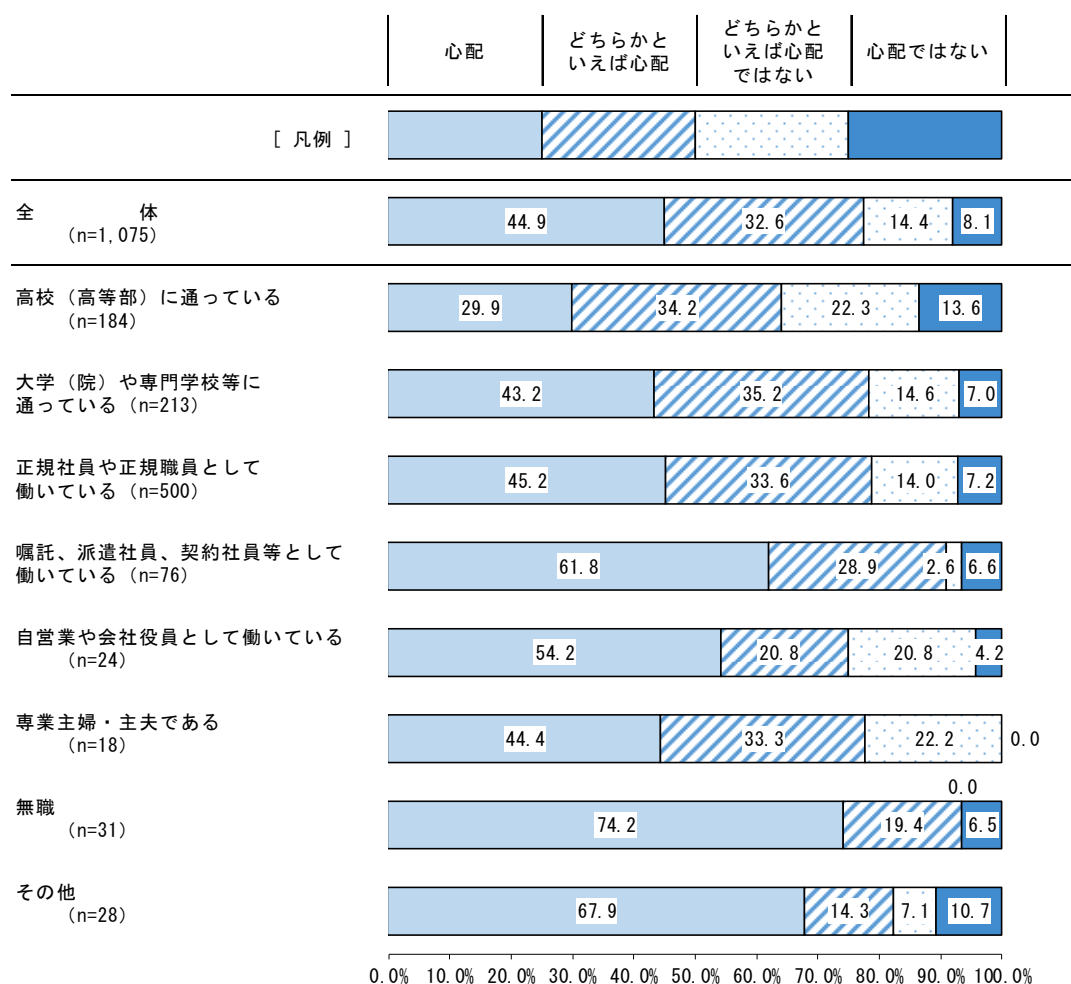
<今回調査> 【図表 5-96 『恋愛のこと』について】（就学・就業状況別）



『お金のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 90.7%と、全体に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』が 64.1%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

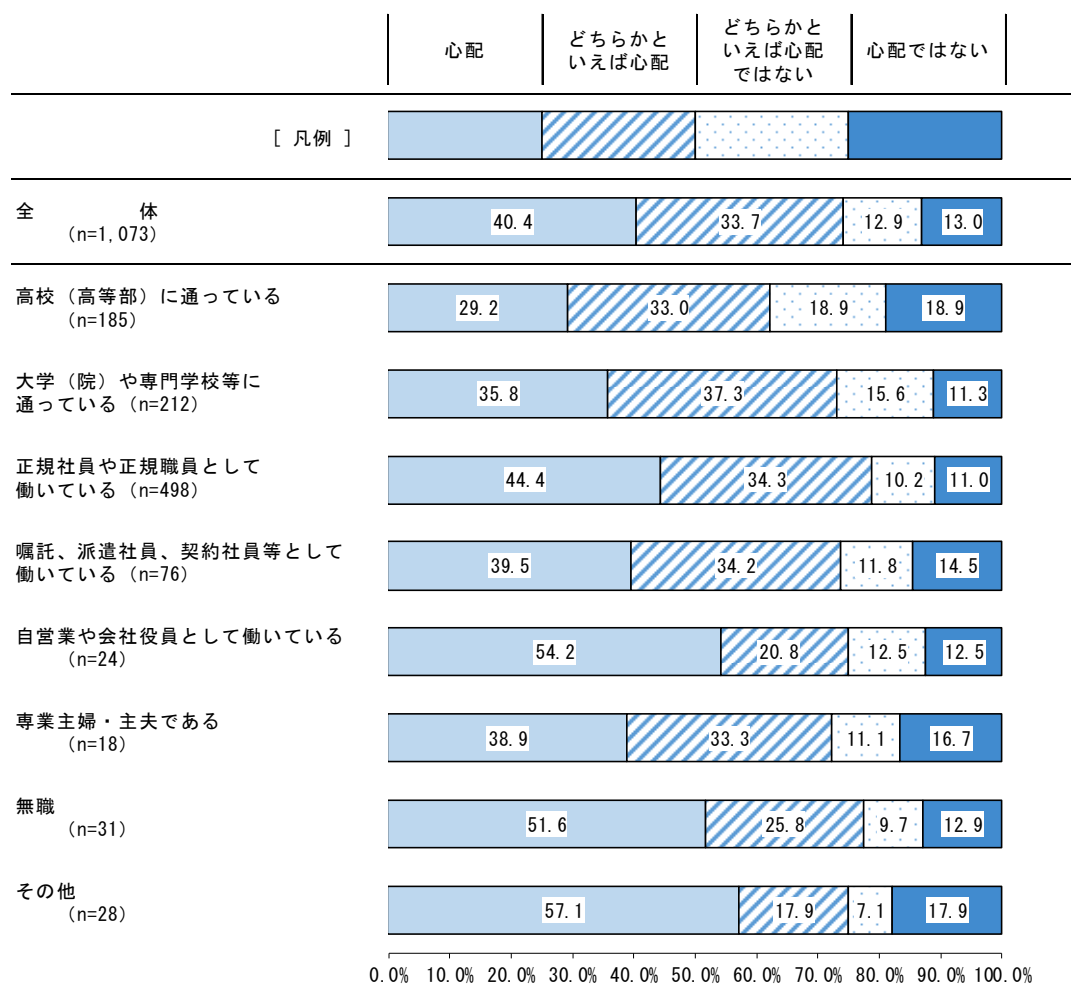
<今回調査>【図表 5-97 『お金のこと』について】（就学・就業状況別）



『政治や社会のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が 62.2%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

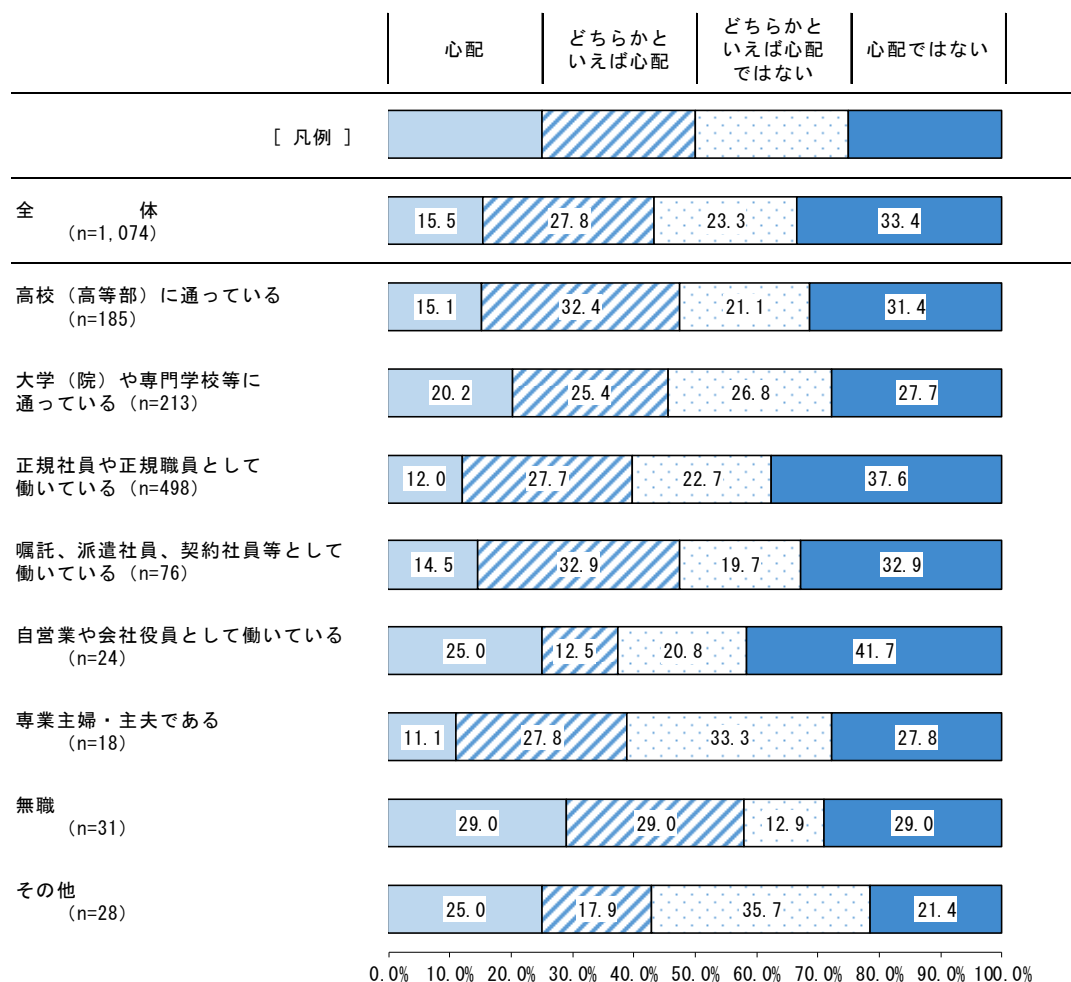
<今回調査>【図表 5-98 『政治や社会のこと』について】（就学・就業状況別）



『性格のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配ではない」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が27.7%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

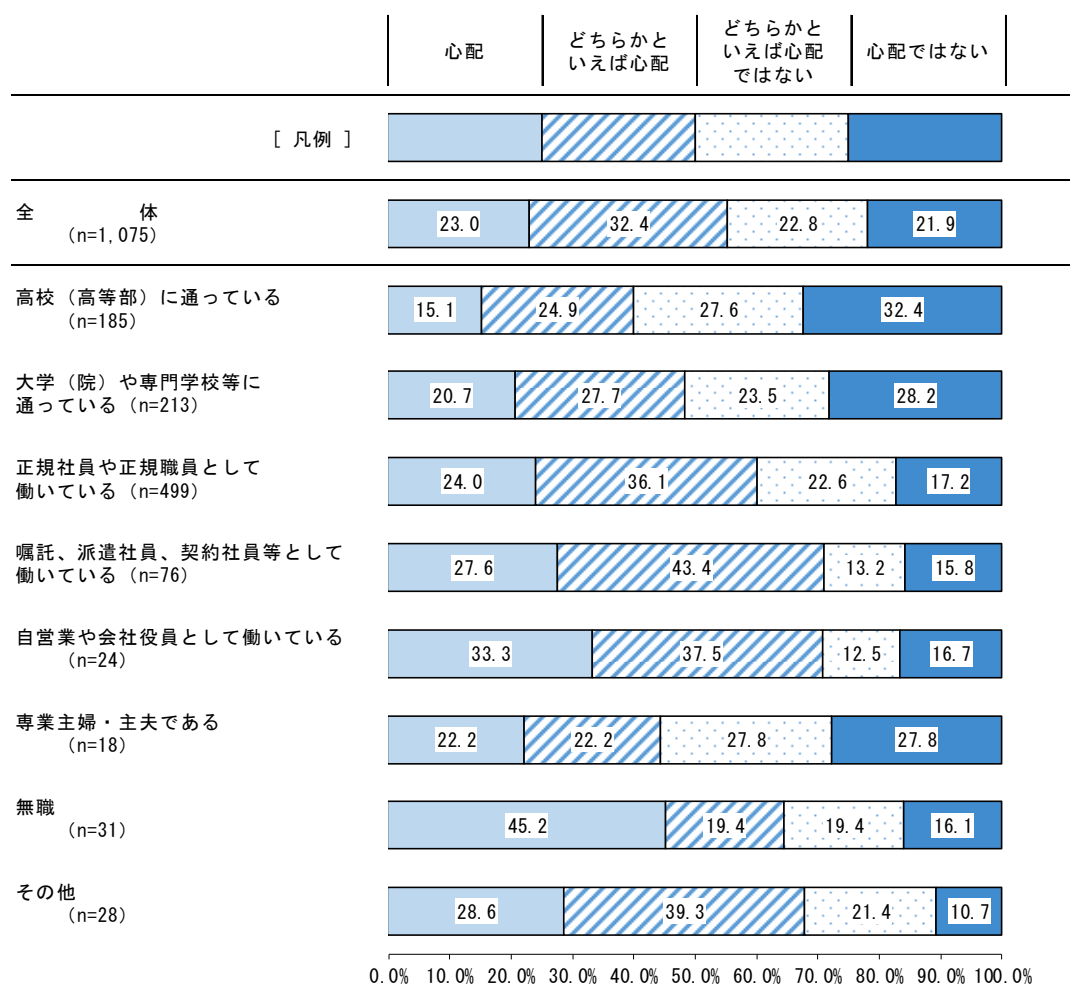
<今回調査>【図表 5-99 『性格のこと』について】(就学・就業状況別)



『健康のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が71.0%と全体に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』が40.0%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が48.4%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

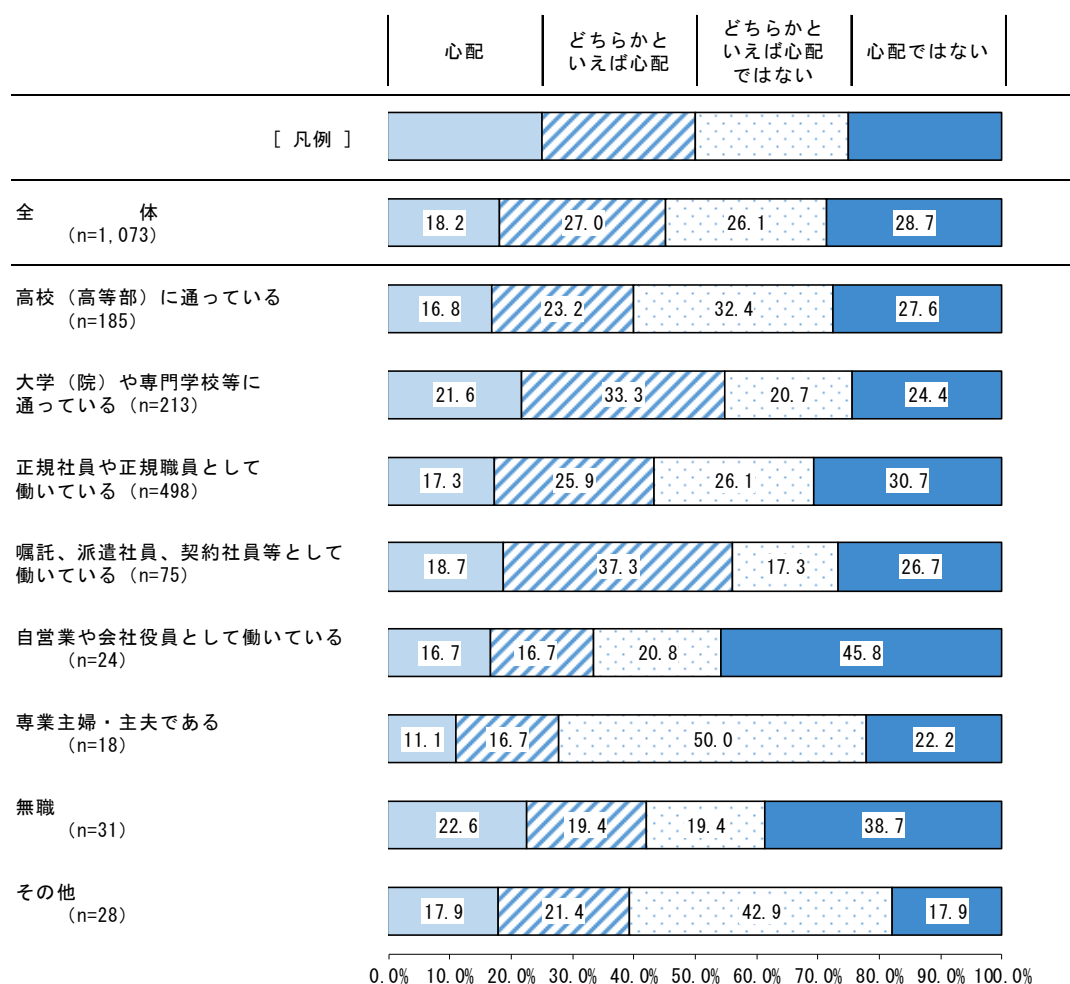
<今回調査>【図表 5-100 『健康のこと』について】（就学・就業状況別）



『容姿のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『大学（院）や専門学校等に通っている』が 54.9%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が 56.0%と、全体に比べて高くなっている一方、『高校（高等部）に通っている』が 40.0%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

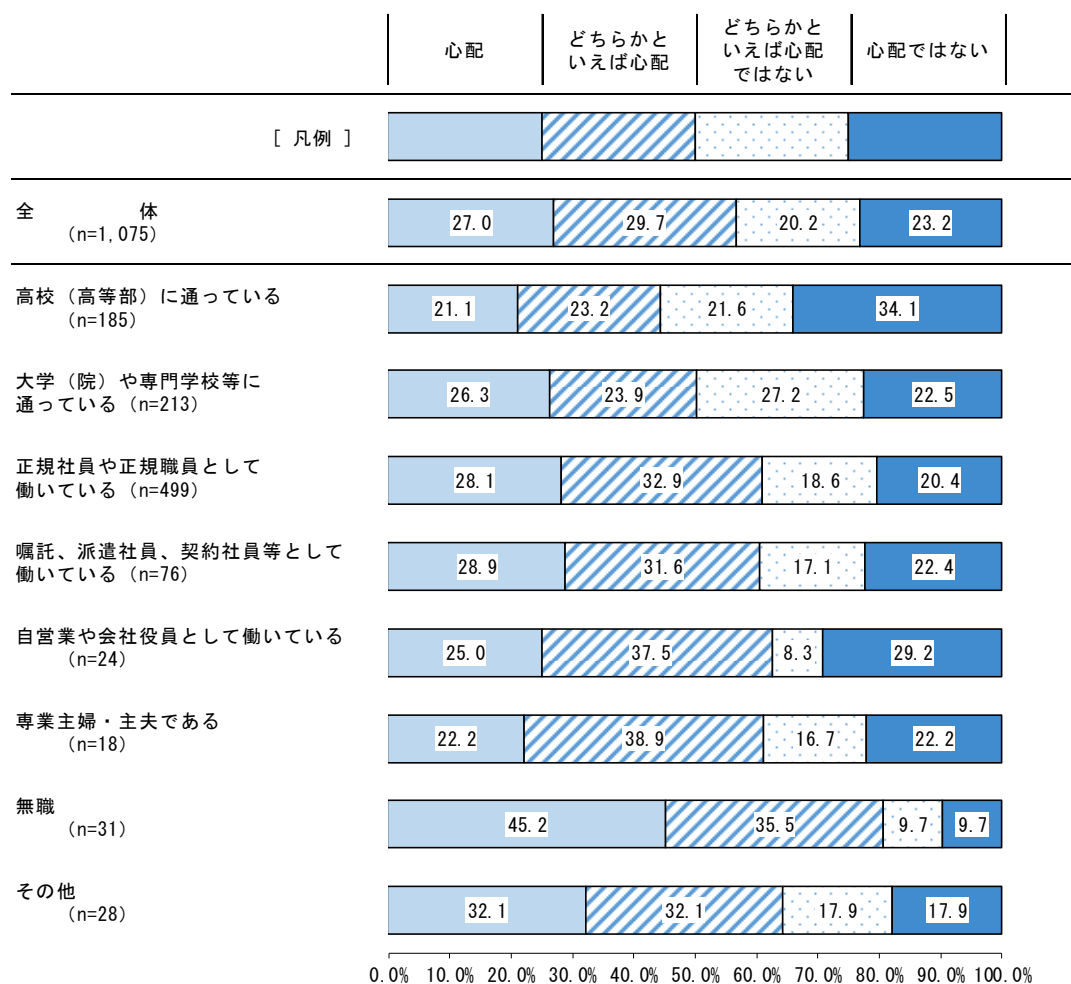
<今回調査>【図表 5-101 『容姿のこと』について】（就学・就業状況別）



『体力のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が44.3%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が50.2%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

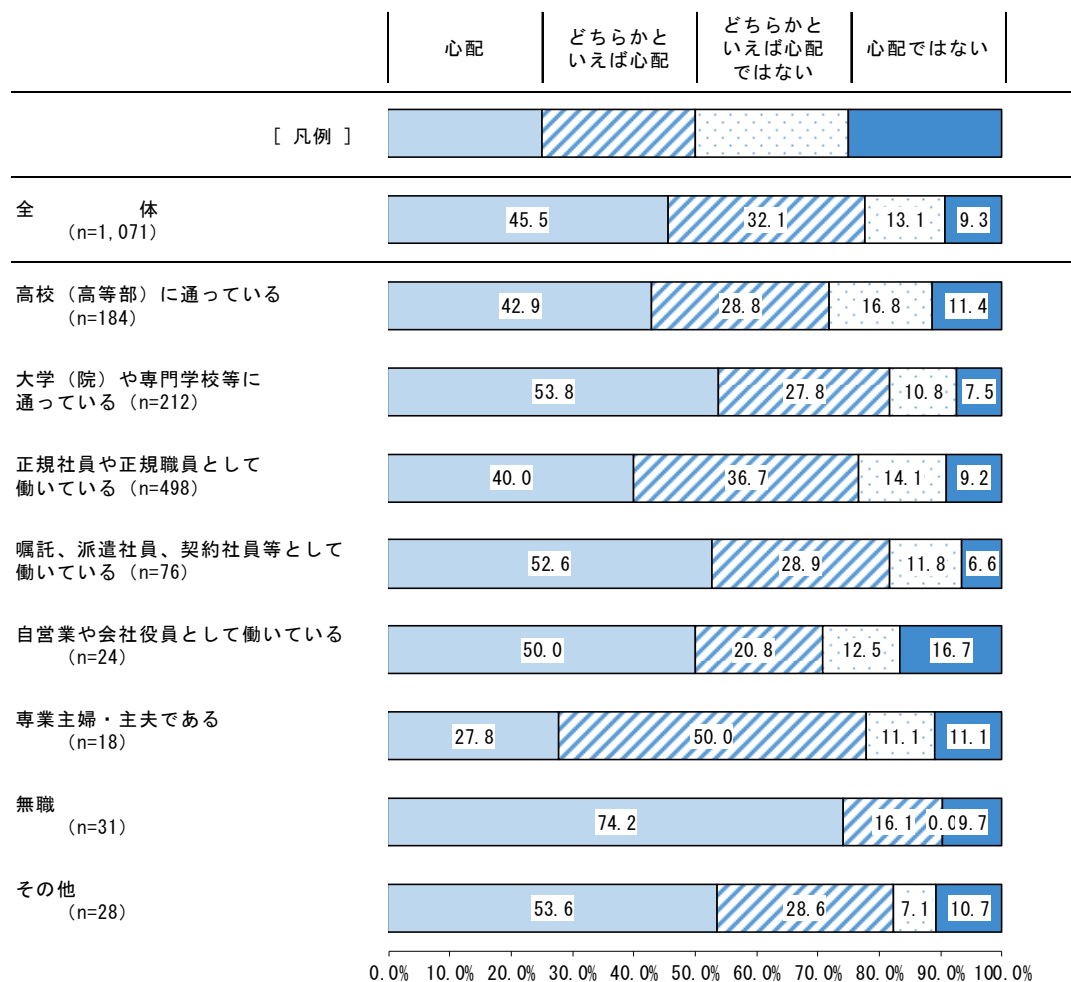
<今回調査>【図表 5-102 『体力のこと』について】（就学・就業状況別）



『自分の将来のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『高校（高等部）に通っている』が 71.7%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

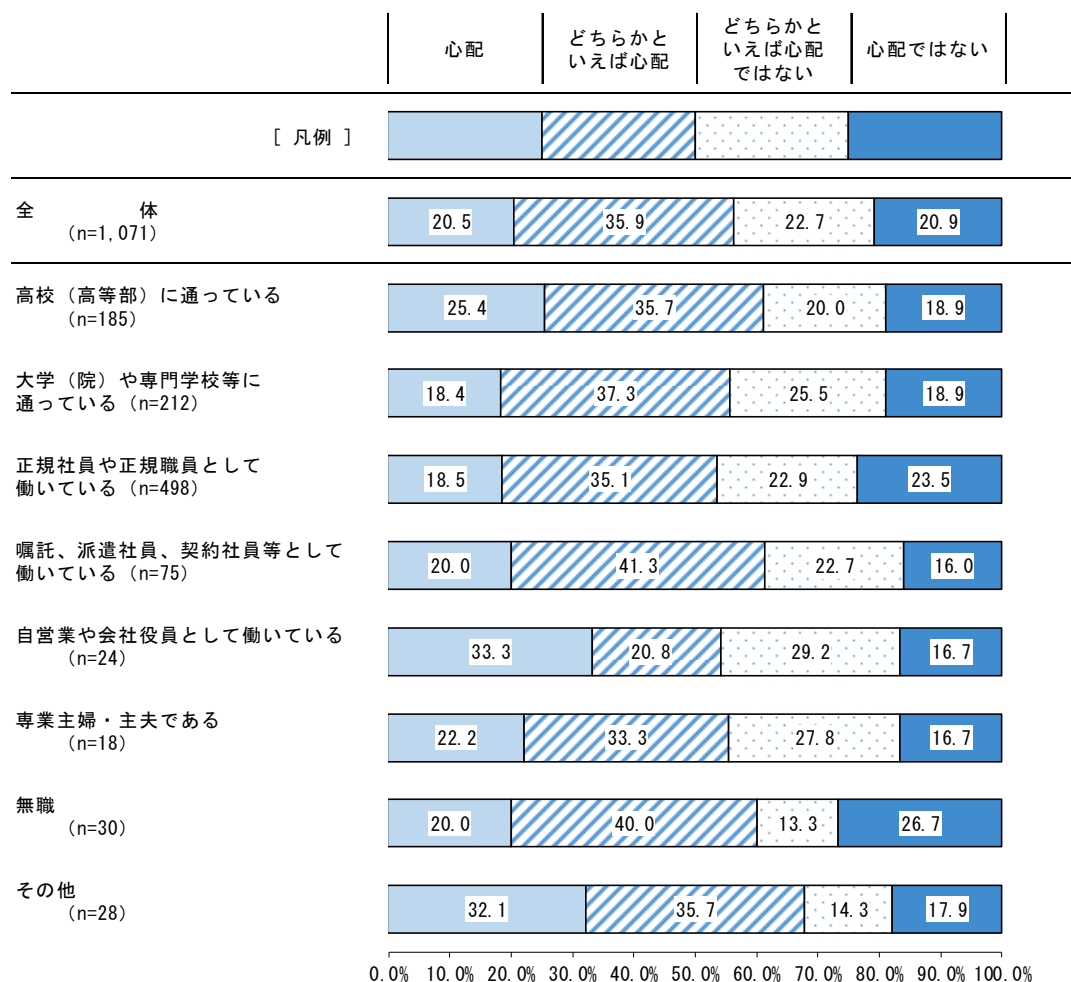
<今回調査>【図表 5-103 『自分の将来のこと』について】（就学・就業状況別）



『自然環境のこと』について就学・就業状況別にみると、「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-104 『自然環境のこと』について】(就学・就業状況別)

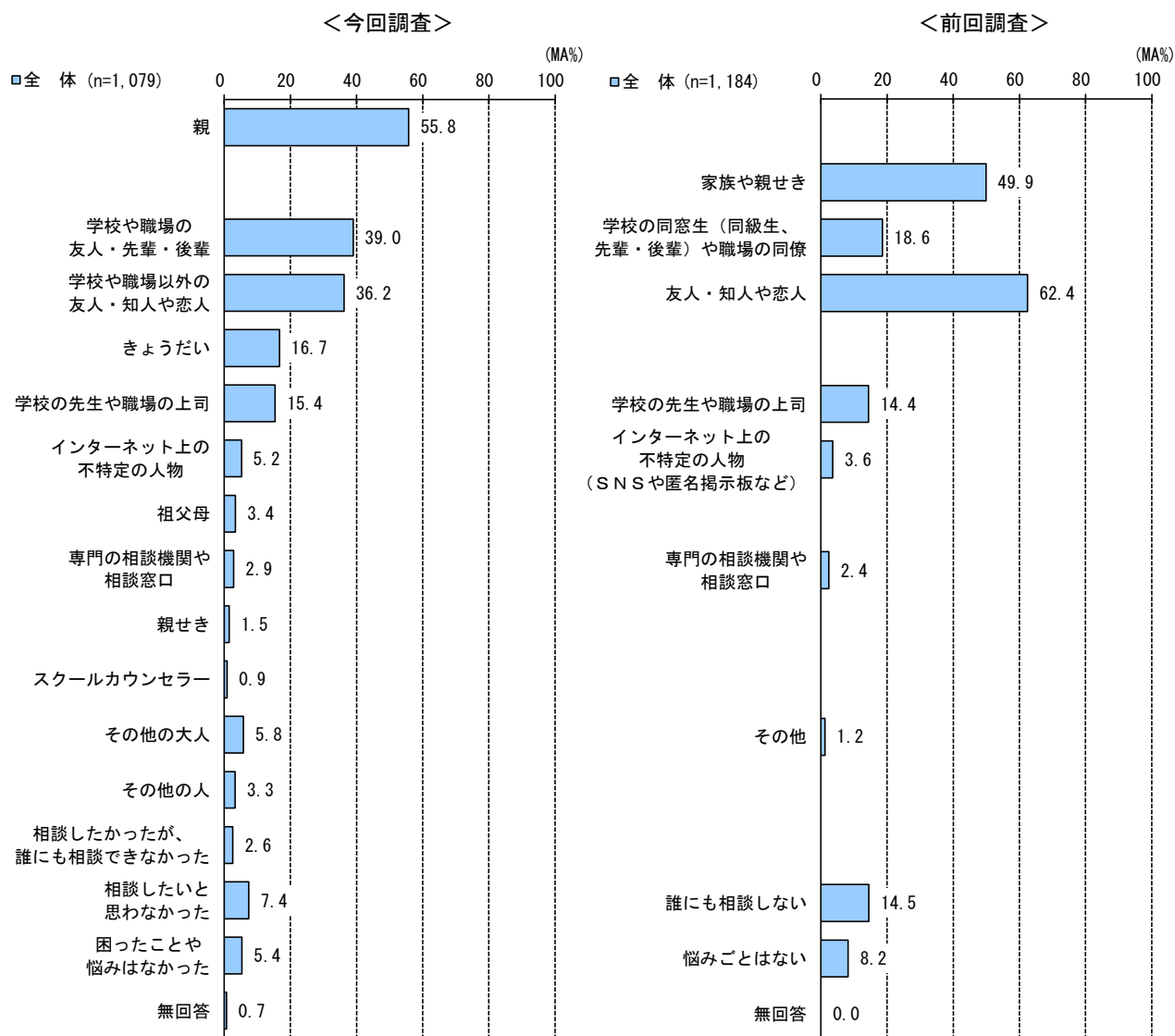


イ 相談相手の有無【問22】（MA）

この1年間の悩みや心配ごとの相談先を複数回答で聞いたところ、「親」が55.8%で最も高く、次いで「学校や職場の友人・先輩・後輩」が39.0%、「学校や職場以外の友人・知人や恋人」が36.2%となっている。また、「相談したいと思わなかった」が7.4%、「困ったことや悩みはなかった」が5.4%、「相談したかったが、誰にも相談できなかった」が2.6%となっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

【図表 5-105 悩みや心配ごとの相談先（複数回答）】



この1年間の悩みごとの相談相手を就学・就業状況別にみると、「親」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が62.4%、「学校や職場の友人・先輩・後輩」は『高校（高等部）に通っている』が50.8%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が51.6%、「学校や職場以外の友人・知人や恋人」は『正規社員や正規職員として働いている』が46.3%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が46.1%、「学校の先生や職場の上司」は『高校（高等部）に通っている』が23.5%、「インターネット上の不特定の人物」「専門の相談機関や相談窓口」「その他の大人」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が11.8%、9.2%、13.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

前回調査は設問内容が異なるため、参考値とし、経年比較は行わない。

＜今回・前回調査＞【図表 5-106 悩みや心配ごとの相談先（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

			母数 (n)	親	家族や親せき	後輩・ 学校や職場の友人・先輩	学校や職場以外の友人・知人	きょうだい	学校の先生や職場の上司	インターネット上の不特定人物	祖父母	専門の相談機関や相談窓口
今回調査	就学・就業状況別	全体	1,071	56.2		39.3	36.5	16.8	15.5	5.2	3.5	2.9
		高校（高等部）に通っている	183	59.0		△ 50.8	▼ 20.2	18.0	△ 23.5	6.6	3.8	0.5
		大学（院）や専門学校等に通っている	213	△ 62.4		△ 51.6	▼ 26.8	18.8	17.4	3.3	4.2	3.3
		正規社員や正規職員として働いている	499	54.5		▼ 34.1	△ 46.3	15.6	13.8	4.0	2.2	2.0
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	▼ 48.7		35.5	△ 46.1	▼ 11.8	▼ 10.5	△ 11.8	7.9	△ 9.2
		自営業や会社役員として働いている	23	▼ 43.5		39.1	△ 56.5	△ 26.1	△ 26.1	4.3	4.3	－
		専業主婦・主夫である	18	△ 66.7		▼ 11.1	▼ 16.7	△ 22.2	11.1	5.6	△ 11.1	－
		無職	30	▼ 43.3		▼ 6.7	▼ 30.0	▼ 6.7	－	△ 16.7	3.3	△ 16.7
		その他	28	60.7		▼ 25.0	▼ 21.4	△ 28.6	▼ 3.6	3.6	－	3.6
前回調査	就学・就業状況別	全体	1,184		49.9	18.6	62.4		14.4	3.6		2.4
		高校（高等部）に通っている	161		49.1	19.3	▼ 54.0		17.4	3.7		1.2
		大学（院）や専門学校等に通っている	254		48.8	16.5	65.7		▼ 9.1	3.9		2.4
		正規社員や正規職員として働いている	541		50.6	21.1	64.1		17.4	2.6		1.7
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89		44.9	15.7	▼ 56.2		16.9	5.6		2.2
		自営業や会社役員として働いている	26		△ 57.7	△ 30.8	△ 76.9		15.4	－		－
		専業主婦・主夫である	29		△ 62.1	▼ 6.9	△ 69.0		－	3.4		3.4
		無職	26		▼ 34.6	▼ 3.8	▼ 38.5		－	△ 11.5		△ 11.5
		その他	58		△ 55.2	13.8	65.5		10.3	6.9		8.6

単位：％

			母数 (n)	親せき	スクールカウンセラー	その他の大人	その他の人	相談できなかったが、誰にも	相談したいと思わなかった	誰にも相談しない	困ったことや悩みはなかった
今回調査	就学・就業状況別	全体	1,071	1.5	0.9	5.9	3.4	2.6	7.5		5.4
		高校（高等部）に通っている	183	3.3	2.2	1.6	－	1.6	9.3		9.3
		大学（院）や専門学校等に通っている	213	0.5	2.8	2.8	2.3	1.9	6.6		6.1
		正規社員や正規職員として働いている	499	0.6	－	7.4	4.4	2.8	7.0		4.6
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	76	2.6	－	△ 13.2	2.6	5.3	6.6		1.3
		自営業や会社役員として働いている	23	－	－	8.7	4.3	－	8.7		－
		専業主婦・主夫である	18	△ 11.1	－	5.6	△ 11.1	5.6	5.6		－
		無職	30	△ 6.7	－	3.3	－	3.3	△ 16.7		10.0
		その他	28	－	－	10.7	△ 10.7	3.6	3.6		3.6
前回調査	就学・就業状況別	全体	1,184				1.2			14.5	8.2
		高校（高等部）に通っている	161				1.2			12.4	△ 14.9
		大学（院）や専門学校等に通っている	254				2.0			15.4	7.1
		正規社員や正規職員として働いている	541				1.3			14.4	7.2
		嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89				－			△ 20.2	9.0
		自営業や会社役員として働いている	26				－			▼ 3.8	3.8
		専業主婦・主夫である	29				－			▼ 6.9	3.4
		無職	26				－			△ 26.9	11.5
		その他	58				－			12.1	5.2

第4節 ヤングケアラー及び結婚・出産について

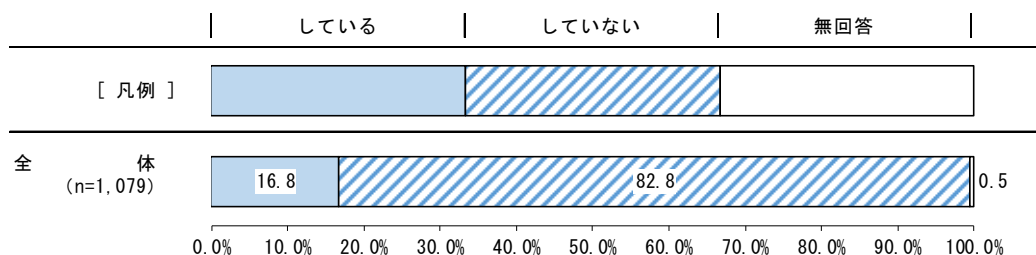
(1) ヤングケアラーについて

ア 家族の世話や家事等の状況【問24】(SA)

家で、家族の誰かのために世話や家事等をしているか聞いたところ、「している」が16.8%、「していない」が82.8%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

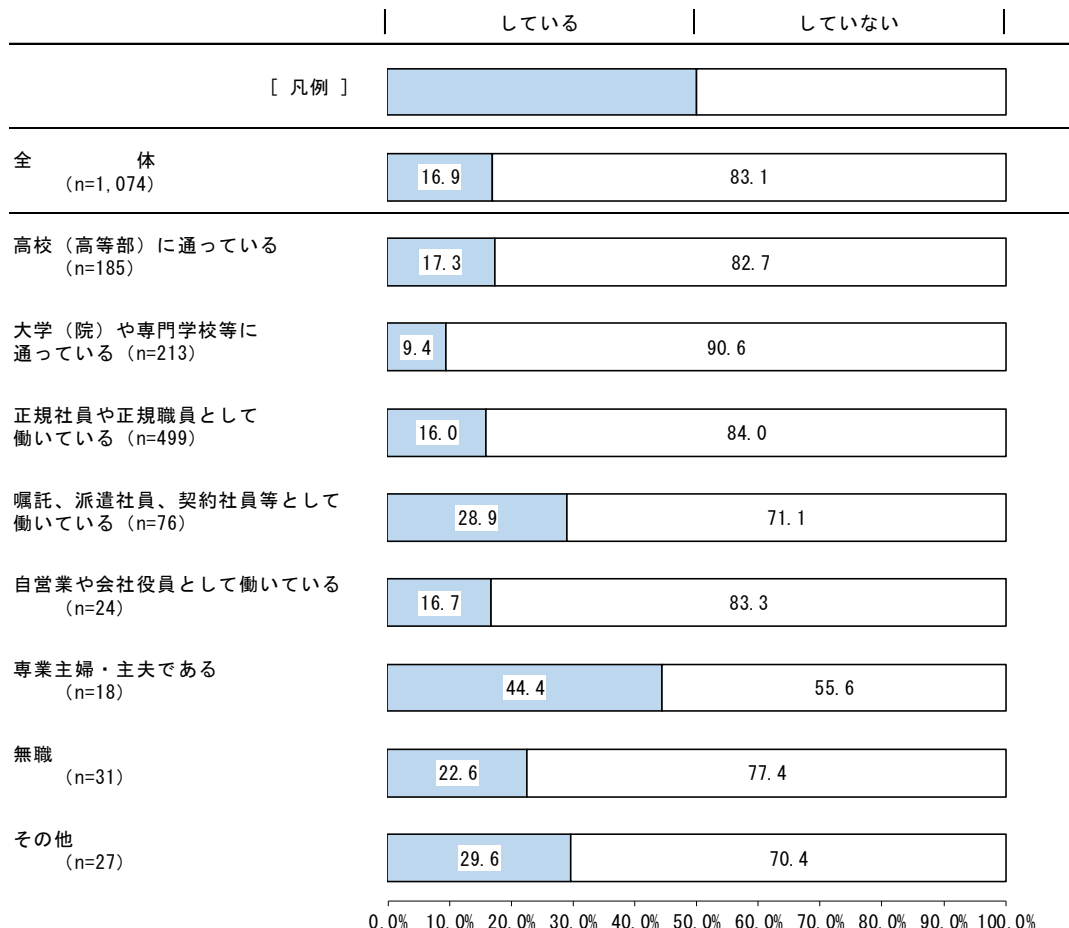
＜今回調査＞【図表 5-107 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】



家族の世話や家事等の状況を就学・就業状況別にみると、「している」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が28.9%、「していない」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が90.6%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

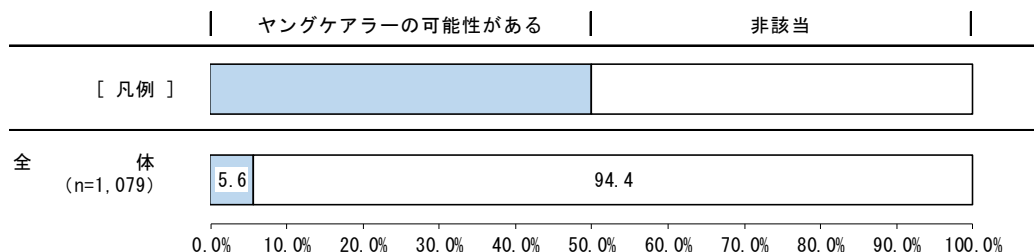
＜今回調査＞【図表 5-108 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】(就学・就業状況別)



イ ヤングケアラーの可能性

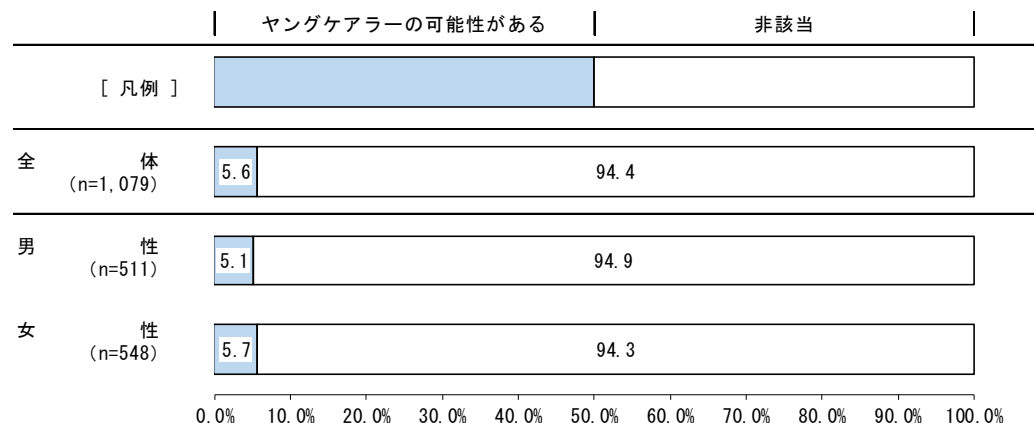
家で、家族の誰かのために世話や家事等をしている（問 24）、かつ、世話や家事等をしていることが理由での生活状況について「特にない」を除く回答をしている（問 24-3）方を「ヤングケアラーの可能性がある」と定義すると、ヤングケアラーの可能性のあるのは全体の 5.6% となっている。

＜今回調査＞【図表 5-109 ヤングケアラーの可能性】

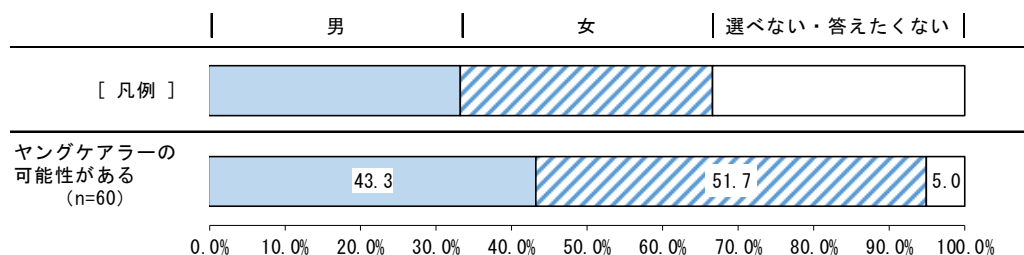


ヤングケアラーの可能性のある人の性別をみると、全体では「男性」が 5.1%、「女性」が 5.7%となっている。ヤングケアラーの可能性のある人では「男性」が 43.3%、「女性」が 51.7%となっている。

＜今回調査＞【図表 5-110 ヤングケアラーの可能性】（性別）



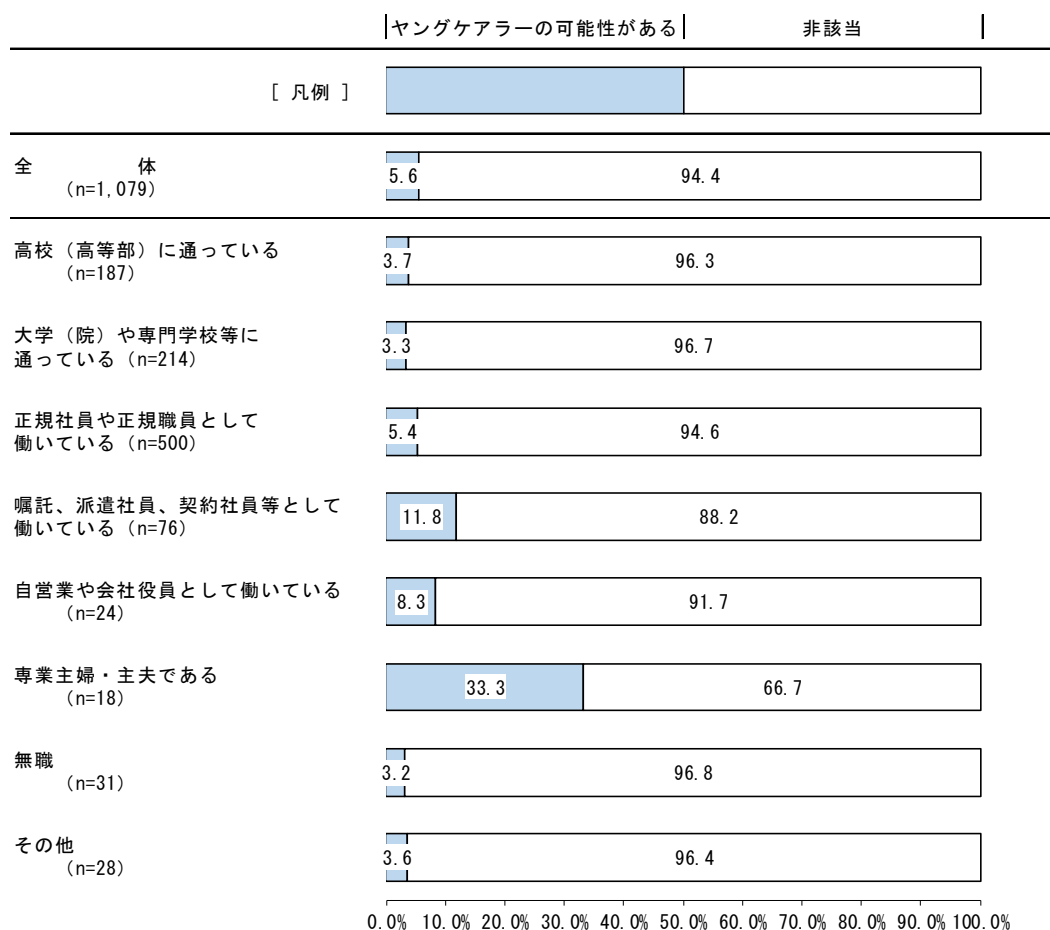
＜今回調査＞【図表 5-111 ヤングケアラーの可能性のある人の性別】



ヤングケアラーの可能性を就学・就業状況別にみると、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が11.8%と、全体に比べて高くなっている。

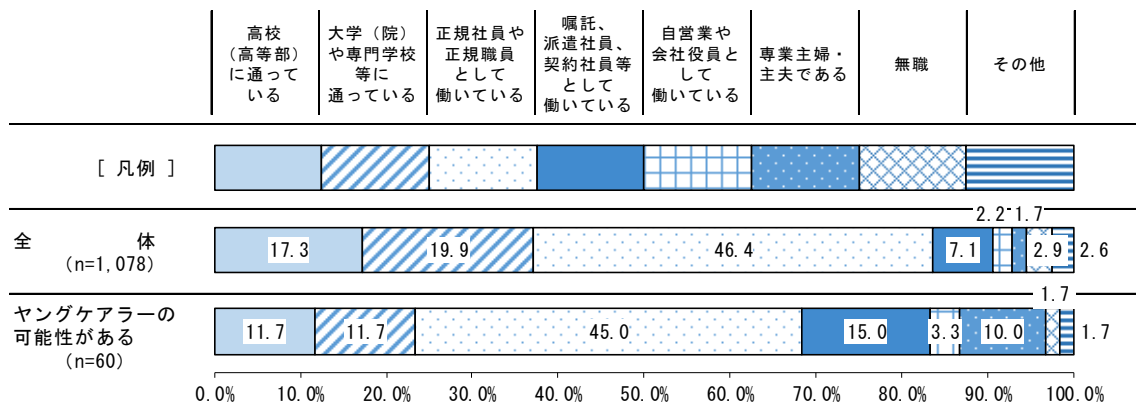
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-112 ヤングケアラーの可能性】(就学・就業状況別)



ヤングケアラーの可能性のある人の就学・就業状況をみると、「正規社員や正規職員として働いている」が45.0%で最も高く、次いで「嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている」が15.0%、「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」が11.7%となっている。

＜今回調査＞【図表 5-113 就学・就業等の状況】（ヤングケアラーの可能性のある人）



ウ ヤングケアラーの生活状況

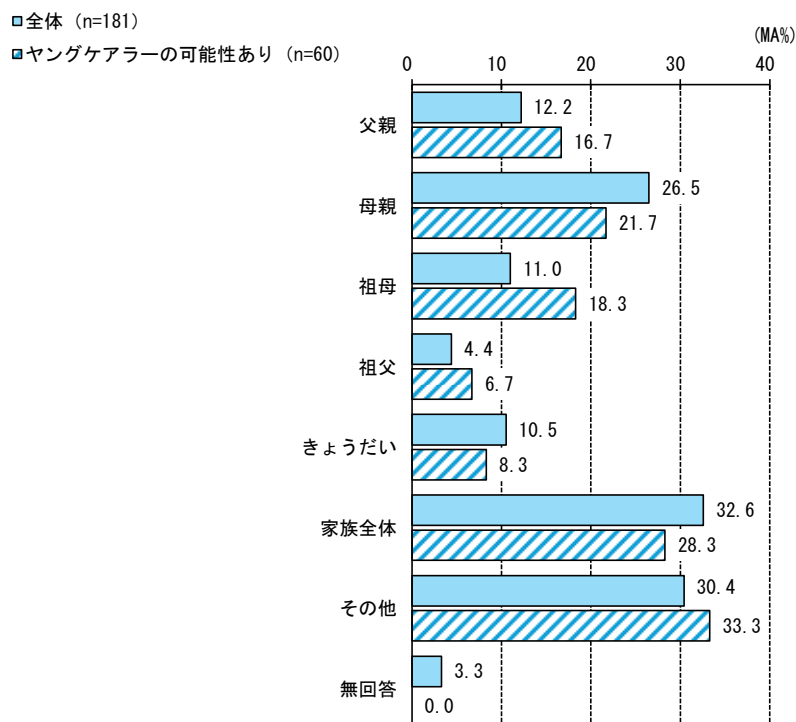
① 世話や家事等を必要としている人【問24-1】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等を必要としている人を複数回答で聞いたところ、全体では「家族全体」が32.6%で最も高く、次いで「母親」が26.5%、「父親」が12.2%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「家族全体」が28.3%で最も高く、次いで「母親」が21.7%、「祖母」が18.3%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-114 世話や家事等を必要としている人（複数回答）】



世話や家事等を必要としている人を就学・就業状況別にみると、「母親」「きょうだい」は『正規社員や正規職員として働いている』が17.1%、5.3%と、全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-115 世話や家事等を必要としている人（複数回答）】(就学・就業状況別)

		母数 (n)	父親	母親	祖母	祖父	きょう だい	家族 全体	そ 他
全体		175	12.6	27.4	11.4	4.6	10.9	33.7	31.4
就学・ 就業 状況別	高校（高等部）に通っている	31	12.9	△ 58.1	12.9	3.2	△ 19.4	△ 38.7	▼ 12.9
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	△ 25.0	△ 45.0	△ 20.0	△ 15.0	△ 30.0	▼ 20.0	-
	正規社員や正規職員として働いている	76	11.8	▼ 17.1	7.9	2.6	▼ 5.3	36.8	△ 39.5
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	21	9.5	23.8	△ 19.0	4.8	9.5	▼ 28.6	33.3
	自営業や会社役員として働いている	4	△ 25.0	25.0	-	-	-	△ 50.0	△ 50.0
	専業主婦・主夫である	8	12.5	-	-	-	-	▼ 12.5	△ 75.0
	無職	7	-	28.6	△ 28.6	△ 14.3	14.3	△ 42.9	▼ 14.3
その他		8	-	-	-	-	-	37.5	△ 62.5

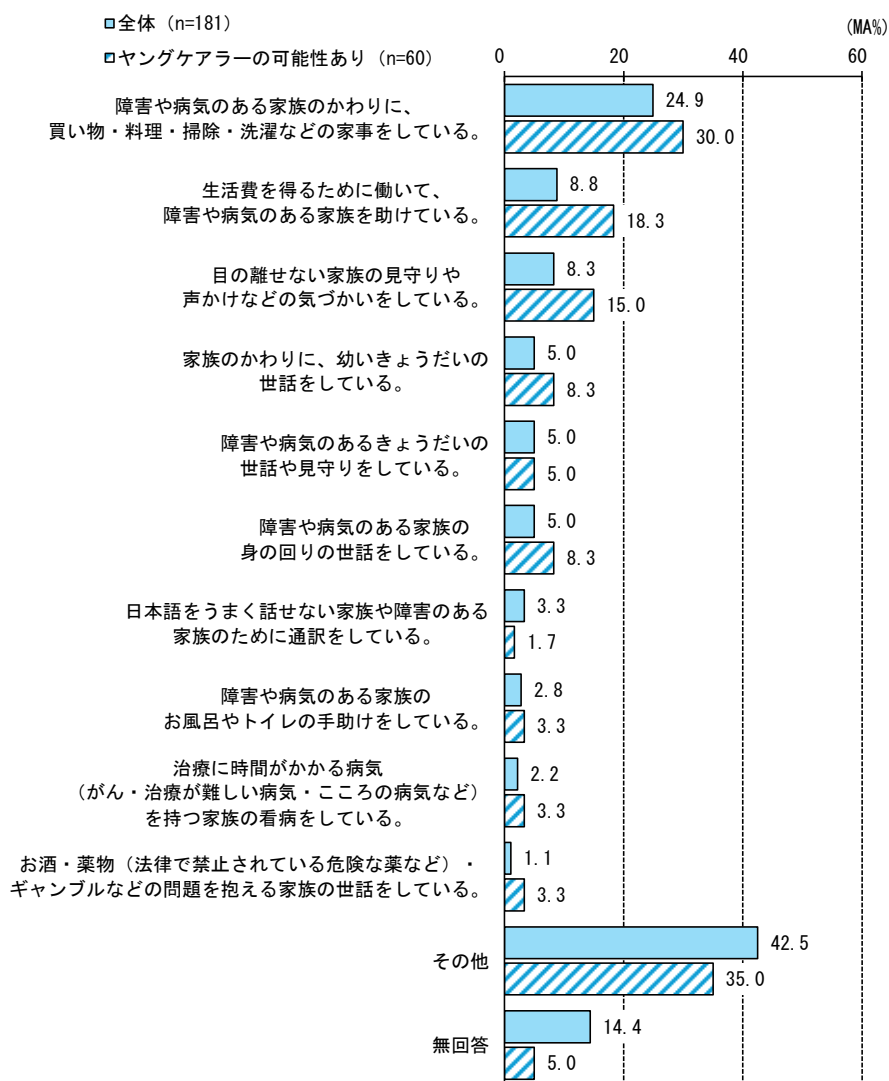
② 世話や家事等の内容【問24-2】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等の内容を複数回答で聞いたところ、全体では「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。」が 24.9%で最も高く、次いで「生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。」が 8.8%、「目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。」が 8.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。」が 30.0%で最も高く、次いで「生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。」が 18.3%、「目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。」が 15.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-116 世話や家事等の内容（複数回答）】



世話や家事等の内容を就学・就業状況別にみると、「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。」は『正規社員・正規職員として働いている』が21.5%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-117 世話や家事等の内容（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％														
		母数 (n)	家事をして いる。	障害や病 気のある 家族の かわりに、 買い物・料 理・掃除・ 洗濯など の	生活費を 得るため に働いて、 障害や 病気の ある家族 を助けて いる。	目の離せ ない家族 の見守り や声かけ などの 気づかい をしている。	家族の かわりに、 幼いきよ うだいの 世話をし ている。	障害や 病気の あるきよ うだいの 世話をし ている。	障害や 病気の ある家族 の身の回 りの世話 をしてい る。	日本語を うまく話 せない家 族や障害 のある家 族のため に通訳を している。	障害や 病気の ある家族 のお風呂 やトイレ の手助け をしてい る。	治療に 時間がか かる病 気（がん など）を 持つ家族 の看病を している。	険な薬 など）・ ギャン ブルな どの問 題を抱 える家 族の世 話をし ている。	その他
全体			155	29.0	10.3	9.7	5.8	5.8	5.8	3.9	3.2	2.6	1.3	49.7
就学・ 就業状 況別	高校（高等部）に通っている	26	△ 50.0	7.7	7.7	△ 19.2	△ 11.5	7.7	-	7.7	3.8	3.8	▼ 34.6	
	大学（院）や専門学校等に通っている	19	△ 42.1	△ 15.8	10.5	5.3	△ 15.8	△ 15.8	△ 10.5	5.3	5.3	-	▼ 21.1	
	正規社員や正規職員として働いている	65	▼ 21.5	12.3	12.3	1.5	1.5	4.6	3.1	3.1	1.5	1.5	53.8	
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	22	▼ 22.7	9.1	▼ 4.5	4.5	4.5	4.5	-	-	4.5	-	△ 63.6	
	自営業や会社役員として働いている	4	25.0	△ 25.0	-	-	-	-	△ 25.0	-	-	-	▼ 25.0	
	専業主婦・主夫である	7	28.6	-	-	△ 14.3	-	-	-	-	-	-	△ 71.4	
	無職	5	△ 40.0	-	△ 40.0	-	△ 20.0	-	△ 20.0	-	-	-	▼ 40.0	
	その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 100.0	

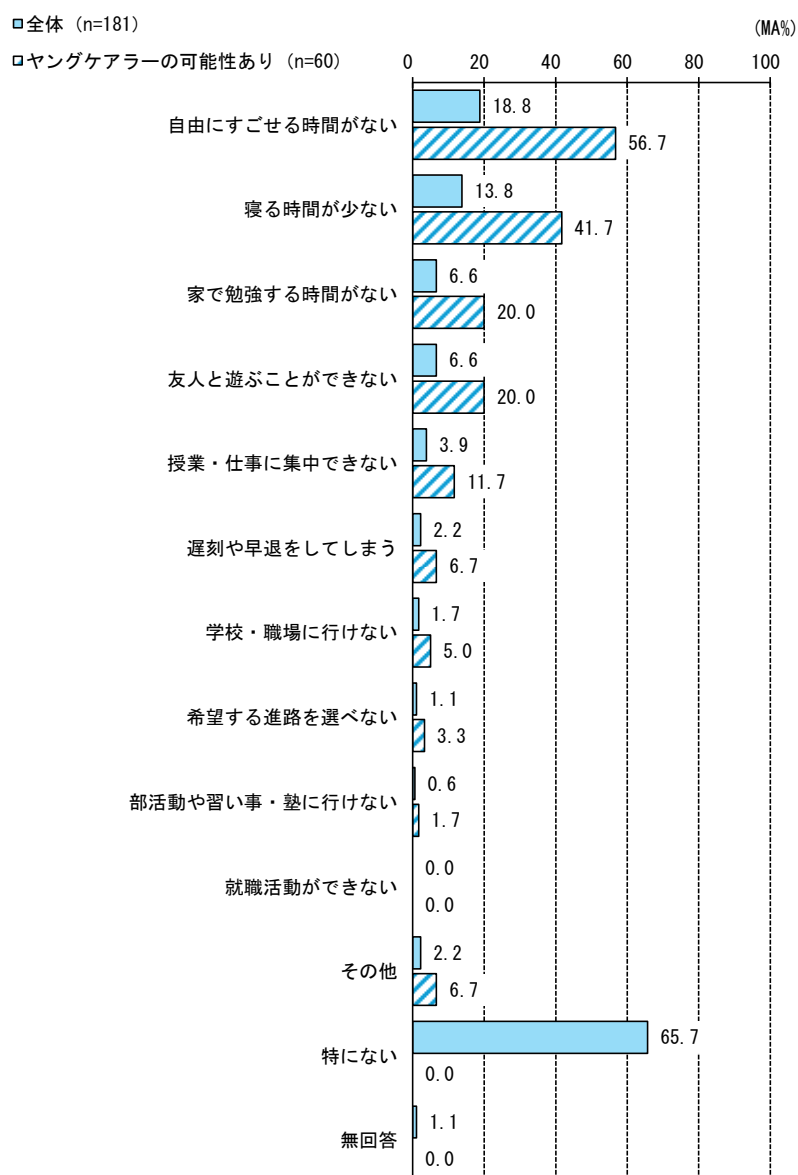
③ 世話や家事等をしていることの影響【問24-3】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていることの影響を複数回答で聞いたところ、全体では「特にない」が 65.7%で最も高く、次いで「自由にすごせる時間がない」が 18.8%、「寝る時間が少ない」が 13.8%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「自由にすごせる時間がない」が 56.7%で最も高く、次いで「寝る時間が少ない」が 41.7%、「家で勉強する時間がない」「友人と遊ぶことができない」が 20.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-118 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】



世話や家事等をしていることの影響を就学・就業状況別にみると、大きな差はみられない。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-119 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

		母数 (n)	時間自由 がなにご せる	寝る時間 が少ない	が家で勉 強する時間	で友人と遊 ぶことが	で授業・仕 事に集中	し遅刻や早 退をして	ない学校・職 場に行け	選希望する 進路を	塾に行けや 習い事・	ない就職活 動ができ	その他
全体		179	19.0	14.0	6.7	6.7	3.9	2.2	1.7	1.1	0.6	-	2.2
就学・ 就業 状況 別	高校（高等部）に通っている	31	▼ 12.9	△ 19.4	△ 12.9	6.5	6.5	3.2	6.5	3.2	3.2	-	3.2
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	△ 25.0	▼ 5.0	-	-	△ 10.0	5.0	-	-	-	-	-
	正規社員や正規職員として働いている	79	17.7	13.9	3.8	6.3	2.5	2.5	1.3	1.3	-	-	3.8
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	22	△ 31.8	△ 22.7	△ 13.6	9.1	4.5	-	-	-	-	-	-
	自営業や会社役員として働いている	4	-	△ 25.0	△ 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	専業主婦・主夫である	8	△ 25.0	12.5	△ 12.5	△ 37.5	-	-	-	-	-	-	-
	無職	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	8	▼ 12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

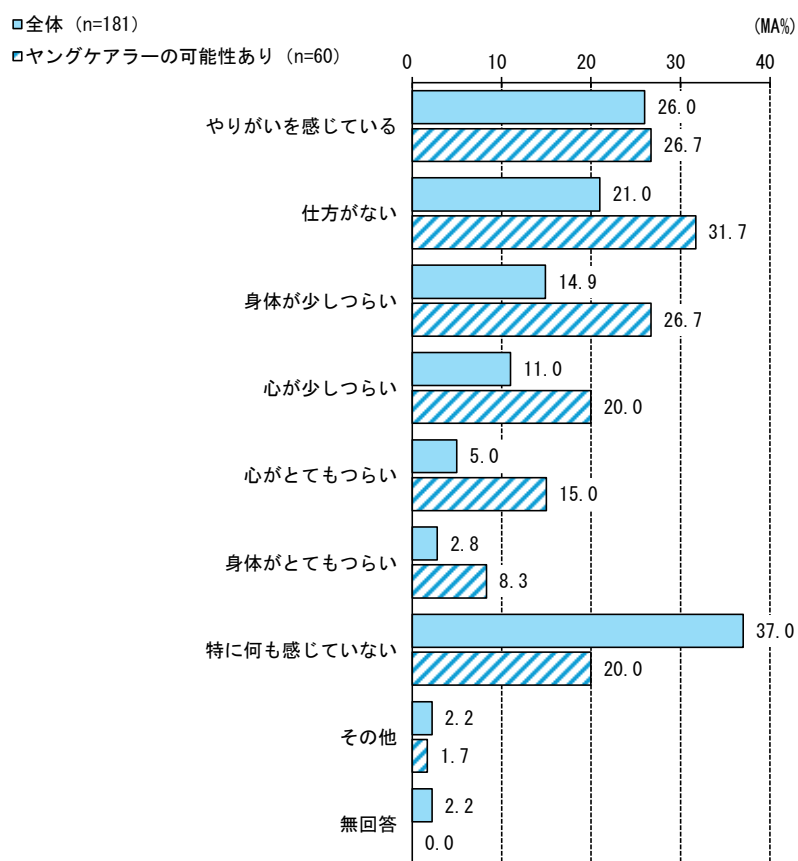
④ 世話や家事等をしていて感じる事【問24-4】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていて感じることを複数回答で聞いたところ、全体では「特に何も感じていない」が 37.0%で最も高く、次いで「やりがいを感じている」が 26.0%、「仕方がない」が 21.0%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「仕方がない」が 31.7%で最も高く、次いで「やりがいを感じている」「身体が少しつらい」が 26.7%、「心が少しつらい」「特に何も感じていない」が 20.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 5-120 世話や家事等をしていて感じる事（複数回答）】



世話や家事等をしていて感じることを就学・就業状況別にみると、大きな差はみられない。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-121 世話や家事等をしていて感じることを（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

		母数 (n)	感 や じ り て が い い る を	仕 方 が な い	つ 身 体 が 少 し	つ 心 が い 少 し	つ 心 が い と も	つ 身 体 が と も	そ の 他	感 特 じ に 何 い も な い
全体		177	26.6	21.5	15.3	11.3	5.1	2.8	2.3	37.9
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	31	△ 38.7	▼ 12.9	▼ 9.7	6.5	3.2	3.2	6.5	38.7
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	▼ 15.0	▼ 10.0	▼ 5.0	▼ 5.0	△ 15.0	-	-	△ 55.0
	正規社員や正規職員として働いている	77	26.0	20.8	18.2	11.7	3.9	2.6	2.6	37.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	22	27.3	△ 36.4	△ 22.7	△ 18.2	4.5	4.5	-	▼ 27.3
	自営業や会社役員として働いている	4	25.0	-	△ 25.0	△ 25.0	-	-	-	△ 50.0
	専業主婦・主夫である	8	△ 50.0	△ 37.5	12.5	-	△ 12.5	△ 12.5	-	▼ 12.5
	無職	7	▼ 14.3	△ 28.6	14.3	14.3	-	-	-	▼ 28.6
	その他	8	-	△ 37.5	12.5	△ 25.0	-	-	-	△ 50.0

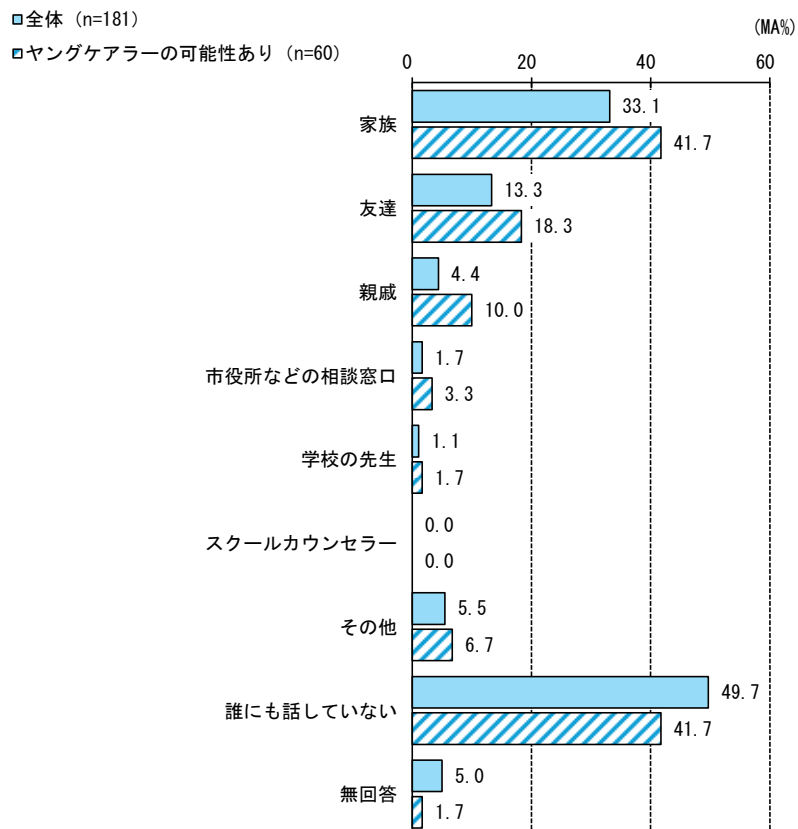
⑤ 世話や家事等についての相談相手【問24-5】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等についての相談相手を複数回答で聞いたところ、全体では「誰にも話していない」が 49.7%で最も高く、次いで「家族」が 33.1%、「友達」が 13.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「誰にも話していない」「家族」が 41.7%で最も高く、次いで「友達」が 18.3%、「親戚」が 10.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

＜今回調査＞【図表 5-122 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】



世話や家事等についての相談相手を就学・就業状況別にみると、大きな差はみられない。
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-123 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

		母数 (n)	家族	友達	親 戚	の市 相役 談所 窓など	学 校の 先生	カ ス ク ン セ ル ー	そ の 他	い 誰 な に も 話 し て
全体		172	34.9	14.0	4.7	1.7	1.2	-	5.8	52.3
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	30	▼ 13.3	10.0	-	-	3.3	-	-	△ 76.7
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	35.0	△ 20.0	△ 10.0	-	5.0	-	-	△ 60.0
	正規社員や正規職員として働いている	73	35.6	12.3	5.5	1.4	-	-	9.6	50.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	22	36.4	9.1	4.5	4.5	-	-	9.1	▼ 45.5
	自営業や会社役員として働いている	4	▼ 25.0	-	-	-	-	-	-	△ 75.0
	専業主婦・主夫である	8	△ 62.5	△ 25.0	△ 12.5	-	-	-	△ 12.5	▼ 12.5
	無職	7	△ 42.9	△ 28.6	-	△ 14.3	-	-	-	▼ 28.6
	その他	8	△ 75.0	△ 25.0	-	-	-	-	-	▼ 25.0

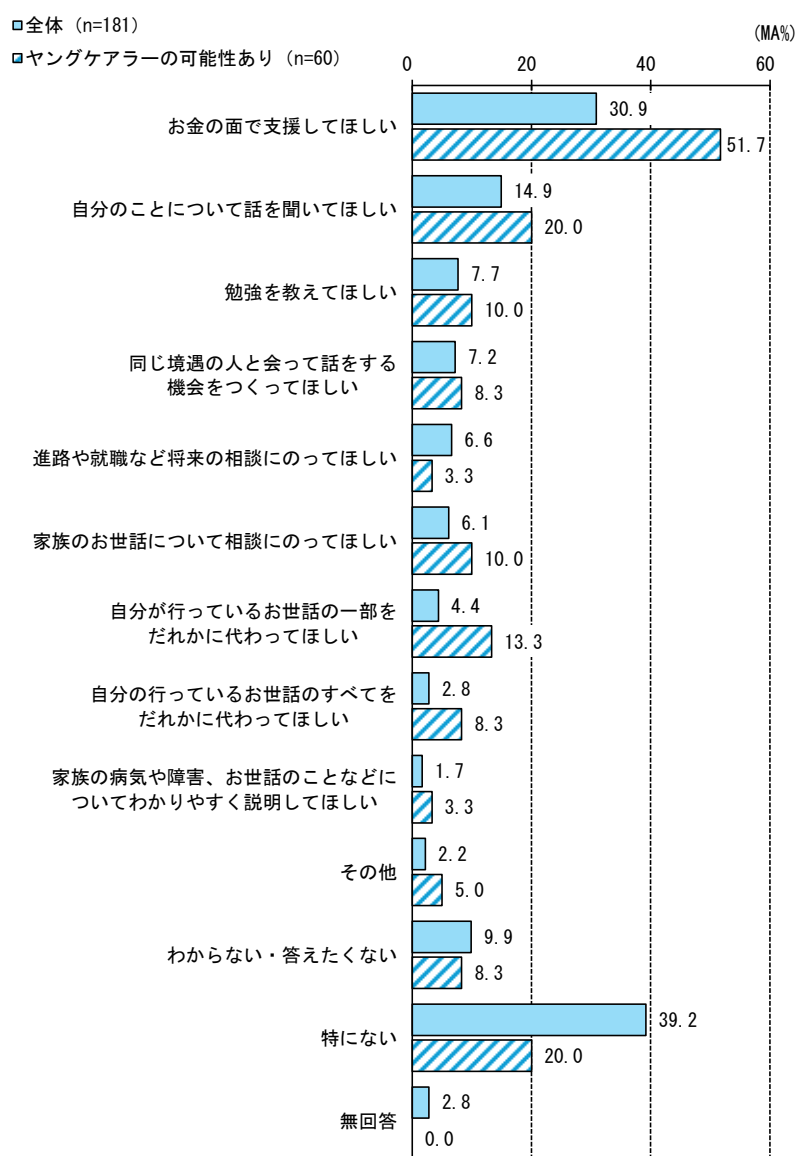
⑥ 周りからしてもらいたいこと【問24-6】(MA)

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、周りからしてもらいたいことを複数回答で聞いたところ、全体では「お金の面で支援してほしい」が 30.9%で最も高く、次いで、「自分のことについて話を聞いてほしい」が 14.9%、「勉強を教えてほしい」が 7.7%となっている。一方、「特にない」は 39.2%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「お金の面で支援してほしい」が 51.7%で最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が 20.0%、「自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい」が 13.3%となっている。一方、「特にない」は 20.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 5-124 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】



周りにしてもらいたいことを就学・就業状況別にみると、「自分のことについて話を聞いてほしい」「勉強を教えてほしい」は『正規社員や正規職員として働いている』が 9.2%、1.3%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-125 周りにしてもらいたいこと（複数回答）】（就学・就業状況別）

		単位：％							
		母数 (n)	お金の 面で支 援して ほしい	自分 のこ とに つ いて 話 を 聞 い て ほ し い	勉 強 を 教 え て ほ し い	機 会 を つ く つ て ほ し い	同 じ 境 遇 の 人 と 会 っ て 話 を す る	進 路 や 就 職 な ど 将 来 の 相 談 に の つ て ほ し い	家 族 の お 世 話 に つ い て 相 談 に の つ て ほ し い
全体		176	31.8	15.3	8.0	7.4	6.8	6.3	
就学・ 就業 状況 別	高校（高等部）に通っている	32	▼ 25.0	18.8	△ 25.0	6.3	△ 18.8	3.1	
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	▼ 20.0	△ 25.0	10.0	△ 25.0	△ 15.0	5.0	
	正規社員や正規職員として働いている	76	28.9	▼ 9.2	▼ 1.3	3.9	2.6	6.6	
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	21	△ 38.1	14.3	9.5	-	-	4.8	
	自営業や会社役員として働いている	4	▼ 25.0	-	-	-	-	△ 25.0	
	専業主婦・主夫である	8	△ 62.5	△ 25.0	-	△ 12.5	-	△ 12.5	
	無職	7	△ 42.9	△ 42.9	△ 14.3	△ 28.6	△ 14.3	△ 14.3	
その他		8	△ 62.5	12.5	-	-	-	-	

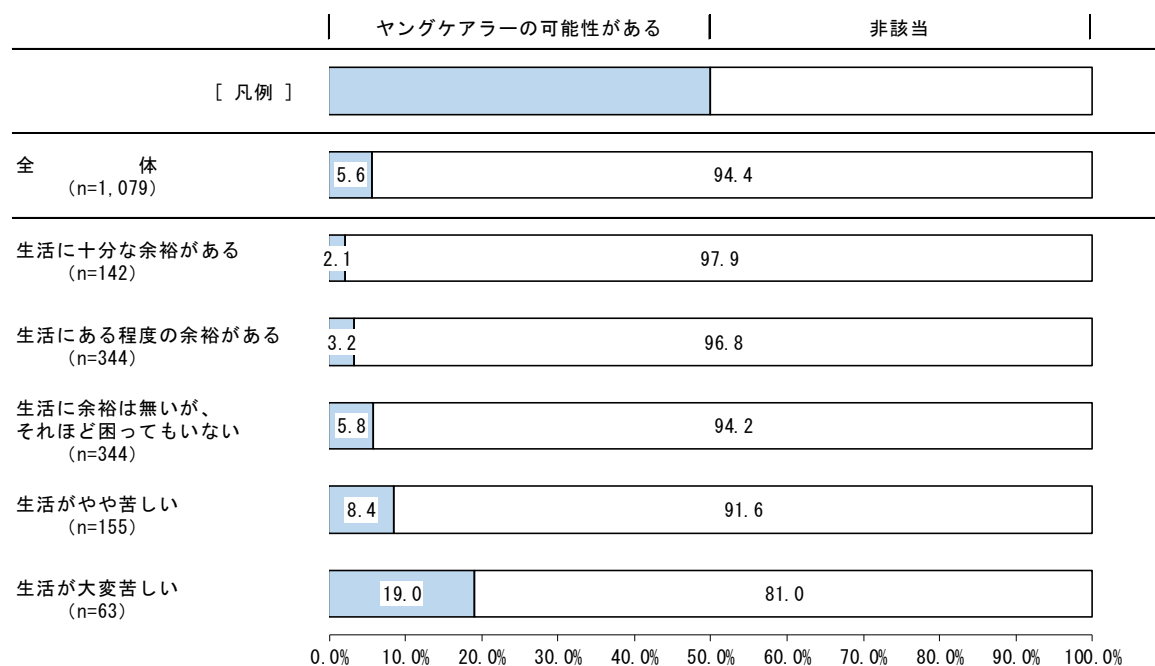
単位：％										
		母数 (n)	を 自 分 が 行 っ て 代 わ っ て ほ し い	を 自 分 の 行 っ て い る お 世 話 の す べ て	説 明 し て ほ し い	家 族 の 病 気 や 障 害 、 お 世 話 の こ と な ど に つ い て わ か り や す く	そ の 他	わ か ら な い ・ 答 え た く な い	特 に な い	
全体		176	4.5	2.8	1.7	2.3	10.2	40.3		
就学・就業状況別	高校（高等部）に通っている	32	-	3.1	-	-	△ 18.8	▼ 31.3		
	大学（院）や専門学校等に通っている	20	-	5.0	-	-	▼ 5.0	△ 50.0		
	正規社員や正規職員として働いている	76	5.3	2.6	1.3	5.3	13.2	44.7		
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	21	△ 19.0	4.8	-	-	-	△ 47.6		
	自営業や会社役員として働いている	4	-	-	-	-	-	△ 50.0		
	専業主婦・主夫である	8	-	-	-	-	-	-	▼ 12.5	
	無職	7	-	-	△ 28.6	-	14.3	▼ 14.3		
	その他	8	-	-	-	-	-	-	37.5	

エ ヤングケアラーの経済的な生活状況や考え、悩み等

① 現在の経済的な生活状況【問10】（SA）

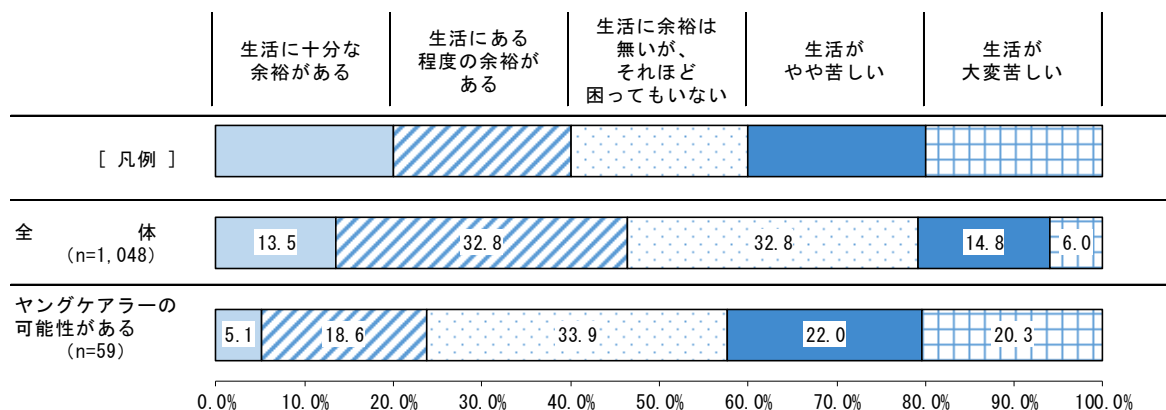
ヤングケアラーの可能性を現在の経済的な生活状況別にみると、『生活が大変苦しい』が19.0%と、全体に比べて高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-126 ヤングケアラーの可能性】（現在の経済的な生活状況別）



ヤングケアラーの可能性のある人の現在の経済的な生活状況をみると、『生活が大変苦しい』が20.3%、『生活がやや苦しい』が22.0%と、全体に比べて高くなっている。

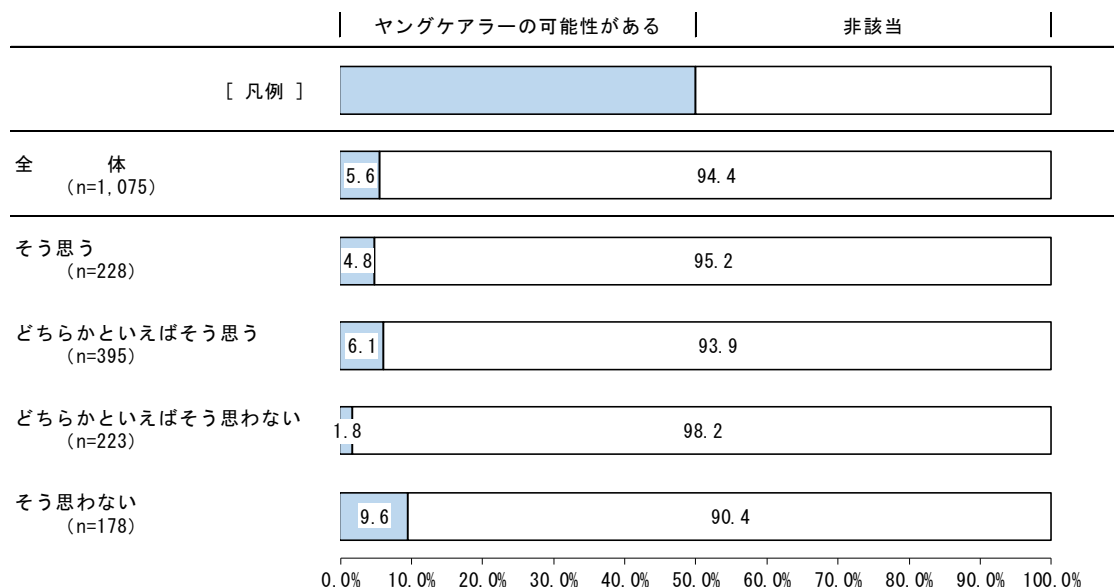
＜今回調査＞【図表 5-127 現在の経済的な生活状況】



② 将来に対する考え方や自己肯定感等【問14】（SA）

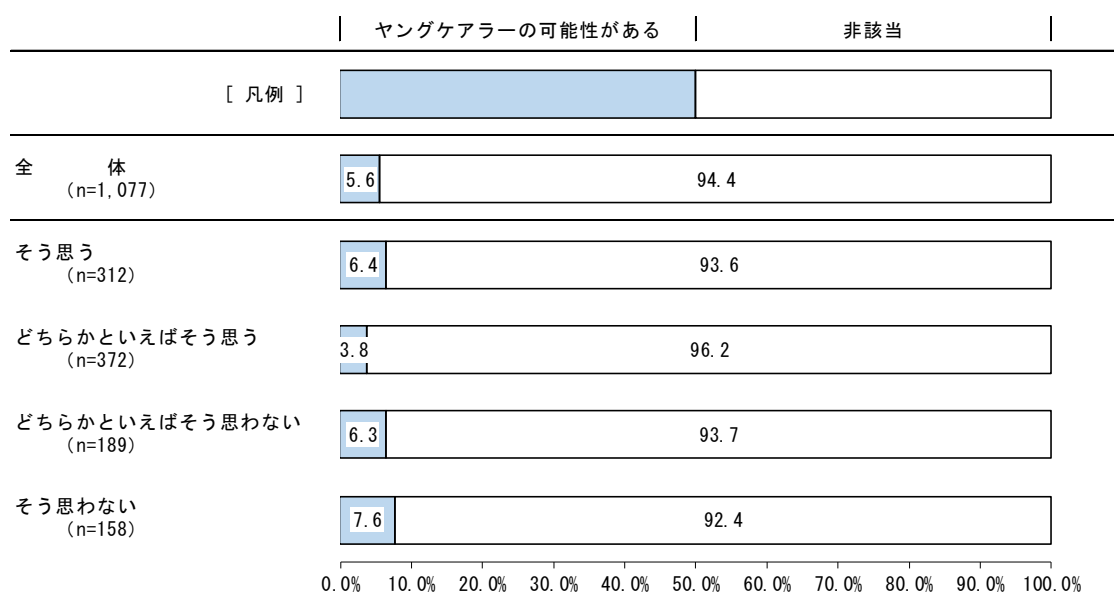
将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分の将来が楽しみだ」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『そう思わない』が9.6%で最も高くなっている。

<今回調査>【図表 5-128 ヤングケアラーの可能性】（（エ）自分の将来が楽しみだ）



将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分のことが好きだ」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『そう思わない』が7.6%で最も高くなっている。

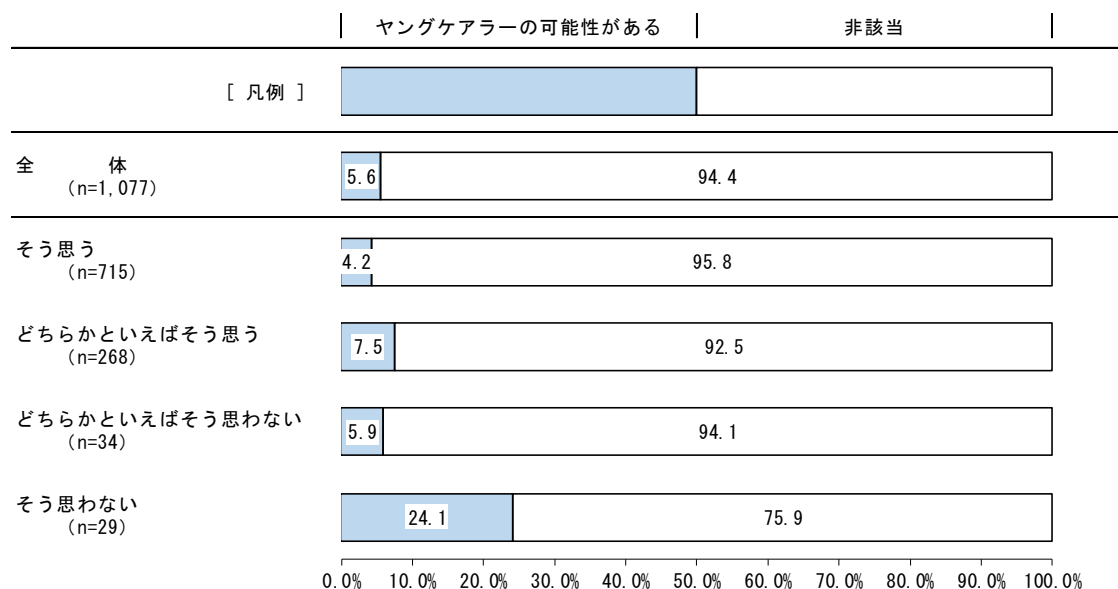
<今回調査>【図表 5-129 ヤングケアラーの可能性】（（オ）自分のことが好きだ）



将来に対する考え方や自己肯定感等のうち「自分は家族に大事にされていると思う」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性がある』のは『そう思う』が 4.2%、『どちらかといえばそう思う』が 7.5%となっている。

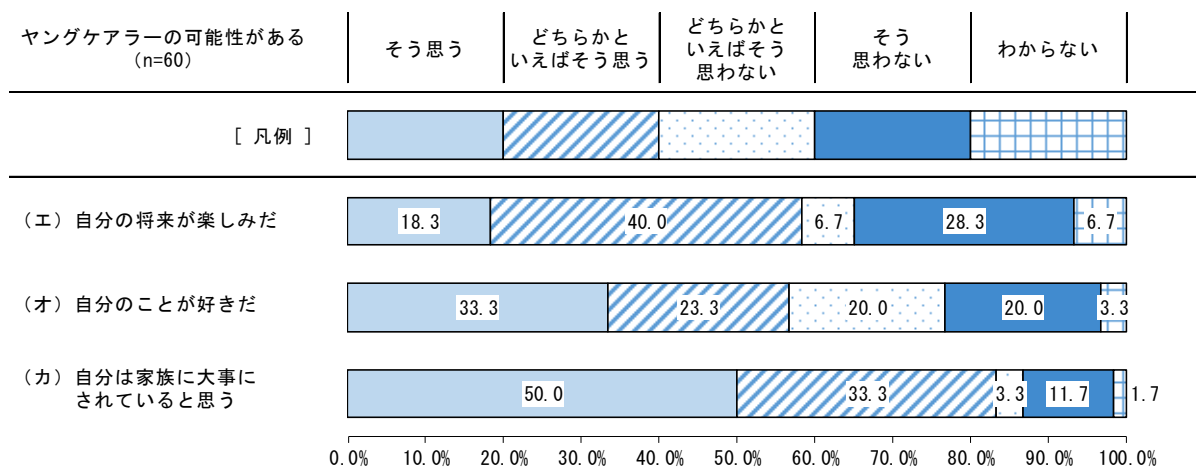
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-130 ヤングケアラーの可能性】((カ) 自分は家族に大事にされていると思う)



ヤングケアラーの可能性のある人に、将来に対する考え方や自己肯定感等について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は『自分は家族に大事にされていると思う』が 83.3%、『自分の将来が楽しみだ』が 58.3%、『自分のことが好きだ』が 56.6%となっている。

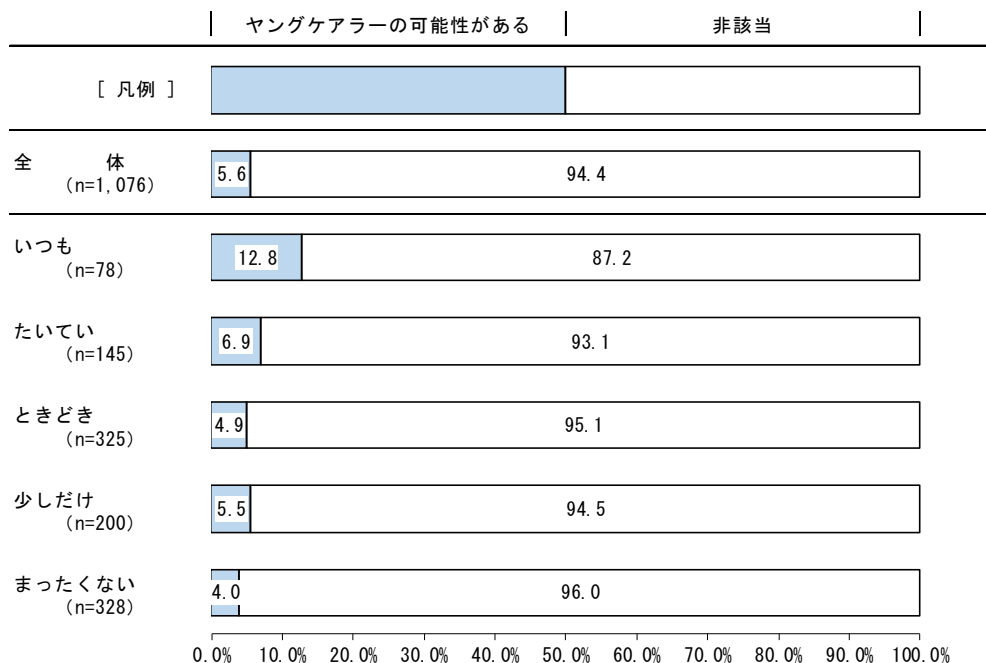
<今回調査>【図表 5-131 将来に対する考え方や自己肯定感等】



③ 精神状態【問19】(SA)

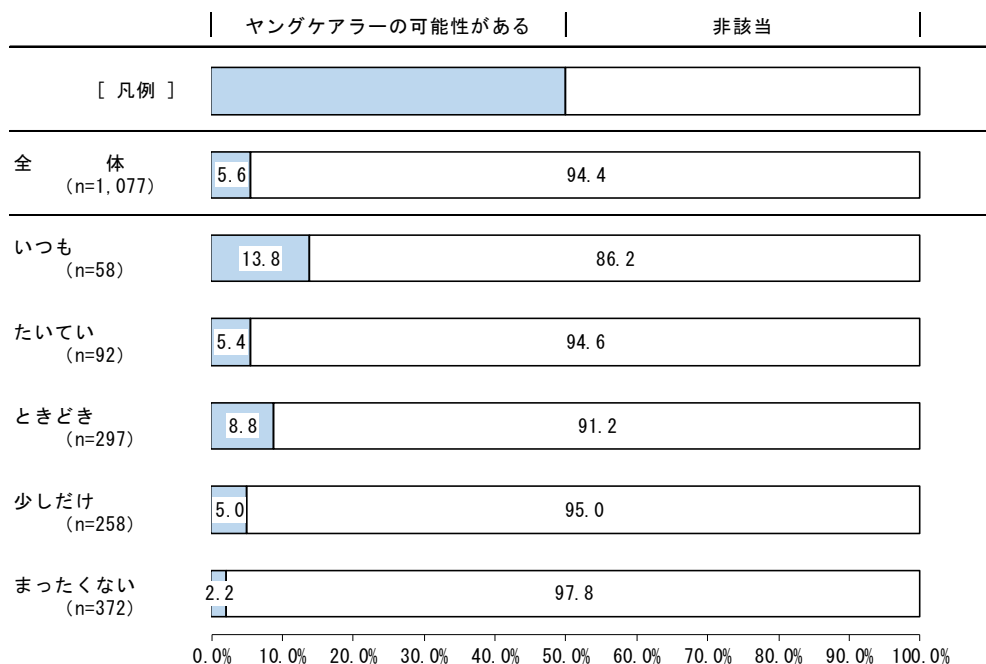
精神状態や考え方のうち「神経過敏に感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』が12.8%と、全体に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 5-132 ヤングケアラーの可能性】((ア) 神経過敏に感じる時があった)



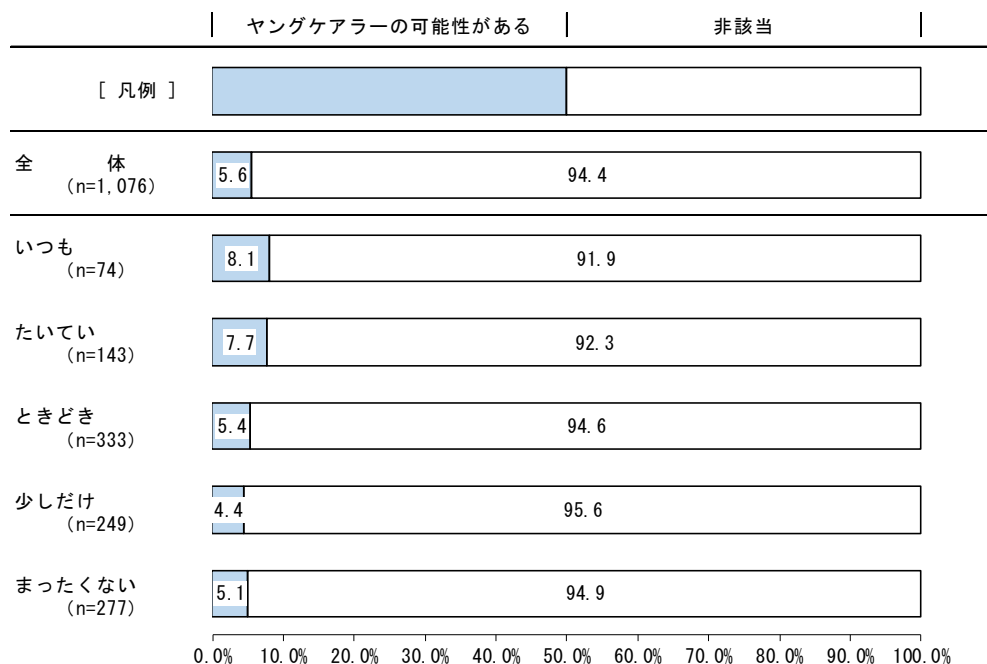
精神状態や考え方のうち「絶望的だと感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』が13.8%と、全体に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 5-133 ヤングケアラーの可能性】((イ) 絶望的だと感じる時があった)



精神状態や考え方のうち「そろそろ落ち着かなく感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』が8.1%で最も高くなっている。

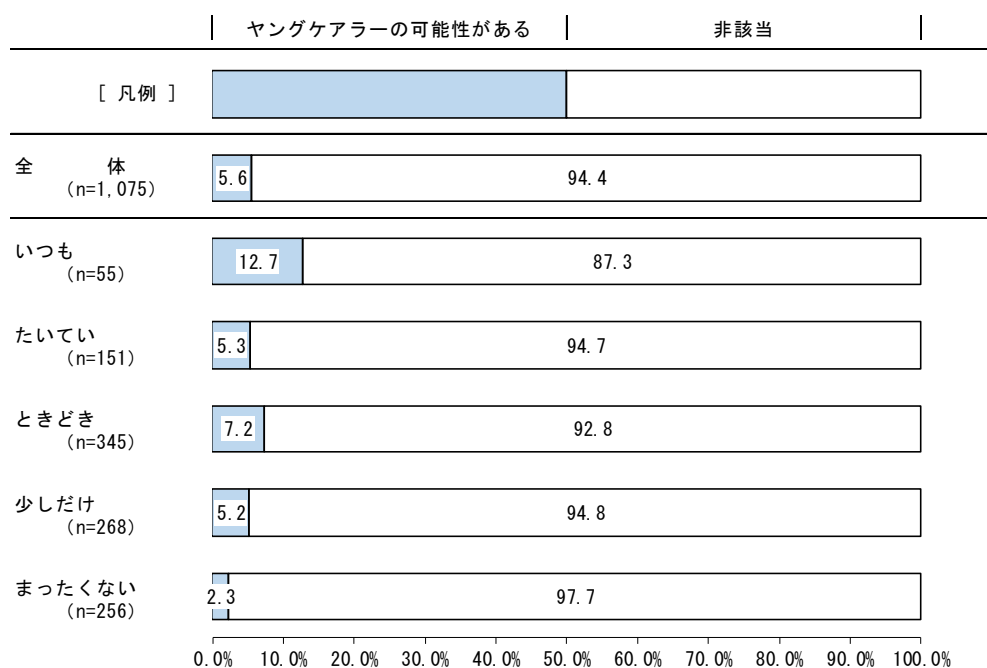
<今回調査>【図表 5-134 ヤングケアラーの可能性】((ウ) そろそろ落ち着かなく感じる時があった)



精神状態や考え方のうち「気分が沈んで何が起ころうとも気分が晴れないように感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』が12.7%と、全体に比べて高くなっている。

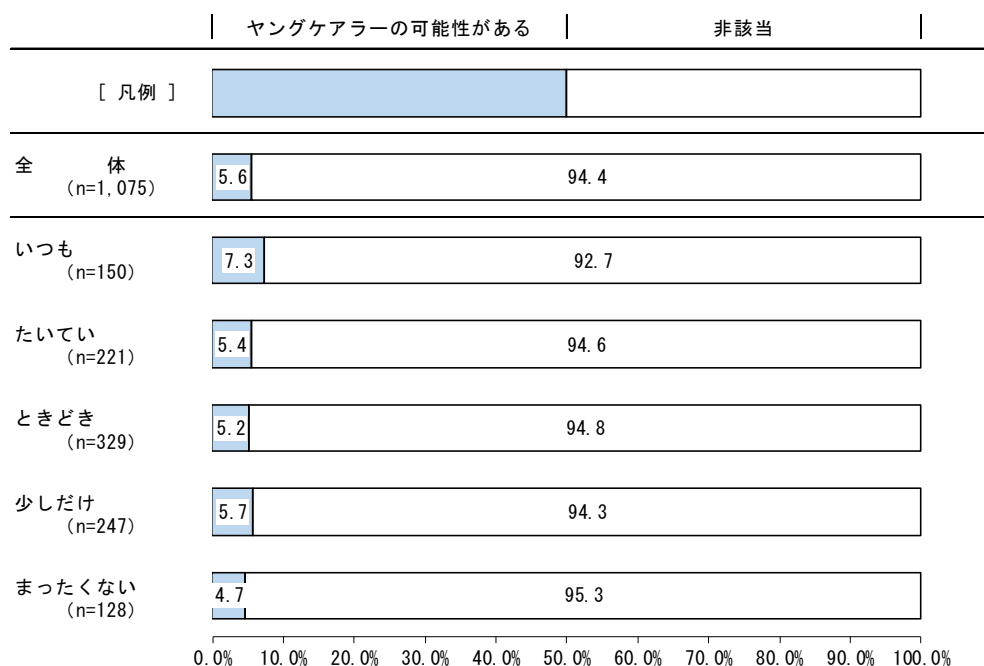
<今回調査>【図表 5-135 ヤングケアラーの可能性】

((エ) 気分が沈んで何が起ころうとも気分が晴れないように感じる時があった)



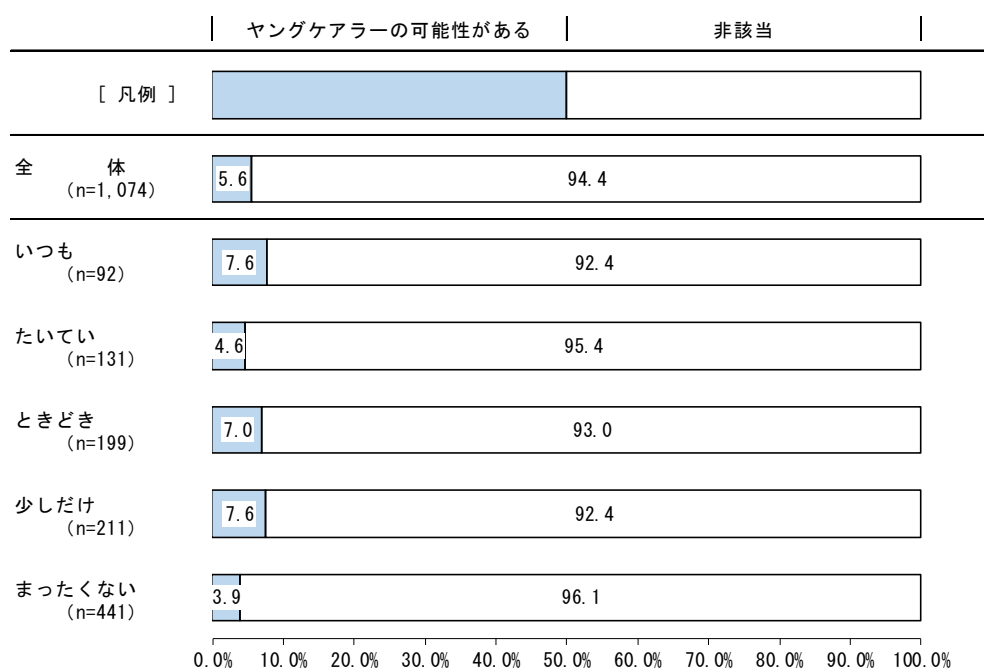
精神状態や考え方のうち「何をするのも面倒だと感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』が7.3%で最も高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-136 ヤングケアラーの可能性】（（オ）何をするのも面倒だと感じる時があった）



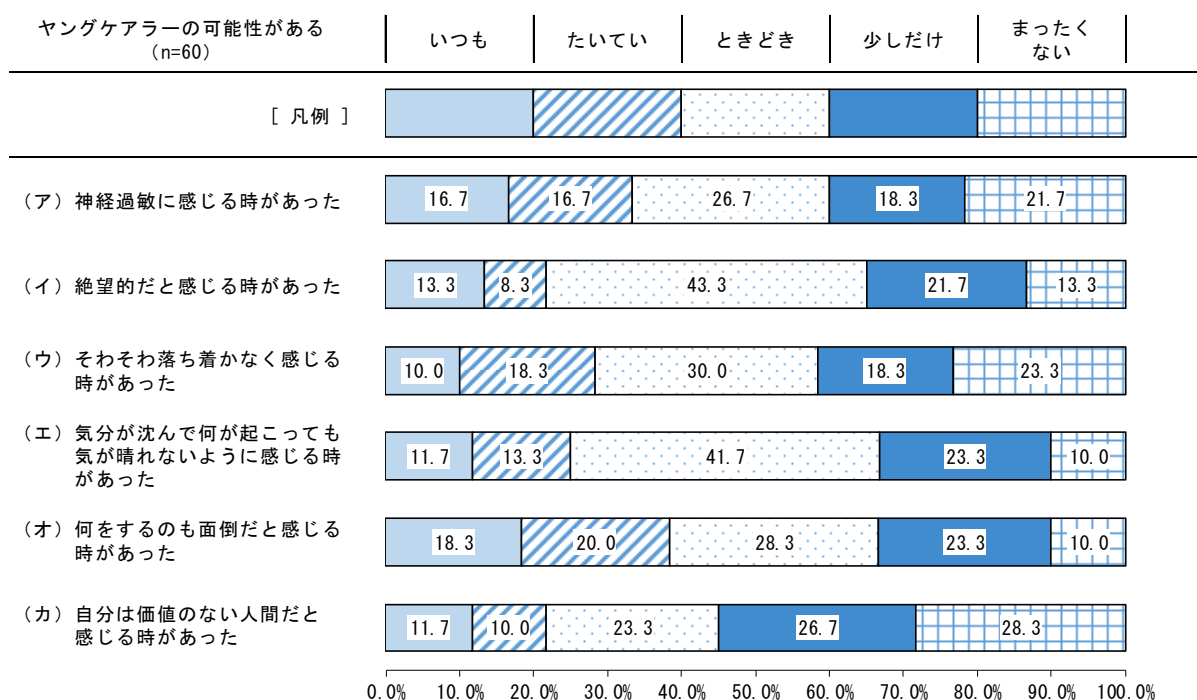
精神状態や考え方のうち「自分は価値のない人間だと感じる時があった」と回答した中で、『ヤングケアラーの可能性はある』のは『いつも』『少しだけ』が7.6%で最も高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-137 ヤングケアラーの可能性】（（カ）自分は価値のない人間だと感じる時があった）



ヤングケアラーの可能性のある人に、直近1か月間の精神状態や考え方を聞いたところ、「いつも」では『何をするのも面倒だと感じる時があった』が18.3%で最も高く、「まったく」では『自分は価値のない人間だと感じる時があった』が28.3%で最も高くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-138 直近1か月間の精神状態や考え方】

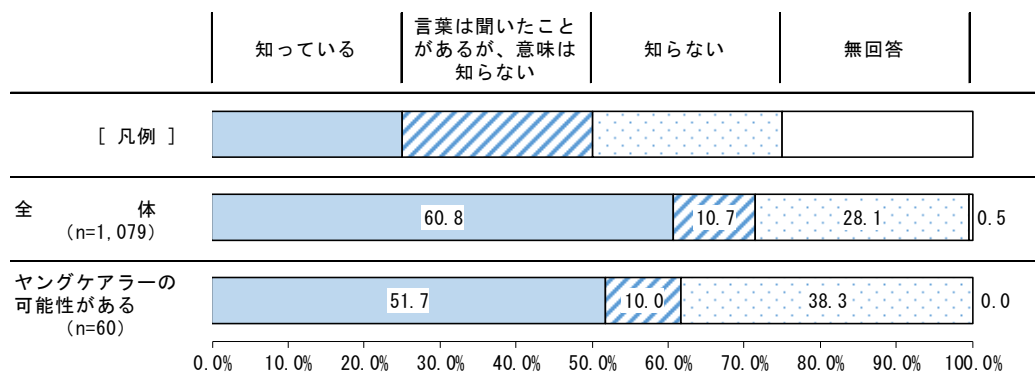


オ 「ヤングケアラー」という言葉の認知度【問23】（SA）

「ヤングケアラー」という言葉を知っているか聞いたところ、全体では「知っている」が60.8%で最も高く、「知らない」が28.1%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が10.7%となっている。ヤングケアラーの可能性のある人では、「知っている」が51.7%で最も高く、「知らない」が38.3%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が10.0%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

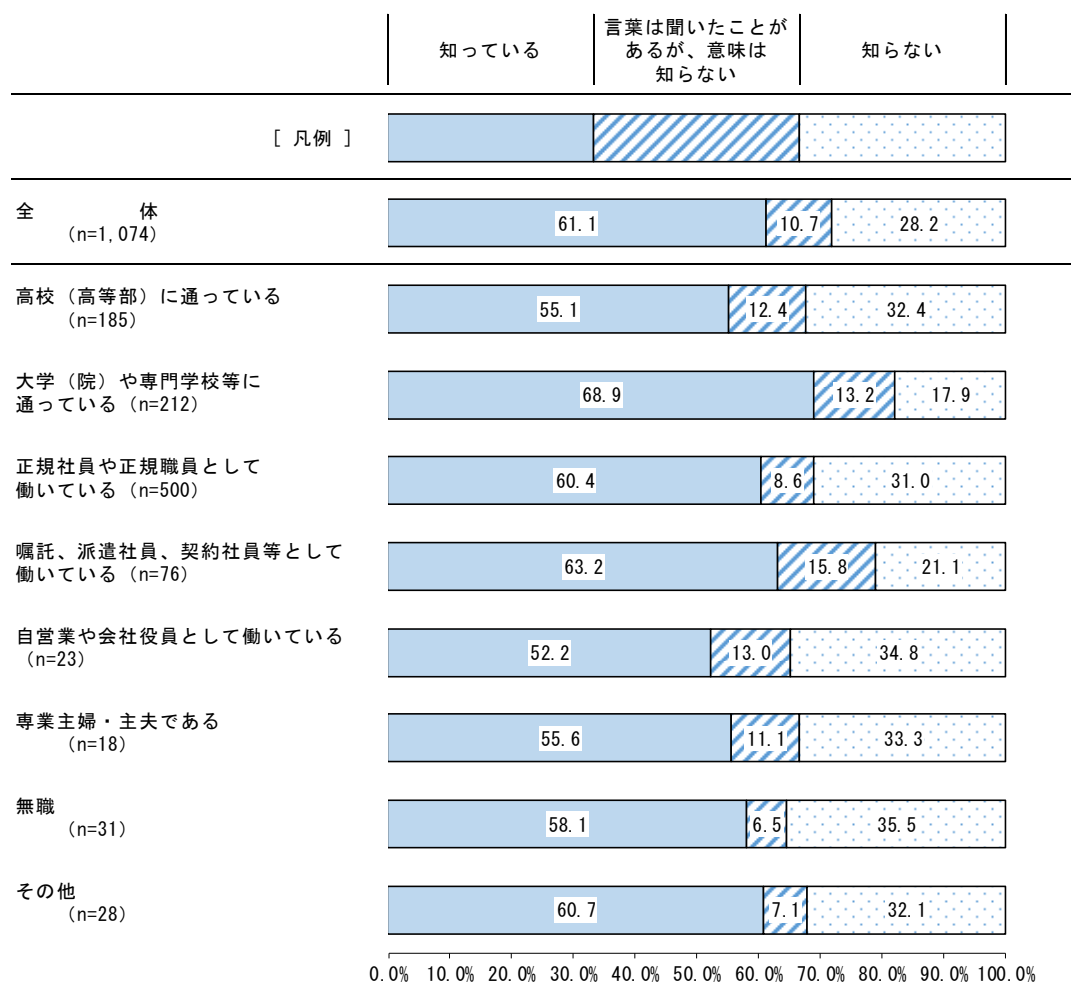
＜今回調査＞【図表 5-139 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】



「ヤングケアラー」という言葉の認知度を就学・就業状況別にみると、「知っている」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 68.9%と全体に比べて高く、『高校（高等部）に通っている』が 55.1%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-140 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】（就学・就業状況別）

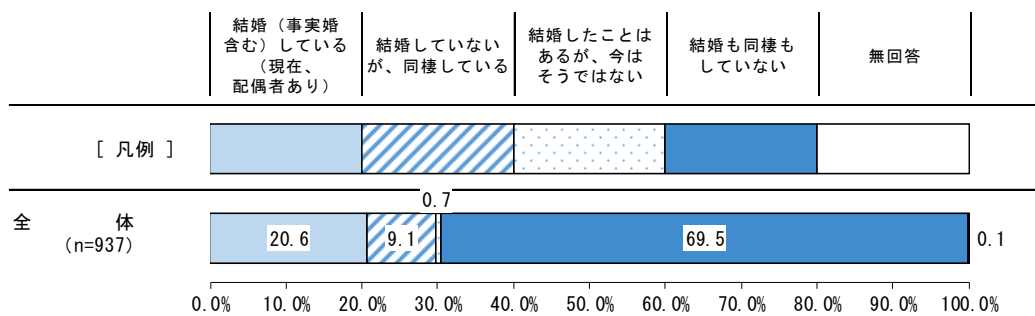


（２）結婚・出産についての考え（18歳以上が回答）

ア 婚姻状況【問25】（SA）

18 歳以上の方に婚姻状況を聞いたところ、「結婚も同棲もしていない」が 69.5%で最も高く、次いで「結婚（事実婚含む）している（現在、配偶者あり）」が 20.6%、「結婚していないが、同棲している」が 9.1%となっている。

<今回調査>【図表 5-141 婚姻状況】

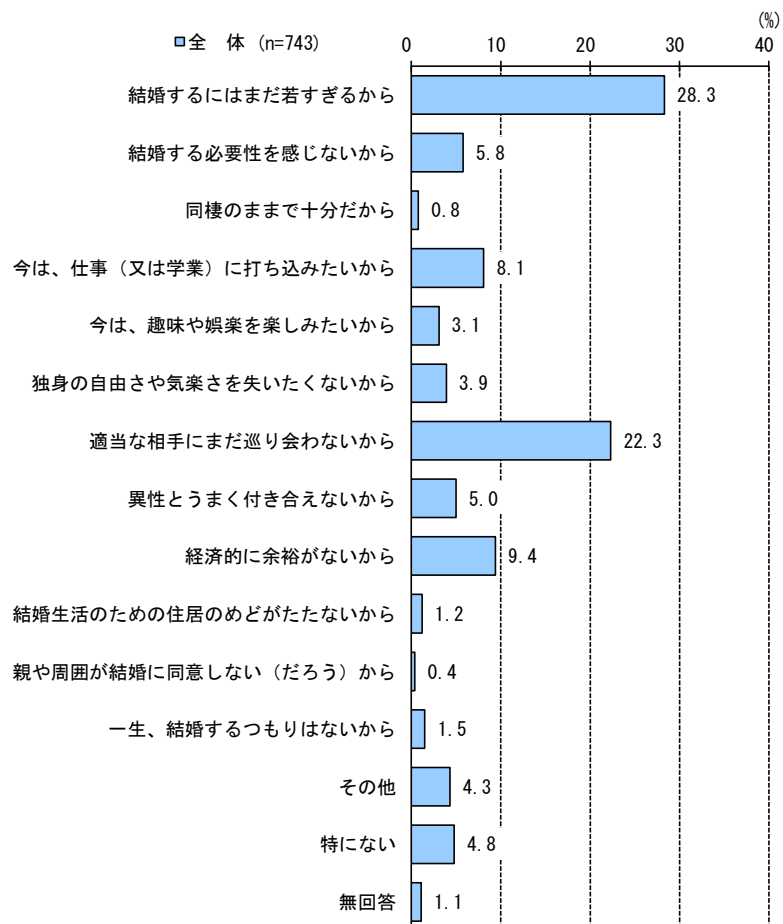


イ 現在結婚していない理由【問25-1】（上位3つの理由を選択）

① 現在結婚していない理由：1番当てはまる理由

「結婚していないが、同棲している」「結婚したことはあるが、今はそうではない」「結婚も同棲もしていない」方に、現在結婚していない理由で1番当てはまる理由を聞いたところ、「結婚するにはまだ若すぎるから」が28.3%で最も高く、次いで「適当な相手にまだ巡り会わないから」が22.3%、「経済的に余裕がないから」が9.4%となっている。

<今回調査>【図表 5-142 現在結婚していない理由：1番当てはまる理由】



現在結婚していない理由：1番当てはまる理由を就学・就業状況別にみると、「結婚するにはまだ若すぎるから」は『高校（高等部）に通っている』が68.8%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が52.1%、「結婚する必要性を感じないから」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が12.3%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が12.3%、「適当な相手にまだ巡り会わないから」は『正規社員や正規職員として働いている』が29.0%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が31.6%、「経済的に余裕がないから」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が21.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-143 現在結婚していない理由：1番当てはまる理由】（就学・就業状況別）

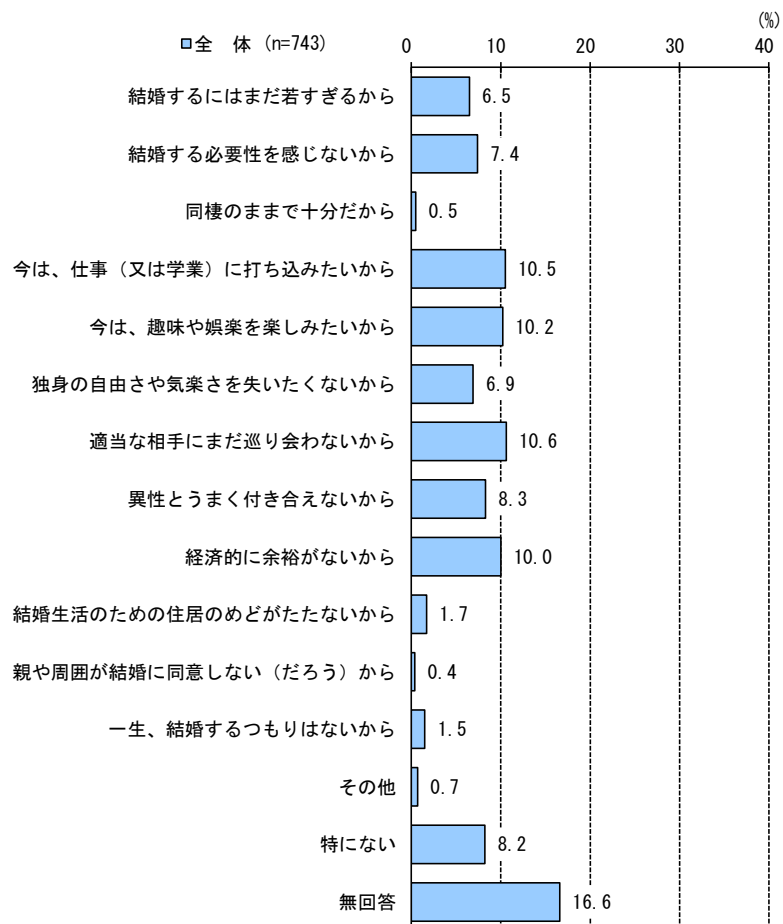
単位：%									
		母数 (n)	若 婚 す る に は ま だ	結 婚 す る 必 要 性 を 感 じ な い か ら	同 棲 の ま ま で 十 分 だ か ら	今 は、 仕 事 （ 又 は 学 業 ） に 打 ち 込 み た い か ら	今 は、 趣 味 や 娯 楽 を 楽 し み た い か ら	独 身 の 自 由 さ や 気 楽 さ を 失 い た く な い か ら	適 当 な 相 手 に ま だ 巡 り 会 わ な い か ら
全体		735	28.6	5.9	0.8	8.2	3.1	3.9	22.6
就学・ 就業 状況 別	高校（高等部）に通っている	48	△ 68.8	2.1	-	8.3	4.2	-	▼ 6.3
	大学（院）や専門学校等に通っている	211	△ 52.1	2.8	-	10.0	1.9	1.9	▼ 16.6
	正規社員や正規職員として働いている	352	▼ 15.1	4.8	1.4	7.7	4.3	4.3	△ 29.0
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	57	▼ 5.3	△ 12.3	-	8.8	1.8	△ 12.3	△ 31.6
	自営業や会社役員として働いている	18	27.8	△ 22.2	-	△ 16.7	-	-	▼ 16.7
	専業主婦・主夫である	1	-	-	-	-	-	-	-
	無職	29	▼ 6.9	△ 17.2	-	-	-	△ 10.3	▼ 13.8
	その他	19	▼ 21.1	△ 15.8	5.3	-	5.3	-	▼ 5.3

単位：％											
		母数 (n)	異性とうまく付き合えないから	経済的に余裕がないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	一生、結婚するつもりはないから	その他	特にな		
全体		735	5.0	9.5	1.2	0.4	1.5	4.4	4.9		
就学・就業状況別	高校（高等部）に通っている	48	－▼	2.1	－	－	－	－	8.3		
	大学（院）や専門学校等に通っている	211	4.3	▼	2.4	0.5	－	1.9	0.9	4.7	
	正規社員や正規職員として働いている	352	6.0	12.8	1.4	0.6	0.9	7.4	4.5		
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	57	－	△	21.1	－	－	3.5	－	3.5	
	自営業や会社役員として働いている	18	－	－	△	11.1	－	－	－	5.6	
	専業主婦・主夫である	1	－	△	100.0	－	－	－	－	－	
	無職	29	△	13.8	13.8	3.4	3.4	3.4	3.4	△	10.3
	その他	19	△	15.8	10.5	－	－	5.3	△	15.8	

② 現在結婚していない理由：2番目の理由

現在結婚していない理由で2番目の理由を聞いたところ、「適当な相手にまだ巡り会わないから」が10.6%で最も高く、次いで「今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから」が10.5%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が10.2%となっている。

＜今回調査＞【図表 5-144 現在結婚していない理由：2番目の理由】



現在結婚していない理由で2番目の理由を就学・就業状況別にみると、全体に比べて大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないため参考値とする。

<今回調査>【図表 5-145 現在結婚していない理由：2番目の理由】（就学・就業状況別）

単位：%

		母数 (n)	若 結 婚 す る に は ま だ	感 結 婚 す る 必 要 性 を	同 棲 の ま ま で 十 分 だ か ら	今 は、 仕 事 （ 又 は 学 業 ） に 打 ち 込 み た い い か ら	今 は、 趣 味 や 娛 楽 を 楽 し み た い い か ら	独 身 の 自 由 さ や 氣 楽 さ を 失 い た く な い か ら	適 当 な 相 手 に ま だ 巡 り
全体		620	7.7	8.9	0.6	12.6	12.3	8.2	12.7
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	41	△ 17.1	7.3	—	17.1	▼ 4.9	▼ 2.4	14.6
	大学（院）や専門学校等に通っている	181	10.5	12.2	—	15.5	14.4	5.5	14.9
	正規社員や正規職員として働いている	293	5.8	6.1	1.0	11.9	13.7	10.6	11.9
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	49	6.1	△ 16.3	—	8.2	8.2	10.2	12.2
	自営業や会社役員として働いている	15	—	—	△ 6.7	△ 20.0	▼ 6.7	△ 13.3	▼ 6.7
	専業主婦・主夫である	—	—	—	—	—	—	—	—
	無職	25	4.0	8.0	—	—	▼ 4.0	4.0	8.0
	その他	16	6.3	12.5	—	▼ 6.3	12.5	6.3	12.5

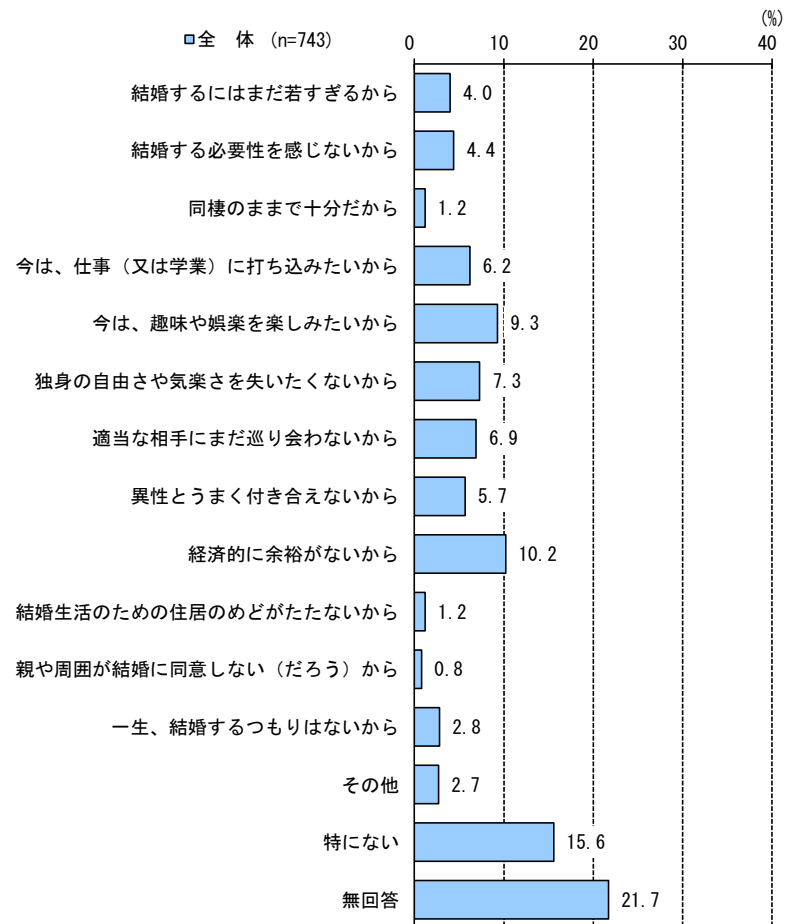
単位：%

		母数 (n)	異 性 と う ま く 付 き 合 え	経 済 的 に 余 裕 が な い か ら	結 婚 が 生 活 の た め の か ら 住 居 の	親 や 周 圍 が 結 婚 に 同 意	一 生、 結 婚 す る つ も り	そ の 他	特 に な い
全体		620	10.0	11.9	2.1	0.5	1.8	0.8	9.8
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	41	7.3	7.3	—	—	—	—	△ 22.0
	大学（院）や専門学校等に通っている	181	6.6	9.4	—	—	1.7	1.1	8.3
	正規社員や正規職員として働いている	293	10.9	13.3	3.1	1.0	0.3	0.3	9.9
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	49	△ 16.3	14.3	4.1	—	—	—	▼ 4.1
	自営業や会社役員として働いている	15	△ 26.7	▼ 6.7	6.7	—	—	—	6.7
	専業主婦・主夫である	—	—	—	—	—	—	—	—
	無職	25	12.0	△ 24.0	4.0	—	△ 16.0	—	△ 16.0
	その他	16	—	▼ 6.3	—	—	△ 18.8	△ 12.5	6.3

③ 現在結婚していない理由：3番目の理由

現在結婚していない理由で3番目の理由を聞いたところ、「特にない」が15.6%で最も高く、次いで「経済的に余裕がないから」が10.2%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が9.3%となっている。

<今回調査>【図表 5-146 現在結婚していない理由：3番目の理由】



現在結婚していない理由で3番目の理由を就学・就業状況別にみると、全体に比べて大きな差がみられない。

なお、サンプル数が50に満たないため参考値とする。

<今回調査>【図表 5-147 現在結婚していない理由：3番目の理由】（就学・就業状況別）

単位：%

		母数 (n)	若 婚 す ぎ る か ら	感 結 婚 す る か ら	同 棲 の ま ま で 十 分 だ か ら	今 は、 仕 事 （ 又 は 学 業 ） に 打 ち 込 み た い か ら	今 は、 趣 味 や 娯 楽 を 楽 し み た い か ら	を 失 い た く な い か ら	独 身 の 自 由 さ や 気 楽 さ	会 適 わ な い か ら に ま だ 巡 り
全体		582	5.2	5.7	1.5	7.9	11.9	9.3	8.8	
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	40	-	7.5	-	7.5	7.5	5.0	7.5	
	大学（院）や専門学校等に通っている	176	6.3	8.0	0.6	11.4	13.1	7.4	12.5	
	正規社員や正規職員として働いている	267	6.7	4.9	2.6	6.7	11.6	11.2	7.5	
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	45	2.2	6.7	-	▼ 2.2	15.6	6.7	▼ 2.2	
	自営業や会社役員として働いている	14	-	-	-	△ 14.3	7.1	△ 14.3	△ 14.3	
	専業主婦・主夫である	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無職	25	-	-	4.0	-	12.0	12.0	8.0	
	その他	15	-	-	-	△ 13.3	▼ 6.7	6.7	6.7	

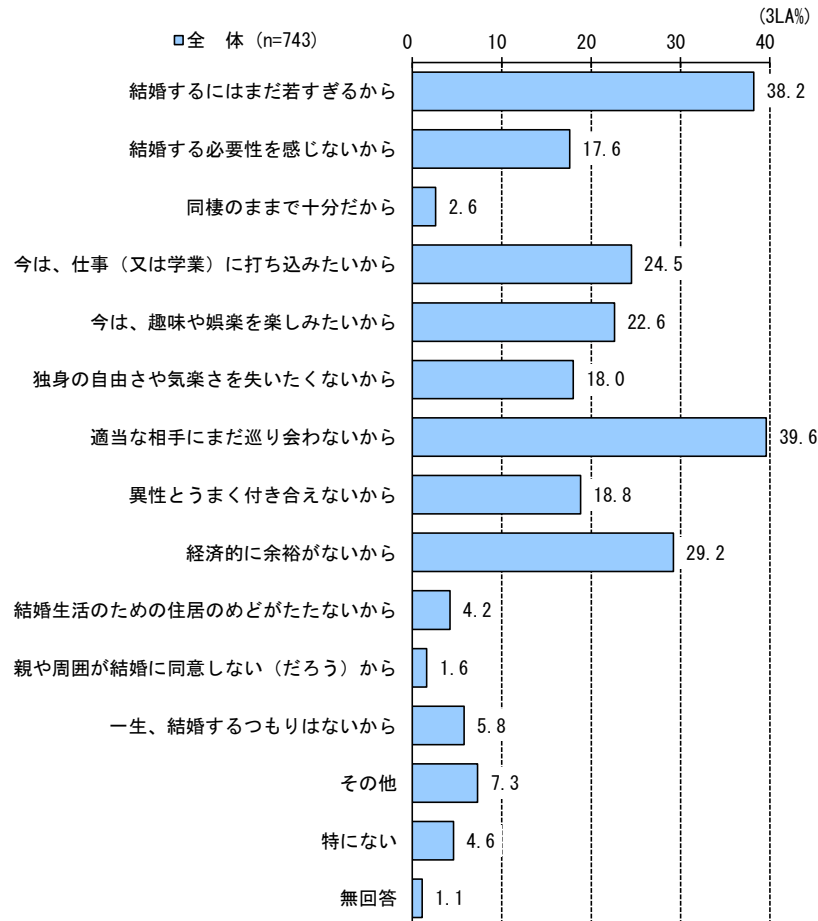
単位：％

		母数 (n)	異性とうまく付き合えないから	経済的に余裕がないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	一生、結婚するつもりはないから	その他	特にな
全体		582	7.2	13.1	1.5	1.0	3.6	3.4	19.9
就学・就業状況別	高校（高等部）に通っている	40	△ 15.0	▼ 7.5	－	2.5	2.5	2.5	△ 35.0
	大学（院）や専門学校等に通っている	176	6.3	10.8	1.1	1.1	3.4	1.1	17.0
	正規社員や正規職員として働いている	267	6.4	13.5	1.5	－	2.6	4.1	20.6
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	45	11.1	△ 20.0	4.4	2.2	6.7	4.4	15.6
	自営業や会社役員として働いている	14	－	△ 21.4	－	－	7.1	7.1	▼ 14.3
	専業主婦・主夫である	－	－	－	－	－	－	－	－
	無職	25	8.0	16.0	4.0	△ 8.0	8.0	－	20.0
	その他	15	6.7	13.3	－	－	6.7	△ 20.0	20.0

④ 現在結婚していない理由（１～３番目の理由の合計）（3LA）

現在結婚していない理由を３つまでの複数回答で聞いたところ、「適当な相手にまだ巡り会わないから」が 39.6%で最も高く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」が 38.2%、「経済的に余裕がないから」が 29.2%となっている。

<今回調査>【図表 5-148 現在結婚していない理由（３つまで回答）】



現在結婚していない理由で3つまでの複数回答を就学・就業状況別にみると、「結婚するにはまだ若すぎるから」「今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が64.5%、31.8%、「結婚する必要性を感じないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「経済的に余裕がないから」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が31.6%、26.3%、49.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-149 現在結婚していない理由（3つまで回答）】（就学・就業状況別）

単位：％

		母数 (n)	若 結 婚 す る に は ま だ	感 結 婚 す る の 必 要 性 を	同 棲 の ま ま で 十 分 だ か ら	に 今 は、 打 ち 込 み た い か ら （ 又 は 学 業 ）	今 は、 し み た い か ら 趣 味 や 娯 楽 を	を 独 身 の 自 由 さ や 気 楽 さ を 失 いた く な い か ら	会 適 わ な い 相 手 に ま だ 巡 り
全体		735	38.6	17.8	2.6	24.8	22.9	18.2	40.0
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	48	△ 83.3	14.6	—	29.2	▼ 14.6	▼ 6.3	▼ 25.0
	大学（院）や専門学校等に通っている	211	△ 64.5	19.9	0.5	△ 31.8	25.1	▼ 12.8	39.8
	正規社員や正規職員として働いている	352	▼ 25.0	13.6	4.3	22.7	24.4	21.6	44.0
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	57	▼ 12.3	△ 31.6	—	▼ 17.5	21.1	△ 26.3	43.9
	自営業や会社役員として働いている	18	▼ 27.8	22.2	5.6	△ 44.4	▼ 11.1	22.2	▼ 33.3
	専業主婦・主夫である	1	—	—	—	—	—	—	—
	無職	29	▼ 10.3	△ 24.1	3.4	—	▼ 13.8	△ 24.1	▼ 27.6
	その他	19	▼ 26.3	△ 26.3	5.3	▼ 15.8	21.1	▼ 10.5	▼ 21.1

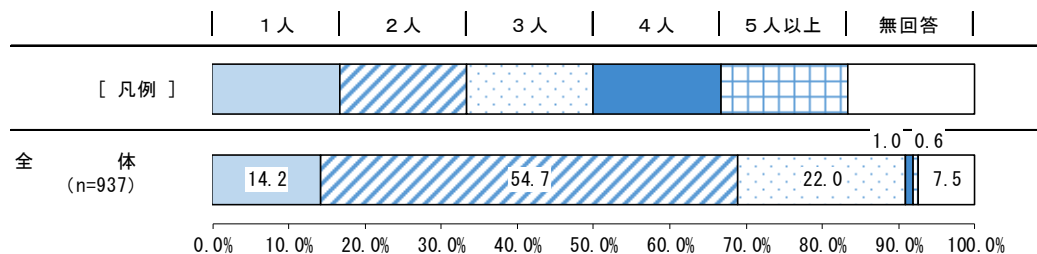
単位：％

		母数 (n)	な 異 性 と う ま く 付 き 合 え	経 済 的 に 余 裕 が な い か ら	め 結 婚 が 生 活 の た め の か ら 住 居 の	し 親 や 周 圍 が 結 婚 に 同 意	は 一 生 、 結 婚 す る つ も り	そ の 他	特 に な い
全体		735	19.0	29.5	4.2	1.6	5.9	7.3	4.6
就 学 ・ 就 業 状 況 別	高校（高等部）に通っている	48	18.8	▼ 14.6	—	2.1	2.1	▼ 2.1	8.3
	大学（院）や専門学校等に通っている	211	15.2	▼ 19.4	1.4	0.9	6.2	2.8	4.3
	正規社員や正規職員として働いている	352	19.6	33.2	5.1	1.4	3.1	10.5	4.3
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	57	22.8	△ 49.1	7.0	1.8	8.8	3.5	3.5
	自営業や会社役員として働いている	18	22.2	▼ 22.2	△ 16.7	—	5.6	5.6	5.6
	専業主婦・主夫である	1	—	△ 100.0	—	—	—	—	—
	無職	29	△ 31.0	△ 48.3	△ 10.3	△ 10.3	△ 24.1	3.4	△ 10.3
	その他	19	21.1	26.3	—	—	△ 26.3	△ 31.6	—

ウ 理想的な子どもの数【問26】（NA）

理想的な子どもの数を聞いたところ、「2人」が54.7%で最も高く、次いで「3人」が22.0%、「1人」が14.2%となっている。

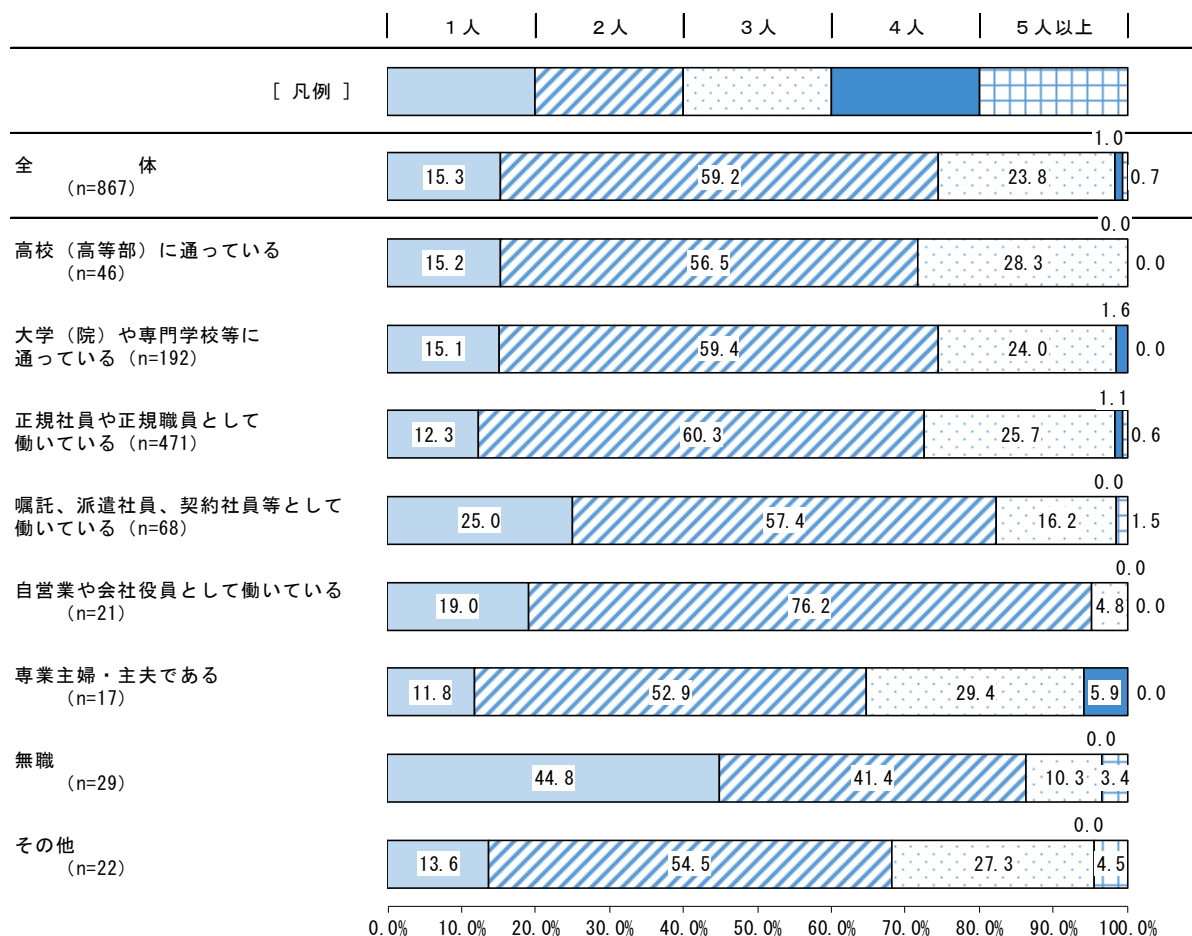
<今回調査>【図表 5-150 理想的な子どもの数】



就学・就業状況別にみると、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』は「1人」が25.0%と全体より高く、「3人」が16.2%と全体より低くなっている。

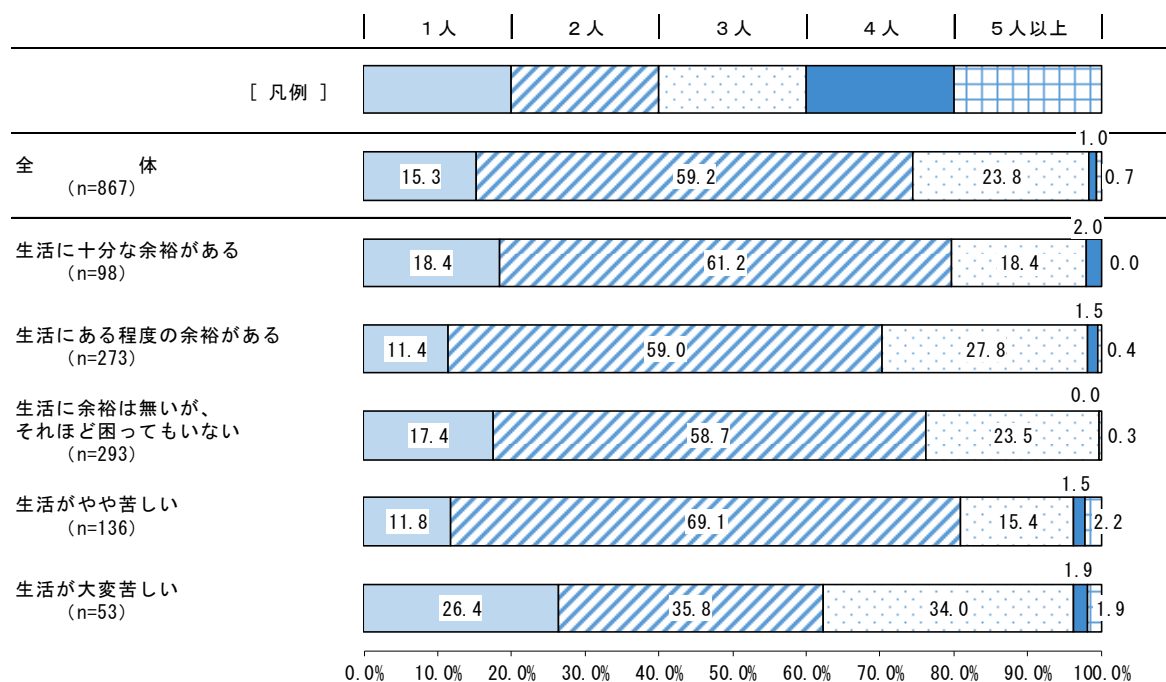
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-151 理想的な子どもの数】（就学・就業状況別）



現在の経済的な生活状況別にみると、「1人」「3人」は『生活が大変苦しい』が26.4%、34.0%、「2人」は『生活がやや苦しい』が69.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

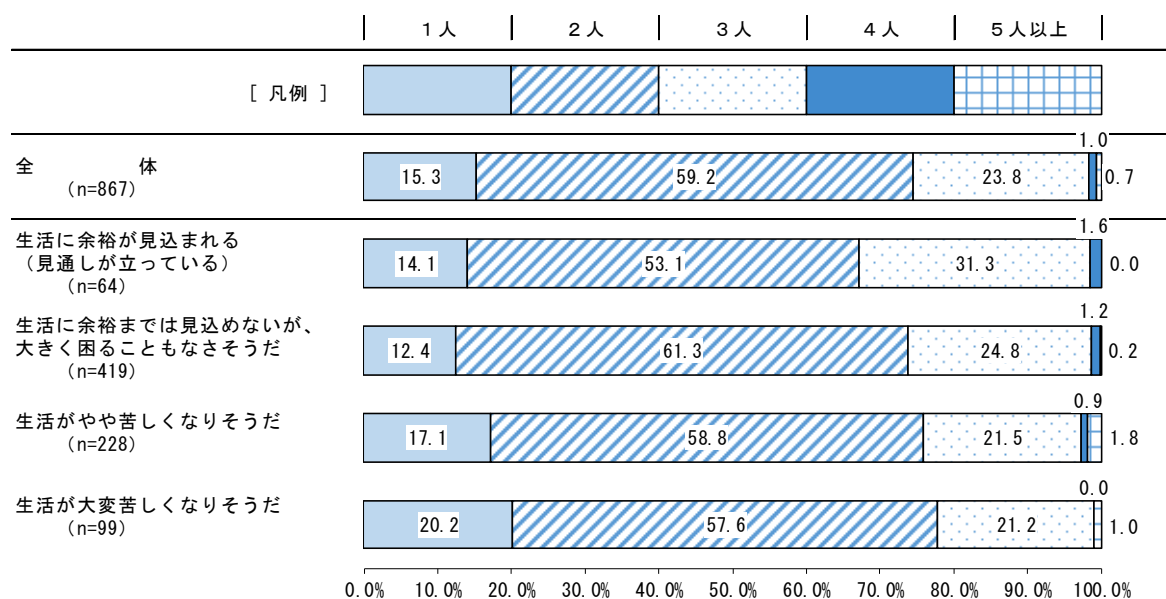
＜今回調査＞【図表 5-152 理想的な子どもの数】（現在の経済的な生活状況別）



注：「わからない」を除く

将来の生活の見込み別にみると、『生活に余裕が見込まれる（見通しが立っている）』は「3人」が31.3%と全体に比べて高くなっている一方、「2人」が53.1%と全体に比べて低くなっている。

＜今回調査＞【図表 5-153 理想的な子どもの数】（将来の生活の見込み別）

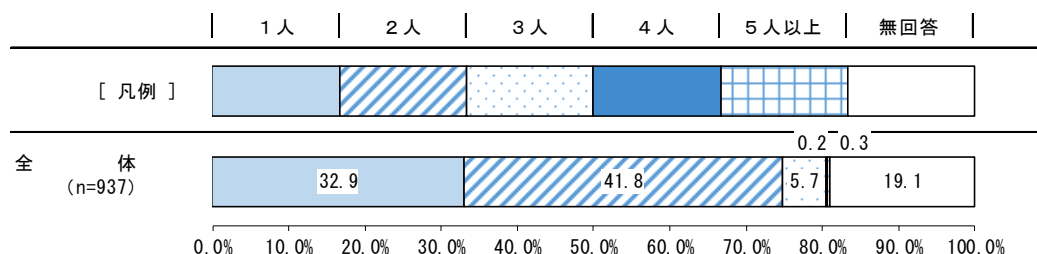


注：「わからない」を除く

エ 現実的に今後持つつもりの子どもの数【問27】（NA）

現実的に今後持つつもりの子どもの数を聞いたところ、「2人」が41.8%で最も高く、次いで「1人」が32.9%、「3人」が5.7%となっている。

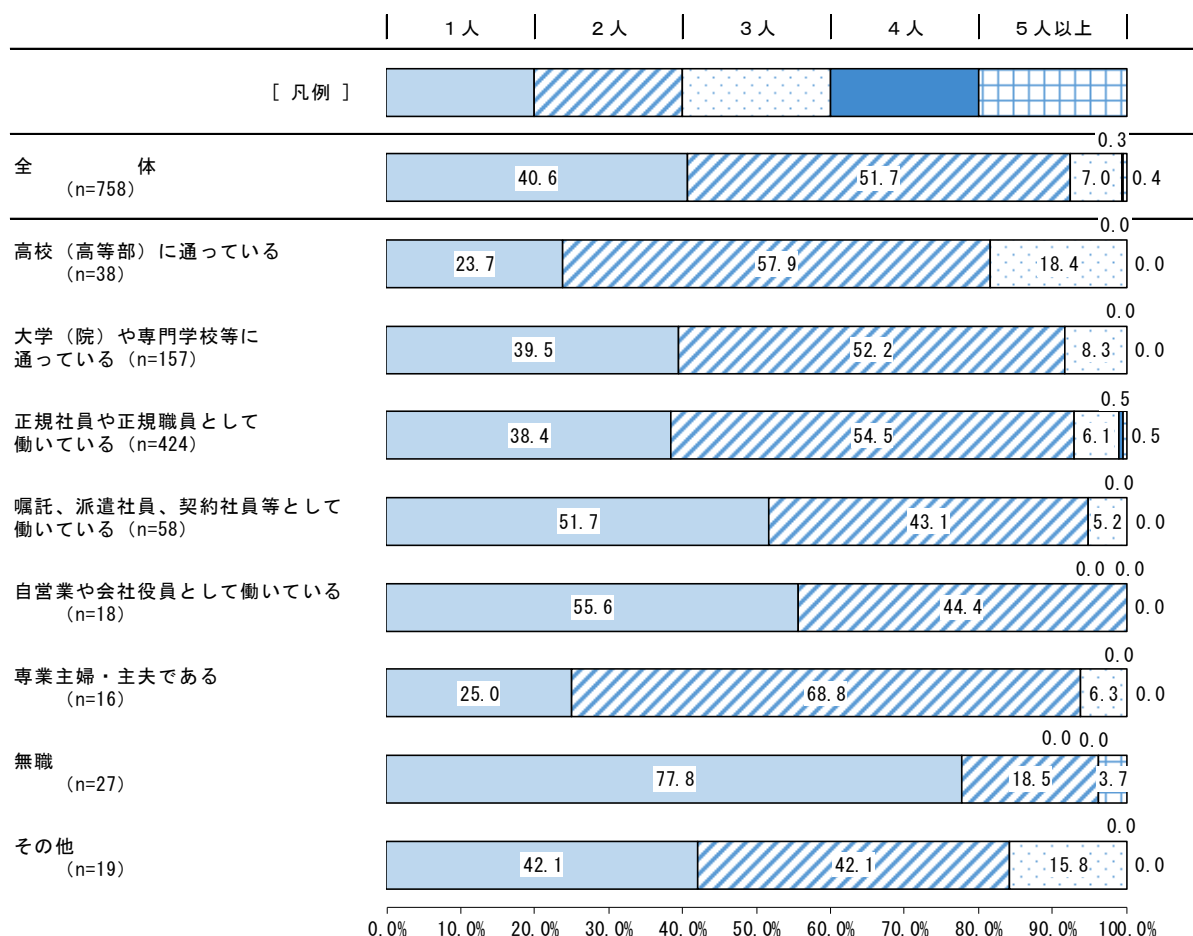
<今回調査>【図表 5-154 現実的に今後持つつもりの子どもの数】



就学・就業状況別にみると、「1人」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が51.7%と、全体に比べて高くなっている。

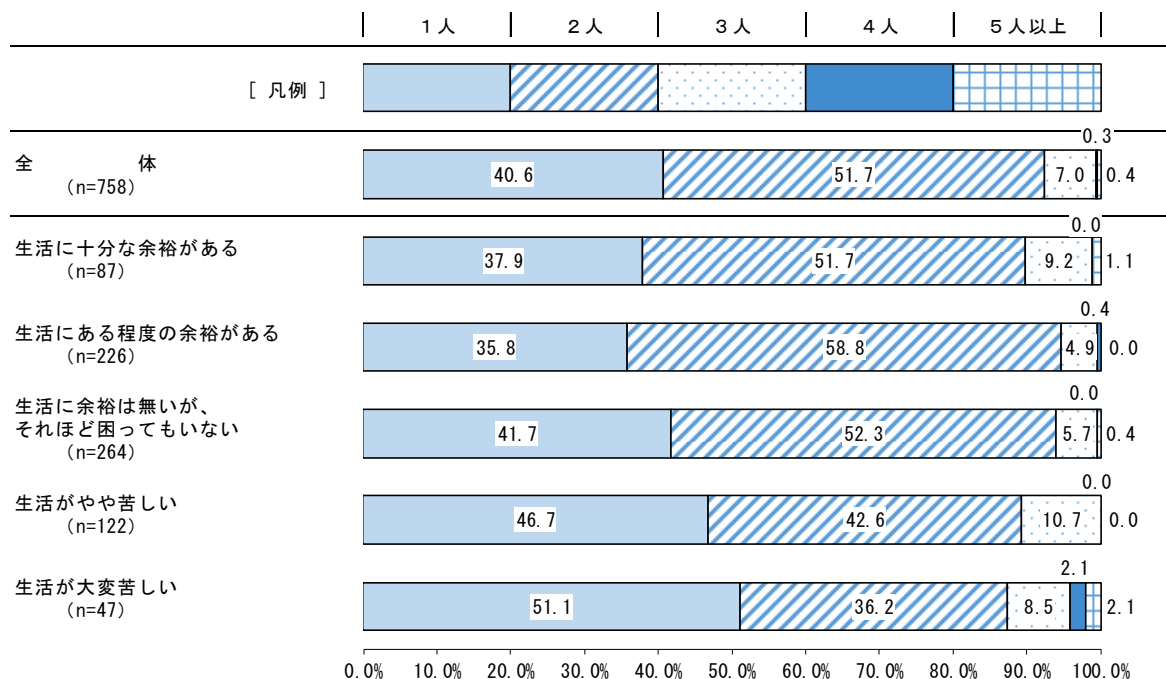
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-155 現実的に今後持つつもりの子どもの数】（就学・就業状況別）



現在の経済的な生活状況別にみると、「1人」は『生活がやや苦しい』が46.7%、「2人」は『生活にある程度の余裕がある』が58.8%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

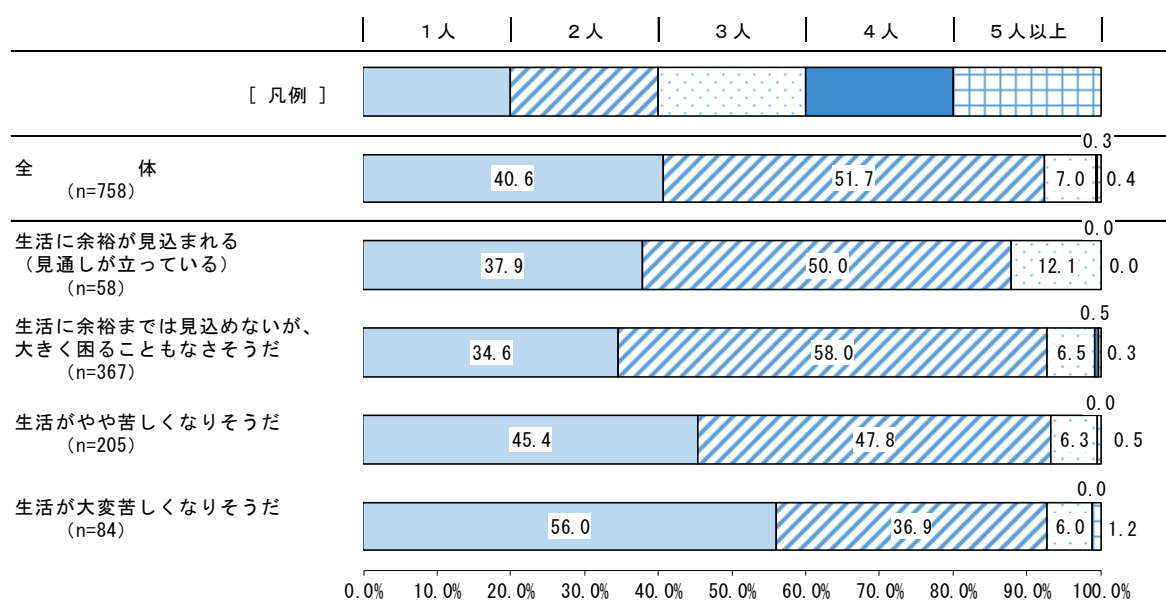
<今回調査>【図表 5-156 現実的に今後持つつもりの子どもの数】(現在の経済的な生活状況別)



注:「わからない」を除く

将来の生活の見込み別にみると、「1人」は『生活がやや苦しくなりそう』が45.4%、『生活が大変苦しくなりそう』が56.0%、「2人」は『生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそう』が58.0%、「3人」は『生活に余裕が見込まれる(見通しが立っている)』が12.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 5-157 理想的な子どもの数】(将来の生活の見込み別)

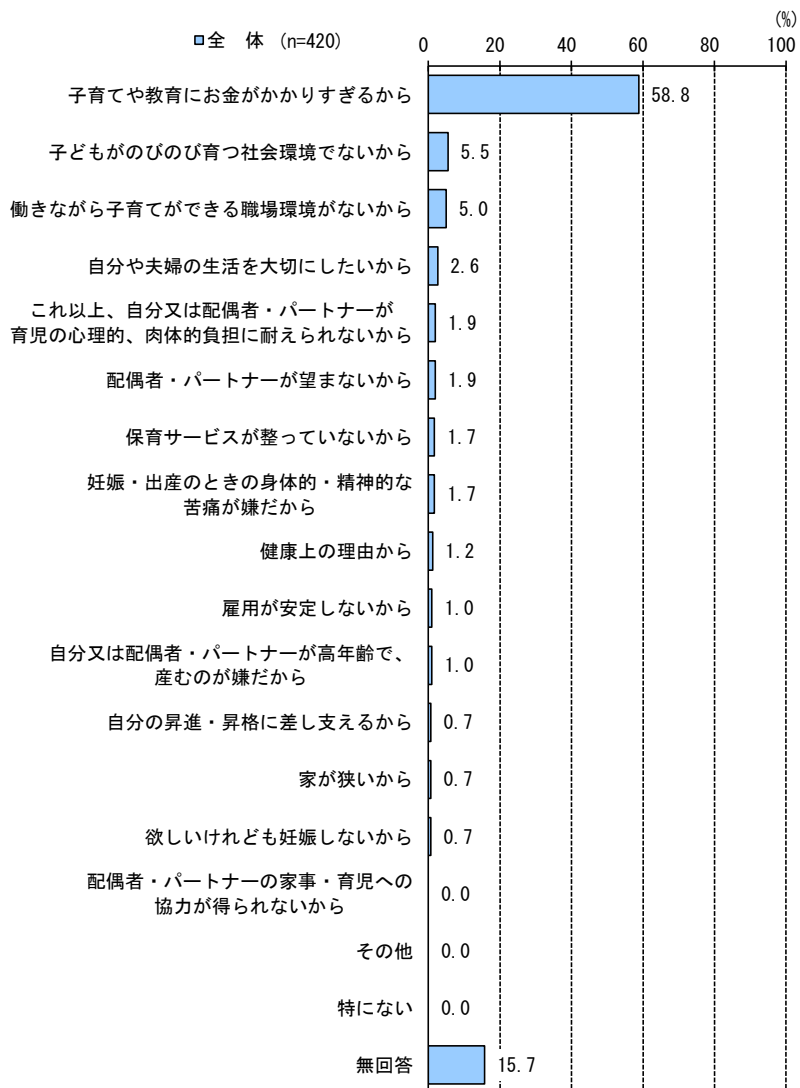


注:「わからない」を除く

① 今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない最も重要な理由
【問27-1】(SA)

今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方に、その理由で最も重要なものを聞いたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 58.8%で最も高く、次いで「子どもがのびのび育つ社会環境でないから」が 5.5%、「働きながら子育てができる職場環境がないから」が 5.0%となっている。

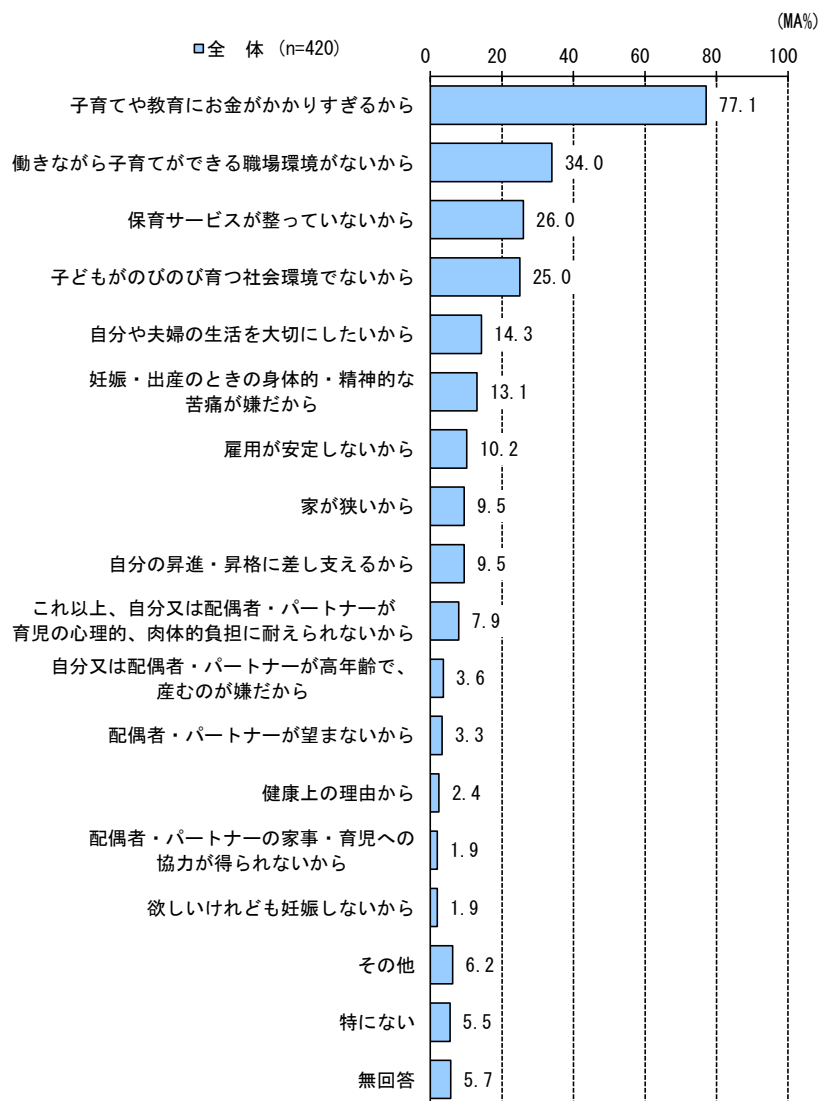
<今回調査>【図表 5-158 今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由：最も重要】



② 今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由【問27-1】
(MA)

今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 77.1%で最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境がないから」が 34.0%、「保育サービスが整っていないから」が 26.0%となっている。

＜今回調査＞【図表 5-159 今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（複数回答）】



使用した調査票

(1) 小学校入学前のお子さん(0～6歳)の保護者のみなさま

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見を参考に、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

回答する前にお読みください

- このアンケートは、無作為に選んだ、小学校入学前のお子さん(0～6歳)のいる世帯に送付しています。
- このアンケートは、封筒に記載されている宛名のお子さんについて、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 答えにくい質問や、答えたくない質問には、無回答のまま、次の質問にお進みください。
- このアンケート用紙を、同封の返信用封筒で返送してください。切手は不要です。

12 / 9 (月)

かいとうきげん
回答期限



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる0歳～6歳のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、対象のお子さん（封筒に記載されている宛名のお子さん）についてのみお答えください。回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

お子さんの幼児教育・保育に関することについておたずねします。

問1 対象のお子さん（以下「お子さん」と書きます。）が、平日の日中に主に利用している施設などについて、お答えください。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 公立保育所・認可保育所	2. 幼稚園
3. 認定こども園 (幼稚園機能のみ利用(短時間保育))	4. 幼稚園または認定こども園 (短時間保育) + 預かり保育
5. 認定こども園 (保育所機能を利用(長時間保育))	6. 地域型保育事業 ※1
7. 認可外保育施設 ※2	8. その他の施設やサービス ()
9. 保育所や幼稚園などの施設やサービスを利用していない	
- 「1」～「8」と回答した方は問3へ(2ページ)

※1 地域型保育事業…小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業を指します。

※2 認可外保育施設…川崎認定保育園、地域保育園、企業主導型保育事業等を指します。

【問2は、問1で「9」と回答した方のみ答えてください。】

問2 施設を利用していない理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- 育児休業中だから
- 幼稚園に入るまでは自分で育てたいから
- 小学校に入るまでは自分で育てたいから
- 利用を希望する施設の就労要件に該当しないから
- 利用を希望する施設の定員に空きがないから
- 利用を希望する施設が近くにないから
- 受け入れ体制などの理由により、利用可能な施設が近くにないから(例：医療的ケア児や障害児など)
- 保育所や幼稚園にかかる費用が高いから
- 希望する利用時間と合わないから
- 家族が子どもの面倒をみているから
- その他 ()

⇒問7(4ページ)に進んでください。

【問3～問6は、問1で「1」～「8」と回答した方のみ答えてください。】

問3 お子さんを施設などに預ける理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため
2. 幼稚園を利用したかったが、夏休みや教育時間（幼稚園の通常の預かり時間）前後などの預け先がなかったため
3. 保育所を利用したかったが、希望した園に入れなかったため
4. 子どもに幼児教育を受けさせたいため
5. 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため
6. 子どもに集団生活を経験させたいため
7. 小学校に入る前に、子どもに地域の友達をつくらせたいため
8. 幼児教育・保育の無償化が始まったため
9. その他（ ）

問4 お子さんが利用している施設などを選ぶ際に、重視した点をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 立地が良い（家から近い、通勤経路の途中に園があるなど）	2. きょうだい・仲の良い友達が通っている
3. 通園バスなど送迎サービスを利用できる	4. 保育や教育の方針・理念
5. 園庭があり、外でのびのびと遊べる	6. 園庭以外の園舎・建物や設備が充実している（広い・清潔など）
7. 施設の安全性や防犯・防災対策が十分に講じられている	8. 課外のプログラムが充実している（体操教室や英会話教室など）
9. 経験豊富な保育士などが勤務している	10. 食事面の対応が良い（給食の有無、食育、アレルギー対応など）
11. 障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子への対応が可能	12. 預けられる時間が長い
13. 受け入れ人数が多い（入所しやすい）	14. 利用料等の費用が安い
15. その他（ ）	16. 特にない

問5 お子さんが利用している施設などを選ぶ際に、情報が不十分だと感じたものはありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 園の保育方針や教育理念	2. 園庭の有無や園の様々な設備の情報
3. 防犯・防災対策	4. 保育・教育の内容・行事・課外プログラムなど
5. 園の職員体制に関すること(職員の経験年数や職員の人数など)	6. 給食や食育に関すること
7. 障害のある子や医療的ケアが必要な子への対応に関すること	8. 延長保育や幼稚園の預かり保育の実施状況
9. 年間で必要となる費用	10. 入所基準や選考方法に関すること
11. その他()	12. 知りたい情報は知ることができた

問6 あなたがその施設などを選ぶ際、(ア)～(カ)のいずれの方法により情報を得ましたか。また、活用した方法のそれぞれの情報量についてお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	情報量				活用していない
	十分だった	まあまあ十分だった	やや不十分だった	不十分だった	
(ア) 市・区役所の窓口・電話	1	2	3	4	5
(イ) 保育所・幼稚園など施設の窓口・電話	1	2	3	4	5
(ウ) 市・区役所のホームページ	1	2	3	4	5
(エ) 施設または運営団体のホームページ	1	2	3	4	5
(オ) 市・区役所発行のガイドブックやリーフレット	1	2	3	4	5
(カ) 施設または運営団体が作成している案内やリーフレットなど	1	2	3	4	5

【ここからは全員の方が答えてください。】

お子さんの日常生活についておたずねします。

問7 あなたを含む保護者とお子さんの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにち毎日している	しゅう週 5・6日 ていど程度している	しゅう週 3・4日 ていど程度している	しゅう週 1・2日 ていど程度している	していない
(ア) 絵本の読み聞かせをしている	1	2	3	4	5
(イ) 家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする	1	2	3	4	5
(ウ) 朝食と一緒に食べている	1	2	3	4	5
(エ) 夕食と一緒に食べている	1	2	3	4	5

お子さんの将来に関することについておたずねします。

問8 あなたは、お子さんの小学校の入学に向けて、不安なことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- 子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか
- 子どもが授業についていけるか
- 子どもが集団生活に馴染めるか
- 子どもがいじめに遭わないか
- 通学路の安全対策
- 子どもの放課後の居場所
- 子どもの長期休み期間中の居場所
- 子どもの登校時間に合わせて保護者の出勤時間を調整できるか
- 病気の時など、急を要するときの子どもの預かり場所
- 子育てと仕事の両立ができるか
- 学費や教材費などが払えるか
- その他 ()
- 特にない

問9 あなたは、(ア)～(オ)のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう おも 思わない	そう思わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事 につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても 生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 努力すれば夢や希望は かなえられると思う	1	2	3	4
(エ) 子どもが希望する学校への 進学や、仕事への就労がで きるか不安だ	1	2	3	4
(オ) 子どもには少しでも 早く働いて欲しいと思う	1	2	3	4

あなたの日常生活に関することについておたずねします。

問10 あなたには、お子さんの子育てにおいて、ふだん協力してくれる方はいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ ここでは、ふだん、お子さんのお世話や困ったときに預かってくれるなど、あなた以外の方で育児に協力してくれる方をお答えください。

1. 子どもの親（あなたの配偶者・パートナー）	2. 子どもの祖父母
3. 子どもの兄弟姉妹	4. 1、2、3以外の親戚
5. 友人・知人（近所の人や職場の人など含む）	6. いない（配偶者が忙しくて1人で育児をしている場合など含む）
7. その他（ ）	

問 1 1 あなたは、この 1 か月間^{げつかん}で、近所^{きんじょ}の人と次^{つぎ}のような交 流^{こうりゅう}はありましたか。

(あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。)

※ 2～5の選択肢^{せんたくし}については、「1 以外の近所^{きんじょ}に住む人^{す ひと}」で、お 考 えてください。

1. 子どもの保育所^{ほいくしよ}や幼稚園^{ようちえん}、習い事^{なう ごと}などで付き合いのある人^{ひと}（いわゆるママ友^{ママとも}・パパ友^{パパとも}）の家^{いえ}をおとずれたり、連絡^{れんらく}を取り合^あったりした（親族^{しんぞく}は除^{のぞ}く）
2. 特^{とく}に用事^{ようじ}がなくても話^{はな}すことがあった
3. 町内会^{ちやうないかい}などの用事^{ようじ}があったときに話^{はな}した
4. 玄関先^{げんかんさき}など、出先^{で さき}で会^あった時^{とき}に挨拶^{あいさつ}をした
5. その他^た（ ）
6. まったく付^つき合^あっていない

問 1 2 あなたは、この 1 年間^{ねんかん}において、a～c のことについて、だれに相談^{そうだん}しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。)

a 子育て^{こ そだ}に関する相談^{かん そうだん}

※お子^こさんの発育^{はついく}・発達^{はったつ}や食事^{しょくじ}に関すること、子育て^{こ そだ}に関する制度^{せいど}の内容^{ないよう}など、子育て^{こ そだ}全般^{ぜんぱん}について、相談^{そうだん}した先^{さき}をお答^{こた}えください。

1. 家族^{かぞく}・親族^{しんぞく}
2. 友人^{ゆうじん}・知人^{ちじん}（職場^{しよくば}の人^{ひと}など含む^{ふく}）
3. 近所^{きんじょ}の人^{ひと}
4. 相談^{そうだん}・支援機関^{しえんきかん}（市役所^{しやくしよ}や区役所^{くやくしよ}の職員^{しよくいん}など）や保育所^{ほいくしよ}・幼稚園^{ようちえん}などの施設^{しせつ}の職員^{しよくいん}
5. 民生委員^{みんせいいいいん}・児童委員^{じどういいいん}
6. その他の人^{た ひと}（ ）
7. 相談^{そうだん}することはなかった（だれに相談^{そうだん}したらいいかわからなかった）
8. 相談^{そうだん}することはなかった（必要^{ひつよう}を感じ^{かん}じなかった）

b いざという時のお金の援助相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や保育所・幼稚園などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

c 「a」、「b」以外の重要な事柄の相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や保育所・幼稚園などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

あなたの気持ちについておたずねします。

問 1 3 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。

(それぞれ、あてはまる番号1 つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まったく ない
(ア) 子どもを育てるのは楽しくて しあわせなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤独感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起 こっても気が晴れないように 感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと 感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間 だと感じた	1	2	3	4	5

子育てや生活の悩みについておたずねします。

問 1 4 あなたは、現在、ご自身の生活に関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関すること
2. 自分または配偶者の仕事に関すること
3. 自分の体調（病気や障害など）に関すること
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関すること
5. 対人関係に関すること（相談相手がいないなど）
6. 自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること
7. その他（ ）
8. 特に悩みはない

問 1 5 あなたは、現在、お子さんのことや子育てに関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもの生活習慣や発達、体調に関すること ⇒問 1 6 へ（次のページ）
 2. 子育て環境に関すること（例：遊ぶ場所、子育ての相談先、地域との関わりなど） ⇒問 1 7 へ（次のページ）
 3. 子どもの友人関係に関すること
 4. 子どもの障害に関すること
 5. 子育てに必要な費用に関すること
 6. 子どもとの関わり方に関すること（例：子どもにどのように接したらいいかわからないなど）
 7. その他（ ）
 8. 特に悩みはない
- ⇒「1」と「2」を選択しなかった方は問 1 8 へ（11 ページ）

【問15で「1」と回答した方のみ答えてください。】

問16 あなたは、現在、お子さんの生活習慣や発達、体調について、どのような心配ごとや悩みごとがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもに^こ基本的な生活習慣^{きほんてんき}（あいさつ、規則正しい^{せいぎつただ}食生活^{しょくせいかつ}、整理・整頓^{せいりせいとん}など）が身^みについていない
2. 子どもに与^{あた}える食事^{しょくじ}のこと（例：子どもがご飯^{はん}や離乳食^{りゅうしょく}を食^たべない、母乳^{ほにゅう}やミルク^のを飲^のまない、栄養^{えいよう}バランス^が偏^{かたよ}っているなど）
3. 子ども^この発育^{はついく}が遅^{おそ}い（例：体^{れい}の大きさが小^{からだ}さい、体^お重^{ちい}が増^{たいじゅう}えないなど）
4. きちん^{はつたつ}と発達^{はつたつ}しているのかがわからない（例：歩^{れい}かない、しゃべ^{ある}らないなど）
5. 子ども^この問題行動^{もんだいこうどう}（例：暴^{れい}力^{ぼうりょく}を振^ふるう・すぐ^{あば}に暴^{あば}れるなど）
6. 子ども^こが何事^{なにごと}に対^{たい}しても消極^{しょうきよく}的にみえる
7. 子ども^こが病気^{びょうき}がちである（例：体^{れい}調^{たいちよう}がすぐ^{れい}れない）
8. 発達^{はつたつ}が遅^{おそ}れていると指摘^{してま}をされた
9. 子ども^こが集^{しゅう}団^{だん}生活^{せいかつ}になじめない
10. その他（^た）

【問15で「2」と回答した方のみ答えてください。】

問 17 あなたは、お子さんの子育て環境について、どのような心配ごとや悩みごとがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ないまたは子どもが遊ぶ場所が少ない（例：公園など）
2. 子どもが自然体験をできる場が少ない
3. 子どもを同年代の子どもと遊ばせるきっかけがない
4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない
5. ちょっとしたことを気軽に相談できる場が少ない
6. 交流したり助け合える友達や知人がいない
7. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない
8. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である
9. その他（ ）

【ここからは全員の方が答えてください。】

本市の子育て支援に関する情報についておたずねします。

問18 あなたは、この1年間において、本市の子育て支援に関する情報を、(ア)～(ス)の方法で、十分に得ることができましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	十分 得られた	まあまあ 得られた	あまり 得られな かった	ほとんど 得られな かった	利用して いない
(ア) 家族・親戚	1	2	3	4	5
(イ) 友人・知人	1	2	3	4	5
(ウ) 市政だより	1	2	3	4	5
(エ) 市・区が発行しているガイ ドブック	1	2	3	4	5
(オ) 市や区のホームページ	1	2	3	4	5
(カ) かわさき子育てアプリ	1	2	3	4	5
(キ) 市が発信するメールマガ ジン、SNS(X(旧 Twitter)、Facebook) など	1	2	3	4	5
(ク) 保育所・幼稚園など	1	2	3	4	5
(ケ) 区役所の窓口や電話での 相談・問合せ	1	2	3	4	5
(コ) 民間団体(施設)のホーム ページ、個人のブログやS NSなど	1	2	3	4	5
(サ) 保育所・幼稚園などを除 く施設(地域子育て支援セ ンター、こども文化センタ ーなど)	1	2	3	4	5
(シ) その他①()	1	2	3	4	5
(ス) その他②()	1	2	3	4	5

宛名のお子さんのことについておたずねします。

問 19 お子さんの生年月・性別をお答えください。

(ア) 生年月	西暦	年	月
(イ) 性別	1. 男性 2. 女性		

問 20 お子さんは、障害などがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- ※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害を有する方、あるいは身体障害者手帳を所有している方が該当します。
- ※「知的障害」とは、知能検査等の結果等によって、知的障害の判定を受けた方、あるいは療育手帳を所有している方が該当します。
- ※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害などが該当します。
- ※「精神障害」とは、自立支援医療（精神通院医療）を受給している方や、統合失調症、精神障害その他の精神疾患等のある方、あるいは精神保健福祉手帳を所有している方が該当します。
- ※「その他」（難病など）とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」の対象となる難病などが該当します。

1. 特にない	2. 身体障害
3. 知的障害	4. 発達障害
5. 精神障害	6. その他（難病など）
7. わからない	

あなたとご家族に関することについておたずねします。

問 21 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 母親（継母を含む）	2. 父親（継父を含む）
3. 祖父母	4. その他（ ）

問 2 2 あなたの現在の住まいの地区について、教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問 2 3 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～20年未満	6. 20年以上

問 2 4 お子さんと同居している親の現在の婚姻状況を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚している(事実婚含む)	2. 離婚	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚	6. いない・わからない

問 2 5 お子さんと同居しているご家族の人数(あなたを含む)を教えてください。そのうち、子どもの人数(宛名のお子さん含む)を教えてください。

※ 単身赴任中や長期入院中の方などは、含めないでください。

家族の人数 (あなたを含む)	うち	小学生未満のお子さん (宛名のお子さん含む)	小学生以上18歳未満 のお子さん
	⇒		

問 2 6 お子さんと同居しているご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか(あなたを含む)。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 母親(継母含む)	2. 父親(継父含む)
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他()	

問27 あなたは、(あなた、またはあなたの配偶者が現在妊娠中の場合は、妊娠中の子ども以外に)、
今後、新たに1人以上、子どもがほしいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. はい ⇒問29へ

2. いいえ ⇒問28へ

【問27で「2」と回答した方のみ答えてください。】

問28 その理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子育てのためのお金がないため
2. 残業が多いなど、仕事が忙しいため
3. 保育所に入れないなど、仕事と子育てを両立できないため
4. 子育てと仕事の両立で心身の負担が大きい
5. 周囲に子育てを助けてくれる人がいないため
6. 今の子育てで手がいっぱい、これ以上、子育てに時間が割けないため
7. 自分たちの老後や将来に不安があるため
8. その他 ()
9. 特に理由はない

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたとご家族に関することについておたずねします。

問29 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)は、次のうちどれですか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学(中学部)まで	1. 中学(中学部)まで
2. 高校(高等部)まで	2. 高校(高等部)まで
3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで	3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問30 お子さんの親の就労状況をお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む)	4. 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む)
5. 働いていない(専業主婦) ⇒ 問31へ	5. 働いていない(専業主夫) ⇒ 問31へ
6. いない、わからない ⇒ 「1」～「4」、「6」と回答した方は問32へ(次のページ)	6. いない、わからない ⇒ 「1」～「4」、「6」と回答した方は問32へ(次のページ)

【問30で「5」と回答した方のみ】

問31 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため	2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため	3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため	4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため	5. 通学しているため
6. 経済的に働く必要がないため	6. 経済的に働く必要がないため
7. その他の理由 ()	7. その他の理由 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問32 前年（令和5年1月～12月までの1年間）のあなたの世帯全体の収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	
21. 1,000～1,500万円未満	22. 1,500～2,000万円未満	23. 2,000万円以上

問33 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、（ア）～（ク）の料金が未払いになったことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
（ア）家賃・住宅ローン	1	2	3	4
（イ）電気料金	1	2	3	4
（ウ）ガス料金	1	2	3	4
（エ）水道料金	1	2	3	4
（オ）電話料金（携帯電話含む）	1	2	3	4
（カ）幼稚園や保育所の料金	1	2	3	4
（キ）税金や保険料	1	2	3	4
（ク）その他の借金	1	2	3	4

問34 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服・くつ(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが保育所や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問35 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(エ)の支援制度を利用したことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	現在利用している/利用したことがある	利用していない理由					わからない
		制度の対象外	利用できるが利用したくない	利用したいが内容を知らない	利用したいが利用手続きを知らない	説明を受けたいがよくわからなかった	
(ア) 生活保護 ※	1	2	3	4	5	6	7
(イ) だいのJOBセンター(生活困窮者の自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 児童扶養手当(ひとり親家庭などへの手当) ※ * 児童手当ではありません。	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 川崎市母子・父子福祉センター(母子家庭等就業・自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

※児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

アンケートは以上になります。

ご協力ありがとうございました。

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見を参考に、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

回答する前にお読みください

- このアンケートは、無作為に選んだ、小学校に通う2年生のお子さんのいる世帯に送付しています。
- このアンケートは、封筒に記載されている宛名のお子さん
のこについて、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 回答は、WEBフォームまたは、このアンケート用紙でお願いします。
WEBフォームから回答する場合は、下記のURL または二次元コードを読み取ってください。

12/9 (月)
かいとう きげん
回答期限

ID	パスワード	二次元コード
URL		

- 紙のアンケート用紙で回答する場合は、ご記入いただいたアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学校2年生のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、**対象のお子さん（封筒に記載されている宛名のお子さん）についてのみ**お答えください。回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

お子さんの日常生活・学校生活についておたずねします。

問1 この1か月間の、お子さんの生活習慣について、お答えください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
(ア) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
(イ) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
(ウ) 毎日、朝ごはんを食べる	1	2	3	4	5
(エ) 毎日、食後に歯を磨く	1	2	3	4	5
(オ) 毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
(カ) 身の回りを整理整頓する	1	2	3	4	5
(キ) 挨拶をきちんとする	1	2	3	4	5
(ク) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
(ケ) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問2 この1週間で、お子さんだけで食事をする事がどれくらいありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにちかそく 毎日家族と 一緒	しゅう 週に1、 2日は子 どもだけ	しゅう 週に3、 4日は子 どもだけ	しゅう 週に5、 6日は子 どもだけ	まいにちこ 毎日子ども だけ	ちようしよく 朝食・ ゆうしよくじたい 夕食自体 を ほとんど食 べなかった
(ア) ちようしよく 朝食	1	2	3	4	5	6
(イ) ゆうしよく 夕食	1	2	3	4	5	6

【問2の(ア)、(イ)で、1つでも、2、3、4、5、6と回答した方のみ答えてください。】

問2-1 その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. おや おとな しごと いそが 親(大人)が仕事などで忙しくて、 食事の時間に家にいなかったから	2. おや おとな しごと いそが 親(大人)が仕事などで忙しくて、用意 できなかったから
3. おや おとな びようき 親(大人)が病気などにより、用意 できなかったから	4. こどもがあさお 子どもが朝起きられなかったから
5. こどもがよるならごと 子どもが夜に習い事などがあり、家族 より早く、または遅く夕食を食べる必要が あったから	6. おかね お金がなかったから
7. わからない	8. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問3 お子さんは、この1か月間で、放課後(授業が終わった後)から夜にかけて、だれと、どこに
いることが多かったですか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごしたか

- | |
|--|
| 1. かそく そふほ しん
家族(祖父母、親せきなど含む) |
| 2. じゅく ならごと せんせい
塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなどの施設の職員 |
| 3. きんじょ ひと かそくいがい おとな
近所の人など、家族以外の大人 |
| 4. がっこう ともだち
学校の友達(クラブ活動・委員会活動を含む) |
| 5. きんじょ ともだち
近所の友達など、学校以外の友達 |
| 6. その他の人 () |
| 7. ひとり
一人でいる |
| 8. わからない |

b どこで過^すごしたか

1. 自 ^じ 分 ^{ぶん} の家 ^{いえ} ・祖 ^そ 父 ^ふ 母 ^ぼ や親 ^{しん} せき ^{せき} の家 ^{いえ}	2. 友 ^{とも} 達 ^{だち} の家 ^{いえ}
3. 塾 ^{じゅく} や習 ^{なら} い事 ^{ごと} (スポ ^き ーツ ^{やう} の教 ^き 室 ^{しつ} な ^な ど含 ^ふ む)	4. こども文 ^{ぶん} 化 ^か セ ^さ ン ^た ー
5. 公 ^{こう} 園 ^{えん}	6. ゲ ^げ ー ^も ム ^せ ン ^た ー
7. 学 ^が 校 ^{っこう} (ク ^か ラ ^ぶ 活 ^{かつ} 動 ^{どう} ・委 ^い 員 ^{いん} 会 ^{かい} 活 ^{かつ} 動 ^{どう} を ^ふ く含 ^ふ む)	8. わ ^わ く ^わ く ^ぷ ラ ^ざ
9. 図 ^と 書 ^{しょ} 館 ^{かん}	10. 商 ^{しょう} 店 ^{てん} 街 ^{がい} ・シ ^し ョ ^う ッ ^{てん} ピ ^ん グ ^が モ ^う ー ^る ル
11. 近 ^{きん} 所 ^{じょ} の ^{ひと} 人 ^{ひと} など、家 ^か 族 ^{そく} 以 ^い 外 ^{がい} の ^お 大 ^{とな} 人 ^い の家 ^え	12. わ ^わ か ^か ら ^ら な ^{ない} い
13. そ ^そ の ^た 他 ^た ()	

問^{とい} 4 お^こ子^こさん^{さん}は、不^ふ登^{とう}校^{こう}の^{けい}経^{けん}験^{けん}が^があ^あり^りま^ます^すか^か。(あ^あて^ては^はま^まる^る番^{ばん}号^{ごう}1¹つ^つに^に〇^〇を^をつ^つけ^けて^てく^くだ^ださ^さい。)

- | |
|--|
| 1. 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 経 ^{けん} 験 ^{けん} は ^は な ^{ない} い |
| 2. 過 ^か 去 ^こ に ^ふ 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 経 ^{けん} 験 ^{けん} が ^が あ ^あ る |
| 3. 現 ^{げん} 在 ^{ざい} 、不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} で ^で あ ^あ る |

お子さんとの関わり方についておたずねします。

問5 これまでの、あなたとお子さんとの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない
(ア) お子さんが小さいころ(小学校2年生まで)、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
(ウ) お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
(エ) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
(オ) 進学先や将来の仕事のことについて話をしている	1	2	3	4
(カ) お小遣いの使い方やお金のことについて話をしている	1	2	3	4

問6 この1か月間、あなたのご家庭では、お子さんと一緒に（ア）～（オ）のようなことをしましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	ほぼ毎日 まいにち	週 3～4 日 しゅう 3～4 にち	週 1～2 日 しゅう 1～2 にち	つき 1～3 日 つき 1～3 にち	まったく しなかった
（ア）子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ	1	2	3	4	5
（イ）宿題など、子どもの勉強を見た	1	2	3	4	5
（ウ）子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ	1	2	3	4	5
（エ）子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした	1	2	3	4	5
（オ）料理など、子どもと一緒に家事をした	1	2	3	4	5

問7 あなたのご家庭では、この1年間でお子さんのために、（ア）～（キ）のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

	している	していない（あてはまるものすべて）			
		する ひつよう 必要が ない	いそが 忙しく てでき ない	けいざいてき 経済的 にでき ない	その他 （自由記載）
（ア）子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる	1	2	3	4	
（イ）子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）	1	2	3	4	
（ウ）家族旅行に行く	1	2	3	4	
（エ）子どもの誕生日には、お祝いをする	1	2	3	4	
（オ）クリスマスプレゼントやお年玉を渡す	1	2	3	4	
（カ）子どもに毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4	
（キ）子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる	1	2	3	4	

問8 あなたは、お子さんの学校の行事などに、これまでにどの程度参加しましたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	つね さんか 常に参加 している	ときどき さんか ときどき参加 している	あまり さんか あまり参加 していない	まったく さんか まったく参加 していない
(ア) じゅぎょうさんかん うんどうかい がっこうぎょうじ の参加	1	2	3	4
(イ) かつどう ほごしゃかい ほうかごくしゅう PTA活動や保護者会、放課後学 支援などのボランティアなどへの さんか 参加	1	2	3	4

お子さんの将来についておたずねします。

問9 お子さんについて、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. ちゅうがっこう 中学校まで	2. こうこう 高校まで
3. たんだい こうせん せんもんがっこう 短大・高専・専門学校まで	4. だいがく いじょう 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問10 お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. ちゅうがっこう 中学校まで	2. こうこう 高校まで
3. たんだい こうせん せんもんがっこう 短大・高専・専門学校まで	4. だいがく いじょう 大学またはそれ以上
5. まだわからない	⇒問12へ (次のページ)

⇒「1」～「4」と回答した方は問11へ

【問10で、1、2、3、4と回答した方のみ答えてください。】

問11 その理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. こ どもが きぼう 希望しているから	2. いっぱんてき しんろ おも 一般的な進路だと思うから
3. こ どもの がくりよく かんが 子どもの学力から考えて	4. かてい けいざいてき じょうきょう かんが 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他 ()	6. とく りゆう 特に理由はない

【ここからは全員の方が答えてください。】

問12 お子さんの就職について、どのように考えていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 大手企業に就職してほしい
2. 中小・零細企業に就職してほしい
3. 就職は正社員でなくて、アルバイト・パート・非常勤職員でもよい
4. 公務員(教員を除く)になってほしい
5. 資格の必要な仕事(教員、保育士、医師、看護師、弁護士など)についてほしい
6. 起業してほしい
7. 家業を継いでほしい
8. 本人が希望すれば何でもよい
9. 就職しなくてもよい
10. その他()

問13 あなたは、(ア)～(オ)のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう <u>思</u> う	まあそう <u>思</u> う	あまりそう おもう 思わない	そう <u>思</u> わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4
(エ) 努力すれば夢や希望はかなえられると思う	1	2	3	4
(オ) 子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う	1	2	3	4

あなたの日常生活についておたずねします。

問14 あなたは、この1か月間で、近所の人と次のような交流はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 2～5の選択肢については、1以外の近所に住む人で、お考えください。

1. 子どもの学校や習い事などで付き合いのある人（いわゆるママ友・パパ友）の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした（親族は除く）
2. 特に用事がなくても話すことがあった
3. 町内会などの用事があったときに話した
4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした
5. その他（ ）
6. まったく付き合いがない

問15 あなたは、この1年間において、a～cのことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ 宛名のお子さんの発育・発達や食事に関すること、子育てに関する制度の内容など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

b いざという時の^{とき}お金^{かね}の援助^{えんじょ}相談^{そうだん}

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

c 「a」、「b」以外の重要な事柄^{じやうよう ことばら}の相談^{そうだん}

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

あなたの気持ちについておたずねします。

問 16 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まったく ない
(ア) 子どもの育てるのは楽しくて 幸せなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤独感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起こっても 気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

子育てや生活の悩みについておたずねします。

問 17 あなたは、現在、ご自身の生活に関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関すること
2. 自分または配偶者の仕事に関すること
3. 自分の体調（病気や障害など）に関すること
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関すること
5. 対人関係に関すること（相談相手がいないなど）
6. 自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること
7. その他（）
8. 特に悩みはない

問 18 あなたは、現在、お子さんに関することで、心配ごとや悩みごとがありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもの生活習慣や発達、体調に関する事	⇒問18-1へ
2. 学習・進学・受験に関する事	⇒問18-2へ
3. 友人関係に関する事	
4. 障害に関する事	
5. 塾や習い事など学校以外の活動に関する事	
6. 異性関係に関する事	
7. その他 ()	
8. 特に悩みはない ⇒「1」と「2」を選択しなかった方は問19へ(次のページ)	

【問18で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 18-1 あなたは、お子さんの生活習慣や発達、体調に関して、心配ごとや悩みごとがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | |
|---|
| 1. 基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身についていない |
| 2. 反抗的な態度や問題行動が心配である |
| 3. 何事に対しても消極的にみえる、やる気がない |
| 4. 病気がちである(体調がすぐれない) |
| 5. 自立した生活ができるか心配である |
| 6. 学校などの集団生活になじめていない |
| 7. その他 () |

【問18で、「2」と回答した方のみ答えてください。】

問 18-2 あなたは、お子さんの学習・進学・受験に関して、心配ごとや悩みごとがありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 勉強しない |
| 2. 授業についていけない、またはついていけないか心配である |
| 3. 進学や受験のことが心配である |
| 4. 教育費のことが心配である |
| 5. 不登校のことが心配である |
| 6. 就職のことが心配である |
| 7. その他 () |

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問 19 あなたは、現在、子育てに関することで、心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子育て環境に関すること (例：放課後の居場所・緊急時の預け先など) ⇒ 問19-1へ

2. 子どもとの関わり方に関すること (例：思春期の子どもとの関わり方など)

3. 子育てに必要な費用に関すること

4. その他 ()

5. 特に悩みはない

⇒ 「2」～「5」のみを回答した方は問20へ (次のページ)

【問19で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 19-1 子育て環境に関することについて、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ない、または子どもが遊ぶ場所が少ない (例：公園など)

2. 子どもが自然体験をできる場が少ない

3. 同年代以外の子どもや若者と遊ぶ・交流する機会がない

4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない

5. ちょっとしたことを気軽に相談できる場が少ない

6. 交流したり助け合える友達や知人がいない

7. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない

8. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である

9. 子どもの放課後の居場所がない

10. 子どもの長期休み期間中の居場所がない

11. 子どもの登校時間に合わせて保護者の出勤時間を調整することが難しい

12. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

お子さんのことについておたずねします。

問20 お子さんは、障害などがありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

- ※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害を有する方、あるいは身体障害者手帳を所有している方が該当します。
- ※「知的障害」とは、知能検査等の結果等によって、知的障害の判定を受けた方、あるいは療育手帳を所有している方が該当します。
- ※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害などが該当します。
- ※「精神障害」とは、自立支援医療（精神通院医療）を受給している方や、統合失調症、精神病質その他の精神疾患等のある方、あるいは精神保健福祉手帳を所有している方が該当します。
- ※「その他」（難病など）とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」の対象となる難病などが該当します。

1. 特にない	2. 身体障害
3. 知的障害	4. 発達障害
5. 精神障害	6. その他（難病など）
7. わからない	

問21 お子さんが0～5歳の間に、最も長く通っていた施設などをお答えください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

(ア) 0～2歳	(イ) 3～5歳
1. 認可保育所・認定こども園	1. 認可保育所・認定こども園
2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかもみま保育室など)	2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかもみま保育室など)
3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた	3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた
4. 主に親や親族が面倒をみていた	4. 主に親や親族が面倒をみていた

あなたと、ご家族に関することについておたずねします。

問22 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 母親 (継母を含む)	2. 父親 (継父を含む)
3. 祖父母	4. その他 ()

問23 あなたが現在、お住まいの地区について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問24 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～20年未満	6. 20年以上

問25 お子さんと同居している親の現在の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚している (事実婚含む)	2. 離婚	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚	6. いない・わからない

問26 お子さんと同居しているご家族の人数 (あなたを含む) を教えてください。そのうち、子ども^この人数 (お子さん含む) を教えてください。

※ 単身赴任中や長期入院中の方などは、含めないでください。

かぞく にんずう 家族の人数 (あなたを含む)	うち	しょうがくせいみまん こ 小学生未満の子ども	しょうがくせいじゅう さいみまん 小学生以上18歳未満 の子ども (宛名のお子さん含む)
	⇒		
人		人	人

問 27 お子さんと同居しているご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか（あなたを含む）。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 母親（継母含む）	2. 父親（継父含む）
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他（ ）	

問 28 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は、次のうちどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学（中学部）まで	1. 中学（中学部）まで
2. 高校（高等部）まで	2. 高校（高等部）まで
3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問 29 お子さんの親の就労状況をお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）	4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）
5. 働いていない（専業主婦）	5. 働いていない（専業主夫）
6. いない、わからない	6. いない、わからない
⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）	⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）

→ 「5」と回答した方は問29-1へ（次のページ）

【問29で「5」と回答した方のみ答えてください。】

問29-1 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 6. その他の理由 ()	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 6. その他の理由 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問30 前年（令和5年1月～12月までの1年間）のあなたの世帯全体の収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	
21. 1,000～1,500万円未満	22. 1,500～2,000万円未満	23. 2,000万円以上

問3 1 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(ク)の料金等が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローン	1	2	3	4
(イ) 電気料金	1	2	3	4
(ウ) ガス料金	1	2	3	4
(エ) 水道料金	1	2	3	4
(オ) 電話料金(携帯電話含む)	1	2	3	4
(カ) 幼稚園や保育所の料金	1	2	3	4
(キ) 税金や保険料	1	2	3	4
(ク) その他の借金	1	2	3	4

問3 2 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服・くつ(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問33 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(オ)の支援制度を利用したことがありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	げんざいりよう 現在利用 している /利用した ことがある	りよう 利用していない理由					わからない
		せいど 制度の たいしょうがい 対象外	りよう 利用できる が利用 したいと おもわない	りよう 利用したい が内容を 知らない	りよう 利用したい が利用 てつづ 手続きを 知らない	せつめい 説明を受け たが、よく わから なかった	
(ア) 就学援助 ※	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 生活保護 ※	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) だいJOBセンター (生活困窮者の じりつしえんまどぐち 自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 児童扶養手当(ひと り親家庭などへの てあて 手当) ※ *児童手当ではありません。	1	2	3	4	5	6	7
(オ) かわさきしほしふし 福祉センター(母子 かていとうしゅうぎょう 家庭等就業・ じりつしえん 自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度

※生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

※児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

アンケートは以上になります。

ご協力ありがとうございました。

(3) 小学校5年生のみなさん

アンケート用紙

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市内在住の小学校5年生のみなさんの、学校や家での生活の様子などについてたずねるものです。

ぜひアンケートにご協力ください。

回答する前にお読みください

12 / 9 (月)

かいとうきげん
回答期限

1. 質問には、自分で答えてください。

保護者の方に回答を見せる必要はありません。

2. 名前を書く必要はありません。あなた個人を特定する

ものではありませんので、安心して答えてください。

3. 答えられない質問や、答えたくない質問には、答える必要はありません。

4. 回答は、WEB フォームまたは、このアンケート用紙でお願いします。

WEB フォームから回答する場合は、下記の URL または二次元コードを読み取ってください。

ID

パスワード

二次元コード

URL

5. 紙のアンケート用紙で回答する場合は、このアンケート用紙は、同封の返信用封筒

に入れ、他の人に見られないように封をして、保護者の方に渡してください。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別と住んでいる場所を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

性 別	1. 男性	2. 女性	3. 選べない・答えたくない	
住んでいる場所	1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
	5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

学校での生活や勉強のことについておたずねします。

問2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. いつもわかる	問4へ
2. だいたいわかる	
3. 教科によってはわからないことがある	問3へ
4. わからないことが多い	
5. ほとんどわからない	

【問2で、3、4、5と回答した方のみ答えてください。】

問3 いつごろから授業がわからないと思うようになりましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 小学校1・2年生のころ	2. 小学校3年生のころ
3. 小学校4年生のころ	4. 小学校5年生になってから

【ここからは全員の方が答えてください。】

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分で勉強する	2. 塾で勉強する(有料)
3. 学校の補習を受ける	4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する(地域の寺子屋・わくわく学習会など)	6. 家の人に教えてもらう
7. 友達と勉強する	8. こども文化センターで勉強する
9. わくわくプラザで勉強する	10. 学校の授業以外では勉強しない
11. その他()	

問5 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強していますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	30分より 少ない	まったく しない
(ア) 学校がある日 (月～金)	1	2	3	4	5	6
(イ) 学校がない日 (土・日・ 祝日)	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、将来どの段階まで学校に行きたいですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問7 問6の回答を選んだ理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 希望する学校や職業があるから	2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから	4. 親がそうしているから
5. 兄・姉がそうしているから	6. まわりの友達がそうしているから
7. 家にお金がないと思うから	8. 早く働く必要があるから
9. その他 ()	10. 特に理由はない

問8 あなたは、将来の夢や、つきたい職業がありますか。

1. ある ⇒問9へ

2. ない ⇒問8-1へ

【問8で、2と回答した方のみ答えてください。】

問8-1 将来の夢や、つきたい職業がない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 将来の夢や職業について考えたことがないから
2. どうやって考えたらよいかわからないから
3. どのような職業があるか知らないから
4. 自分のやりたいことがわからないから
5. 自分の得意なことがわからないから
6. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたのふだんの生活についておたずねします。

問9 この1週間を振り返って、あなたは、毎日、食事をしましたか。また、今年の夏休みはお昼ごはんを毎日食べていましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにち た 毎日食べた	しゅう 週に5、6日 は食べた	しゅう 週に3、4日 は食べた	しゅう 週に1、2日 は食べた	た 食べなかった
(ア) 朝ごはん	1	2	3	4	5
(イ) 夕ごはん	1	2	3	4	5
(ウ) 夏休みのお昼 ごはん	1	2	3	4	5

問10へ (次のページ)

問9-1へ

【問9の(ア)～(ウ)で、1つでも、2、3、4、5と回答した方のみ答えてください。】

問9-1 ごはんを食べなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (朝・夕) ごはんを食べる習慣がないから
2. 朝起きられないなど、食べる時間がなかったから
3. 親に用意してもらえなかったから
4. その他 ()
5. わからない

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問10 あなたは、今までに次の（ア）～（エ）のような場所を利用したことがありますか。
（利用状況と利用希望について、それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	＜利用状況＞			＜利用希望＞	
	利用している	利用したことがある	利用したことがない	利用したい	利用したくない
（ア）自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）	1	2	3	1	2
（イ）自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	1	2
（ウ）学校以外で、勉強を無料でみしてくれる場所	1	2	3	1	2
（エ）自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）	1	2	3	1	2

問11 問10で回答した場所を利用したことで、次のような変化はありましたか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 友達が増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	8. 勉強する習慣が身についてきた
9. その他（ ）	10. 特に変化はない
11. どれも利用したことがない	

問 1 2 あなたは、放課後に過ごす場所にどのようなことを希望しますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい
2. 友達と気軽に集まれるようにしてほしい
3. 勉強できるスペースがほしい
4. 飲食できるスペースがほしい
5. ボール遊びなどの運動がしたい
6. 楽しいイベントや講座を開いてほしい
7. 悩みなどを相談できる大人がいてほしい
8. 遊びを教えてくれる大人がいてほしい
9. その他 ()
10. 特に望むことはない

問 1 3 あなたは、この1か月間で、放課後、だれと、どこにいたことが多かったですか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごしたか

1. 家の人 (お父さん、お母さん、きょうだい、おじいちゃん、おばあちゃんなど)
2. 塾や習い事の先生、こども文化センター、わくわくプラザなどの職員・スタッフ
3. 近所の人など、家の人以外の大人
4. 学校の友達・先輩・後輩
5. 近所の友達など、学校以外の友達
6. その他の人 ()
7. 一人にいる
8. わからない

⇒次のページの「b どこで過ごしたか」に進んでください。

(問13のつづきです)

b どこで過ごしたか

1. 自分の家・親せきの家
2. 友達の家
3. 塾や習い事(スポーツの教室などを含む)
4. こども文化センター
5. 公園
6. ゲームセンター
7. 学校
8. わくわくプラザ
9. 図書館
10. 商店街・ショッピングモール
11. その他 ()
12. わからない

問14 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 参加している	⇒問16へ(次のページ)	2. 参加していない	⇒問15へ

【問14で、2と回答した方のみ答えてください。】

問15 地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 入りたいクラブがないから	2. 塾や習い事が忙しいから
3. 費用がかかるから	4. 家の事情(家族の世話・家事など)があるから
5. 一緒に入る友達がいないから	6. その他 ()

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問 16 現在のあなたの悩みや心配ごとについてうかがいます。あなたは、次の（ア）～（ソ）について、どれくらい心配ですか。（それぞれ、あてはまる番号1 つに○をつけてください。）

	しんぱい 心配	どちらかといえ しんぱい ば心配	どちらかといえ しんぱい ば心配ではない	しんぱい 心配ではない
（ア） べんきょう 勉強のこと	1	2	3	4
（イ） しんがく 進学のこと	1	2	3	4
（ウ） しゅうしょく 就職のこと	1	2	3	4
（エ） しごと 仕事のこと	1	2	3	4
（オ） かぞく 家族のこと	1	2	3	4
（カ） ゆうじん なかま 友人や仲間のこと	1	2	3	4
（キ） れんあい 恋愛のこと	1	2	3	4
（ク） かね お金のこと	1	2	3	4
（ケ） せいじ しゃかい 政治や社会のこと	1	2	3	4
（コ） せいかく 性格のこと	1	2	3	4
（サ） けんこう 健康のこと	1	2	3	4
（シ） ようし 容姿のこと	1	2	3	4
（ス） たいりょく 体力のこと	1	2	3	4
（セ） じぶん しょうらい 自分の将来のこと	1	2	3	4
（ソ） しぜんかんきょう 自然環境のこと	1	2	3	4

問 17 この1年間を振り返って、あなたが困ったことや悩みがあったときに、相談した人はだれですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. お父さんまたはお母さん	2. きょうだい
3. おじいちゃんまたはおばあちゃん	4. 親せき
5. 学校の先生	6. スクールカウンセラー
7. わくわくプラザ・こども文化センターの職員	8. その他の大人（習い事の先生、近所の大人など）
9. 学校の友達・先輩・後輩	10. 学校以外の友達
11. インターネット上の不特定の人物 （SNSや匿名掲示板など）	12. その他の人（ ）
13. 相談したかったが、だれにも相談できなかった	14. 相談したいと思わなかった
15. 困ったことや悩みはなかった	

あなたがふだん感じていることなどについておたずねします。

問 18 あなたは、最近の生活にどのくらい満足していますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

0 ← まったく満足していない											十分に満足している → 10										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											

問 19 次の（ア）～（エ）について、あなたのここ半年間くらいのことを考えて教えてください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
（ア）他人に対して親切にするようにしている。他人の気持ちをよく考える	1	2	3	4
（イ）よく頭やおなかが痛くなったり、気持ちが悪くなったりする	1	2	3	4
（ウ）他の子どもたちとよく分け合う （食べ物、ゲーム、ペンなど）	1	2	3	4
（エ）たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける	1	2	3	4

問 19 のつづきです。

	あてはまる	まあ あてはまる	あまりあては まらない	あてはまら ない
(オ) 心配ごとが多く、いつも不安だ	1	2	3	4
(カ) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3	4
(キ) 仲の良い友達が少なくとも1人はいる	1	2	3	4
(ク) 落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3	4
(ケ) 同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている	1	2	3	4
(コ) 新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい	1	2	3	4
(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている	1	2	3	4
(シ) 他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする	1	2	3	4
(ス) 自分からすすんでよくお手伝いをする（親、先生、子どもたちなど）	1	2	3	4
(セ) 他の子どもたちと一緒にいるより、大人と一緒にいる方がうまくいく	1	2	3	4
(ソ) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4

問20 あなたは、次の（ア）～（カ）について、どう思いますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	そう 思う おも	どちらかと いえばそう おも 思う	どちらかと いえばそう おも 思わない	そう おも 思わない	わからない
（ア）大学を出ないとよい仕事 につけないと思う	1	2	3	4	5
（イ）がんばって働かなくても 生活していけるとおも	1	2	3	4	5
（ウ）希望する学校や会社 に入れるか不安だ	1	2	3	4	5
（エ）自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4	5
（オ）自分のことが好きだ	1	2	3	4	5
（カ）自分は家族に大事にされて いるとおも	1	2	3	4	5

問21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 知っている 2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない 3. 知らない

※「ヤングケアラー」とは、家族の介護や世話の負担がとて大きく、生活や勉強に影響が出てしまっている子ども・若者のことを言います。

問22 あなたは家で、家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. している ⇒ 問22-1へ (次のページ)	2. していない ⇒ アンケートは終わりです。 ありがとうございました。

【問22で、1と回答した方のみ答えてください。】

問22-1 お世話や家事を必要としている人は誰ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お父さん	2. お母さん	3. おじいちゃん
4. おばあちゃん	5. きょうだい	6. 家族全体
6. その他 ()		

問22-2 あなたがしているお世話や家事はどんなことですか。

下の絵のあてはまる番号すべてに☑ (チェック) をしてください。絵の中にない場合は、「⑪その他」に内容を書いてください。

- ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐ ⑦ ☐ ⑧ ☐ ⑨ ☐ ⑩ ☐
- ⑪ その他 ()



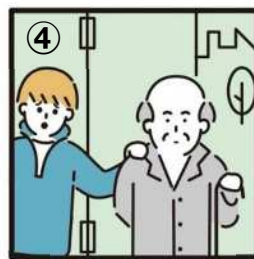
① 障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



② 家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている。



③ 障害や病気のあるきょうだいの世や見守りをしている。



④ 目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



⑤ 日本語をうまく話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



⑥ 生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。



⑦ お酒・薬物 (法律で禁止されている危険な薬など)・ギャンブルなどの問題を抱える家族の世話をしている。



⑧ 治療に時間がかかる病気 (がん・治療が難しい病気・こころの病気など) を持つ家族の看病をしている。



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



⑩ 障害や病気のある家族のお風呂やトイレの手助けをしている。

問 2 2 - 3 お世話や家事をしていることが理由で、次のようなことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 学校に行けない	2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 授業に集中できない	4. 習い事・塾に行けない
5. 家で宿題などの勉強ができない	6. 寝る時間が足りない
7. 友人と遊べない	8. 将来や進路のことを考えられない
9. 自由にすごせる時間がない	10. 特にない
11. その他 ()	

問 2 2 - 4 お世話や家事をすることについて、どのように感じていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. やりがいを感じている	2. 身体が少しつらい
3. 身体がとてもつらい	4. 心が少しつらい
5. 心がとてもつらい	6. 仕方がない
7. 特に何も感じていない	8. その他 ()

問 2 2 - 5 お世話や家事のことを、誰かに相談（お話）していますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 家族	2. 親戚	3. 友達
4. 学校の先生	5. スクールカウンセラー	6. 市役所などの相談窓口
7. その他 ()	8. 誰にも話していない	

問 2 2 - 6 あなたは周りからしてもらいたいことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分の行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい
5. 自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい
6. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
7. 勉強を教えてほしい
8. お金の面で支援してほしい
9. 同じ境遇の人と会って話をする機会をつくってほしい
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない・答えたくない

これで、アンケートは終わ^おりです。

ありがとうございました。

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見を参考に、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

回答する前にお読みください

- このアンケートは、無作為に選んだ、小学校に通う5年生のお子さんのいる世帯に送付しています。
- このアンケートは、封筒に記載されている宛名のお子さん
のこについて、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 回答は、WEBフォームまたは、このアンケート用紙でお願いします。
WEBフォームから回答する場合は、下記のURL または二次元コードを読み取ってください。

ID

パスワード

二次元コード

URL

- 紙のアンケート用紙で回答する場合は、ご記入いただいたアンケート用紙を、お子さん用の返信用封筒と一緒に、同封の大きい返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。

12 / 9 (月)

回答期限



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学校5年生のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、**対象のお子さん（封筒に記載されている宛名のお子さん）についてのみ**お答えください。回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

お子さんの日常生活・学校生活についておたずねします。

問1 この1か月間の、お子さんの生活習慣について、お答えください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
(ア) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
(イ) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
(ウ) 毎日、朝ごはんを食べる	1	2	3	4	5
(エ) 毎日、食後に歯を磨く	1	2	3	4	5
(オ) 毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
(カ) 身の回りを整理整頓する	1	2	3	4	5
(キ) 挨拶をきちんとする	1	2	3	4	5
(ク) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
(ケ) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問2 この1週間で、お子さんだけで食事をする事がどれくらいありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにちかそく 毎日家族と 一緒	しゅう 週に1、 2日は子 どもだけ	しゅう 週に3、 4日は子 どもだけ	しゅう 週に5、 6日は子 どもだけ	まいにちこ 毎日子ども だけ	ちようしよく 朝食・ ゆうしよく 夕食自体 をほとんど 食べなかつ た
(ア) ちようしよく 朝食	1	2	3	4	5	6
(イ) ゆうしよく 夕食	1	2	3	4	5	6

【問2の(ア)、(イ)で、1つでも、2、3、4、5、6と回答した方のみ答えてください。】

問2-1 その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. おや おとな が仕事などで忙しくて、 食事の時間に家にいなかったから	2. おや おとな が仕事などで忙しくて、用意 できなかったから
3. おや おとな が病気などにより、用意 できなかったから	4. 子どもが朝起きられなかったから
5. 子どもが夜に習い事などがあり、家族 より早く、または遅く夕食を食べる必要が あったから	6. お金（かね）がなかったから
7. わからない	8. その他（ ）

【ここからは全員の方が答えてください。】

問3 お子さんは、この1か月間で、放課後（授業が終わった後）から夜にかけて、だれと、どこに
いることが多かったですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

a だれと過ごしたか

- | |
|---|
| 1. かそく（そふぼ）
家族（祖父母、親せきなど含む） |
| 2. じゅく、なら、ごと、せんせい
塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなどの施設の職員 |
| 3. きんじょ、ひと、かそく、いがい、おとな
近所の人など、家族以外の大人 |
| 4. がっこう、ともだち
学校の友達（クラブ活動・委員会活動を含む） |
| 5. きんじょ、ともだち、がっこう、いがい、ともだち
近所の友達など、学校以外の友達 |
| 6. その他（ひと）（ ） |
| 7. ひとり
一人でいる |
| 8. わからない |

b どこで過^すごしたか

1. 自 ^じ 分 ^{ぶん} の家 ^{いえ} ・祖 ^そ 父 ^ふ 母 ^ぼ や親 ^{しん} せき ^{せき} の家 ^{いえ}	2. 友 ^{とも} 達 ^{だち} の家 ^{いえ}
3. 塾 ^{じゅく} や習 ^{なら} い事 ^{ごと} (スポ ^き ーツ ^{やう} の教 ^き 室 ^{しつ} な ^な ど含 ^ふ む)	4. こども文 ^{ぶん} 化 ^か セ ^さ ンター
5. 公 ^{こう} 園 ^{えん}	6. ゲー ^め ムセ ^さ ンター
7. 学 ^{がく} 校 ^{こう} (クラ ^か ブ ^ぶ 活 ^{かつ} 動 ^{どう} ・委 ^い 員 ^{いん} 会 ^{かい} 活 ^{かつ} 動 ^{どう} を ^を 含 ^ふ む)	8. わくわくプラ ^ぷ ザ
9. 図 ^と 書 ^{しょ} 館 ^{かん}	10. 商 ^{しょう} 店 ^{てん} 街 ^{がい} ・ショッ ^し ピン ^ぷ グモ ^も ール
11. 近 ^{きん} 所 ^{じょ} の ^{ひと} 人 ^{ひと} など、家 ^か 族 ^{そく} 以 ^い 外 ^{がい} の ^{おとな} 大 ^{だい} 人 ^{にん} の家 ^{いえ}	12. わか ^わ ら ^ら な ^な い
13. そ ^そ の ^た 他 ^た ()	

問^と4 お^こ子^こさん^{さん}は、不^ふ登^{とう}校^{こう}の^{けい}験^{けん}が^があ^あり^りま^ます^すか。(あ^あて^ては^はま^まる^る番^{ばん}号^{ごう}1¹つ^つに^に〇^〇を^をつ^つけ^けて^てく^くだ^ださ^さい。)

- | |
|--|
| 1. 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 験 ^{けん} は ^は な ^な い |
| 2. 過 ^か 去 ^こ に ^に 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 験 ^{けん} が ^が あ ^あ る |
| 3. 現 ^{げん} 在 ^{ざい} 、不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} で ^で あ ^あ る |

お子さんとの関わり方についておたずねします。

問5 これまでの、あなたとお子さんとの関わり方について、お答えください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない
(ア) お子さんが小さいころ(小学校 2年生まで)、絵本の読み聞か せをしていた	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネッ トなどの視聴時間などのルー ルを決めている	1	2	3	4
(ウ) お子さんから勉強や成績のこ とについて話をしてくれる	1	2	3	4
(エ) お子さんに本や新聞を読むよう に勧めている	1	2	3	4
(オ) 進学先や将来の仕事のことに ついて話をしている	1	2	3	4
(カ) お小遣いの使い方やお金のこ とについて話をしている	1	2	3	4

問6 この1か月間、あなたのご家庭では、お子さんと一緒に（ア）～（オ）のようなことをしましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	ほぼ毎日 まいにち	週 3～4 日 しゅう 3～4 にち	週 1～2 日 しゅう 1～2 にち	つき 1～3 日 つき 1～3 にち	まったく しなかった
（ア）子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ	1	2	3	4	5
（イ）宿題など、子どもの勉強を見た	1	2	3	4	5
（ウ）子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ	1	2	3	4	5
（エ）子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした	1	2	3	4	5
（オ）料理など、子どもと一緒に家事をした	1	2	3	4	5

問7 あなたのご家庭では、この1年間でお子さんのために、（ア）～（キ）のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

	している	していない（あてはまるものすべて）			
		する ひつよう 必要が ない	いそが 忙しく てでき ない	けいざいてき 経済的 にでき ない	その他 （自由記載）
（ア）子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる	1	2	3	4	
（イ）子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）	1	2	3	4	
（ウ）家族旅行に行く	1	2	3	4	
（エ）子どもの誕生日には、お祝いをする	1	2	3	4	
（オ）クリスマスプレゼントやお年玉を渡す	1	2	3	4	
（カ）子どもに毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4	
（キ）子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる	1	2	3	4	

問8 あなたは、お子さんの学校の行事などに、これまでにどの程度参加しましたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	つね さんにが 常に参加 している	ときどき さんにが ときどき参加 している	あまり さんにが あまり参加 していない	まったく さんにが まったく参加 していない
(ア) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
(イ) PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加	1	2	3	4

お子さんの将来についておたずねします。

問9 お子さんについて、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問10 お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	⇒問12へ (次のページ)

⇒「1」～「4」と回答した方は問11へ

【問10で、1、2、3、4と回答した方のみ答えてください。】

問11 その理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもが希望しているから	2. 一般的な進路だと思うから
3. 子どもの学力から考えて	4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他 ()	6. 特に理由はない

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問12 お子さんの就職について、どのように考えていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 大手企業に就職してほしい
2. 中小・零細企業に就職してほしい
3. 就職は正社員でなくて、アルバイト・パート・非常勤職員でもよい
4. 公務員（教員を除く）になってほしい
5. 資格の必要な仕事（教員、保育士、医師、看護師、弁護士など）についてほしい
6. 起業してほしい
7. 家業を継いでほしい
8. 本人が希望すれば何でもよい
9. 就職しなくてもよい
10. その他（ ）

問13 あなたは、(ア)～(オ)のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう おも 思わない	そう思わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4
(エ) 努力すれば夢や希望はかなえられると思う	1	2	3	4
(オ) 子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う	1	2	3	4

あなたの日常生活についておたずねします。

問 1 4 あなたは、この1か月間で、近所の人と次のような交流はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 2～5の選択肢については、1以外の近所に住む人で、お考えください。

1. 子どもの学校や習い事などで付き合いのある人（いわゆるママ友・パパ友）の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした（親族は除く）
2. 特に用事がなくても話すことがあった
3. 町内会などの用事があったときに話した
4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした
5. その他（ ）
6. まったく付き合いがない

問 1 5 あなたは、この1年間において、a～cのことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ 宛名のお子さんの発育・発達や食事に関すること、子育てに関する制度の内容など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

b いざという時の^{とき}お金^{かね}の援助^{えんじょ}相談^{そうだん}

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

c 「a」、「b」以外の重^い要^がな事柄^{じゅうよう}の相談^{ことがら}

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

あなたの気持ちについておたずねします。

問 16 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まったく ない
(ア) 子どもを育てるのは楽しくて しあわせなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤独感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起こっても 気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

子育てや生活の悩みについておたずねします。

問 17 あなたは、現在、ご自身の生活に関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関すること
2. 自分または配偶者の仕事に関すること
3. 自分の体調（病気や障害など）に関すること
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関すること
5. 対人関係に関すること（相談相手がいないなど）
6. 自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること
7. その他（）
8. 特に悩みはない

問 18 あなたは、現在、お子さんに関することで、心配ごとや悩みごとがありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもの生活習慣や発達、体調に関すること ⇒ 問 18-1 へ
2. 学習・進学・受験に関すること ⇒ 問 18-2 へ
3. 友人関係に関すること
4. 障害に関すること
5. 塾や習い事など学校以外の活動に関すること
6. 異性関係に関すること
7. その他 ()
8. 特に悩みはない ⇒ 「1」と「2」を選択しなかった方は問 19 へ (次のページ)

【問 18 で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 18-1 あなたは、お子さんの生活習慣や発達、体調に関して、心配ごとや悩みごとがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 基本的な生活習慣 (あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など) が身についていない
2. 反抗的な態度や問題行動が心配である
3. 何事に対しても消極的にみえる、やる気がない
4. 病気がちである (体調がすぐれない)
5. 自立した生活ができるか心配である
6. 学校などの集団生活になじめていない
7. その他 ()

【問 18 で、「2」と回答した方のみ答えてください。】

問 18-2 あなたは、お子さんの学習・進学・受験に関して、心配ごとや悩みごとがありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 勉強しない
2. 授業についていけない、またはついていけないか心配である
3. 進学や受験のことが心配である
4. 教育費のことが心配である
5. 不登校のことが心配である
6. 就職のことが心配である
7. その他 ()

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問 19 あなたは、現在、子育てに関することで、心配ごとや悩みごとがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子育て環境に関すること (例：放課後の居場所・緊急時の預け先など) ⇒問19-1へ

2. 子どもとの関わり方に関すること (例：思春期の子どもとの関わり方など)

3. 子育てに必要な費用に関すること

4. その他 ()

5. 特に悩みはない

⇒「2」～「5」のみを回答した方は問20へ (次のページ)

【問19で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 19-1 子育て環境に関することについて、次のような心配ごとや悩みごとがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ない、または子どもが遊ぶ場所が少ない (例：公園など)

2. 子どもが自然体験をできる場が少ない

3. 同年代以外の子どもや若者と遊ぶ・交流する機会がない

4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない

5. ちょっとしたことを気軽に相談できる場が少ない

6. 交流したり助け合える友達や知人がいない

7. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない

8. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である

9. 子どもの放課後の居場所がない

10. 子どもの長期休み期間中の居場所がない

11. 子どもの登校時間に合わせて保護者の出勤時間を調整することが難しい

12. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

お子さんのことについておたずねします。

問20 お子さんは、障害などがありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

- ※「**身体障害**」とは、**視覚障害**、**聴覚障害**・**平衡機能障害**、**音声・言語障害**（**咀嚼障害**を含む）、**肢体不自由**、**心臓・腎臓**などの**内部障害**の5種類に関する障害を有する方、あるいは**身体障害者手帳**を所有している方が該当します。
- ※「**知的障害**」とは、**知能検査**等の結果等によって、**知的障害**の判定を受けた方、あるいは**療育手帳**を所有している方が該当します。
- ※「**発達障害**」とは、**自閉症**、**アスペルガー症候群**、**学習障害**、**注意欠陥多動性障害**、その他の**広汎性発達障害**などが該当します。
- ※「**精神障害**」とは、**自立支援医療（精神通院医療）**を受給している方や、**統合失調症**、**精神病質**その他の**精神疾患**等のある方、あるいは**精神保健福祉手帳**を所有している方が該当します。
- ※「**その他**」（**難病**など）とは、「**障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）**」の対象となる**難病**などが該当します。

1. 特にない	2. 身体障害
3. 知的障害	4. 発達障害
5. 精神障害	6. その他（難病など）
7. わからない	

問21 お子さんが0～5歳の間に、最も長く通っていた施設などをお答えください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

(ア) 0～2歳	(イ) 3～5歳
1. 認可保育所・認定こども園	1. 認可保育所・認定こども園
2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)	2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)
3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた	3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた
4. 主に親や親族が面倒をみていた	4. 主に親や親族が面倒をみていた

あなたと、ご家族に関することについておたずねします。

問22 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 母親 (継母を含む)	2. 父親 (継父を含む)
3. 祖父母	4. その他 ()

問23 あなたが現在、お住まいの地区について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問24 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～20年未満	6. 20年以上

問25 お子さんと同居している親の現在の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚している (事実婚含む)	2. 離婚	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚	6. いない・わからない

問26 お子さんと同居しているご家族の人数 (あなたを含む) を教えてください。そのうち、子ども^この人数 (お子さん含む) を教えてください。

※ 単身赴任中や長期入院中の方などは、含めないでください。

かぞく にんずう 家族の人数 (あなたを含む)	うち	しょうがくせいみまん こ 小学生未満の子ども	しょうがくせいじゅう さいみまん 小学生以上18歳未満 の子ども (あてな お子さん含む)
にん 人	⇒	にん 人	にん 人

問 2 7 お子さんと同居しているご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか（あなたを含む）。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 母親（継母含む）	2. 父親（継父含む）
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他（ ）	

問 2 8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は、次のうちどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学（中学部）まで	1. 中学（中学部）まで
2. 高校（高等部）まで	2. 高校（高等部）まで
3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問 2 9 お子さんの親の就労状況をお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）	4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）
5. 働いていない（専業主婦）	5. 働いていない（専業主夫）
6. いない、わからない	6. いない、わからない
⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）	⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）

→ 「5」と回答した方は問29-1へ（次のページ）

【問29で「5」と回答した方のみ答えてください。】

問29-1 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 6. その他の理由 ()	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 6. その他の理由 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問30 前年（令和5年1月～12月までの1年間）のあなたの世帯全体の収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	
21. 1,000～1,500万円未満	22. 1,500～2,000万円未満	23. 2,000万円以上

問3 1 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(ク)の料金等が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローン	1	2	3	4
(イ) 電気料金	1	2	3	4
(ウ) ガス料金	1	2	3	4
(エ) 水道料金	1	2	3	4
(オ) 電話料金(携帯電話含む)	1	2	3	4
(カ) 幼稚園や保育所の料金	1	2	3	4
(キ) 税金や保険料	1	2	3	4
(ク) その他の借金	1	2	3	4

問3 2 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服・くつ(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問33 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(オ)の支援制度を利用したことがありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	現在利用 している /利用した ことがある	利用していない理由					わからない
		制度の 対象外	利用できる が利用 したいと 思わない	利用したい が内容を 知らない	利用したい が利用 手続きを 知らない	説明を受け たが、よく わから なかった	
(ア) 就学援助 ※	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 生活保護 ※	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) だいたいJOBセンター (生活困窮者の 自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 児童扶養手当 (ひと り親家庭などへの 手当) ※ * 児童手当ではあり ません。	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 川崎市母子・父子 福祉センター (母子 家庭等就業・ 自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

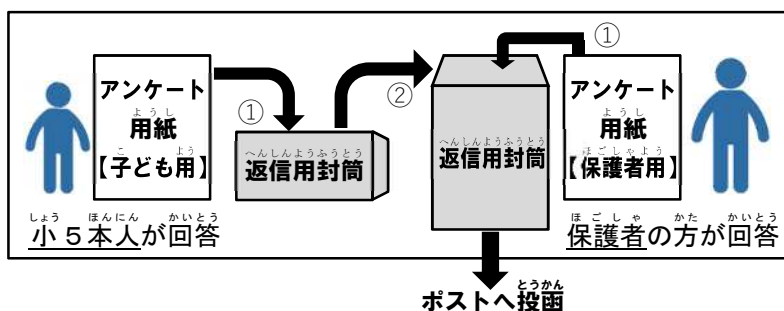
※就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度

※生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

※児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

紙のアンケート用紙で回答する場合は、ご記入いただいたアンケート用紙を、お子さん用の返信用封筒と一緒に、同封の大きい返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。



(5) 中学校2年生のみなさん

アンケート用紙

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市内に在住の中学校2年生のみなさんの、学校や家での生活の様子などについてたずねるものです。

ぜひアンケートにご協力ください。

回答する前にお読みください

1. このアンケートには、自分で答えてください。

保護者の方に回答を見せる必要はありません。

2. 名前を書く必要はありません。あなた個人を特定する

ものではありませんので、安心して答えてください。

3. 答えられない質問や、答えたくない質問には、答える必要はありません。

4. 回答は、WEB フォームまたは、このアンケート用紙でお願いします。

WEB フォームから回答する場合は、下記の URL または二次元コードを読み取ってください。

ID

パスワード

二次元コード

URL

5. 紙のアンケート用紙で回答する場合は、このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、他の人に見られないように封をして、保護者の方に渡してください。

12 / 9 (月)

かいとうきげん
回答期限



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別と住んでいる場所を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

性 別	1. 男性	2. 女性	3. 選べない・答えたくない	
住んでいる場所	1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
	5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

学校での生活や勉強のことについておたずねします。

問2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. いつもわかる

2. だいたいわかる

3. 教科によってはわからないことがある

4. わからないことが多い

5. ほとんどわからない

問4へ(次のページ)

問3へ

【問2で、3、4、5と回答した方のみ答えてください。】

問3 いつごろから授業がわからないと思うようになりましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 小学校1・2年生のころ

2. 小学校3・4年生のころ

3. 小学校5・6年生のころ

4. 中学校1年生のころ

5. 中学校2年生になってから

【ここからは全員の方が答えてください。】

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分で勉強する	2. 塾で勉強する(有料)
3. 学校の補習を受ける	4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する(地域の寺子屋・わくわく学習会など)	6. 家の人に教えてもらう
7. 友達と勉強する	8. こども文化センターで勉強する
9. 学校の授業以外では勉強しない	10. その他()

問5 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強していますか。

※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	30分より 少ない	まったく しない
(ア) 学校がある日 (月～金)	1	2	3	4	5	6
(イ) 学校がない日 (土・日・ 祝日)	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、将来どの段階まで進学したいですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問7 問6の回答を選んだ理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 希望する学校や職業があるから	2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから	4. 親がそうしているから
5. 兄・姉がそうしているから	6. まわりの先輩や友達がそうしているから
7. 家にお金がないと思うから	8. 早く働く必要があるから
9. その他 ()	10. 特に理由はない

問8 あなたは、将来の夢や、つきたい職業がありますか。

1. ある ⇒問9へ	2. ない ⇒問8-1へ

【問8で、2と回答した方のみ答えてください。】

問8-1 将来の夢や、つきたい職業がない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 将来の夢や職業について考えたことがないから |
| 2. どうやって考えたらよいかわからないから |
| 3. どのような職業があるか知らないから |
| 4. 自分のやりたいことがわからないから |
| 5. 自分の得意なことがわからないから |
| 6. その他 () |

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたのふだんの生活についておたずねします。

問9 この1週間を振り返って、あなたは、毎日、食事をしましたか。また、今年の夏休みはお昼ごはんを毎日食べていましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにち た 毎日食べた	しゅう 週に5、6日 は食べた	しゅう 週に3、4日 は食べた	しゅう 週に1、2日 は食べた	た 食べなかった
(ア) 朝ごはん	1	2	3	4	5
(イ) 夕ごはん	1	2	3	4	5
(ウ) 夏休みのお昼ごはん	1	2	3	4	5

問10へ (次のページ)

問9-1へ (次のページ)

【問9の（ア）～（ウ）で、1つでも、2、3、4、5と回答した方のみ】

問9-1 ごはんを食べなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （朝・夕）ごはんを食べる習慣がないから
2. 朝起きられないなど、食べる時間がなかったから
3. 親に用意してもらえなかったから
4. その他（ ）
5. わからない

【ここからは全員の方が答えてください。】

問10 あなたは、今までに次の（ア）～（エ）のような場所を利用したことがありますか。

（利用状況と利用希望について、それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	＜利用状況＞			＜利用希望＞	
	利用して いる	利用した ことがある	利用した ことがない	利用 したい	利用したく ない
（ア）自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日を通過ごすことができる場所（こども文化センターなど）	1	2	3	1	2
（イ）自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	1	2
（ウ）学校以外で、勉強を無料でみることができる場所	1	2	3	1	2
（エ）自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）	1	2	3	1	2

問 1 1 問 1 0 で回答した場所を利用したことで、次のような変化はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 友達が増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しいことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	8. 勉強する習慣が身についてきた
9. その他 ()	10. 特に変化はない
11. どれも利用したことがない	

問 1 2 あなたは、放課後に過ごす場所にどのようなことを希望しますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | |
|----------------------------|
| 1. 一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい |
| 2. 友達と気軽に集まれるようにしてほしい |
| 3. 勉強できるスペースがほしい |
| 4. 飲食できるスペースがほしい |
| 5. ボール遊びなどの運動がしたい |
| 6. 楽しいイベントや講座を開いてほしい |
| 7. 悩みなどを相談できる大人がいてほしい |
| 8. 遊びを教えてくれる大人がいてほしい |
| 9. その他 () |
| 10. 特に望むことはない |

問 1 3 あなたは、この1か月間で、放課後、だれと、どこにいたことが多かったですか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごしたか

- | |
|---------------------------------|
| 1. 家の人 (父親、母親、きょうだい、祖父、祖母など) |
| 2. 塾や習い事の先生、子ども文化センターなどの職員・スタッフ |
| 3. 近所の人など、家の人以外の大人 |
| 4. 学校の友達・先輩・後輩 |
| 5. 近所の友達など、学校以外の友達 |
| 6. その他の人 () |
| 7. 一人である |
| 8. わからない |

b どこで過ごしたか

1. 自分^{じぶん}の家・親せき^{いそ}の家^{いえ}
2. 友達^{ともだち}の家^{いえ}
3. 塾^{じゅく}や習い事^{ならごと}（スポーツ^{きょうしつ}の教室^{ふく}などを含む）
4. こども文化センターなど
5. 公園^{こうえん}
6. ゲームセンター
7. 学校^{がっこう}（部活動^{ぶかつどう}を含む^{ふく}）
8. 図書館^{としよかん}
9. 商店街^{しょうてんがい}・ショッピングモール
10. その他（）
11. わからない

問14 あなたは、学校^{がっこう}の部活動^{ぶかつどう}や生徒会活動^{せいとくかいかつどう}、地域^{ちいき}のスポーツクラブ^{ぶんか}や文化クラブ^{ぶんか}に参加^{さんか}していますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください。）

1. 参加 ^{さんか} している ⇒ 問16へ（次のページ）	2. 参加 ^{さんか} していない ⇒ 問15へ

【問14で、2と回答^{かいとう}した方^{かた}のみ答^{こた}えてください。】

問15 学校^{がっこう}の部活動^{ぶかつどう}や生徒会活動^{せいとくかいかつどう}、地域^{ちいき}のスポーツクラブ^{ぶんか}や文化クラブ^{ぶんか}に参加^{さんか}していない理由^{りゆう}を教えてください。（あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。）

1. 入りたいクラブ・部活動 ^{ぶかつどう} がないから	2. 塾 ^{じゅく} や習い事 ^{ならごと} が忙しいから
3. 費用 ^{ひよう} がかかるから	4. 家の事情 ^{いそ} （家族 ^{かぞく} の世話 ^{せわ} ・家事 ^{かじ} など）があるから
5. 一緒 ^{いっしょ} に入る友達 ^{ともだち} がないから	6. その他（ ）

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問 1 6 現在のあなたの悩みや心配ごとについてうかがいます。あなたは、次の（ア）～（ソ）について、どれくらい心配ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	心配	どちらかといえば心配	どちらかといえば心配ではない	心配ではない
（ア）勉強のこと	1	2	3	4
（イ）進学のこと	1	2	3	4
（ウ）就職のこと	1	2	3	4
（エ）仕事のこと	1	2	3	4
（オ）家族のこと	1	2	3	4
（カ）友人や仲間のこと	1	2	3	4
（キ）恋愛のこと	1	2	3	4
（ク）お金のこと	1	2	3	4
（ケ）政治や社会のこと	1	2	3	4
（コ）性格のこと	1	2	3	4
（サ）健康のこと	1	2	3	4
（シ）容姿のこと	1	2	3	4
（ス）体力のこと	1	2	3	4
（セ）自分の将来のこと	1	2	3	4
（ソ）自然環境のこと	1	2	3	4

問 17 この1年間を振り返って、あなたが困ったことや悩みがあったときに、相談した人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 父親または母親	2. きょうだい
3. 祖父または祖母	4. 親せき
5. 学校の先生	6. スクールカウンセラー
7. こども文化センターの職員	8. その他の大人(習い事の先生、近所の大人など)
9. 学校の友達・先輩・後輩	10. 学校以外の友達
11. インターネット上の不特定の人物 (SNSや匿名掲示板など)	12. その他の人()
13. 相談したかったが、だれにも相談できなかった	14. 相談したいと思わなかった
15. 困ったことや悩みはなかった	

あなたがふだん感じていることなどについておたずねします。

問 18 あなたは、最近の生活にどのくらい満足していますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

0 ← まったく満足していない											じゅうぶん 十分に満足している → 10
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問 19 次の(ア)～(ウ)について、あなたのここ半年間くらいのことを考えて答えてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(ア) 他人に対して親切にしようとしている。他人の気持ちをよく考える	1	2	3	4
(イ) よく頭やおなか痛くなったり、気持ちが悪くなったりする	1	2	3	4
(ウ) 他の子どもたちとよく分け合う (食べ物、ゲーム、ペンなど)	1	2	3	4

	あてはまる	まあ あてはまる	あまりあては まらない	あてはまら ない
(エ) たいいてい一人 ひとり でいる。だいたいいつ も一人 ひとり で遊ぶか、人と付き合うこと を避ける	1	2	3	4
(オ) 心配ごとが多く、いつも不安だ	1	2	3	4
(カ) 誰かが心 こころ を痛めていたり、落ち込ん でいたり、嫌な思 おも いをしているとき など、すすんで助ける	1	2	3	4
(キ) 仲の良 よ い友 とも 達が少 すく なくとも1人 ひとり はい る	1	2	3	4
(ク) 落ち込んでしずんでいたり、涙ぐん だりすることがよくある	1	2	3	4
(ケ) 同じくらの年 ねん 齢 れい の子 こ どもからは、 だいたい好 す かれている	1	2	3	4
(コ) 新 あた しい場 ば 面に直 ちよく 面 めん すると不安 ふあん にな り、自 じ 信 しん をなくしやすい	1	2	3	4
(サ) 年下 としした の子 こ どもたちに対 たい してやさしく している	1	2	3	4
(シ) 他 た の子 こ どもから、いじめられたり、 からかわれたりする	1	2	3	4
(ス) 自分 じぶん からすすんでよくお手伝 てつだ いをす る(親 おや 、先生 せんせい 、子 こ どもたちなど)	1	2	3	4
(セ) 他 た の子 こ どもたちと一 いっ 緒 しょ にいるより、 大人 おとな と一 いっ 緒 しょ にいる方 ほう がうまくいく	1	2	3	4
(ソ) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4

問20 あなたは次の（ア）～（カ）について、どう思いますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	そう思う おも	どちらかとい えばそう おも 思う	どちらかとい えばそう おも 思わない	そう おも 思わない	わからない
（ア）大学を出ないとよい仕事 につけないと思う だいがく で しごと おも	1	2	3	4	5
（イ）がんばって働かなくても 生活していけると思う はたら せいかつ おも	1	2	3	4	5
（ウ）希望する学校や会社に 入れるか不安だ きぼう がっこう かいしゃ はい ふあん	1	2	3	4	5
（エ）自分の将来が楽しみだ じぶん しょうらい たの	1	2	3	4	5
（オ）自分のことが好きだ じぶん す	1	2	3	4	5
（カ）自分は家族に大事に されていると思う じぶん かぞく だいじ おも	1	2	3	4	5

問21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
ことば せ い み し
3. 知らない

※「ヤングケアラー」とは、家族の介護や世話の負担がとて大きく、生活や勉強に影響が出てしまっている子ども・若者のことを言います。
かぞく かいご せわ ふたん おお せいかつ べんきょう えいきょう で

問22 あなたは家で、家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. している ⇒問22-1へ （次のページ）	2. していない ⇒アンケートは終わります。 ありがとうございました。

【問22で、1と回答した方のみ答えてください。】

問22-1 お世話や家事を必要としている人は誰ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 父親	2. 母親	3. 祖母
4. 祖父	5. きょうだい	6. 家族全体
6. その他 ()		

問22-2 あなたがしているお世話や家事はどんなことですか。

下の絵のあてはまる番号すべてに☑ (チェック) をしてください。絵の中にない場合は、「⑪その他」に内容を書いてください。

- ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐ ⑦ ☐ ⑧ ☐ ⑨ ☐ ⑩ ☐
- ⑪ その他 ()



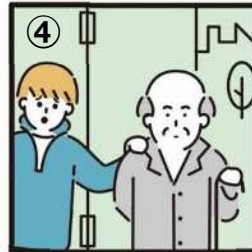
① 障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



② 家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている。



③ 障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



④ 目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



⑤ 日本語をうまく話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



⑥ 生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。



⑦ お酒・薬物 (法律で禁止されている危険な薬など)・ギャンブルなどの問題を抱える家族の世話をしている。



⑧ 治療に時間がかかる病気 (がん・治療が難しい病気・こころの病気など) を持つ家族の看病をしている。



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



⑩ 障害や病気のある家族のお風呂やトイレの手助けをしている。

問 2 2 - 3 お世話や家事をしていることが理由で、次のようなことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 学校に行けない	2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 授業に集中できない	4. 部活動や習い事・塾に行けない
5. 家で宿題などの勉強ができない	6. 寝る時間が足りない
7. 友人と遊べない	8. 将来や進路のことを考えられない
9. 自由にすごせる時間がない	10. 特にない
11. その他 ()	

問 2 2 - 4 お世話や家事をすることについて、どのように感じていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. やりがいを感じている	2. 身体が少しつらい
3. 身体がとてもつらい	4. 心が少しつらい
5. 心がとてもつらい	6. 仕方がない
7. 特に何も感じていない	8. その他 ()

問 2 2 - 5 お世話や家事のことを、誰かに相談（お話し）していますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 家族	2. 親戚	3. 友達
4. 学校の先生	5. スクールカウンセラー	6. 市役所などの相談窓口
7. その他 ()		8. 誰にも話していない

問 2 2 - 6 あなたは周りからしてもらいたいことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自分のことについて話を聞いてほしい |
| 2. 家族のお世話について相談にのってほしい |
| 3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい |
| 4. 自分の行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい |
| 5. 自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい |
| 6. 進路や就職など将来の相談にのってほしい |
| 7. 勉強を教えてほしい |
| 8. お金の面で支援してほしい |
| 9. 同じ境遇の人と会って話をする機会をつくってほしい |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |
| 12. わからない・答えたくない |

これで、アンケートは終わ^おりです。

ありがとうございました。

川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見を参考に、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

回答する前にお読みください

- このアンケートは、無作為に選んだ、中学校に通う2年生のお子さんのいる世帯に送付しています。
- このアンケートは、封筒に記載されている宛名のお子さん
のことに、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 回答は、WEBフォームまたは、このアンケート用紙でお願いします。
WEBフォームから回答される場合は、下記のURL または二次元コードを読み取ってください。

ID	パスワード	二次元コード
URL		

- 紙のアンケート用紙で回答する場合は、ご記入いただいたアンケート用紙を、お子さん用の返信用封筒と一緒に、同封の大きい返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。

12/9 (月)

かいとうきげん
回答期限



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学校2年生のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、対象のお子さん（封筒に記載されている宛名のお子さん）についてのみお答えください。回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

お子さんの日常生活・学校生活についておたずねします。

問1 この1か月間の、宛名のお子さん（以下「お子さん」と書きます。）の生活習慣について、お答えください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
(ア) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
(イ) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
(ウ) 毎日、朝ごはんを食べる	1	2	3	4	5
(エ) 毎日、食後に歯を磨く	1	2	3	4	5
(オ) 毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
(カ) 身の回りを整理整頓する	1	2	3	4	5
(キ) 挨拶をきちんとする	1	2	3	4	5
(ク) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
(ケ) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問2 この1週間^{しゅうかん}で、お子さん^こだけで食事^{しょくじ}をすることがどれくらいありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください。)

	まいにちかそく 毎日家族と いっしょ 一緒	しゅう 週に1、 2日は子 どもだけ	しゅう 週に3、 4日は子 どもだけ	しゅう 週に5、 6日は子 どもだけ	まいにちこ 毎日子ども だけ	ちようしょく・ ゆうしょくじたい 朝食・ 夕食自体 をほとんど 食べなかつ た
(ア) 朝食 ^{ちようしょく}	1	2	3	4	5	6
(イ) 夕食 ^{ゆうしょく}	1	2	3	4	5	6

【問2の(ア)、(イ)で、1つでも、2、3、4、5、6と回答^{かいとう}した方^{かた}のみ答^{こた}えてください。】

問2-1 その理由^{りゆう}について、あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。

1. 親 ^{おや} (大人 ^{おとな}) が仕事 ^{しごと} などで忙 ^{いそ} しくて、 食事 ^{しょくじ} の時間 ^{じかん} に家 ^{いえ} にいなかったから	2. 親 ^{おや} (大人 ^{おとな}) が仕事 ^{しごと} などで忙 ^{いそ} しくて、用意 ^{ようい} できなかったから
3. 親 ^{おや} (大人 ^{おとな}) が病気 ^{びょうき} などにより、用意 ^{ようい} できなかったから	4. 子どもが朝 ^{あさ} 起きられなかったから
5. 子どもが夜 ^{よる} に習 ^{なら} い事 ^{ごと} などがあり、家族 ^{かぞく} より早 ^{はや} く、または遅 ^{おそ} く夕食 ^{ゆうしょく} を食べる必要 ^{ひつよう} が あったから	6. お金 ^{かね} がなかったから
7. わからない	8. その他 ()

【ここからは全員^{ぜんいん}の方^{かた}が答^{こた}えてください。】

問3 お子さん^こさんは、この1か月間^{げっかん}で、放課後^{ほうかご} (授業^{じゅぎょう}が終^おわった後^{あと}) から夜^{よる}にかけて、だれと、どこに
いることが多^{おほ}かったですか。(それぞれ、あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。)

a だれと過^{すご}したか

- | |
|---|
| 1. 家族 ^{かぞく} (祖父 ^{そふ} 母 ^ぼ 、親 ^{しん} せきなど含む ^{ふく}) |
| 2. 塾 ^{じゅく} や習 ^{なら} い事 ^{ごと} の先生 ^{せんせい} 、こども文化 ^{ぶんか} センターなどの施設 ^{しせつ} の職員 ^{しよくいん} |
| 3. 近所 ^{きんじよ} の人 ^{ひと} など、家族 ^{かぞく} 以外 ^{いがい} の大人 ^{おとな} |
| 4. 学校 ^{がっこう} の友達 ^{ともだち} (部活 ^{ぶかつどう} ・委員会 ^{いいんかい} 活動 ^{かつどう} を含む ^{ふく}) |
| 5. 近所 ^{きんじよ} の友達 ^{ともだち} など、学校 ^{がっこう} 以外 ^{いがい} の友達 ^{ともだち} |
| 6. その他 ^た の人 ^{ひと} () |
| 7. 一人 ^{ひとり} でいる |
| 8. わからない |

b どこで過^すごしたか

1. 自 ^じ 分 ^{ぶん} の家 ^{いえ} ・祖 ^そ 父 ^ふ 母 ^ぼ や親 ^{しん} せき ^{いえ} の家 ^{いえ}	2. 友 ^{とも} 達 ^{だち} の家 ^{いえ}
3. 塾 ^{じゅく} や習 ^{なら} い事 ^{ごと} （スポ ^き ーツ ^{ょう} の教 ^き 室 ^{うしつ} など含 ^{ふく} む）	4. こども文 ^{ぶん} 化 ^か セ ^ン タ ^ー
5. 公 ^{こう} 園 ^{えん}	6. ゲ ^ー ム ^セ ン ^タ ー
7. 学 ^が 校 ^{っこう} （部 ^ぶ 活 ^{かつ} 動 ^{どう} ・委 ^い 員 ^{いん} 会 ^{かい} 活 ^{かつ} 動 ^{どう} を ^{ふく} 含 ^む ）	8. 図 ^と 書 ^{しょ} 館 ^{かん}
9. 商 ^{しょう} 店 ^{てん} 街 ^{がい} ・ショッピ ^ン グモ ^ー ル	10. 近 ^{きん} 所 ^{じょ} の ^{ひと} 人 ^{ひと} など、家 ^か 族 ^{そく} 以 ^い 外 ^{がい} の ^{おとな} 大 ^{おとな} 人 ^い の家 ^{いえ}
11. わか ^ら な ^い	12. そ ^た の ^た 他 ^た （ [）]

問^{とい}4 お^こ子^こさん^{さん}は、不^ふ登^{とう}校^{こう}の^{けい}経^{けん}験^{けん}が^あり^ます^か。（あてはまる番^{ばん}号^{ごう}1つに○をつけてください。）

1. 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 経 ^{けん} 験 ^{けん} は ^な い
2. 過 ^か 去 ^こ に ^ふ 不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} の ^{けい} 経 ^{けん} 験 ^{けん} が ^あ る
3. 現 ^{げん} 在 ^{ざい} 、不 ^ふ 登 ^{とう} 校 ^{こう} で ^あ る

お子さんとの関わり方についておたずねします。

問5 これまでの、あなたとお子さんとの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらかといえ あてはまらない	あてはまらない
(ア) お子さんが小さいころ(小学校2年生まで)、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
(ウ) お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
(エ) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
(オ) 進学先や将来の仕事のことについて話をしている	1	2	3	4
(カ) お小遣いの使い方やお金のことについて話をしている	1	2	3	4

問6 この1か月間、あなたのご家庭では、お子さんと一緒に（ア）～（オ）のようなことをしましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	ほぼ毎日 まいにち	週 3～4 日 しゅう 3～4 にち	週 1～2 日 しゅう 1～2 にち	つき 1～3 日 つき 1～3 にち	まったく しなかった
（ア）子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ	1	2	3	4	5
（イ）宿題など、子どもの勉強を見た	1	2	3	4	5
（ウ）子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ	1	2	3	4	5
（エ）子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした	1	2	3	4	5
（オ）料理など、子どもと一緒に家事をした	1	2	3	4	5

問7 あなたのご家庭では、この1年間でお子さんのために、（ア）～（キ）のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

	している	していない（あてはまるものすべて）			
		する ひつよう 必要が ない	いそが 忙しく でき ない	けいぎ 経済的 にでき ない	その他 (自由記載)
（ア）子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる	1	2	3	4	
（イ）子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）	1	2	3	4	
（ウ）家族旅行に行く	1	2	3	4	
（エ）子どもの誕生日には、お祝いをする	1	2	3	4	
（オ）クリスマスプレゼントやお年玉を渡す	1	2	3	4	
（カ）子どもに毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4	
（キ）子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる	1	2	3	4	

問8 あなたは、お子さんの学校の行事などに、これまでにどの程度参加しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	常に参加 している	ときどき参加 している	あまり参加 していない	まったく参加 していない
(ア) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
(イ) PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加	1	2	3	4

お子さんの将来についておたずねします。

問9 お子さんについて、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問10 お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	⇒「1」～「4」と回答した方は問11へ

⇒問12へ
(次のページ)

【問10で、1、2、3、4と回答した方のみ答えてください。】

問11 その理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもが希望しているから	2. 一般的な進路だと思うから
3. 子どもの学力から考えて	4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他 ()	6. 特に理由はない

【ここからは全員の方が答えてください。】

問 1 2 お子さんの就 職について、どのように考えていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 大手企業に就 職してほしい
2. 中 小・零細企業に就 職してほしい
3. 就 職は正社員でなくて、アルバイト・パート・非常勤職員でもよい
4. 公務員（教員を除く）になってほしい
5. 資格の必要な仕事（教員、保育士、医師、看護師、弁護士など）についてほしい
6. 起業してほしい
7. 家業を継いでほしい
8. 本人が希望すれば何でもよい
9. 就 職しなくてもよい
10. その他（ ）

問 1 3 あなたは、（ア）～（オ）のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう <u>思</u> う	まあそう <u>思</u> う	あまりそう おもう 思わない	そう <u>思</u> わない
（ア） <u>大学</u> を出ないとよい <u>仕事</u> に つけないと思う	1	2	3	4
（イ） <u>がんば</u> って <u>働</u> かなくても <u>生活</u> していけると <u>思</u> う	1	2	3	4
（ウ） <u>子ども</u> が <u>希望</u> する <u>学校</u> や <u>会社</u> に入れるか <u>不安</u> だ	1	2	3	4
（エ） <u>努力</u> すれば <u>夢</u> や <u>希望</u> はかな えられると <u>思</u> う	1	2	3	4
（オ） <u>子ども</u> には <u>少し</u> でも <u>早く</u> <u>働</u> いて <u>欲</u> しいと <u>思</u> う	1	2	3	4

にちじょうせいかつ
あなたの日常生活についておたずねします。

問 1 4 あなたは、この 1 か月間で、近所のひとと次のような交流はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 2～5の選択肢については、1以外の近所に住むひとで、お考えください。

1. 子どもの学校や習い事などで付き合いのある人（いわゆるママ友・パパ友）の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした（親族は除く）
2. 特に用事がなくても話することがあった
3. 町内会などの用事があったときに話した
4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした
5. その他（ ）
6. まったく付き合いがない

問 1 5 あなたは、この 1 年間において、a～c のことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ 宛名のお子さんの発育・発達や食事に関すること、子育てに関する制度の内容など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所のひと
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他のひと（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

b いざという時のお金の援助相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

c 「a」、「b」以外の重要な事柄の相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人（職場の人など含む）
3. 近所の人
4. 相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や学校などの施設の職員
5. 民生委員・児童委員
6. その他の人（ ）
7. 相談することはなかった（だれに相談したらいいかわからなかった）
8. 相談することはなかった（必要を感じなかった）

あなたの気持ちについておたずねします。

問 16 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ 少しだけ	まったく ない
(ア) 子どもを育てるのは楽しくて しあわせなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤独感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起こっても 気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

子育てや生活の悩みについておたずねします。

問 17 あなたは、現在、ご自身の生活に関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関すること
2. 自分または配偶者の仕事に関すること
3. 自分の体調（病気や障害など）に関すること
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関すること
5. 対人関係に関すること（相談相手がいないなど）
6. 自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること
7. その他（)
8. 特に悩みはない

問 1 8 あなたは、現在、お子さんに関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもの生活習慣や発達、体調に関すること ⇒問18-1へ

2. 学習・進学・受験に関すること ⇒問18-2へ

3. 友人関係に関すること

4. 障害に関すること

5. 塾や習い事など学校以外の活動に関すること

6. 異性関係に関すること

7. その他 ()

8. 特に悩みはない ⇒「1」と「2」を選択しなかつた方は問19へ(次のページ)

→【問18で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 1 8 - 1 あなたは、お子さんの生活習慣や発達、体調に関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 基本的な生活習慣 (あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など) が身についていない

2. 反抗的な態度や問題行動が心配である

3. 何事に対しても消極的にみえる、やる気がない

4. 病気がちである (体調がすぐれない)

5. 自立した生活ができるか心配である

6. 学校などの集団生活になじめていない

7. その他 ()

→【問18で、「2」と回答した方のみ答えてください。】

問 1 8 - 2 あなたは、お子さんの学習・進学・受験に関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 勉強しない

2. 授業についていけない、またはついていけないか心配である

3. 進学や受験のことが心配である

4. 教育費のことが心配である

5. 不登校のことが心配である

6. 就職のことが心配である 7. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問 1 9 あなたは、現在、子育てに関することで、心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子育て環境に関すること (例: 放課後の居場所・緊急時の預け先など) ⇒問19-1へ

2. 子どもとの関わり方に関すること (例: 思春期の子どもとの関わり方など)

3. 子育てに必要な費用に関すること

4. その他 ()

5. 特に悩みはない

⇒「2」～「5」のみを回答した方は問20へ (次のページ)

→【問19で、「1」と回答した方のみ答えてください。】

問 1 9 - 1 子育て環境に関することについて、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ない、または子どもが遊ぶ場所が少ない (例: 公園など)

2. 子どもが自然体験をできる場が少ない

3. 同年代以外の子ともや若者と遊ぶ・交流する機会がない

4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない

5. ちょっとしたことを気軽に相談できる場が少ない

6. 交流したり助け合える友達や知人がいない

7. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない

8. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である

9. 子どもの放課後の居場所がない

10. 子どもの長期休み期間中の居場所がない

11. 子どもの登校時間に合わせて保護者の出勤時間を調整することが難しい

12. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

お子さんのことについておたずねします。

問20 おさんは、障害などがありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

- ※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害を有する方、あるいは身体障害者手帳を所有している方が該当します。
- ※「知的障害」とは、知能検査等の結果等によって、知的障害の判定を受けた方、あるいは療育手帳を所有している方が該当します。
- ※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害などが該当します。
- ※「精神障害」とは、自立支援医療（精神通院医療）を受給している方や、統合失調症、精神病質その他の精神疾患等のある方、あるいは精神保健福祉手帳を所有している方が該当します。
- ※「その他」（難病など）とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」の対象となる難病などが該当します。

1. 特 <u>に</u> ない	2. <u>身</u> 体障 <u>害</u>
3. <u>知</u> 的障 <u>害</u>	4. <u>発</u> 達障 <u>害</u>
5. <u>精</u> 神障 <u>害</u>	6. その他（難病など）
7. わからない	

問21 おさんが0～5歳の間に、最も長く通っていた施設などをお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

(ア) 0～2歳	(イ) 3～5歳
1. 認可保育所・認定こども園	1. 認可保育所・認定こども園
2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)	2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)
3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた	3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた
4. 主に親や親族が面倒をみていた	4. 主に親や親族が面倒をみていた

あなたと、ご家族に関することについておたずねします。

問 2 2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1 つに○をつけてください。)

1. 母親 (継母を含む)	2. 父親 (継父を含む)
3. 祖父母	4. その他 ()

問 2 3 あなたが現在、お住まいの地区について教えてください。

(あてはまる番号1 つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問 2 4 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。

(あてはまる番号1 つに○をつけてください。)

1. 1 年未満	2. 1 年～3 年未満	3. 3 年～5 年未満
4. 5 年～10 年未満	5. 10 年～20 年未満	6. 20 年以上

問 2 5 お子さんと同居している親の現在の婚姻状況を教えてください。

(あてはまる番号1 つに○をつけてください。)

1. 結婚している (事実婚含む)	2. 離婚	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚	6. いない・わからない

問 2 6 お子さんと同居しているご家族の人数 (あなたを含む) を教えてください。そのうち、子ども (対象のお子さん含む) を教えてください。

※ 単身赴任中や長期入院中の方などは、含めないでください。

かぞく にんずう 家族の人数 (あなたを含む)	うち	しょうがくせいみまん こ 小学生未満の子ども	しょうがくせいいじょう さいみまん 小学生以上18歳未満 の子ども (宛名のお子さん含む)
	⇒		
にん 人		にん 人	にん 人

問 2 7 お子さんと同居しているご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか（あなたを含む）。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 母親（継母含む）	2. 父親（継父含む）
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他（ ）	

問 2 8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は、次のうちどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学（中学部）まで	1. 中学（中学部）まで
2. 高校（高等部）まで	2. 高校（高等部）まで
3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問 2 9 お子さんの親の就労状況をお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）	4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）
5. 働いていない（専業主婦）	5. 働いていない（専業主夫）
6. いない、わからない	6. いない、わからない
⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）	⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問30へ（次のページ）

「5」と回答した方は問29-1へ（次のページ）

【問29で「5」と回答した方のみ答えてください。】

問29-1 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 7. その他の理由 ()	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. 経済的に働く必要がないため 7. その他の理由 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

問30 前年(令和5年1月～12月までの1年間)のあなたの世帯全体の収入の合計額(税込み)

は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 収入額は、就労所得(働いて得た所得)に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	
21. 1,000～1,500万円未満	22. 1,500～2,000万円未満	23. 2,000万円以上

問3 1 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(ク)の料金等が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローン	1	2	3	4
(イ) 電気料金	1	2	3	4
(ウ) ガス料金	1	2	3	4
(エ) 水道料金	1	2	3	4
(オ) 電話料金(携帯電話含む)	1	2	3	4
(カ) 幼稚園や保育所の料金	1	2	3	4
(キ) 税金や保険料	1	2	3	4
(ク) その他の借金	1	2	3	4

問3 2 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服・くつ(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問33 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(オ)の支援制度を利用したことがありますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	現在利用 している /利用した ことがある	利用していない理由					わからない
		制度の 対象外	利用できる が利用 したいと 思わない	利用したい が内容を 知らない	利用したい が利用 てつづ 手続きを 知らない	説明を受け たが、よく わから なかった	
(ア) 就学援助 ※	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 生活保護 ※	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) だいのうセンター (生活困窮者の 自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 児童扶養手当(ひとり親家庭などへの 手当) ※ ※児童手当ではありません。	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 川崎市母子・父子 福祉センター(母子 家庭等就業・ 自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度

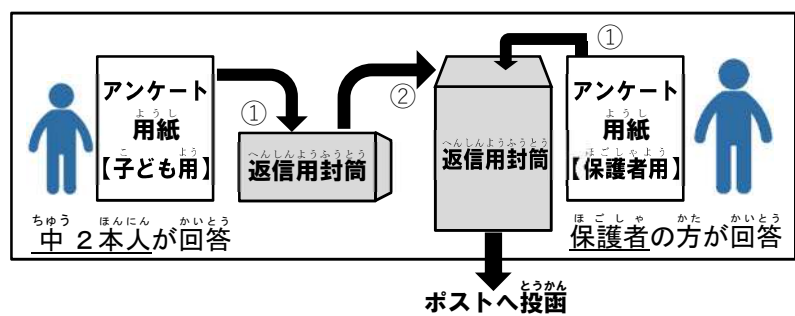
※生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

※児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

紙のアンケート用紙で回答する場合は、ご記入いただいたアンケート用紙を、お子さん用の返信用

封筒と一緒に、同封の大きい返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。



川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、川崎市内に^{かわさきし}住^すの16歳～30歳の方の生活状況などについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見を参考に、子ども・若者のみなさまが暮らしやすいまちづくりを進めてまいりますので、アンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

回答する前にお読みください

1. このアンケートは、無作為に選んだ、今年度に16歳～30歳になる方に送付しています。
2. このアンケートには、自分で答えてください。
保護者など家族の方に回答を見せる必要はありません
3. このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
4. このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
5. 答えられない質問や、答えたくない質問には、答える必要はありません。
6. このアンケート用紙を、同封の返信用封筒で返送してください。切手は不要です。

12 / 9 (月)

かいとう きげん
回答期限



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-1135 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

あなたについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 男 2. 女 3. 選べない・答えたくない

問2 あなたの年齢をお知らせください。(数字を記入してください)

歳 (令和7年3月31日現在)

問3 あなたは、どこの区に住んでいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区
5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区

問4 あなたの最終学歴(卒業した学校)は以下のうちどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学(中学部)まで 2. 高校(高等部)まで
3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで 4. 大学又はそれ以上
5. その他() 6. 学校に在学している

ちい きかつどう
あなたの地域活動についておたずねします。

問5 あなたは、直近1年間で、学校や職場以外で何か地域活動やボランティア活動などに参加しましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 参加した ⇒ 問6へ 2. 参加していない ⇒ 問7へ

【問5で、1と回答した方のみ答えてください。】

問6 その活動はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 町内会、自治会などの係や役員活動
2. 地域のスポーツ活動や文化・芸術活動(地域の野球チームやサッカーチーム、音楽・ダンスサークルに所属している等)
3. お祭や運動会など地域のイベント活動
4. 公園・道路の清掃活動や、花や木を植えるなどの緑化活動
5. 交通安全や防犯・防災活動
6. 資源回収などのリサイクル活動
7. 高齢者や障がい者、子どもや青少年のための活動
8. 国際交流に関する活動
9. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

ぶかつどうとう
あなたの部活動等についておたずねします。

問7 あなたは現在、学校や職場などで何らかの部活動やグループ・団体活動に参加していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 参加している ⇒ 問7-1へ 2. 参加していない ⇒ 問8へ(次のページ)

【問7で、1と回答した方のみ答えてください。】

問7-1 その活動はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 部活動やサークル活動
2. 生徒会、学生自治会などの活動
3. 行事やイベントの運営など
4. その他 ()

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたの自由時間についておたずねします。

問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる
2. スマホや専用機器等でゲームをする
3. 買い物をする(ネットショッピング含む)
4. 読書をしたり、音楽を聴いたりする
5. 趣味の活動をする(音楽活動、料理、写真、スポーツ、映画鑑賞、ライブ参加等)
6. 地域の行事やイベントに参加する
7. 友人と遊んだり、飲食したりする
8. SNSやブログを見たり投稿したりする
9. 資格試験などの勉強をする
10. 1人でお酒を飲む
11. 1人で食事をする
12. 特に何もせずに過ごしている
13. その他 ()

あなたの関心事についておたずねします。

問9 あなたが今、関心のあることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分の将来や進路のこと	2. 流行やファッションのこと
3. 友人や仲間のこと	4. 自分の家族のこと
5. 勉強のこと	6. 恋愛・結婚のこと
7. 性に関すること	8. お金のこと
9. 生活のこと	10. 仕事のこと
11. 趣味のこと	12. 政治や社会のこと
13. 自分自身のこと(健康・容姿・性格など)	14. その他 ()
15. 特に関心のあることはない	

せいかつじょうきょう
あなたの生活状況についておたずねします。

問10 あなたは、現在の経済的な生活状況をどのように感じていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 生活に十分な余裕がある
2. 生活にある程度の余裕がある
3. 生活に余裕は無いが、それほど困ってもない
4. 生活がやや苦しい
5. 生活が大変苦しい
6. わからない

問11 あなたは、将来(5～10年後)の経済的な生活状況をどのように感じていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 生活に余裕が見込まれる(見通しが立っている)
2. 生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそうだ
3. 生活がやや苦しくなりそうだ
4. 生活が大変苦しくなりそうだ
5. わからない

しゅうがく しゅうぎょうとう
あなたの就学・就業等についておたずねします。

問12 あなたは次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 高校(高等部)に通っている
2. 大学(院)や専門学校等に通っている
3. 正規社員や正規職員として働いている
4. 嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている
5. 自営業や会社役員として働いている
6. 専業主婦・主夫である
7. 無職
8. その他()

⇒問12-1へ(次のページ)

⇒問13へ(6ページ)

【ここからは全員の皆さんが答えてください。】

問 1 3 あなたは、仕事を選ぶ際に、(ア)～(ケ)のそれぞれについて、どの程度重要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	じゅうよう 重要で ある	どちら かとい え ば じゅうよう 重要	どちら かとい え ば じゅうよう 重要で はない	じゅうよう 重要で はない	わから ない
(ア) じぶん 自分のやりたいことができる	1	2	3	4	5
(イ) じぶん 自分が身につけた知識や技術を活かせる	1	2	3	4	5
(ウ) あんてい 安定していて長く続けられる	1	2	3	4	5
(エ) こうしゅうにゅう 高収入である	1	2	3	4	5
(オ) ふくりこうせい 福利厚生が充実している	1	2	3	4	5
(カ) はたら 働く先が大きな会社(大企業)又は有名な会社である	1	2	3	4	5
(キ) ざんぎょう 残業が少ない・休みがとりやすいなど ワークライフバランスが取れる	1	2	3	4	5
(ク) じもと 地元で働ける(実家から通える)	1	2	3	4	5
(ケ) しゅうぎょうさき 就業先の雰囲気・社風・人間関係が よい	1	2	3	4	5

問 1 4 あなたは、次の（ア）～（カ）のそれぞれについてどう思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	そう思う おも	どちらか といえ ば そう おも う	どちらか といえ ば そう おも わ ない	そう思 わ ない おも	わから ない
（ア）大学を出ないとよい仕事につけないと思う だいがく で しごと おも	1	2	3	4	5
（イ）がんばって働かなくても生活していけると おも 思う	1	2	3	4	5
（ウ）希望する学校や会社に入れるか不安だ きぼう がっこう かいしゃ はい ふあん	1	2	3	4	5
（エ）自分の将来が楽しみだ じぶん しょうらい たの	1	2	3	4	5
（オ）自分のことが好きだ じぶん す	1	2	3	4	5
（カ）自分は家族に大事にされていると思う じぶん かぞく だいじ おも	1	2	3	4	5

問 1 5 あなたの理想とする生き方について、次の中であなたの考えにもっとも近いものは何ですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 経済的に豊かになること けいぎ いてき ゆた	2. 社会的な地位や名誉を得ること しゃかい ちい めいよ え
3. 自分の好きなように暮らすこと じぶん す	4. 社会のために尽くすこと しゃかい つ
5. 家族と幸せに暮らすこと かぞく しあわ	6. わからない
7. その他（ た	）

あなたのつらい体験についておたずねします。

問 1 6 あなたは、過去又は現在、家族・家庭で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 家庭が貧しかった かてい はず	2. 親又は親戚からの過度な期待(いい成績を と 取るよう)があった おやまた しんせき か ど きたい せいせき
3. 親又は親戚から虐待をされた おやまた しんせき ぎゃくたい	4. 家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した かてい ない なか わる おや りこん
5. 家庭内で孤立していた(コミュニケーション が希薄だった) かてい ない こりつ きはく	6. 親や親戚、きょうだいの世話や介護を しないといけなかった おや しんせき せ わ かいご
7. その他（ た	8. つらい経験は特にしていない けいけん とく

問 17 あなたは、過去又は現在、学校で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 成績が悪かった又は授業についていけなかった	2. クラスになじめなかった
3. 先生との関係が悪かった	4. 体罰やハラスメントがあった
5. いじめられた	6. 不登校となった
7. その他 ()	8. つらい経験は特にしていない

問 18 あなたは、過去又は現在、職場で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 職場になじめなかった	2. パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった
3. いじめられた	4. ストレスで休職した
5. その他 ()	6. つらい経験は特にしていない
7. まだ働いてない	

あなたの気持ちについておたずねします。

問 19 次の(ア)～(カ)の各項目について、直近1か月間のあなたの気持ちはどうでしたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じる時があった	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じる時があった	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ落ち着かなく感じる時があった	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈んで何が起こっても気が晴れないように感じる時があった	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも面倒だと感じる時があった	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じる時があった	1	2	3	4	5

問20 あなたは、最近の生活にどのくらい満足していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

0 ← まったく満足していない											じゅうぶん 十分に満足している → 10										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											

あなたの悩み事についておたずねします。

問21 現在のあなたの悩みや心配ごとについてうかがいます。あなたは、次の(ア)～(ソ)について、どれくらい心配ですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	しんぱい 心配	どちらかといえ ばしんぱい 心配	どちらかといえ ばしんぱい 心配ではない	しんぱい 心配では ない
(ア) べんきょう 勉強のこと	1	2	3	4
(イ) しんがく 進学のこと	1	2	3	4
(ウ) しゅうしよく 就職のこと	1	2	3	4
(エ) しごと 仕事のこと	1	2	3	4
(オ) かぞく 家族のこと	1	2	3	4
(カ) ゆうじん なかま 友人や仲間のこと	1	2	3	4
(キ) れんあい 恋愛のこと	1	2	3	4
(ク) かね お金のこと	1	2	3	4
(ケ) せいじ しゃかい 政治や社会のこと	1	2	3	4
(コ) せいかく 性格のこと	1	2	3	4
(サ) けんこう 健康のこと	1	2	3	4
(シ) ようし 容姿のこと	1	2	3	4
(ス) たいりよく 体力のこと	1	2	3	4
(セ) じぶん しょうらい 自分の将来のこと	1	2	3	4
(ソ) しぜんかんきょう 自然環境のこと	1	2	3	4

問22 この1年間を振り返って、あなたが困ったことや悩みがあったときに、相談した人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 親	2. きょうだい
3. 祖父母	4. 親せき
5. 学校の先生や職場の上司	6. スクールカウンセラー
7. 専門の相談機関や相談窓口	8. その他の大人
9. 学校や職場の友人・先輩・後輩	10. 学校や職場以外の友人・知人や恋人
11. インターネット上の不特定の人物 (SNSや匿名掲示板など)	12. その他の人 ()
13. 相談したかったが、誰にも相談できなかった	14. 相談したいと思わなかった
15. 困ったことや悩みはなかった	

あなたの家族の世話や家事の状況についておたずねします。

問23 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- 知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
- 知らない

※「ヤングケアラー」とは、家族の介護や世話の負担がとて大きく、生活や勉強に影響が出てしまっている子ども・若者のことを言います。

問24 あなたは家で、家族の誰かのためにお世話や家事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. している ⇒ 問24-1へ	2. していない ⇒ 18歳以上の方：問25へ(13ページ) ⇒ 17歳以下の方：アンケートは以上です。 ありがとうございました。
- ※年齢は本調査回答時点

【問24で「1」と回答した方のみ答えてください。】

問24-1 お世話や家事などを必要としている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 父親	2. 母親	3. 祖母
4. 祖父	5. きょうだい	6. 家族全体
7. その他 ()		

問 2 4 - 2 あなたがしているお世話や家事はどんなことですか。

下の絵のあてはまる番号すべてに☑（チェック）をしてください。絵の中にない場合は、「⑪その他」に内容を書いてください。

① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐ ⑦ ☐ ⑧ ☐ ⑨ ☐ ⑩ ☐

⑪ その他 ()



① 障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



② 家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている。



③ 障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



④ 目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



⑤ 日本語をうまく話せない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



⑥ 生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。



⑦ お酒・薬物（法律で禁止されている危険な薬など）・ギャンブルなどの問題を抱える家族の世話をしている。



⑧ 治療に時間がかかる病気（がん・治療が難しい病気・こころの病気など）をもつ家族の看病をしている。



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



⑩ 障害や病気のある家族のお風呂やトイレの手助けをしている。

問 2 4 - 3 お世話や家事をしていることが理由で、次のようなことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 学校・職場に行けない	2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 授業・仕事に集中できない	4. 部活動や習い事・塾に行けない
5. 家で勉強する時間がない	6. 就職活動ができない
7. 寝る時間が少ない	8. 友人と遊ぶことができない
9. 希望する進路を選べない	10. 自由にすごせる時間がない
11. 特にない	12. その他 ()

問 2 4 - 4 お世話や家事をすることについて、どのように感じていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. やりがいを感じている	2. 身体が少しつらい
3. 身体がとてつらい	4. 心が少しつらい
5. 心がとてつらい	6. 仕方がない
7. 特に何も感じていない	8. その他 ()

問 2 4 - 5 お世話や家事のことを、誰かに相談（お話し）していますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 家族	2. 親戚	3. 友達
4. 学校の先生	5. スクールカウンセラー	6. 市役所などの相談窓口
7. その他 ()	8. 誰にも話していない	

問 2 4 - 6 あなたは周りからしてもらいたいことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自分のことについて話を聞いてほしい |
| 2. 家族のお世話について相談にのってほしい |
| 3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい |
| 4. 自分の行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい |
| 5. 自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい |
| 6. 進路や就職など将来の相談にのってほしい |
| 7. 勉強を教えてほしい |
| 8. お金の面で支援してほしい |
| 9. 同じ境遇の人と会って話をする機会をつくってほしい |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |
| 12. わからない・答えたくない |

【本調査回答時点で17歳以下の方：アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。】

【本調査回答時点で18歳以上の方：次のページに進んでください。】

【ここから先の質問は、本調査回答時点で18歳以上の方のみ答えてください。】

あなたの結婚・出産に対する考え方についておたずねします。

問25 あなたは現在結婚していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚(事実婚含む)している(現在、配偶者あり)	⇒問26へ(次のページ)
2. 結婚していないが、同棲している	
3. 結婚したことはあるが、今はそうではない	⇒問25-1へ
4. 結婚も同棲もしていない	

【問25で「2」、「3」、「4」と回答した方のみ答えてください。】

問25-1 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。

- (1) 1番当てはまる理由を1つ選んで枠内に番号を記入してください。
- (2) 2番目の理由を1つ選んで枠内に番号を記入してください。
- (3) 3番目の理由を1つ選んで枠内に番号を記入してください。

(1) 1番目	(2) 2番目	(3) 3番目
1. 結婚するにはまだ若すぎるから		
2. 結婚する必要性を感じないから		
3. 同棲のままで十分だから		
4. 今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから		
5. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから		
6. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから		
7. 適当な相手にまだ巡り会わないから		
8. 異性とうまく付き合えないから		
9. 経済的に余裕がないから		
10. 結婚生活のための住居のめどがたたないから		
11. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から		
12. 一生、結婚するつもりはないから		
13. その他()		
14. 特にない		

あなたの^{しゅっさん}出産（今後持つ^{こんごも}つもりの子どもの^こ数^{かず}）への^{かんが}考え^{なんにん}についておたずねします。

問26 あなたにとって、理想的な^{りそうてき}子どもの^こ数^{かず}は何^{なんにん}人^{にん}ですか。（数字を記入してください。）

 人

問27 あなたの、現実的に今後持つ^{げんじつてき}つもりの子どもの^こ数^{かず}は全部^{ぜんぶ}で何^{なんにん}人^{にん}ですか。（数字を記入してください。）

※既に子どもがいる^{すで}場合は、その子^こも含めた^{ばあい}人数^{にんずう}を回答^{かいとう}してください。

 人

【問27「持つ^もつもりの子どもの^こ人数^{にんずう}」が問26「理想的な^{りそうてき}子どもの^こ人数^{にんずう}」より少ない^{すく}方^{かた}のみお答え^{こたえ}ください。】

問27-1 今後持つ^{こんごも}つもりの子どもの^こ数^{かず}が、理想的な^{りそうてき}子どもの^こ数^{かず}より少ない^{すく}のはどうしてですか。
（あてはまる^{ばんごう}番号^{ばんごう}すべてに○をつけ、その中^{なか}で^{もっと}最^{じゅうよう}も重^{りゆう}要^{よう}な理由^{りゆう}1つに◎をつけてください。）

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 保育サービスが整っていないから
3. 雇用が安定しないから
4. 働きながら子育てができる職場環境がないから
5. 自分の昇進・昇格に差し支えるから
6. 家が狭いから
7. 子どもがのびのび育つ社会環境でないから
8. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
9. 自分又は配偶者・パートナーが高年齢で、産むのが嫌だから
10. これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
11. 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから
12. 健康上の理由から
13. 欲しいけれども妊娠しないから
14. 配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから
15. 配偶者・パートナーが望まないから
16. その他（ ）
17. 特にない

アンケートは以上になります。

ご協力ありがとうございました。

川崎市子ども・若者調査報告書

令和7年3月発行

川崎市こども未来局総務部企画課

住 所 川崎市川崎区宮本町1

電話番号 044-200-1135
